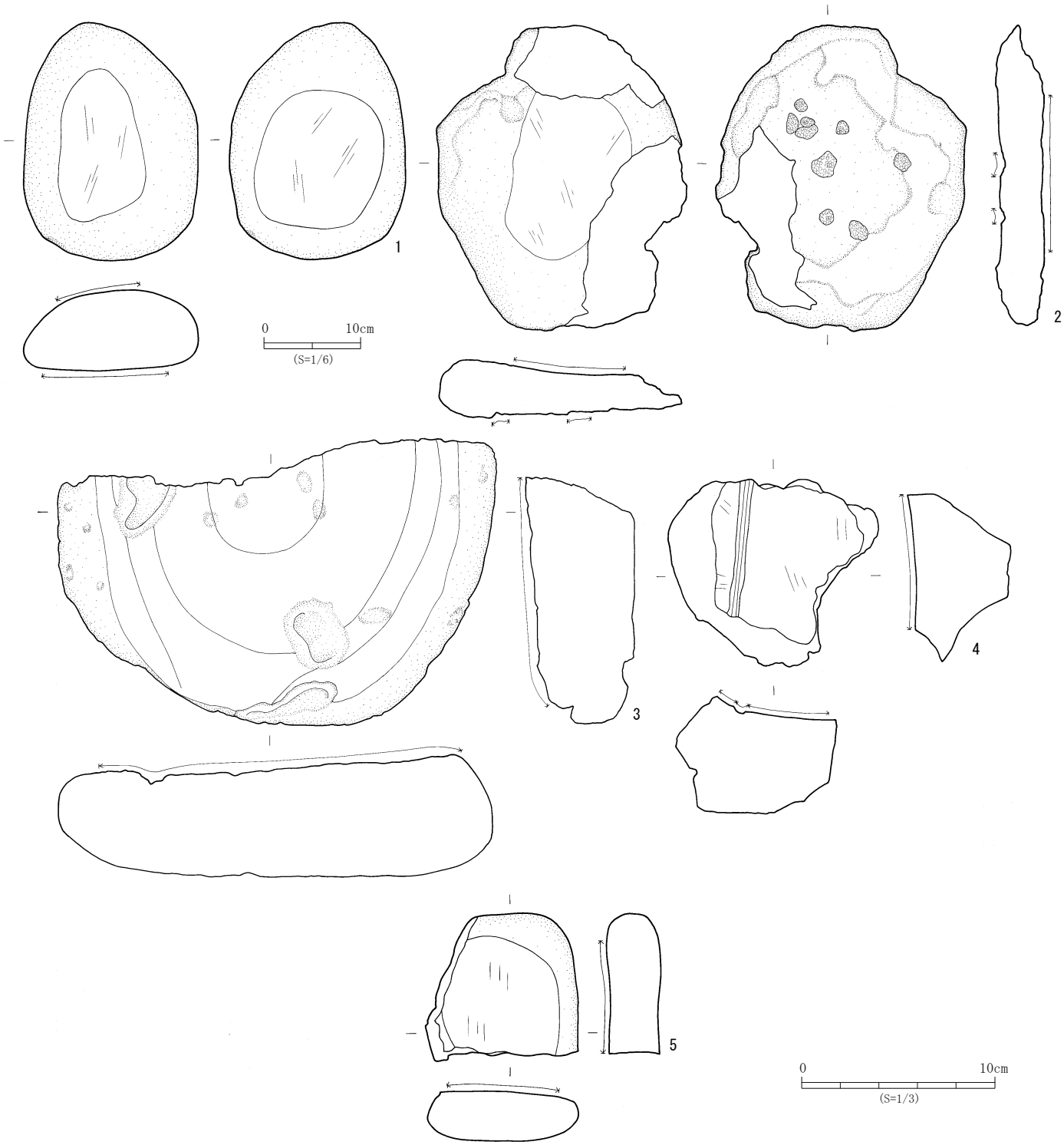
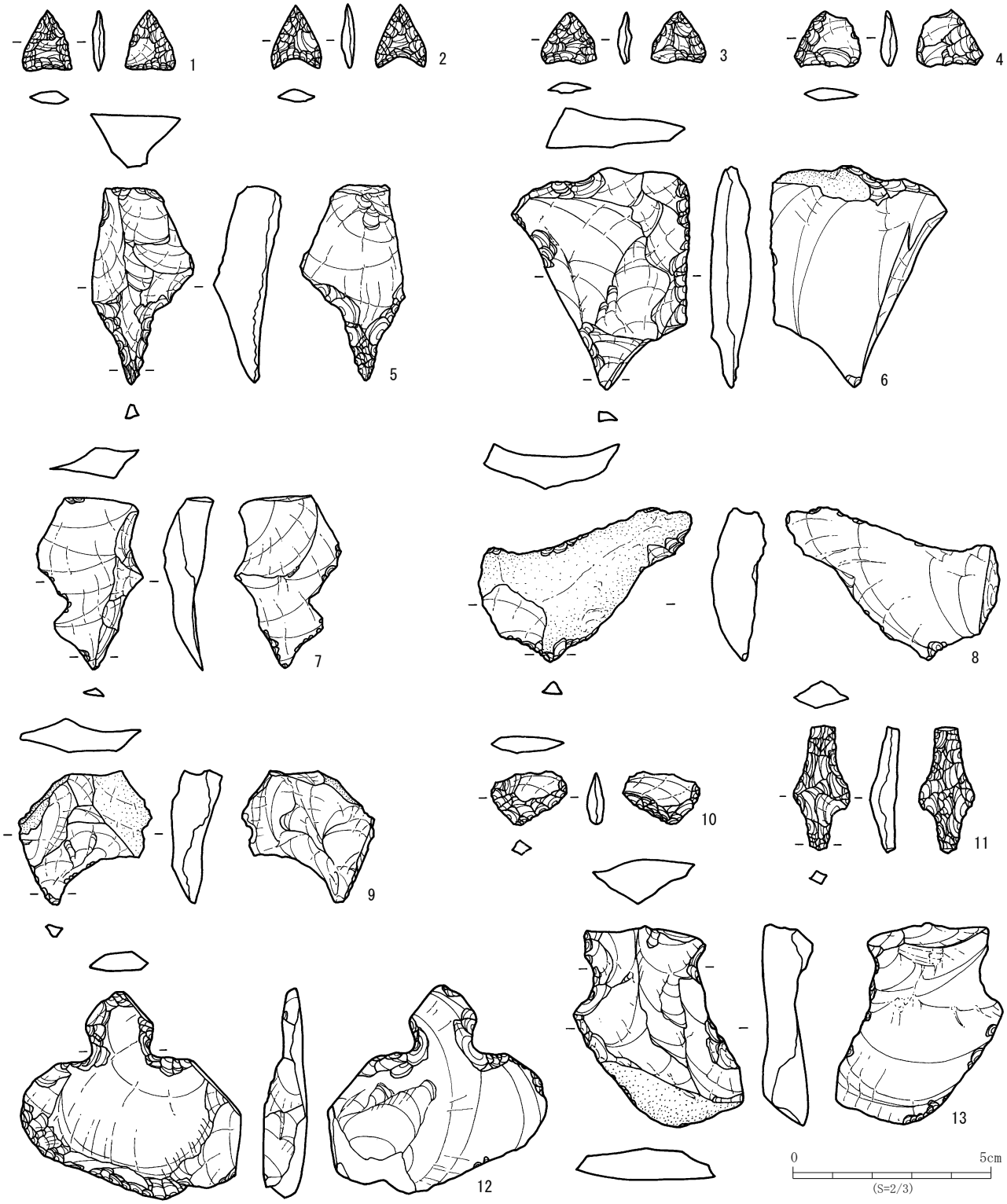


（）残存

No.	登録番号	層　位	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-a-6030	堆積土	石皿	安山岩	245.0	183.0	84.0	5,520.0	磨2、S=1/6。	230-16
2	Kd-a-6031	①・②層	石皿	安山岩	(316.0)	(260.0)	60.0	(4,940.0)	磨1，凹9，縁辺部欠損。	230-19
3	Kd-a-6032	堆積土	石皿	安山岩	(148.5)	(227.0)	(58.5)	(2,282.0)	磨1、部分破片。	231-1
4	Kd-a-6033	堆積土	石皿	流紋岩	(97.0)	(109.0)	(58.5)	(305.0)	磨1、脚付石皿脚部欠損、部分破片。	231-2
5	Kd-c-6002	2a層	砥石	安山岩	(76.5)	(79.0)	(29.5)	(276.0)	磨1、使用面に赤色付着物有り、部分破片。	231-3

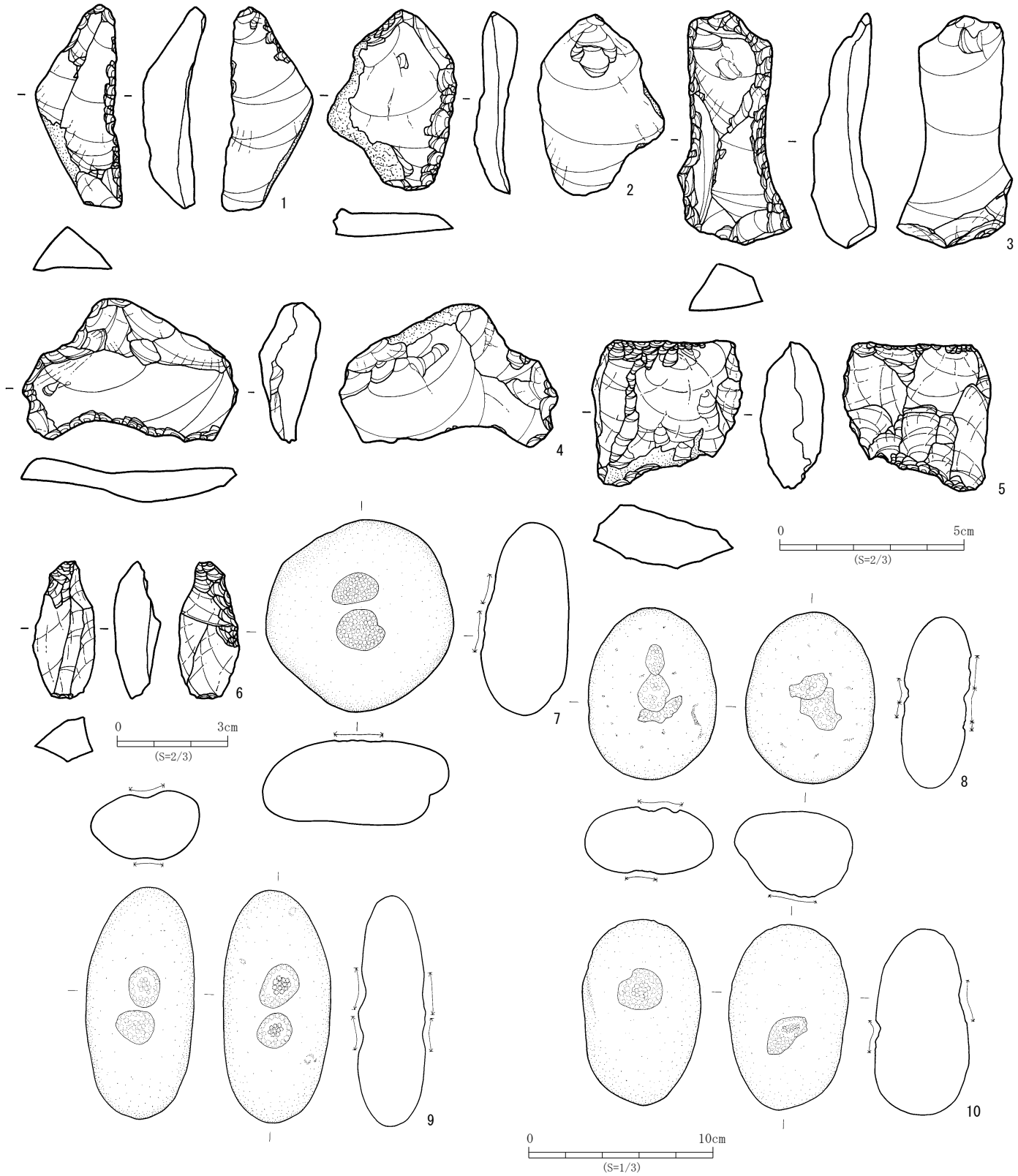
第526図　SX626溝状の落ち込み出土遺物(93)



（）残存

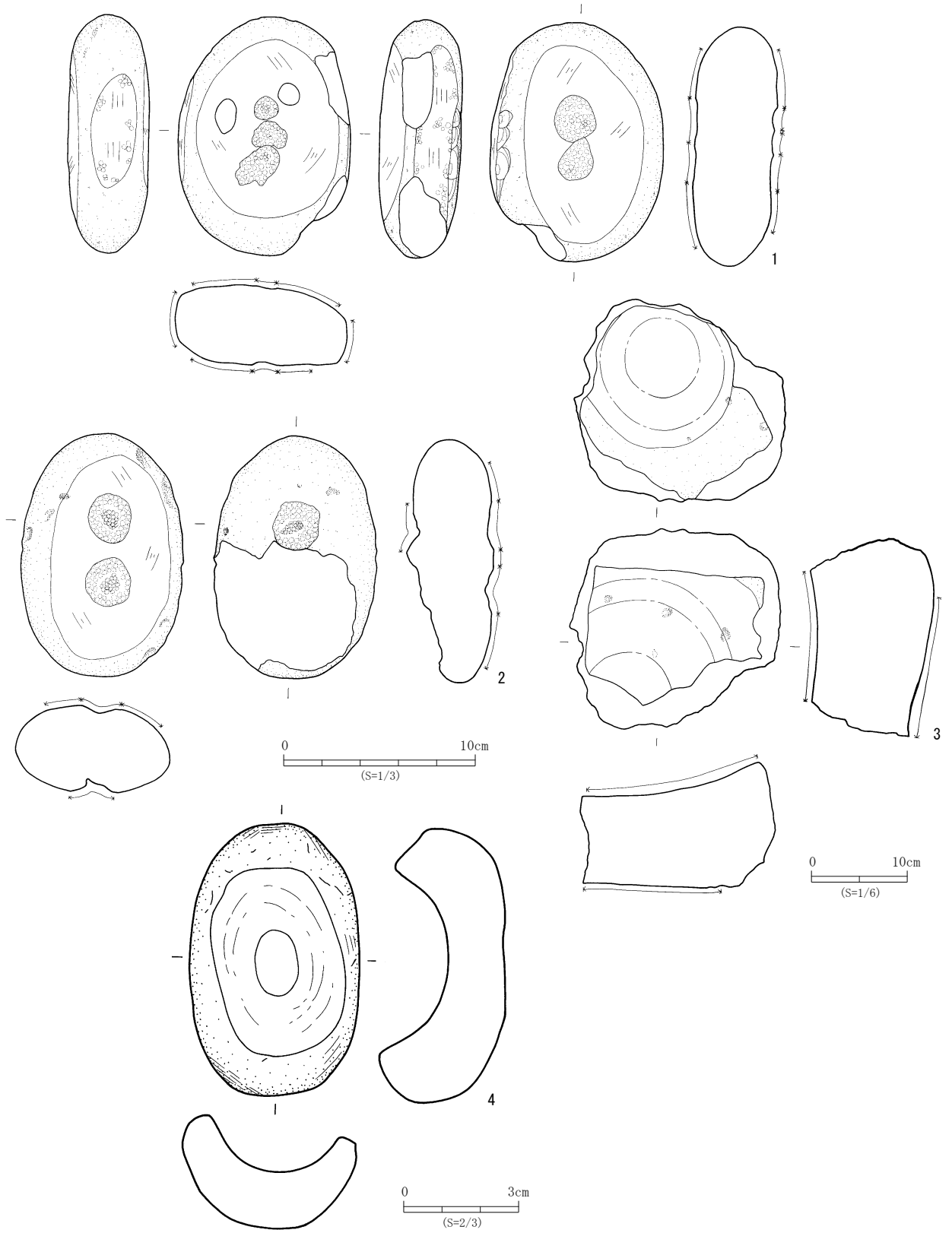
№.	登録番号	層　位	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(ｇ)	備　　考	写真図版
1	Ka-a-6086	２・３層	石鏃	珪質頁岩	15.3	11.9	2.7	0.4	－	231-４
2	Ka-a-6087	２・３層	石鏃	珪質頁岩	15.7	12.2	2.5	0.4	－	231-５
3	Ka-a-6088	堆積土	石鏃	玉随	13.0	13.8	3.3	0.4	－	231-６
4	Ka-a-6089	中層	石鏃	流紋岩	(13.7)	(16.2)	3.7	(0.6)	先端部・左脚部欠損。	231-７
5	Ka-b-6081	堆積土	石錐	碧玉	47.7	24.3	13.4	12.7	－	231-11
6	Ka-b-6082	堆積土	石錐	珪質頁岩	55.6	44.1	9.0	20.4	－	231-12
7	Ka-b-6083	堆積土	石錐	珪質頁岩	42.5	27.4	6.9	6.8	－	231-13
8	Ka-b-6084	２・３層	石錐	碧玉	(55.9)	31.8	9.0	(13.4)	左側縁欠損。	231-14
9	Ka-b-6085	３層	石錐	珪質頁岩	34.2	34.3	9.3	6.2	－	231-10
10	Ka-b-6086	２・３層	石錐	碧玉	18.7	12.3	4.2	0.8	－	231-８
11	Ka-b-6087	堆積土	石錐	珪質頁岩	(31.1)	13.8	6.3	(1.9)	錐部上下端欠損。	231-９
12	Ka-d-6049	堆積土	石匙	珪質頁岩	45.7	56.6	10.7	(21.4)	横型、裏面左刃部ガジリ。	231-16
13	Ka-d-6050	堆積土	石匙	珪質頁岩	35.2	37.1	10.8	19.3	縦型。	231-15

第527図　SX639溝状の落ち込み出土遺物(13)



№.	登録番号	層　位	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　　考	写真図版
1	Ka-e-6060	堆積土	スクレイパー	珪質頁岩	55.1	21.9	12.3	12.9	－	231-17
2	Ka-e-6061	堆積土	スクレイパー	珪質頁岩	49.4	35.2	8.1	13.9	－	231-18
3	Ka-e-6062	堆積土	スクレイパー	珪質頁岩	63.0	31.6	15.5	21.9	－	231-19
4	Ka-e-6063	堆積土	スクレイパー	玉随	43.8	52.1	14.2	24.3	－	231-20
5	Ka-f-6016	堆積土	クサビ形石器	玉随	38.7	39.6	13.1	21.8	－	231-21
6	Ka-f-6017	堆積土	クサビ形石器	玉随	35.9	16.2	11.3	5.9	－	231-22
7	Kc-b-6045	堆積土	礫石器	安山岩	104.5	101.5	47.0	612.0	凹２。	231-23
8	Kc-b-6046	堆積土	礫石器	安山岩	103.0	70.0	36.5	292.0	凹３＋２。	231-24
9	Kc-b-6047	堆積土	礫石器	安山岩	126.0	59.0	37.0	381.0	凹２＋２。	231-26
10	Kc-b-6048	１層	礫石器	安山岩	101.0	65.0	52.0	441.0	凹１＋１。	231-25

第528図　SX639溝状の落ち込み出土遺物(14)



（）残存

№.	登録番号	層　位	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(ｇ)	備　考	写真図版
1	Kc-d-6046	堆積土	礫石器	デイサイト	124.5	90.0	42.0	(659.0)	磨４(横２)、凹３＋２。	231-27
2	Kc-d-6047	堆積土	礫石器	安山岩	127.0	(85.0)	(46.5)	(602.0)	磨１、凹２＋１。	231-28
3	Kd-a-6034	１層	石皿	安山岩	(211.0)	(219.0)	(125.0)	(8,100.0)	磨２、S=1/6。	231-29
4	Kd-g-6002	堆積土	石碗	流紋岩	70.0	43.1	32.0	44.9	－	231-30

第529図　SX639溝状の落ち込み出土遺物(15)

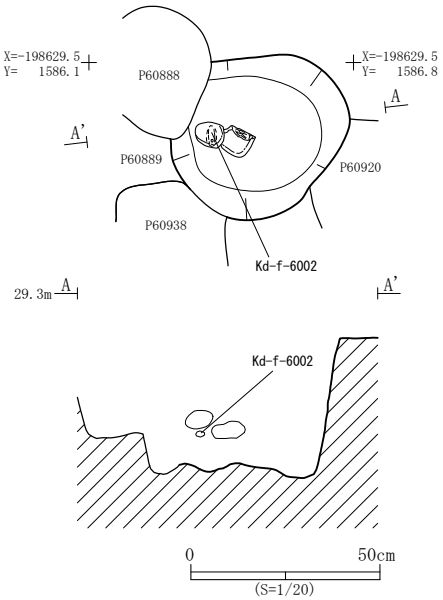
7．ピット

ピットは第６次調査、第７次調査あわせて約3,200個が検出された。Ⅲ層上面で検出されたピットは少なく、大半がⅤ層上面で検出されたものである。分布は１区の溝状の落ち込みが存在する第６次調査１区中央の西側から、第７次調査１区西端までの間に多く認められ、ＳＩ604竪穴住居跡周辺では特に密集した状況が窺える（第530図）。複式炉および焼土跡周辺で検出されたピットは竪穴住居跡の柱穴の可能性がある。数が膨大であるためここでは遺物が出土した代表例についてふれたい。堆積土中から土器の大型破片や土製品、石器が出土したものと、ピット内から礫が単独、あるいは複数の場合や集積された状態で検出されたピットを第531図に示した。礫が単独で検出されたものの中には礫が刺さった状態で検出されたものもある。また、堆積土中から骨片が検出されたものも合わせて表にしている。出土遺物については第532 ～ 540図に示した。次に硬玉製大珠が出土したＰ60911ピットの遺物出土状況について説明する。

第530図　縄文時代ピット配置図

P60911ピット（第531図、図版108）

は第６次調査１区中央のＨ－21グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。周囲には土坑やピットが多数密集して存在しており本遺構はＰ60888・60889・60920・60938ピットと重複し、Ｐ60888ピットより古く、Ｐ60889・60920･60939より新しい。平面形は西側が一部削平されているが、残存する部分から32㎝×29㎝の円形と考えられる。検出面からの深さは28㎝である。堆積土は10YR3/3暗褐色粘土質シルトを主体とする単層でＶ層ブロックの混入が認められた。ピットの中央から西側の堆積土中層から下層にかけて大きさが15㎝程の礫２個が重なった状態で検出された。上部の礫を取り外したところ、その下から硬玉製大珠が出土した。出土位置は底面から18㎝程上である。堆積土は全て採取して水洗を行い微細遺物の抽出を試みたが遺物は検出されなかった。出土位置は不明であるがその他にスクレイパーと縄文土器の小片が出土している。



第531図　Ｐ60911ピット

第６表　ピット観察表（１）

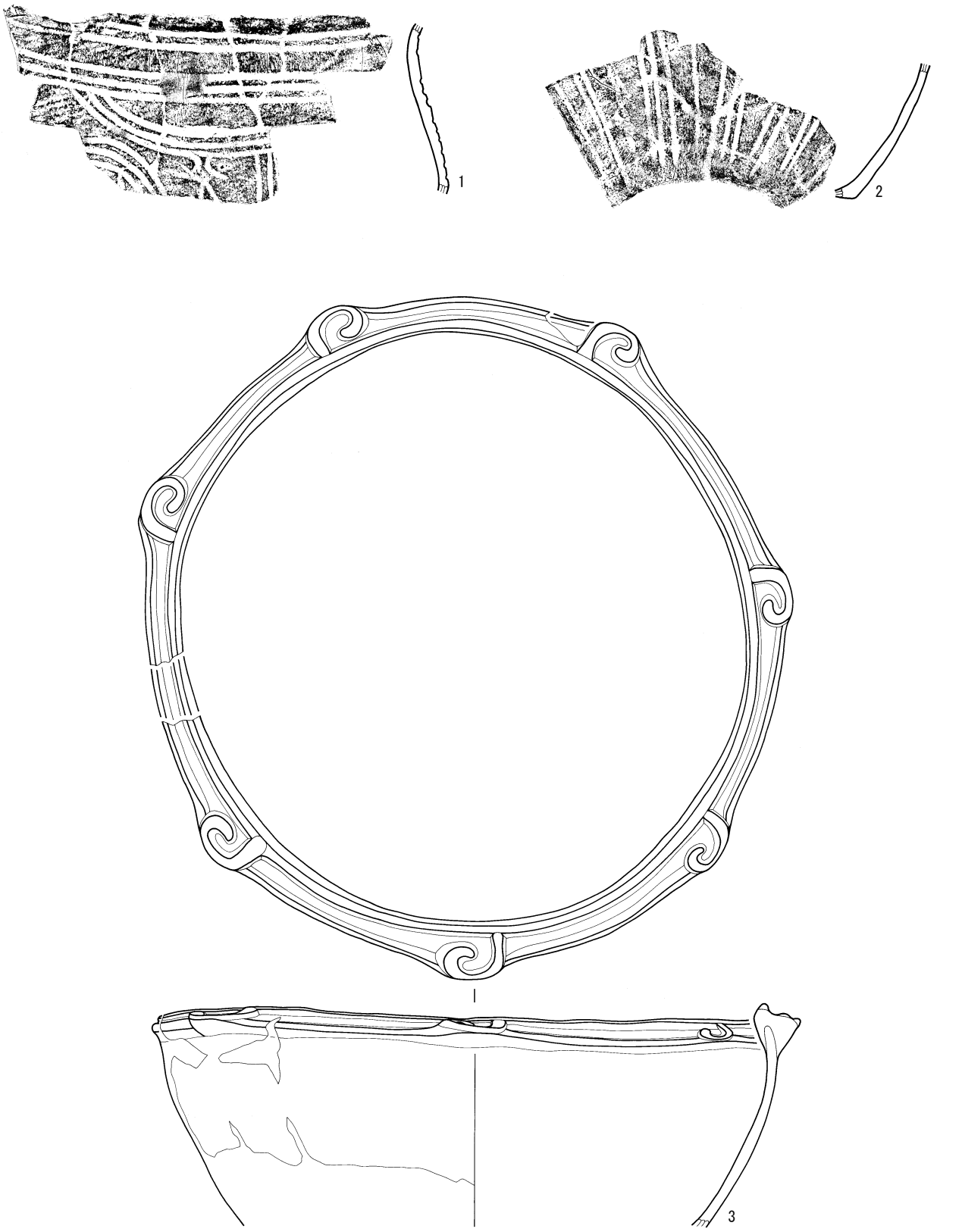
○は単独、◎は複数の礫が検出されたもの。

次数	ピット番号	グリッド	平面形	規模(㎝)	土器・土製品	石器	骨	礫集積状	遺構	遺物		旧ピット番号
									写真	図版	写真	
6	60009	G－27	不整形	20×17・9	－	石篦	－	－	－	537	233	P9
6	60023	G－26	円形	28×24・40	－	石匙	－	－	－	538	233	P23
6	60104	G－26	楕円形	36×24・33	－	スクレイパー、微少剥離痕のある剥片	－	－	－	538	233	P104
6	60130	H－26	楕円形	42×39・35	－	スクレイパー	－	－	－	538	233	P130
6	60139	H－26	長方形	69×44・24	－	石錐	－	－	－	536	232	P139
6	60200	G－22	楕円形	52×40・25	－	石篦、微少剥離痕のある剥片	－	－	108	537	233	P200
6	60231	J－21	円形	46・41・24	－	石匙	－	－	－	537	233	P231
6	60245	G－27	円形	22×〈13〉・8	ミニチュア土器	－	－	－	－	534	232	P245
6	60262	I－21	楕円形	36×26・29	－	石錐	－	－	－	535	232	P262
6	60271	I－21	(楕円形)	42×〈17〉・12	三角形土製品	スクレイパー	－	－	－	538	233	P271
6	60279	I－21	楕円形	49×42・26	－	石鏃	－	－	－	535	232	P279
6	60306	H－23	楕円形	52×40・32	－	石錐	－	－	－	535	232	P306
6	60313	I－20	円形	69×〈52〉・23	－	石棒	－	－	108	539	233	P313
6	60461	I－21	不整形	52×40・35	器台、ミニチュア土器	二次加工のある剥片	－	－	－	534	232	P461
6	60502	G－25	円形	21×21・17	－	スクレイパー	－	－	－	538	233	P502
6	60570	G－24	楕円形	19×17・31	－	磨製石斧	－	－	－	539	233	P570
6	60576	H－25	円形	92×〈27〉・21	－	－	獣骨・シカ	－	－	－	－	P576
6	60611	H－20	長方形	23×15・18	－	石鏃	－	－	－	535	232	P611
6	60614	H－20	楕円形	39×24・20	－	－	中型獣骨	－	－	－	－	P614
6	60644	H－21	隅丸方形	30×24・24	－	石錐・石匙	－	－	－	536	232	P644
6	60671	H－21	楕円形	37×28・29	－	スクレイパー、二次加工のある剥片、微少剥離痕のある剥片、有孔石錐	－	－	－	539	233	P671
6	60680	H－21	円形	33×28・26	－	石錐	－	－	－	536	232	P680
6	60683	G－21	楕円形	28×25・40	－	石鏃	－	－	－	535	－	P683
6	60685	H－21	円形	36×27・23	－	石錐	－	－	－	535	232	P685
6	60687	H－21	隅丸方形	55×33・11	－	スクレイパー・石錐、クサビ形石器、石核	－	－	－	538	233	P687
6	60690	H－21	不整形	52×26・56	パイプ形土製品	微少剥離痕のある剥片	－	－	－	534	232	P690
6	60696	H－21	不整形	32×27・29	－	石錐	－	－	－	535	232	P696
6	60700	H－21	楕円形	29×25・41	－	石錐	－	－	－	536	232	P700
6	60718	I－21	円形	41×38・35	パイプ形土製品	－	－	－	－	534	232	P718
6	60770	H－21	隅丸方形	28×22・22	－	石匙	－	－	－	537	233	P770
6	60819	H－21	楕円形	35×25・26	－	スクレイパー、微少剥離痕のある剥片	－	－	－	538	233	P819
6	60820	H－21	楕円形	45×30・17	－	石鏃、スクレイパー、微少剥離痕のある剥片	－	－	－	535	232	P820
6	60863	H－21	隅丸方形	23×19・21	－	石鏃	－	－	－	535	232	P863
6	60895	H－21	楕円形	34×32・29	－	石錐	－	－	－	536	232	P895
6	60897	H－21	不整形	43×41・28	－	石錐、石匙、スクレイパー、微少剥離痕のある剥片	－	－	－	537	233	P897
6	60911	H－21	円形	32×29・28	－	硬玉製大珠・石匙	－	－	108	539	233	P911
6	60912	H－21	円形	45×30・17	－	石錐	－	－	－	535	232	P912
6	60919	I－20	不整形	26×24・15	－	スクレイパー	－	－	－	538	233	P919
6	60933	I－20	楕円形	46×28・23	－	石錐、石匙、スクレイパー、微少剥離痕のある剥片	－	－	－	536	232	P933
6	60934	I－20	楕円形	34×25・26	－	石錐、スクレイパー	－	－	－	536	232	P934
6	60935	H－21	楕円形	53×38・20	－	石鏃	－	－	－	535	232	P935

第７表　ピット観察表（２）

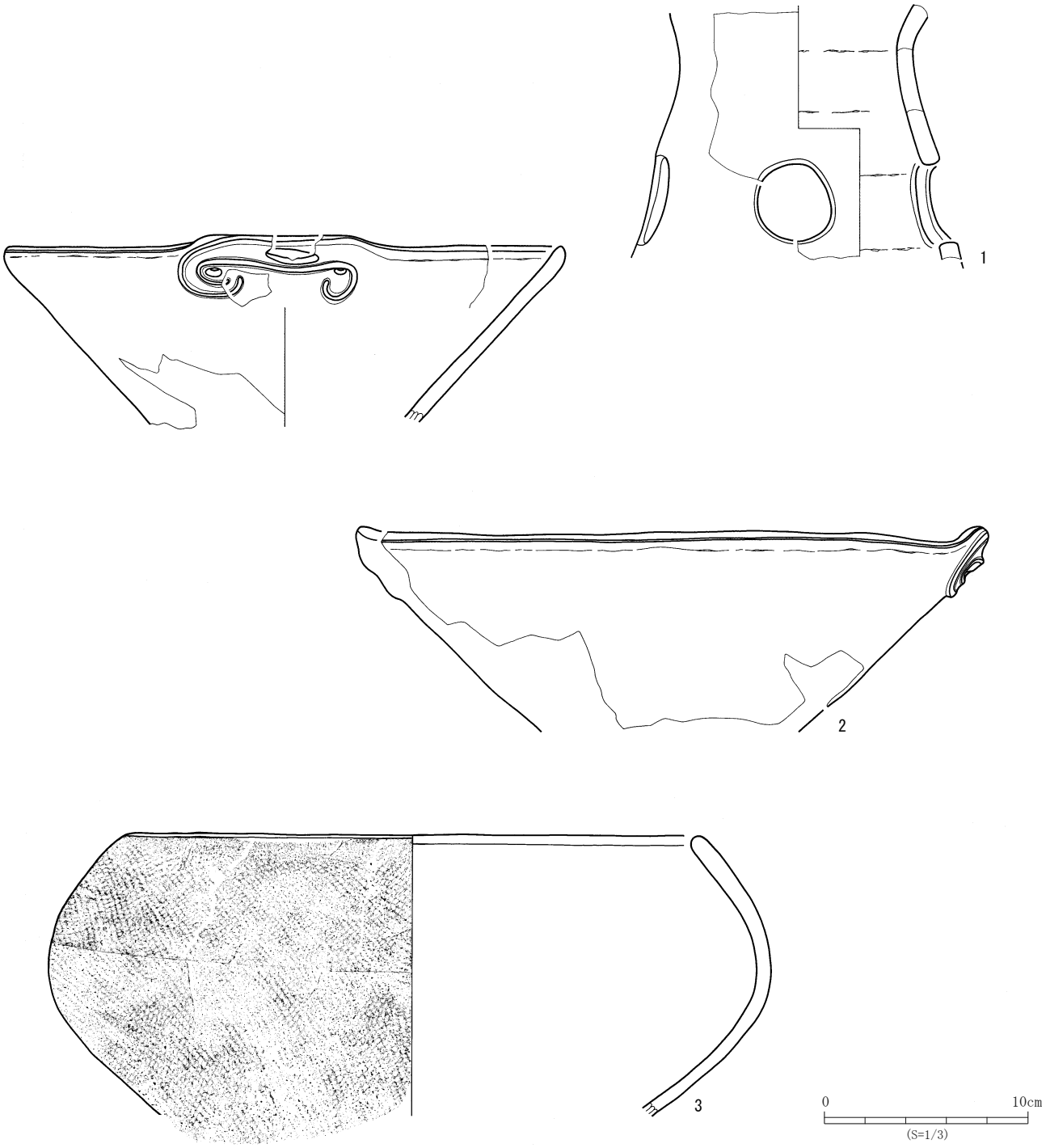
○は単独、◎は複数の礫が検出されたもの。

次数	ピット番号	グリッド	平面形	規模(cm)	土器・土製品	石器	骨	礫集積状	遺構	遺物		旧ピット番号
									写真	図版	写真	
6	60967	G－25	不整形	49×41・38	－	スクレイパー、微少剥離痕のある剥片、礫石器（凹）	－	－	－	539	233	P967
6	61011	H－21	楕円形	34×17・25	－	スクレイパー、微少剥離痕のある剥片	－	－	－	538	233	P1011
6	61019	G－22	隅丸方形	44×38・41	－	石鏃、スクレイパー	－	－	－	535	232	P1019
6	61020	G－22	楕円形	34×25・29	－	石鏃、微少剥離痕のある剥片	－	－	－	535	232	P1020
6	61185	F－33	楕円形	36×30・30	－	－	獣骨細片	－	－	－	－	3区 P22
6	61213	G－33	不整形	32×28・13	深鉢大型破片	－	－	－	108	532	－	3区 P50
6	61235	F－33	円形	23×20・22	－	－	獣骨細片	－	－	－	－	3区 P72
7	70009	E－44	略円形	58×51・13	－	石錐	－	－	－	－	－	P9
7	70038	E－44	円形	42×39・22	土製円盤	－	－	－	－	534	－	P38
7	70052	E－43	楕円形	40×33・12	－	－	－	○	109	－	－	P52
7	70056	E－44	円形	29×26・29	土製円盤	－	－	－	－	534	－	P56
7	70075	F－44	円形	28×28・18	－	－	－	◎	109	－	－	P75
7	70089	E－44	不整形	32×28・ 9	－	－	－	○	－	－	－	P89
7	70091	G－44	楕円形	61×44・36	－	－	骨	○	－	－	－	P91
7	70100	E－43	楕円形	48×30・15	－	－	－	○	－	－	－	P100
7	70130	F－43	円形	40×38・11	－	－	－	○	－	－	－	P130
7	70131	F－42	楕円形	40×33・22	－	－	－	◎	－	－	－	P131
7	70177	D－41	楕円形	33×20・ 9	－	礫石器（凹磨）	－	◎	－	－	－	P177
7	70205	E－41	楕円形	35×30・44	－	台石	－	◎	－	－	－	P205
7	70217	D－41	円形	25×23・ 7	－	礫石器（凹）	－	◎	109	－	－	P217
7	70241	E－45	楕円形	40×33・27	－	－	－	◎	－	－	－	P241
7	70303	G－42	楕円形	30×28・30	－	－	－	○	－	－	－	P303
7	70309	E－43	円形	15×13・27	－	－	骨	－	－	－	－	P309
7	70324	F－42·43	円形	45×43・15	－	－	－	◎	109	－	－	P324
7	70325	E－43	不整形	55×45・19	－	剥片	－	－	－	540	－	P325
7	70326	E－43	円形	40×36・14	－	－	シカ、獣骨細片	－	－	－	－	P326
7	70332	F－44	楕円形	58×45・13	－	－	－	○	109	－	－	P332
7	70333	F·G－40	不整形	35×30・15	－	礫石器（凹、磨凹）	－	◎	109	－	－	P333
7	70334	E－41	円形	43×38・11	－	－	－	◎	109	－	－	P334
7	70338	E－40	不整形	33×28・11	－	－	－	◎	110	－	－	P338
7	70341	F－42	円形	17×15・16	－	－	骨	－	－	－	－	P341
7	70375	F－40	（楕円形）	50×（35）・35	－	礫石器（磨、凹）	－	◎	－	－	－	P375
7	70382	F－41	楕円形	25×25・ 9	－	－	－	○	－	－	－	P382
7	70395	F－39	不整形	45×33・11	－	－	－	○	－	－	－	P395
7	70406	F－39	不整形	36×29・15	－	石錐	－	－	－	535	232	P406
7	70409	F－39	楕円形	50×45・11	－	礫石器（磨凹）	－	◎	－	－	－	P409
7	70451	F－40	楕円形	78×63・41	－	礫石器（磨凹）	－	◎	110	－	－	P451
7	70452	F－40	不整形	58×35・22	－	礫石器（敲、磨凹）	－	◎	－	－	－	P452
7	70453	G－40	楕円形	×・34	－	礫石器（磨、凹）	－	◎	110	－	－	P453
7	70455	G－41	（隅丸方形）	（53）×38・ 6	－	礫石器（磨）	－	◎	－	－	－	P455
7	70456	F－40	楕円形	37×30・ 5	－	石篦	－	－	－	537	232	P456
7	70462	E－41	隅丸方形	38×30・11	－	－	－	○	－	－	－	P462
7	70463	E·F－42	楕円形	40×35・14	－	礫石器（凹）	－	◎	110	－	－	P463
7	70471	G－38	楕円形	35×33・16	－	－	－	○	－	－	－	P471
7	70483	F－39	円形	33×30・32	－	礫石器（磨）	－	○	－	－	－	P483
7	70492	G－39	楕円形	40×34・40	浅鉢	－	－	－	－	533	232	P492
7	70493	G－39	円形	25×23・19	－	－	－	○	－	－	－	P493
7	70520	G－34	円形	38×35・14	－	－	－	◎	110	－	－	P520
7	70557	F－34	楕円形	70×56・46	－	－	獣骨細片	－	－	－	－	P557
7	70582	G－35	円形	23×23・22	－	礫石器（磨凹）	－	○	－	－	－	P582
7	70585	F－35	円形	45×43・11	－	－	－	○	－	－	－	P585
7	70603	F－37	不整形	23×22・14	－	石匙、石核	－	－	－	538	233	P603
7	70607	F－35	隅丸方形	18×13・11	－	－	－	○	－	－	－	P607
7	70617	F－38	円形	50×45・19	－	－	－	○	－	－	－	P617
7	70620	F－36	円形	28×28・24	－	－	－	○	－	－	－	P620
7	70642	F－38	円形	32×32・10	－	石匙	－	－	－	537	233	P642
7	70676	G－42	円形	63×50・12	－	礫石器（敲）	－	○	－	－	－	P676
7	70706	G－37	円形	53×50・12	－	－	－	◎	－	－	－	P706
7	70909	G－38	楕円形	54×36・60	浅鉢	－	－	－	－	532	232	P909
7	70909	G－38	楕円形	55×38・28	－	－	－	◎	110	－	－	P909
7	71381	F－46	楕円形	38×28・ 7	－	礫石器（凹）	－	◎	－	－	－	P1381
7	71418	E－45	円形	23×20・18	－	－	－	○	－	－	－	P1418
7	71612	E－26	楕円形	41×31・26	－	クサビ形石器	－	－	－	539	233	3区 P135
7	71735	E－29	円形	52×50・17	土偶	－	－	－	－	534	232	3区 P258
7	71801	E－30	不整形	〈24〉×14・ 5	－	磨製石斧	－	－	－	539	233	3区 P324
7	71878	E－29	楕円形	94×83・33	浅鉢	－	－	－	－	533	232	3区 P401
7	72057	I－29	楕円形	53×45・13	－	－	－	○	110	－	－	



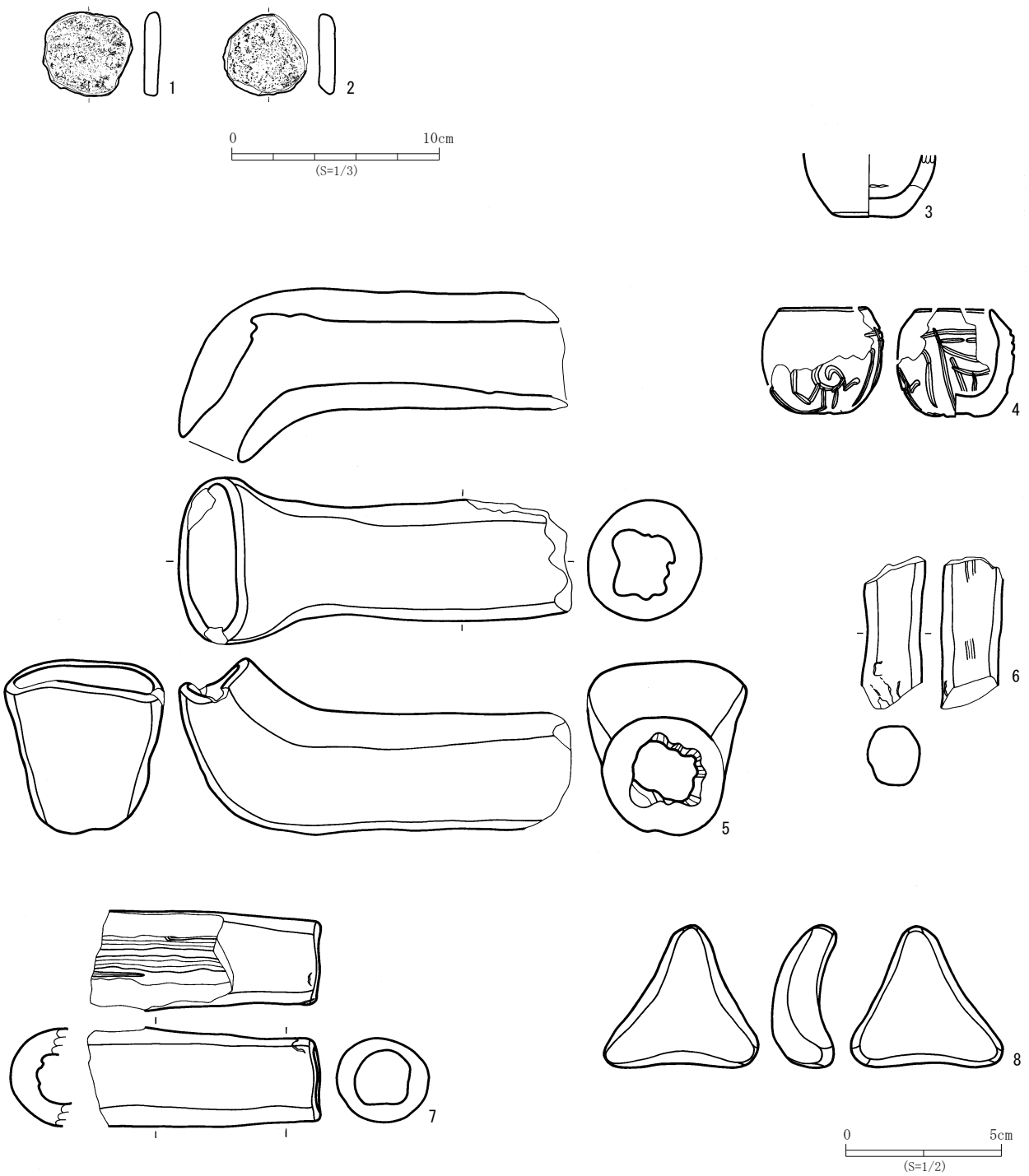
No.	登録番号	遺　構	層　位	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61256	P61213	堆積土	深鉢・頸部～胴部	頸部：横位沈線文。胴部：渦巻？・弧状・横位縦位沈線文、縄文 LR 斜位施文。	2 と同一。	-
2	A-61257	P61213	堆積土	深鉢・胴部	縦位沈線文。	1 と同一。	-
3	A-70538	P70909	堆積土	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：渦巻貼付文、横位隆沈線文。胴部：ナデ。	－	232-1

第532図　縄文時代ピット出土遺物（１）



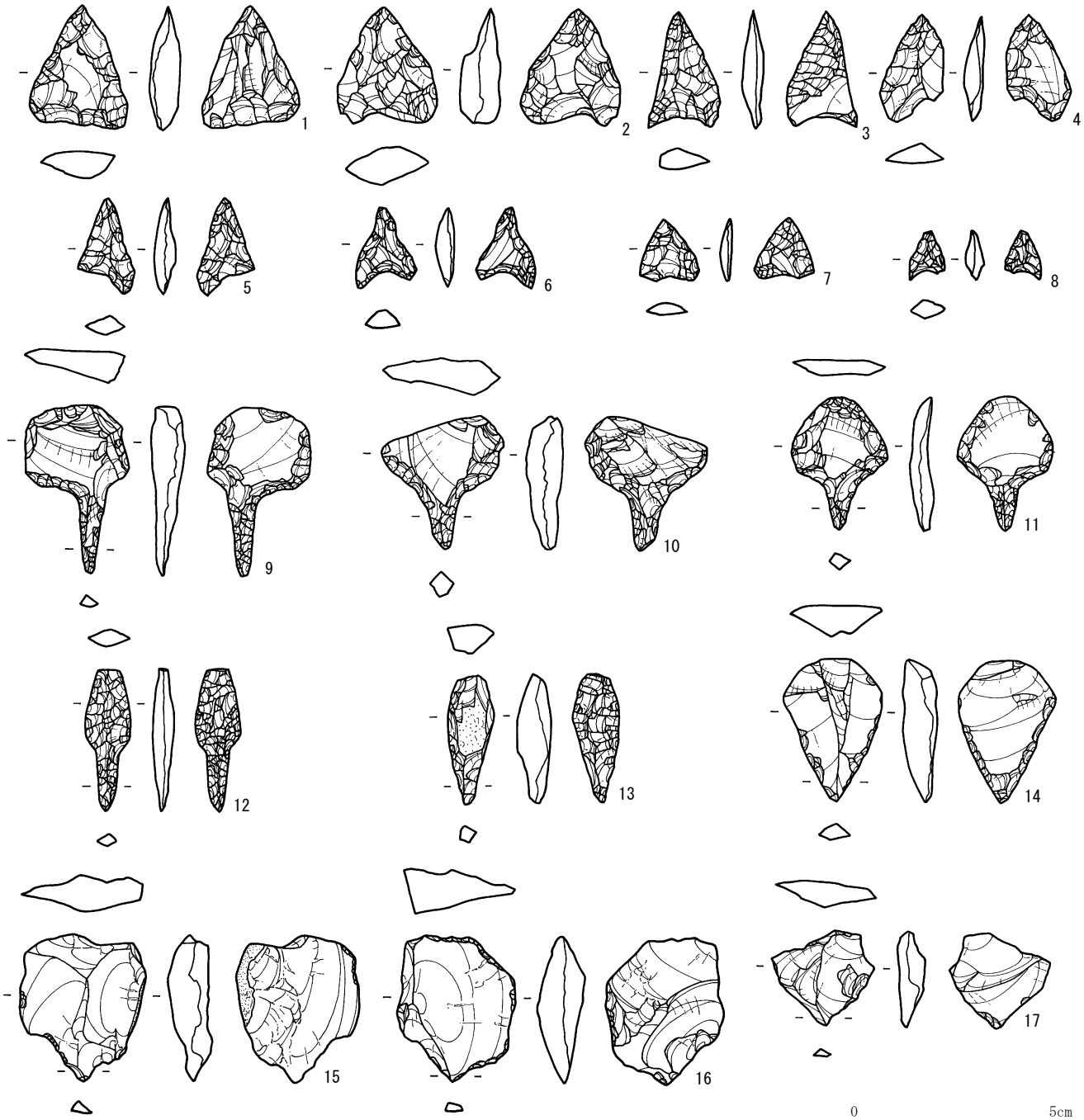
No.	登録番号	遺　構	層　位	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61258	P60461	堆積土	器台・台部	円孔。ナデ。	－	-
2	A-70539	P70492	堆積土	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部：渦巻貼付文。胴部：ナデ。	平面楕円形。	232-2
3	A-70540	P71878	堆積土	浅鉢・口縁部～胴部	口縁部～胴部：縄文 LR 縦位施文。	－	232-3

第533図　縄文時代ピット出土遺物(2)



No.	登録番号	遺　構	層　位	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-7094	P70056	堆積土	土製円盤	縄文 LR 縦位施文。	重さ15.71g。	-
2	P-7095	P70038	堆積土	土製円盤	ナデ。	重さ14.67g。	-
3	P-6071	P60461	堆積土	ミニチュア土器・胴部～底部	ナデ。	S=1/2。	232- 7
4	P-6072	P60245	堆積土	ミニチュア土器・口縁部～底部	渦巻・弧状・横位・縦位沈線文。	S=1/2。	232- 8
5	P-6073	P60718	堆積土	パイプ形土製品	ナデ。	S=1/2。	232- 6
6	P-7096	P71735	堆積土	土偶・脚部	縦位沈線文。	S=1/2。	-
7	P-6074	P60690	堆積土	パイプ形土製品	沈線文。	S=1/2。	232- 5
8	P-6075	P60271	堆積土	三角形土製品	ナデ。	S=1/2。	232- 4

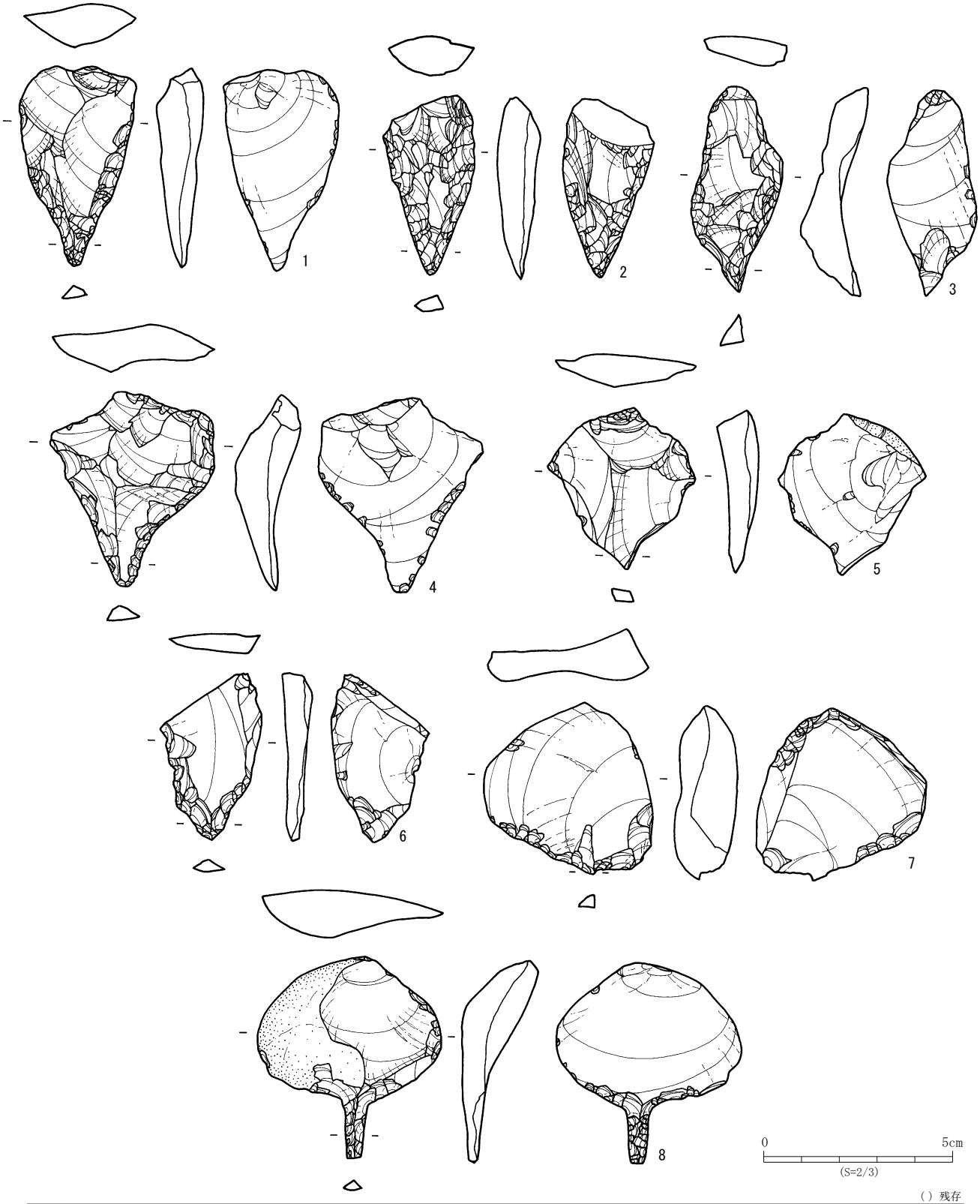
第534図　縄文時代ピット出土遺物（３）



（）残存

No.	登録番号	遺　構	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-a-6090	P60820	石鏃	珪質頁岩	28.5	23.2	6.9	4.2	－	232-9
2	Ka-a-6091	P61019	石鏃	珪質頁岩	27.5	23.2	19.6	4.8	－	232-10
3	Ka-a-6092	P60935	石鏃	玉髄	27.8	9.0	5.2	1.7	－	232-11
4	Ka-a-6093	P60683	石鏃	瑪瑙	(25.9)	(16.6)	4.6	(1.3)	右脚部欠損。	-
5	Ka-a-6094	P60611	石鏃	流紋岩	(23.2)	(14.0)	4.8	(0.6)	左脚部欠損。	232-12
6	Ka-a-6095	P60279	石鏃	流紋岩	18.2	14.5	4.0	0.5	－	232-13
7	Ka-a-6096	P61020	石鏃	玉髄	(16.1)	(14.3)	2.5	(0.4)	左脚部欠損。	232-14
8	Ka-a-6097	P60863	石鏃	流紋岩	(12.2)	(8.7)	4.6	(0.3)	先端部・右脚部欠損。	232-15
9	Ka-b-6088	P60306	石錐	珪質頁岩	39.9	25.9	7.8	5.3	－	232-16
10	Ka-b-6089	P60912	石錐	珪質頁岩	31.7	28.6	18.2	5.1	－	232-17
11	Ka-b-6090	P60696	石錐	珪質頁岩	32.0	22.7	5.0	2.8	－	232-18
12	Ka-b-6091	P60306	石錐	珪質頁岩	34.0	11.0	4.8	1.5	－	232-20
13	Ka-b-6092	P60685	石錐	頁岩	31.2	11.2	7.9	2.0	－	232-21
14	Ka-b-6093	P60262	石錐	珪質頁岩	34.1	22.8	7.9	5.5	－	232-22
15	Ka-b-7033	P70406	石錐	珪質頁岩	35.1	29.7	9.5	7.8	－	232-27
16	Ka-b-7034	P70009	石錐	頁岩	35.7	29.3	10.8	7.4	－	232-31
17	Ka-b-6094	P60687	石錐	珪質頁岩	22.2	24.3	5.7	2.5	－	232-32

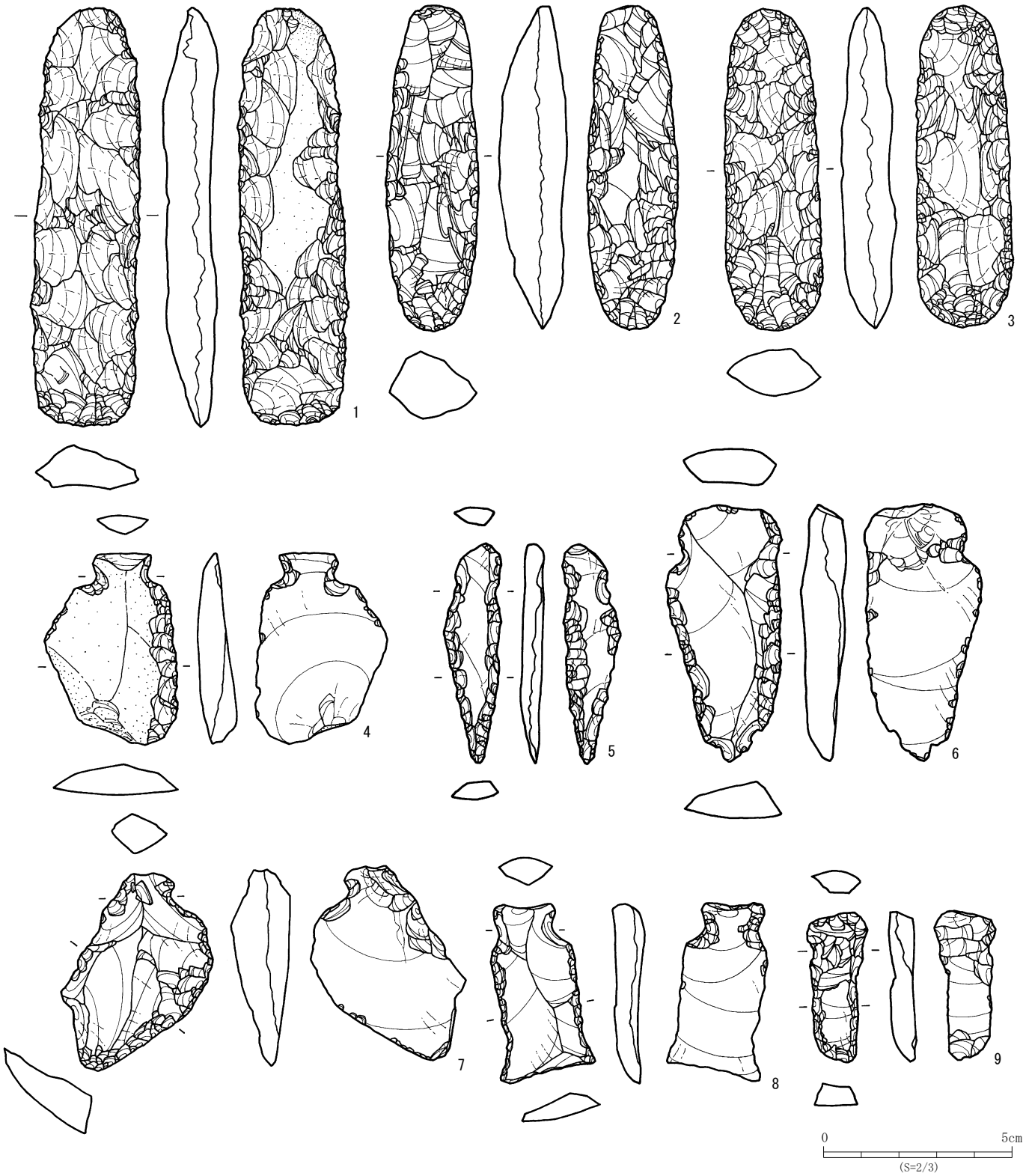
第535図　縄文時代ピット出土遺物（4）



（）残存

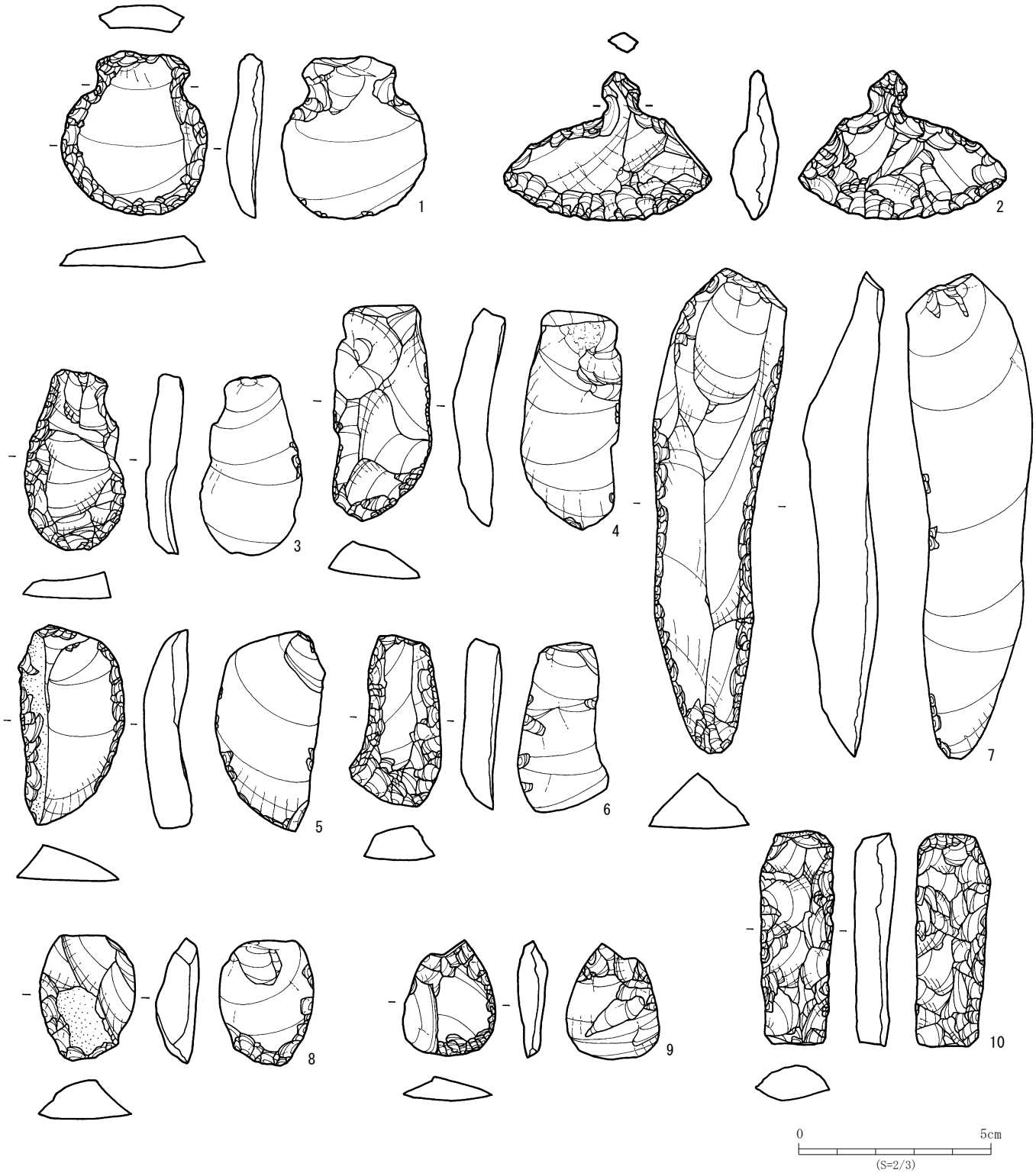
№.	登録番号	遺　構	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(ｇ)	備　考	写真図版
1	Ka-b-6095	P60934	石錐	珪質頁岩	53.0	31.1	12.6	14.8	－	232-23
2	Ka-b-6096	P60700	石錐	珪質頁岩	(47.5)	(24.2)	(11.4)	(10.9)	つまみ部欠損。	232-24
3	Ka-b-6097	P60897	石錐	頁岩	54.7	24.8	11.2	9.5	－	232-25
4	Ka-b-6098	P60644	石錐	頁岩	51.3	43.1	11.5	14.8	－	232-29
5	Ka-b-6099	P60933	石錐	頁岩	35.6	35.2	9.8	11.3	－	232-30
6	Ka-b-6100	P60139	石錐	珪質頁岩	44.5	26.0	7.0	6.4	－	232-26
7	Ka-b-6101	P60895	石錐	珪質頁岩	46.1	40.7	13.9	24.6	－	232-28
8	Ka-b-6102	P60680	石錐	珪質頁岩	(55.2)	48.8	16.4	(23.7)	－	232-19

第536図　縄文時代ピット出土遺物（５）



№.	登録番号	遺　構	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　　考	写真図版
1	Ka-c-6006	P60200	石篦	珪質頁岩	108.8	27.8	13.5	47.2	－	233-1
2	Ka-c-7004	P70456	石篦	珪質頁岩	86.1	24.5	17.6	38.1	表裏中央部稜線に摩耗痕有り。	233-2
3	Ka-c-6007	P60009	石篦	珪質頁岩	38.9	25.5	13.7	35.5	－	233-3
4	Ka-d-6051	P60770	石匙	珪質頁岩	50.6	34.5	9.4	14.6	縦型。	233-4
5	Ka-d-6052	P60911	石匙	珪質頁岩	57.7	15.2	5.6	5.2	縦型。	233-5
6	Ka-d-6053	P60231	石匙	珪質頁岩	67.8	31.8	11.8	23.5	縦型。	233-6
7	Ka-d-6054	P60897	石匙	珪質頁岩	54.8	36.0	15.3	21.8	縦型。	233-9
8	Ka-d-6055	P60644	石匙	珪質頁岩	46.5	25.2	5.7	8.5	縦型。	233-7
9	Ka-d-7031	P70642	石匙	珪質頁岩	40.0	16.2	6.3	4.1	縦型。裏面両側縁に光沢有り。	233-10

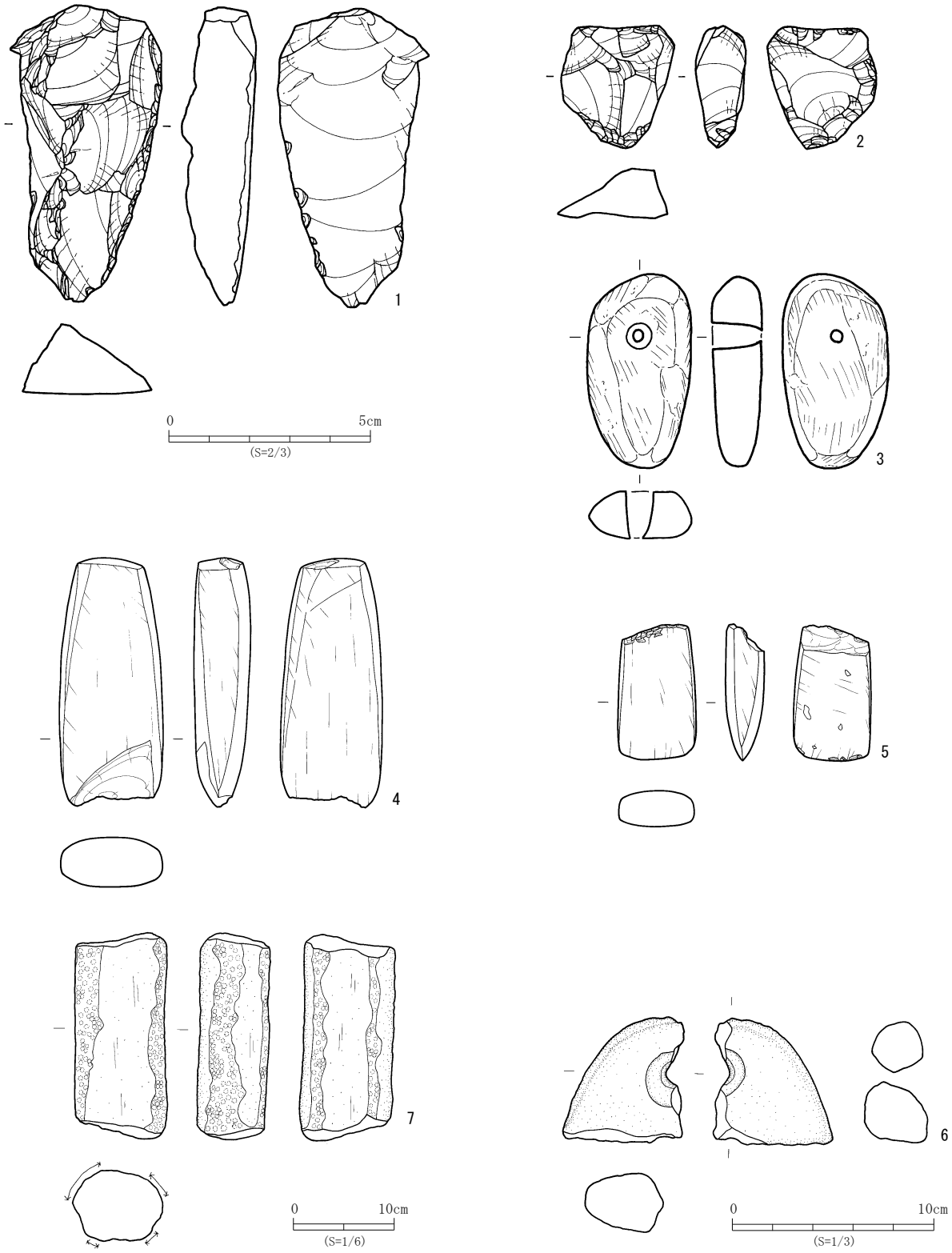
第537図　縄文時代ピット出土遺物(6)



（）残存

№.	登録番号	遺　構	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　　考	写真図版
1	Ka-d-7032	P70603	石匙	珪質頁岩	42.6	37.0	7.7	13.3	刃部円形。	233-11
2	Ka-d-6056	P60023	石匙	珪質頁岩	38.8	53.4	11.0	14.4	横型。	233- 8
3	Ka-e-6064	P60271	スクレイパー	珪質頁岩	46.7	26.4	8.2	8.9	－	233-13
4	Ka-e-6065	P60919	スクレイパー	珪質頁岩	54.5	27.0	10.3	14.8	－	233-14
5	Ka-e-6066	P60819	スクレイパー	珪質頁岩	50.8	26.9	11.2	12.9	－	233-15
6	Ka-e-6067	P60104	スクレイパー	珪質頁岩	44.3	24.5	8.2	10.5	－	233-16
7	Ka-e-6068	P60130	スクレイパー	珪質頁岩	125.6	34.9	17.8	57.9	－	233-12
8	Ka-e-6069	P60687	スクレイパー	珪質頁岩	31.9	25.5	10.1	8.3	－	233-18
9	Ka-e-6070	P60502	スクレイパー	珪質頁岩	29.6	22.8	17.7	4.6	－	233-17
10	Ka-e-6071	P61011	スクレイパー	珪質頁岩	(54.1)	19.0	10.1	(13.8)	下端部欠損。	233-19

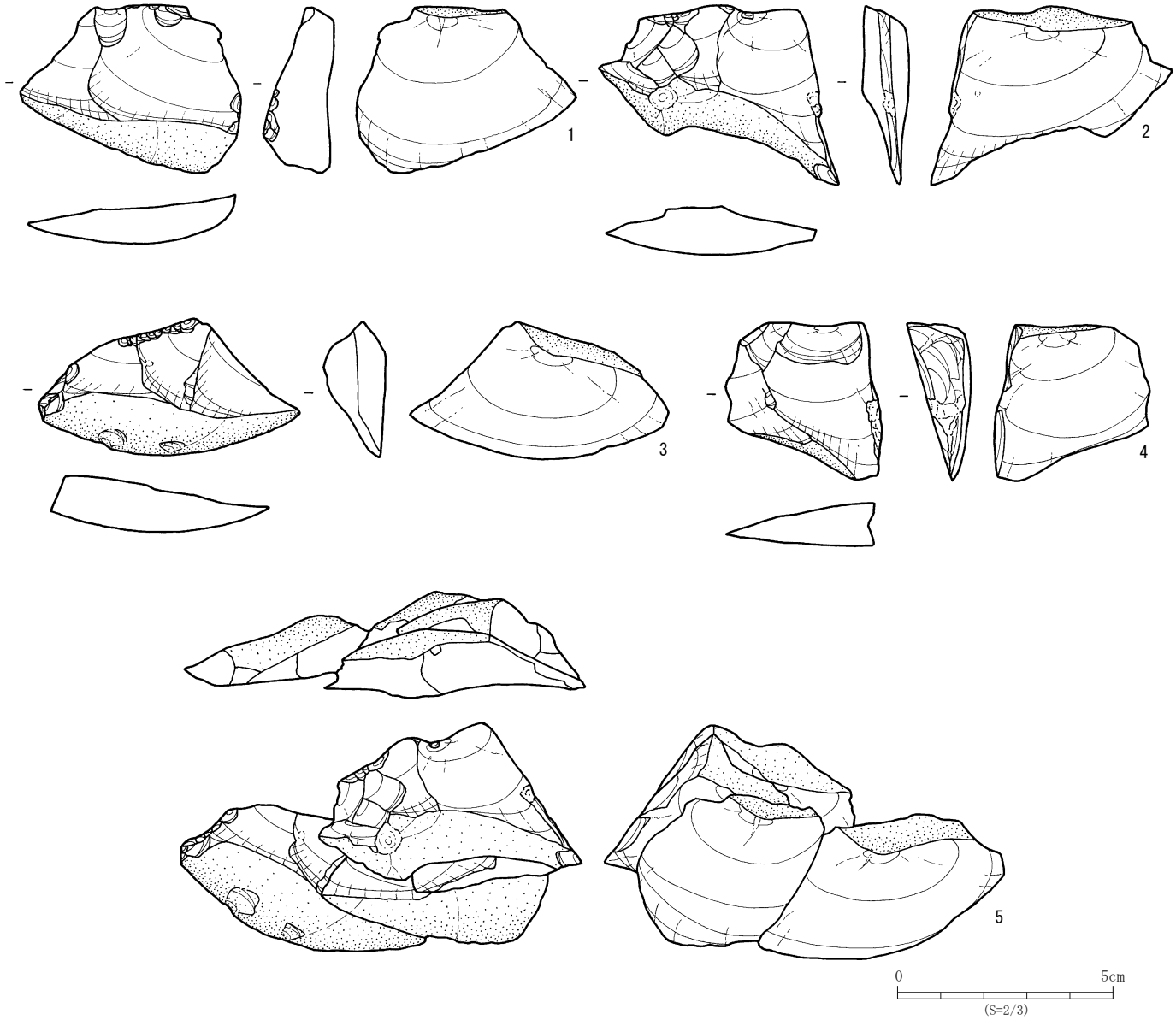
第538図　縄文時代ピット出土遺物（７）



（）残存

No.	登録番号	遺　構	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-e-6072	P60967	スクレイパー	珪質頁岩	72.4	37.4	18.2	41.6	－	233-20
2	Ka-f-7005	P71612	クサビ形石器	珪質頁岩	30.5	27.7	12.0	8.8	－	233-21
3	Kd-f-6002	P60911	硬玉製大珠	翡翠	47.8	26.3	11.5	28.2	－	233-22
4	Kb - 6006	P60570	磨製石斧	蛇紋岩	(123.3)	50.8	27.8	(298.0)	－	233-24
5	Kb - 7005	P71801	磨製石斧	蛇紋岩	(67.0)	37.5	19.0	(85.0)	－	233-25
6	Kd-h-6001	P60671	有孔石錘	安山岩	(63.0)	(60.0)	(31.0)	(78.0)	－	233-23
7	Kd-d-6003	P60313	石棒	デイサイト	(205.0)	(93.0)	(71.0)	(2,098.0)	敲4、部分的に被熱痕有り、部分破片、S=1/6。	233-27

第539図　縄文時代ピット出土遺物（８）



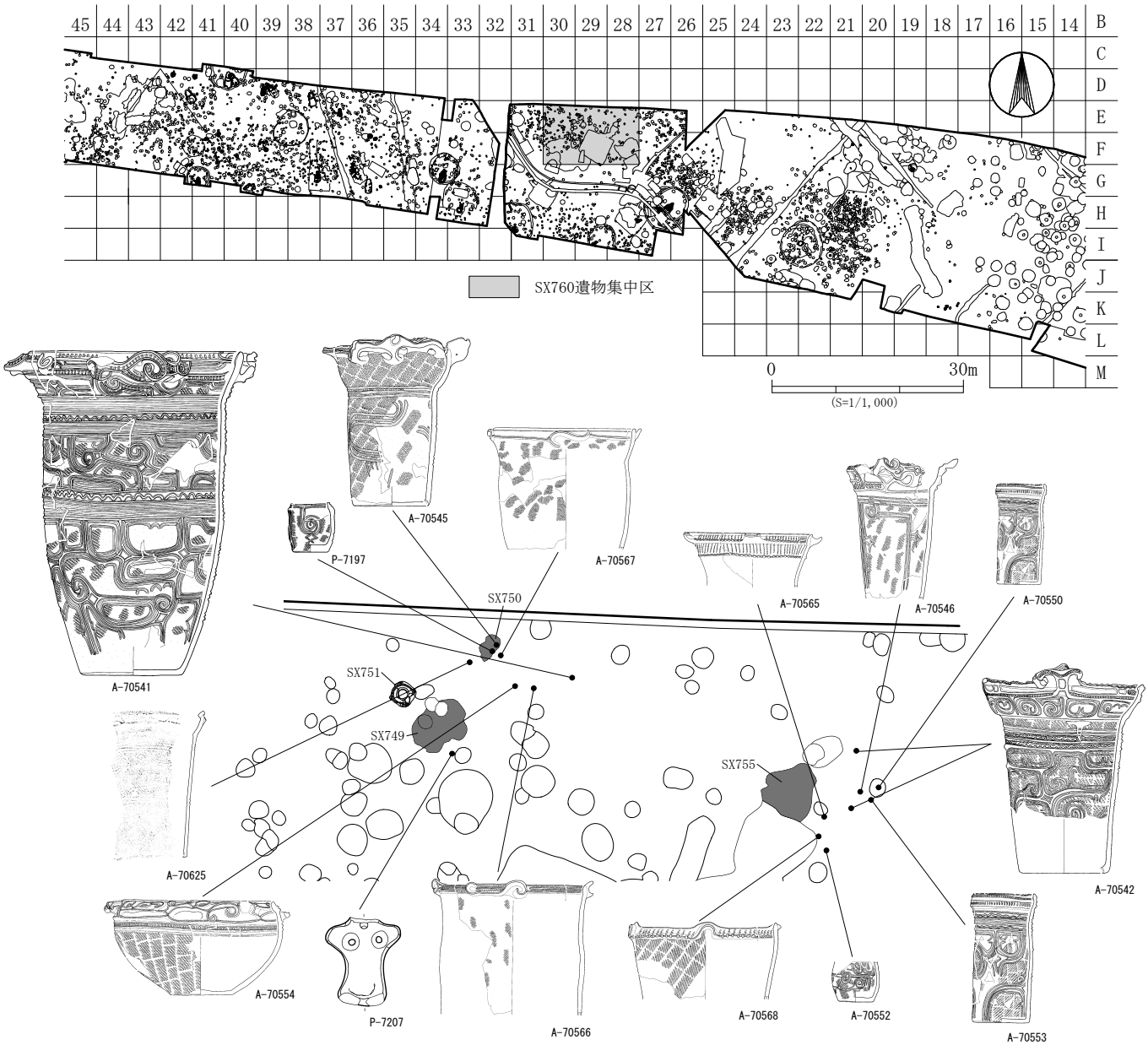
№.	登録番号	遺　構	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-h-7004	P70325	二次加工のある剥片	珪質頁岩	37.6	51.1	8.9	15.7	－	-
2	Ka-i-7011	P70325	微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	36.5	61.4	10.7	15.8	－	-
3	Ka-i-7012	P70325	微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	31.3	59.9	10.7	16.1	－	-
4	Ka-l-7004	P70325	剥片	珪質頁岩	36.9	44.4	11.1	11.8	－	-
5	Ka-h-7004+Ka-i-7011+Ka-i-7012+Ka-l-7004			珪質頁岩	54.2	93.8	25.2	59.3	接合図。	233-26

第540図　縄文時代ピット出土遺物(９)

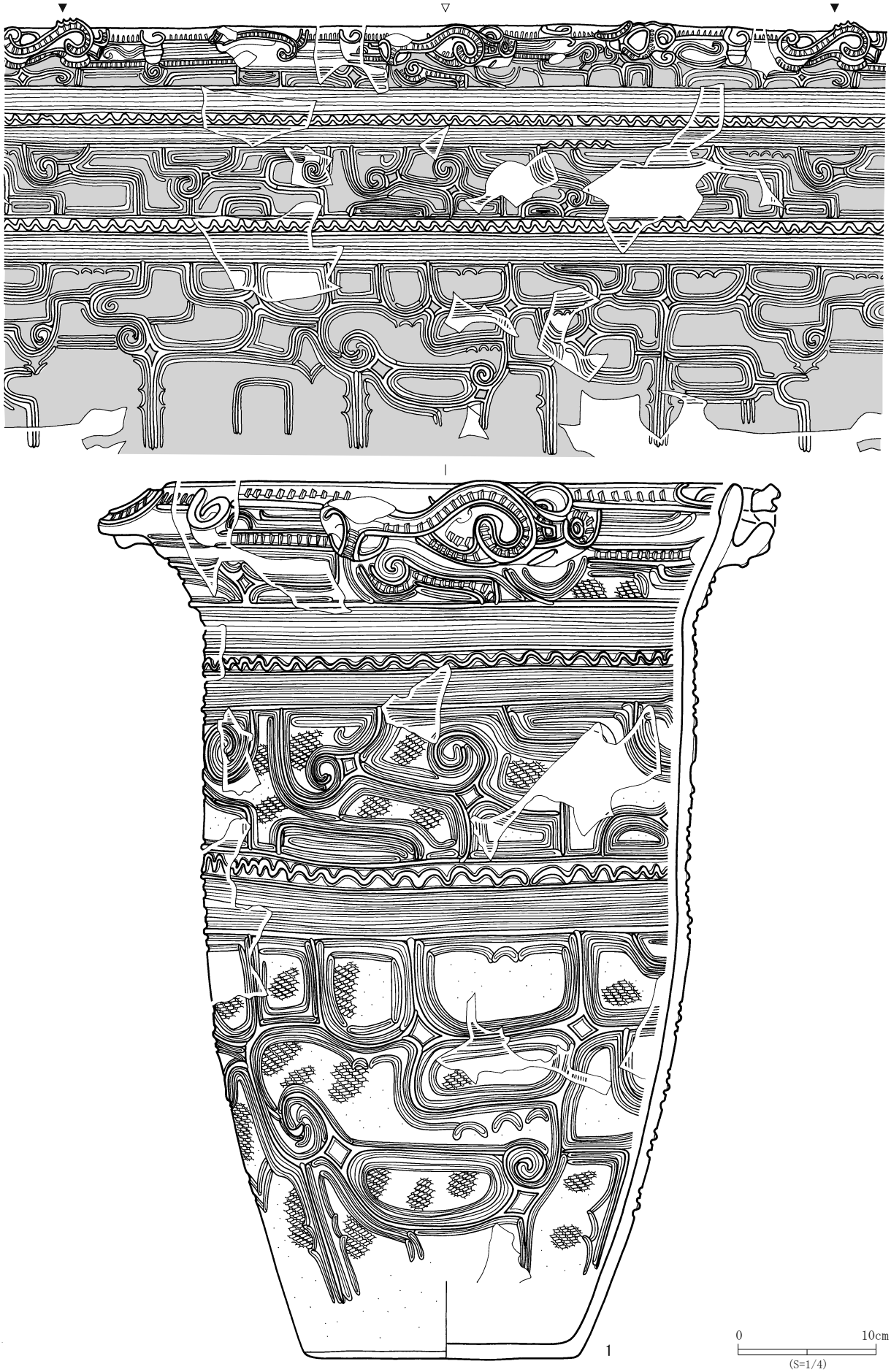
８．遺構外出土遺物

本遺跡では遺構以外からも多量の遺物が検出された。ここでは表土掘削や遺構検出時に出土したものの他に風倒木など自然営為により出来た凹みに流入した遺物を含む。また、遺構内出土遺物の中で遺構の時期と異なるものは他時期の混入遺物と考えて遺構外出土遺物の中に含めた。第６次調査１区西側から第７次調査１区の間にはⅡ層～Ⅲ層が残存しており、特に第７次調査１区では調査区全体に土器および礫が分布した状態が見られたため、上層で検出されたものを「確認面第１」とし、５㎝ほど下げた段階で検出されたものを「確認面第２」として遺物を取り上げた。これらは本遺跡の遺物包含層となっているが、少量ではあるが土師器・須恵器などが出土しており後世に撹乱を受けている可能性がある。また、第７次調査３区Ｅ・Ｆ－28～30グリッド周辺では完形土器を含む多量の土器がまとまって潰れた状態で出土しており、この部分をＳＸ760遺物集中区とした。特にＳＸ749焼土跡、ＳＸ755焼土跡周辺の２ヵ所にまとまりが見られ、遺物はほぼ同一レベルで出土した（第541図）。

以下、土器・土製品を第542図、石器を第591図より示した。

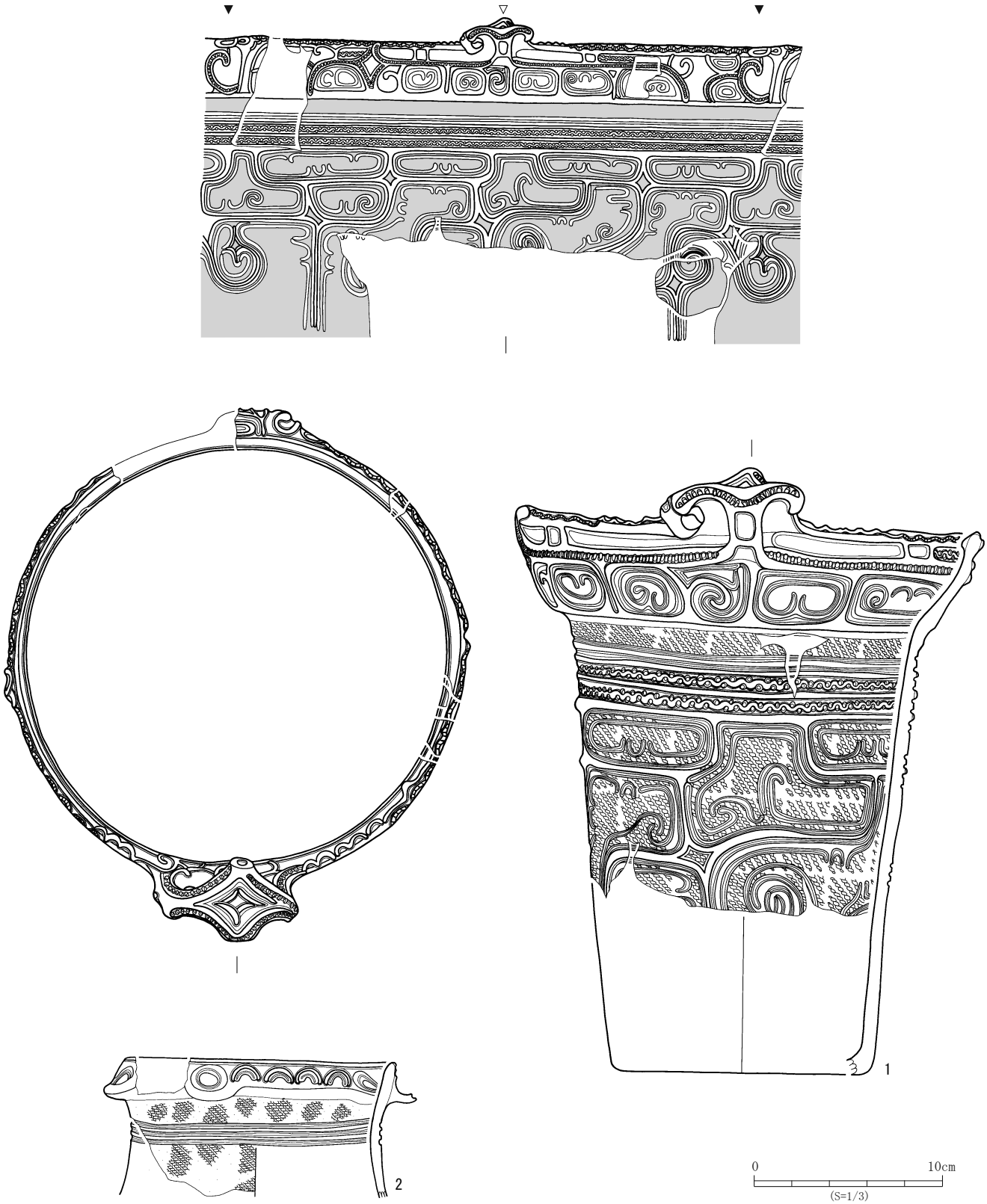


第541図　SX760遺物集中区位置図および遺物分布図



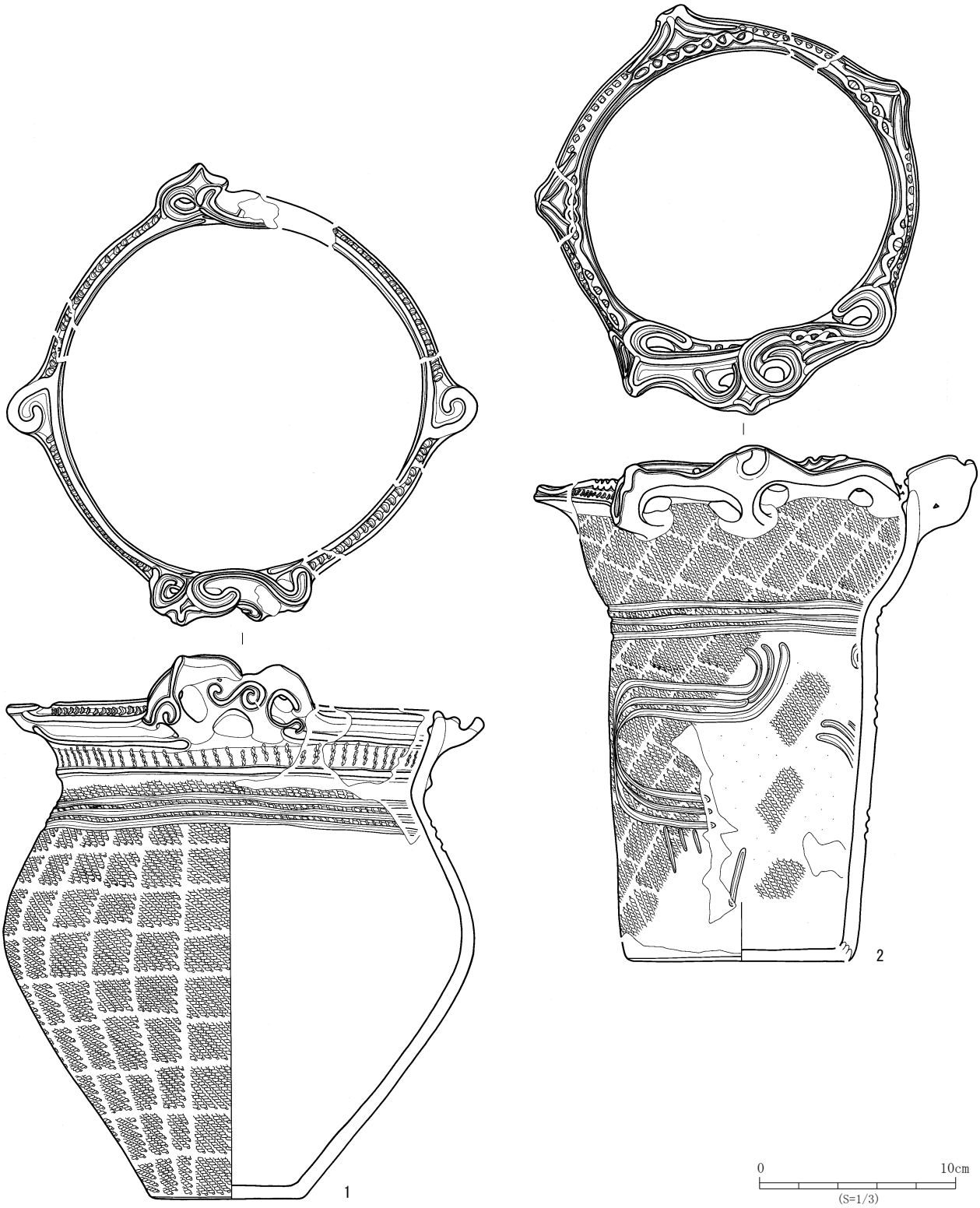
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70541	E-29Gr.	深鉢・口縁～底部	口縁部：渦巻把手、渦巻・横位有刻隆線文、弧状・棘状・菱形・横位隆線文、弧状沈線文。頸部：横位小波状隆線文、横位沈線文。胴部：平行する横位隆線文間に小波状隆線文、曲流沈線文、棘状・弧状・「コ」字状・横位沈線文。底部：ナデ。	S=1/4。	243-1

第542図　縄文時代遺構外出土遺物（1）



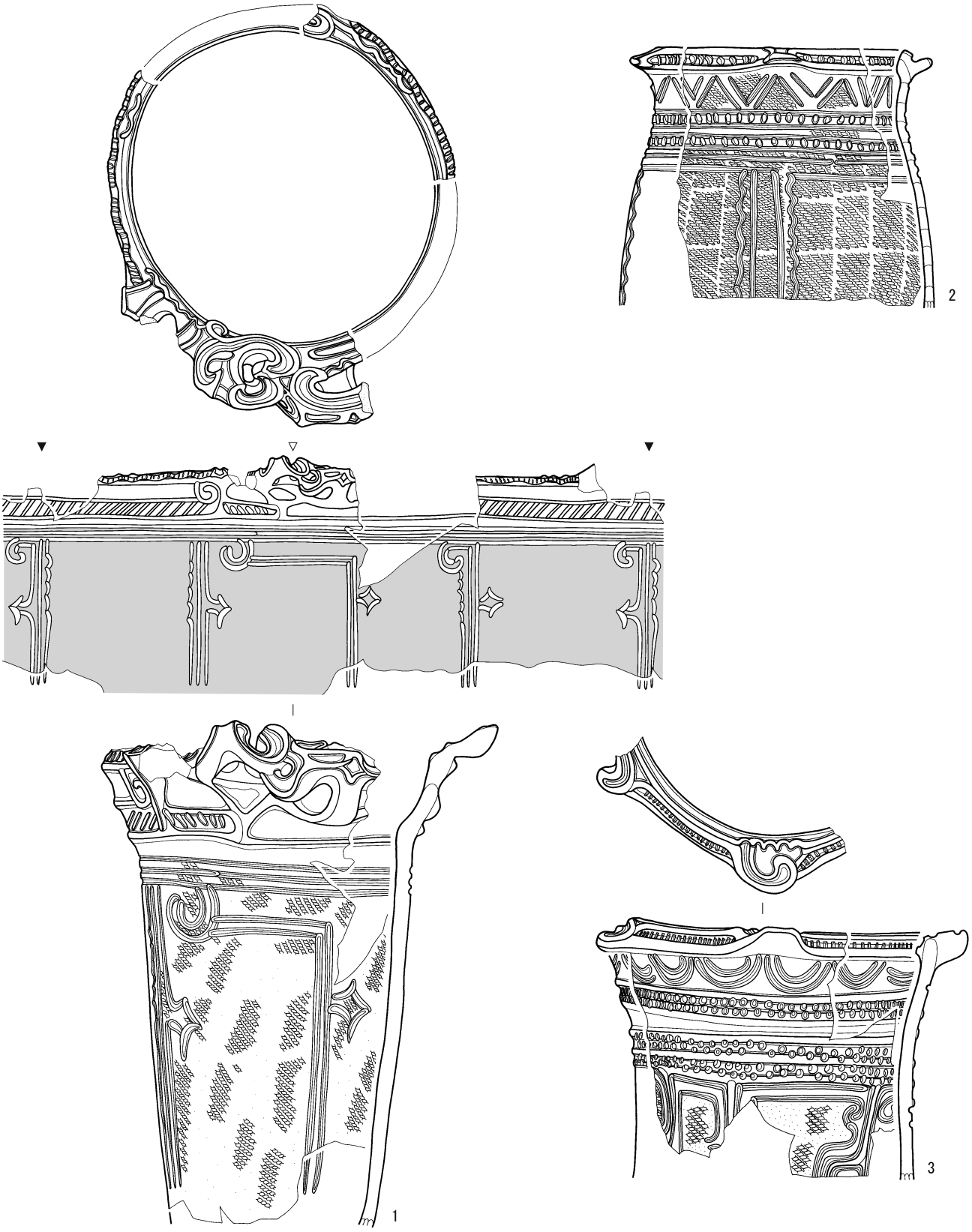
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70542	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部:口縁把手、波状隆線文上及び弧状隆沈線文上に連続刺突文、区画・渦巻・弧状沈線文。胴部:平行隆線文間に波状隆線文＋交互刺突文、区画・渦巻・弧状・棘状沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	234-2
2	A-70543	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位隆帯上に円形・弧状隆沈線文、横位沈線文。胴部：ナデ。	－	-

第543図　縄文時代遺構外出土遺物（２）



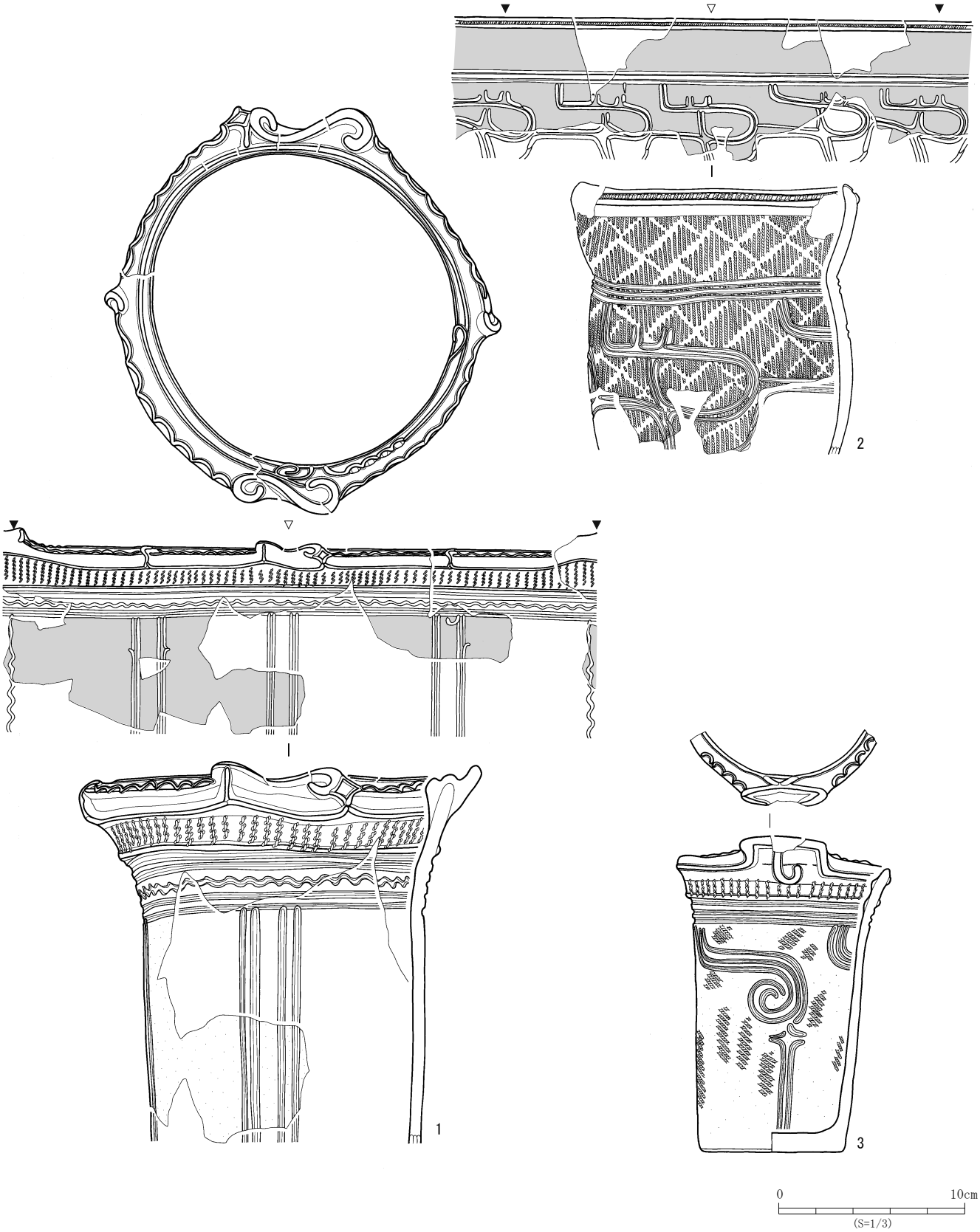
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70544	E-29Gr.	深鉢・口縁～底部	口縁部：袋状把手、渦巻突起、口唇部に連続刺突文、横位隆線文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。胴部：横位沈線文。頸部～胴部：縄文ＬＲ縦位施文。底部：ナデ。	–	234-9
2	A-70545	E-29Gr.	深鉢・口縁～底部	口縁部：袋状把手、口縁突起、横位隆帯上に連続刺突文、渦巻・弧状隆線文、ナデ。頸部：横位沈線文。胴部：弧状・縦位沈線文、ナデ。底部：ナデ。	–	234-10

第544図　縄文時代遺構外出土遺物（３）



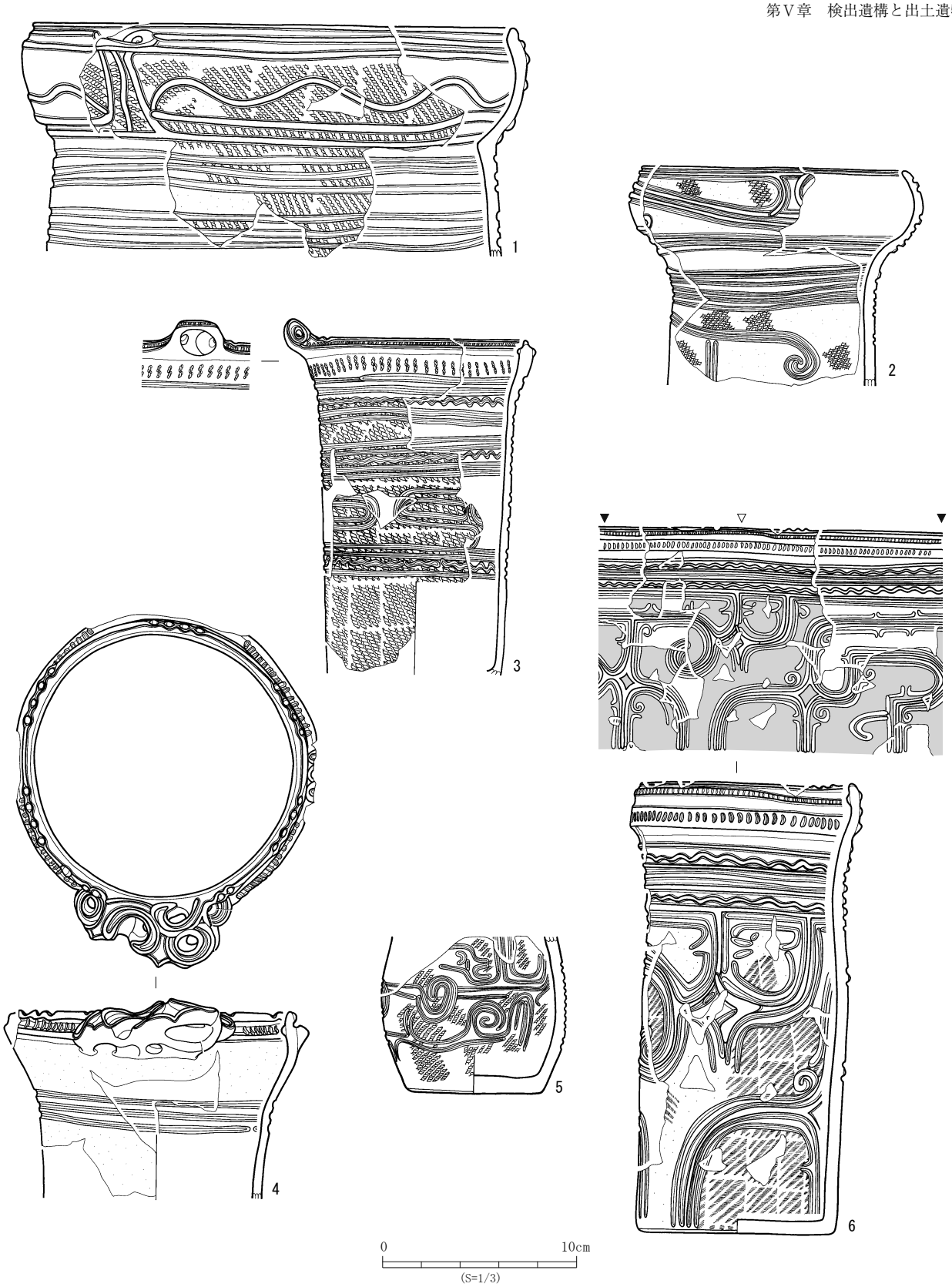
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70546	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部:袋状把手、横位有刻隆線文、横位平行隆線文間に斜位短沈線文、渦巻・弧状隆沈線文。胴部:剣先・弧状・横位・縦位沈線文、縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	摩滅激しい。	234-3
2	A-70547	H-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：楕円形区画隆線文内に連続刺突文、斜位沈線文。頸部：横位平行沈線文間に連続刺突文。胴部：小波状・横位・縦位沈線文。口縁～胴部：縄文ＬＲ縦位施文。	–	234-4
3	A-70548	E-28～31Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：渦巻突起、横位連続刺突文、横位隆線文、弧状・横位沈線。胴部：横位隆線文沿いに交互刺突文、区画・渦巻・弧状・棘状沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	摩滅激しい。	-

第545図　縄文時代遺構外出土遺物（４）



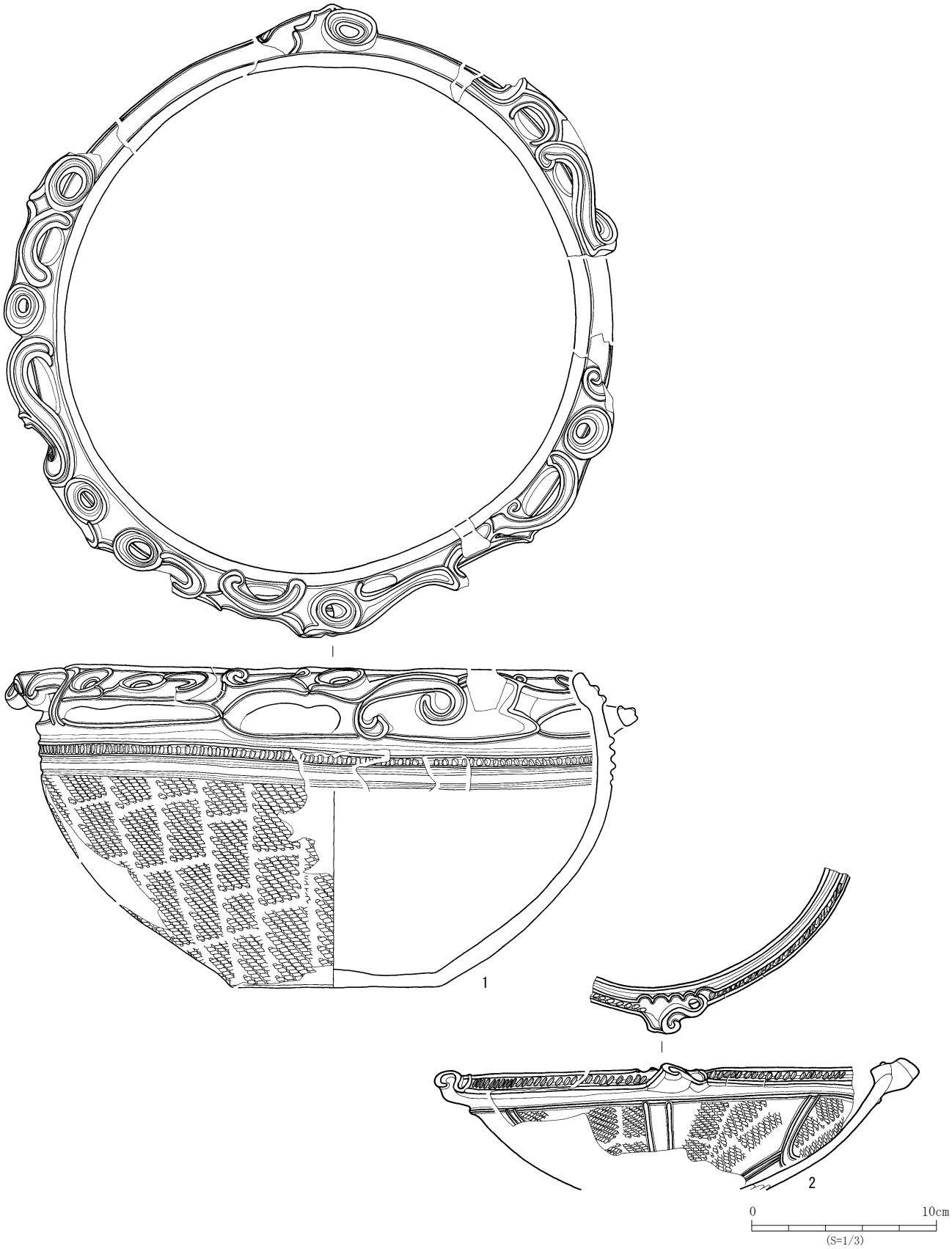
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61259	K-18・19Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部:「Ｓ」字状貼付突起、区画・波状・横位隆線文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。胴部:波状・横位・縦位沈線文。	摩滅激しい。	-
2	A-61260	J-20Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：連続刺突文、横位隆線文、ナデ。胴部：連続クランク状・十字状沈線文、横位沈線文。	－	234-５
3	A-70549	E・F-28Gr.	深鉢・口縁～底部	口縁部：口縁突起、「Ｊ」字状貼付文、横位隆線文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。内面に横位隆線文。胴部：渦巻・弧状・棘状・横位・縦位沈線文。底部：ナデ。	－	234-６

第546図　縄文時代遺構外出土遺物（５）



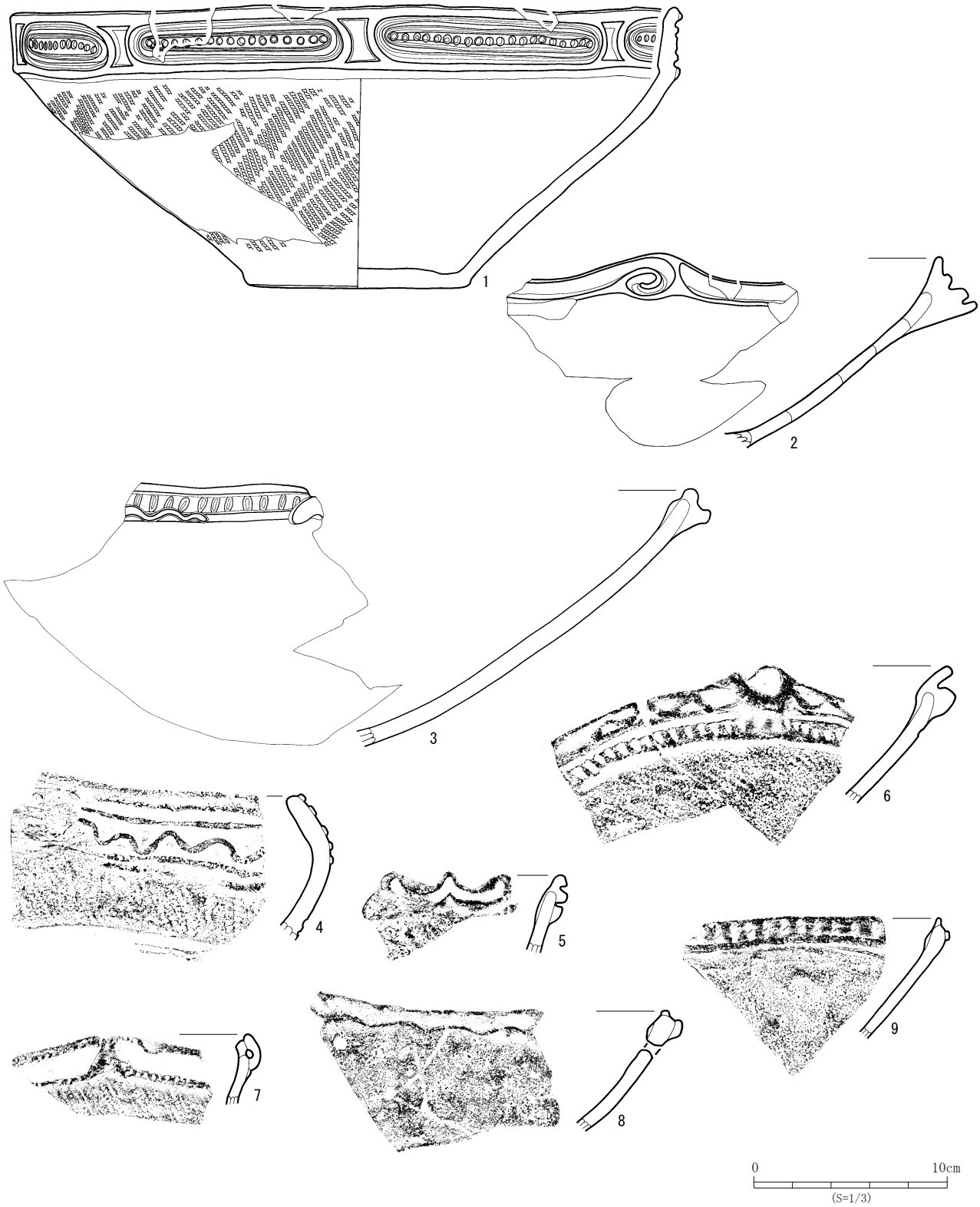
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61261	F-16Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：波状・横位・縦位隆線文。頸部：横位沈線文。胴部：横位沈線文。	－	-
2	A-61262	H-26Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：弧状・横位隆沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。胴部：横位隆線文、渦巻・横位・縦位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	摩滅激しい。	-
3	A-70550	E-28～31Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：口縁把手、横位隆線文、連続刺突文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。胴部：楕円形区画・小波状・横位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	234-11
4	A-70551	E-28～31Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：袋状把手、円形・弧状隆沈線文、連続刺突文、横位隆線文。胴部：横位沈線文。	摩滅激しい。	234-7
5	A-70552	E-28Gr.	小型深鉢・胴部～底部	胴部：曲流・渦巻・弧状・横位・縦位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。底部：ナデ。	－	234-8
6	A-70553	E・F-28Gr.	深鉢・口縁～底部	口縁部:横位有刻隆線文。頸部:横位小波状隆線文、横位隆沈線文。胴部:曲流隆沈線文。底部:ナデ。	－	234-12

第547図　縄文時代遺構外出土遺物（６）



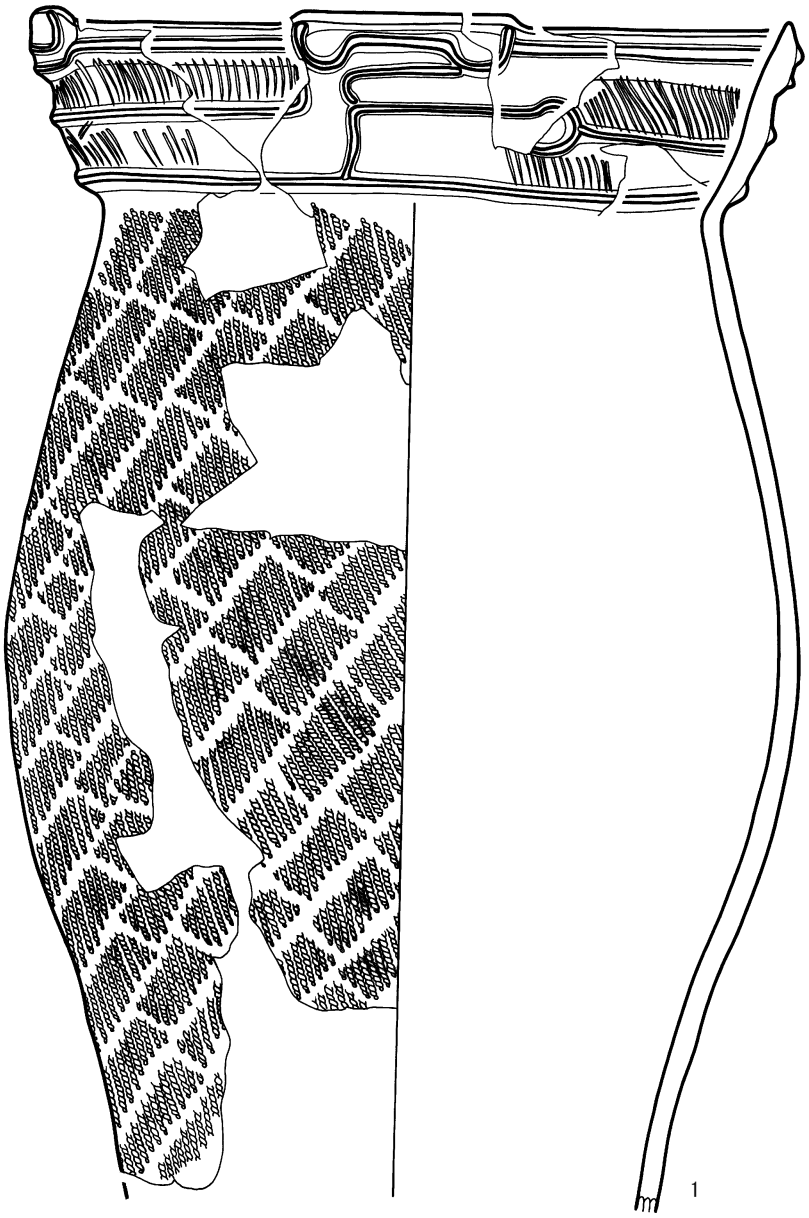
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70554	E-29Gr.	浅鉢・口縁～底部	口縁部：口縁把手、弧状・円形隆沈線文、弧状・横位隆線文。胴部：横位隆沈線文上に連続刺突文、横位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。底部：ナデ。	_	235-１
2	A-70555	E-28Gr.	浅鉢・口縁～胴部	口縁部：「Ｓ」字状貼付突起、横位隆線文上に連続刺突文。胴部：弧状・横位・縦位・斜位隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。	_	-

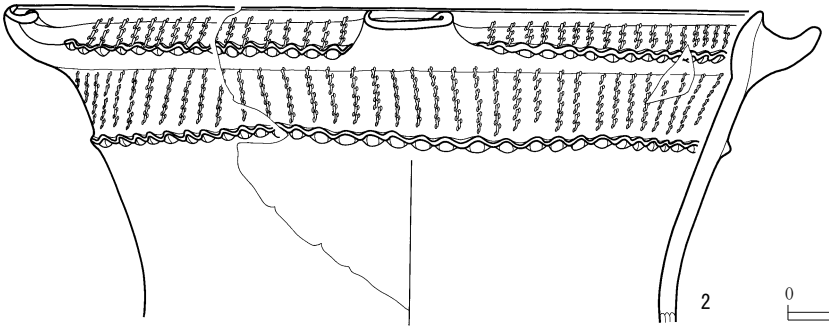
第548図　縄文時代遺構外出土遺物（７）



No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70556	E-29Gr.	浅鉢・口縁～底部	口縁部：楕円形区画隆線文内に連続刺突文。胴部：縄文ＬＲ斜位施文。底部：ナデ。	－	235-5
2	A-70557	E-51・52Gr.F-52Gr.	浅鉢・口縁～胴部	口縁部：渦巻突起、横位隆沈線文。胴部：ナデ。	－	-
3	A-70558	E-28Gr.	浅鉢・口縁～胴部	口縁部：横位隆沈線文上に連続刺突文、横位波状隆線文、「Ｓ」字状貼付文？。胴部：ナデ。	－	-
4	A-61263	G・J-23～27Gr.	浅鉢・口縁部	口縁部：波状・横位隆線文。胴部：縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
5	A-70559	E-29Gr.	浅鉢・口縁部	弧状隆沈線文。	－	-
6	A-70560	D・E-50～52Gr.	浅鉢・口縁部	横位押捺隆線文、横位有刻隆線文。	－	-
7	A-70561	E-30Gr.	浅鉢・口縁部	橋状把手、隆線文上に連続刺突文。	－	-
8	A-70562	G-32Gr.	浅鉢・口縁部	横位押捺隆線文。円孔有り。	－	-
9	A-70563	E-26Gr.	浅鉢・口縁部	横位連続刺突文、横位隆線文。	－	-

第549図　縄文時代遺構外出土遺物（８）





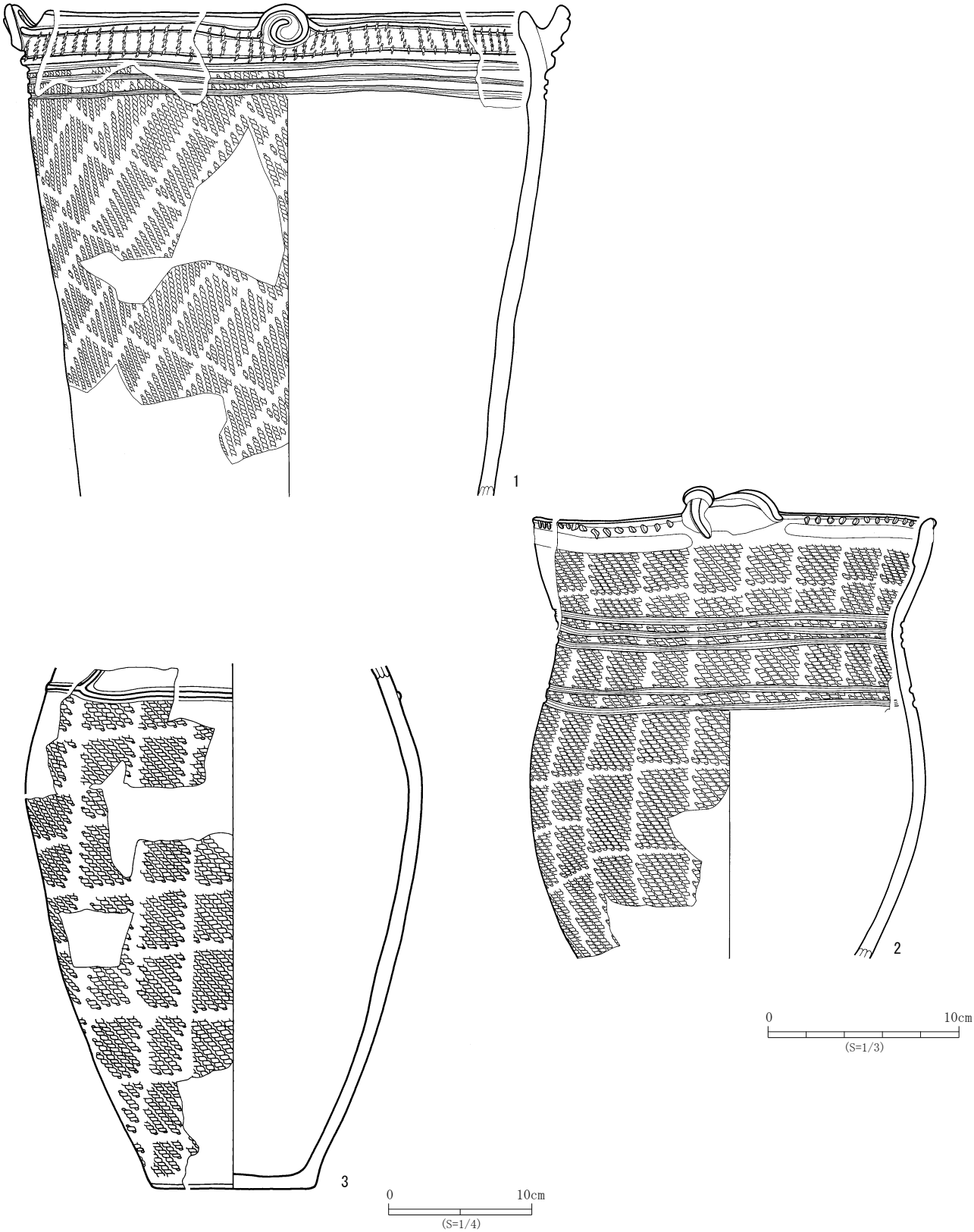
0　10cm
(S=1/3)

№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70564	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：弧状・横位隆線文、縦位・斜位沈線文。胴部：縄文ＬＲ斜位施文。	－	235-２
2	A-70565	E-29Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：口縁突起、横位押捺波状隆線文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。	－	-

第550図　縄文時代遺構外出土遺物（９）

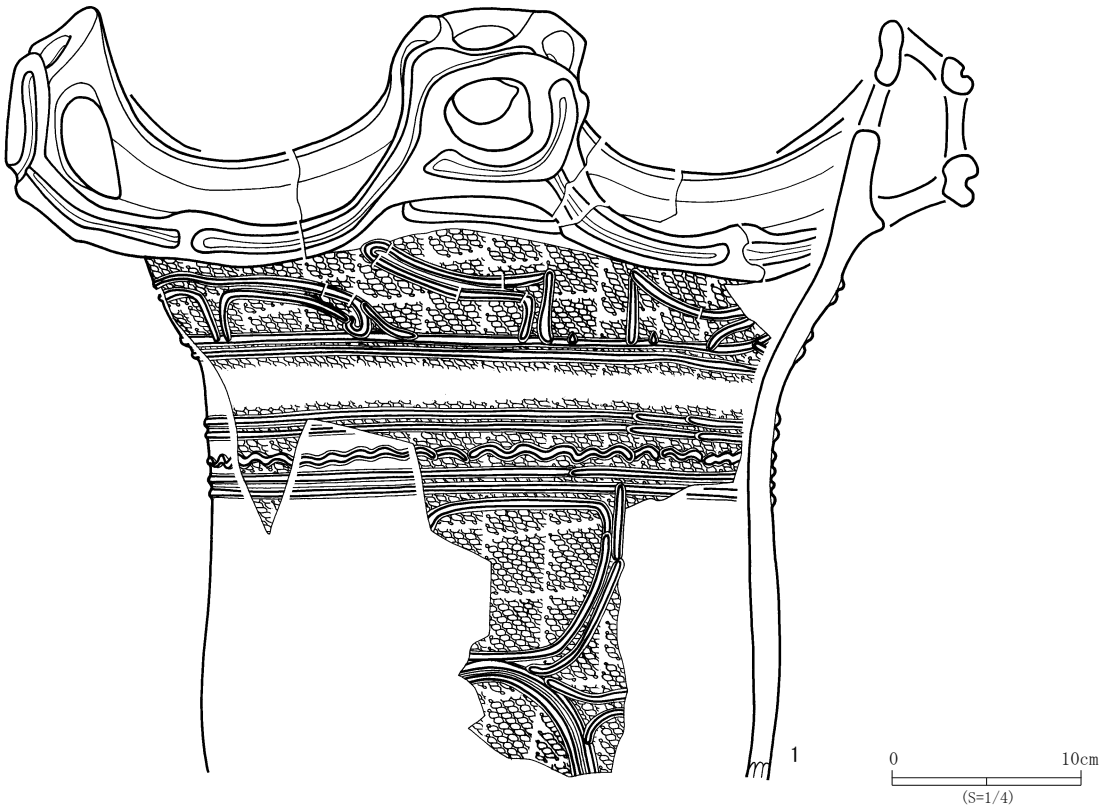
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70566	E-29Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：「S」字状貼付文、横位有刻隆沈線文。胴部：縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	摩滅激しい。	-
2	A-70567	E-28～31Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：「S」字状貼付文、横位隆線文。口縁～胴部：縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	摩滅激しい。	-
3	A-70568	F-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：口縁突起、横位押捺隆線文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。胴部：縄文Ｌ斜位施文。	－	-

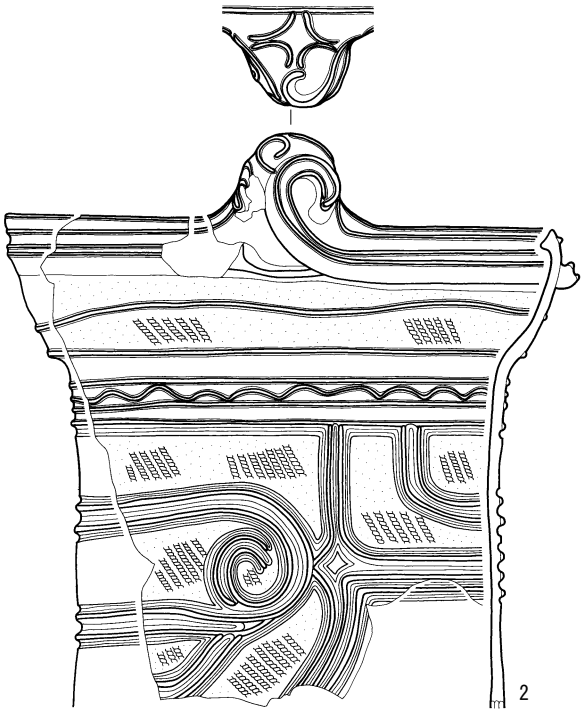
第551図　縄文時代遺構外出土遺物(10)

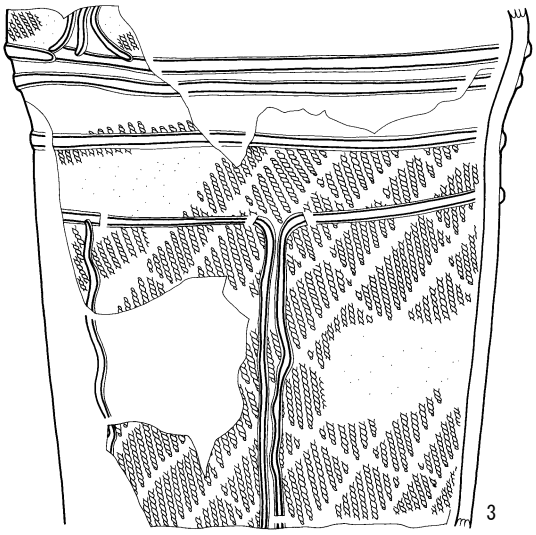


№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61264	F-16Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：渦巻突起、横位隆沈線文、横位沈線文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。胴部：ナデ。	－	-
2	A-70569	E-29Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：口縁突起、横位隆線文沿いに連続刺突文。頸部：横位沈線文。胴部：横位沈線文。口縁～胴部：縄文ＬＲ縦位施文。	－	235-３
3	A-70570	E-44Gr.	深鉢・胴部～底部	胴部：横位隆線文、縄文ＬＲ縦位施文。底部：ナデ。	S=1/4。	235-６

第552図　縄文時代遺構外出土遺物(11)



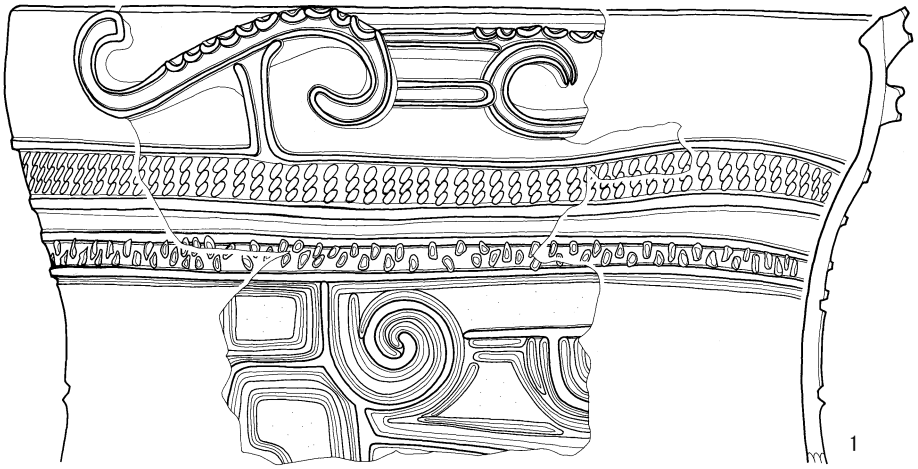




0　10cm
(S=1/3)

№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61265	H～J-20～22Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：袋状把手、弧状・横位隆沈線文、弧状・横位・縦位隆線文。頸部：無文。胴部：平行する２条１組の隆線文間に小波状隆線文、弧状・縦位隆線文。	S=1/4。	235-8
2	A-70571	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：口縁把手、横位隆沈線文、波状・弧状・横位隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。頸部：平行する隆線文間に波状隆線文。胴部：曲流渦巻・横位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	摩滅激しい。	235-7
3	A-70572	E-30Gr.	深鉢・口縁下部～胴部	口縁部:弧状・横位隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。胴部:区画・波状・横位隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-

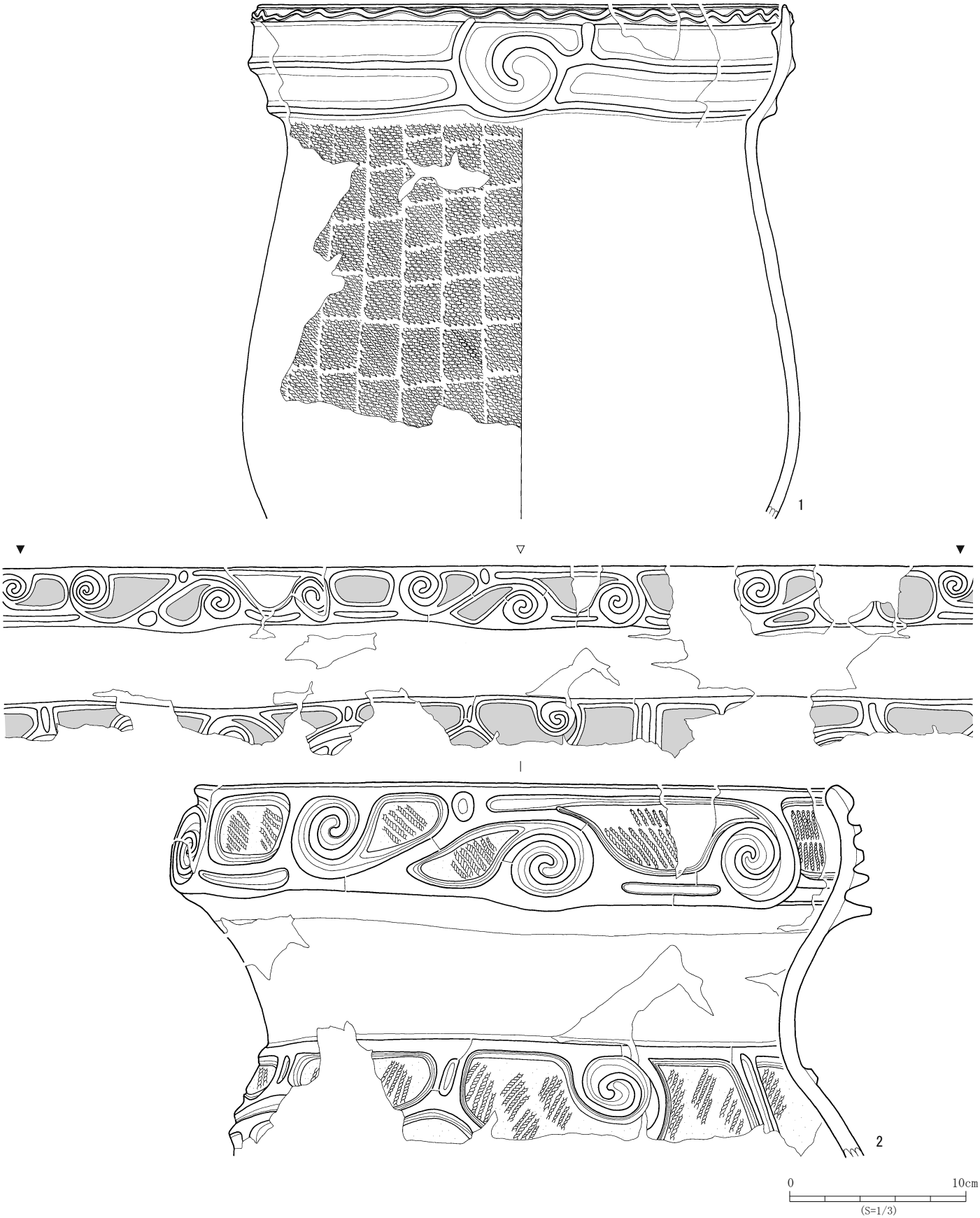
第553図　縄文時代遺構外出土遺物(12)



0　10cm
(S=1/3)

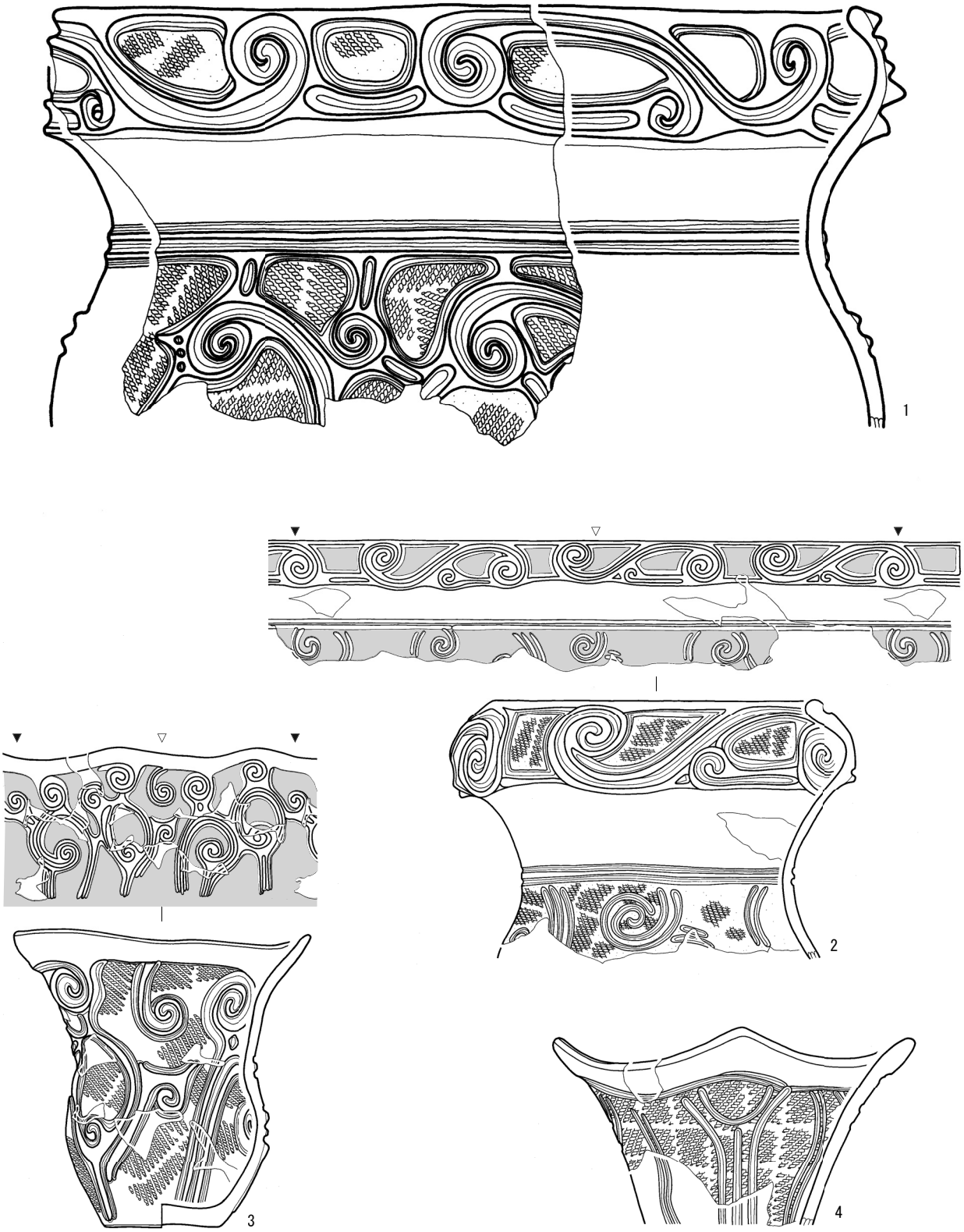
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70573	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：「S」字状貼付文、弧状・横位隆沈線文、横位隆線文、押圧縄文Ｌ縦位施文。胴部：横位隆線文沿いに交互刺突文、渦巻・方形・弧状・横位隆沈線文。	磨滅激しい。	-
2	A-61266	F-16Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：口縁把手、連続刺突文、横位隆沈線文、渦巻・弧状・横位隆線文。胴部：渦巻・弧状・横位・縦位隆線文。口縁・胴部：縄文ＬＲ縦位施文。	_	-

第554図　縄文時代遺構外出土遺物(13)



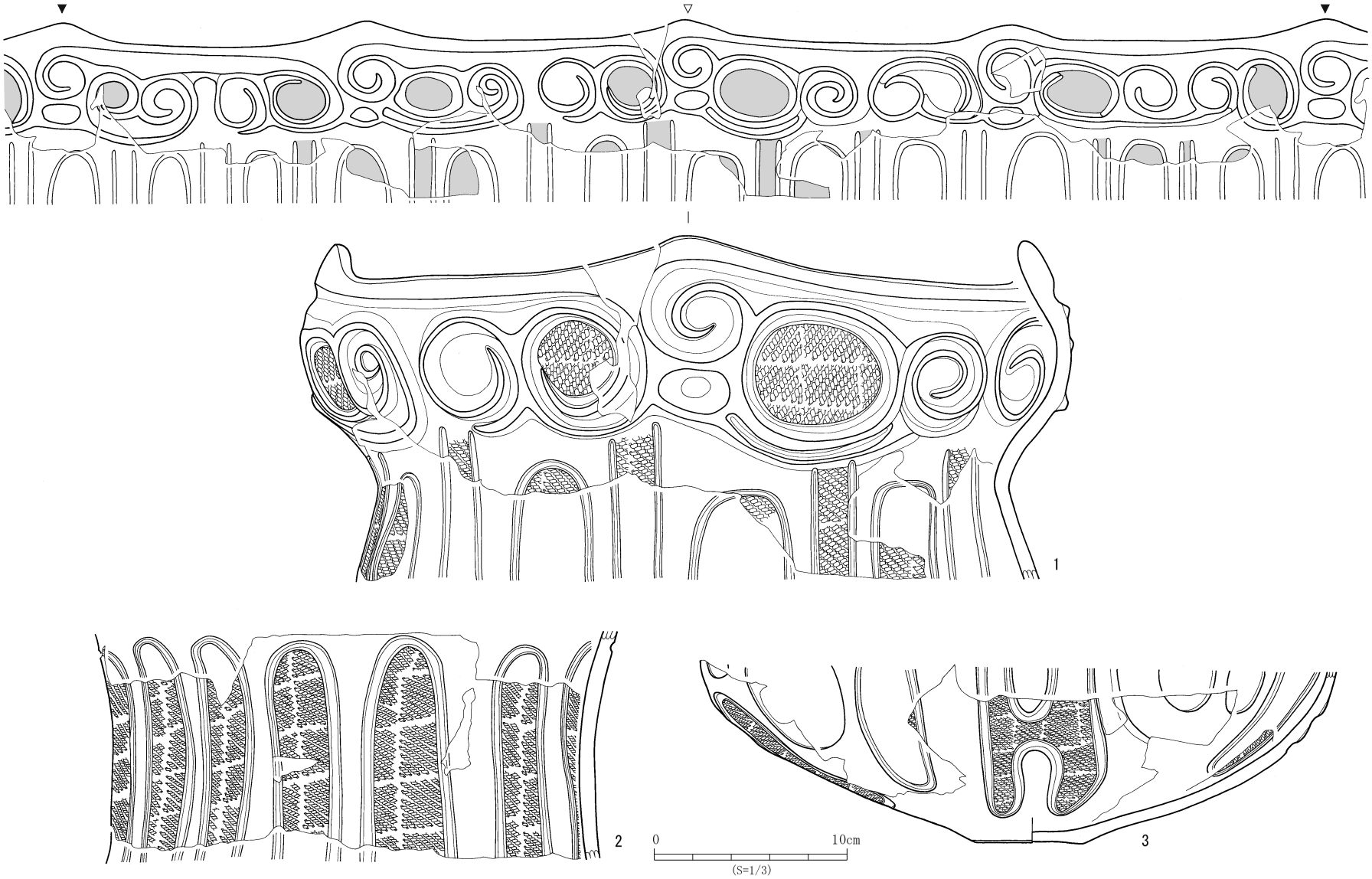
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70574	E-46Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：渦巻・小波状・横位隆線文。胴部：ナデ。	－	235-4
2	A-70575	F・G-29・30Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：横位連続渦巻・楕円隆沈線文、区画内縄文 RL 斜位施文。頸部：無文。胴部：曲流・渦巻沈線文、区画内縄文 RL 斜位施文。	－	235-1

第555図　縄文時代遺構外出土遺物(14)



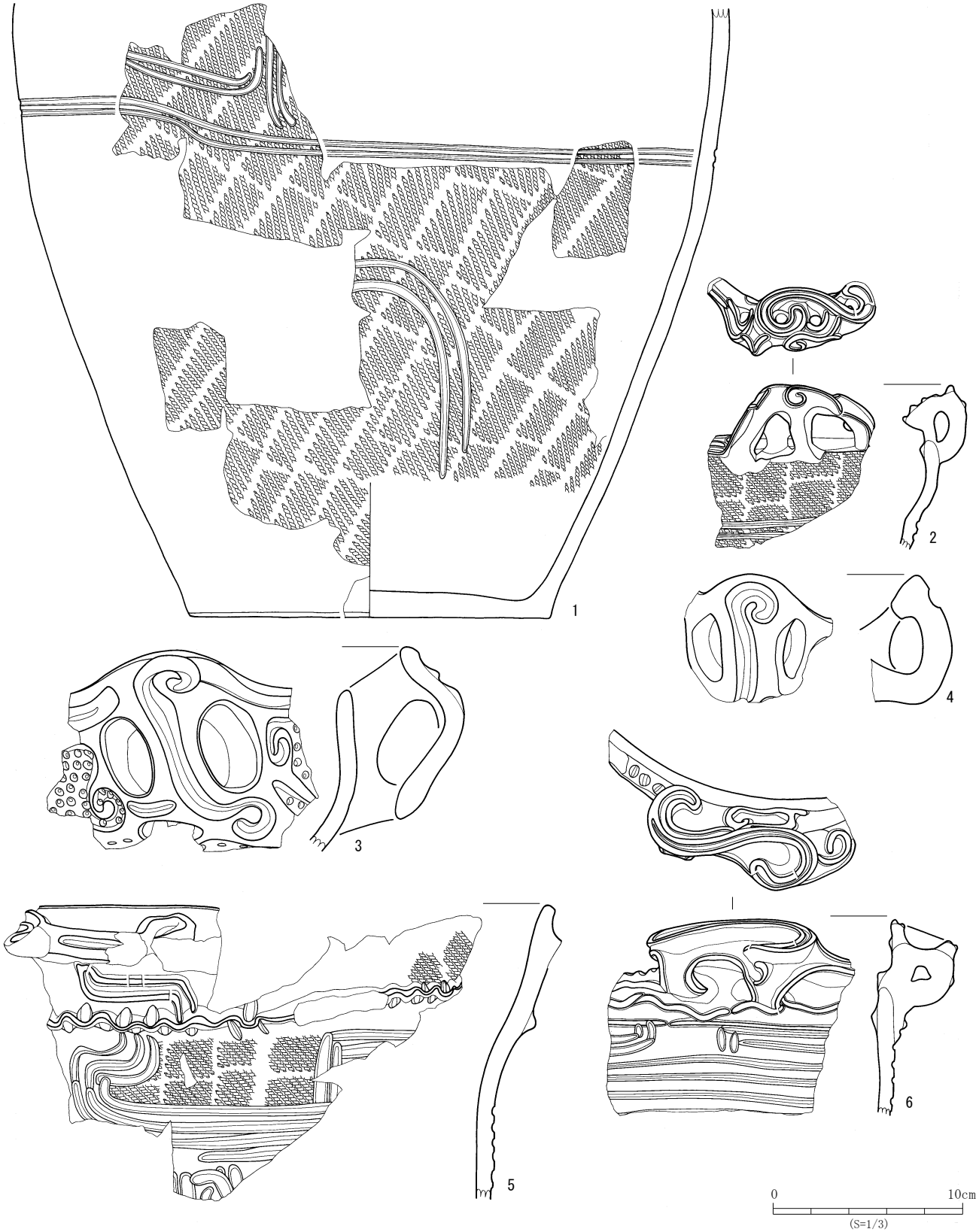
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70576	E-52・53Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位連続渦巻・楕円隆沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。頸部：無文。胴部：曲流・渦巻隆沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位・斜位施文。	_	236-2
2	A-70577	F-41Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位連続渦巻隆沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。頸部：無文。胴部：渦巻・弧状・横位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	_	236-3
3	A-70578	F-45Gr.	深鉢・口縁～底部	口縁部：無文。胴部：曲流渦巻隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。底部：ナデ。	－	236-5
4	A-70579	D-39Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：波状口縁、無文。胴部：弧状・横位・縦位沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	236-4

第556図　縄文時代遺構外出土遺物(15)



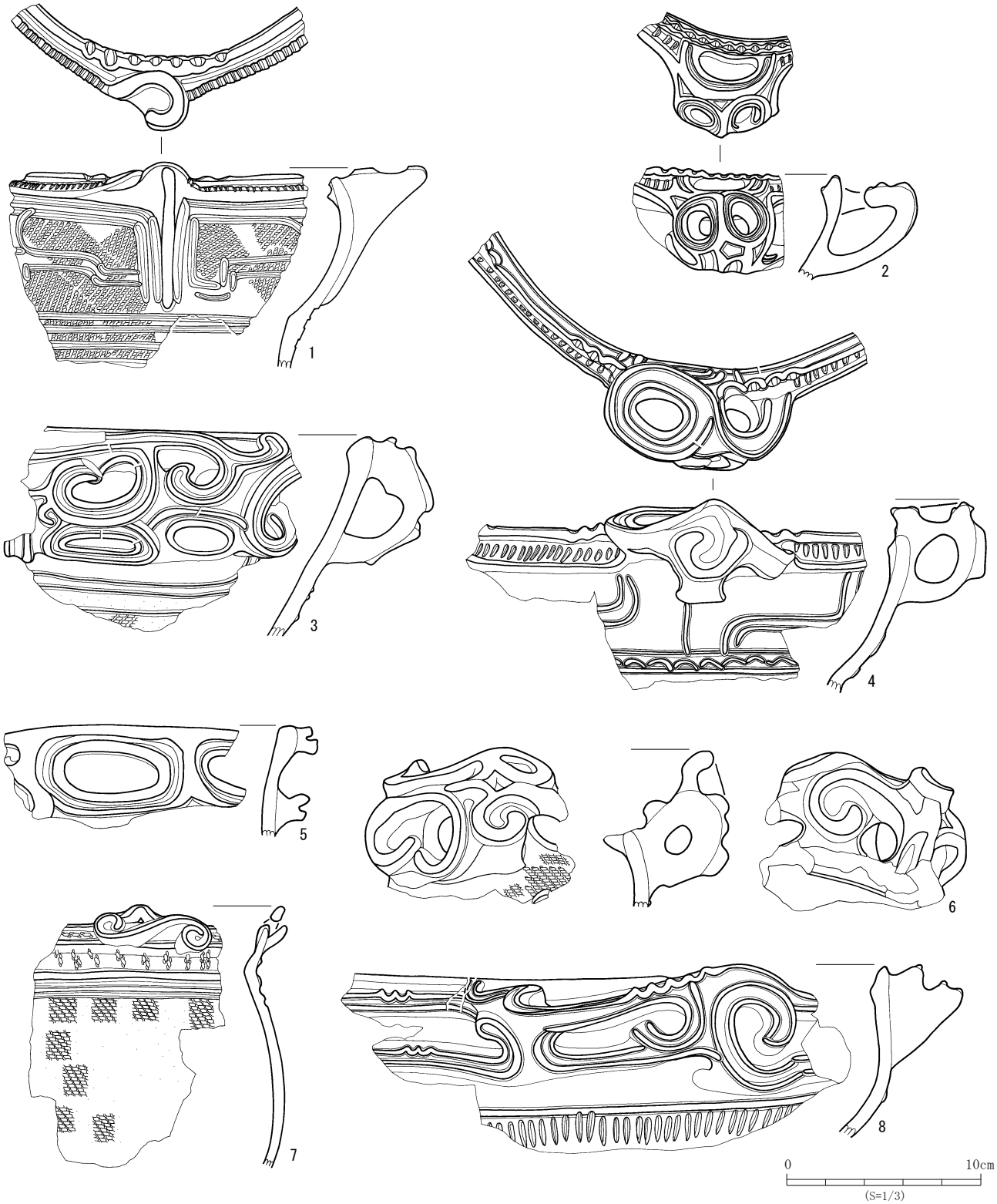
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61267	G-11Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：横位連続渦巻・楕円形隆沈線文、区画内に縄文ＬＲ横位施文。胴部：「∩」字状・縦位区画沈線文内に縄文ＬＲ縦位施文。	－	236-6
2	A-70580	E・F-28・29Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状区画沈線文内に縄文ＬＲ縦位施文。	－	236-7
3	A-70581	F・G-29・30Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：楕円形・「H」字状？区画沈線文内に縄文ＬＲ縦位施文。底部：ナデ。	－	236-8

第557図　縄文時代遺構外出土遺物(16)



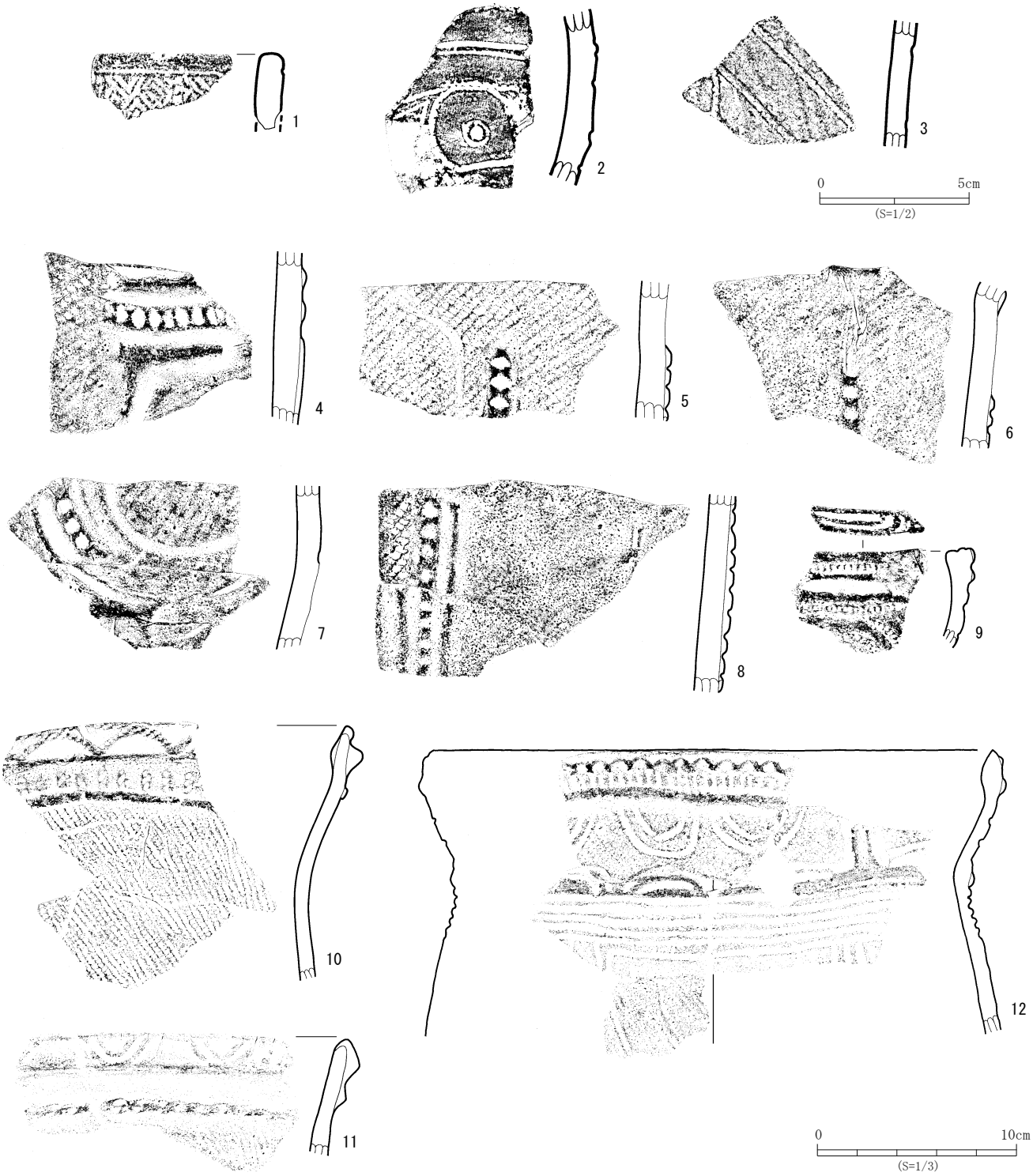
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70576	E-52・53Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位連続渦巻・楕円隆沈線文、区画内縄文 LR 斜位施文。頭部：無文。胴部：曲流・渦巻隆沈線文、区画内縄文 LR 縦位・斜位施文。	_	236-2
2	A-70577	F-41Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位連続渦巻隆沈線文、区画内縄文 LR 斜位施文。頭部：無文。胴部：渦巻・弧状・横位沈線文、縄文 LR 斜位施文。	_	236-3
3	A-70578	F-45Gr.	深鉢・口縁～底部	口縁部：無文。胴部：曲流渦巻隆沈線文、縄文 LR 斜位施文。底部：ナデ。	_	236-5
4	A-70579	D-39Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：波状口縁、無文。胴部：弧状・横位・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。	_	236-4

第558図　縄文時代遺構外出土遺物(17)



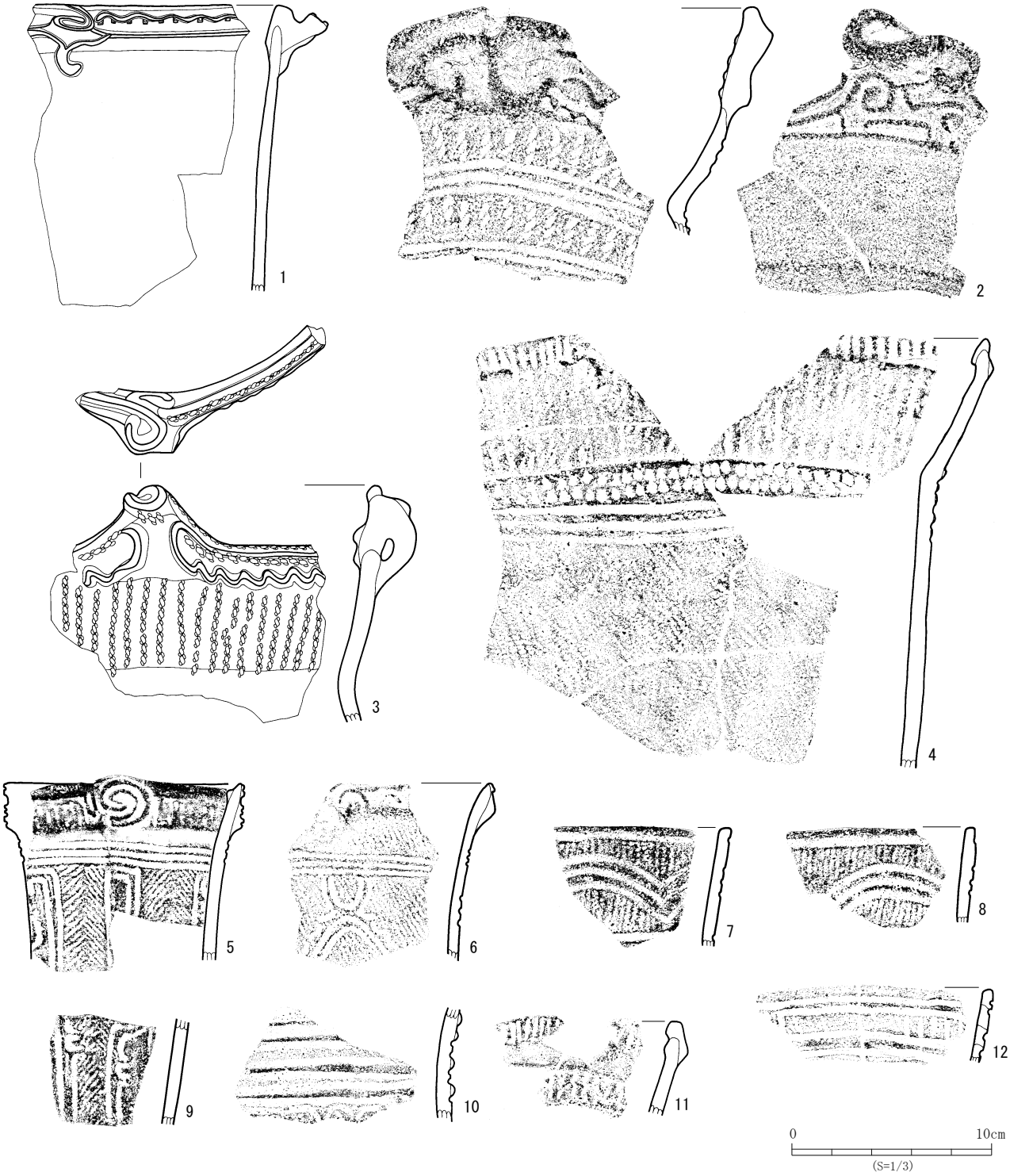
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70583	E-28～31Gr.	深鉢・口縁部	口縁突起、弧状隆線文、弧状・横位・縦位沈線文。口唇部に押引文。	－	-
2	A-70584	E-28～31Gr.	口縁把手	袋状把手、円形・弧状隆沈線文。口唇部に連続刺突文。	－	-
3	A-70585	B・C-51Gr.	深鉢・口縁部	橋状把手、円形・弧状隆沈線文、横位隆線文、縄文ＲＬ施文。	－	-
4	A-70586	E-29Gr.	深鉢・口縁部	橋状把手、クランク状・弧状・横位・縦位隆線文。口唇部に連続刺突文。	－	-
5	A-61273	F-18・19Gr.	深鉢・口縁部	横位楕円形区画隆沈線文。	－	-
6	A-61274	F・G-32・33Gr.	口縁把手	渦巻・弧状隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
7	A-70587	E-29Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部:「Ｓ」字状貼付文、横位隆線文、押圧縄文ＬＲ縦位・斜位施文。胴部:縄文ＬＲ縦位施文。	摩滅激しい。	-
8	A-70588	E-28Gr.	深鉢・口縁部	有棘曲流隆沈線文、横位隆線文沿いに縦位短沈線状刺突文。	－	-

第559図　縄文時代遺構外出土遺物(18)



No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61275	I-15・16Gr.	深鉢・口縁部	横位沈線文、縄文ＲＬ施文。	S=1/2。	237-3
2	A-70589	C-48Gr.	深鉢・胴部	横位沈線文、円形沈線文内中央に円形刺突文。	S=1/2。	237-5
3	A-70590	C-47Gr.	深鉢・胴部	斜位沈線文。	S=1/2。	237-6
4	A-61276	F・G-33・34Gr.	深鉢・胴部	横位有刻隆線文、横位隆線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	237-1
5	A-61277	F・G-33・34Gr.	深鉢・胴部	縦位有刻隆線文、弧状沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
6	A-61278	F・G-32・33Gr.	深鉢・胴部	縦位有刻隆線文、縄文RL縦位施文。	－	-
7	A-61279	F・G-32・33Gr.	深鉢・胴部	弧状有刻隆線文、弧状沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
8	A-61280	F・G-33・34Gr.	深鉢・胴部	縦位有刻隆線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	237-2
9	A-70591	E・F-28・29Gr.	深鉢・口縁部	弧状・横位有刻隆線文。口唇部に弧状沈線文。	－	237-4
10	A-70592	D-47Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：有刻波状隆線文、平行する横位隆線文間に押圧縄文Ｌ縦位施文。胴部：縄文ＲＬ斜位施文。	－	237-8
11	A-70593	E-28Gr.	深鉢・口縁部	横位隆線文上に弧状隆沈線文、横位押捺隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	237-11
12	A-70594	E～J-26～32Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：小波状・横位隆線文、弧状沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。頸部：横位沈線文。胴部：横位・縦位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	237-9

第560図　縄文時代遺構外出土遺物(19)



№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70595	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部:横位隆沈線文、横位小波状隆線文沿いに連続角押し文、渦巻・弧状・横位隆線文。胴部:ナデ。	－	-
2	A-70596	F-36Gr.	深鉢・口縁部	横位沈線文、押圧縄文L縦位施文。内面に渦巻・弧状・横位隆線文。	－	237-10
3	A-70597	E-29Gr.	深鉢・口縁部	橋状把手、渦巻・小波状隆線文、横位隆線文沿いに押圧縄文ＬＲ横位施文、押圧縄文ＬＲ縦位施文。	－	237-7
4	A-70598	E-29Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位有刻隆線文、押圧縄文LR縦位施文。胴部：縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	－	236-15
5	A-70599	G-36Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：渦巻隆沈線文、押圧縄文LR縦位施文。胴部：弧状・横位・縦位沈線文、羽状縄文（2段）縦位施文。	9と同一個体。	237-13
6	A-70600	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：弧状・横位隆線文。胴部：弧状・横位沈線文。口縁～胴部：縄文LR縦位施文。	－	237-14
7	A-70601	D-39Gr.	深鉢・口縁部	弧状・横位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	8と同一個体。	-
8	A-70602	D-39Gr.	深鉢・口縁部	横位・弧状沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	7と同一個体。	238-28
9	A-70603	G-36Gr.	深鉢・胴部	弧状・縦位沈線文、羽状縄文（2段）縦位施文。	5と同一個体。	-
10	A-61281	I・J-23Gr.	深鉢・胴部	横位隆線文、弧状沈線文。	－	-
11	A-61282	F-19Gr.	深鉢・口縁部	横位有刻隆線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
12	A-70604	E-28Gr.	深鉢・口縁部	平行する2条１組の沈線文間に連続縦位短沈線文。	－	237-12

第561図　縄文時代遺構外出土遺物(20)

No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70605	E-29Gr.	深鉢・口縁部	「Ｓ」字状隆沈線文、縦位有刻隆線文、弧状・横位隆線文、横位沈線文。	－	237-15
2	A-70606	E-29Gr.	深鉢・口縁部	縦位短沈線文、渦巻・横位隆線文、弧状・横位沈線文、縄文ＲＬ？斜位施文。	－	-
3	A-70607	E-29Gr.	深鉢・口縁部	横位有刻隆線文、横位隆線文、横位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
4	A-70608	E-28Gr.	深鉢・口縁部	縦位短沈線文、横位隆線文。	－	-
5	A-70609	E-29Gr.	深鉢・口縁部	渦巻短沈線文、渦巻・横位隆線文、渦巻・弧状沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	237-17
6	A-70610	E-30Gr.	深鉢・口縁部	口唇部刻目、横位隆線文。	－	-
7	A-61283	E～H-18～21Gr.	深鉢・口縁部	渦巻隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
8	A-70611	E-29Gr.	深鉢・口縁部	口縁突起、渦巻隆沈線文。内面に弧状隆沈線文。	－	-
9	A-70612	F-18･19Gr.	深鉢・口縁部	円形刺突文、有刻隆線文、横位隆線文。	－	-
10	A-70613	E-29Gr.	深鉢・口縁部	横位有刻隆線文、弧状隆沈線文、口唇部に「Ｓ」字状隆線文。	－	-
11	A-70614	E-28Gr.	深鉢・口縁部	縦位短沈線文、横位小波状隆線文、押圧縄文ＲＬ縦位施文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
12	A-61284	K-19Gr.	深鉢・口縁部	横位有刻隆線文、渦巻隆沈線文。内面に「Ｓ」字状貼付文。	－	237-19
13	A-70615	E-28Gr.	深鉢・口縁部	横位連続刺突文、横位有刻隆線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-

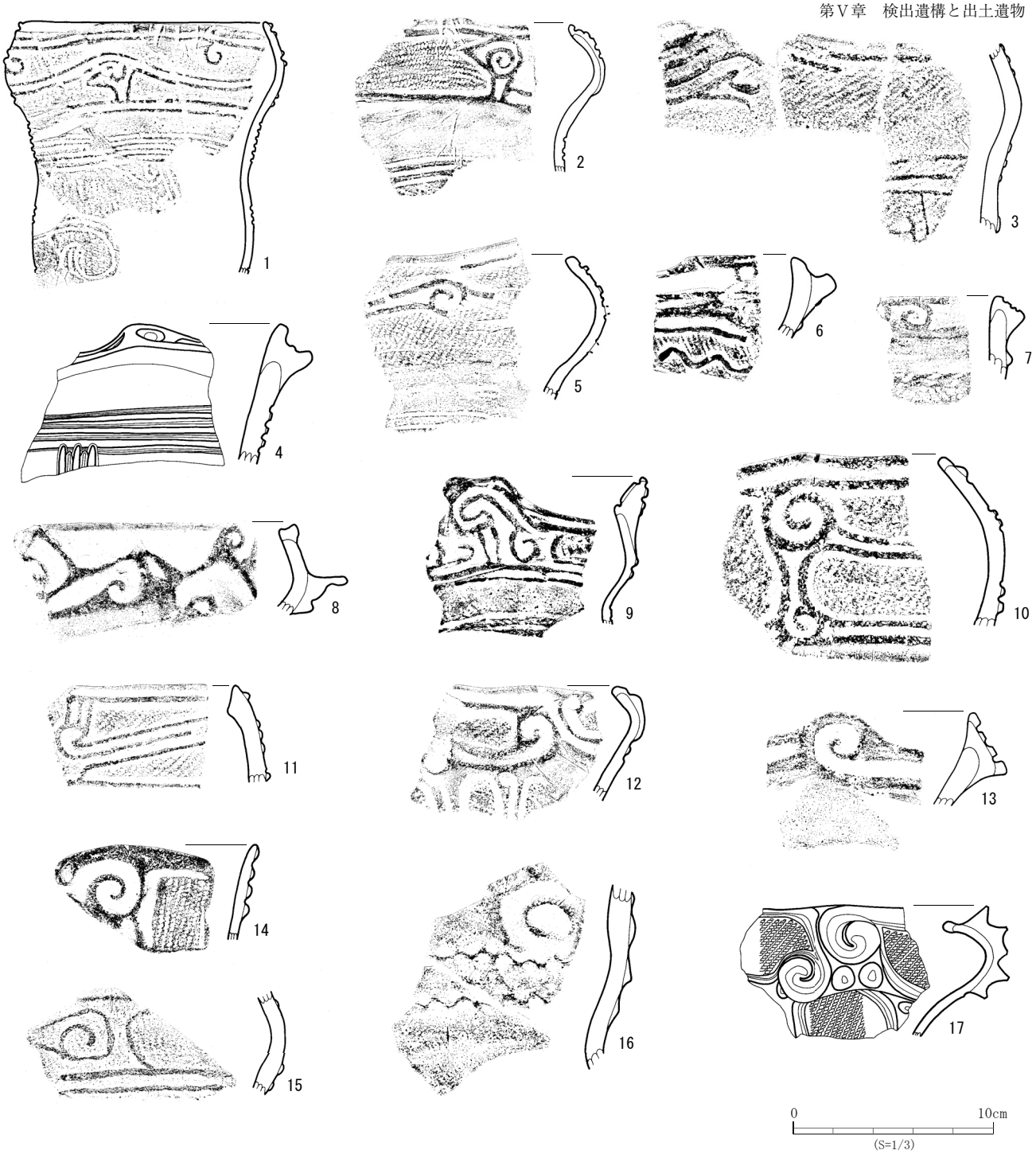
第562図　縄文時代遺構外出土遺物(21)

No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70616	A～D-56～60Gr.	深鉢・口縁部	波状口縁、横位隆沈線文。	－	237-16
2	A-70617	表採	深鉢・口縁把手	円孔有り、弧状・横位隆沈線文。	－	237-18
3	A-70618	G・H-27Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。口唇部に沈線文。	－	-
4	A-61285	F-18・19Gr.	深鉢・口縁部	横位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。口唇部に沈線文。	－	-
5	A-70619	E-28Gr.	深鉢・口縁部	口縁突起、横位隆線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	237-25
6	A-61286	H-18Gr.	深鉢・胴部	横位隆沈線文、弧状・縦位隆線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
7	A-70620	E-29Gr.	深鉢・胴部	横位・縦位隆沈線文、縄文ＬＲ横位施文。	－	-
8	A-70621	E-28Gr.	深鉢・胴部	横位隆沈線文、縄文RL縦位施文。	－	-
9	A-61287	F-18・19Gr.	深鉢・胴部	弧状隆線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
10	A-61288	I-25Gr.	深鉢・胴部	曲流・横位隆沈線文。	－	-
11	A-70622	E-28Gr.	深鉢・胴部	長方形区画、棘状、縦位隆沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	237-21
12	A-70623	D・E-38Gr.	深鉢・胴部	弧状隆沈線文、縄文ＲＬ？斜位施文。	－	-
13	A-61289	F-18・19Gr.	深鉢・胴部	弧状・横位・縦位隆沈線文、縄文施文→ナデ。	－	-
14	A-70624	D・E-37Gr.	深鉢・胴部	弧状・横位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	237-22
15	A-61290	J・K-14・15Gr.	深鉢・胴部	渦巻隆沈線文。	－	237-20

第563図　縄文時代遺構外出土遺物(22)

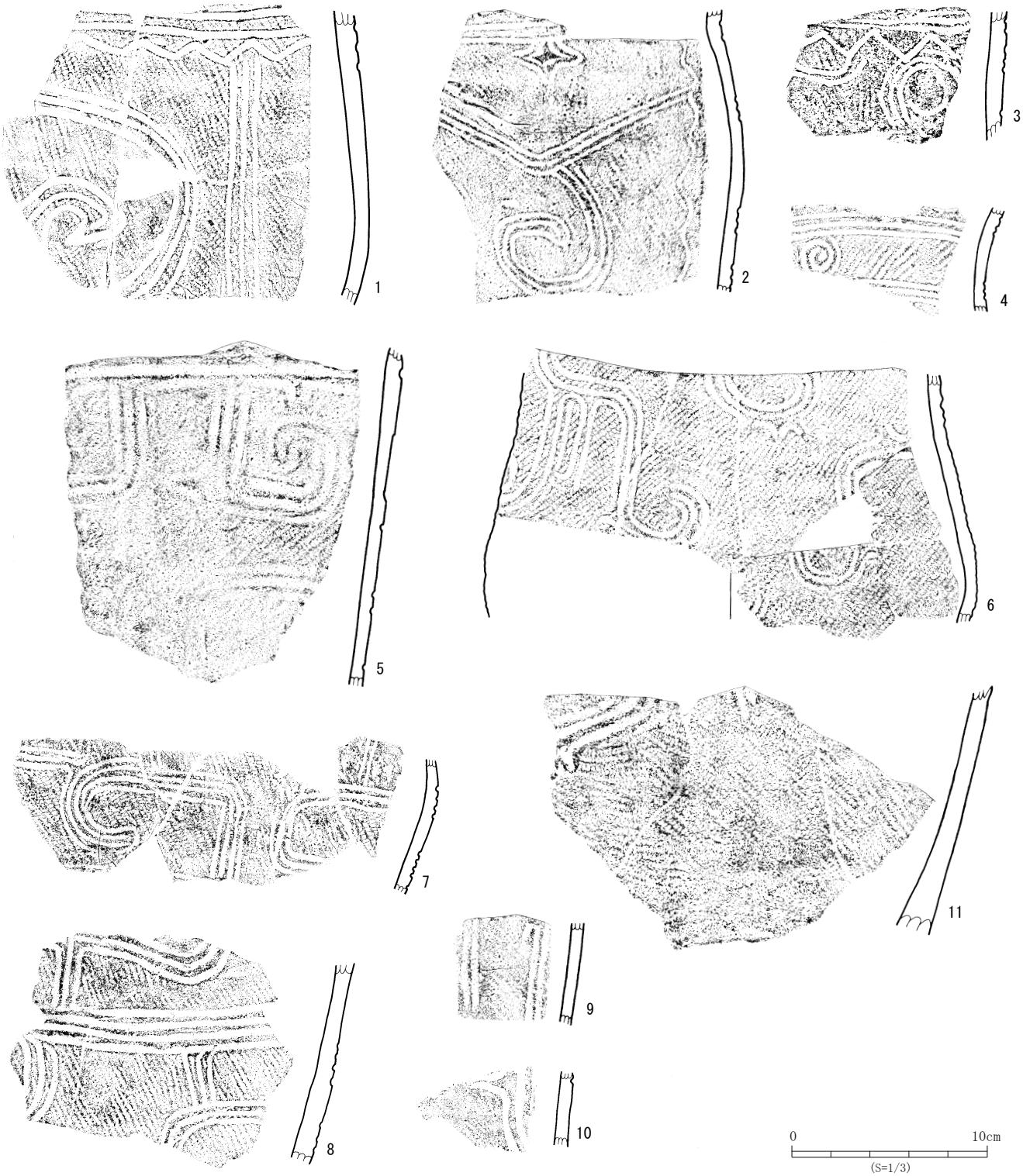
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70625	E-29Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：弧状隆沈線文、横位隆線文、ナデ。頸部：横位沈線文。胴部：渦巻・弧状・棘状・「コ」字状沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	236-16
2	A-70626	E-28Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：横位隆沈線文。頸部：横位隆沈線文。胴部：曲流沈線文。	－	-
3	A-70627	E-29Gr.	深鉢・胴部	縦位隆沈線文、弧状沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
4	A-70628	E-29Gr.	深鉢・胴部	弧状・横位隆沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
5	A-70629	E-29Gr.	深鉢・胴部	弧状隆沈線文、縄文ＲＬ？斜位施文。	－	-
6	A-70630	E-28Gr.	深鉢・胴部	弧状・棘状・横位・縦位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
7	A-70631	E-29Gr.	深鉢・胴部	十字状・横位隆沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
8	A-70632	E-29Gr.	深鉢・胴部～底部	胴部：曲流・渦巻・弧状・棘状・横位・縦位沈線文、縄文ＲＬ横位・斜位施文。底部：網代痕。	－	-

第564図　縄文時代遺構外出土遺物(23)



№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70633	H-30Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：波状・弧状・横位隆沈線文、渦巻隆線文。頸部；無文。胴部：渦巻・横位・斜位沈線文。口縁・胴部：縄文ＬＲ斜位施文。	_	-
2	A-61291	H-14Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：有棘渦巻・横位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。頸部：無文。胴部：横位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	_	-
3	A-61292	F-18・19Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：弧状・棘状・横位隆沈線文、縄文ＬＲ横位施文。胴部：横位隆線文、縄文ＬＲ横位施文。	–	-
4	A-70634	G・H-27Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：口縁突起、円形・横位隆沈線文、ナデ。胴部：横位・縦位隆沈線文。	–	-
5	A-70635	E-52・53Gr.	深鉢・口縁～頸部	口縁部：渦巻・横位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。頸部：横位沈線文、ナデ。	–	-
6	A-70636	G-39・40Gr.	深鉢・口縁部	口縁突起、横位隆線文、横位小波状隆線文、縄文ＲＬ？斜位施文。	–	237-27
7	A-70637	E-28Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・横位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	–	-
8	A-61293	F-19Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・弧状隆沈線文、円形刺突文。	–	-
9	A-70638	H-31・32Gr.、I-31Gr.	深鉢・口縁部～胴上部	口縁部：曲流渦巻・横位隆沈線文。頸部：無文。胴部：横位沈線文、縄文LR縦位施文。	–	-
10	A-70639	E～H-34～42Gr.	深鉢・口縁部	曲流渦巻・横位隆沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	–	237-24
11	A-70640	B・C-49Gr.	深鉢・口縁部	曲流・横位・縦位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	–	-
12	A-70641	E-52・53Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：渦巻・横位隆沈線文、区画内縄文ＬＲ横位施文。胴部：「∩」字状？・縦位沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	_	-
13	A-61294	F-18・19Gr.	深鉢・口縁部	渦巻隆沈線文。	–	-
14	A-61295	G・H-26・27Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	–	-
15	A-61296	G-20Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・弧状・横位隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。	–	-
16	A-70642	E-28Gr.	深鉢・口縁部	渦巻隆沈線文、横位隆線文沿いに交互刺突文。	–	237-23
17	A-61297	F・G-32・33Gr.	深鉢・口縁部	横位曲流渦巻隆沈線文、「∩」字状？区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	–	237-26

第565図　縄文時代遺構外出土遺物(24)



No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70643	E・F-26～32Gr.	深鉢・胴部	渦巻・波状・横位・縦位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	236-17
2	A-70644	E-29Gr.	深鉢・胴部	渦巻・剣先・波状・山形・横位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	236-18
3	A-70645	F-46Gr.	深鉢・胴部	弧状・山形・横位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
4	A-61298	F-18Gr.	深鉢・胴部	渦巻・横位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	237-28
5	A-70646	E-28Gr.	深鉢・胴部	渦巻・横位沈線文、縄文ＬＲ横位施文。	－	-
6	A-70647	E～J-26～32Gr.	深鉢・胴部	有棘曲流渦巻・有棘弧状沈線文、縄文ＬＲ横位・斜位施文。	－	-
7	A-70648	E-28Gr.	深鉢・胴部	弧状・横位・縦位沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
8	A-70649	D-48Gr.	深鉢・胴部	弧状・横位・縦位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
9	A-70650	E-29Gr.	深鉢・胴部	2条１組の縦位沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
10	A-61299	G-11Gr.	深鉢・胴部	有棘弧状沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
11	A-70651	D-48Gr.	深鉢・胴部	弧状隆沈線文、縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	－	-

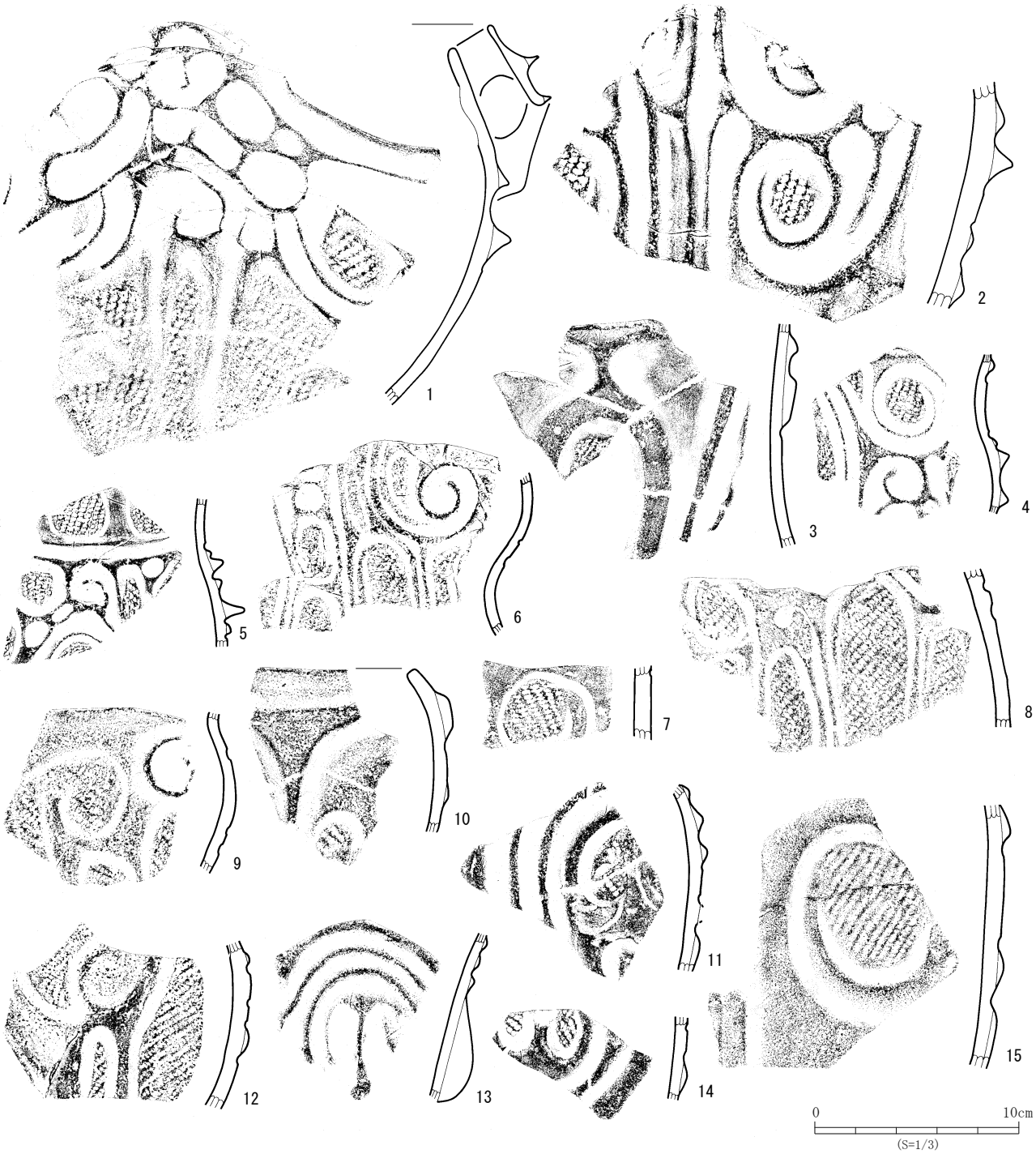
第566図　縄文時代遺構外出土遺物(25)

No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61300	G～J-23～25Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・横位隆沈線文、連続斜位短沈線文の両端に円形刺突文。	－	238-1
2	A-70652	F-30Gr.	深鉢・口縁部	渦巻区画隆沈線文、横位有刻隆線文、区画内充填刺突文。	－	238-2
3	A-70653	F-36Gr.	深鉢・口縁部	渦巻隆沈線文、連続刺突文。	－	238-3
4	A-70654	E・F-45・46Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、横位綾杉状短沈線文、弧状・横位・縦位・沈線文。	－	238-4
5	A-61301	H-16Gr.	深鉢・口縁部	平行する横位隆沈線文間に横位綾杉状短沈線文。	－	238-9
6	A-70655	B・C-51Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、連続短沈線文。	－	238-5
7	A-70656	E-30Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・横位区画隆沈線文、区画内横位綾杉状短沈線文。	－	238-7
8	A-70657	F-40Gr.	深鉢・口縁部	横位区画隆沈線文、渦巻隆沈線文、区画内縦位沈線文。	－	238-8
9	A-61302	H-8Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・横位区画隆沈線文、区画充填続刺突文。	－	238-6
10	A-61303	F-18Gr.	深鉢・口縁部	弧状・横位隆沈線文。	－	238-10
11	A-70658	C-48Gr.	深鉢・口縁部	曲流渦巻区画隆沈線文、区画内充填刺突文。	－	238-12
12	A-70659	G-43Gr.	深鉢・口縁部	横位連続刺突文。	－	238-16
13	A-70660	F-40Gr.	深鉢・口縁部	横位連続刺突文、横位沈線文。	－	238-11
14	A-70661	E-46Gr.	深鉢・口縁部	横位区画隆線文、区画内縦位沈線文。	－	238-13
15	A-70662	H-36Gr.	深鉢・口縁部	渦巻区画隆沈線文、区画内斜位沈線文。	－	238-14
16	A-70663	E-28Gr.	深鉢・口縁部	平行する横位隆線文内に押圧縄文L綾杉状施文。	－	238-15

第567図　縄文時代遺構外出土遺物(26)

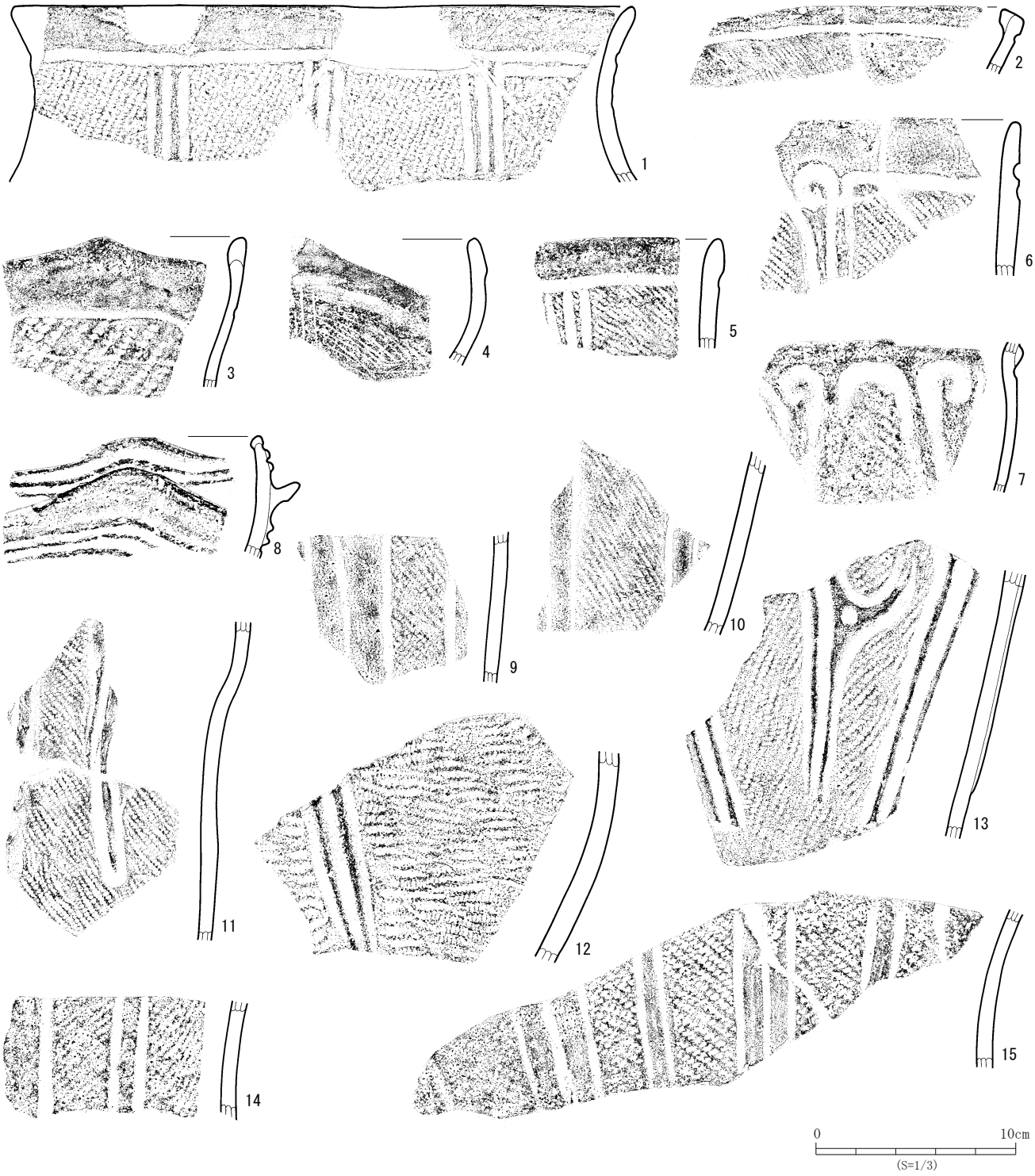
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70664	F-42Gr.	深鉢・口縁部	渦巻隆沈線文、弧状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	238-21
2	A-70665	E-52・53Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・楕円形区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	238-17
3	A-70666	E-38Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・弧状・横位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	238-22
4	A-70667	E-30Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・横位・縦位隆線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
5	A-70668	H-36Gr.	深鉢・頸部～胴上部	頸部：無文。胴部：渦巻・横位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
6	A-70669	E-31・32Gr.	深鉢・胴上部	横位隆沈線文、楕円形区画隆線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
7	A-70670	F-43Gr.	深鉢・口縁部	曲流渦巻隆沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
8	A-70671	G-34Gr.	深鉢・胴部	渦巻・縦位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
9	A-70672	F-37Gr.	深鉢・胴部	横位・縦位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
10	A-70673	D-41Gr.	深鉢・胴部	有棘渦巻隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
11	A-70674	F-39Gr.	深鉢・胴部	渦巻・弧状隆沈線文、縄文ＲＬ縦位・斜位施文。	－	-
12	A-70675	E-30Gr.	深鉢・胴部	渦巻隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	238-23
13	A-70676	A～D-56～60Gr.	深鉢・胴部	弧状隆沈線文、縄文ＬＲ横位施文。	－	-
14	A-61304	G～J-23～27Gr.	深鉢・胴部	弧状・縦位隆沈線文、縄文ＬＲ横位施文。	－	-
15	A-70677	A～D-56～60Gr.	深鉢・胴部	縦位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-

第568図　縄文時代遺構外出土遺物(27)



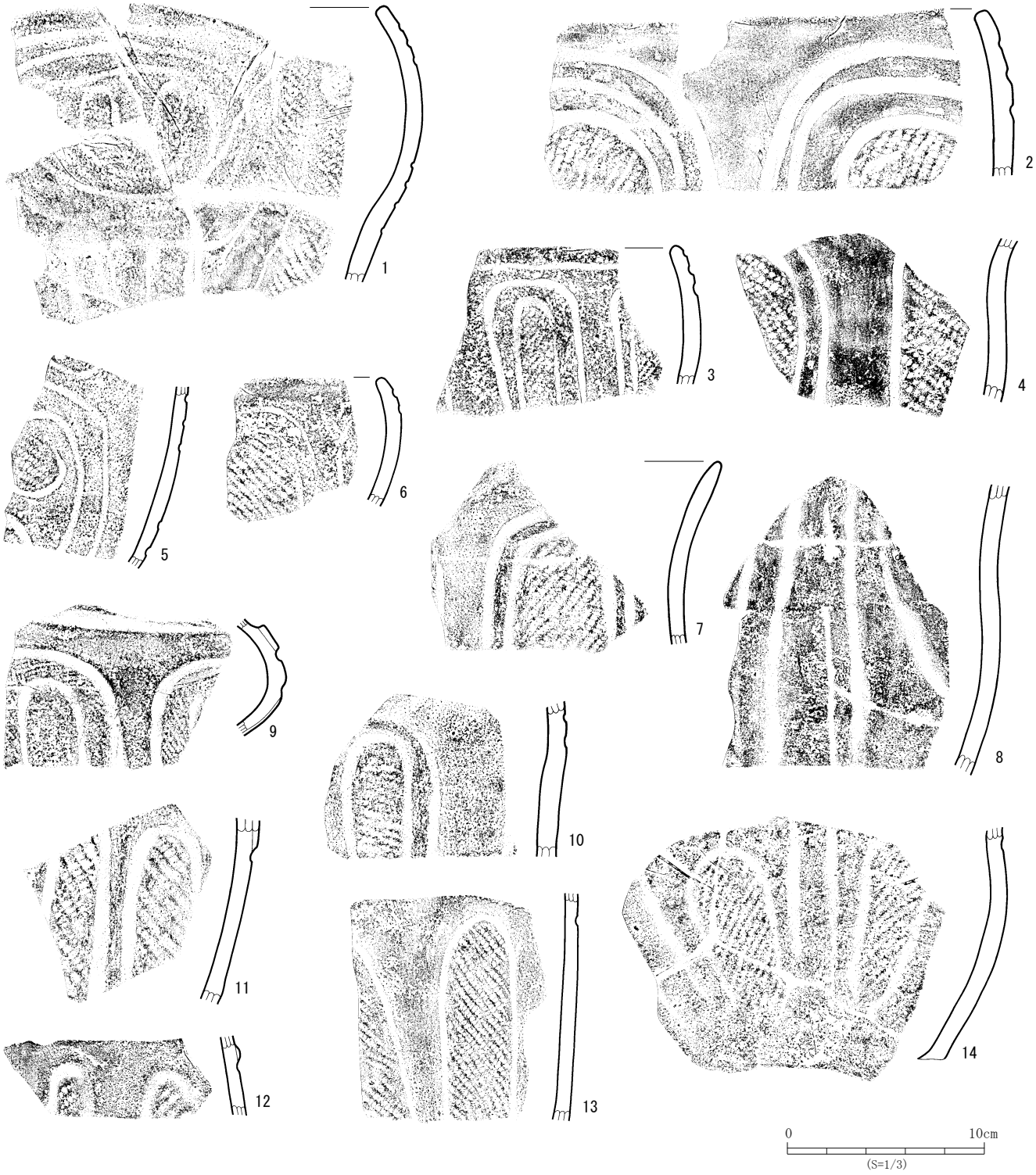
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70678	E-45Gr.	深鉢・口縁部	橋状把手、渦巻・円形・弧状隆沈線文、縄文ＲＬ縦位・斜位施文。	－	236-14
2	A-70679	E-50Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	238-25
3	A-70680	E-50Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状区画隆沈線文、区画内縄文 RL 縦位施文。	－	238-24
4	A-70681	F-43Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	238-20
5	A-70682	E-52・53Gr.	深鉢・胴部	渦巻・円形区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	238-18
6	A-70683	F-38Gr.	深鉢・胴部	渦巻隆沈線文、楕円形・「∩」字状区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	238-26
7	A-70684	H-37Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
8	A-70685	E-52・53Gr.	深鉢・胴部	渦巻・「∩」字状区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ横位施文。	－	-
9	A-70686	G-27・28Gr.	深鉢・胴部	渦巻隆沈線文、渦巻・曲線状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
10	A-70687	E-42Gr.	深鉢・胴部	区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
11	A-70688	H-35Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ？斜位施文。	－	238-27
12	A-70689	E-44Gr.	深鉢・胴部	曲線状・縦位区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
13	A-70690	F-42Gr.	深鉢・胴部	渦巻隆沈線文。	－	238-19
14	A-70691	H-34Gr.	深鉢・胴部	区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ横位施文。	－	-
15	A-70692	H-35Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ横位施文。	－	-

第569図　縄文時代遺構外出土遺物(28)



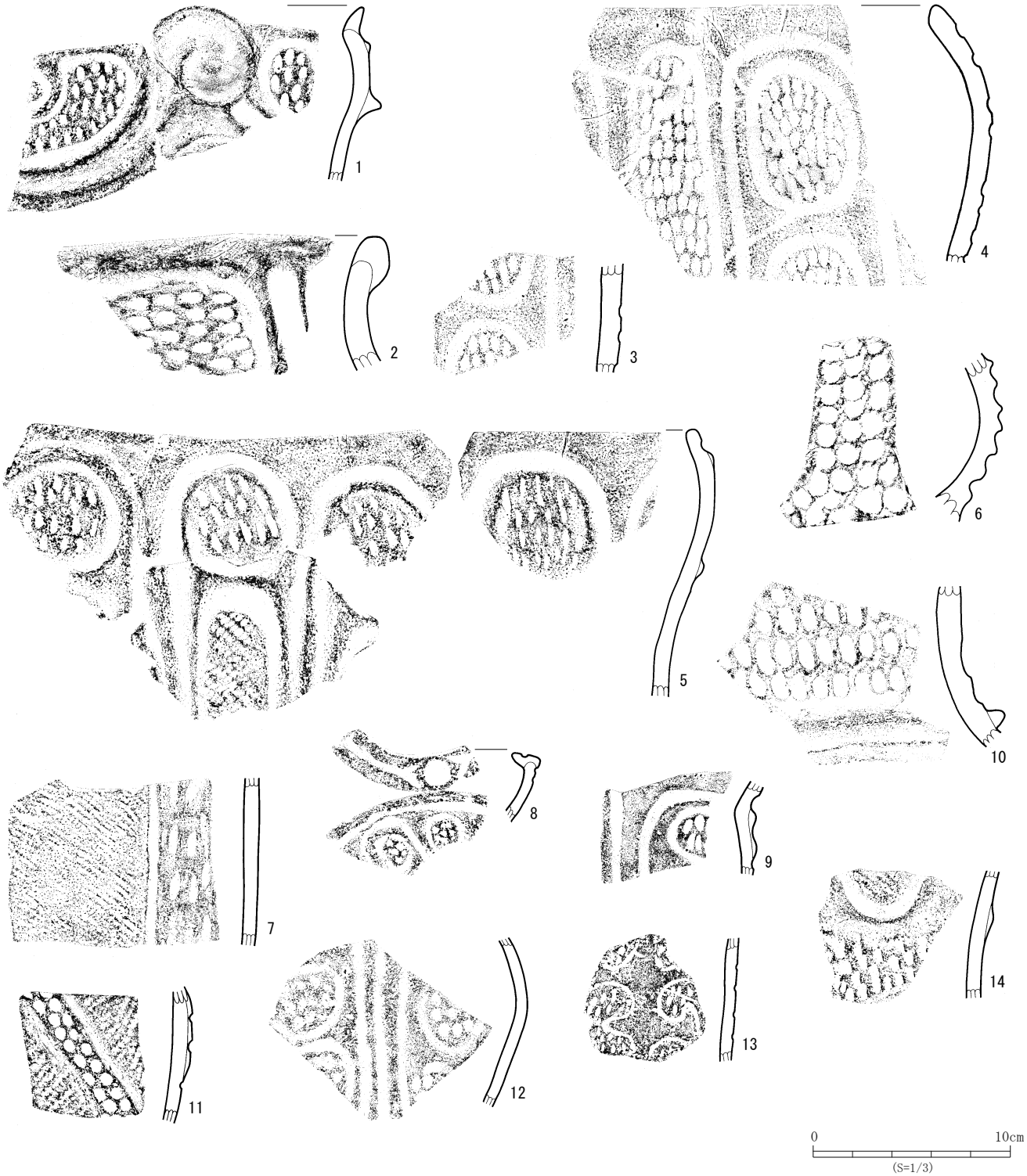
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61305	F・G-32・33Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：ナデ。胴部：横位・縦位隆沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	239-1
2	A-70693	E-29Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、縄文Ｒ横位施文。	－	239-2
3	A-70694	F-40Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：波状口縁、ナデ。胴部：横位沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	239-3
4	A-70695	F-38Gr.	深鉢・口縁部	弧状・横位・縦位沈線文。	－	-
5	A-70696	E-48Gr.	深鉢・口縁部	口縁部：ナデ。胴部：横位・縦位沈線文、縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	－	-
6	A-70697	B-59Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：「∩」字状？区画沈線文、渦巻沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
7	A-70698	E-43Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状区画沈線文、渦巻沈線文、区画内縄文ＲＬ横位施文。	－	-
8	A-70699	E-30Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、横位隆線文。	－	-
9	A-70700	F-29Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、縦位沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
10	A-70701	D-45Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
11	A-70702	B-59Gr.	深鉢・胴部	縦位隆沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
12	A-70703	E-45Gr.	深鉢・胴部	縦位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
13	A-61306	F・G-33・34Gr.	深鉢・胴部	渦巻・縦位隆沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	239-4
14	A-70704	H-35Gr.	深鉢・胴部	縦位沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
15	A-70705	F-42Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-

第570図　縄文時代遺構外出土遺物(29)



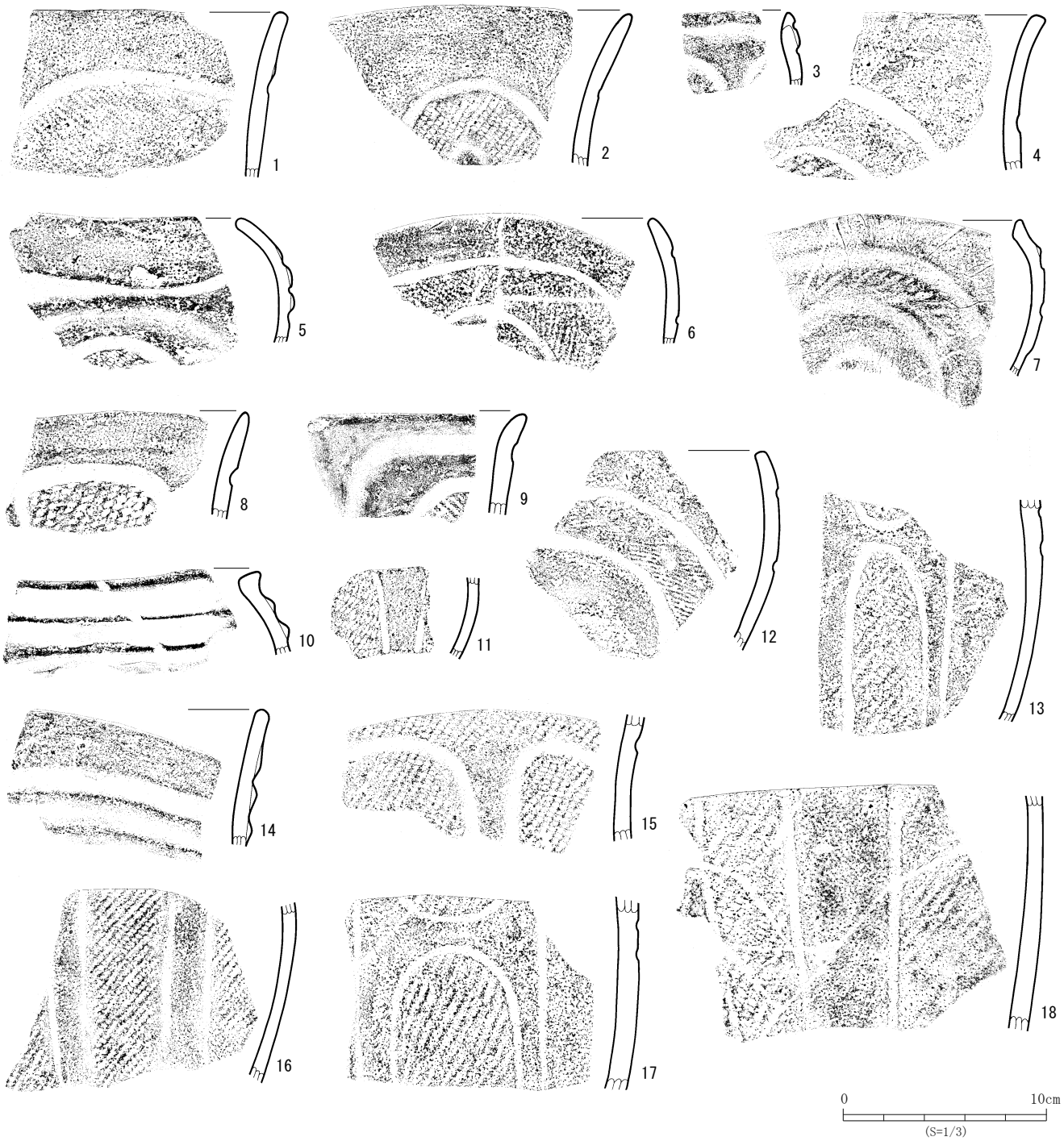
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70706	H-34Gr.	深鉢・口縁部	渦巻・弧状・縦位沈線文、縄文ＬＲ縦位施文。	－	239-5
2	A-70707	E-34・35Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	239-6
3	A-70708	H～J-26～32Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：横位沈線文、「∩」字状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	239-7
4	A-70709	E-50Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ横位・斜位施文。	－	-
5	A-70710	E-45Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
6	A-70711	E-40Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
7	A-70712	E～G-34～37Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：「∩」字状？区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
8	A-70713	D-38Gr.	深鉢・胴部	十字状・弧状・縦位沈線文。	－	-
9	A-70714	E～G-34～37Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状？区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
10	A-70715	F-45Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状？区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
11	A-70716	F-45Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
12	A-70717	E-51Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
13	A-70718	E-30Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
14	A-70719	G-37Gr.	深鉢・胴部	縦位沈線文、「∩」字状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-

第571図　縄文時代遺構外出土遺物(30)



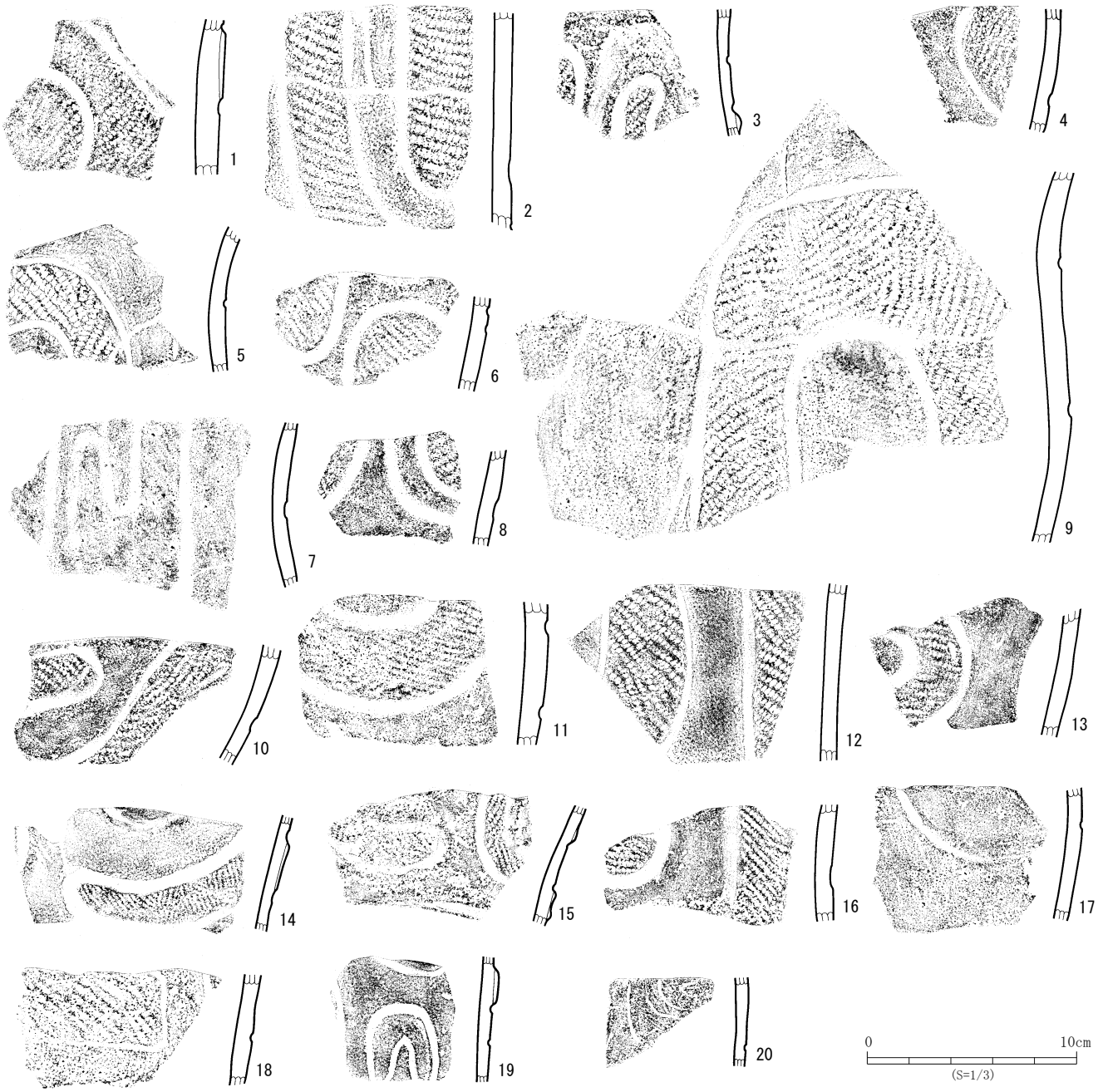
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70720	F-44Gr.	深鉢・口縁部	渦巻区画隆沈線文、区画内充填刺突文。	－	239- 8
2	A-70721	F-44Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画隆沈線文、区画内充填刺突文。	－	239- 9
3	A-70722	E-39Gr.	深鉢・胴部	縦位沈線文、曲線状区画沈線文、区画内充填刺突文。	－	-
4	A-70723	D-39Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：楕円形・「∩」字状？区画沈線文、区画内充填刺突文。	－	239-10
5	A-70724	D-39Gr.	深鉢・口縁～胴部	渦巻区画隆沈線文内に充填刺突文、「∩」字状区画隆沈線文内に縄文ＬＲ縦位施文。	－	239-11
6	A-70725	D-40・41Gr.	口縁把手	連続刺突文。	－	239-12
7	A-70726	E-45Gr.	深鉢・胴部	縦位連続刺突文、縦位沈線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
8	A-70727	E-35Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、渦巻区画隆沈線文、区画内充填刺突文。口唇部に隆沈線文。	－	239-15
9	A-70728	D-45Gr.	深鉢・胴部	渦巻？区画隆沈線文、区画内充填刺突文。	－	-
10	A-70729	D-40・41Gr.	深鉢・胴部	横位隆沈線文、連続刺突文。	－	239-13
11	A-70730	E・F-38・39Gr.	深鉢・胴部	斜位隆沈線文上に連続交互刺突文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	239-14
12	A-70731	G-37Gr.	深鉢・胴部	縦位沈線文、渦巻・円形区画沈線文、区画内充填刺突文。	－	239-16
13	A-70732	F-42Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内充填刺突文。	－	239-18
14	A-70733	F-42Gr.	深鉢・胴部	連続刺突文、曲線状区画隆線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	239-17

第572図　縄文時代遺構外出土遺物(31)



№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70734	E-41Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：曲線状区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
2	A-70735	E-43Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：曲線状区画沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	238-29
3	A-70736	E-50Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、曲線状区画隆沈線文、区画内縄文施文。	－	-
4	A-70737	E-36Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
5	A-70738	E-44Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文、曲線状区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ横位施文。	－	-
6	A-70739	E-39Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ横位・斜位施文。	－	-
7	A-70740	F-39Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
8	A-70741	D-45Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
9	A-70742	E-50Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ横位施文。	－	-
10	A-70743	F-44Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文。	－	-
11	A-70744	G-27Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
12	A-70745	E-45Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：曲線状区画沈線文、区画内縄文 RL 斜位施文。	－	-
13	A-70746	F-45Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
14	A-70747	H-30Gr.	深鉢・口縁部	横位隆沈線文。	－	-
15	A-70748	H-35Gr.	深鉢・胴部	弧状沈線文、縄文ＲＬ縦位・斜位施文。	－	-
16	A-70749	E-43Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
17	A-70750	F-39Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
18	A-70751	F-42Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位施文。	－	-

第573図　縄文時代遺構外出土遺物(32)

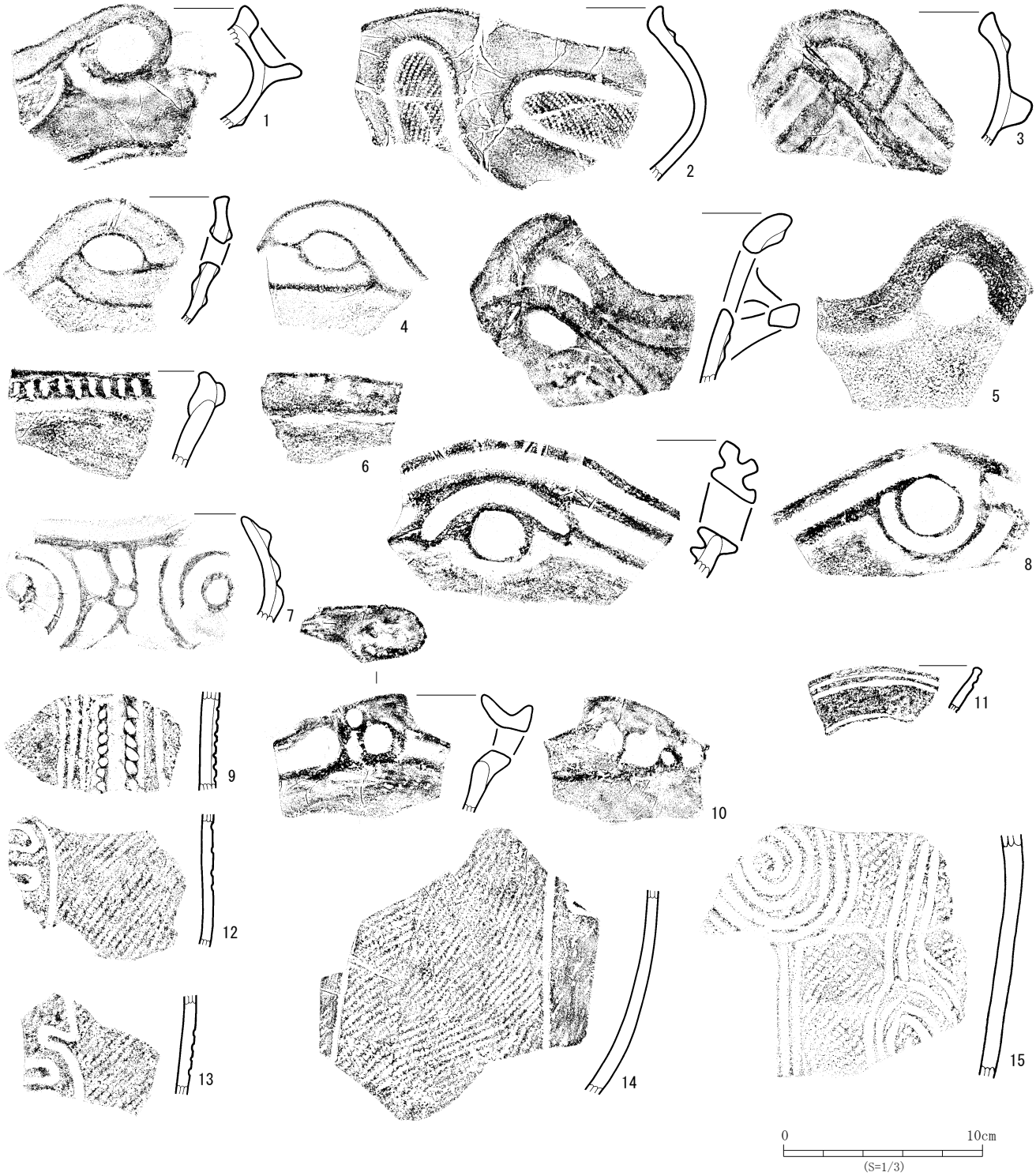


№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70752	E-44Gr.	深鉢・胴部	弧状・斜位沈線文、縄文ＲＬ縦位・斜位施文。	－	-
2	A-70753	E-42Gr.	深鉢・胴部	曲線状・縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	239-19
3	A-70754	E-48Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
4	A-70755	F-40Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
5	A-70756	E～G-38～40Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	239-20
6	A-70757	F-40Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
7	A-70758	G-41Gr.	深鉢・胴部	曲流・縦位沈線文。	－	239-21
8	A-70759	E-51Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
9	A-70760	D・E-36・37	深鉢・胴部	「∩」字状？区画沈線文、区画内縄文ＲＬ縦位・斜位施文。	－	-
10	A-70761	F-40Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画沈線文、区画内縄文ＲＬ横位・斜位施文。	－	-
11	A-70762	E-51Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文LR斜位施文。	－	-
12	A-61307	G・H-33・34Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	－	239-22
13	A-70763	E-50Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
14	A-70764	E-51Gr.	深鉢・胴部	弧状区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
15	A-70765	E-42Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画沈線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
16	A-70766	E-50Gr.	深鉢・胴部	曲線状・縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
17	A-70767	D-38Gr.	深鉢・胴部	弧状沈線文。	－	-
18	A-70768	E-44Gr.	深鉢・胴部	区画沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
19	A-70769	I-28・29Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状・弧状沈線文。	－	-
20	A-70770	E-43Gr.	深鉢・胴部	弧状沈線文。	－	-

第574図　縄文時代遺構外出土遺物(33)

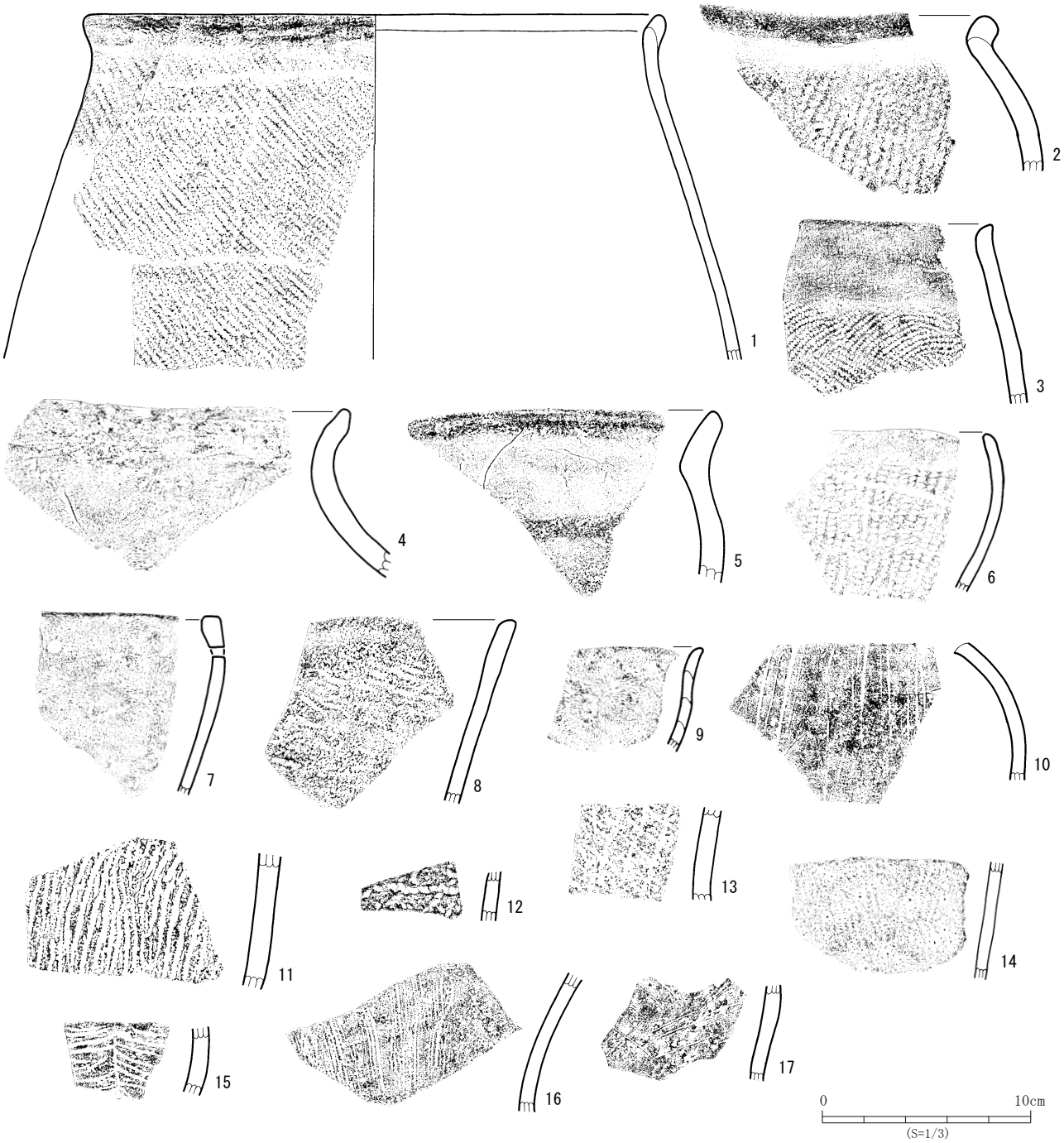
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70771	E-45Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画隆線文、区画内縄文ＲＬ横位・斜位施文。	－	240-2
2	A-70772	E-51Gr.	深鉢・口縁部	円形刺突文、弧状隆線文。	－	-
3	A-70773	E-45Gr.	深鉢・口縁部	楕円形区画隆沈線文、区画内縄文LR斜位施文。	－	-
4	A-70774	E-28Gr.	深鉢・口縁部	楕円形・横位・縦位区画隆線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
5	A-70775	E-41Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画隆線文、区画内縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	－	240-1
6	A-70776	E-52Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画隆線文、横位隆線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	240-3
7	A-70777	E-51Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画隆沈線文。	－	-
8	A-70778	E-51Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画隆線文、横位・縦位隆線文、区画内縄文ＬＲ横位施文。	－	240-4
9	A-70779	E-50Gr.	深鉢・口縁部	区画隆線文、区画内縄文RL ？縦位施文。	－	240-5
10	A-70780	E-41Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内充填刺突文。	－	240-6
11	A-70781	E～J-26～33Gr.	深鉢・胴部	「∩」字状・縦位区画隆線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	240-8
12	A-70782	F-43Gr.	深鉢・胴部	楕円形？・縦位区画隆線文、区画内縄文ＬＲ斜位施文。	－	-
13	A-70783	F-39Gr.	深鉢・胴部	弧状隆沈線文。	－	-
14	A-70784	F-39Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画隆線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
15	A-70785	F-45Gr.	深鉢・胴部	曲線状区画隆線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
16	A-70786	E-41Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文LR縦位・斜位施文。	－	-
17	A-70787	E-41Gr.	深鉢・胴部	斜位隆沈線文。	－	-
18	A-70788	G-42Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
19	A-70789	E-50・51Gr.	深鉢・胴部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＬＲ横位施文。	－	240-9

第575図　縄文時代遺構外出土遺物(34)



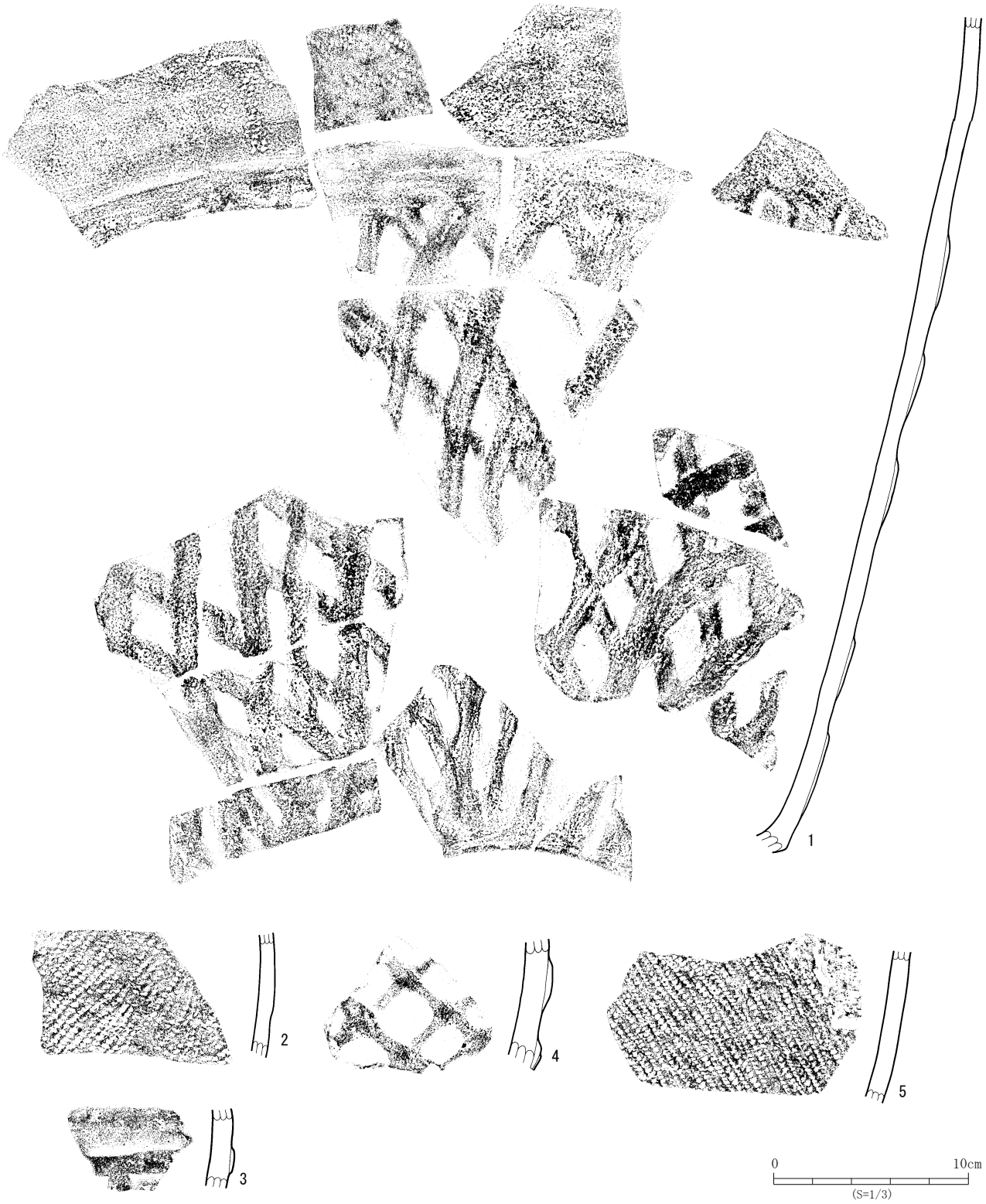
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70790	E-43Gr.	深鉢・口縁部	渦巻区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ斜位施文。	－	240-10
2	A-70791	F-43Gr.	深鉢・口縁部	曲線状区画隆沈線文、区画内縄文ＲＬ横位・斜位施文。	－	240-7
3	A-70792	F-46Gr.	深鉢・口縁部	口縁突起、渦巻隆沈線文。	－	240-12
4	A-70793	E-45Gr.	深鉢・口縁部	口縁把手、円孔有り、渦巻隆沈線文、縄文ＬＲ横位施文。内面：渦巻隆沈線文。	－	240-13
5	A-70794	G-35Gr.	深鉢・口縁部	口縁把手、横位隆沈線文。	－	240-15
6	A-61308	F-33Gr.	深鉢・口縁部	横位有刻隆線文。	－	240-16
7	A-61309	F-18Gr.	深鉢・口縁部	渦巻隆沈線文。	－	240-11
8	A-70795	G-28Gr.	深鉢・口縁部	円孔有り、弧状・横位隆沈線文。内面：渦巻隆沈線文。	－	240-14
9	A-61310	G～J-23～27Gr.	深鉢・胴部	縦位隆沈線文上に連続刺突文、縦位沈線文。	－	240-19
10	A-70796	H-35Gr.	深鉢・口縁部	口縁突起、円孔有り、円形刺突文、横位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	240-17
11	A-61311	H-8Gr.	深鉢・口縁部	横位沈線文。	－	-
12	A-70797	H-35Gr.	深鉢・胴部	弧状沈線文、縄文ＬＲ横位施文。	－	240-20
13	A-70798	H-35Gr.	深鉢・胴部	弧状・棘状沈線文、縄文ＬＲ横位施文。	－	240-21
14	A-70799	H-35Gr.	深鉢・胴部	縦位区画沈線文、区画内縄文ＬＲ横位・斜位施文。	－	240-27
15	A-70800	B・C-64Gr.	深鉢・胴部	渦巻・縦位沈線文、縄文ＲＬ縦位・斜位施文。	－	240-35

第576図　縄文時代遺構外出土遺物(35)



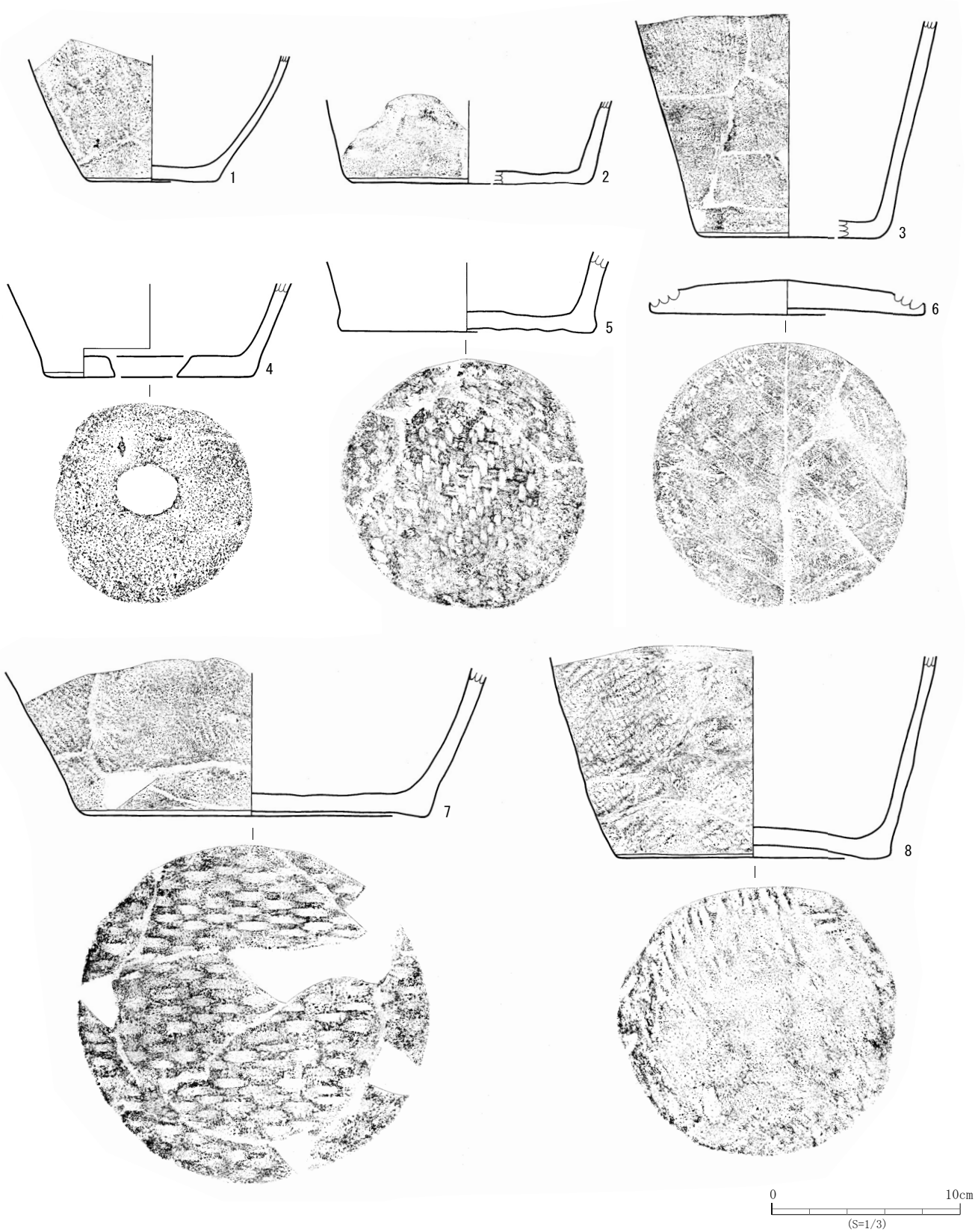
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-61312	E・F-21・22Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：ナデ。胴部：縄文ＬＲ縦位施文。	－	-
2	A-70801	H-35Gr.	深鉢・口縁～胴部	口縁部：ナデ。胴部：縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
3	A-70802	E-50Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁部：ナデ。胴部：縄文ＬＲ縦位・斜位施文。	－	-
4	A-61313	F・G-32・33Gr.	深鉢・口縁～頸部	口縁～頸部：ナデ。	－	-
5	A-70803	E-43Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：ナデ。	－	-
6	A-70804	E-52・53Gr.	深鉢・口縁～胴上部	口縁～胴部：縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
7	A-61314	F・G-32・33Gr.	深鉢・口縁部	円孔有り、ナデ。	－	-
8	A-70805	E-44Gr.	深鉢・口縁部	縄文LR斜位施文。	－	-
9	A-70806	E-52・53Gr.	深鉢・口縁部	縦位条線文。	－	-
10	A-70807	F-39Gr.	深鉢・口縁部	縦位沈線文。	－	-
11	A-70808	表採	深鉢・胴部	縦位沈線文。	－	240-23
12	A-61315	J-8Gr.	深鉢・胴部	押圧縄文Ｌ綾杉状施文。	－	240-18
13	A-61316	F・G-3Gr.	深鉢・胴部	網目状撚糸文縦位施文。	－	240-24
14	A-61317	I-8Gr.	深鉢・胴部	縄文LR斜位施文。	－	-
15	A-70809	D・E-50～54Gr.	深鉢・胴部	弧状・縦位沈線文。	－	240-22
16	A-70810	F-44Gr.	深鉢・胴部	縦位櫛歯状沈線文。	－	240-26
17	A-70811	E-45Gr.	深鉢・胴部	斜位沈線文	－	240-25

第577図　縄文時代遺構外出土遺物(36)



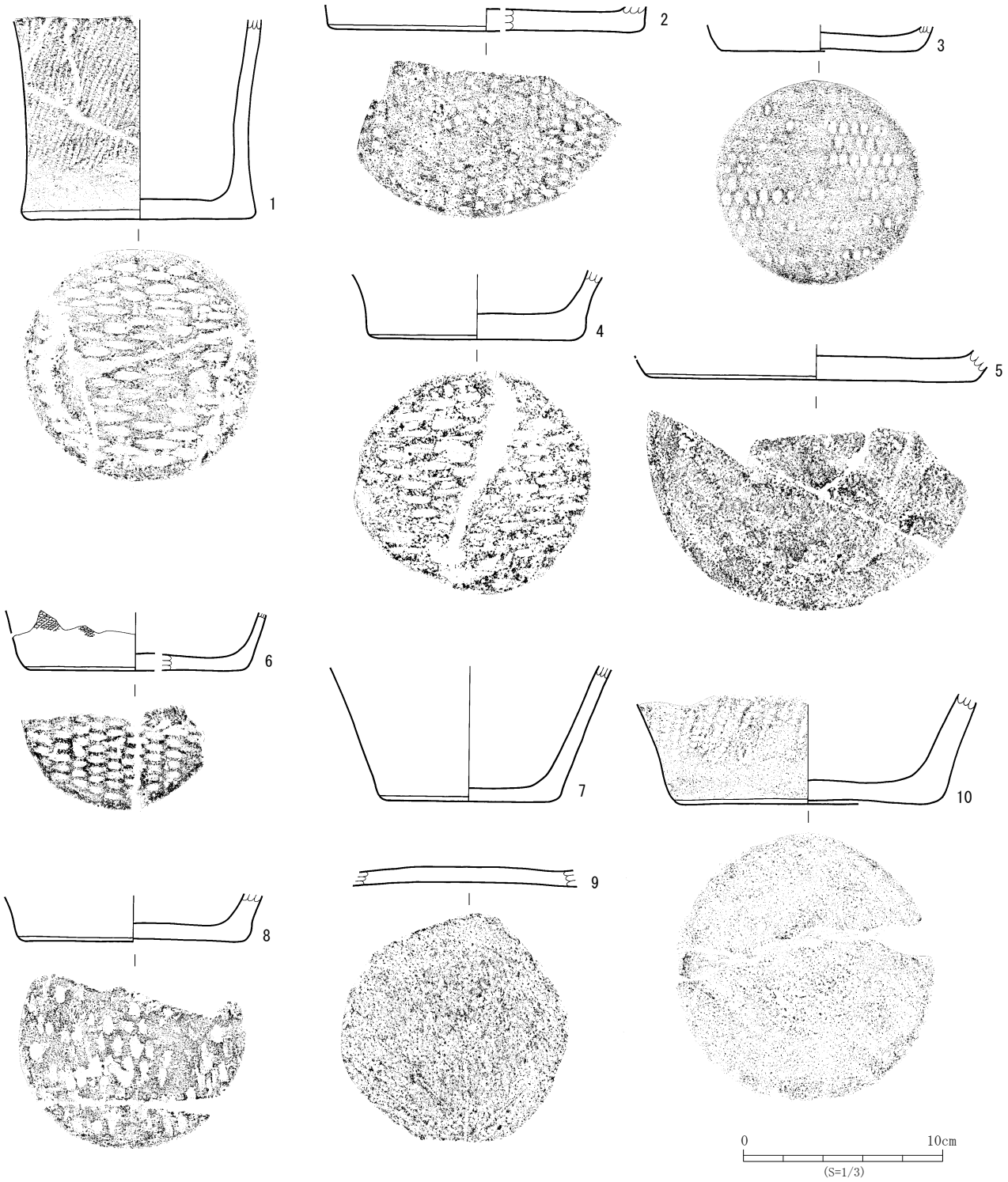
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70812	D-43Gr.	深鉢・胴部	斜格子状隆線文、縄文ＲＬ斜位施文。	－	235-9
2	A-70813	D-43Gr.	深鉢・胴部	縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
3	A-61318	J・K-17～19Gr.	深鉢・胴部	横位隆線文。	－	-
4	A-70814	A～D-56～60Gr.	深鉢・胴部	斜格子状隆線文。	－	-
5	A-61319	J・K-17～19Gr.	深鉢・胴部	縄文ＲＬ斜位施文。	－	-

第578図　縄文時代遺構外出土遺物(37)



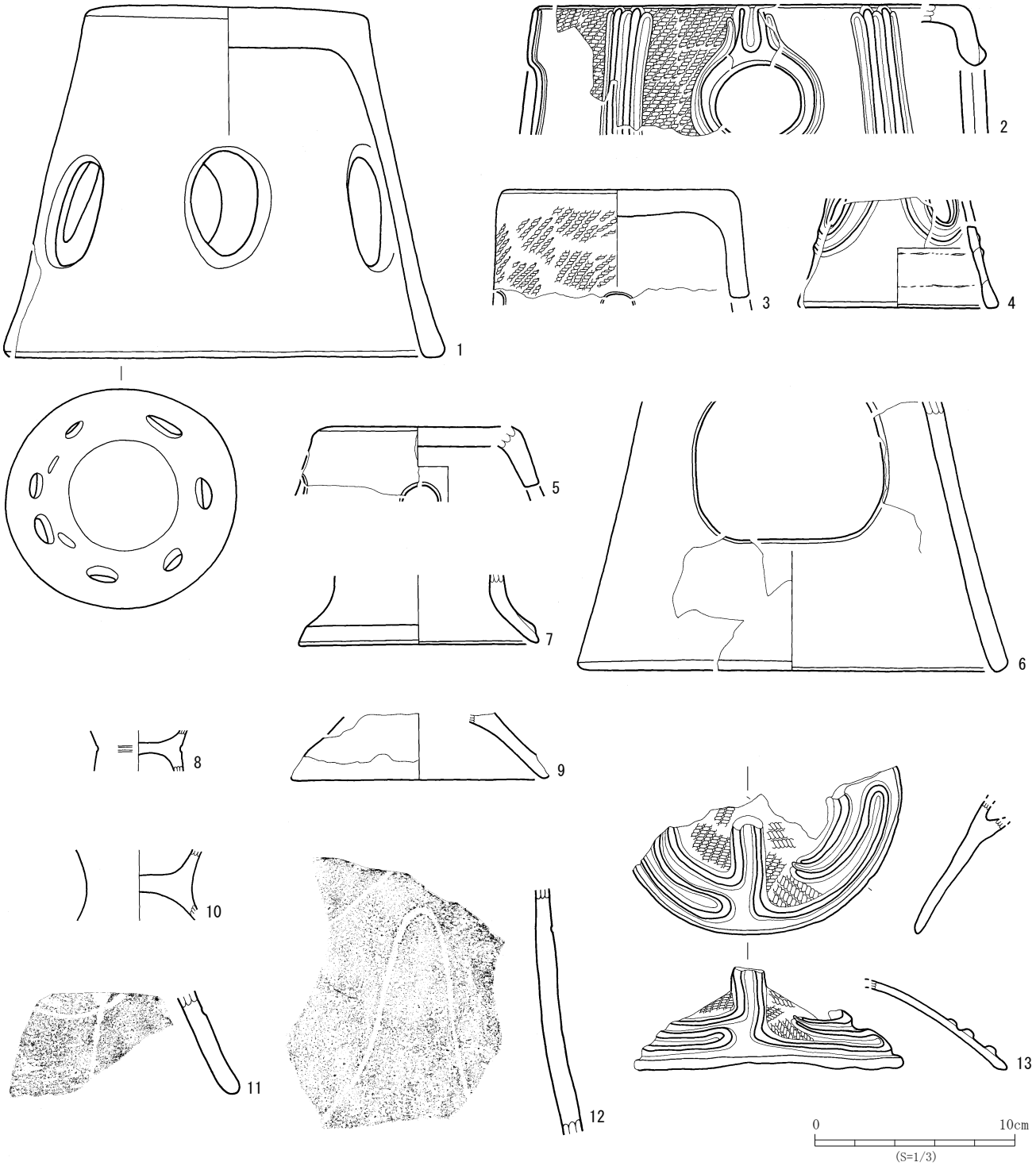
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70815	E・F-28Gr.	深鉢・胴部～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	－	-
2	A-70816	E-29Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	－	-
3	A-70817	E-29Gr.	深鉢・胴部～底部	胴部：縄文施文→ナデ。底部：ナデ。	－	-
4	A-70818	E-45Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：ナデ。底部：穿孔。	－	-
5	A-70819	E-28Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：ナデ。底部：網代痕。	－	-
6	A-70820	E-29Gr.	深鉢・底部	木葉痕。	－	-
7	A-70821	E-28Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：縄文施文→ナデ。底部：ナデ網代痕。	－	236-19
8	A-70822	E-28Gr.	深鉢・胴部～底部	胴部：ナデ。底部：網代痕。	－	-

第579図　縄文時代遺構外出土遺物(38)



No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70823	G-38Gr.	深鉢・胴部～底部	胴部：縄文ＬＲ斜位施文。底部：網代痕。	－	236-20
2	A-70824	J-26Gr.	深鉢・底部	網代痕。	－	-
3	A-70825	H-30Gr.	深鉢・底部	網代痕。	－	236-21
4	A-70826	D-45Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：ナデ。底部・網代痕。	－	236-22
5	A-61320	E・F-21・22Gr.	深鉢・底部	網代痕→ナデ。	－	-
6	A-70827	E-28Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：縄文ＬＲ斜位施文。底部：網代痕。	－	-
7	A-70828	G-34Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	－	-
8	A-61321	J・K-14・15Gr.	深鉢・底部	網代痕。	－	-
9	A-61322	E-28Gr.	深鉢・底部	木葉痕。	－	-
10	A-70829	G-36Gr.	深鉢・胴下部～底部	胴部：縄文 RL 縦位施文。底部：ナデ。	－	-

第580図　縄文時代遺構外出土遺物(39)

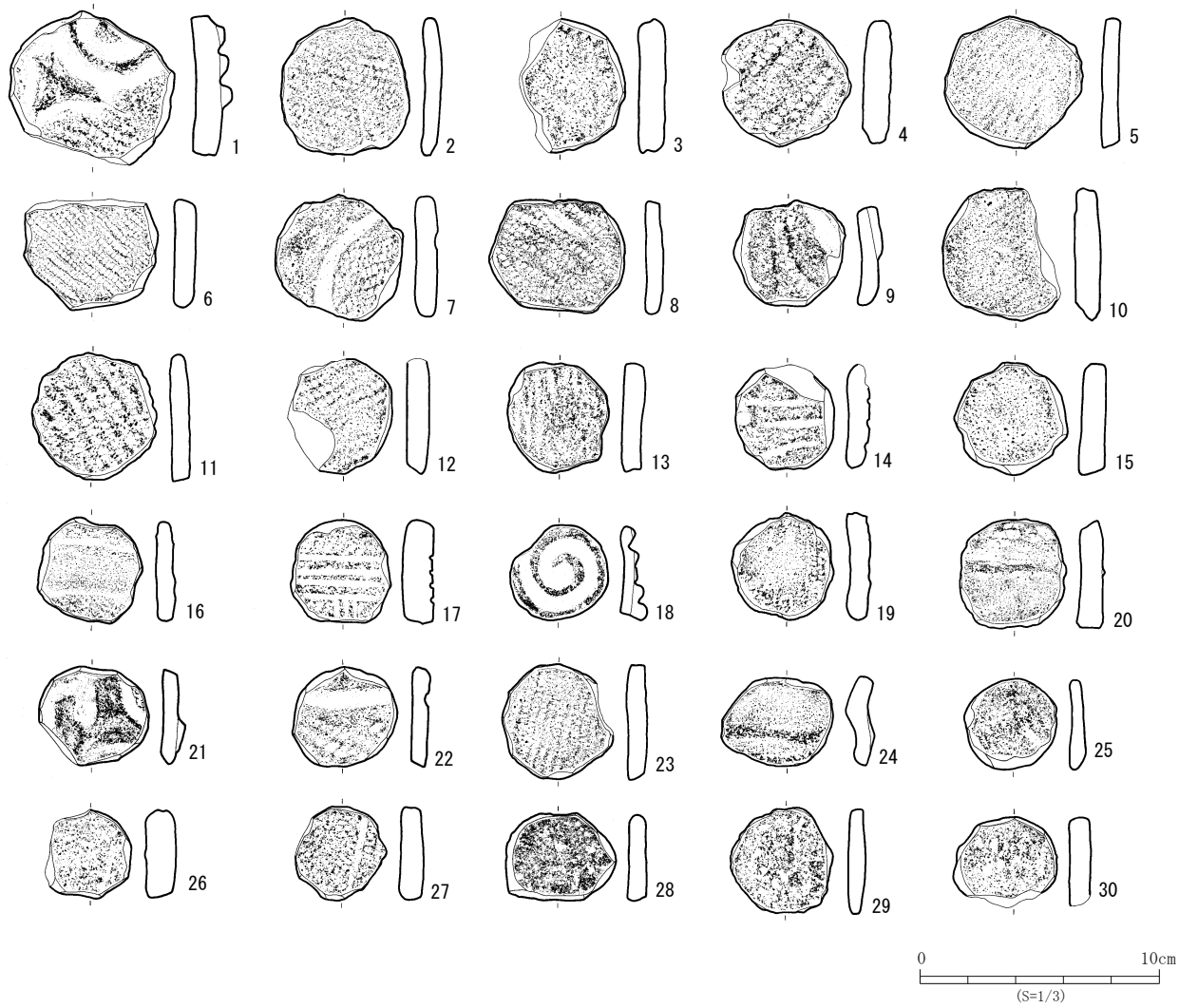


No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70830	E-28Gr.	器台	ナデ。	－	236-11
2	A-61323	G～J-23～27Gr.	器台	有棘円形・縦位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	236-12
3	A-70831	H～J-26～32Gr.	器台	縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
4	A-70832	F-42Gr.	器台	弧状隆沈線文、ナデ。	－	-
5	A-70833	E-43Gr.	器台	ナデ。	－	-
6	A-70834	E・F-28・29Gr.	器台	ナデ。	－	-
7	A-70835	E-46Gr.	台付土器・台部	横位隆線文、ナデ。	－	-
8	A-70836	E-39Gr.	台付土器・台接合部	横位沈線文、ナデ。	－	-
9	A-61324	J-18Gr.	台付土器・台部？	ナデ。	－	-
10	A-70837	F-42Gr.	台付土器・台接合部	ナデ。	－	-
11	A-70838	E・F-28・29Gr.	器台	弧状沈線文。	－	-
12	A-70839	E・F-28・29Gr.	器台	曲流沈線文。	－	-
13	A-61325	K-21～25Gr.	蓋	横位・縦位隆沈線文、縄文ＲＬ横位・斜位施文。	－	236-13

第581図　縄文時代遺構外出土遺物(40)

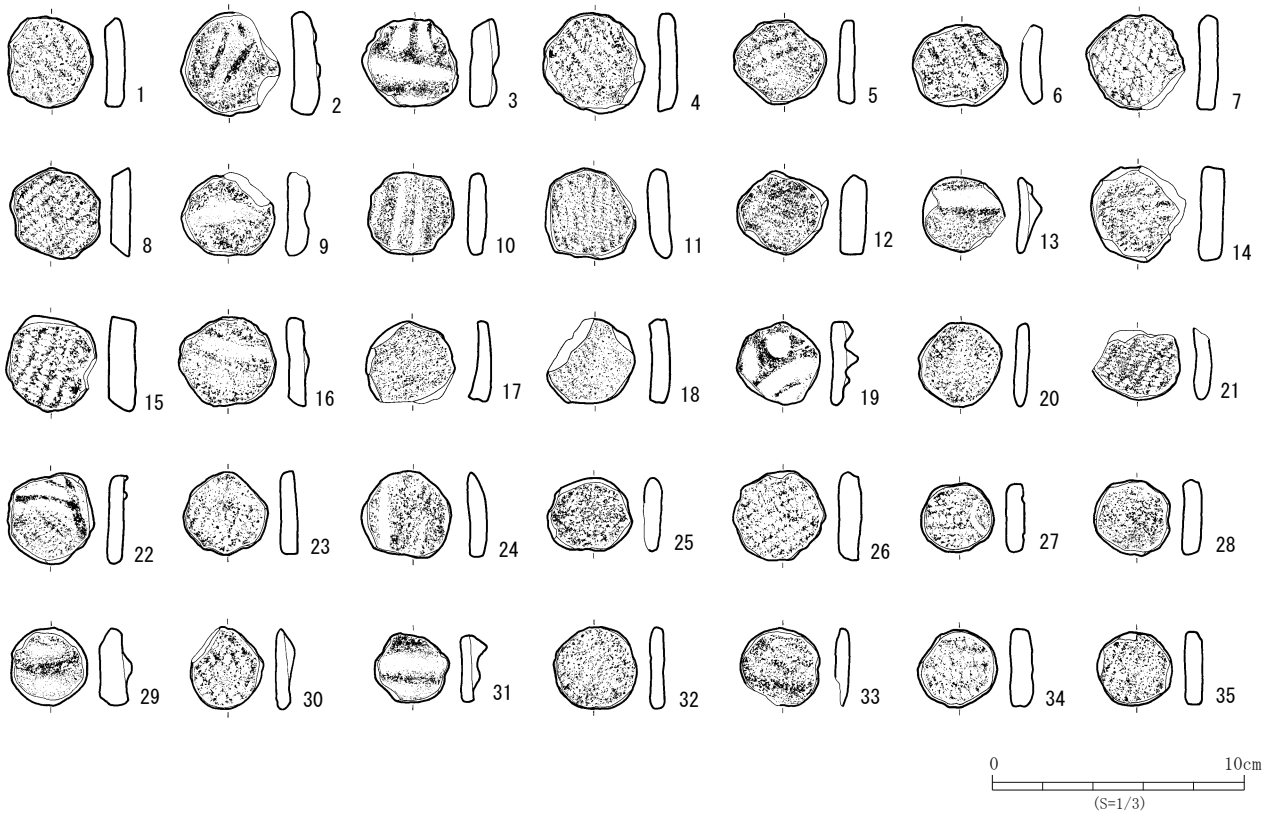
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	A-70840	G-43Gr.	注口土器：注口	渦巻・横位隆沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	－	240-28
2	A-70841	F-44Gr.	注口土器：注口	ナデ。	－	-
3	A-70842	F-45Gr.	注口土器：注口	縄文ＲＬ斜位施文。	－	-
4	A-70843	G-41Gr.	注口土器：注口	弧状隆線文、ナデ。	－	240-29
5	A-70844	E-45Gr.	注口土器：注口	ナデ。	－	-
6	A-70845	E・F-38・39Gr.	注口土器：注口	渦巻・弧状隆沈線文。	－	240-30
7	A-70846	E・F-28・29Gr.	注口土器：注口	渦巻沈線文、ナデ。	－	-
8	A-70847	E-52・53Gr.	注口土器：注口	弧状・縦位沈線文。	－	-
9	A-61326	G・H-26・27Gr.	有孔土器：口縁部	有孔口縁、弧状・棘状・横位隆線文。	－	240-31
10	A-61327	H・I-24・25Gr.	有孔土器：口縁部	有孔口縁、横位隆沈線文。	－	240-32
11	A-70848	F-35Gr.	有孔土器：口縁部	橋状把手、有孔口縁、円形・横位隆沈線文。	－	240-33
12	A-70849	G-35Gr.	鉢：胴部	円形・横位隆沈線文。	－	240-34
13	A-70850	E-42Gr.	鉢：口縁～胴上部	口縁～胴部：弧状隆線文。横位隆沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。	－	-
14	A-70851	G-37Gr.	小型深鉢・胴部～底部	胴部：縄文ＬＲ縦位施文。底部：ナデ。	摩滅激しい。S=1/2。	-
15	A-70852	F-45Gr.	小型深鉢・胴部～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	－	-
16	A-70853	G-35Gr.	小型深鉢・胴部～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	－	-
17	A-70854	E-28Gr.、F-27Gr.	小型深鉢・胴部～底部	胴部：縄文ＬＲ縦位施文。底部：木葉痕。	摩滅激しい。	-
18	A-70855	G-36Gr.	小型深鉢・底部		－	-

第582図　縄文時代遺構外出土遺物(41)



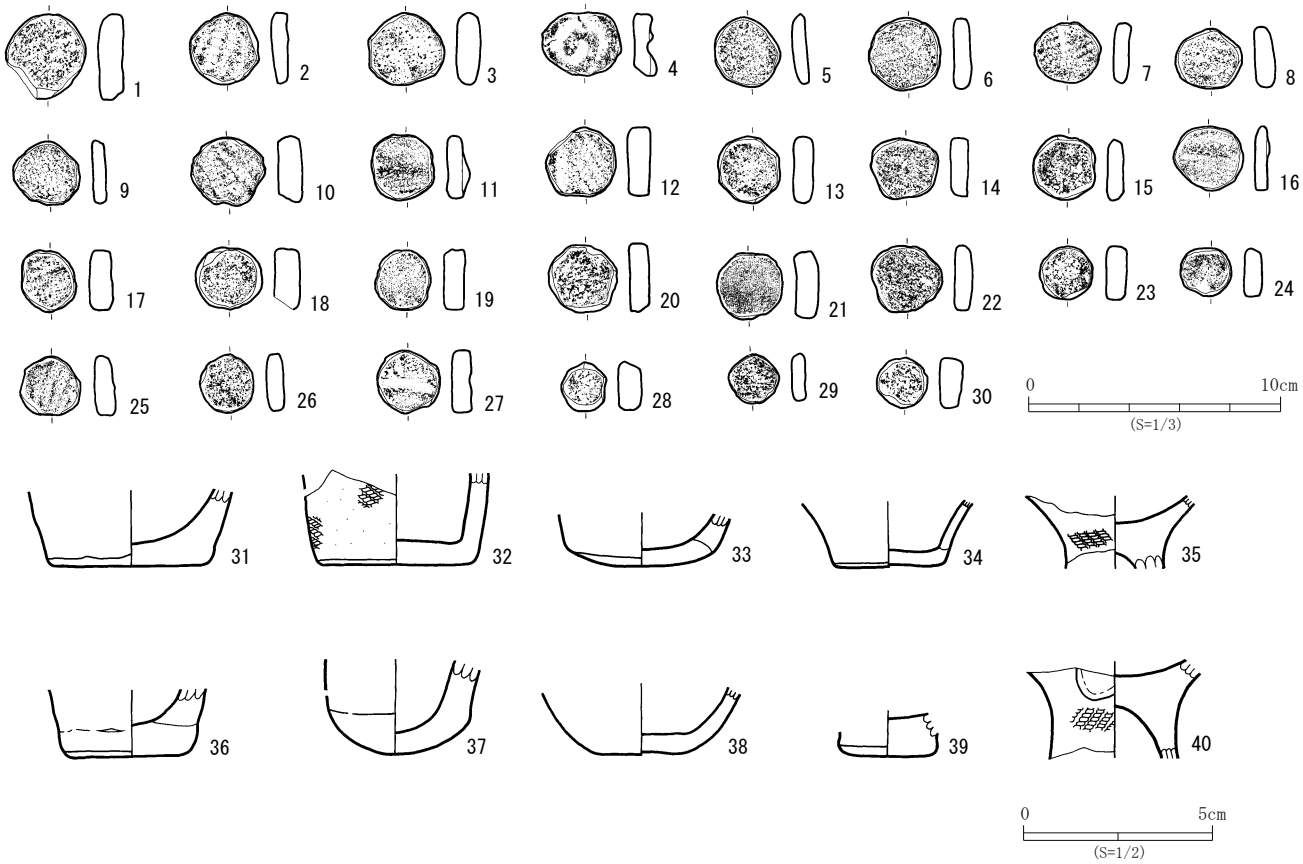
No.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-7097	D-39Gr.	土製円盤	有棘渦巻隆沈線文、縄文ＲＬ施文。	重さ64.95g。	-
2	P-7098	E-45Gr.	土製円盤	縄文ＬＲ施文。	重さ24.75g。	-
3	P-7099	E・F-28・29Gr.	土製円盤	縄文施文。	重さ32.28g。	-
4	P-7100	E～G-34～37Gr.	土製円盤	縄文ＲＬ施文。	重さ32.15g。	-
5	P-7101	F-43Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ29.93g。	-
6	P-7102	B・C-59Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ30.39g。	-
7	P-7103	F-40Gr.	土製円盤	曲線状区画沈線文、区画内縄文 LR 施文。	重さ27.90g。	-
8	P-7104	G-41Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ29.32g。	-
9	P-7105	H～J-26～32Gr.	土製円盤	隆線文。	重さ21.21g。	-
10	P-7106	E-39Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ32.28g。	-
11	P-7107	E-45Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ21.11g。	-
12	P-7108	E・F-28・29Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ22.41g。	-
13	P-7109	F-45Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ20.21g。	-
14	P-7110	G・H-30・31Gr.	土製円盤	沈線文。	重さ19.05g。	-
15	P-7111	G-38Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ26.19g。	-
16	P-7112	F-41Gr.	土製円盤	区画沈線文、区画内縄文施文。	重さ15.42g。	-
17	P-7113	D-38Gr.	土製円盤	横位・縦位沈線文、縄文 RL 施文。	重さ25.97g。	-
18	P-7114	E・F-28・29Gr.	土製円盤	渦巻隆沈線文。	重さ13.76g。	-
19	P-7115	E-42Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ18.49g。	-
20	P-7116	E-51Gr.	土製円盤	連続刺突文、隆線文。	重さ26.43g。	-
21	P-6076	G～J-23～27Gr.	土製円盤	弧状隆沈線文。	重さ19.54g。	-
22	P-6077	F・G-32・33Gr.	土製円盤	横位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。	重さ15.55g。	-
23	P-7117	F-38Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ20.17g。	-
24	P-7118	F-39Gr.	土製円盤	隆線文。	重さ16.87g。	-
25	P-7119	E-39Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ8.79g。	-
26	P-7120	B・C-59Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ18.53g。	-
27	P-7121	G-36Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ14.49g。	-
28	P-6078	E・F-21・22Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ13.88g。	-
29	P-7122	D-45Gr.	土製円盤	縄文施文。	重さ12.27g。	-
30	P-6079	K-19Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ15.88g。	-

第583図　縄文時代遺構外出土遺物(42)



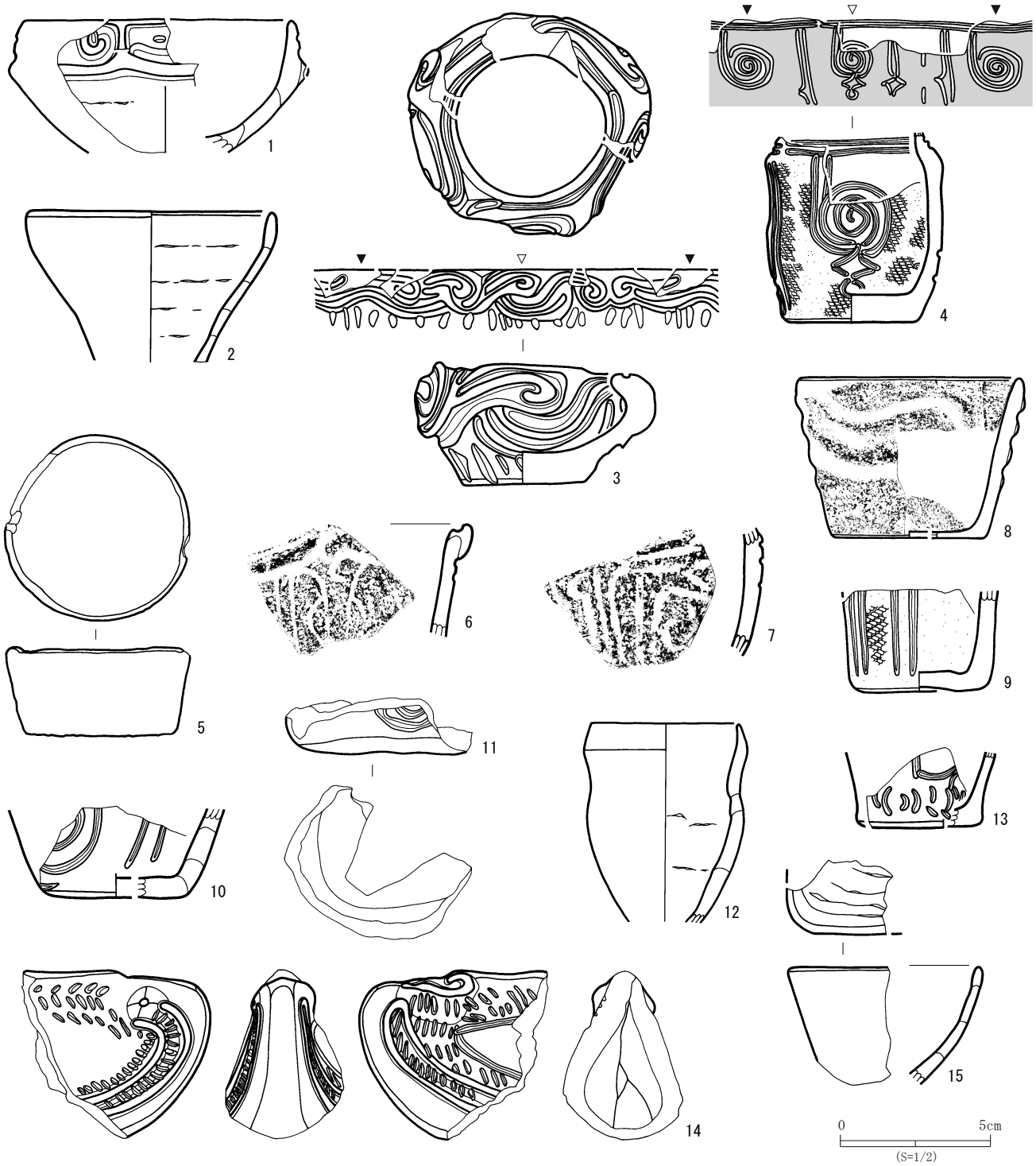
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-7123	F-34Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ10.20g。	-
2	P-7124	D-39Gr.	土製円盤	隆線文。	重さ14.86g。	-
3	P-7125	E-37Gr.	土製円盤	横位・縦位隆沈線文。	重さ14.39g。	-
4	P-7126	F-39Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ12.37g。	-
5	P-7127	F-45Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ8.64g。	-
6	P-7128	G-36Gr.	土製円盤	縄文 LR ？施文。	重さ11.71g。	-
7	P-7129	G-42Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ11.87g。	-
8	P-7130	H～J-26～32Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ8.76g。	-
9	P-7131	F-39Gr.	土製円盤	横位沈線文。	重さ9.90g。	-
10	P-7132	F-42Gr.	土製円盤	縦位沈線文。	重さ9.64g。	-
11	P-7133	F-42Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ11.56g。	-
12	P-7134	G-37Gr.	土製円盤	縄文施文。	重さ12.86g。	-
13	P-6080	G-11・12Gr.	土製円盤	隆沈線文。	重さ6.10g。	-
14	P-7135	G-37Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ14.09g。	-
15	P-7136	D-44Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ14.09g。	-
16	P-7137	D-44Gr.	土製円盤	隆線文。	重さ11.46g。	-
17	P-7138	D-40Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ7.20g。	-
18	P-6081	E～M-15～28Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ9.57g。	-
19	P-7139	F-41Gr.	土製円盤	隆沈線文。	重さ8.11g。	-
20	P-7140	F-42Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.74g。	-
21	P-7141	C-48Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ6.37g。	-
22	P-7142	H-35Gr.	土製円盤	隆沈線文。	重さ10.20g。	-
23	P-7143	G-40Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ7.49g。	-
24	P-7144	E-40Gr.	土製円盤	沈線文。	重さ8.63g。	-
25	P-7145	F-39Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ8.33g。	-
26	P-7146	G-37Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ11.50g。	-
27	P-7147	E-44Gr.	土製円盤	沈線文、縄文 RL 施文。	重さ6.77g。	-
28	P-7148	F-44Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ7.87g。	-
29	P-7149	F-44Gr.	土製円盤	隆線文。	重さ11.68g。	-
30	P-7150	E～G-34～37Gr.	土製円盤	隆線文。	重さ6.14g。	-
31	P-7151	G-44Gr.	土製円盤	隆沈線文。	重さ6.91g。	-
32	P-7152	E-42Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ6.19g。	-
33	P-7153	F-39Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.79g。	-
34	P-7154	F-41Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ9.02g。	-
35	P-7155	J･K-19Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ7.25g。	-

第584図　縄文時代遺構外出土遺物(43)



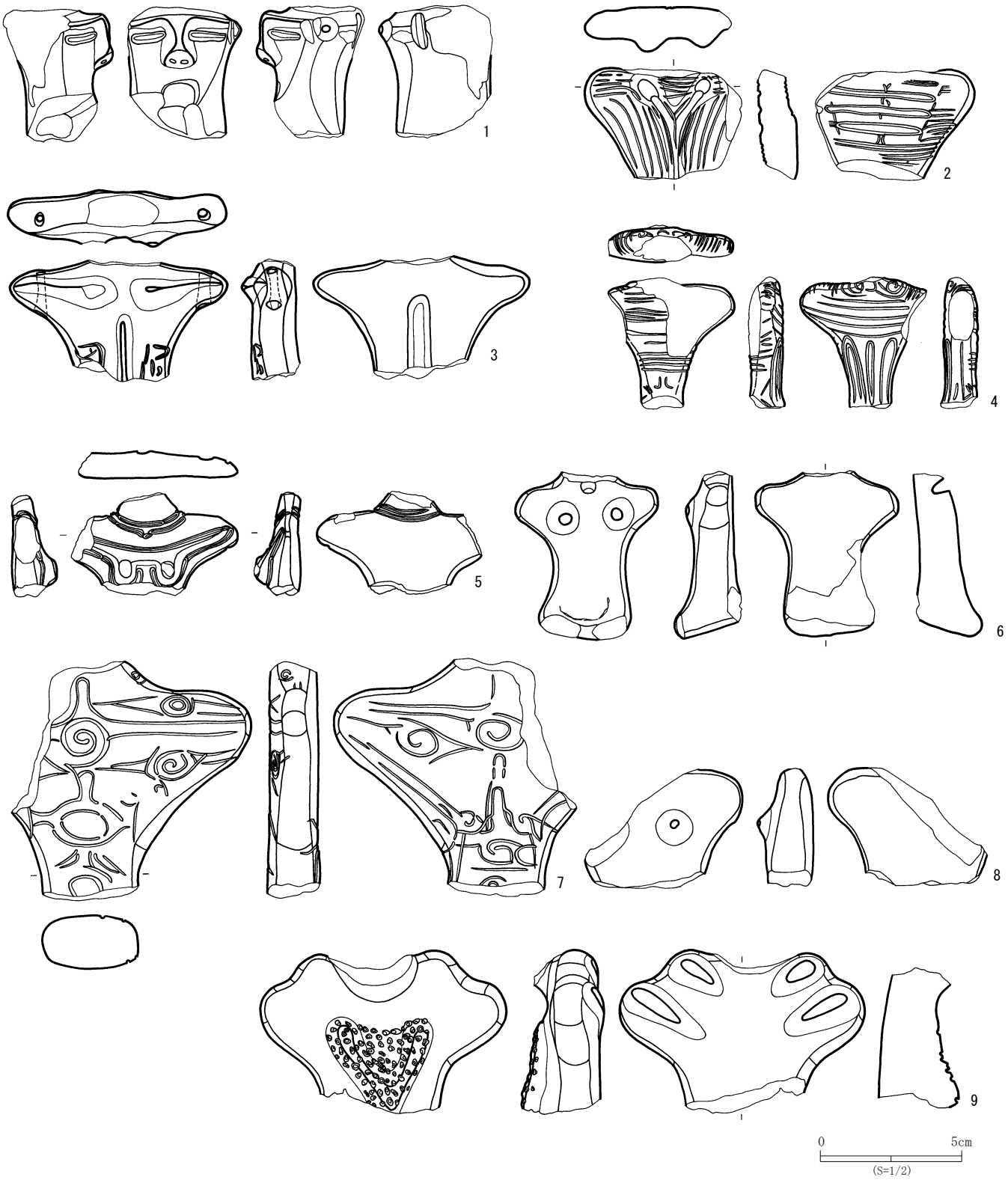
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-7156	F-42Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ10.60g。	-
2	P-7157	F-44Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ5.27g。	-
3	P-7158	F-43Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ7.70g。	-
4	P-7159	E-44Gr.	土製円盤	渦巻隆沈線文。	重さ6.09g。	-
5	P-7160	F-45Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ4.42g。	-
6	P-7161	F-45Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.96g。	-
7	P-7162	E-39Gr.	土製円盤	縄文施文。	重さ4.13g。	-
8	P-7163	F-39Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.09g。	-
9	P-7164	F-42Gr.	土製円盤	縄文 RL 施文。	重さ3.40g。	-
10	P-7165	F-46Gr.	土製円盤	縄文 LR 施文。	重さ8.14g。	-
11	P-7166	E-44Gr.	土製円盤		重さ6.32g。	-
12	P-7167	G-41Gr.	土製円盤	縄文施文。	重さ7.40g。	-
13	P-7168	E-45Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.56g。	-
14	P-7169	F-45Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.16g。	-
15	P-7170	E-46Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ4.10g。	-
16	P-7171	F-44Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ3.80g。	-
17	P-7172	E-41Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.15g。	-
18	P-7173	E-39Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ6.86g。	-
19	P-7174	E-50Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ4.78g。	-
20	P-7175	F-42Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ6.57g。	-
21	P-7176	D-39Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ6.52g。	-
22	P-7177	F-43Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ5.22g。	-
23	P-7178	H-35Gr.	土製円盤	縄文 RL ？施文。	重さ3.74g。	-
24	P-7179	F-36Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ3.12g。	-
25	P-7180	F-38Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ4.16g。	-
26	P-7181	E-38Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ3.41g。	-
27	P-7182	G-41Gr.	土製円盤	沈線文、縄文 LR 施文。	重さ6.39g。	-
28	P-7183	E-44Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ3.46g。	-
29	P-7184	F-45Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ2.16g。	-
30	P-7185	F-41Gr.	土製円盤	ナデ。	重さ3.45g。	-
31	P-7186	E-45Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・胴～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	S=1/2。	-
32	P-7187	D-45Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・胴～底部	胴部：縄文 LR 縦位施文。底部：ナデ。	摩滅激しい。S=1/2。	-
33	P-6082	D-42Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・胴～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	S=1/2。	-
34	P-7188	表採	ﾐﾆﾁｭｱ土器・胴～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	S=1/2。	-
35	P-7189	E-40Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・台接合部	縄文 LR 施文。	S=1/2。	-
36	P-7190	G-39Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・胴～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	S=1/2。	-
37	P-7191	B・C-64Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・胴～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	S=1/2。	-
38	P-7192	E・F -28・29Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・胴～底部	胴部：ナデ。底部：ナデ。	S=1/2。	-
39	P-7193	G-37Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・底部	ナデ。	S=1/2。	-
40	P-7194	E-42Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ土器・台接合部	縄文 RL 縦位施文。	S=1/2。	-

第585図　縄文時代遺構外出土遺物(44)



№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-6083	H-25Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～胴部	口縁部：円形刺突文、渦巻・横位隆沈線文。胴部：ナデ。	S=1/2。	-
2	P-7195	E-35Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～胴部	口縁～胴部：ナデ。内面に輪積痕。	S=1/2。	-
3	P-6084	F・G-32・33Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～底部	口縁部：曲流渦巻・波状・弧状隆沈線文。胴部：連続縦位沈線文。底部：ナデ。	S=1/2。	242- 5
4	P-7196	E-29Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～底部	口縁～胴部：有棘渦巻・渦巻・棘状・横位・縦位沈線文、縄文ＬＲ斜位施文。底部：ナデ。	摩滅激しい。S=1/2。	-
5	P-7197	F-37Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～底部	口縁部：口縁突起。口縁～底部：ナデ。	S=1/2。	242- 1
6	P-7198	E-45Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁部	渦巻・横位隆沈線文、弧状・縦位沈線文。	S=1/2。	-
7	P-6085	G-19Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・胴部	弧状・棘状・横位・縦位沈線文。	S=1/2。	-
8	P-7199	H-34Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～底部	口縁～胴部：弧状隆沈線文、ナデ。底部：ナデ。	S=1/2。	-
9	P-7200	F-38Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・胴～底部	胴部：縦位沈線文、縄文ＲＬ縦位施文。底部：ナデ。	摩滅激しい。S=1/2。	-
10	P-7201	F-36Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・胴～底部	渦巻？・縦位沈線文。	S=1/2。	-
11	P-6086	K-19Gr.	皮袋形土製品？	渦巻？沈線文、ナデ。底部：ナデ。	平面楕円形。S=1/2。	-
12	P-6087	G-11Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～胴部	口縁部：ナデ。胴部：ナデ。内面に輪積痕。	S=1/2。	-
13	P-6088	表採	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・胴～底部	胴部：弧状・横位・縦位沈線文。底部：ナデ。	S=1/2。	-
14	P-6089	I-20Gr.	皮袋形土製品	渦巻貼付文、弧状隆線文、弧状沈線文、連続刺突文。	平面楕円形。S=1/2。	242- 4
15	P-7202	E-43Gr.	ﾐﾆﾁｭｱ7土器・口縁～胴部	口縁～胴部：ナデ。内面に輪積痕。	平面方形？ S=1/2。	-

第586図　縄文時代遺構外出土遺物(45)



№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-6090	E-32・33Gr.	土偶・頭部	目：横位短沈線文。鼻：隆線文＋刺突文。	S=1/2。	241-1
2	P-7203	F-42Gr.	土偶・胴～腕部	表面：胸部円形隆線文、「Y」字状・弧状・横位沈線文。裏面：横位・縦位沈線文。	S=1/2。	241-2
3	P-7204	F-35Gr.	土偶・胴～腕部	表面:胸部横位隆線文、縦位隆線文、弧状・縦位沈線文。裏面:縦位沈線文。腕部先端に穿孔有り。	S=1/2。	241-15
4	P-7205	G-41・42Gr.	土偶・胴～腕部	表面：弧状・横位沈線文。裏面：渦巻・弧状・「∩」字状・横位沈線文。	S=1/2。	241-11
5	P-6091	J・K-19Gr.	土偶・胴～腕部	表面：胸部円形隆線文、弧状・横位沈線文。裏面：横位沈線文。	S=1/2。	241-8
6	P-7206	E-29Gr.	土偶・胴～脚部	胸部円形貼付文、首下に円形刺突文、ナデ。	S=1/2。	241-9
7	P-7207	F-44Gr.	土偶・胴～腕部	渦巻・弧状・横位・縦位・斜位沈線文。	S=1/2。	241-7
8	P-7208	G-41Gr.	土偶・胴～腕部	胸部円形貼付文、ナデ。	S=1/2。	241-12
9	P-7209	G-35Gr.	土偶・胴～腕部	表面：胸部「V」字状隆線文＋連続刺突文、ナデ。裏面：斜位隆線文、ナデ。	S=1/2。	241-3

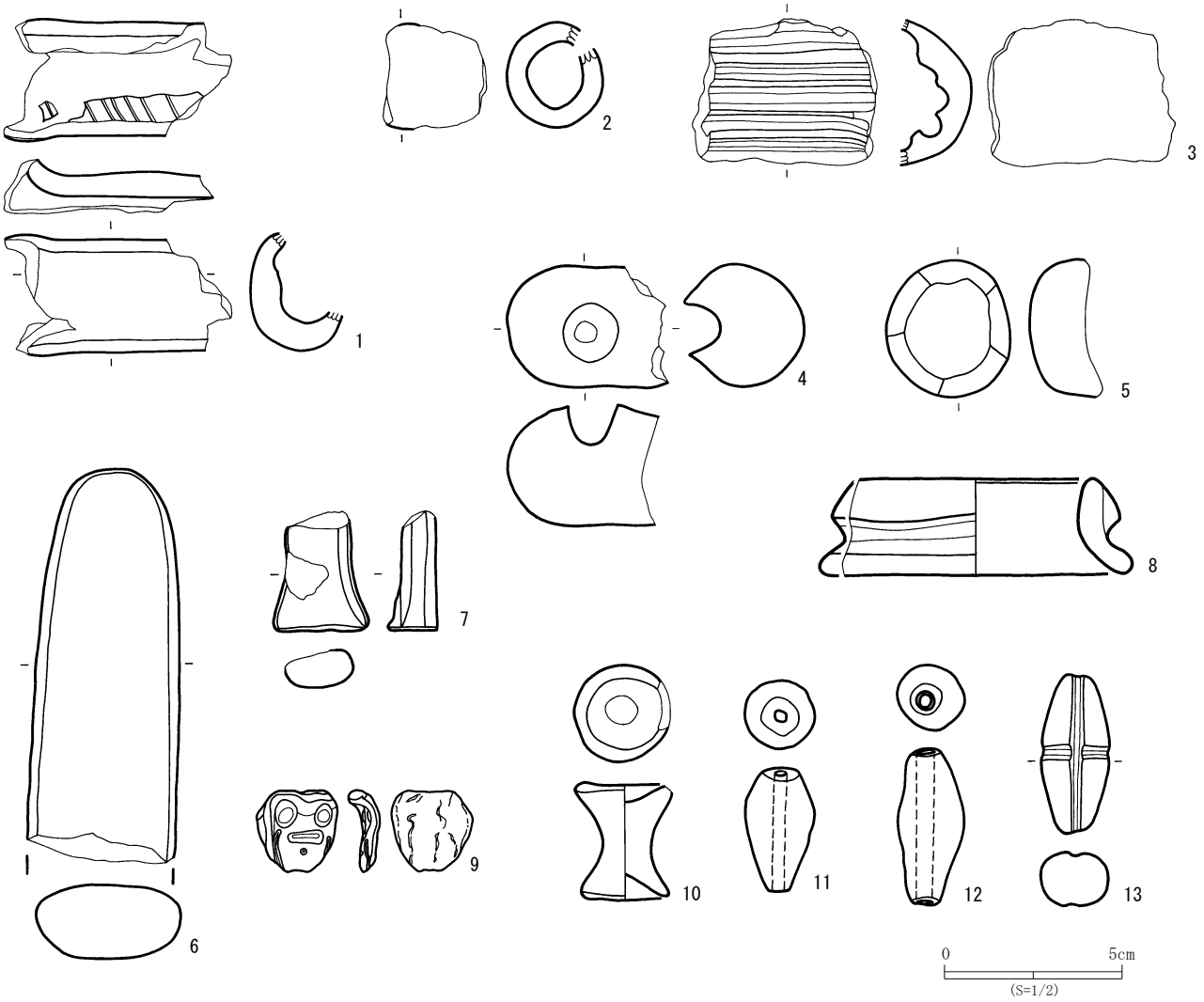
第587図　縄文時代遺構外出土遺物(46)

№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-7210	E・F-28・29Gr.	土偶・腕部	弧状・横位沈線文、ナデ。	S=1/2。	241-4
2	P-7211	F-39Gr.	土偶・腕部	ナデ、先端に穿孔有り。	S=1/2。	241-5
3	P-6092	J-18Gr.	土偶・腕部	表面：刺突文、ナデ。裏面：ナデ。	S=1/2。	241-6
4	P-7212	G-35Gr.	土偶・胴～脚部	胴部：縦位隆線文上に円形刺突文、渦巻・弧状・横位・縦位沈線文。脚部：横位沈線文。	S=1/2。	241-13
5	P-7213	E-29Gr.	土偶・胴部	弧状・横位・縦位沈線文。	S=1/2。	241-10
6	P-7214	F-39Gr.	土偶・胴～脚部	表面：連続刺突文、弧状沈線文。裏面：弧状・横位沈線文。	S=1/2。	241-18
7	P-7215	G-36Gr.	土偶・胴部	表面：逆「Y」字状隆線文、円形・弧状・横位・縦位沈線文。裏面：縦位沈線文、ナデ。	S=1/2。	241-17
8	P-6093	I-20Gr.	土偶・脚部	横位沈線文、ナデ。	S=1/2。	241-16
9	P-7216	B・C-59Gr.	土偶・胴～脚部	渦巻・円形・弧状・横位沈線文。	S=1/2。	241-19
10	P-6094	H・I-24・25Gr.	土偶・胴～脚部	表面：横位沈線文。裏面：弧状・横位・縦位沈線文。	S=1/2。	241-14

第588図　縄文時代遺構外出土遺物(47)

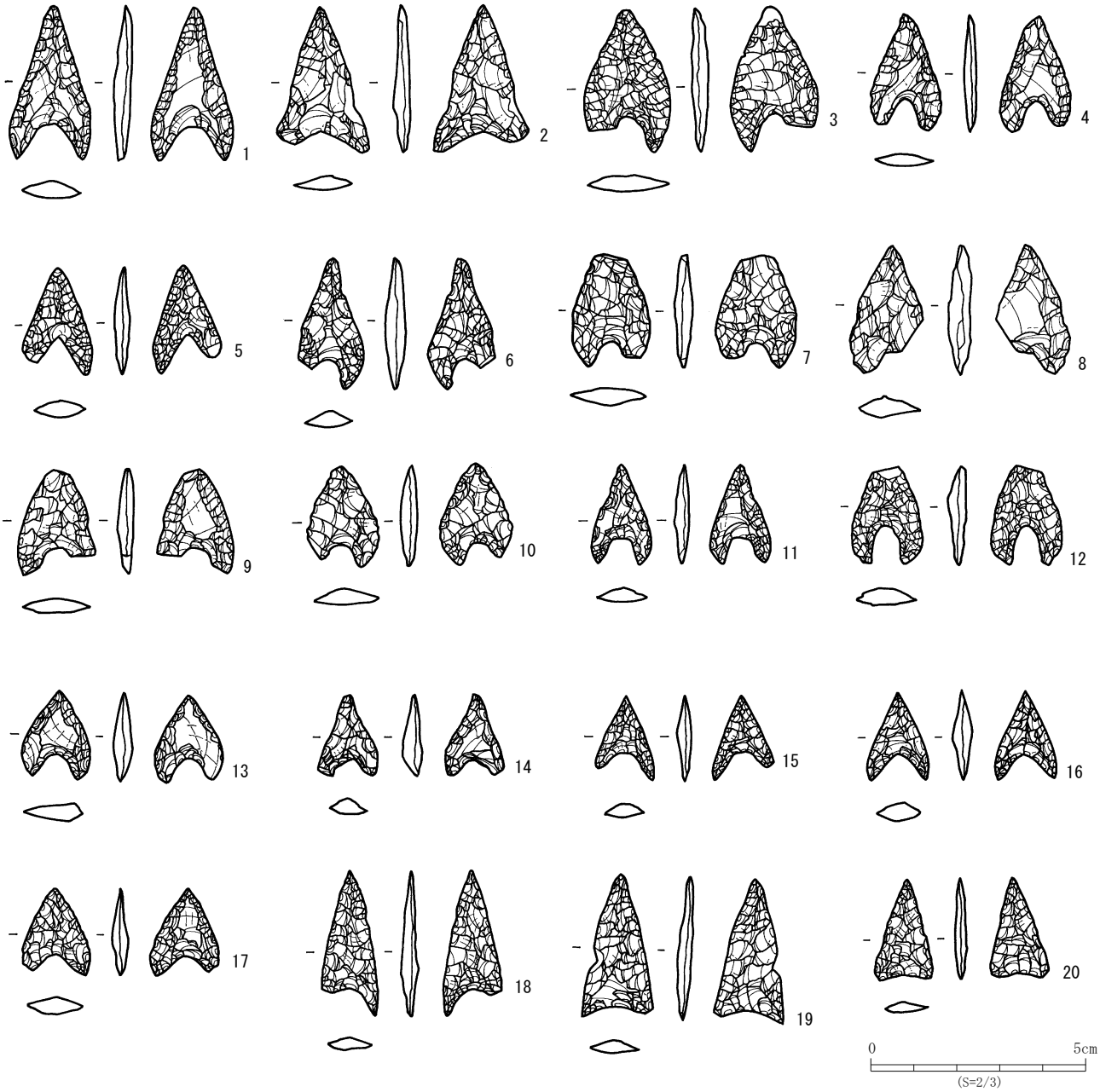
№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-6095	G・H-9Gr.	土偶・脚部	縦位沈線文、ナデ。	S=1/2。	241-20
2	P-7217	G・H-27Gr.	土偶・脚部	ナデ。	S=1/2。	241-21
3	P-7218	G-37Gr.	土偶・脚部	表面：斜位短沈線文。ナデ。	S=1/2。	241-22
4	P-6096	G・H-25・26Gr.	土偶・脚部	ナデ。	S=1/2。	241-23
5	P-7219	G-41Gr.	垂飾品	穿孔有り、円形・横位沈線文、ナデ。	S=1/2。	242- 2
6	P-7220	F-45Gr.	垂飾品	表面：円形刺突文、弧状・縦位・斜位沈線文。裏面：縁辺に刺突文、ナデ。	S=1/2。	-
7	P-7221	D-45Gr.	三角形土製品	表面：円形刺突文、斜位短沈線文、ナデ。裏面：ナデ。	S=1/2。	-
8	P-7222	E-28Gr.	三角形土製品	表面：渦巻・横位沈線文、ナデ。裏面：弧状・斜位沈線文、ナデ。	S=1/2。	242- 3
9	P-7223	G・H-30・31Gr.	三角形土製品	表面：円形刺突文、ナデ。裏面：ナデ。	S=1/2。	242- 8
10	P-7224	E-32Gr.	三角形土製品	ナデ。頂部に円形刺突文。	S=1/2。	242- 6
11	P-6097	K-19Gr.	三角形土製品	表面：三角形？・横位・斜位沈線文、沈線文沿いに刺突文。裏面：ナデ。	S=1/2。	242-13
12	P-7225	G・H-27Gr.	三角形土製品	弧状・縦位沈線文。	S=1/2。	242-12
13	P-7226	H-35Gr.	三角形土製品	表面：横位・縦位・斜位沈線文、ナデ。裏面：ナデ。	S=1/2。	242- 7

第589図　縄文時代遺構外出土遺物(48)



№.	登録番号	出土位置	器形・部位	文様等	備　考	写真図版
1	P-7227	D-42Gr.	パイプ形土製品	ナデ。	S=1/2。	-
2	P-7228	G-38Gr.	パイプ形土製品	ナデ。	S=1/2。	-
3	P-7229	E-45Gr.	パイプ形土製品	ナデ。	S=1/2。	242-10
4	P-7230	F-37Gr.	不明土製品	円形刺突文、ナデ。	S=1/2。	242-11
5	P-7231	G-35Gr.	不明土製品	ナデ。	S=1/2。	242-14
6	P-7232	F-45Gr.	土製品	ナデ。	S=1/2。	242- 9
7	P-7233	F-45Gr.	不明土製品	ナデ。	S=1/2。	-
8	P-7234	F-41Gr.	腕輪形土製品？	横位隆線文、ナデ。	S=1/2。	242-25
9	P-7235	E～G-34～37Gr.	人面付土器？	円形刺突文、弧状沈線文。目：円形刺突文。口：横位沈線文。	S=1/2。	242-16
10	P-7236	D-38Gr.	耳栓	ナデ。	S=1/2。	242-17
11	P-6098	J-25～E-20Gr.	土錘	ナデ。	重さ9.70g。S=1/2。	242-18
12	P-6099	G-14～K-9Gr.	土錘	ナデ。	重さ12.96g。S=1/2。	242-19
13	P-7237	E-46Gr.	土錘	十字状沈線文、ナデ。	重さ13.24g。S=1/2。	242-20

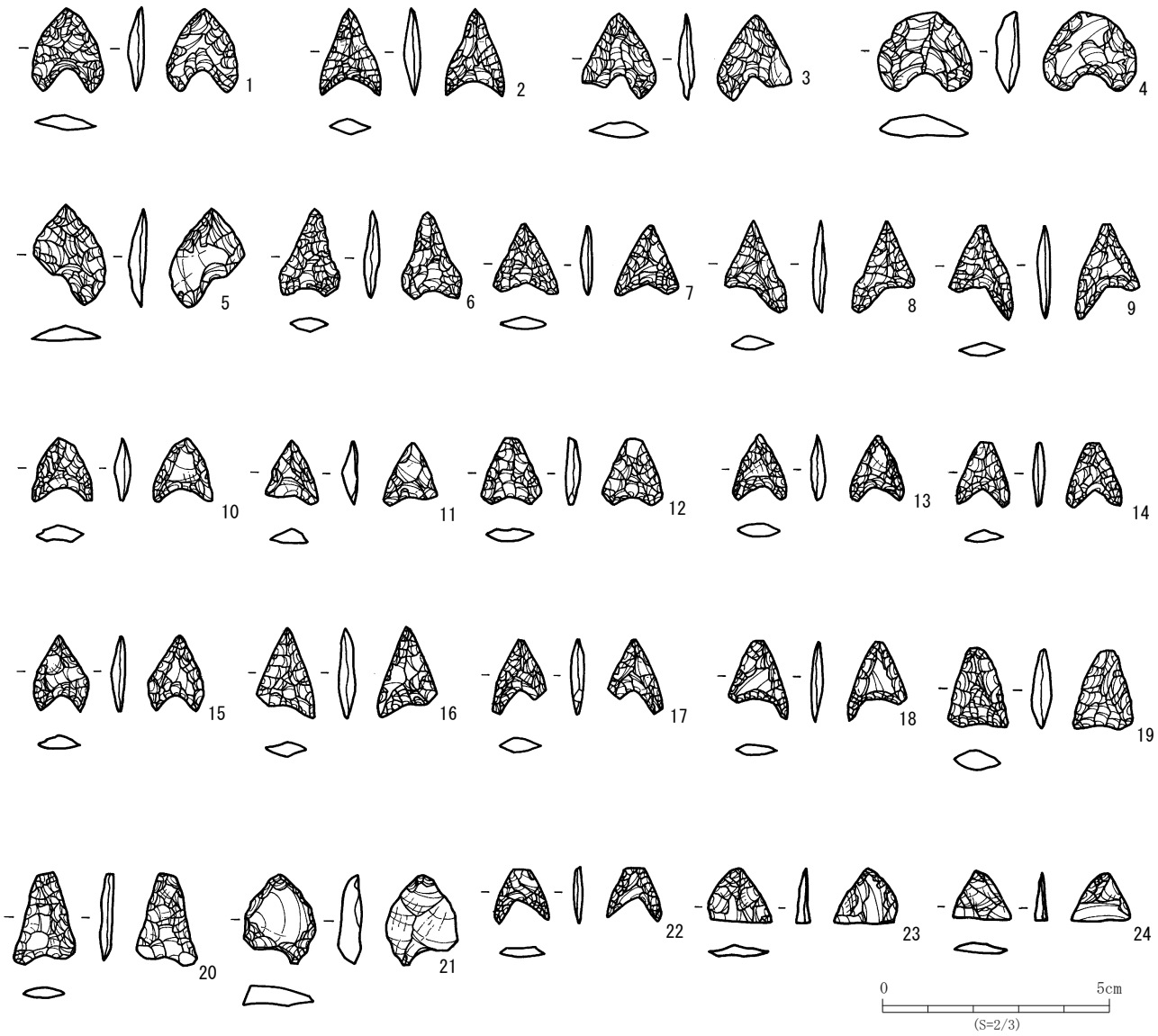
第590図　縄文時代遺構外出土遺物(49)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-a-6098	F-34Gr.	石鏃	珪質頁岩	35.5	18.7	3.8	1.8	－	243-1
2	Ka-a-6099	J-18Gr.	石鏃	珪質頁岩	34.5	22.1	3.9	2.2	－	243-2
3	Ka-a-6100	SK6022	石鏃	珪質頁岩	(32.7)	(19.8)	3.4	(1.9)	左脚部欠損、裏面先端部ガジリ。	243-3
4	Ka-a-6101	J-18Gr.	石鏃	珪質頁岩	26.6	16.7	2.6	1.1	－	243-4
5	Ka-a-7024	H-35Gr.	石鏃	珪質頁岩	35.3	(16.0)	3.8	(0.9)	左脚部欠損。	243-5
6	Ka-a-6102	G-25Gr.	石鏃	珪質頁岩	29.7	(15.4)	4.4	(1.4)	－	243-6
7	Ka-a-7025	SD701	石鏃	珪質頁岩	(26.5)	18.5	4.3	(1.7)	先端・右脚部欠損。	243-7
8	Ka-a-6103	K-18Gr.	石鏃	玉髄	(30.5)	(15.5)	4.7	(1.8)	左脚部欠損。	243-8
9	Ka-a-6104	J-18Gr.	石鏃	珪質頁岩	(24.5)	(16.9)	3.6	(0.9)	－	243-9
10	Ka-a-6105	SK6022	石鏃	玉髄	(23.4)	(16.3)	3.4	(1.0)	左脚部欠損。	243-10
11	Ka-a-6106	SX605	石鏃	珪質頁岩	22.8	(14.1)	3.4	(0.7)	右脚先端欠損。	243-11
12	Ka-a-7026	E-36Gr.	石鏃	珪質頁岩	(22.8)	16.7	4.3	(1.1)	先端部欠損。	243-12
13	Ka-a-7027	SX716	石鏃	珪質頁岩	20.2	15.7	4.2	0.9	－	243-13
14	Ka-a-6107	K-19Gr.	石鏃	流紋岩	18.8	13.8	3.9	0.6	－	243-14
15	Ka-a-6108	SX605	石鏃	珪質頁岩	20.1	13.7	3.5	0.4	－	243-15
16	Ka-a-6109	J-19Gr.	石鏃	珪質頁岩	20.3	14.1	4.2	0.7	基部にタール付着。	243-16
17	Ka-a-7028	D-43Gr.	石鏃	珪質頁岩	24.1	13.7	2.8	0.8	－	243-17
18	Ka-a-7029	E-39Gr.	石鏃	珪質頁岩	34.0	(13.0)	3.9	(0.9)	左脚部欠損。	243-42
19	Ka-a-6110	表採	石鏃	珪質頁岩	33.4	16.6	2.9	1.4	－	243-41
20	Ka-a-7030	F-44Gr.	石鏃	珪質頁岩	23.5	13.4	2.8	0.6	－	243-43

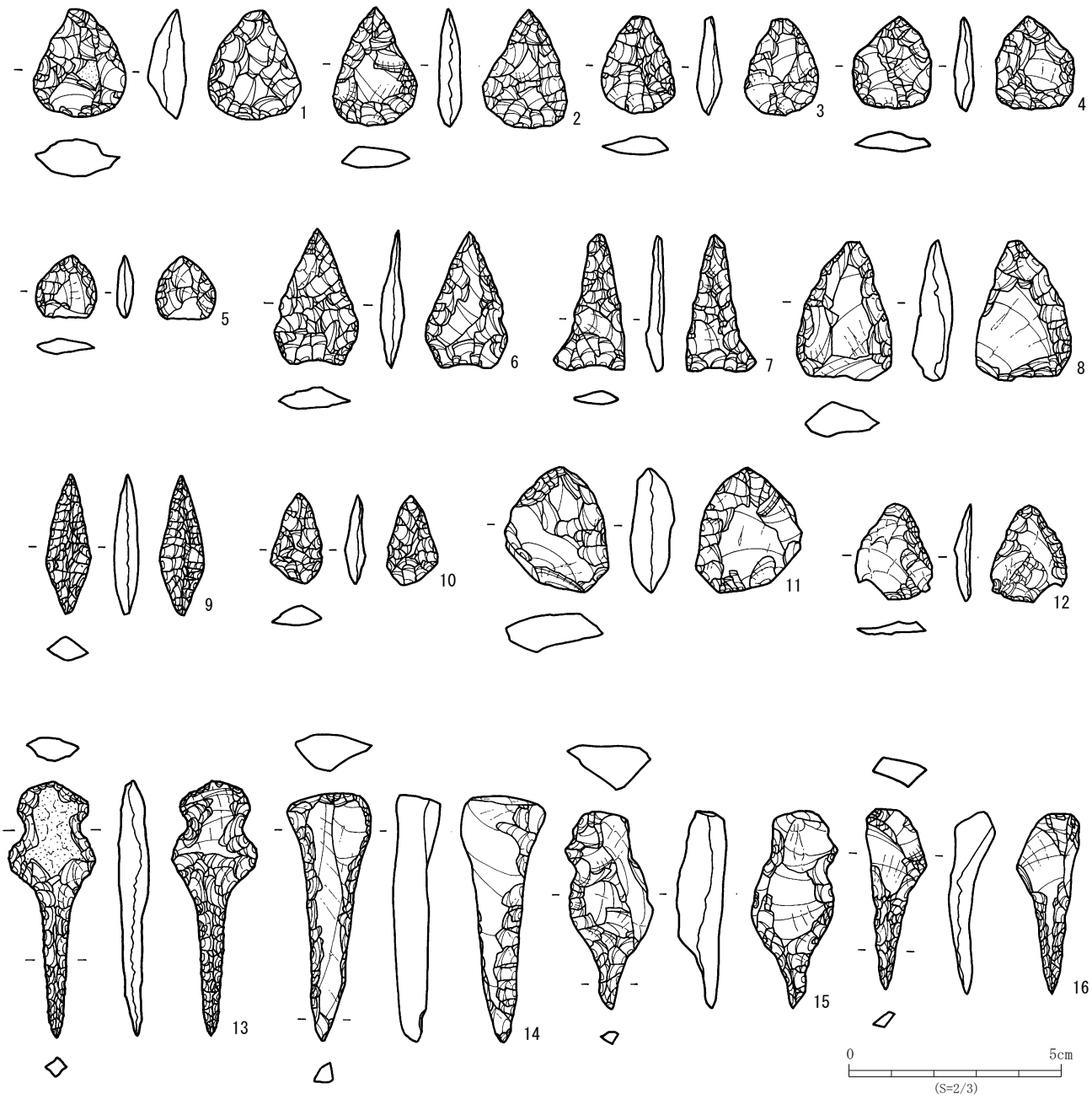
第591図　縄文時代遺構外出土遺物(50)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-a-7031	SX759	石鏃	珪質頁岩	18.4	15.6	3.2	0.7	－	243-18
2	Ka-a-6111	廃土表採	石鏃	珪質頁岩	18.8	13.4	3.3	0.6	－	243-19
3	Ka-a-7032	SX732	石鏃	玉髄	(19.2)	(16.1)	3.3	(0.6)	左脚部欠損。	243-20
4	Ka-a-6112	表採	石鏃	玉髄	(7.7)	20.7	4.7	1.6	－	243-23
5	Ka-a-7033	SI613	石鏃	流紋岩	(22.1)	(15.9)	3.8	(0.8)	左脚部欠損。	243-24
6	Ka-a-7034	G-35Gr.	石鏃	珪質頁岩	19.2	13.6	3.0	0.5	右脚部ガジリ。	243-25
7	Ka-a-7035	F-43Gr.	石鏃	珪質頁岩	15.6	14.1	2.1	0.3	－	243-31
8	Ka-a-6113	表採	石鏃	珪質頁岩	20.5	14.4	2.9	0.5	－	243-21
9	Ka-a-6114	表採	石鏃	珪質頁岩	(19.9)	(14.0)	2.9	(0.5)	－	243-22
10	Ka-a-7036	廃土表採	石鏃	珪質頁岩	14.2	13.2	3.3	0.5	－	243-33
11	Ka-a-6115	J-19Gr.	石鏃	玉髄	(14.5)	(11.6)	3.4	(0.4)	－	243-35
12	Ka-a-7037	F-43Gr.	石鏃	珪質頁岩	(15.3)	(13.0)	3.0	(0.5)	先端・両脚部欠損。	243-36
13	Ka-a-7038	D-45Gr.	石鏃	珪質頁岩	14.3	11.9	2.9	0.4	－	243-37
14	Ka-a-6116	SI603	石鏃	流紋岩	(13.9)	11.7	2.7	(0.3)	先端部欠損	243-34
15	Ka-a-7039	F-41Gr.	石鏃	珪質頁岩	16.8	12.1	2.6	0.4	－	243-32
16	Ka-a-7040	P-70302	石鏃	頁岩	19.8	(12.6)	3.6	(0.5)	左脚部欠損。	243-26
17	Ka-a-6117	J-20Gr.	石鏃	珪質頁岩	(16.3)	(12.8)	2.9	(0.4)	左脚部欠損。	243-27
18	Ka-a-6118	H-20Gr.	石鏃	珪質頁岩	(17.2)	(12.7)	2.2	(0.4)	左脚部欠損。	243-28
19	Ka-a-6119	SK6228	石鏃	珪質頁岩	17.3	13.0	4.1	0.8	－	243-29
20	Ka-a-7041	F-41Gr.	石鏃	珪質頁岩	(19.5)	(13.8)	2.5	(0.6)	先端・両脚部欠損。	243-30
21	Ka-a-7042	SI721	石鏃	玉髄	19.5	15.6	4.8	1.0	－	243-39
22	Ka-a-6120	I-22Gr.	石鏃	珪質頁岩	(11.8)	11.9	1.5	(0.2)	－	243-38
23	Ka-a-7043	G-41Gr.	石鏃	黒耀石	(12.1)	(14.3)	(2.6)	(0.4)	－	243-55
24	Ka-a-7044	G-41Gr.	石鏃	黒耀石	(110.0)	(13.1)	(2.2)	(0.3)	－	243-56

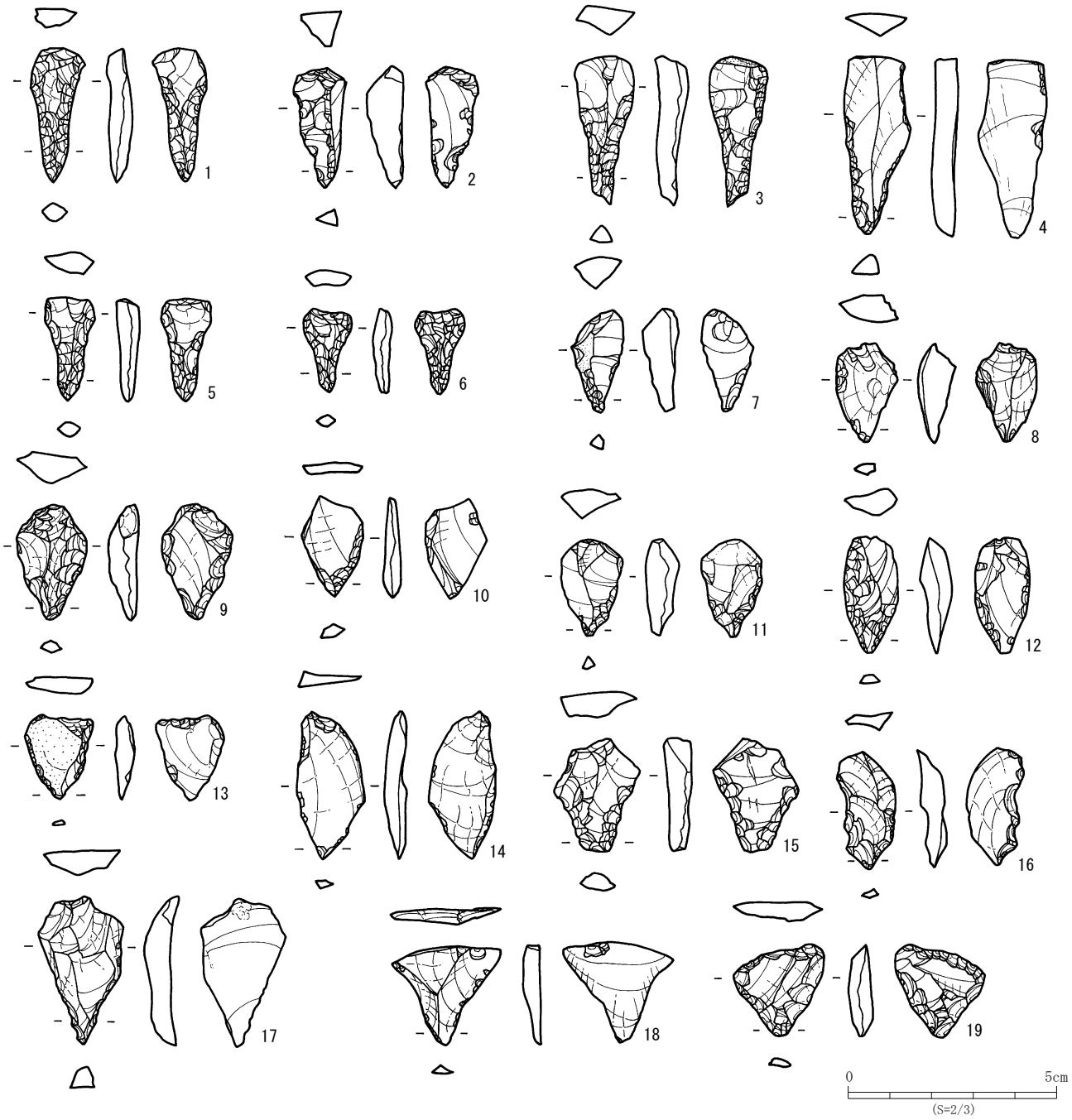
第592図　縄文時代遺構外出土遺物(51)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　　考	写真図版
1	Ka-a-7045	E-30Gr.	石鏃	玉髄	25.8	21.6	8.3	3.7	完形、円基鏃。	243-50
2	Ka-a-6121	G-26・27-Gr.	石鏃	珪質頁岩	27.3	19.7	5.2	2.8	－	243-51
3	Ka-a-6122	H-21Gr.	石鏃	珪質頁岩	22.6	17.6	5.8	2.0	－	243-52
4	Ka-a-7046	F-42Gr.	石鏃	珪質頁岩	21.6	18.2	4.3	1.7	完形、円基鏃。	243-53
5	Ka-a-7047	F-46Gr.	石鏃	珪質頁岩	(14.9)	14.5	3.8	(0.8)	基部ガジリ、円基鏃？	243-54
6	Ka-a-6123	SI603	石鏃	珪質頁岩	31.9	19.4	5.6	2.4	－	243-44
7	Ka-a-7048	G-44Gr.	石鏃	玉髄	36.7	16.8	3.5	1.4	右脚部は調整による欠損。	243-45
8	Ka-a-6124	SD604	石鏃	流紋岩	32.5	22.5	8.0	4.5	－	243-46
9	Ka-a-6125	SD608	石鏃	珪質頁岩	32.5	10.3	5.8	1.5	－	243-47
10	Ka-a-7049	F-43Gr.	石鏃	珪質頁岩	(21.4)	(12.0)	4.6	(0.9)	基部欠損、円基鏃？	243-48
11	Ka-a-6126	F・G-32・33-Gr.	石鏃	珪質頁岩	29.0	26.1	7.3	6.6	－	243-49
12	Ka-a-6127	SK6071	石鏃	珪質頁岩	(22.6)	17.8	3.3	(1.2)	下部欠損。	243-40
13	Ka-b-6103	SX605	石錐	珪質頁岩	59.0	20.2	7.6	4.9	－	243-58
14	Ka-b-6104	SD603	石錐	珪質頁岩	58.5	20.0	10.3	8.7	－	243-59
15	Ka-b-7035	G-35Gr.	石錐	玉髄	55.2	22.2	10.1	7.6	－	243-60
16	Ka-b-6105	J-18Gr.	石錐	珪質頁岩	42.5	14.2	8.5	3.2	－	243-61

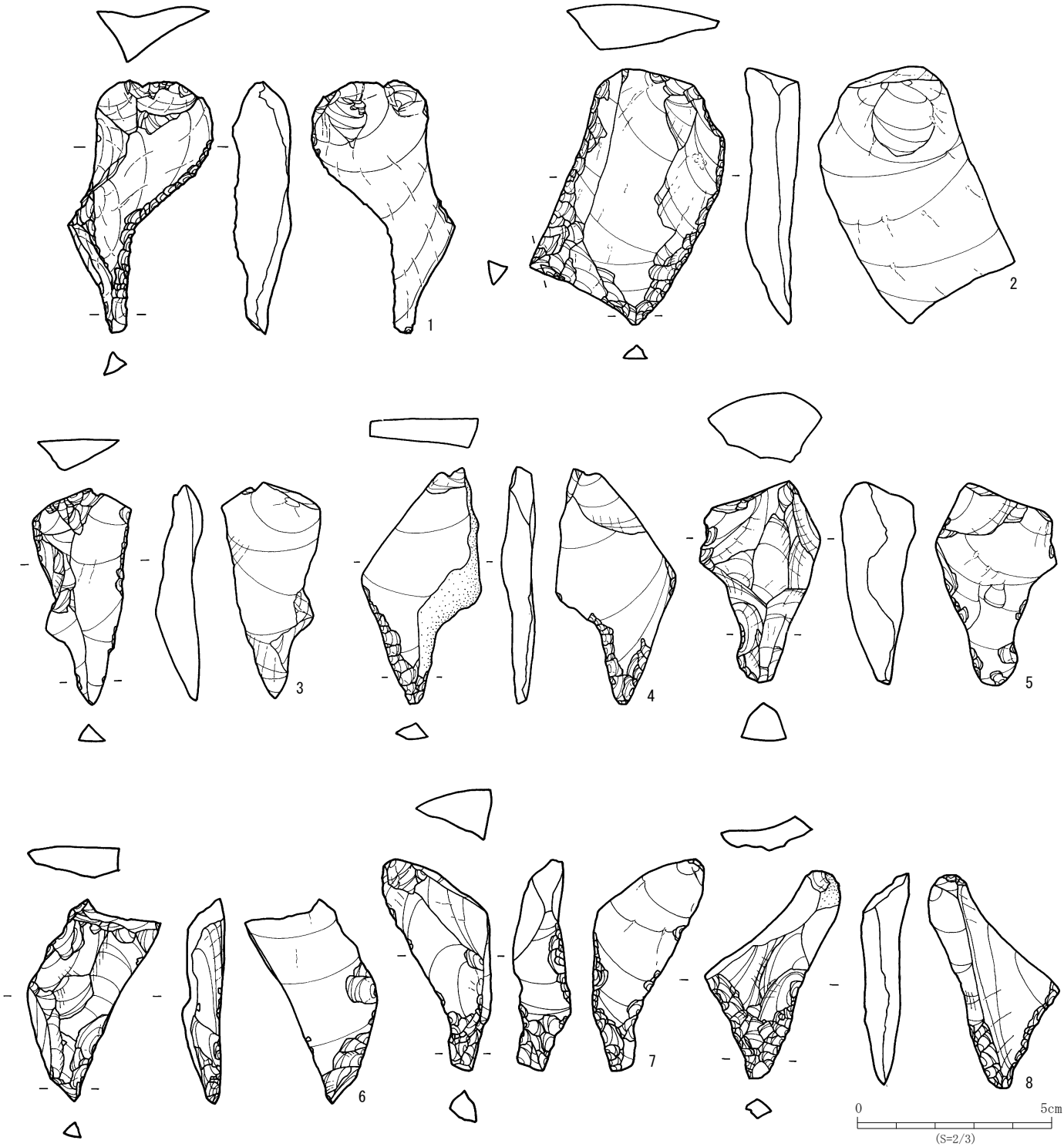
第593図　縄文時代遺構外出土遺物(52)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(ｇ)	備　　考	写真図版
1	Ka-b-7036	廃土表採	石錐	珪質頁岩	32.2	(12.5)	5.3	(2.0)	つまみ部右側縁ガジリ。	243-64
2	Ka-b-7037	G-42Gr.	石錐	玉髄	28.7	12.6	8.6	2.3	－	243-65
3	Ka-b-6106	J-20Gr.	石錐	珪質頁岩	(5.7)	14.2	7.5	(2.9)	－	243-63
4	Ka-b-6107	F-15Gr.	石錐	珪質頁岩	42.4	16.3	5.7	4.0	－	243-62
5	Ka-b-7038	SD701	石錐	玉髄	24.3	11.9	5.6	1.2	－	243-66
6	Ka-b-7039	F-45Gr.	石錐	珪質頁岩	20.2	11.8	4.0	0.8	－	243-69
7	Ka-b-7040	G-41Gr.	石錐	頁岩	24.4	12.4	8.4	1.5	－	243-70
8	Ka-b-6108	SX624	石錐	珪質頁岩	23.6	14.6	7.8	2.0	－	243-71
9	Ka-b-7041	SI721	石錐	玉髄	26.9	16.9	6.8	2.7	－	243-72
10	Ka-b-7042	F-29Gr.	石錐	珪質頁岩	24.2	14.9	4.3	1.2	－	243-73
11	Ka-b-6109	K-19Gr.	石錐	珪質頁岩	23.1	14.5	7.5	2.2	－	243-74
12	Ka-b-7043	F-40Gr.	石錐	玉髄	28.0	13.3	7.7	2.2	－	243-75
13	Ka-b-7044	F-36Gr.	石錐	玉髄	20.4	16.3	4.0	1.4	－	243-76
14	Ka-b-7045	SI721	石錐	珪質頁岩	35.0	16.1	4.8	2.1	－	243-77
15	Ka-b-7046	E-51Gr.	石錐	珪質頁岩	(27.1)	21.3	6.9	(3.1)	錐部欠損、被熱による発泡あり。	243-78
16	Ka-b-7047	SX737	石錐	瑪瑙	27.8	11.7	5.3	1.8	－	243-79
17	Ka-b-7048	F-46Gr.	石錐	頁岩	35.3	20.4	6.0	3.4	－	243-80
18	Ka-b-7049	SX745	石錐	珪質頁岩	22.9	26.2	4.1	1.5	－	243-81
19	Ka-b-7050	E・F-26～32Gr.	石錐	玉髄	22.6	20.3	5.2	2.2	－	244-31

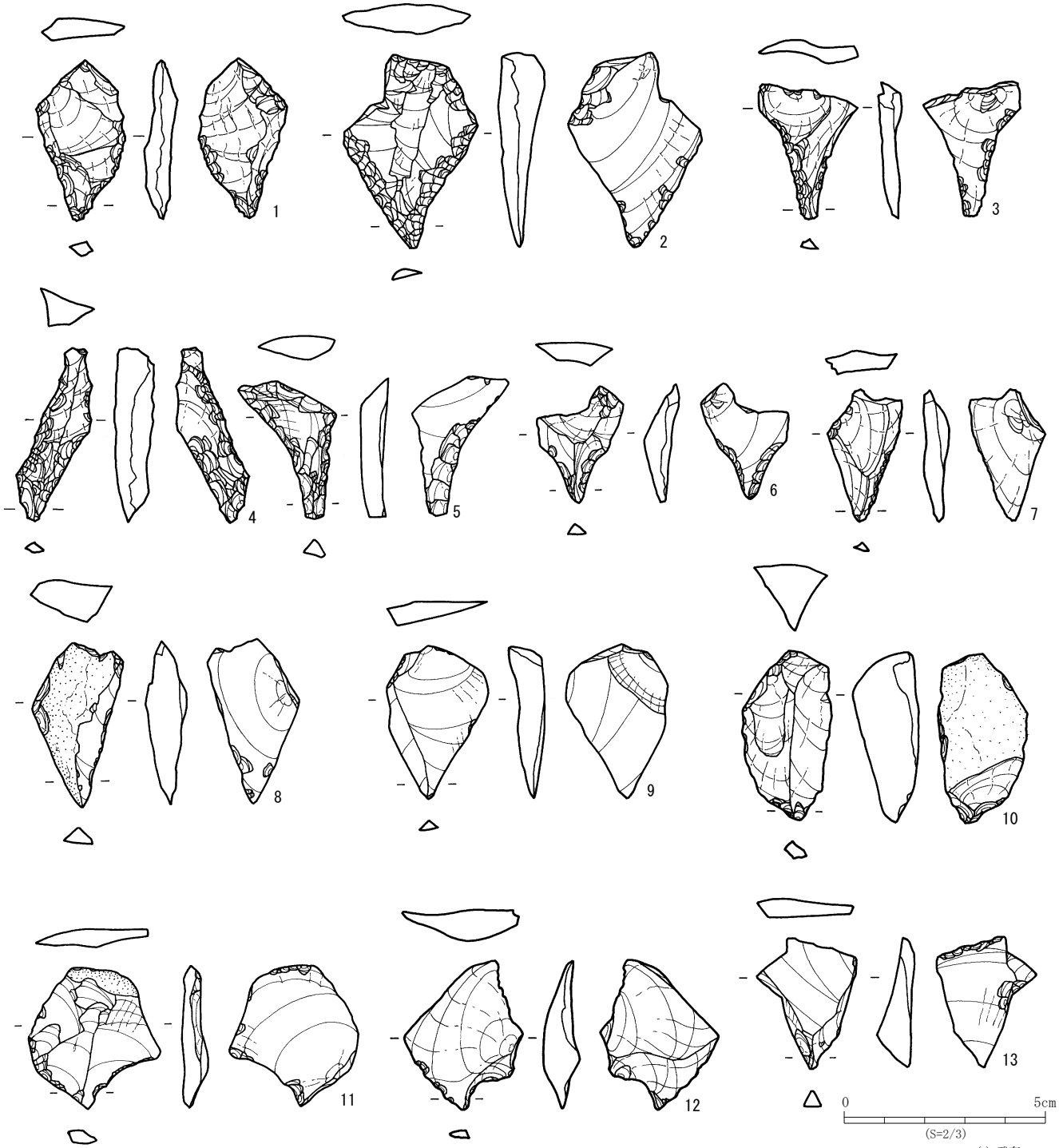
第594図　縄文時代遺構外出土遺物(53)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-b-6110	SX605	石錐	珪質頁岩	65.3	31.1	13.6	16.7	－	244-1
2	Ka-b-6111	G-33Gr.	石錐	流紋岩	63.7	37.9	13.4	30.1	－	244-11
3	Ka-b-6112	J-18Gr.	石錐	珪質頁岩	55.5	25.0	10.0	9.5	－	244-2
4	Ka-b-6113	表採	石錐	珪質頁岩	60.1	30.1	7.6	12.5	－	244-3
5	Ka-b-6114	E・F-21・22Gr.	石錐	珪質頁岩	52.7	30.8	18.3	21.2	－	244-4
6	Ka-b-7051	E-28Gr.	石錐	珪質頁岩	51.0	25.7	10.0	13.9	－	244-5
7	Ka-b-7052	G-41Gr.	石錐	珪質頁岩	(57.5)	22.5	13.0	(12.4)	錐部欠損。	244-6
8	Ka-b-7053	G-35Gr.	石錐	珪質頁岩	(53.0)	(39.8)	12.1	(8.2)	上半縁欠損、錐部表面ハジケ。	-

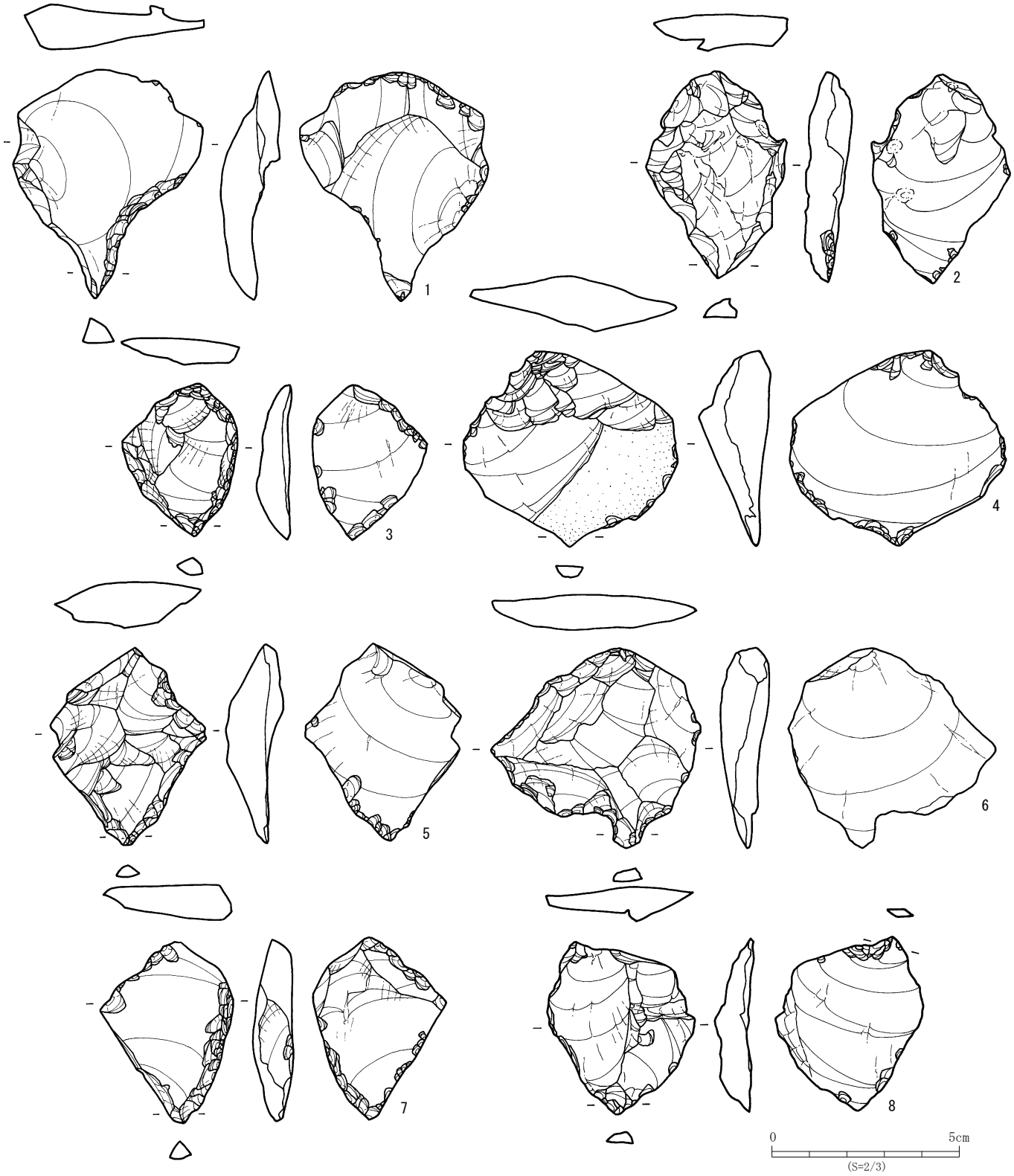
第595図　縄文時代遺構外出土遺物(54)



（）残存

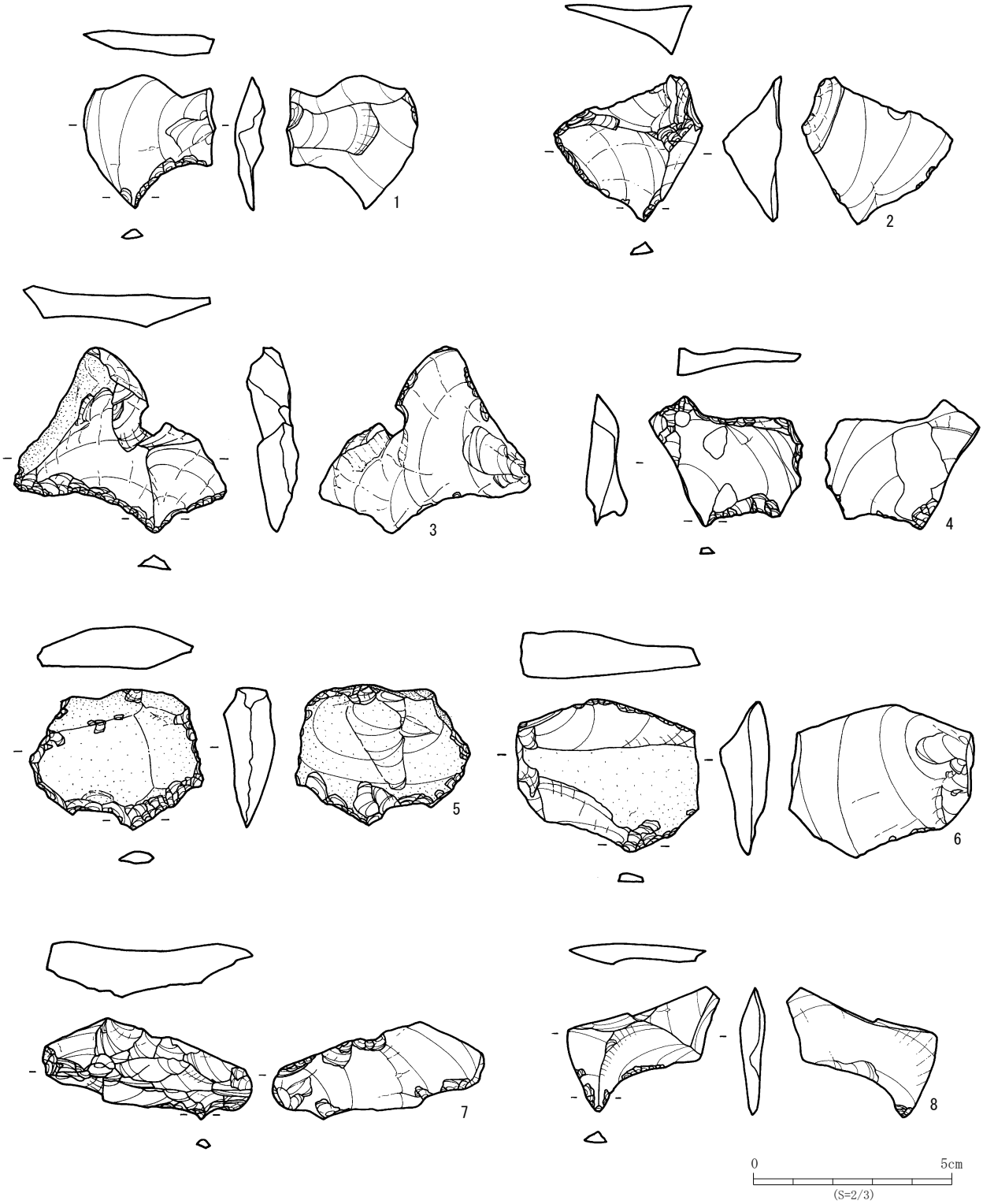
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-b-6115	SX605	石錐	珪質頁岩	38.9	20.7	6.4	4.3	－	-
2	Ka-b-7054	G-35Gr.	石錐	玉髄	48.3	33.1	11.2	12.1	－	244-7
3	Ka-b-6116	SI603	石錐	珪質頁岩	(34.8)	24.3	3.8	(2.3)	錐部先端欠損。	243-83
4	Ka-b-6117	SI603	石錐	珪質頁岩	43.5	13.1	8.9	4.6	－	-
5	Ka-b-6118	E・F-18・19Gr.	石錐	頁岩	35.5	20.8	6.5	3.2	－	243-84
6	Ka-b-6119	K-18Gr.	石錐	珪質頁岩	29.6	21.9	6.5	2.3	－	244-23
7	Ka-b-6120	SI606	石錐	珪質頁岩	32.3	16.6	5.0	2.4	－	244-17
8	Ka-b-6121	K-10Gr.	石錐	珪質頁岩	40.3	23.1	9.4	5.8	－	-
9	Ka-b-6122	I-21Gr.	石錐	珪質頁岩	38.2	25.0	6.7	4.4	－	-
10	Ka-b-7055	SI721	石錐	頁岩	41.7	22.2	15.9	11.6	－	-
11	Ka-b-6123	K-16Gr.	石錐	珪質頁岩	35.0	31.7	5.5	5.3	－	244-20
12	Ka-b-6124	SX605	石錐	珪質頁岩	37.1	27.8	8.1	5.8	－	244-21
13	Ka-b-6125	G-19Gr.	石錐	流紋岩	33.2	4.7	8.5	2.9	－	224-22

第596図　縄文時代遺構外出土遺物(55)



№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-b-6126	K-20Gr.	石錐	珪質頁岩	60.5	49.2	11.8	23.3	－	244-8
2	Ka-b-7056	E-48Gr.	石錐	玉髄	55.3	36.2	10.4	19.1	－	244-4
3	Ka-b-6127	H-20Gr.	石錐	珪質頁岩	40.5	31.0	9.2	11.0	－	244-16
4	Ka-b-7057	E～J-26～32Gr.	石錐	珪質頁岩	52.6	57.1	14.4	33.4	－	244-10
5	Ka-b-6128	E-21・22Gr.	石錐	珪質頁岩	52.8	41.6	14.8	22.0	－	244-12
6	Ka-b-6129	K-18・19Gr.	石錐	流紋岩	52.5	53.6	12.3	28.9	－	244-13
7	Ka-b-6130	J-19Gr.	石錐	珪質頁岩	48.3	35.5	10.0	16.3	－	244-14
8	Ka-b-7058	SD701	石錐	珪質頁岩	46.8	36.4	8.8	11.1	錐部2ヵ所。	244-15

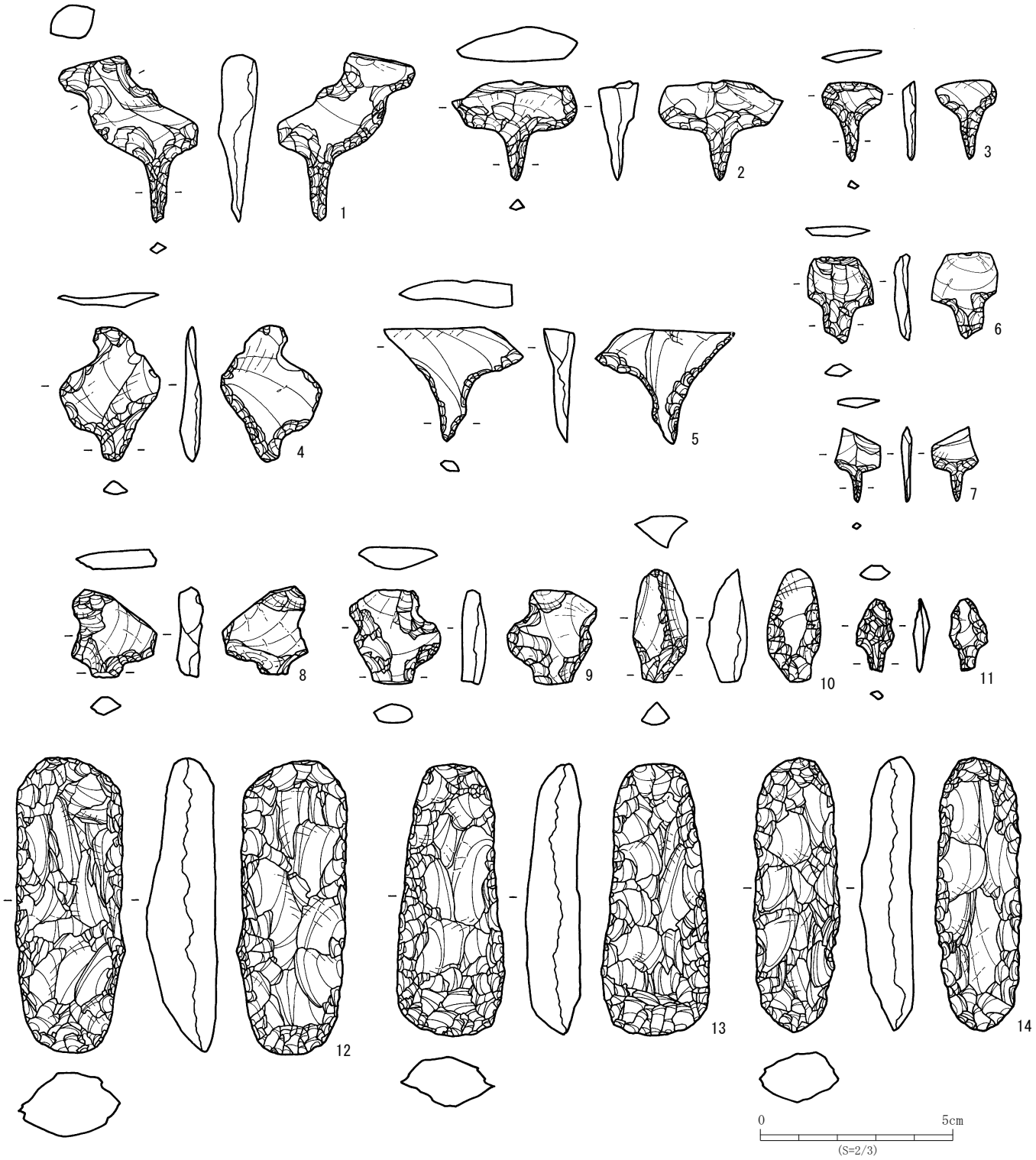
第597図　縄文時代遺構外出土遺物(56)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-b-7059	E-28Gr.	石錐	瑪瑙	30.9	33.9	6.5	6.0	－	244-18
2	Ka-b-7060	SI722	石錐	珪質頁岩	36.8	35.5	13.3	8.1	－	244-19
3	Ka-b-7061	SX741	石錐	珪質頁岩	47.9	52.4	9.4	13.2	右側縁中央欠損。	244-28
4	Ka-b-7062	E・F-30Gr.	石錐	珪質頁岩	27.4	40.1	6.5	(5.2)	表裏にハジケ有り。	244-27
5	Ka-b-7063	C・D-56・57Gr.	石錐	珪質頁岩	35.3	43.6	12.9	17.5	－	244-24
6	Ka-b-7064	G-42Gr.	石錐	珪質頁岩	38.5	(45.5)	12.3	(17.8)	右側縁欠損。	244-25
7	Ka-b-7065	C・D-47Gr.	石錐	珪質頁岩	52.7	20.8	12.7	13.1	－	244-29
8	Ka-b-6131	E・F-18・19Gr.	石錐	珪質頁岩	29.0	38.5	6.3	4.6	－	244-26

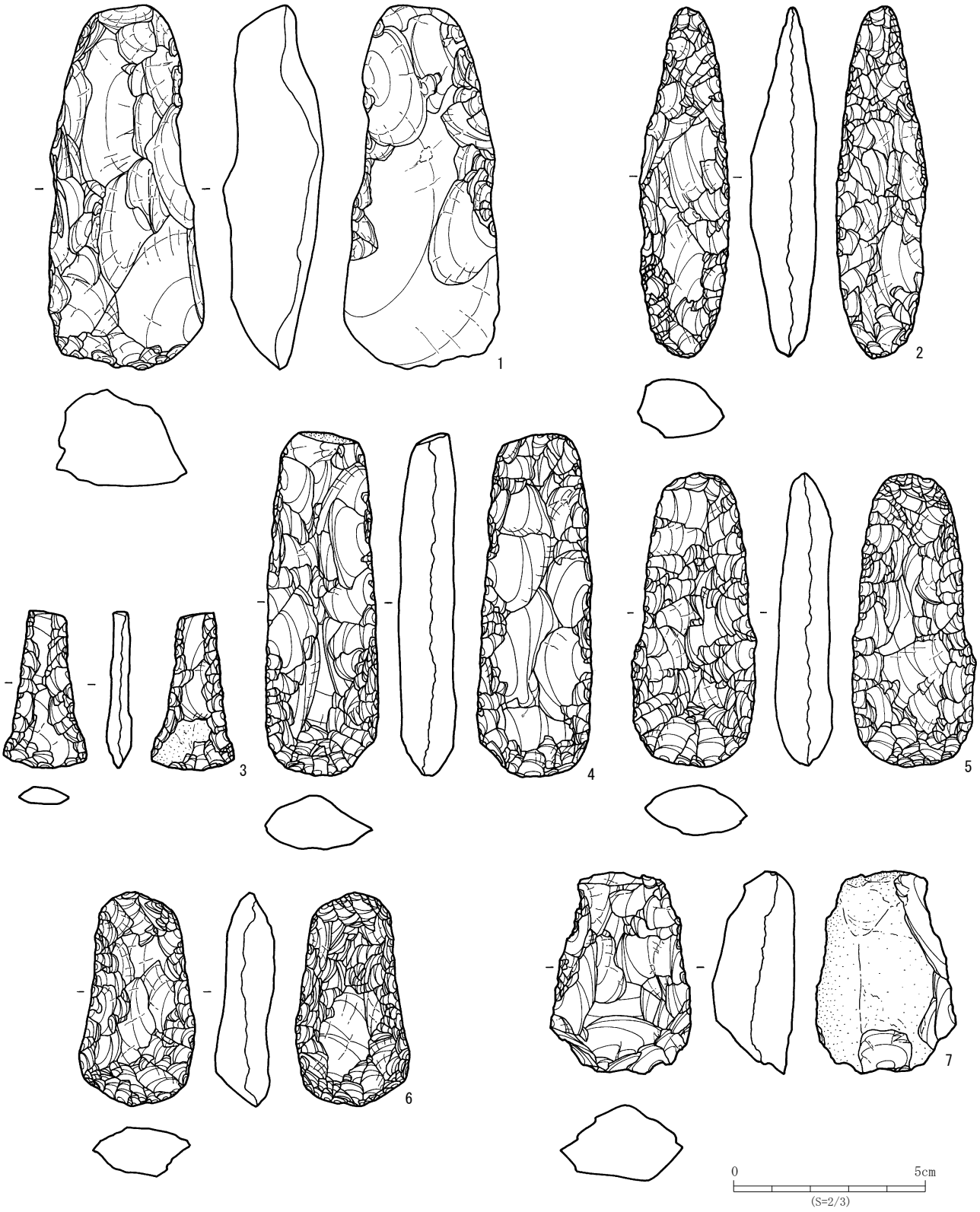
第598図　縄文時代遺構外出土遺物(57)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-b-6132	K-14Gr.	石錐	珪質頁岩	42.8	35.5	8.9	6.7	－	243-57
2	Ka-b-6133	I-21Gr.	石錐	珪質頁岩	25.2	31.4	10.4	4.8	－	243-67
3	Ka-b-6134	J-19Gr.	石錐	珪質頁岩	20.5	5.8	2.9	0.7	－	243-68
4	Ka-b-7066	D-35Gr.	石錐	珪質頁岩	(34.9)	26.1	4.6	(2.9)	錐端部・右側縁ガジリ。	244-30
5	Ka-b-7067	D-44Gr.	石錐	碧玉	29.6	36.4	7.8	3.9	－	243-82
6	Ka-b-6135	E・F-18・19Gr.	石錐	珪質頁岩	(21.4)	17.5	3.3	(1.3)	錐部欠損。	244-33
7	Ka-b-6136	J1-8Gr.	石錐	珪質頁岩	19.6	12.0	2.5	0.4	－	244-34
8	Ka-b-6137	SK6072	石錐	珪質頁岩	(22.8)	22.2	6.2	(3.0)	錐部欠損。	244-32
9	Ka-b-6138	SD604	石錐	珪質頁岩	(24.3)	22.9	6.5	(4.1)	錐部欠損。	-
10	Ka-b-6139	SD603	石錐	珪質頁岩	(28.9)	14.2	11.0	(3.7)	錐部欠損。	-
11	Ka-b-7068	E・F-44Gr.	石錐	玉髄	(18.8)	9.8	3.7	(0.6)	錐部欠損。	244-35
12	Ka-c-7005	E・F-28・29Gr.	石篦	珪質頁岩	76.9	27.5	18.0	45.9	刃部表裏に光沢有り。	245- 4
13	Ka-c-7006	F-41Gr.	石篦	珪質頁岩	70.7	28.1	13.8	33.9	表面中央と裏面中央刃部側に光沢有り。	245- 6
14	Ka-c-7007	F-29Gr.	石篦	珪質頁岩	71.2	22.7	12.5	23.5	－	245- 7

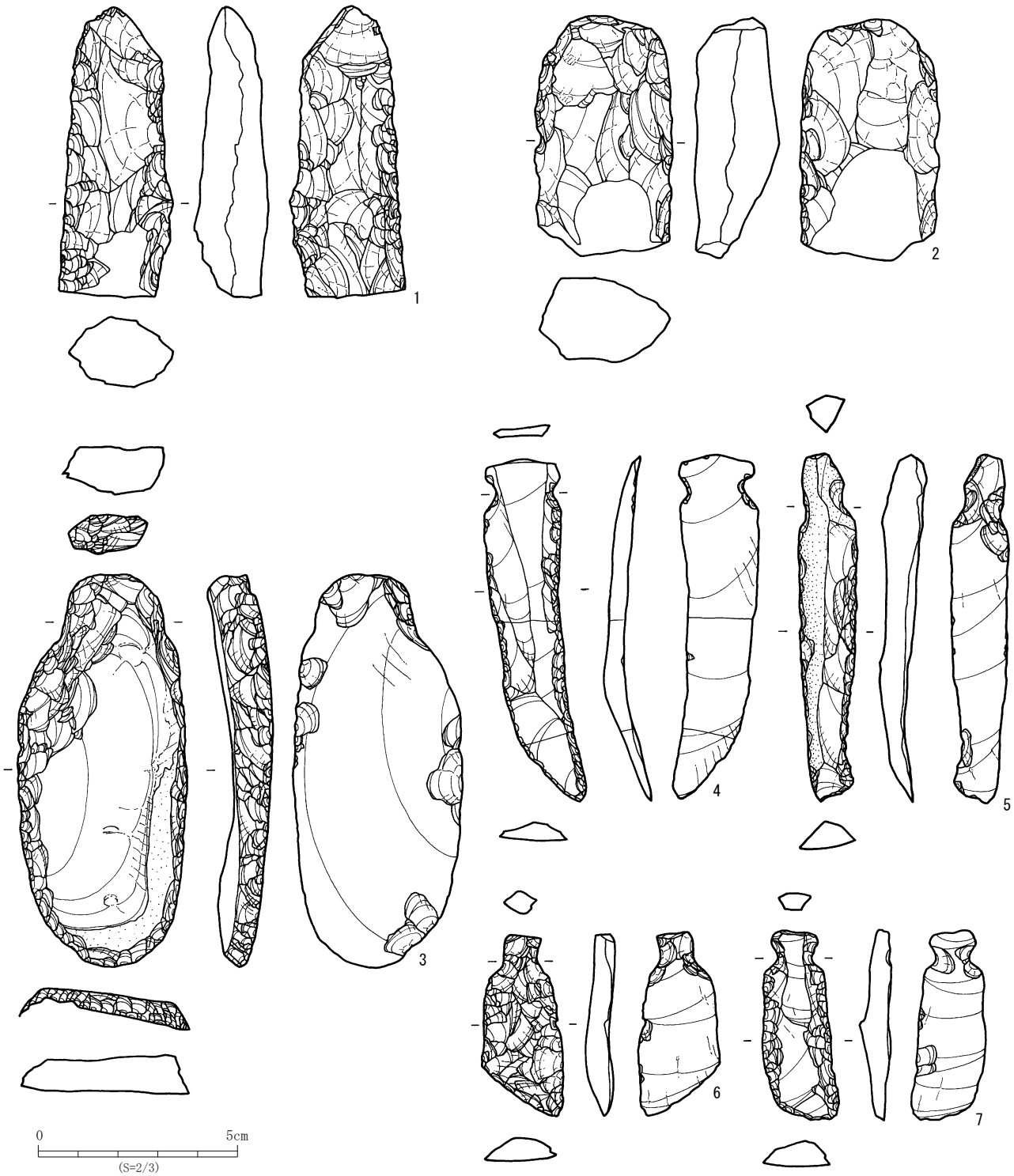
第599図　縄文時代遺構外出土遺物(58)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-c-6008	SI603	石篦	珪質頁岩	93.8	37.3	24.0	97.8	－	245-1
2	Ka-c-7008	F-34Gr.	石篦	珪質頁岩	91.5	23.8	17.4	34.2	尖頭状。	245-3
3	Ka-c-7009	E-50Gr.	石篦	珪質頁岩	(41.2)	21.8	6.8	(4.7)	頭部欠損。	245-10
4	Ka-c-7010	E-28Gr.	石篦	珪質頁岩	89.7	29.8	14.8	50.2	表裏中央部稜線に光沢有り。	245-2
5	Ka-c-6009	表採	石篦	珪質頁岩	75.5	31.7	14.8	39.6	－	245-5
6	Ka-c-6010	SD604	石篦	珪質頁岩	54.7	28.5	13.7	25.5	－	245-8
7	Ka-c-7011	SD701	石篦	珪質頁岩	54.0	36.6	21.2	39.1	再生品の可能性有り。	245-9

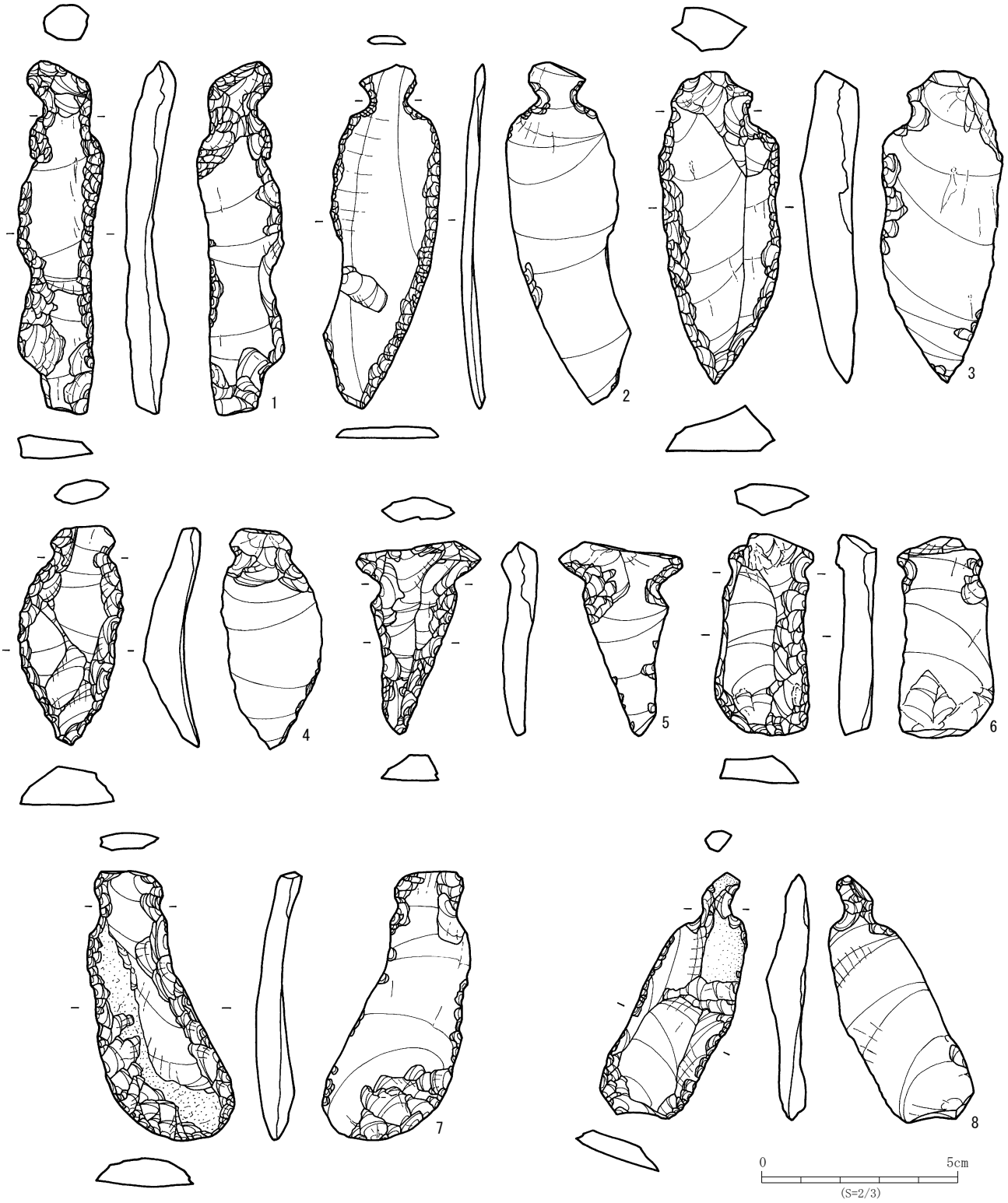
第600図　縄文時代遺構外出土遺物(59)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-c-6011	F・G-32・33Gr.	石篦	珪質頁岩	(71.3)	26.9	17.9	(35.6)	下部欠損。	245-11
2	Ka-c-6012	SI606	石篦	珪質頁岩	(60.3)	(35.0)	(20.9)	(53.0)	下半欠損。	245-12
3	Ka-d-6057	SK6072	石匙	珪質頁岩	97.0	42.3	12.0	60.5	縦型、刃端部円形。	245-13
4	Ka-d-6058	SI603	石匙	珪質頁岩	87.1	19.2	5.7	8.6	縦型、刃端部尖頭状。	245-14
5	Ka-d-6059	K-18Gr.	石匙	頁岩	86.1	15.2	10.6	11.7	縦型。	245-15
6	Ka-d-6060	SD604	石匙	頁岩	45.9	20.5	6.8	5.7	縦型、刃部下端斜直刃。	246-15
7	Ka-d-7033	F-43Gr.	石匙	珪質頁岩	48.4	17.6	7.3	5.6	縦型。	246-16

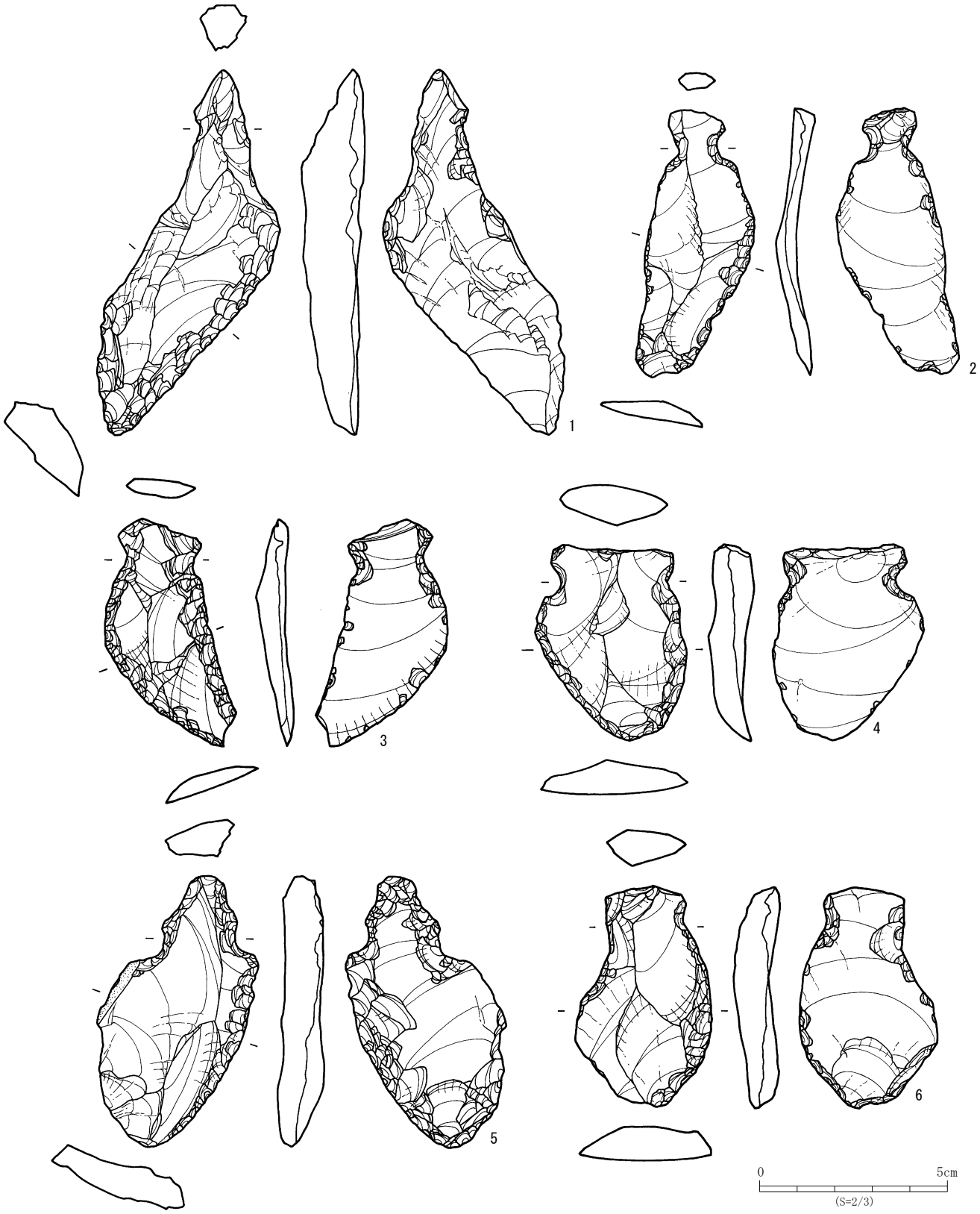
第601図　縄文時代遺構外出土遺物(60)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-d-6061	SK294	石匙	玉髄	88.0	20.0	9.3	18.0	縦型。	245-16
2	Ka-d-7034	H・I-31Gr.	石匙	珪質頁岩	87.6	27.6	3.5	10.8	縦型。左刃部部分欠損。欠損後の再加工有り。	245-17
3	Ka-d-7035	表採	石匙	珪質頁岩	79.8	30.9	12.8	31.3	縦型、刃端部尖頭状。	245-18
4	Ka-d-7036	G・H-27Gr.	石匙	珪質頁岩	56.4	25.8	9.9	13.7	縦型。	245-23
5	Ka-d-7037	H・I-28・29Gr.	石匙	珪質頁岩	(49.3)	32.0	6.0	(7.4)	縦型。	245-24
6	Ka-d-7038	E～G-38～40Gr.	石匙	碧玉	51.0	24.6	10.4	13.2	縦型。	246-14
7	Ka-d-7039	E-45Gr.	石匙	珪質頁岩	72.2	29.3	9.4	18.6	縦型。	246-11
8	Ka-d-7040	E～J-26～32Gr.	石匙	珪質頁岩	67.4	24.3	9.6	12.0	縦型。	246-3

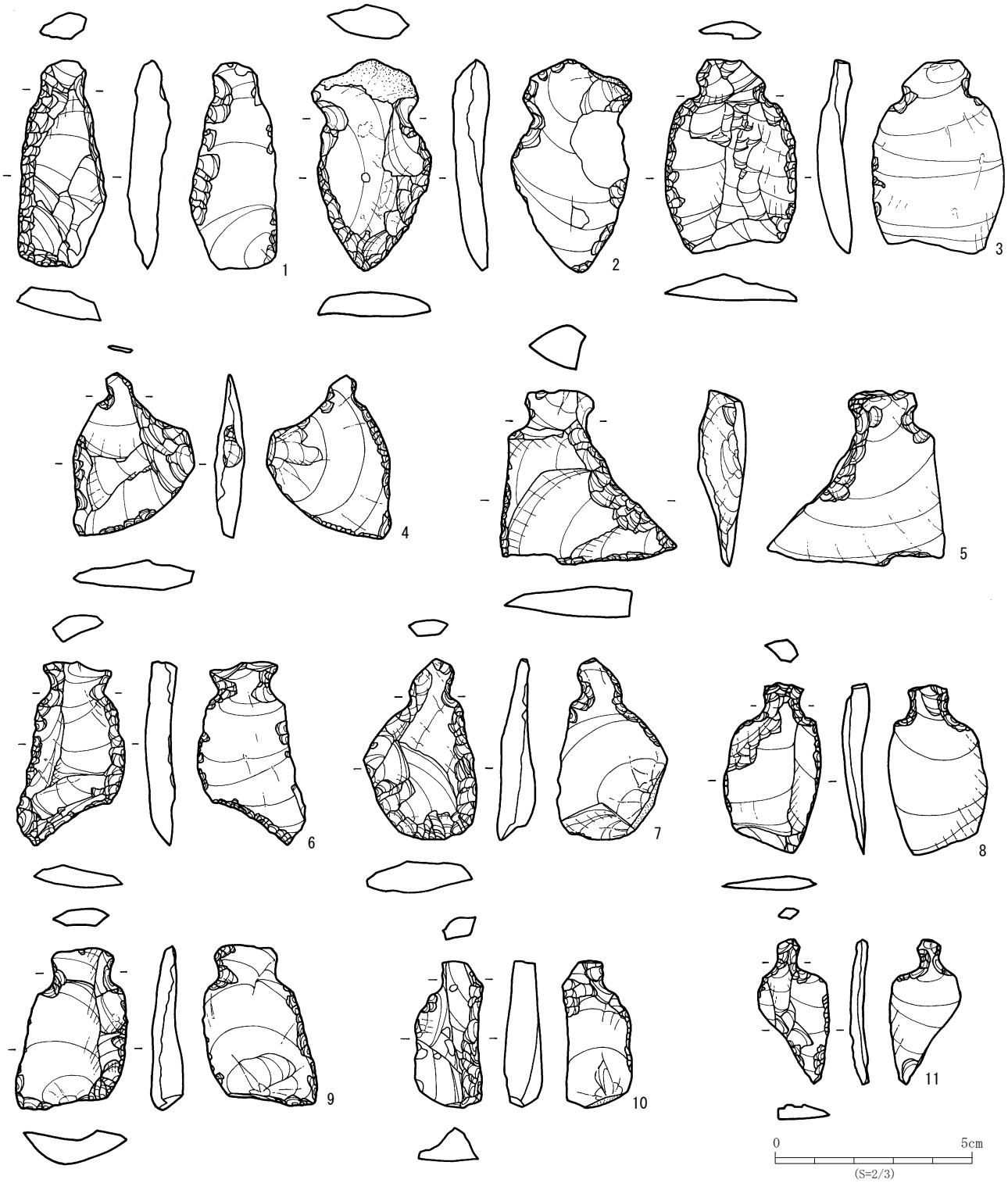
第602図　縄文時代遺構外出土遺物(61)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-d-7041	E-36Gr.	石匙	玉髄	100.6	32.9	16.2	44.7	縦型。	246-1
2	Ka-d-6062	SI603	石匙	珪質頁岩	71.1	27.8	5.7	9.4	縦型。	246-4
3	Ka-d-6063	G・H-19・20Gr.	石匙	珪質頁岩	(63.6)	(28.5)	8.2	(12.4)	縦型、刃端部欠損。	246-13
4	Ka-d-6064	H-21Gr.	石匙	珪質頁岩	51.2	40.3	10.6	23.8	縦型。	247-1
5	Ka-d-7042	G-35Gr.	石匙	珪質頁岩	73.5	38.7	10.9	30.3	縦型。	246-2
6	Ka-d-6065	H～J-20～22Gr.	石匙	珪質頁岩	58.1	36.1	11.4	22.3	縦型。	245-19

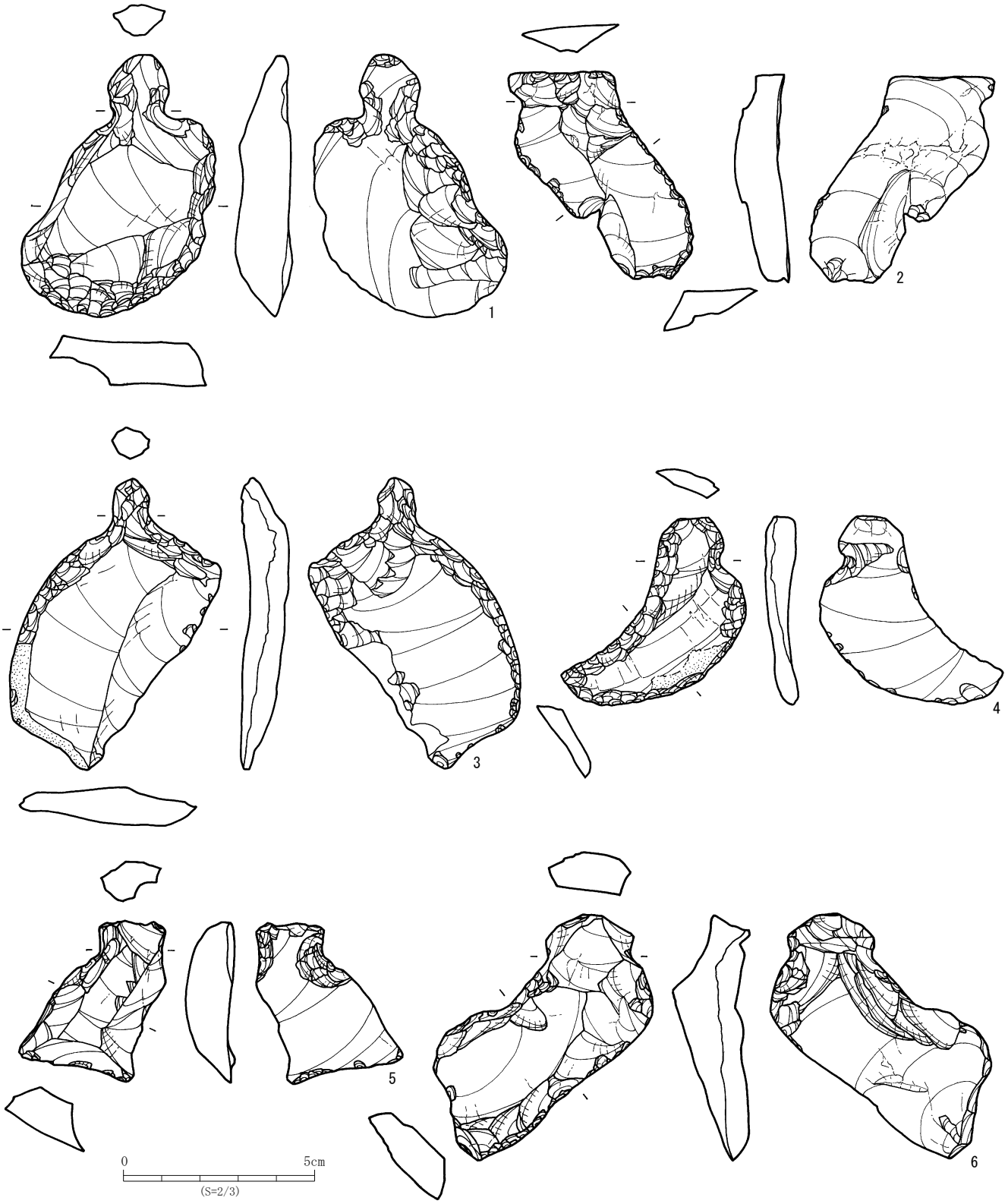
第603図　縄文時代遺構外出土遺物(62)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-d-7043	E-44Gr.	石匙	珪質頁岩	51.7	22.2	8.0	8.9	縦型。	245-20
2	Ka-d-6066	H・I-21Gr.	石匙	珪質頁岩	53.3	29.1	8.3	(13.4)	縦型、器面にハジケ有り。	245-21
3	Ka-d-7044	E-44Gr.	石匙	珪質頁岩	49.0	33.6	6.6	11.1	縦型。	245-22
4	Ka-d-6067	H-21Gr.	石匙	珪質頁岩	41.8	31.4	6.9	7.0	縦型。	246-22
5	Ka-d-6068	E・F-13～20Gr.	石匙	珪質頁岩	43.5	44.2	12.4	14.9	縦型。	246-23
6	Ka-d-7045	F-36Gr.	石匙	珪質頁岩	47.4	26.7	6.1	6.4	縦型。	245-25
7	Ka-d-6069	SD604	石匙	珪質頁岩	46.0	27.5	8.9	9.8	縦型。	246-24
8	Ka-d-6070	F・G-32・33Gr.	石匙	珪質頁岩	42.9	24.2	5.2	4.9	縦型。	246-25
9	Ka-d-6071	K-19Gr.	石匙	玉髄	41.9	26.5	5.6	7.9	縦型。	246-26
10	Ka-d-7046	E-30Gr.	石匙	珪質頁岩	37.0	17.1	8.7	(5.3)	縦型、ハジケ有り。	246-27
11	Ka-d-7047	F-44Gr.	石匙	珪質頁岩	37.2	18.0	3.8	1.9	縦型、左刃部欠損後の再生品。	246-28

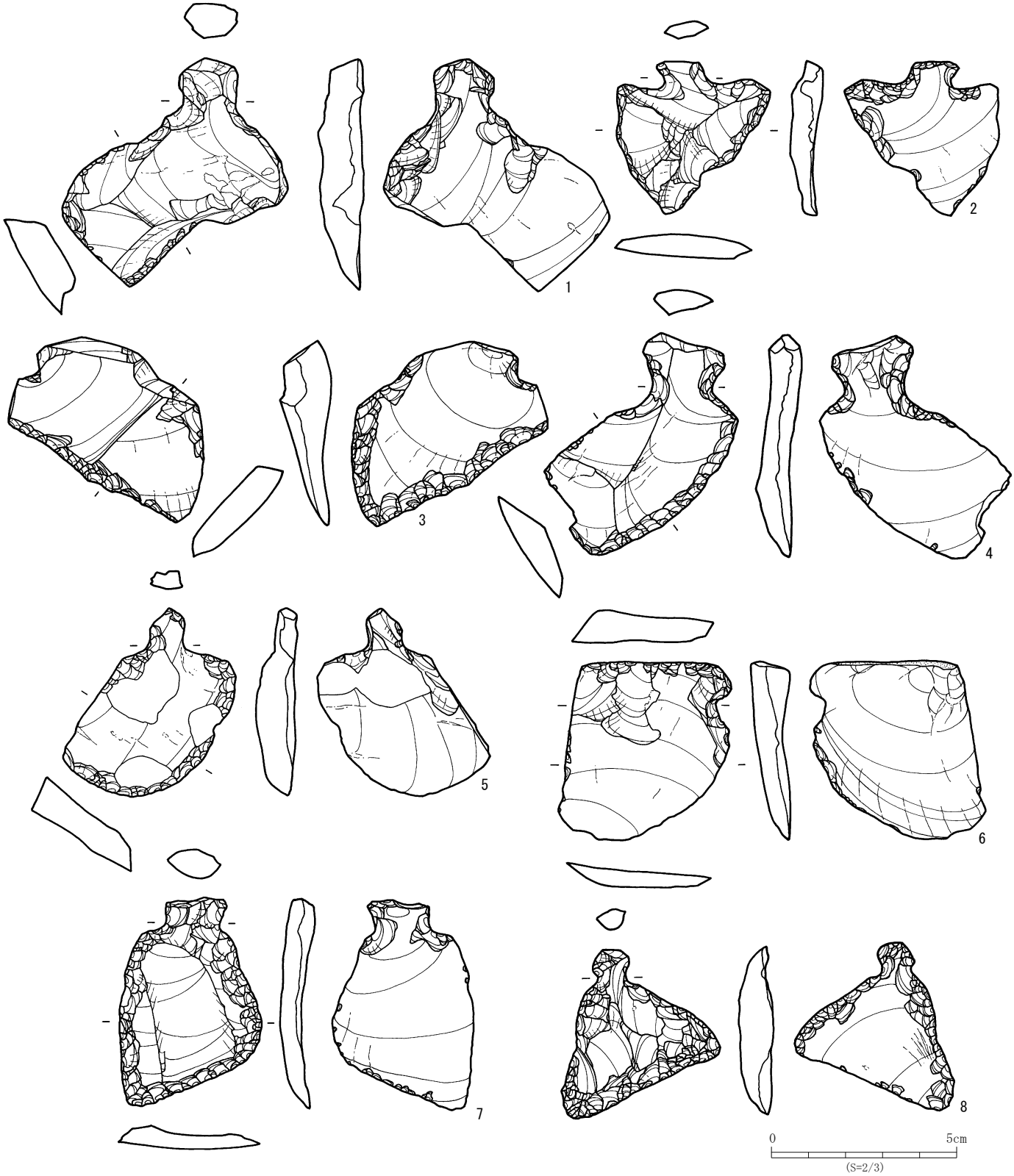
第604図　縄文時代遺構外出土遺物(63)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-d-7048	G-35Gr.	石匙	珪質頁岩	69.6	44.1	14.5	42.0	縦型。	246-9
2	Ka-d-6072	SI603	石匙	珪質頁岩	67.3	29.5	9.8	17.9	縦型	246-12
3	Ka-d-7049	F-41Gr.	石匙	珪質頁岩	76.6	43.9	11.2	(35.4)	縦型、刃部右側縁ガジリ。	246-5
4	Ka-d-7050	D-40Gr.	石匙	珪質頁岩	45.3	51.0	5.2	10.6	縦型？	246-7
5	Ka-d-6073	H-09・10Gr.	石匙	珪質頁岩	44.2	30.4	10.9	13.8	縦型。	246-6
6	Ka-d-6074	G～J-23～27Gr.	石匙	玉髄	68.6	33.8	17.3	34.8	縦型？	246-8

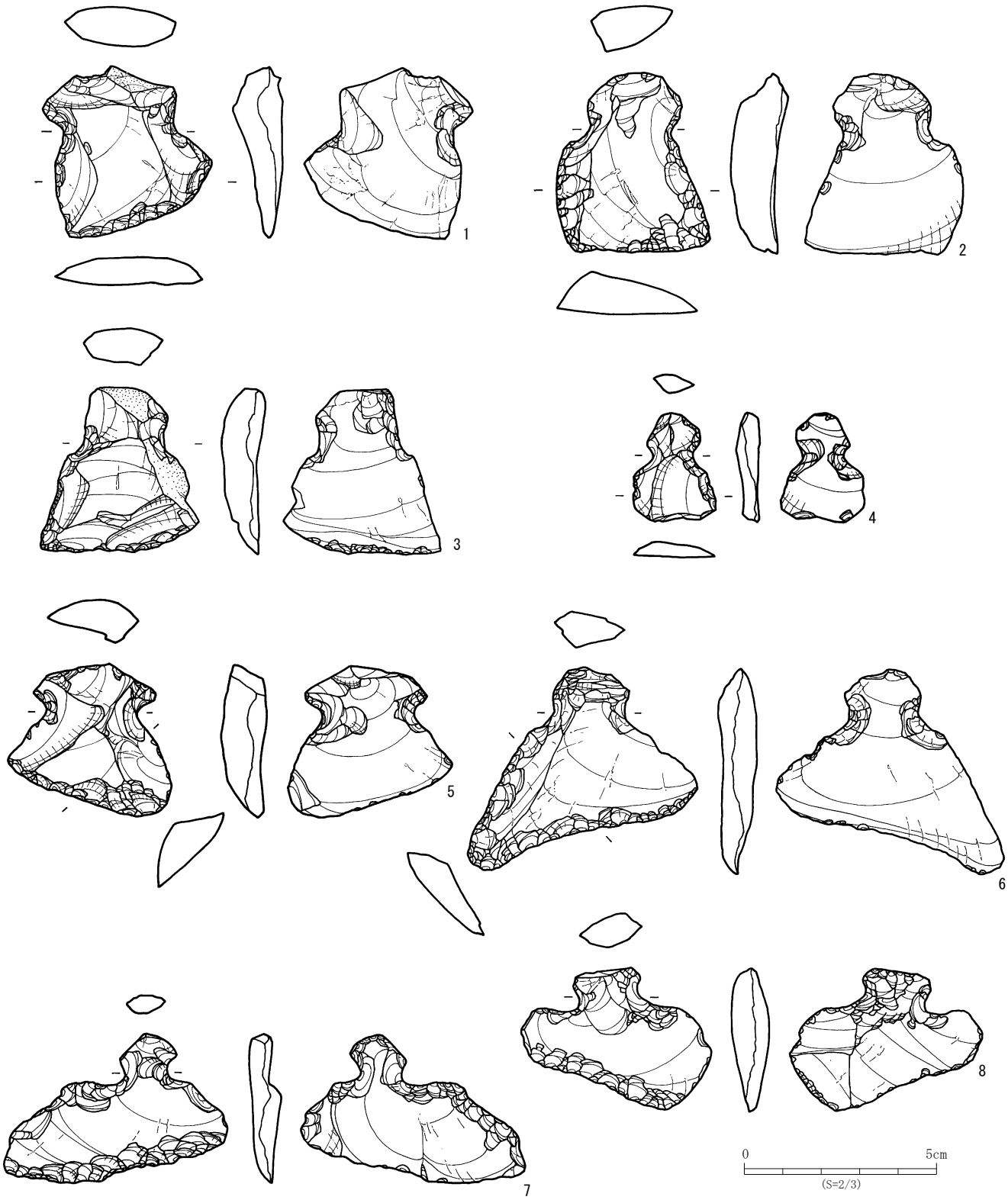
第605図　縄文時代遺構外出土遺物(64)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-d-6075	I-21Gr.	石匙	珪質頁岩	64.4	57.9	10.0	31.5	縦型？	246-10
2	Ka-d-6076	J-21Gr.	石匙	珪質頁岩	41.3	41.1	7.3	10.3	縦型？	247-3
3	Ka-d-6077	表採	石匙	珪質頁岩	36.5	57.0	10.1	22.8	縦型？	-
4	Ka-d-6078	H-16Gr.	石匙	珪質頁岩	63.2	32.3	9.1	18.7	縦型？	246-18
5	Ka-d-7051	E-30Gr.	石匙	珪質頁岩	51.5	38.1	7.8	(18.0)	縦型？、被熱によるハジケ有り。	246-17
6	Ka-d-6079	SI606	石匙	珪質頁岩	48.7	43.4	11.1	17.0	縦型？、刃部円形。	246-19
7	Ka-d-7052	E-45Gr.	石匙	珪質頁岩	56.3	38.2	7.5	13.6	縦型？	246-20
8	Ka-d-6080	SI603	石匙	珪質頁岩	38.6	44.9	7.9	11.3	横型？、刃部三角形。	247-4

第606図　縄文時代遺構外出土遺物(65)

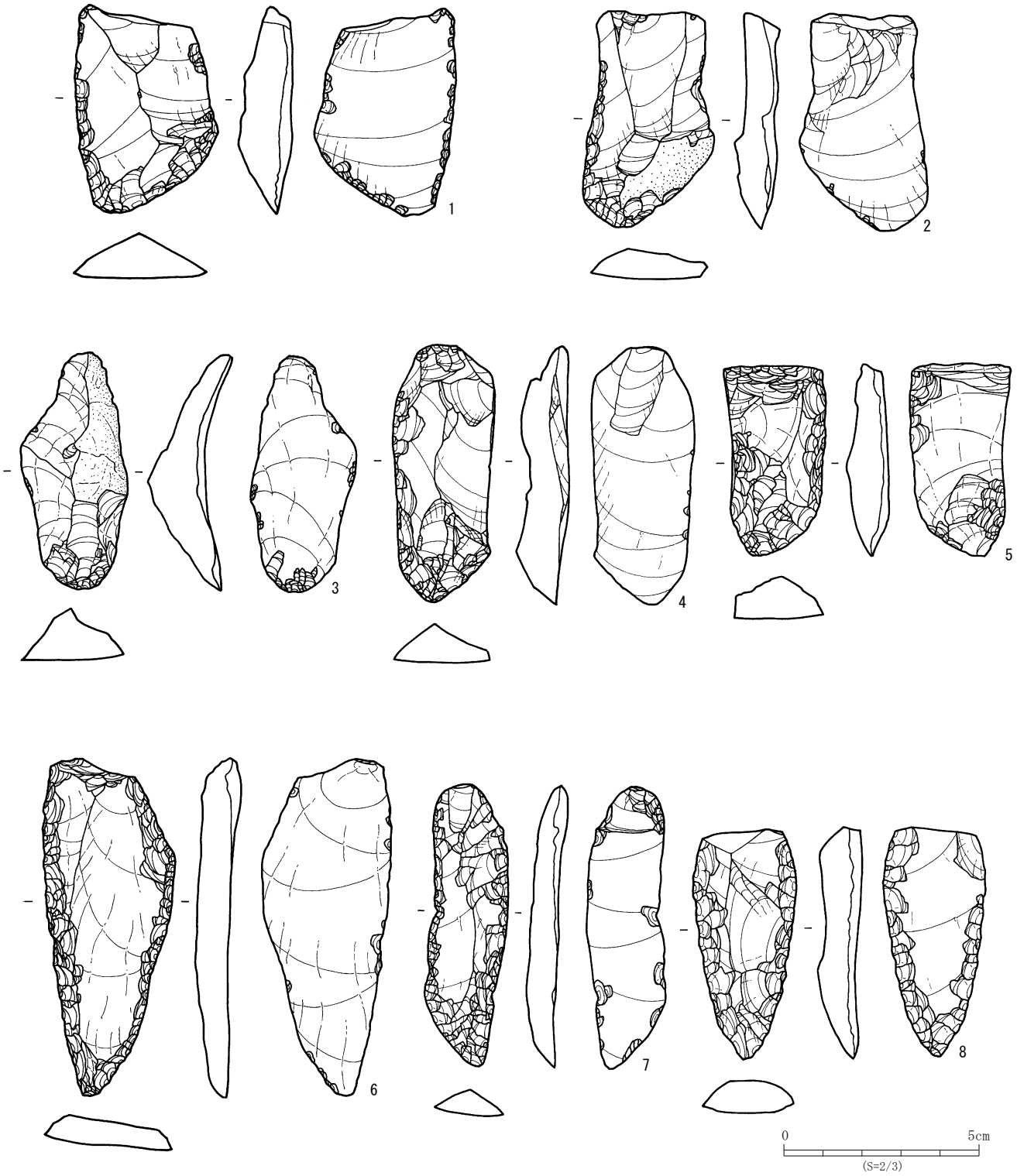


№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-d-6081	I-21Gr.	石匙	珪質頁岩	41.7	39.9	11.0	18.5	横型？	247-2
2	Ka-d-6082	H-20Gr.	石匙	珪質頁岩	46.8	38.5	11.3	19.7	縦型？	-
3	Ka-d-7053	G-34Gr.	石匙	珪質頁岩	43.2	41.7	10.6	13.7	縦型？	246-21
4	Ka-d-6083	K-18Gr.	石匙	珪質頁岩	28.3	21.1	5.7	3.1	縦型？	247-5
5	Ka-d-6084	K-18Gr.	石匙	珪質頁岩	36.6	42.8	11.8	14.6	横型。	247-6
6	Ka-d-7054	F-34・35Gr.	石匙	珪質頁岩	44.7	62.1	9.5	17.4	横型。	247-7
7	Ka-d-6085	SK6294	石匙	珪質頁岩	36.6	58.4	6.4	10.7	横型。	-
8	Ka-d-7055	SX717	石匙	珪質頁岩	32.5	48.8	9.5	12.6	横型。	247-8

第607図　縄文時代遺構外出土遺物(66)

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-d-7056	SM701	石匙	珪質頁岩	35.1	47.0	9.3	10.7	横型。	247-9
2	Ka-d-6086	K-19Gr.	石匙	珪質頁岩	28.6	42.2	4.5	4.3	横型。	247-10
3	Ka-d-7057	F-46Gr.	石匙	珪質頁岩	49.8	60.1	12.0	25.1	横型。	-
4	Ka-e-7049	D-39Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	54.4	30.8	9.2	18.5	－	247-23
5	Ka-e-7050	F-43Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	39.6	29.4	6.9	9.5	－	247-26
6	Ka-e-7051	F-40Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	45.0	29.4	10.3	12.4	－	-
7	Ka-e-7052	F-43Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	33.3	33.3	9.9	13.8	－	-
8	Ka-e-6073	SD604	スクレイパー	珪質頁岩	45.2	31.7	10.5	18.5	－	-
9	Ka-e-7053	E-39Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	40.2	15.7	8.9	5.2	－	247-27

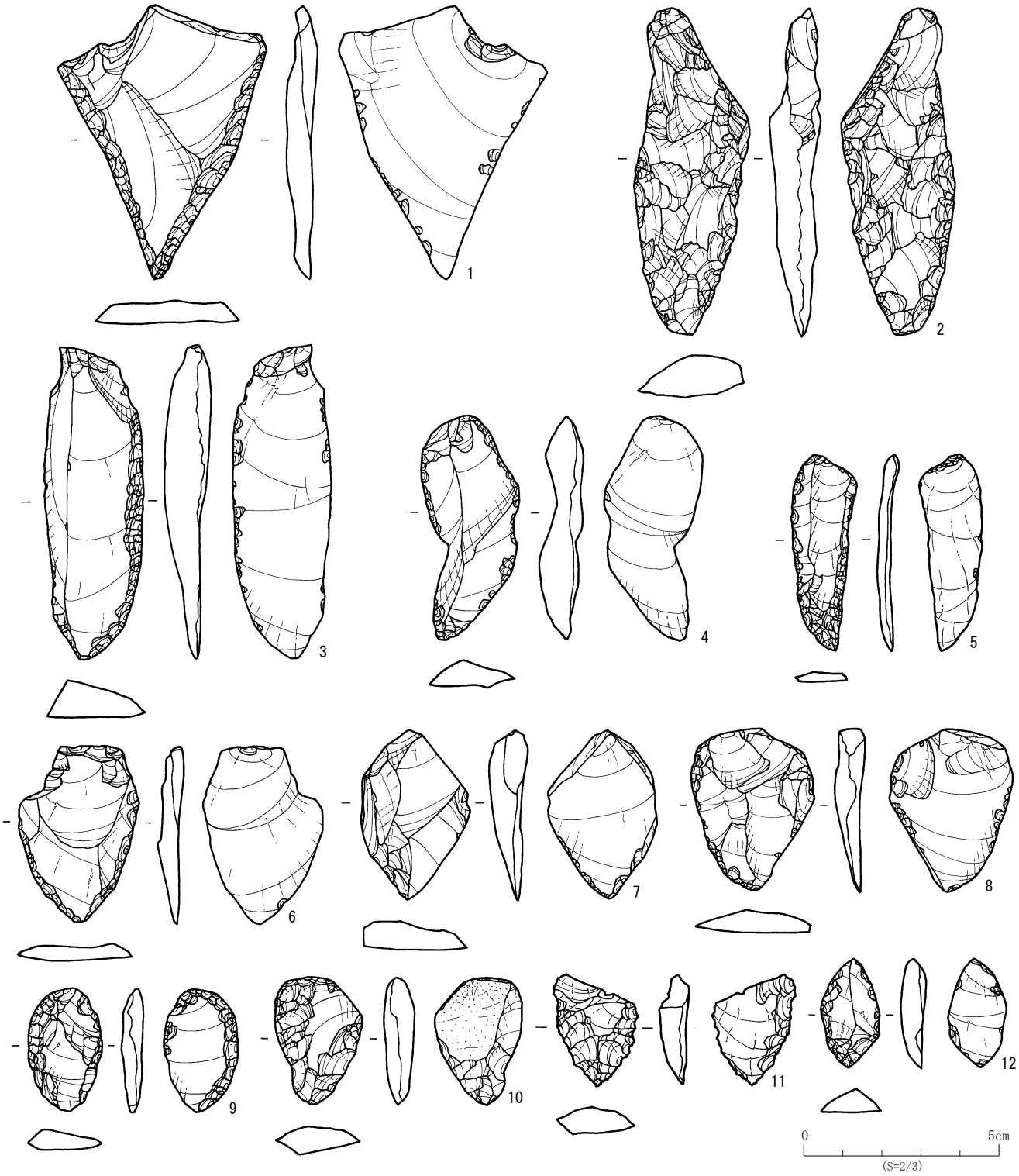
第608図　縄文時代遺構外出土遺物(67)



（）残存

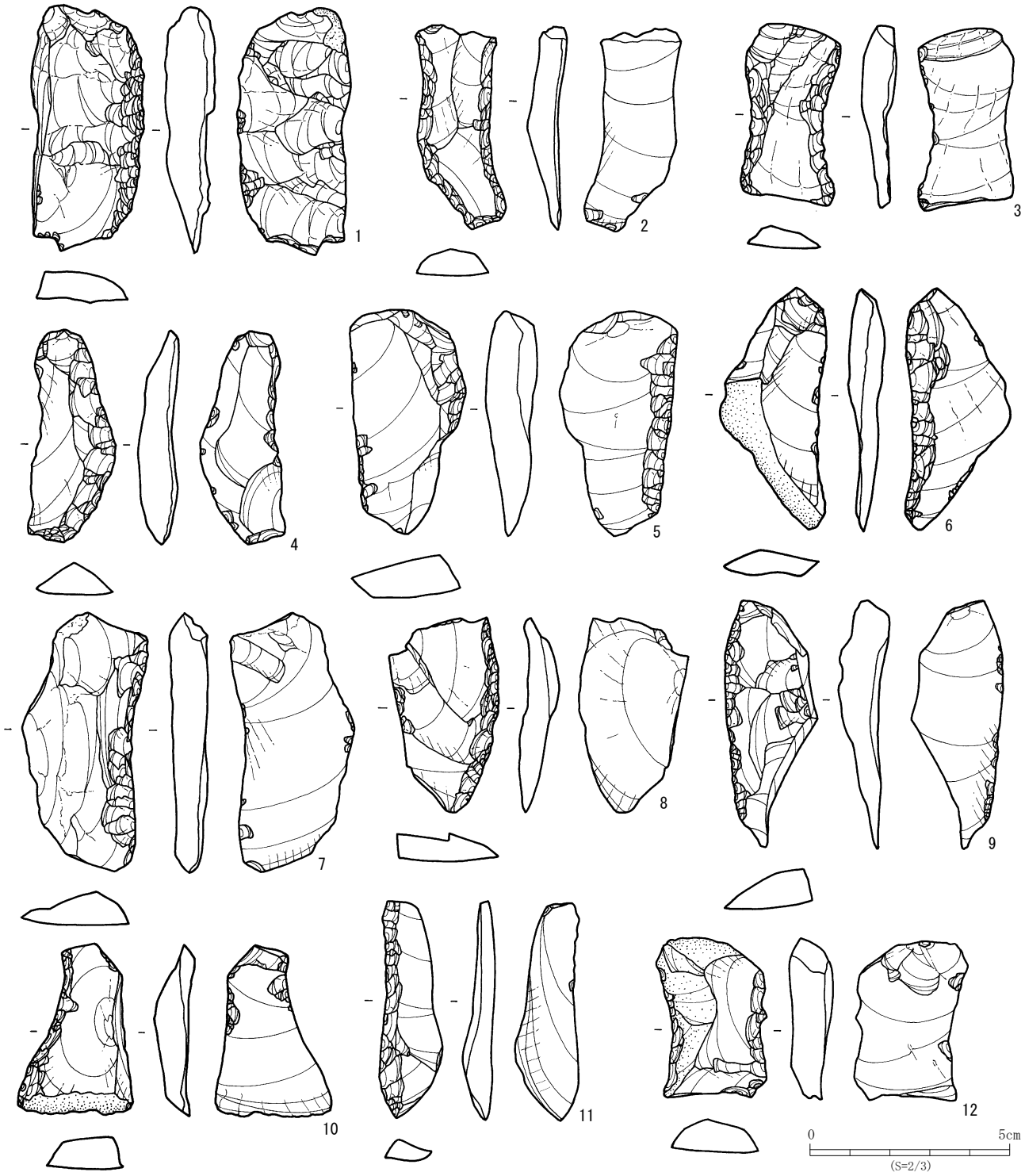
No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-e-7054	E-29Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	(52.8)	36.1	13.9	(23.1)	－	-
2	Ka-e-7055	E-28Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	57.2	32.8	10.6	18.1	－	-
3	Ka-e-7056	SI721	スクレイパー	珪質頁岩	60.0	25.4	14.5	15.8	－	247-19
4	Ka-e-7057	F-39Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	65.8	26.5	2.1	19.4	－	247-18
5	Ka-e-7058	SX745	スクレイパー	珪質頁岩	48.1	25.0	10.7	15.2	欠損後の再生品。	-
6	Ka-e-7059	SI721	スクレイパー	頁岩	84.8	33.4	9.5	24.2	－	247-12
7	Ka-e-6074	H-09・10Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	72.2	20.2	7.5	11.5	－	247-17
8	Ka-e-6075	F-32Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	(58.0)	26.4	11.3	(17.6)	上部欠損。	247-16

第609図　縄文時代遺構外出土遺物(68)



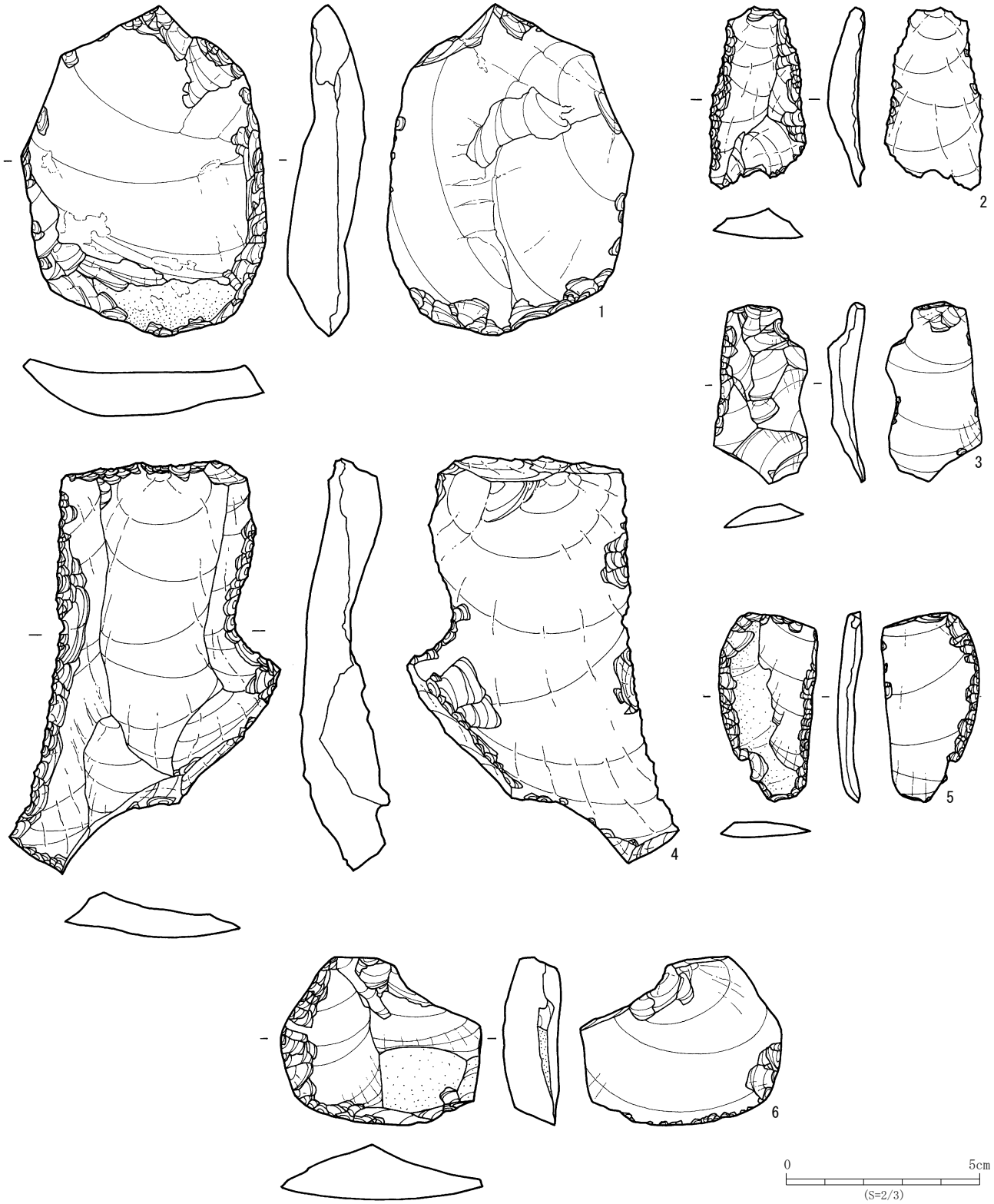
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-e-6076	I-22Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	69.5	52.3	7.5	17.9	－	247-15
2	Ka-e-7060	F-41Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	83.1	29.7	13.3	24.1	－	247-13
3	Ka-e-7061	D-39Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	79.8	25.6	11.8	19.3	－	247-14
4	Ka-e-6077	H-21Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	56.1	24.1	9.8	10.8	－	-
5	Ka-e-7062	SI720	スクレイパー	珪質頁岩	50.3	15.6	3.0	2.7	－	-
6	Ka-e-6078	I-20Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	45.5	30.0	5.5	6.3	－	247-25
7	Ka-e-7063	E-39Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	43.7	38.8	7.9	9.1	－	-
8	Ka-e-7064	E-45Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	41.4	31.6	7.4	9.2	－	-
9	Ka-e-7065	D-44Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	19.4	31.8	5.3	3.5	－	247-28
10	Ka-e-7066	F-29Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	33.2	23.0	7.5	5.4	－	-
11	Ka-e-6079	SI606	スクレイパー	珪質頁岩	28.4	21.3	6.8	3.4	上半欠損後再生？	-
12	Ka-e-7067	F-40Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	28.1	14.9	6.0	2.4	－	247-29

第610図　縄文時代遺構外出土遺物(69)



№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-e-7068	SI721	スクレイパー	珪質頁岩	60.3	27.8	12.3	23.2	−	247-20
2	Ka-e-6080	表採	スクレイパー	珪質頁岩	51.5	20.1	7.6	8.8	−	-
3	Ka-e-7069	SI721	スクレイパー	珪質頁岩	42.9	23.5	8.1	8.0	−	-
4	Ka-e-6081	J-19Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	53.3	23.3	9.7	8.6	−	-
5	Ka-e-6082	I-22Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	59.0	41.3	6.6	11.3	−	-
6	Ka-e-7070	E-30Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	59.9	24.9	7.8	8.3	−	-
7	Ka-e-6083	SK6300	スクレイパー	珪質頁岩	63.7	27.6	8.4	17.0	−	247-21
8	Ka-e-7071	D-43Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	26.6	48.9	7.6	9.4	−	-
9	Ka-e-6084	H-20Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	62.3	22.8	10.2	10.4	−	-
10	Ka-e-7072	F-40Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	42.5	29.0	8.3	9.0	−	-
11	Ka-e-6085	H-09・10Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	53.9	16.1	7.0	5.9	−	247-22
12	Ka-e-6086	表採	スクレイパー	珪質頁岩	42.2	27.2	10.8	13.6	−	-

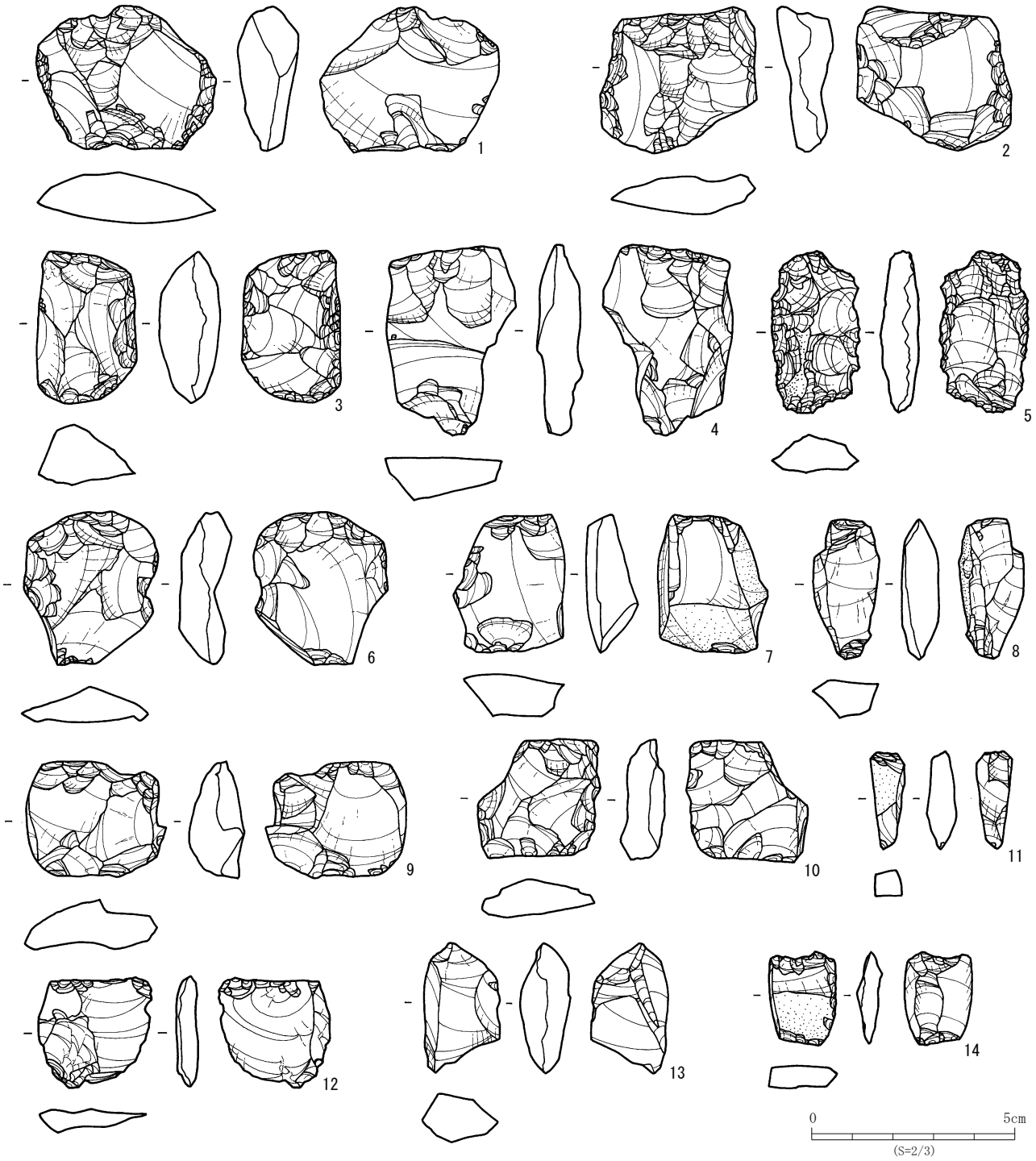
第611図　縄文時代遺構外出土遺物(70)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-e-7073	E-39Gr.	スクレイパー	玉髄	84.5	61.5	11.0	78.8	－	-
2	Ka-e-6087	SK6006	スクレイパー	珪質頁岩	47.3	25.1	7.9	7.3	－	247-24
3	Ka-e-6088	K-21～25Gr.	スクレイパー	珪質頁岩	(46.1)	24.5	5.7	(6.1)	端部欠損。	-
4	Ka-e-6089	SI603	スクレイパー	珪質頁岩	111.5	57.4	18.3	97.0	－	247-11
5	Ka-e-7074	SD701	スクレイパー	珪質頁岩	48.0	25.0	4.2	6.8	－	-
6	Ka-e-6090	SK6051a	スクレイパー	珪質頁岩	42.8	51.7	14.5	31.1	－	-

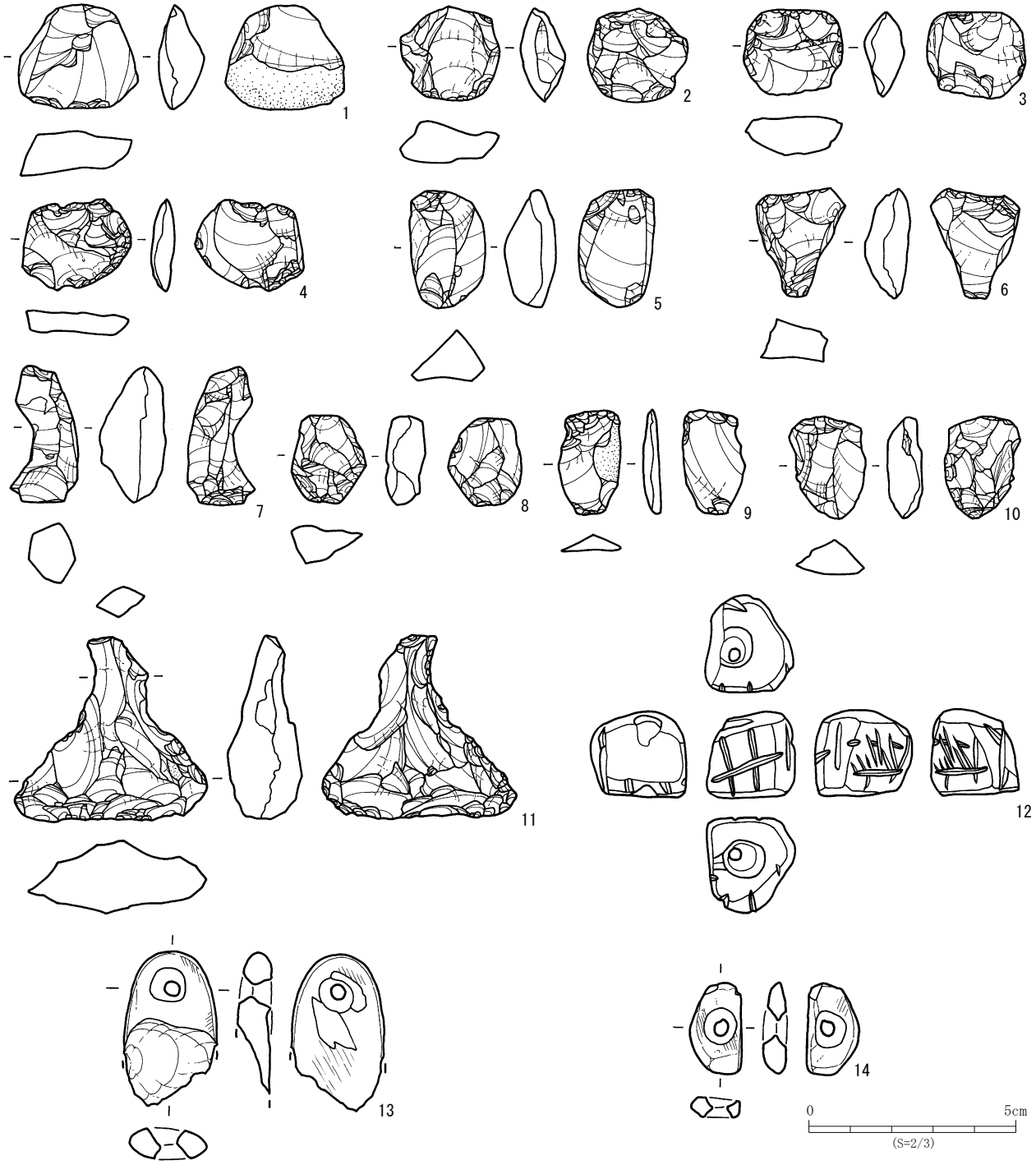
第612図　縄文時代遺構外出土遺物(71)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-f-7006	F-39Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	37.6	43.7	14.9	20.8	－	248-1
2	Ka-f-6018	F-16・17Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	34.0	43.9	12.8	15.4	－	248-2
3	Ka-f-7007	D-40Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	36.6	24.7	16.8	13.9	－	248-3
4	Ka-f-7008	F-34Gr.	クサビ形石器	玉髄	45.6	31.8	10.2	13.9	－	248-4
5	Ka-f-6019	SX605	クサビ形石器	珪質頁岩	39.4	21.3	9.2	7.5	－	248-5
6	Ka-f-7009	E-45Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	37.8	32.6	11.2	12.0	－	248-6
7	Ka-f-6020	表採	クサビ形石器	珪質頁岩	33.5	27.6	12.3	12.1	－	248-7
8	Ka-f-7010	F-41Gr.	クサビ形石器	頁岩	34.2	16.3	9.0	4.9	－	-
9	Ka-f-7011	G-44Gr.	クサビ形石器	瑪瑙	30.5	33.7	11.4	12.2	－	248-8
10	Ka-f-7012	H-35Gr.	クサビ形石器	珪質凝灰岩	(38.7)	(29.1)	8.7	(8.5)	部分欠損。	248-9
11	Ka-f-7013	F-44Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	23.6	7.8	6.0	1.6	－	-
12	Ka-f-6021	SI603	クサビ形石器	珪質頁岩	26.2	26.5	4.1	3.4	－	248-11
13	Ka-f-7014	E-40Gr.	クサビ形石器	玉髄	32.1	18.7	11.1	5.3	－	-
14	Ka-f-7015	SD702	クサビ形石器	珪質頁岩	22.6	16.9	5.0	2.5	－	248-10

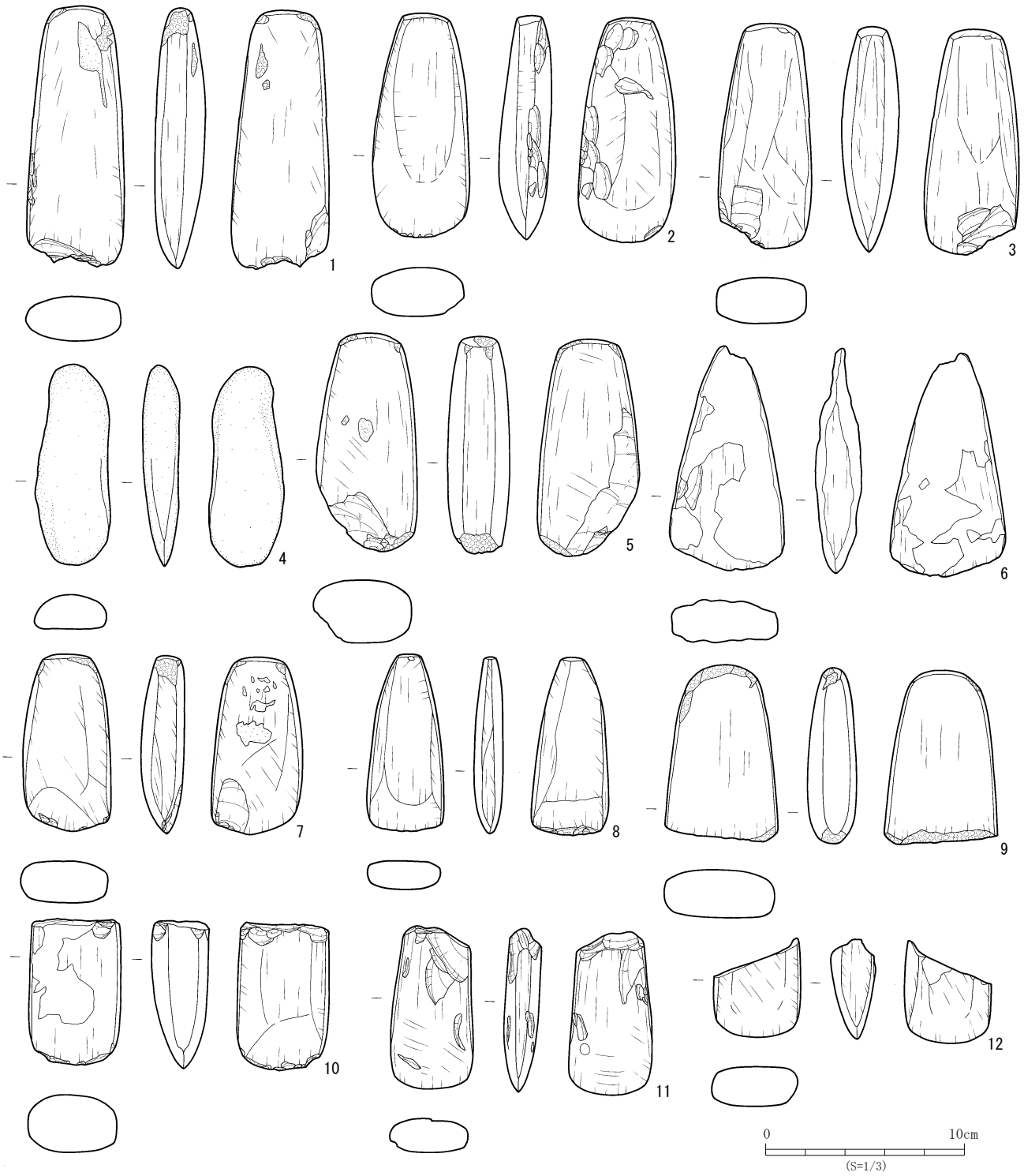
第613図　縄文時代遺構外出土遺物(72)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Ka-f-6022	H・I-21Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	25.5	28.3	9.7	7.0	－	248-12
2	Ka-f-7016	SI721	クサビ形石器	玉髄	22.5	24.2	9.9	5.6	－	248-13
3	Ka-f-7017	SX737	クサビ形石器	珪質頁岩	20.6	24.2	9.8	10.7	－	248-14
4	Ka-f-7018	SX732	クサビ形石器	珪質頁岩	20.9	26.5	5.2	3.0	－	248-15
5	Ka-f-7019	F-29Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	28.1	18.6	11.2	5.6	－	248-16
6	Ka-f-6023	SI603	クサビ形石器	珪質頁岩	27.8	18.8	10.1	4.3	－	248-17
7	Ka-f-7020	G-45Gr.	クサビ形石器	流紋岩	32.9	14.5	15.0	4.8	－	-
8	Ka-f-6024	H-24Gr.	クサビ形石器	流紋岩	21.7	18.0	18.8	3.0	－	248-18
9	Ka-f-6025	SI603	クサビ形石器	珪質頁岩	25.7	14.6	3.6	1.3	－	248-19
10	Ka-f-6026	K-18・19Gr.	クサビ形石器	珪質頁岩	25.2	19.1	8.8	3.6	－	-
11	Ka-g-6002	SD607	三脚状石器	珪質頁岩	43.7	46.0	16.8	21.1	右側縁ガジリ。	248-20
12	Kd-g-6003	表採	玉	流紋岩質凝灰岩	20.4	22.5	22.5	8.7	－	248-23
13	Kd-f-7001	F-41Gr.	垂飾	頁岩	(37.0)	(22.4)	(8.0)	(6.3)	下半欠損。	248-21
14	Kd-g-7002	F-42Gr.	玉	滑石	21.6	12.1	5.6	2.1	－	248-22

第614図　縄文時代遺構外出土遺物(73)



（）残存

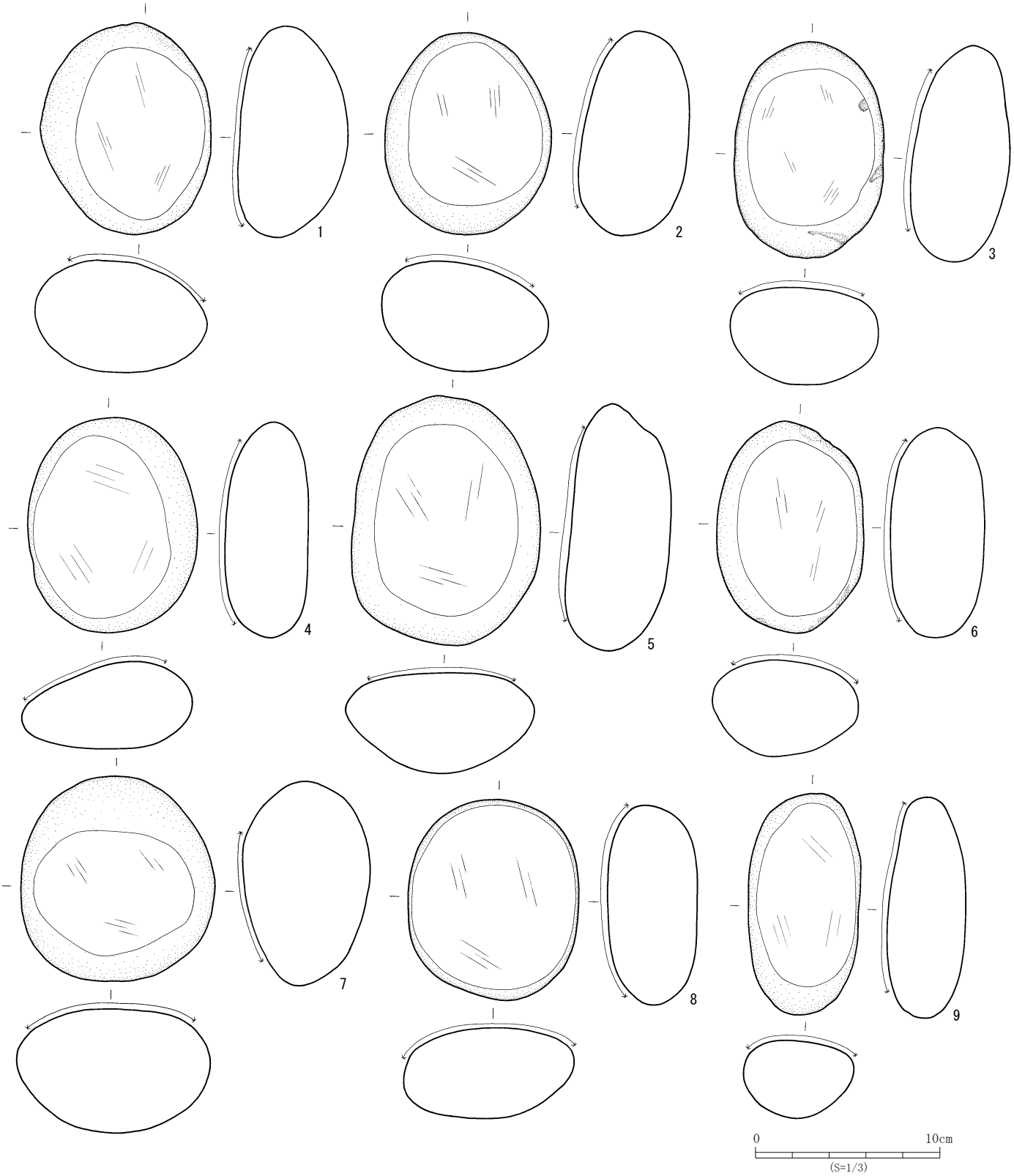
No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kb-7006	E-28Gr.	磨製石斧	蛇紋岩	130.4	48.5	24.7	372.0	刃こぼれ有り。	248-24
2	Kb-7007	SI721	磨製石斧	凝灰質砂岩	112.3	47.0	23.0	195.0	－	248-25
3	Kb-7008	E-31Gr.	磨製石斧	凝灰岩質頁岩	112.3	45.5	27.2	205.0	刃こぼれ有り。	248-26
4	Kb-6007	G・H-19・20Gr.	磨製石斧	安山岩	100.7	37.6	18.3	97.0	胴部風化。	248-27
5	Kb-7009	表採	磨製石斧	玄武岩質凝灰岩	108.9	48.5	30.3	275.0	刃部に敲打によるつぶれ有り。	248-28
6	Kb-7010	表採	磨製石斧	石英斑岩	112.6	55.6	(22.5)	(173.0)	胴部風化。	248-29
7	Kb-7011	E-30Gr.	磨製石斧	頁岩	88.7	44.5	20.7	140.0	－	248-30
8	Kb-7012	E-30Gr.	磨製石斧	安山岩質凝灰岩	88.6	38.5	13.8	76.9	－	248-31
9	Kb-7013	表採	磨製石斧	デイサイト質凝灰岩	89.2	57.0	24.0	215.0	刃部に敲打によるつぶれ有り。	248-32
10	Kb-7014	SI13	磨製石斧	ヒン岩	72.9	44.8	28.3	158.0	胴上半欠損後の再生品。	248-33
11	Kb-7015	E-28Gr.	磨製石斧	蛇紋岩	81.9	41.4	16.2	97.8	胴上半欠損後の再生品。	248-34
12	Kb-6008	H～J-20～22Gr.	磨製石斧	凝灰質頁岩	(48.6)	(41.8)	(21.8)	(57.0)	胴上半欠損。	248-44

第615図　縄文時代遺構外出土遺物(74)

（）残存

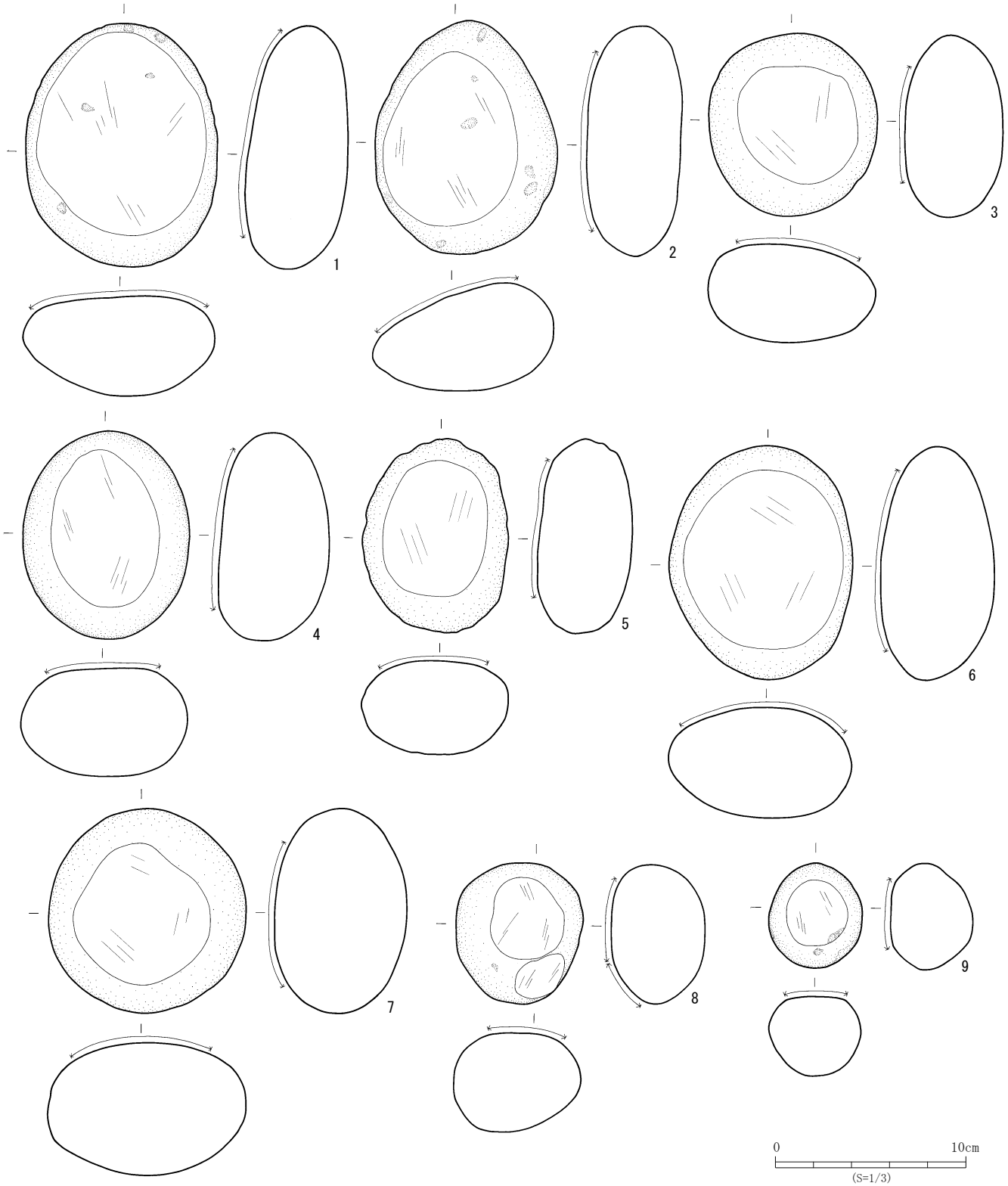
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kb-6009	G・H1-9・20Gr.	磨製石斧	蛇紋岩	(112.2)	50.5	26.0	(268.0)	刃部欠損。	248-35
2	Kb-7016	E-30Gr.	磨製石斧	頁岩	(124.9)	49.3	27.0	(320.0)	刃部欠損。	248-36
3	Kb-6010	H-19Gr.	磨製石斧	頁岩	(104.2)	(47.5)	(24.6)	(149.0)	胴部から刃部欠損。	248-38
4	Kb-6011	H-24Gr.	磨製石斧	蛇紋岩	(90.4)	43.1	25.1	(212.0)	刃部欠損。	248-39
5	Kb-7017	E-46Gr.	磨製石斧	珪質頁岩	(85.1)	(56.0)	(32.9)	(243.0)	胴部から刃部欠損。	248-40
6	Kb-7018	SD701	磨製石斧	凝灰質頁岩	113.1	57.7	30.5	355.0	刃部は敲打によるつぶれ、頭部欠損後の再生。	248-37
7	Kb-7019	E-29Gr.	磨製石斧	安山岩質凝灰岩	80.0	45.4	27.4	165.0	胴下半欠損後の加工有り。	248-41
8	Kb-7020	E-41Gr.	磨製石斧	凝灰質頁岩	(62.4)	(44.8)	(25.4)	(105.0)	胴部から刃部欠損。	248-42
9	Kb-6012	F・G-32・33Gr.	磨製石斧	珪質頁岩	(58.1)	(36.0)	(21.5)	(67.0)	刃部欠損面の縁辺部に研磨痕有り。	248-43
10	Kb-7021	D-45Gr.	磨製石斧	蛇紋岩	(50.4)	(51.3)	(21.0)	(88.8)	胴部から刃部欠損。	-
11	Kb-7022	SX748	磨製石斧	凝灰岩質頁岩	(74.5)	(49.5)	(25.9)	(98.0)	胴部から頭部及び刃部欠損。	-

第616図　縄文時代遺構外出土遺物(75)



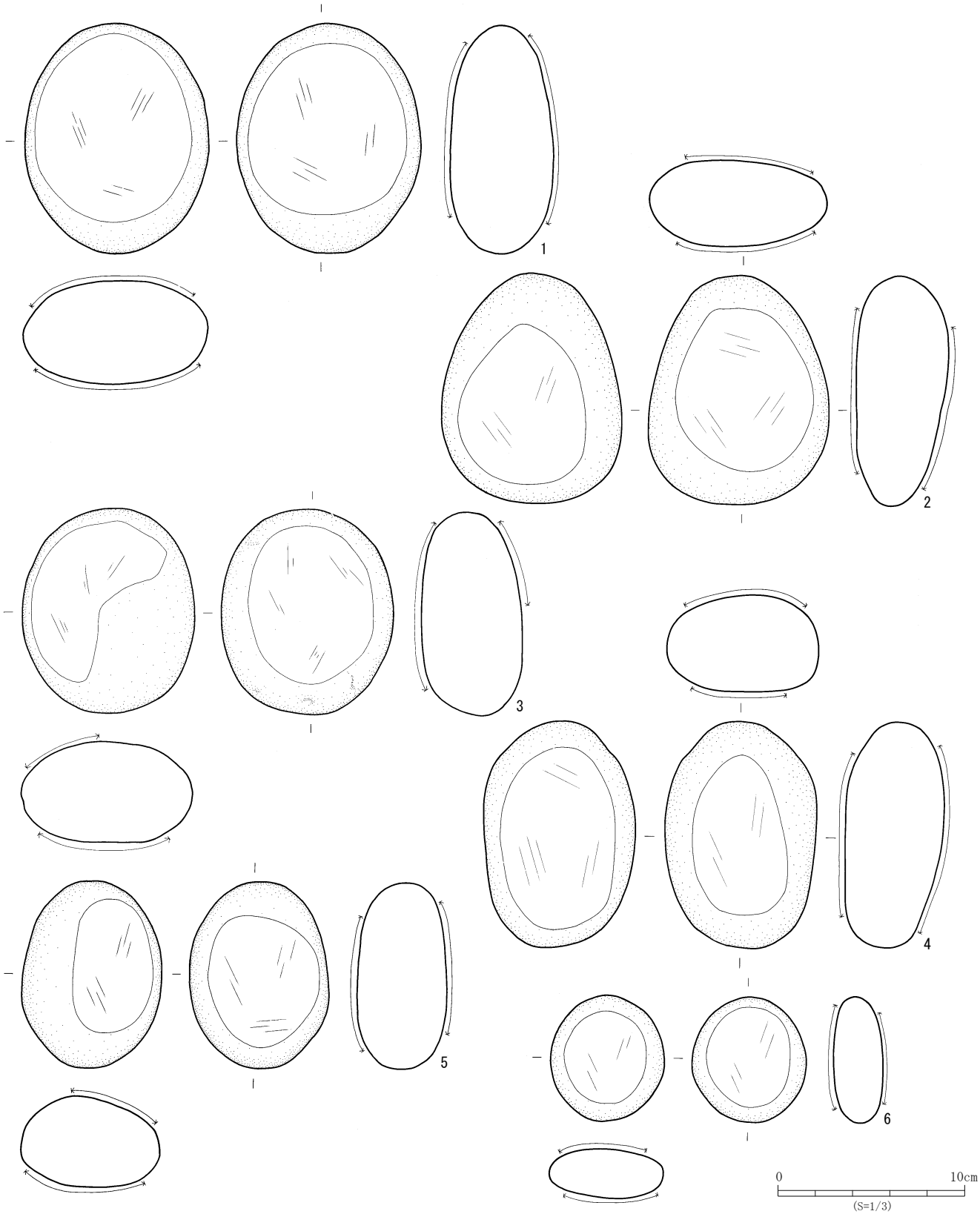
No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-a-6033	E～M-15～28Gr.	礫石器	安山岩	115.0	93.0	59.0	920.0	磨1。	-
2	Kc-a-6034	F～N-6～16Gr.	礫石器	安山岩	100.0	90.0	59.0	815.0	磨1。	-
3	Kc-a-7044	SD704	礫石器	安山岩	117.5	81.0	52.5	599.0	磨1、磨面が黒褐色化。	-
4	Kc-a-7045	F-43Gr.	礫石器	安山岩	116.0	92.0	48.0	740.0	磨1。	-
5	Kc-a-6035	表採	礫石器	安山岩	134.0	102.0	57.0	1,124.0	磨1。	-
6	Kc-a-7046	SI721	礫石器	安山岩	114.0	79.0	51.0	588.0	磨1、被熱痕及び黒色付着物有り。	-
7	Kc-a-6036	G-26・27Gr.	礫石器	流紋岩	111.0	67.0	69.0	996.0	磨1。	-
8	Kc-a-6037	H～J-20～22Gr.	礫石器	デイサイト	108.5	92.5	49.0	729.0	磨1。	-
9	Kc-a-7047	E-29Gr.	礫石器	安山岩	120.0	61.0	42.0	402.0	磨1。	-

第617図　縄文時代遺構外出土遺物(76)



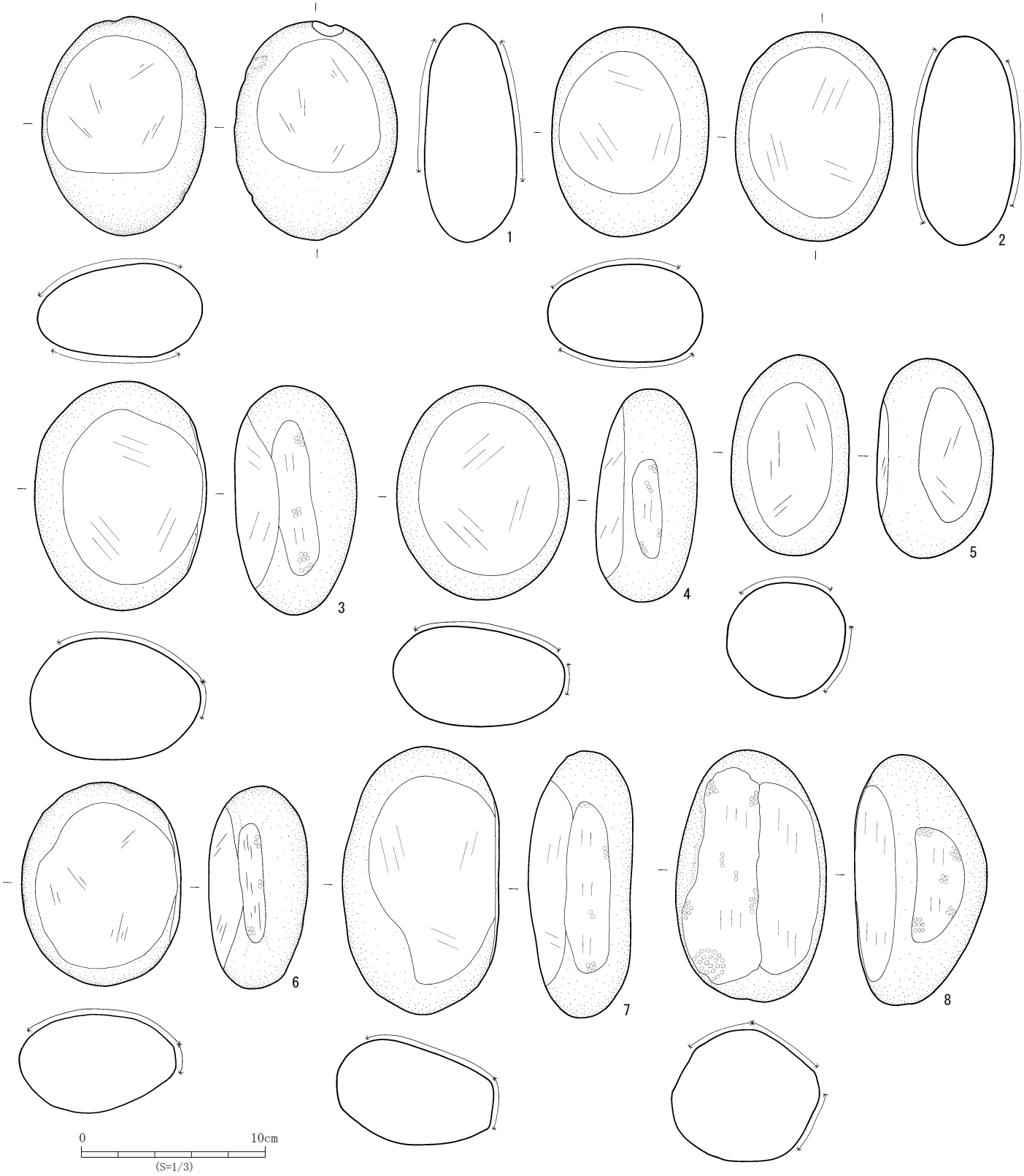
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-a-7048	SX716	礫石器	安山岩	127.5	100.5	52.5	865.0	磨１。	-
2	Kc-a-7049	SX752	礫石器	安山岩	123.0	96.0	54.0	702.0	磨１。	-
3	Kc-a-7050	E-43Gr.	礫石器	安山岩	96.0	88.0	52.0	630.0	磨１。	-
4	Kc-a-7051	SD701	礫石器	デイサイト	109.0	87.5	57.0	835.0	磨１。	-
5	Kc-a-7052	G-40Gr.	礫石器	花崗閃緑岩	102.5	77.0	50.0	545.0	磨１、被熱痕有り。	-
6	Kc-a-7053	F-40Gr.	礫石器	安山岩	123.0	96.0	59.0	980.0	磨１。	-
7	Kc-a-7054	G-36Gr.	礫石器	安山岩	108.0	104.0	69.0	870.0	磨１。	-
8	Kc-a-7055	SX717	礫石器	安山岩	74.5	66.5	52.0	350.0	磨１。	-
9	Kc-a-7056	SX716	礫石器	安山岩	56.0	49.0	43.0	139.0	磨１。	-

第618図　縄文時代遺構外出土遺物(77)



№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-a-6038	F・G-32・33Gr.	礫石器	安山岩	123.5	99.0	55.0	897.0	磨2。	-
2	Kc-a-7057	G-35Gr.	礫石器	安山岩	123.0	96.0	49.5	841.0	磨2。	-
3	Kc-a-7058	SX48	礫石器	デイサイト	110.0	92.0	54.0	800.0	磨2。	-
4	Kc-a-7059	F-35Gr.	礫石器	安山岩	122.0	82.0	53.0	790.0	磨2。	-
5	Kc-a-6039	J・K-14・15Gr.	礫石器	花崗閃緑岩	50.0	75.0	49.0	498.0	磨2。	-
6	Kc-a-7060	F-46Gr.	礫石器	安山岩	68.0	61.0	26.0	135.0	磨2。	-

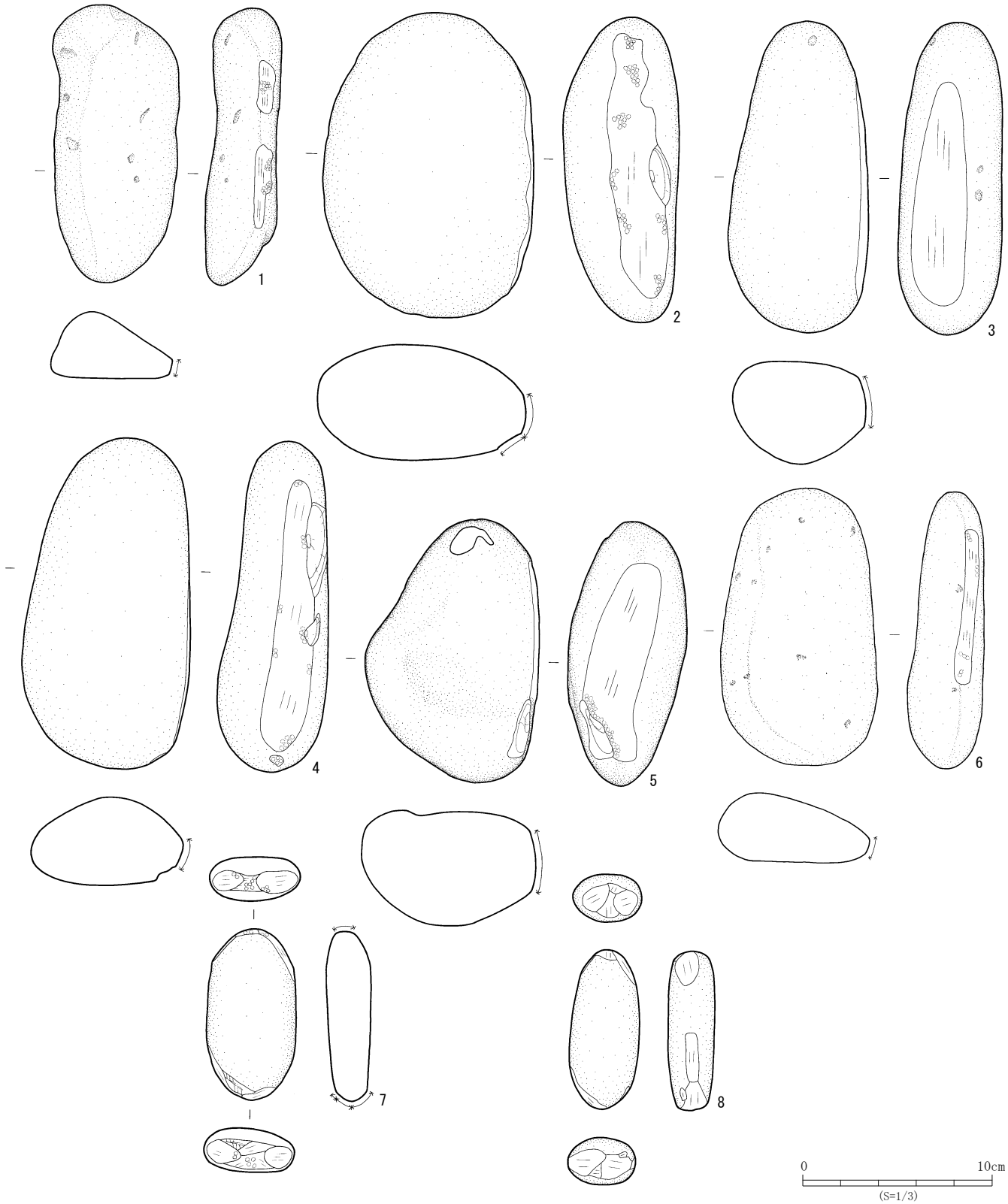
第619図　縄文時代遺構外出土遺物(78)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(ｇ)	備　　考	写真図版
1	Kc-a-7061	SX759	礫石器	デイサイト質凝灰岩	119.0	89.0	51.0	(730.0)	磨２。	-
2	Kc-a-7062	G-38Gr.	礫石器	安山岩	113.5	84.0	53.0	770.0	磨２。	-
3	Kc-a-7063	表採	礫石器	安山岩	124.5	93.0	66.5	1060.0	磨２(横１)。	-
4	Kc-a-7064	F-40Gr.	礫石器	安山岩	116.5	93.5	54.5	860.0	磨２(横１)。	-
5	Kc-a-6040	F・G-32・33Gr.	礫石器	安山岩	109.0	64.0	63.0	616.0	磨２(横１)。	-
6	Kc-a-7065	SX759	礫石器	花崗閃緑岩	111.0	86.0	54.0	716.0	磨２(横１)。	-
7	Kc-a-7066	G-38Gr.	礫石器	流紋岩	145.0	86.0	57.0	890.0	磨２(横１)。	-
8	Kc-a-7067	F-36Gr.	礫石器	安山岩	136.0	81.5	72.0	930.0	磨３(横１)。	-

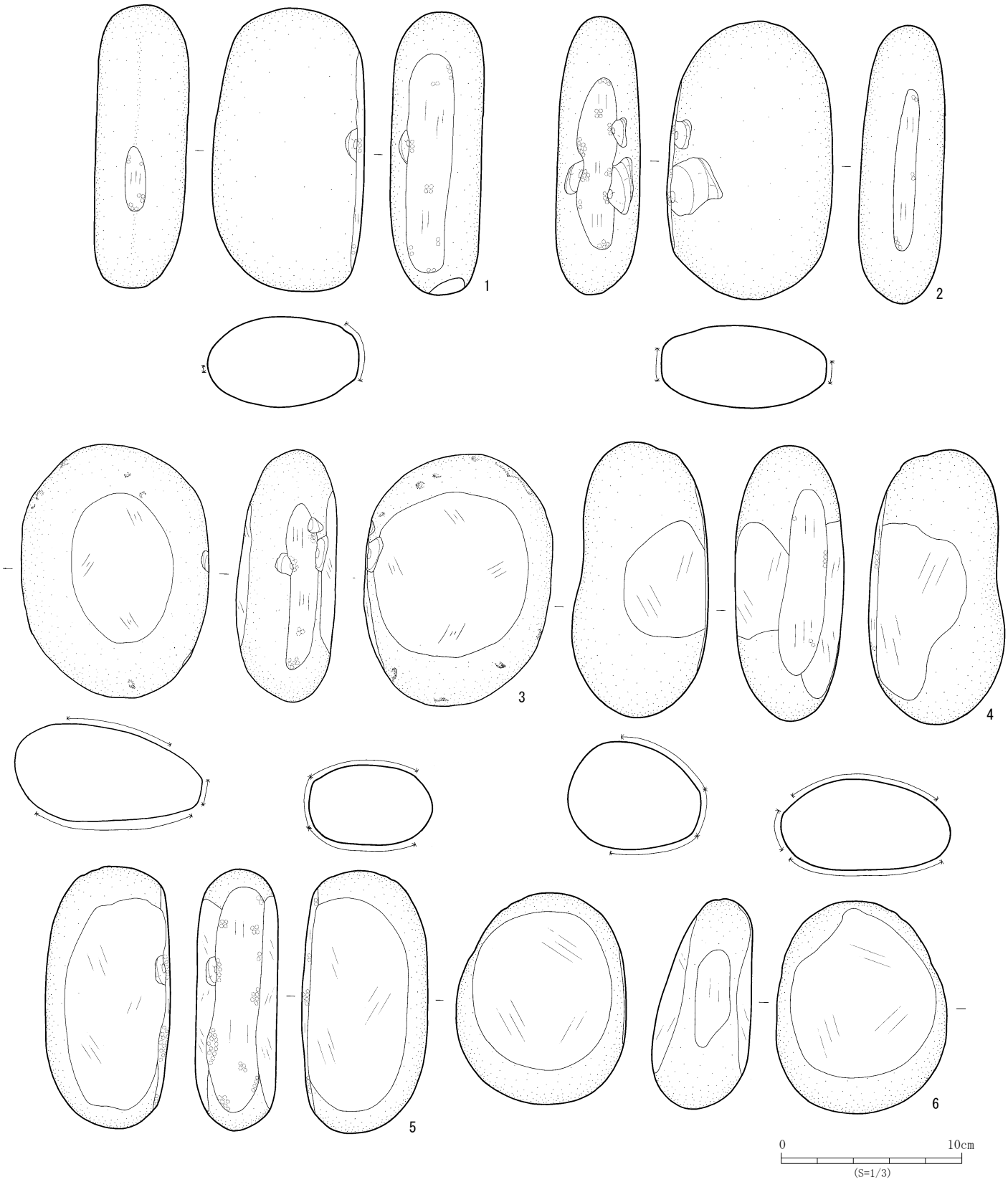
第620図　縄文時代遺構外出土遺物(79)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-a-7068	SI722	礫石器	デイサイト	147.0	67.5	38.0	482.0	磨1(横)。	-
2	Kc-a-6041	F・G3-2・33Gr.	礫石器	安山岩	160.5	111.0	61.0	1,375.0	磨1(横)。	-
3	Kc-a-7069	SD701	礫石器	安山岩	165.0	74.5	55.0	1030.0	磨1(横)、部分的に黒色付着物有り。	-
4	Kc-a-7070	G-42Gr.	礫石器	砂岩	175.0	88.0	57.5	1210.0	磨1(横1)。	-
5	Kc-a-7071	SD704	礫石器	安山岩	139.5	92.0	62.0	(981.0)	磨1(横)、部分的に被熱痕有り。	-
6	Kc-a-6042	SD606	礫石器	安山岩	146.5	84.0	39.0	688.0	磨1(横)、被熱痕有り。	-
7	Kc-a-6043	F・G-32・33Gr.	礫石器	デイサイト	90.5	48.0	23.0	142.0	磨2(上下)。	-
8	Kc-a-7072	G-36Gr.	礫石器	砂岩	84.0	36.0	25.0	102.0	磨7(上下横1)、黒色付着物有り。	251-1

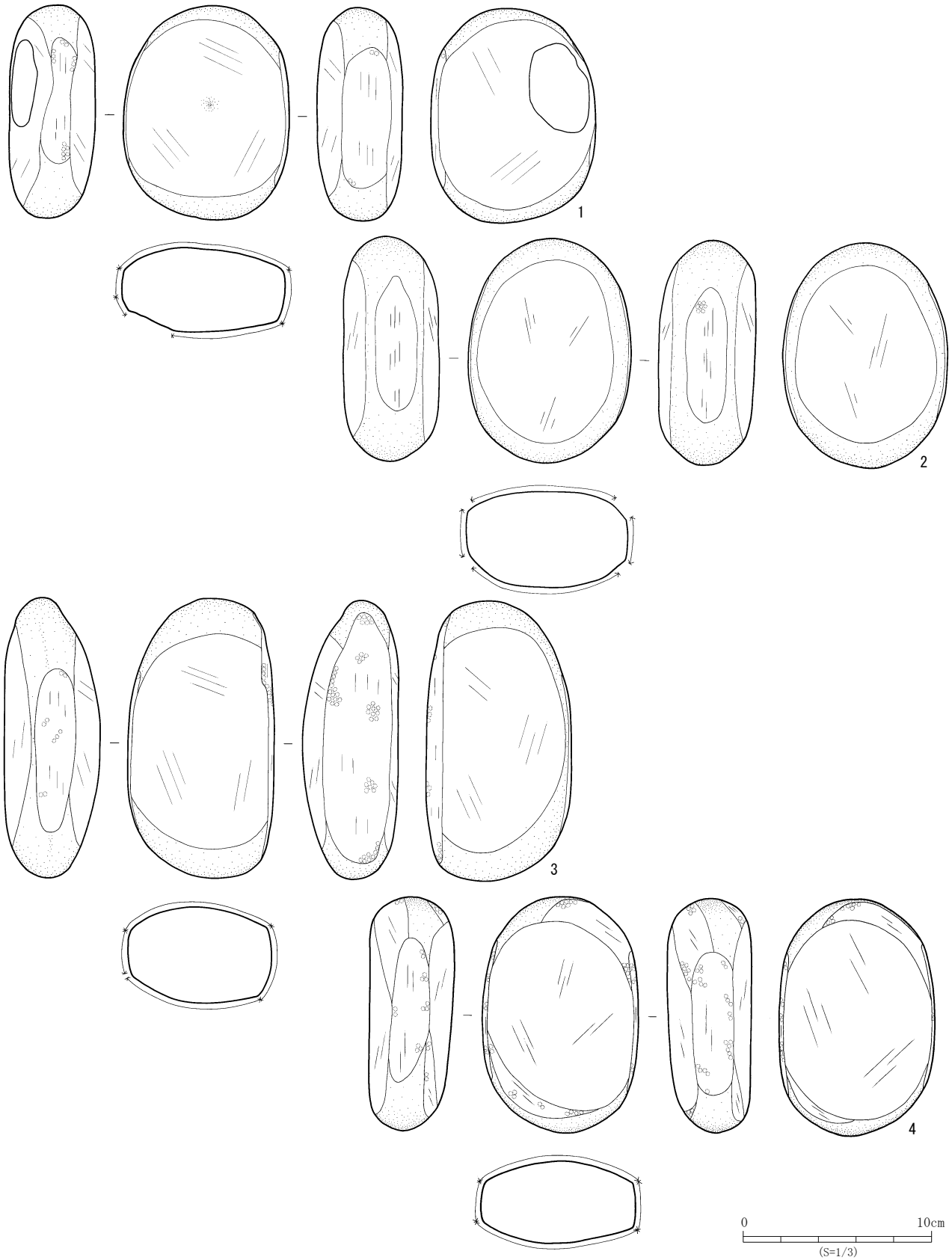
第621図　縄文時代遺構外出土遺物(80)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-a-7073	H～J-26～32Gr.	礫石器	安山岩	157.0	83.0	49.5	(988.0)	磨２(横２)、被熱による黒色変化有り。	-
2	Kc-a-7074	F-43Gr.	礫石器	安山岩	154.0	91.0	46.0	940.0	磨２(横)。	-
3	Kc-a-6044	SD606	礫石器	安山岩	140.5	104.0	53.5	1,120.0	磨３(横１)、表面一部に被熱痕有り。	-
4	Kc-a-7075	D-43Gr.	礫石器	デイサイト	152.0	74.5	60.0	1040.0	磨３(横１)。	-
5	Kc-a-7076	E-43Gr.	礫石器	デイサイト	145.0	68.5	44.5	700.0	磨３(横１)，被熱による黒色変化有り。	-
6	Kc-a-7077	E-29Gr.	礫石器	デイサイト	117.0	94.0	54.0	780.0	磨３(横１)。	-

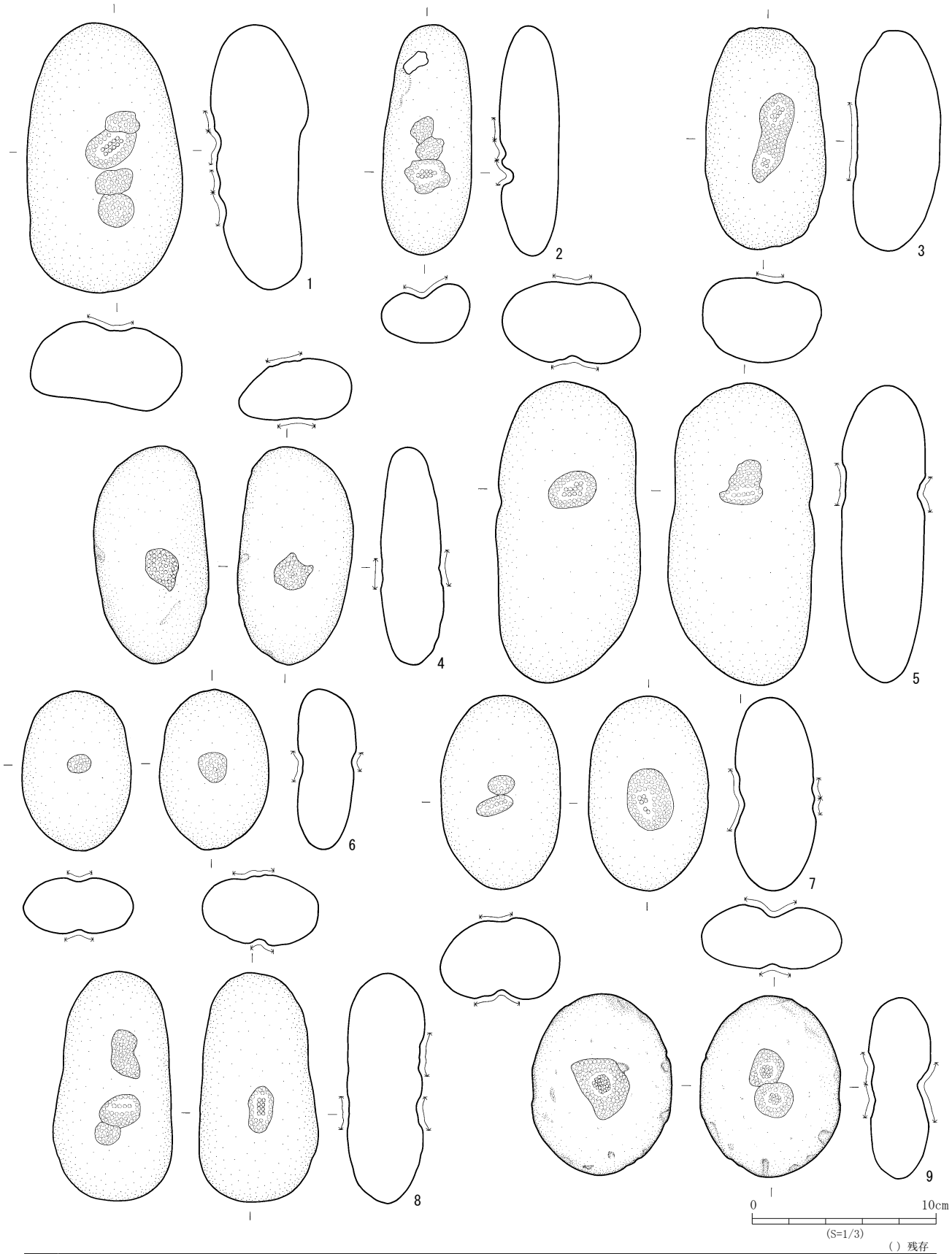
第622図　縄文時代遺構外出土遺物(81)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-a-7078	D・E-36・37Gr.	礫石器	安山岩	113.0	87.0	45.0	(660.0)	磨4(横2)。	-
2	Kc-a-7079	SD701	礫石器	砂岩	119.0	86.0	50.0	810.0	磨4(横2)。	-
3	Kc-a-7080	E-30Gr.	礫石器	安山岩	149.0	77.0	51.0	781.0	磨4(横2)、被熱痕有り。	-
4	Kc-a-6045	H-24Gr.	礫石器	デイサイト	125.0	83.0	45.0	671.0	磨4(横2)、被熱痕有り。	249-1

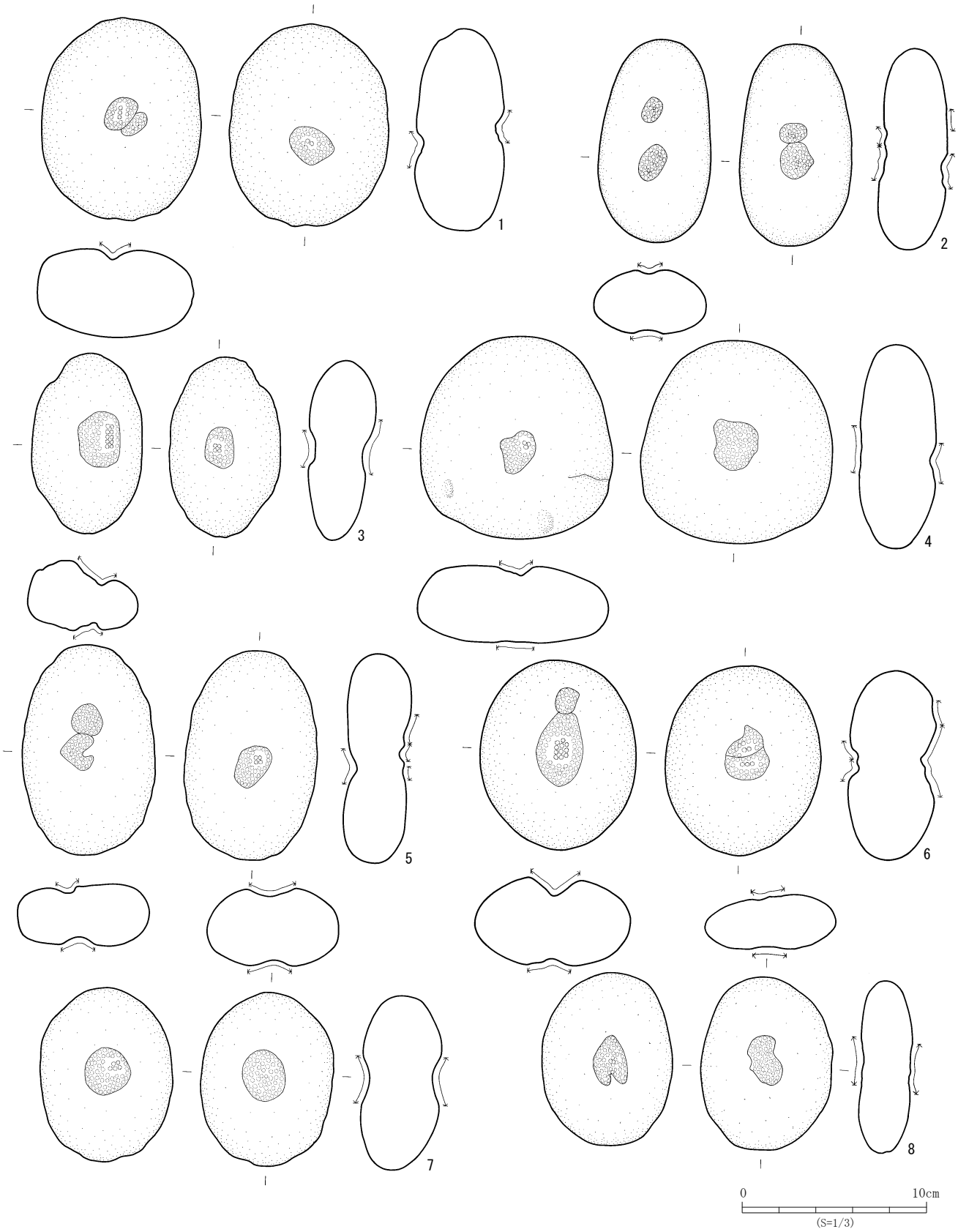
第623図　縄文時代遺構外出土遺物(82)



（）残存

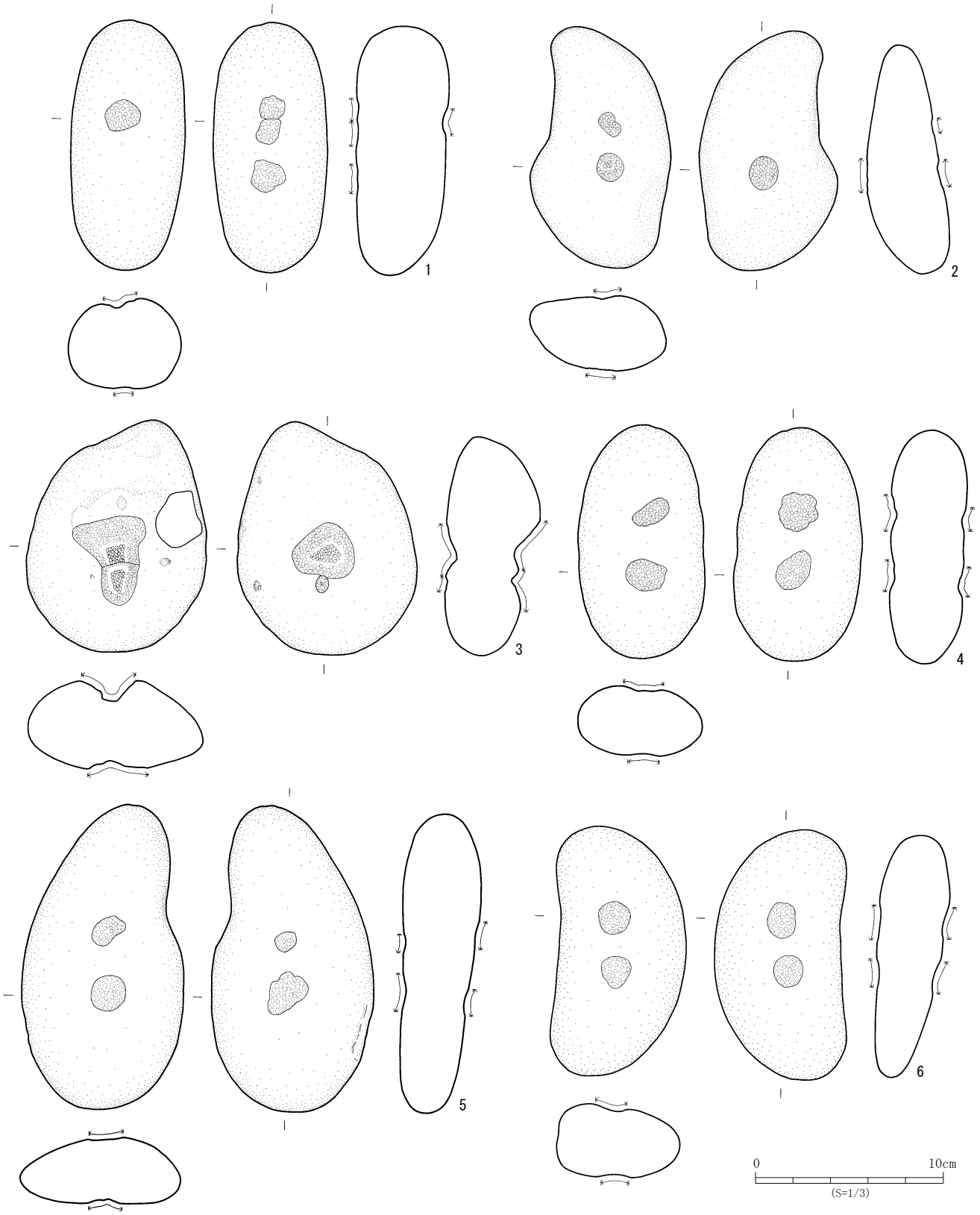
No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-b-7035	E～G-34～37Gr.	礫石器	安山岩	147.0	84.0	53.0	740.0	凹４。	-
2	Kc-b-7036	F-45Gr.	礫石器	デイサイト	125.0	48.0	32.5	(270.0)	凹３。	249-9
3	Kc-b-7037	G-39Gr.	礫石器	安山岩	121.0	66.0	46.5	450.0	凹１。	-
4	Kc-b-7038	SX759	礫石器	安山岩	118.5	63.0	33.5	332.0	凹１＋１。	-
5	Kc-b-7039	F-40Gr.	礫石器	安山岩	164.0	79.0	45.0	820.0	凹１＋１。	-
6	Kc-b-7040	F-36Gr.	礫石器	デイサイト	87.0	60.0	32.0	215.0	凹１＋１、部分的な被熱痕とひび割れ有り。	249-7
7	Kc-b-7041	E-45Gr.	礫石器	安山岩	105.5	65.5	45.0	398.0	凹１＋２。	-
8	Kc-b-7042	G-37Gr.	礫石器	デイサイト	125.0	65.0	42.0	425.0	凹３＋１。	-
9	Kc-b-7043	SD704	礫石器	デイサイト	99.0	76.5	34.0	268.0	凹１＋２。	-

第624図　縄文時代遺構外出土遺物(83)



No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-b-7044	E-35Gr.	礫石器	安山岩	105.5	86.0	49.0	565.0	凹2＋1。	-
2	Kc-b-6049	F・G-32・33Gr.	礫石器	安山岩	110.0	61.0	36.0	312.0	凹2＋2。	-
3	Kc-b-7045	E-28Gr.	礫石器	デイサイト	97.5	60.0	39.0	175.0	凹1＋1。	-
4	Kc-b-7046	F-41Gr.	礫石器	デイサイト質凝灰岩	110.0	104.0	41.5	670.0	凹1＋1。	-
5	Kc-b-7047	E・F-26～32Gr.	礫石器	安山岩	114.0	72.5	35.0	298.0	凹2＋1。	-
6	Kc-b-7048	F-45Gr.	礫石器	安山岩	103.0	85.0	48.0	465.0	凹2＋2。	249-8
7	Kc-b-7049	E-41Gr.	礫石器	安山岩	94.5	72.0	43.0	390.0	凹1＋1、被熱痕とひび割れ有り。	-
8	Kc-b-6050	SD607	礫石器	安山岩	94.0	71.0	28.5	288.0	凹1＋1	-

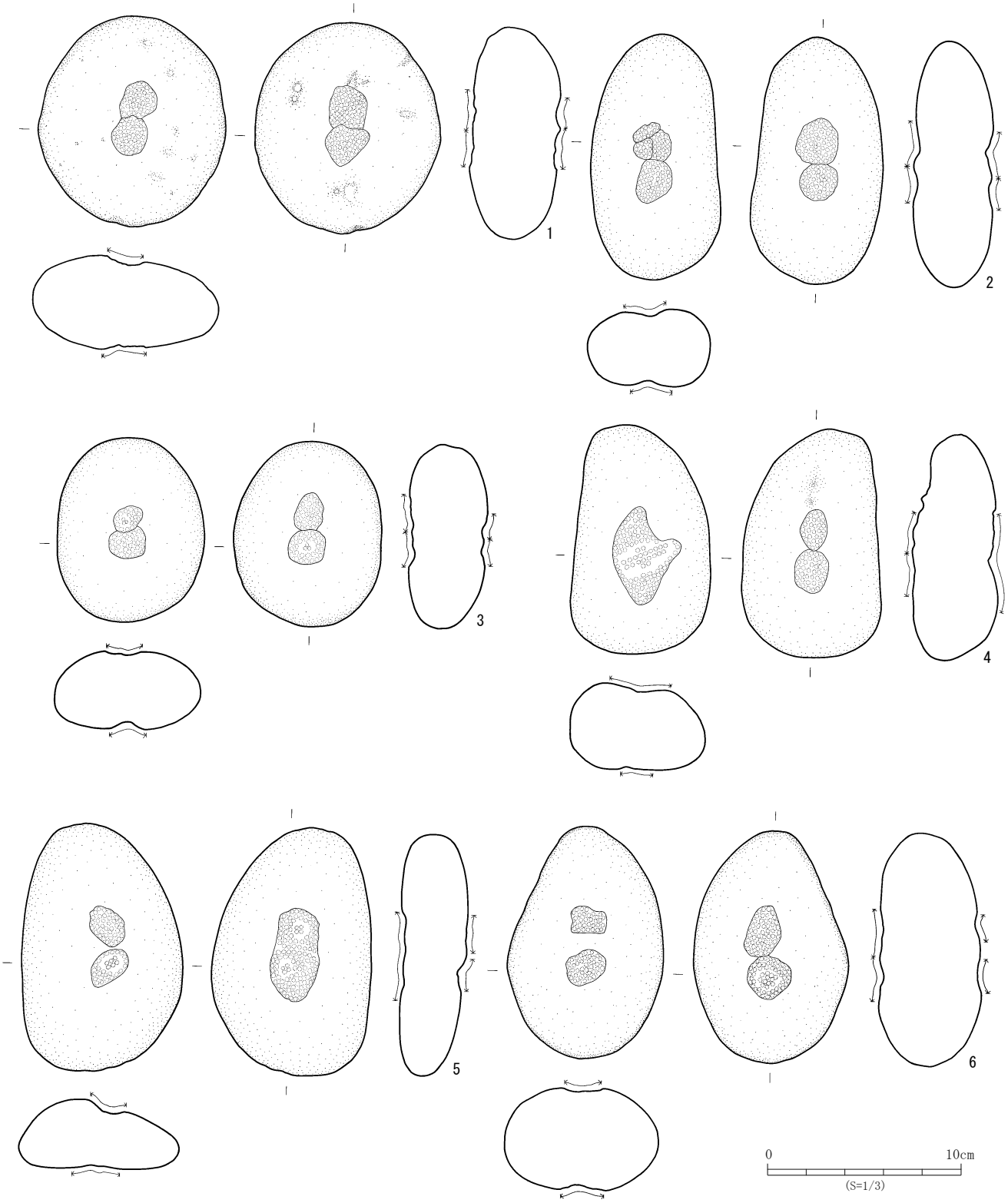
第625図　縄文時代遺構外出土遺物(84)



（）残存

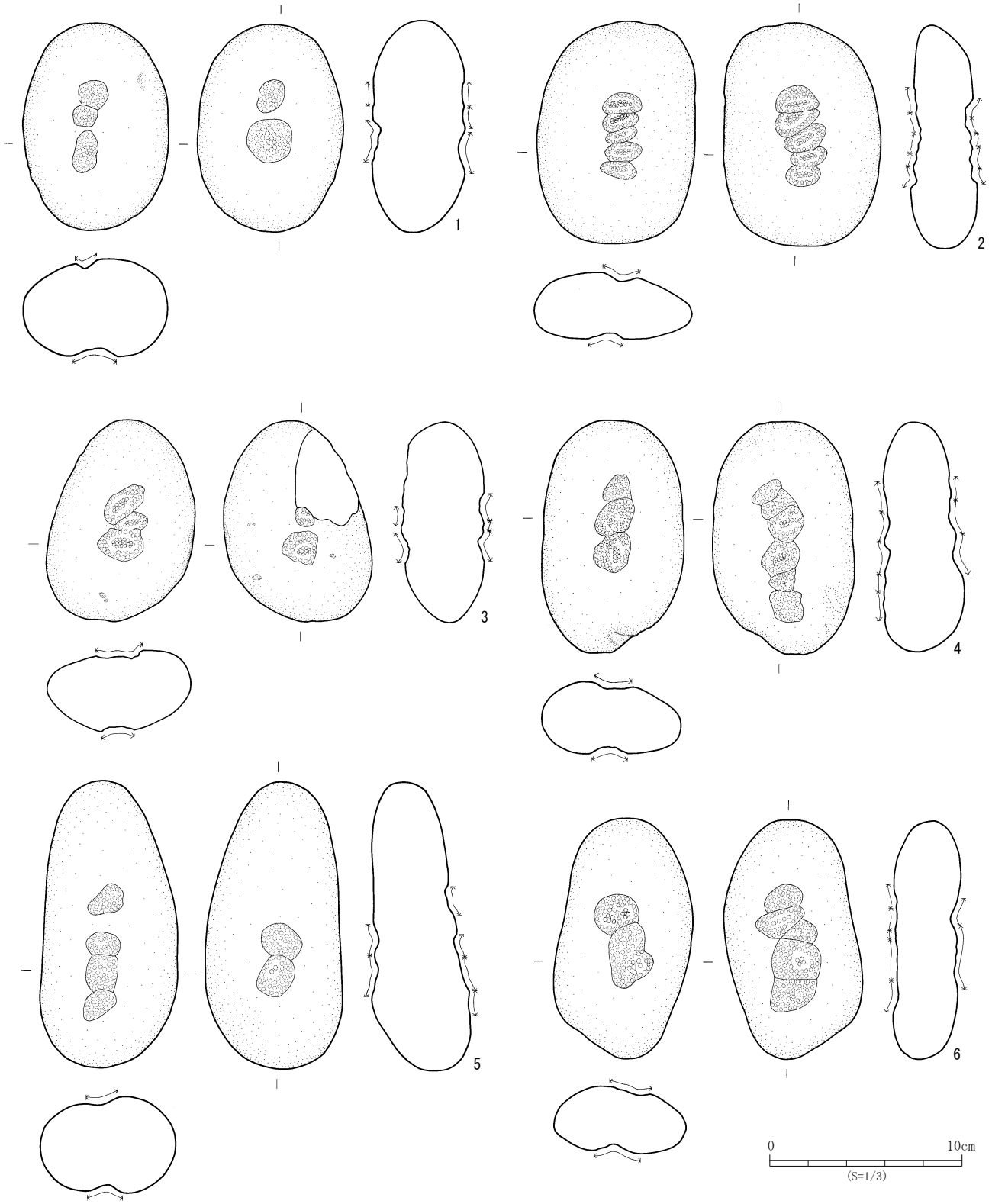
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-b-7050	F-34Gr.	礫石器	砂岩	133.0	61.0	48.5	595.0	凹１＋３。	-
2	Kc-b-7051	SI720	礫石器	デイサイト質凝灰岩	128.0	74.0	40.5	494.0	凹２＋１。	-
3	Kc-b-7052	SX745	礫石器	安山岩	124.0	97.0	50.0	(633.0)	凹２＋２。	-
4	Kc-b-7053	I-28・29Gr.	礫石器	デイサイト	124.0	68.0	40.0	494.0	凹２＋２。	-
5	Kc-b-6051	H・I-21Gr.	礫石器	安山岩	162.0	86.0	42.0	748.0	凹２＋２。	-
6	Kc-b-7054	F-40Gr.	礫石器	安山岩	133.0	71.0	39.0	490.0	凹２＋２。	-

第626図　縄文時代遺構外出土遺物(85)



№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-b-7055	SD704	礫石器	安山岩	109.0	96.0	47.5	580.0	凹2＋2。	-
2	Kc-b-7056	E-41Gr.	礫石器	デイサイト	127.0	68.0	42.0	482.0	凹4＋2。	-
3	Kc-b-6052	表採	礫石器	安山岩	95.5	76.0	40.5	398.0	凹2＋2。	-
4	Kc-b-7057	G-36Gr.	礫石器	安山岩	118.0	73.0	45.0	568.0	凹1＋2、被熱痕有り。	-
5	Kc-b-7058	F-41Gr.	礫石器	安山岩	127.0	83.0	35.0	490.0	凹1＋2。	-
6	Kc-b-7059	SD704	礫石器	安山岩	120.0	81.0	52.0	705.0	凹2＋2。	-

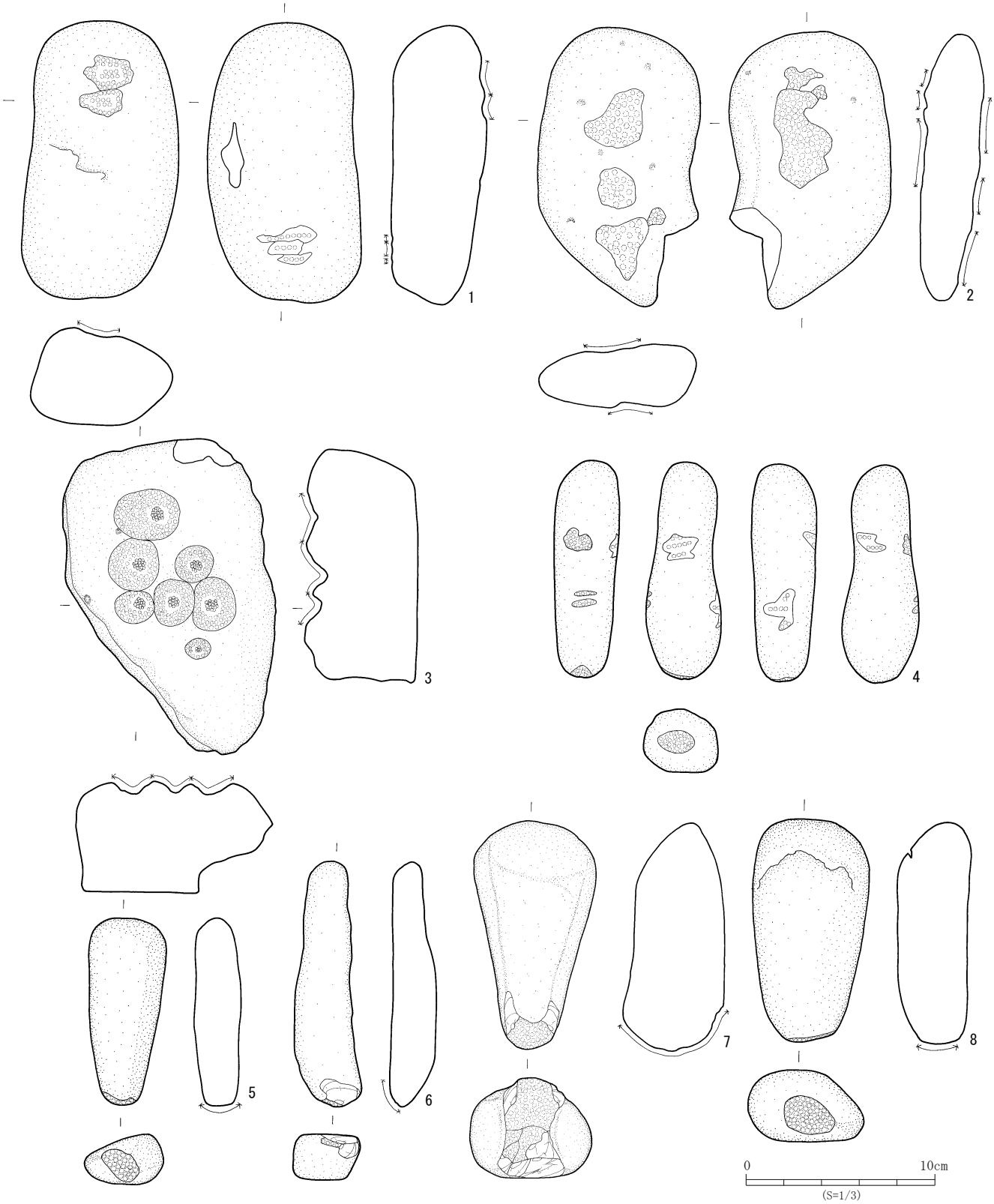
第627図　縄文時代遺構外出土遺物(86)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-b-6053	表採	礫石器	安山岩	107.5	76.0	50.5	440.0	凹３＋２。	249-10
2	Kc-b-7060	SI721	礫石器	安山岩	116.0	82.0	35.0	425.0	凹５＋５。	-
3	Kc-b-7061	SX741	礫石器	デイサイト	104.5	77.0	43.0	(435.0)	凹３＋２。	-
4	Kc-b-7062	SX745	礫石器	安山岩	121.0	74.0	42.0	455.0	凹３＋６。	-
5	Kc-b-7063	E-45Gr.	礫石器	安山岩	149.5	71.0	50.0	600.0	凹２＋４。	-
6	Kc-b-7064	G-36Gr.	礫石器	安山岩	124.5	73.0	35.0	341.0	凹２＋５、被熱痕有り。	-

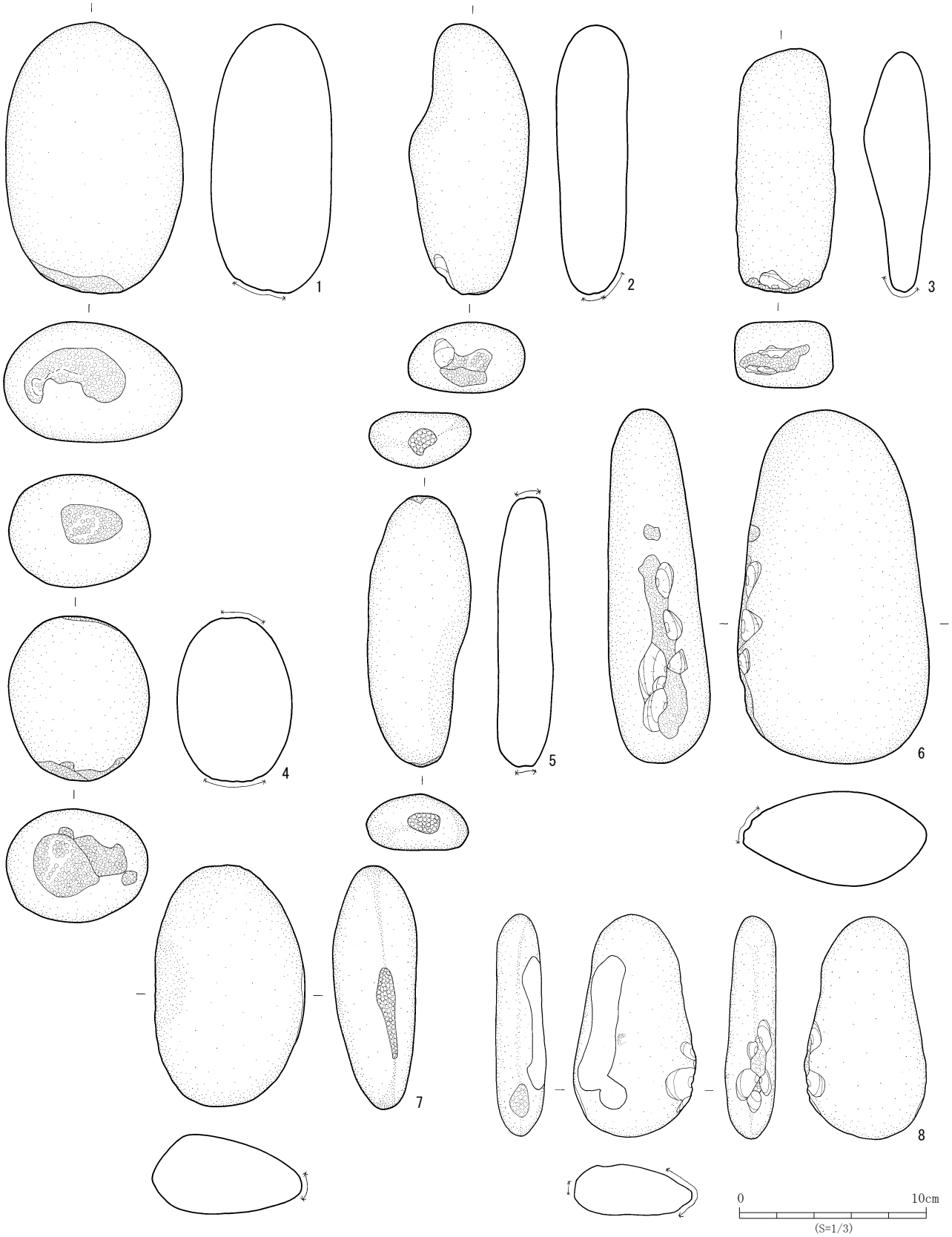
第628図　縄文時代遺構外出土遺物(87)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-b-7065	F-45Gr.	礫石器	デイサイト	97.5	82.5	51.0	(800.0)	凹２＋３、部分的な被熱痕とひび割れ有り。	-
2	Kc-b-6054	SK6072	礫石器	安山岩	147.5	(86.0)	31.5	(530.0)	凹４＋３。	-
3	Kc-b-7066	SD701	礫石器	デイサイト	167.0	113.0	60.0	(1020.0)	凹７、被熱痕有り。	-
4	Kc-c-7003	G-39Gr.	礫石器	安山岩	116.0	40.0	34.0	210.0	敲７(横下)。	251-２
5	Kc-c-7004	E-36Gr.	礫石器	砂岩	99.5	41.5	27.0	145.0	敲１(下)。	251-３
6	Kc-c-7005	D-38Gr.	礫石器	デイサイト	130.0	36.0	24.0	145.0	敲１(下)、被熱痕有り。	251-４
7	Kc-c-6008	SK6070	礫石器	安山岩	121.0	65.0	52.0	527.0	敲１(下)。	-
8	Kc-c-7006	G-41Gr.	礫石器	安山岩	118.0	61.5	38.5	393.0	敲１(下)。	251-５

第629図　縄文時代遺構外出土遺物(88)



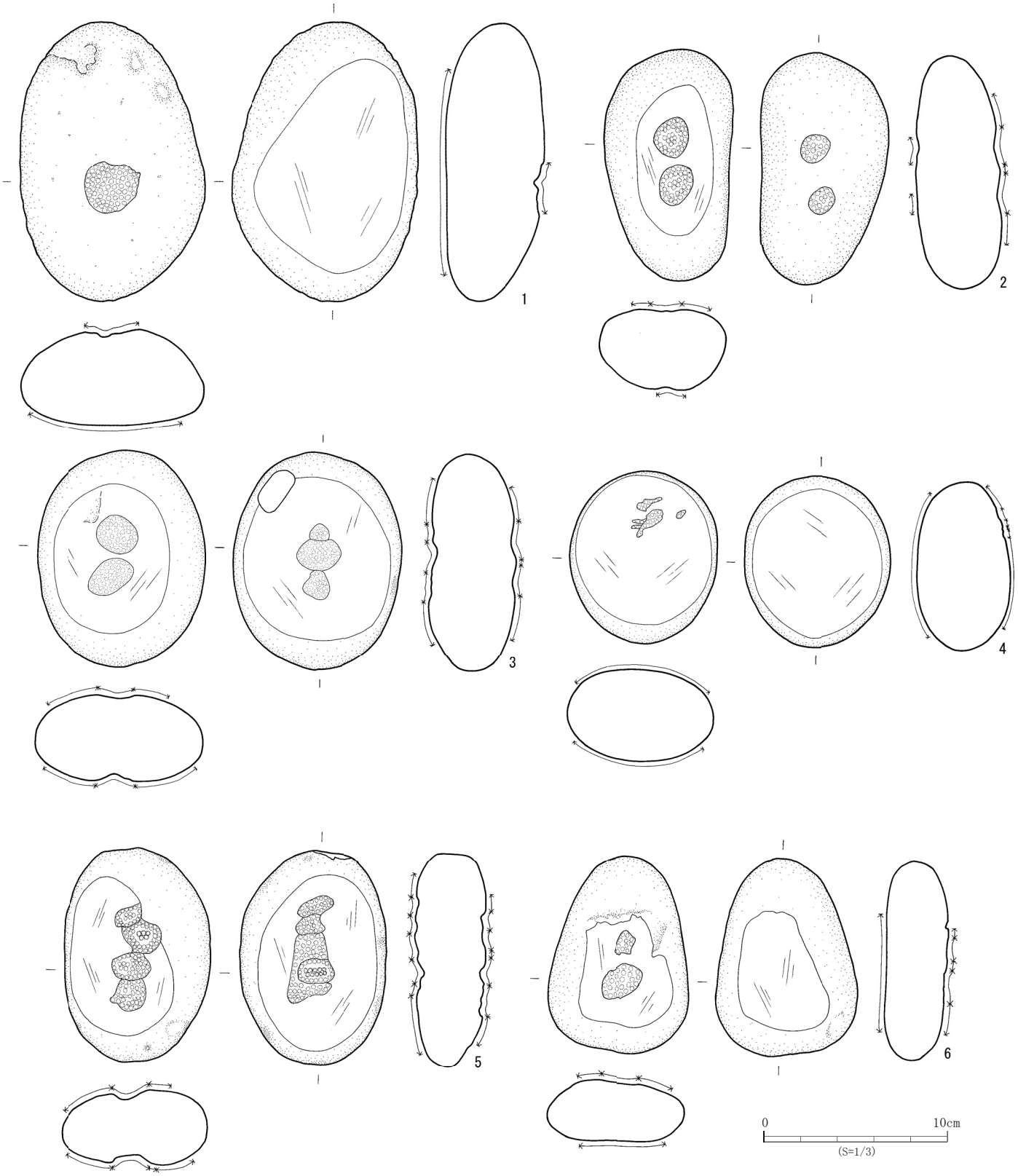
（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-c-6009	G～J-23～27Gr.	礫石器	安山岩	145.5	95.0	64.0	1,311.0	敲１(下)部分的に被熱痕有り。	251-6
2	Kc-c-7007	D-39Gr.	礫石器	デイサイト	145.0	63.0	38.0	465.0	敲１(下)。	251-8
3	Kc-c-7008	G-34Gr.	礫石器	デイサイト	131.0	53.0	36.0	371.0	敲１(下)。	251-7
4	Kc-c-7009	G-36Gr.	礫石器	安山岩	88.0	76.0	61.0	597.0	敲２(上下)。	251-11
5	Kc-c-7010	G-38Gr.	礫石器	デイサイト	145.0	55.0	30.0	315.0	敲２(上下)。	-
6	Kc-c-6010	表採	礫石器	安山岩	190.0	103.0	50.0	1,322.0	敲１(横)。	-
7	Kc-c-7011	E～G-34～37Gr.	礫石器	安山岩	130.0	80.0	45.0	580.0	敲１(横)、被熱痕有り。	-
8	Kc-c-6011	SD606	礫石器	デイサイト	119.0	66.0	27.0	(265.0)	敲２(横)。	-

第630図　縄文時代遺構外出土遺物(89)

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-d-7030	SX745	礫石器	デイサイト	123.0	86.5	56.5	880.0	磨1、凹1。	-
2	Kc-d-7031	E・F-28・29Gr.	礫石器	デイサイト	117.0	65.0	37.5	415.0	磨1、凹2。	-
3	Kc-d-7032	SX759	礫石器	安山岩	145.0	65.5	37.5	508.0	磨1、凹2。	-
4	Kc-d-6048	表採	礫石器	安山岩	121.5	110.0	60.5	920.0	磨2、凹3＋2。	-
5	Kc-d-6049	SK6294	礫石器	安山岩	97.0	92.5	36.5	452.0	磨1、凹3。	-
6	Kc-d-7033	F-36Gr.	礫石器	安山岩	102.0	82.0	43.5	565.0	磨2、凹1。	-
7	Kc-d-7034	G-37Gr.	礫石器	安山岩	93.0	81.0	48.5	480.0	磨2、凹2＋2。	-

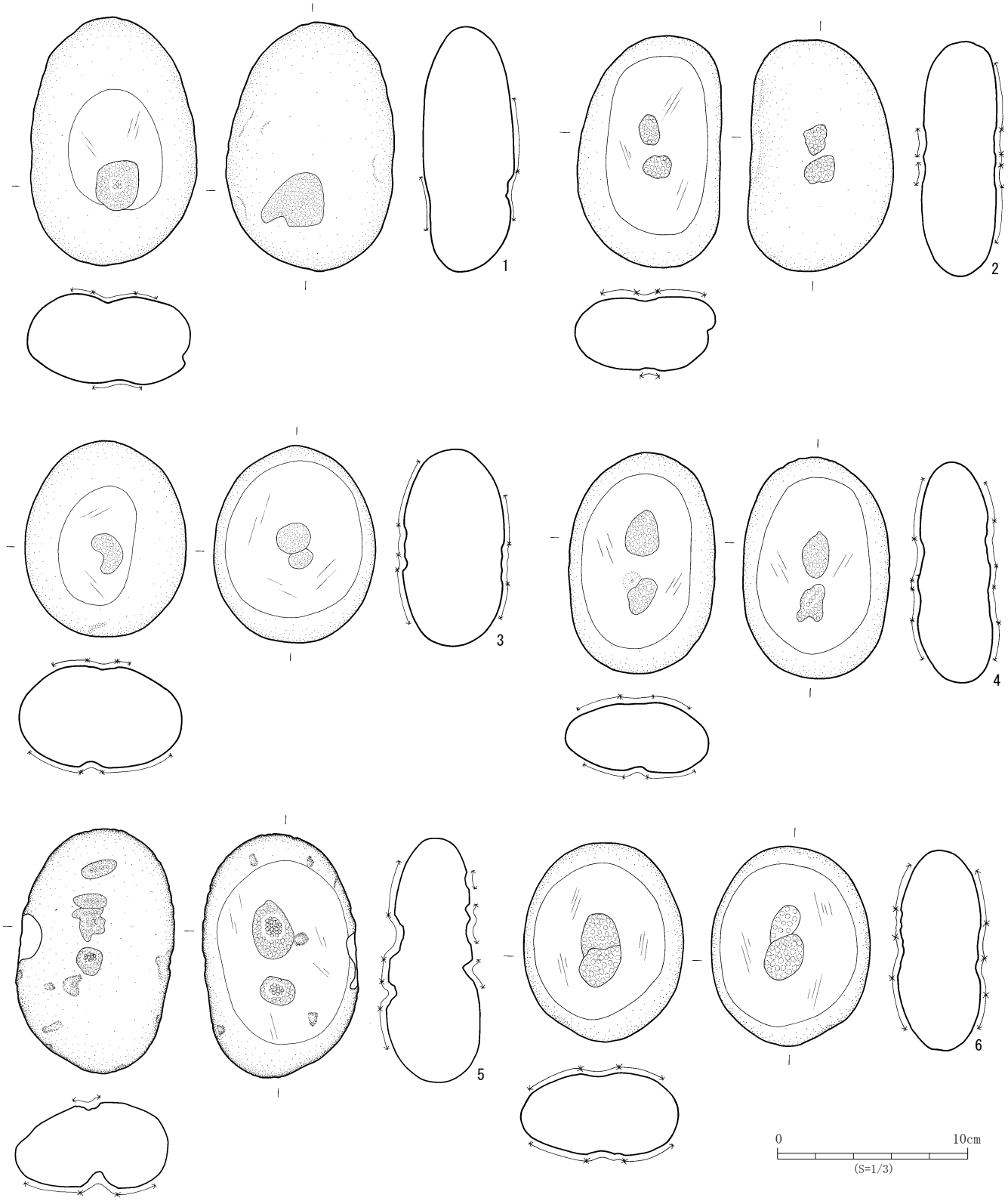
第631図　縄文時代遺構外出土遺物(90)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(ｇ)	備　考	写真図版
1	Kc-d-7035	F-44Gr.	礫石器	安山岩	152.0	101.0	55.0	1050.0	磨１、凹１。	-
2	Kc-d-7036	G-37Gr.	礫石器	デイサイト	127.0	70.0	45.0	575.0	磨１、凹２＋２。	-
3	Kc-d-6050	J-20・21Gr.	礫石器	安山岩	119.0	92.0	47.0	(637.0)	磨２、凹２＋３。	250-９
4	Kc-d-7037	G-35Gr.	礫石器	砂岩	93.0	79.5	50.0	543.0	磨２、凹１。	-
5	Kc-d-7038	F-36Gr.	礫石器	安山岩	117.0	80.5	40.0	(540.0)	磨２、凹４＋４。	-
6	Kc-d-7039	E-30Gr.	礫石器	デイサイト	108.0	77.0	34.0	404.0	磨２、凹２。	-

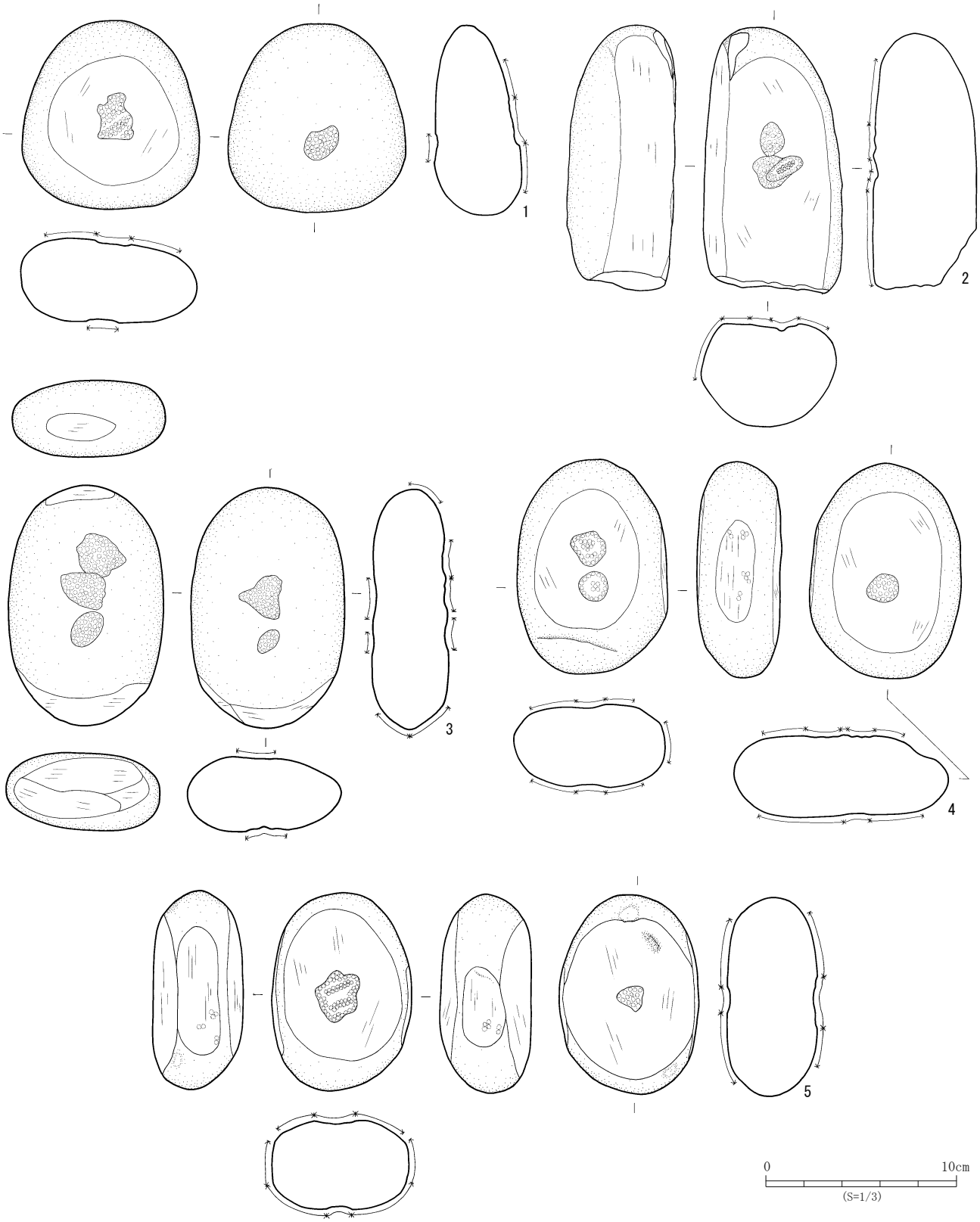
第632図　縄文時代遺構外出土遺物(91)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-d-6051	表採	礫石器	安山岩	131.0	88.0	49.0	760.0	磨1、凹1＋1。	-
2	Kc-d-6052	J-21Gr.	礫石器	安山岩	122.0	76.0	40.0	572.0	磨1、凹2＋2。	-
3	Kc-d-6053	表採	礫石器	花崗閃緑岩	63.5	84.5	53.0	580.0	磨2、凹1＋2。	-
4	Kc-d-7040	G-37Gr.	礫石器	安山岩	116.0	77.0	40.0	480.0	磨2、凹2＋2。	-
5	Kc-d-7041	SD704	礫石器	デイサイト	128.5	(82.5)	49.0	(625.0)	磨1、凹4＋2、部分的な被熱痕あり。	-
6	Kc-d-7042	E-46Gr.	礫石器	デイサイト	115.0	83.5	44.0	575.0	磨2、凹2＋2。	-

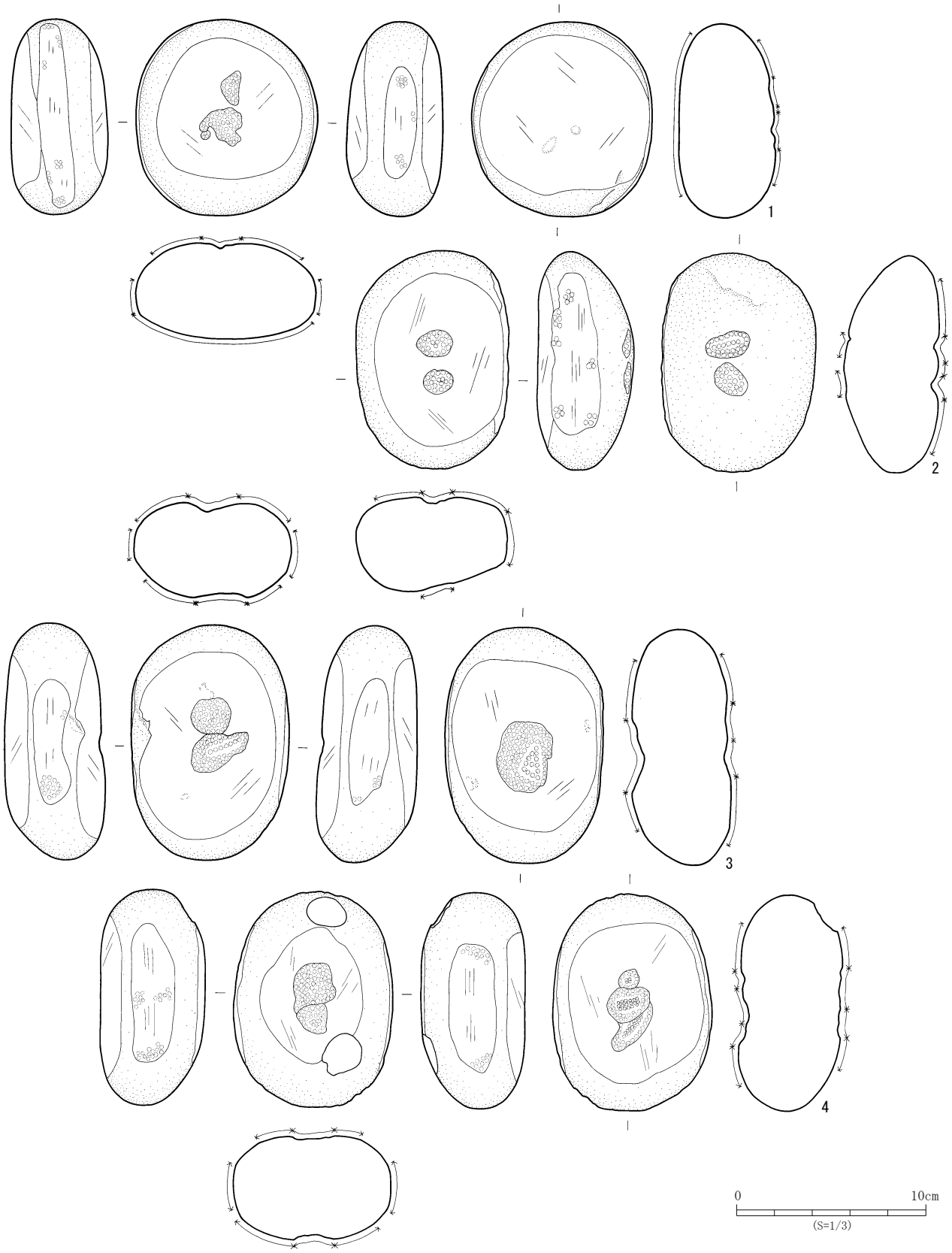
第633図　縄文時代遺構外出土遺物(92)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-d-7043	SX759	礫石器	安山岩	99.0	93.0	45.0	600.0	磨１、凹１＋１。	-
2	Kc-d-6054	SD604	礫石器	デイサイト	(139.5)	73.0	54.5	(856.0)	磨２(横１)、凹２。	-
3	Kc-d-7044	E・F-30Gr.	礫石器	デイサイト	126.0	80.0	40.0	613.0	磨(上下)、凹３＋２。	250-１
4	Kc-d-6055	SK6306	礫石器	安山岩	113.0	80.0	43.3	605.0	磨２(横１)、凹２＋１。	-
5	Kc-d-6056	F・G-32・33Gr.	礫石器	安山岩	104.0	73.0	47.5	498.0	磨４(横２)、凹１＋１。	-

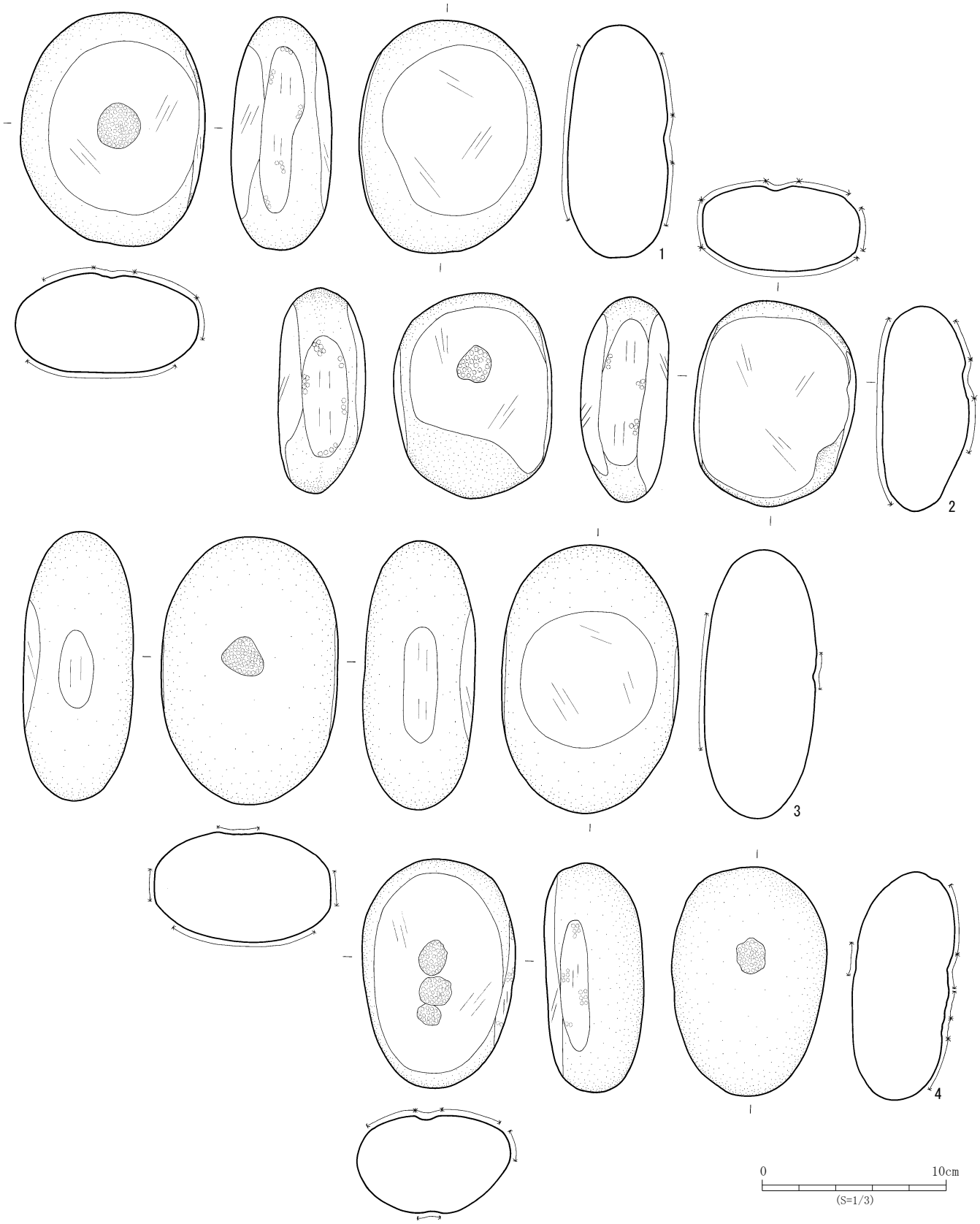
第634図　縄文時代遺構外出土遺物(93)



（）残存

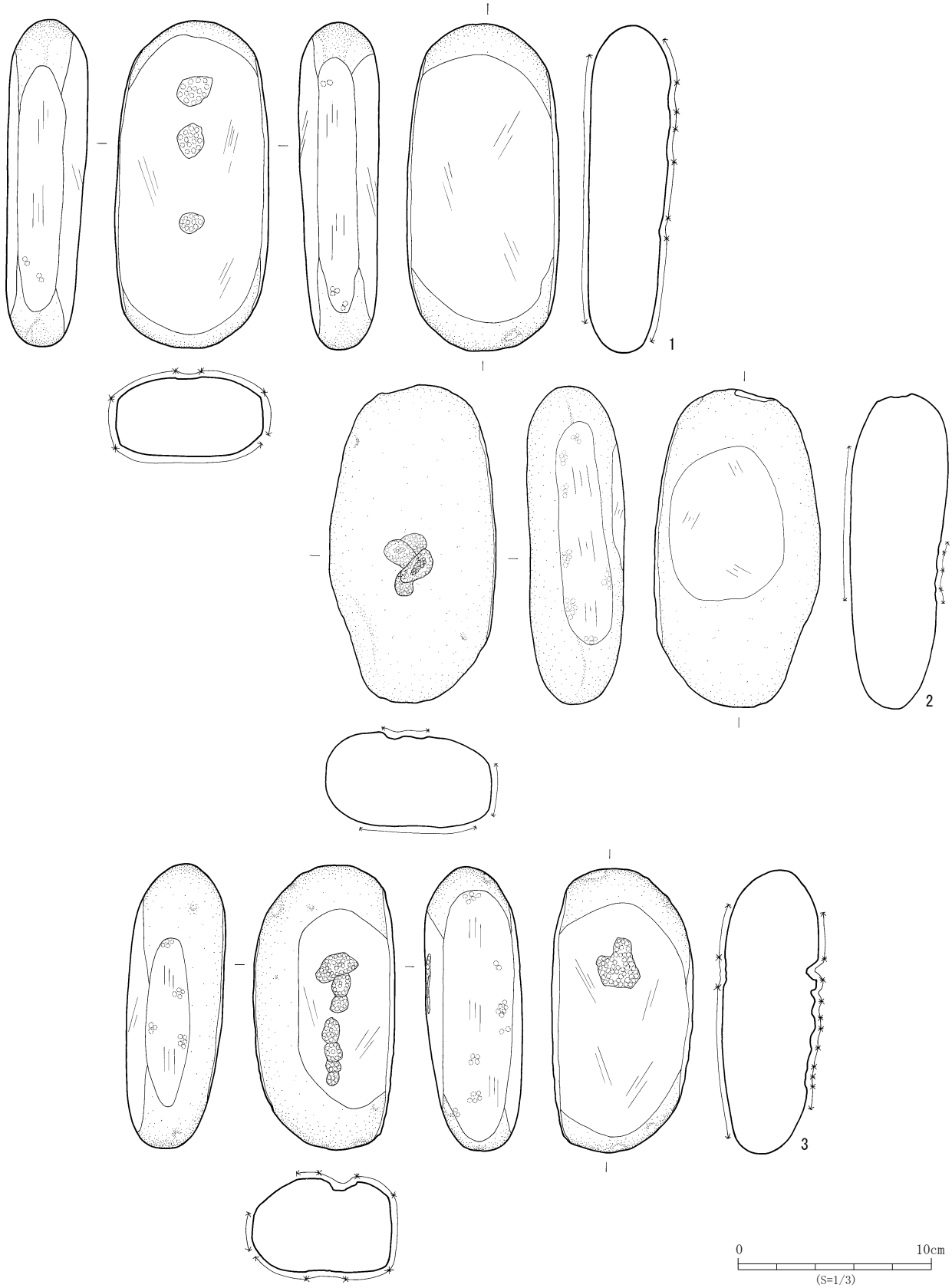
No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-d-7045	F-37Gr.	礫石器	デイサイト質凝灰岩	102.5	95.0	51.0	720.0	磨4(横2)、凹2。	-
2	Kc-d-7046	F-37Gr.	礫石器	安山岩	115.0	81.0	51.0	685.0	磨2(横1)、凹2+2。	-
3	Kc-d-7047	D-42Gr.	礫石器	安山岩	124.5	83.0	53.0	740.0	磨4(横2)、凹1+2。	250-2
4	Kc-d-7048	SD702	礫石器	花崗閃緑岩	114.0	84.0	54.0	(810.0)	磨4(横2)、凹2+3。	-

第635図　縄文時代遺構外出土遺物(94)



No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-d-7049	D-39Gr.	礫石器	安山岩	126.5	99.0	54.0	860.0	磨３(横１)、凹１	-
2	Kc-d-7050	H・I-28・29Gr.	礫石器	花崗閃緑岩	112.0	87.0	47.0	680.0	磨４(横２)、凹１	-
3	Kc-d-7051	E-41Gr.	礫石器	安山岩	146.0	95.5	60.0	1215.0	磨３(横２)、凹１	-
4	Kc-d-7052	E-40Gr.	礫石器	安山岩	124.0	83.5	55.0	785.0	磨２(横１)、凹３＋１	-

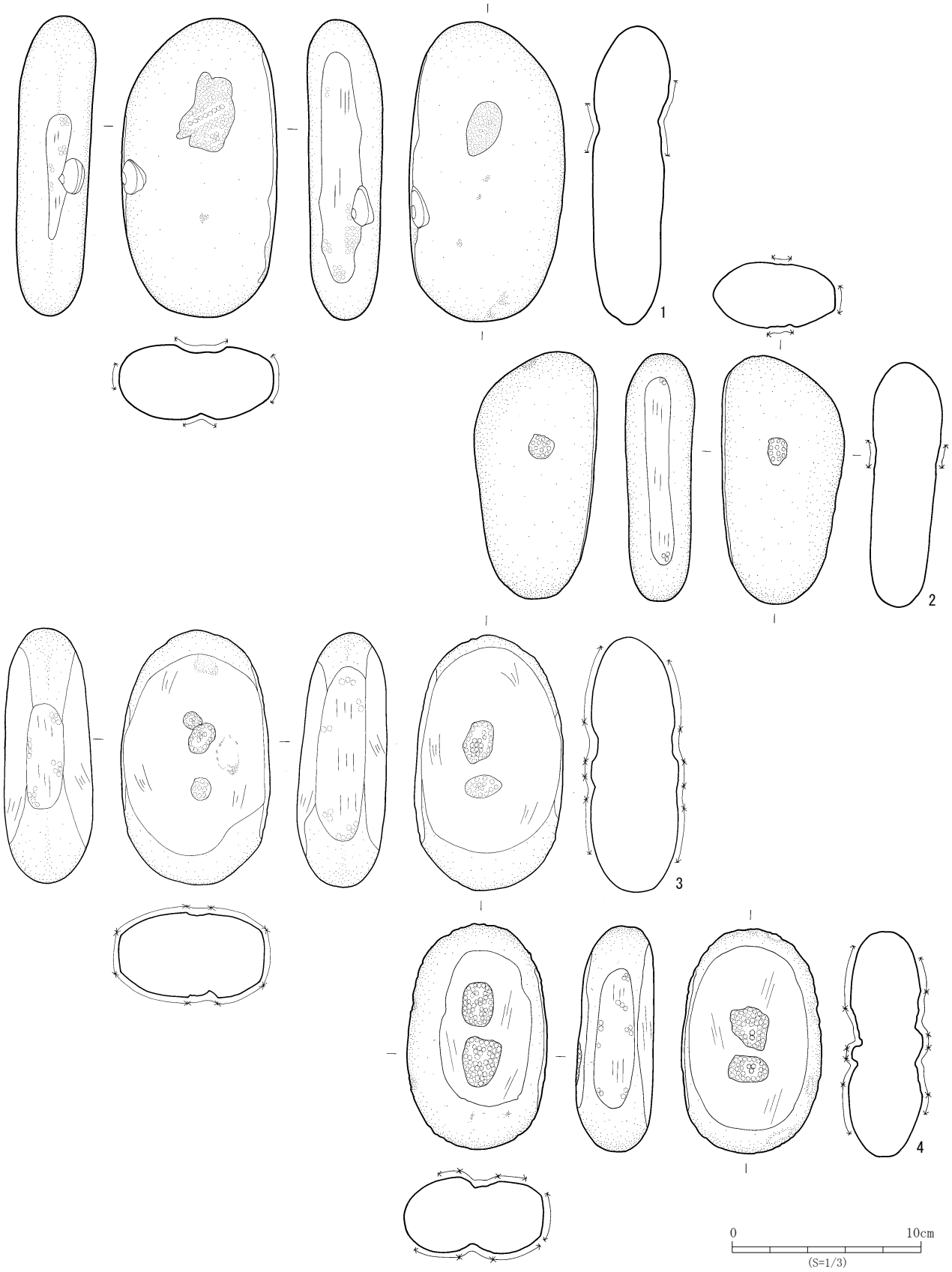
第636図　縄文時代遺構外出土遺物(95)



（）残存

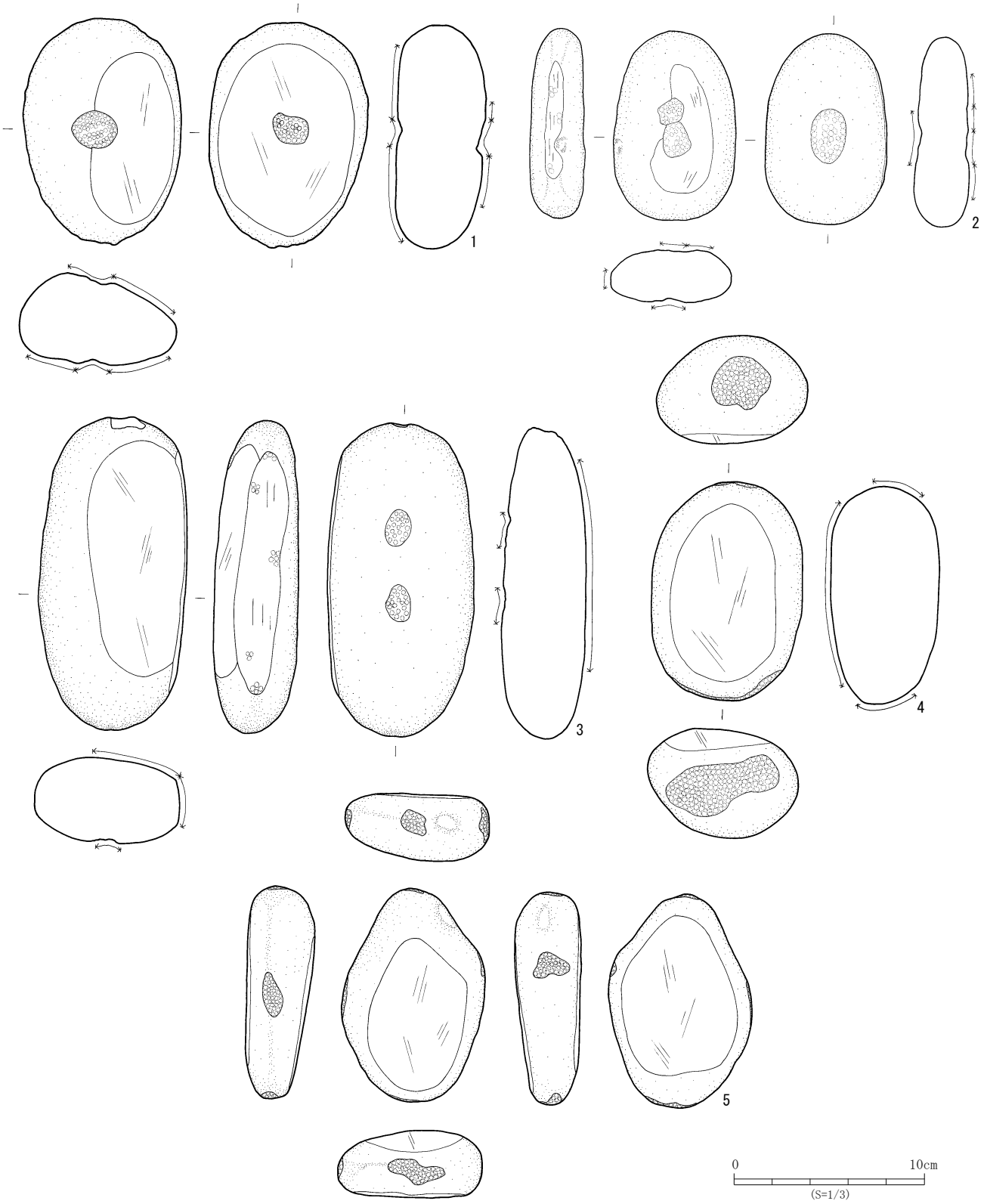
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-d-7053	E-28Gr.	礫石器	デイサイト	169.0	79.0	41.5	925.0	磨4(横2)、凹3、被熱痕あり。	-
2	Kc-d-6057	SD604	礫石器	安山岩	(164.5)	86.0	49.5	(1,080.0)	磨2(横1)、凹4。	-
3	Kc-d-7054	G-35Gr.	礫石器	安山岩	146.5	73.0	51.0	784.0	磨4(横2)、凹1＋7。	-

第637図　縄文時代遺構外出土遺物(96)



№.	登録番号	出土位置	器　　種	石　　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(ｇ)	備　　考	写真図版
1	Kc-d-6058	表採	礫石器	デイサイト	158.0	82.0	40.0	710.0	磨２(横)、凹１＋２。	-
2	Kc-d-7055	F-41Gr.	礫石器	デイサイト	131.0	65.0	36.0	450.0	磨１(横)、凹１＋１。	-
3	Kc-d-6059	SD604	礫石器	安山岩	134.5	78.5	46.0	714.0	磨４(横２)、凹３＋２。	-
4	Kc-d-7056	F-42Gr.	礫石器	安山岩	119.0	74.0	40.5	505.0	磨３(横１)、凹２＋２、黒色付着物有り。	-

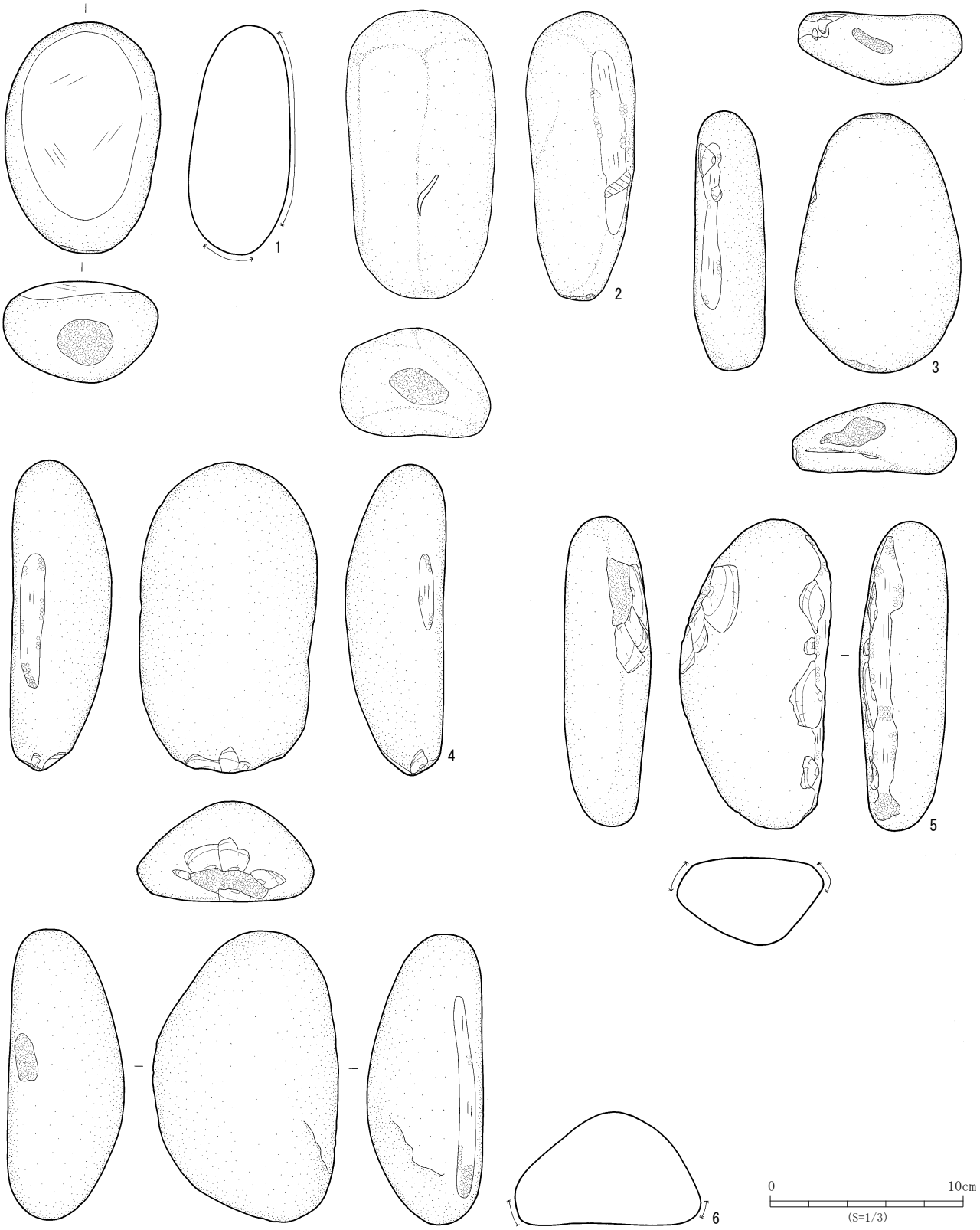
第638図　縄文時代遺構外出土遺物(97)



（）残存

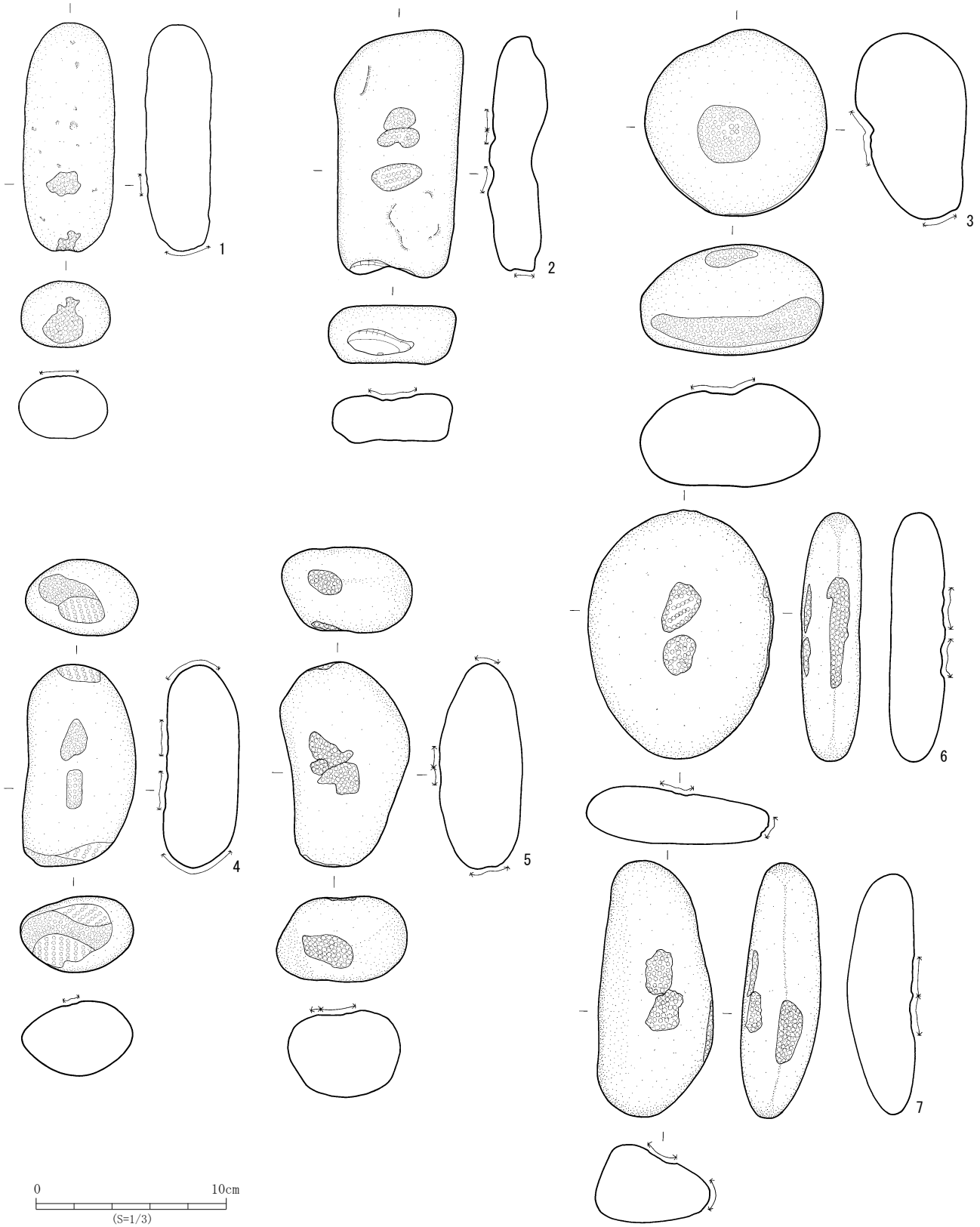
No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-d-6060	F・G-32・33Gr.	礫石器	安山岩	119.0	83.5	48.0	712.0	磨2、凹1＋1。	-
2	Kc-d-6061	SD603	礫石器	安山岩	100.0	64.0	29.0	276.0	磨2(横1)、凹2＋1。	-
3	Kc-d-7057	E-46Gr.	礫石器	安山岩	(164.5)	77.0	44.0	(825.0)	磨2(横1)、凹2、被熱痕有り。	-
4	Kc-e-6012	F・G-32・33Gr.	礫石器	安山岩	114.5	80.0	57.5	769.0	磨1、敲2(上下)。	251-9
5	Kc-e-6013	K-19Gr.	礫石器	安山岩	112.0	75.5	35.0	407.0	磨2、敲4(上下横)。	251-10

第639図　縄文時代遺構外出土遺物(98)



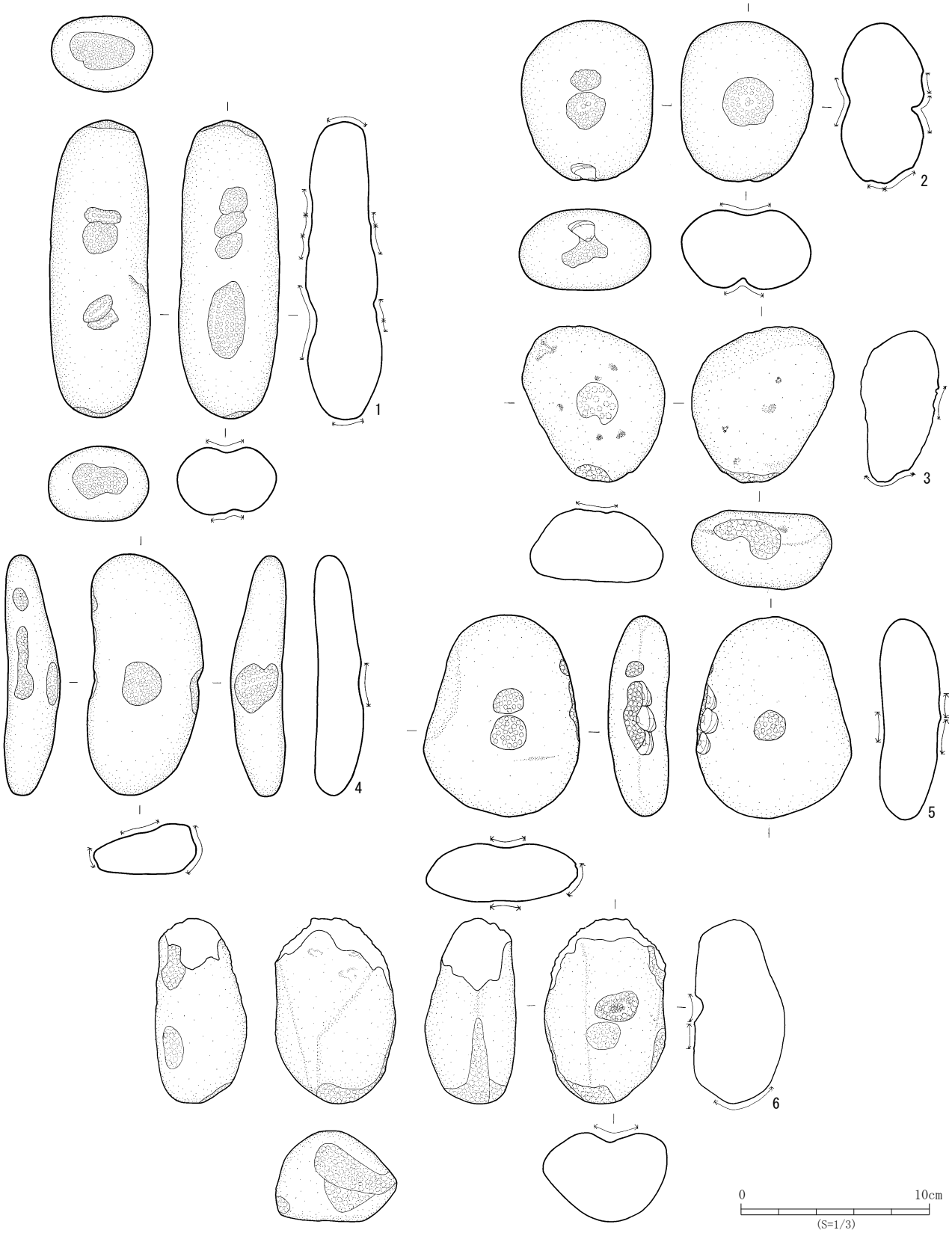
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-e-7003	E-40Gr.	礫石器	デイサイト	119.0	80.0	52.5	755.0	磨１、敲１(下)。	251-13
2	Kc-e-6014	SD604	礫石器	デイサイト	150.0	78.0	55.5	948.0	磨１(横)、敲１(下)、被熱痕有り。	-
3	Kc-e-7004	G-39Gr.	礫石器	砂岩	135.0	85.0	37.0	593.0	磨１(横)、敲２(上下)。	-
4	Kc-e-7005	E-29Gr.	礫石器	デイサイト	160.0	91.5	51.3	1050.0	磨２(横)、敲１(下)。	251-12
5	Kc-e-6015	F・G-32・33Gr.	礫石器	安山岩	160.0	28.0	45.0	748.0	磨１(横)、敲１(横)、被熱による黒色変化有り。	249-４
6	Kc-e-7006	F-37Gr.	礫石器	安山岩	150.0	96.0	60.0	1153.0	磨１(横)、敲１(横)。	249-３

第640図　縄文時代遺構外出土遺物(99)



№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-f-6007	SD604	礫石器	デイサイト	120.5	47.5	35.0	343.0	凹1、敲1(下)。	-
2	Kc-f-6008	K-20Gr.	礫石器	砂岩	131.0	67.0	29.0	336.0	凹3、敲1(下)。	250-3
3	Kc-f-7003	F-35Gr.	礫石器	安山岩	98.0	95.0	58.0	720.0	凹1、敲1(下)。	250-4
4	Kc-f-7004	G-35Gr.	礫石器	安山岩	107.0	59.0	40.0	370.0	凹3、敲2(上下)。	251-14
5	Kc-f-7005	G-36Gr.	礫石器	デイサイト	108.0	69.0	45.5	425.0	凹3、敲2(上下)。	251-15
6	Kc-f-7006	D-43Gr.	礫石器	安山岩	131.0	97.0	31.0	500.0	凹2、敲1(横)。	-
7	Kc-f-7007	F-34Gr.	礫石器	安山岩	134.5	60.5	41.5	450.0	凹2、敲1(横)。	-

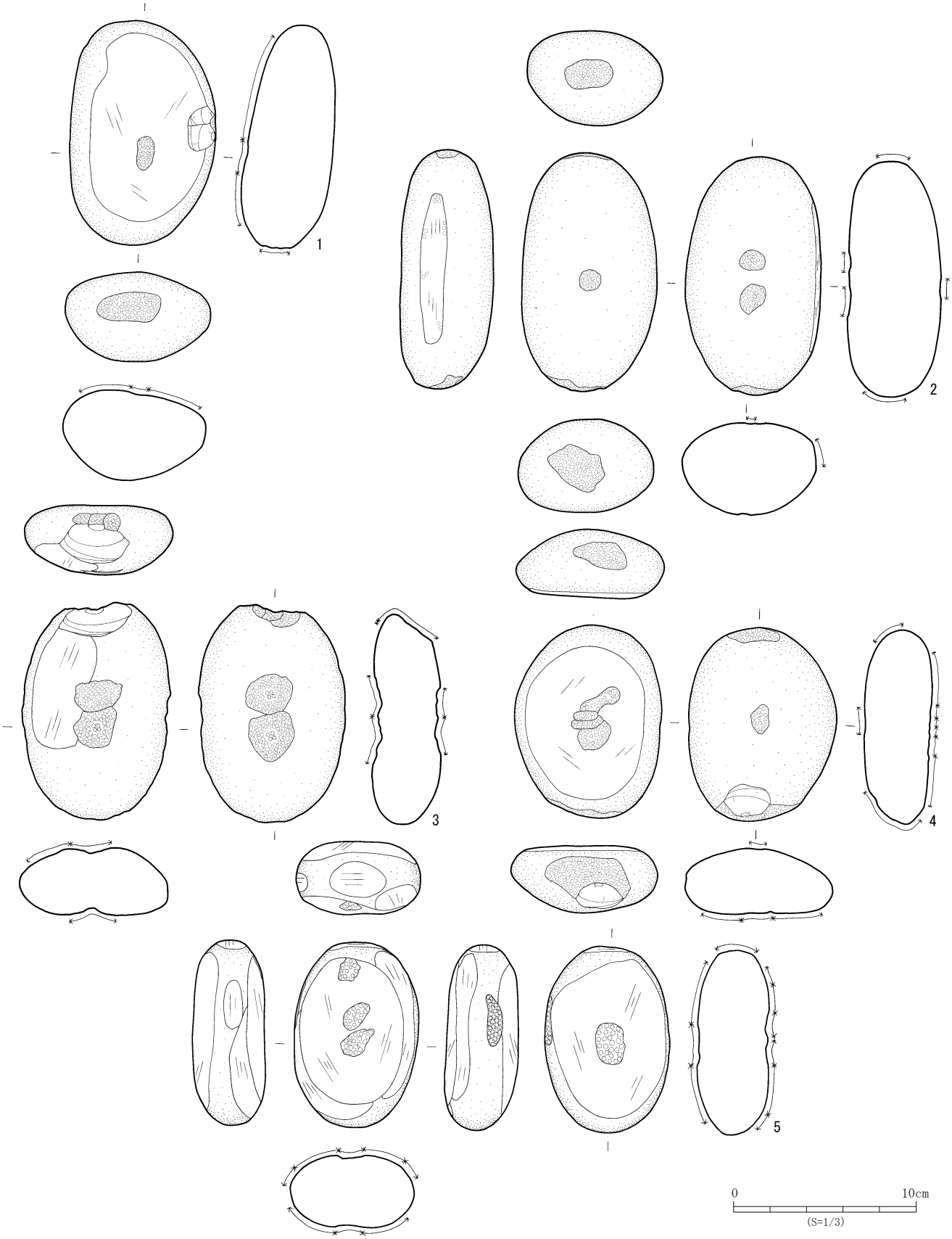
第641図　縄文時代遺構外出土遺物(100)



（）残存

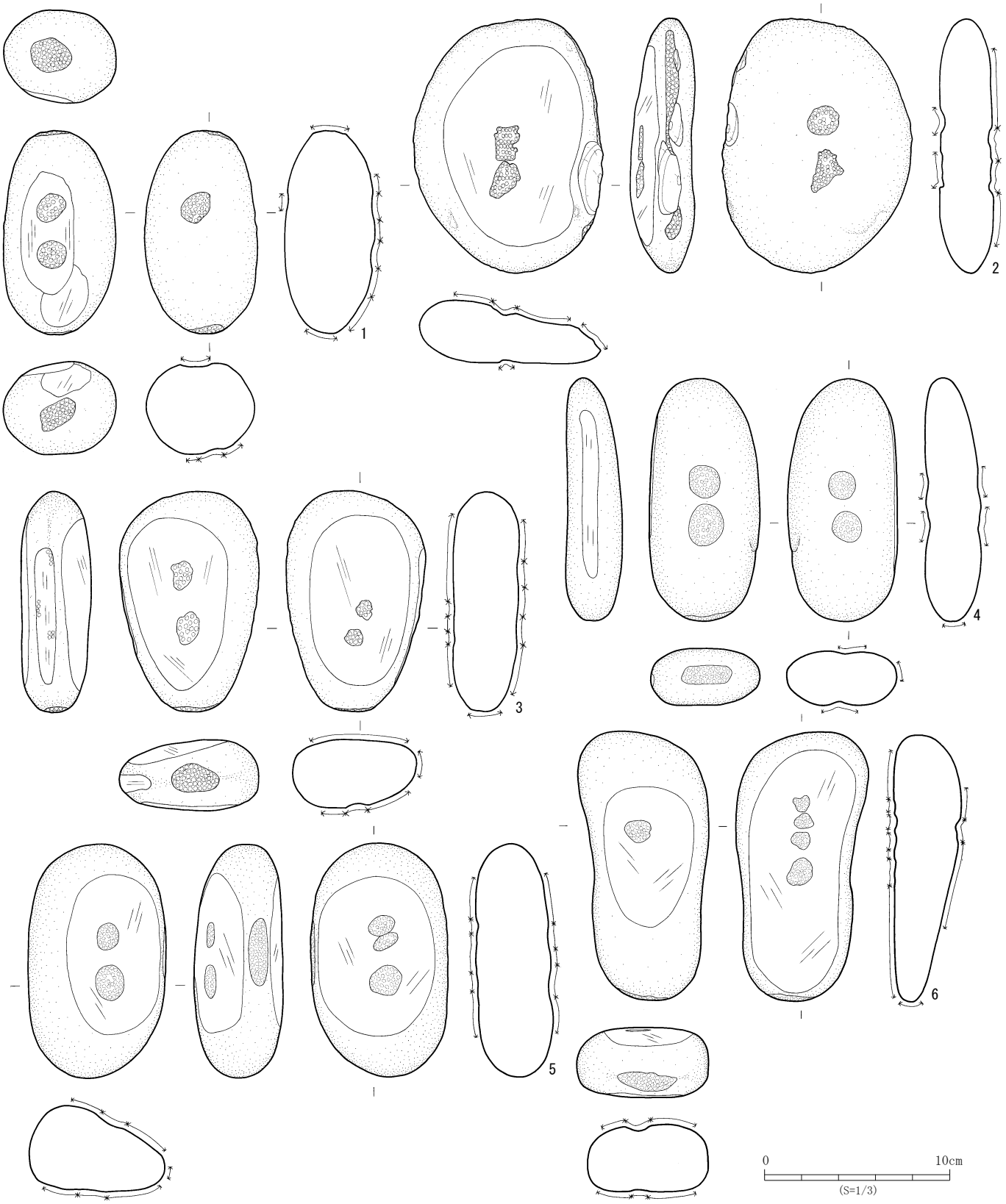
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-f-7008	G-35Gr.	礫石器	安山岩	158.0	53.0	40.0	451.0	凹４＋４、敲２(上下)、被熱痕有り。	251-16
2	Kc-f-7009	H-37Gr.	礫石器	砂岩	85.0	70.0	43.0	370.0	凹２＋１、敲１(下)。	250-６
3	Kc-f-6009	SK092	礫石器	安山岩	83.0	75.0	41.5	312.0	凹１、敲１(下)。	-
4	Kc-f-6010	H～J-20～22Gr.	礫石器	安山岩	128.0	61.0	29.0	228.0	凹１、敲２(横)。	249-６
5	Kc-f-7010	G-37Gr.	礫石器	安山岩	106.5	82.5	31.0	360.0	凹２＋１、敲１(横)、被熱痕有り。	-
6	Kc-f-6011	SD607	礫石器	花崗閃緑岩	(98.0)	64.5	48.0	(402.0)	凹２、敲３(横２下１)。	-

第642図　縄文時代遺構外出土遺物(101)



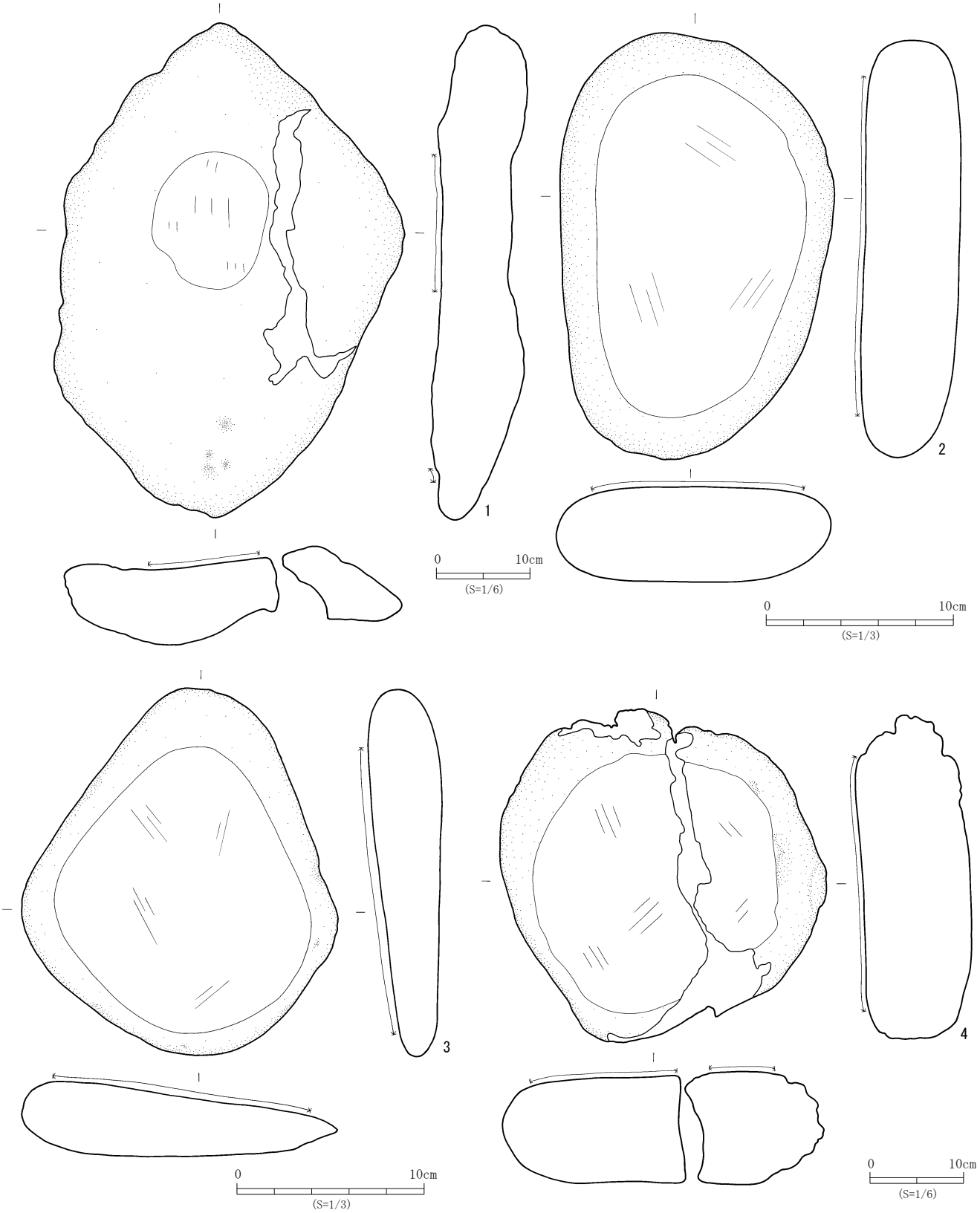
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-g-7003	G-41Gr.	礫石器	安山岩	123.0	79.5	49.0	685.0	磨1、凹1、敲1(下)。	-
2	Kc-g-6010	I-12Gr.	礫石器	安山岩	130.0	74.0	51.0	625.0	磨1(横)、凹1+2、敲2(上下)。	-
3	Kc-g-6011	F・G-32・33Gr.	礫石器	デイサイト	119.0	81.0	37.5	432.0	磨1、凹2+2、敲1(下)。	-
4	Kc-g-7004	F-41Gr.	礫石器	デイサイト	105.5	81.0	37.0	450.0	磨1、凹4+1、敲2(上下)。	249-2
5	Kc-g-7005	G-35Gr.	礫石器	安山岩	101.0	68.0	40.0	434.0	磨4(横1下1)、凹3+1、敲1(横)。	-

第643図　縄文時代遺構外出土遺物(102)



№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kc-g-7006	F-42Gr.	礫石器	デイサイト	109.0	51.0	50.0	460.0	磨１、凹２＋１、敲２(上下)。	-
2	Kc-g-7007	F-40Gr.	礫石器	デイサイト質凝灰岩	136.0	102.0	34.5	515.0	磨１、凹２＋２、敲１(横)。	250-７
3	Kc-g-7008	F-40Gr.	礫石器	安山岩	118.5	75.0	38.0	520.0	磨３(横１)、凹２＋２、敲１(下)。	249-５
4	Kc-g-7009	E-45Gr.	礫石器	デイサイト質凝灰岩	131.0	59.0	30.5	340.0	磨１(横)、凹２＋２、敲１(下)。	250-10
5	Kc-g-7010	E-42Gr.	礫石器	安山岩	126.0	74.0	48.0	580.0	磨２、凹２＋３、敲１(横)。	250-５
6	Kc-g-6012	表採	礫石器	安山岩	145.0	71.0	37.0	544.0	磨２、凹４＋１、敲１(下)。	250-８

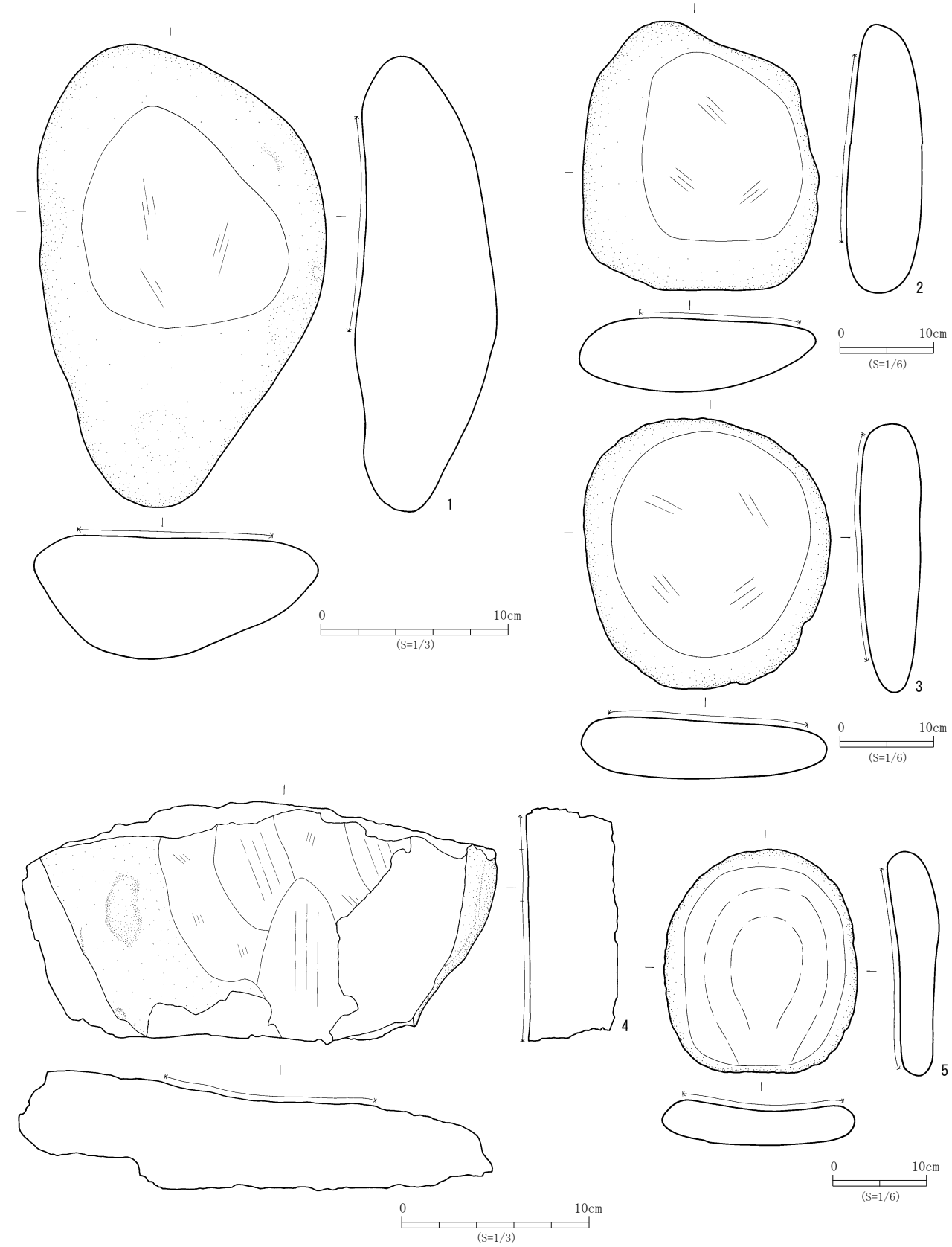
第644図　縄文時代遺構外出土遺物(103)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-a-7019	E-38Gr.	石皿	安山岩	531.0	372.0	104.0	(17700.0)	磨1、被熱痕とひび割れ有り、S=1/6。	-
2	Kd-a-7020	F-39Gr.	石皿	安山岩	228.0	146.0	52.0	2855.0	磨1。	-
3	Kd-a-6035	H～J-20～22Gr.	石皿	安山岩	196.0	169.0	40.0	1,696.0	磨1。	-
4	Kd-a-7021	G-41Gr.	石皿	安山岩	357.0	349.0	122.0	(20200.0)	磨1，被熱痕とひび割れ有り、S=1/6。	-

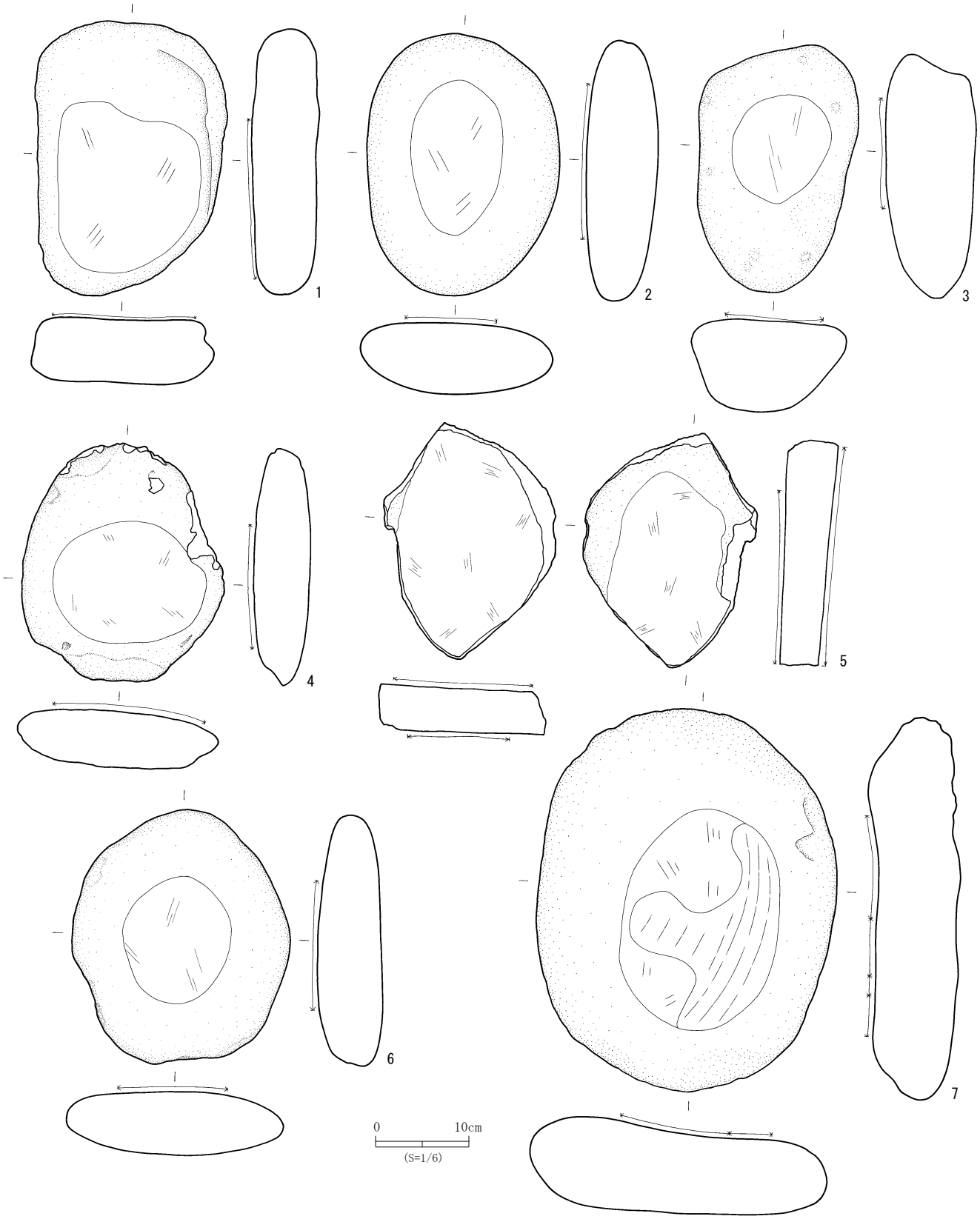
第645図　縄文時代遺構外出土遺物(104)



（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-a-6036	SX605	石皿	安山岩	247.0	155.0	76.0	3,515.0	磨１。	-
2	Kd-a-7022	F-39Gr.	石皿	安山岩	287.0	251.0	78.0	8800.0	磨１、S=1/6。	-
3	Kd-a-7023	F-40Gr.	石皿	安山岩	290.0	263.0	64.0	6180.0	磨１、S=1/6。	-
4	Kd-a-6037	SI603	石皿	凝灰質頁岩	(129.0)	(253.5)	(61.0)	(2,810.0)	磨１、磨面複数有り、被熱痕有り。	-
5	Kd-a-7024	F-29Gr.	石皿	安山岩	238.0	205.0	55.0	3080.0	磨１、S=1/6。	252-１

第646図　縄文時代遺構外出土遺物(105)



（）残存

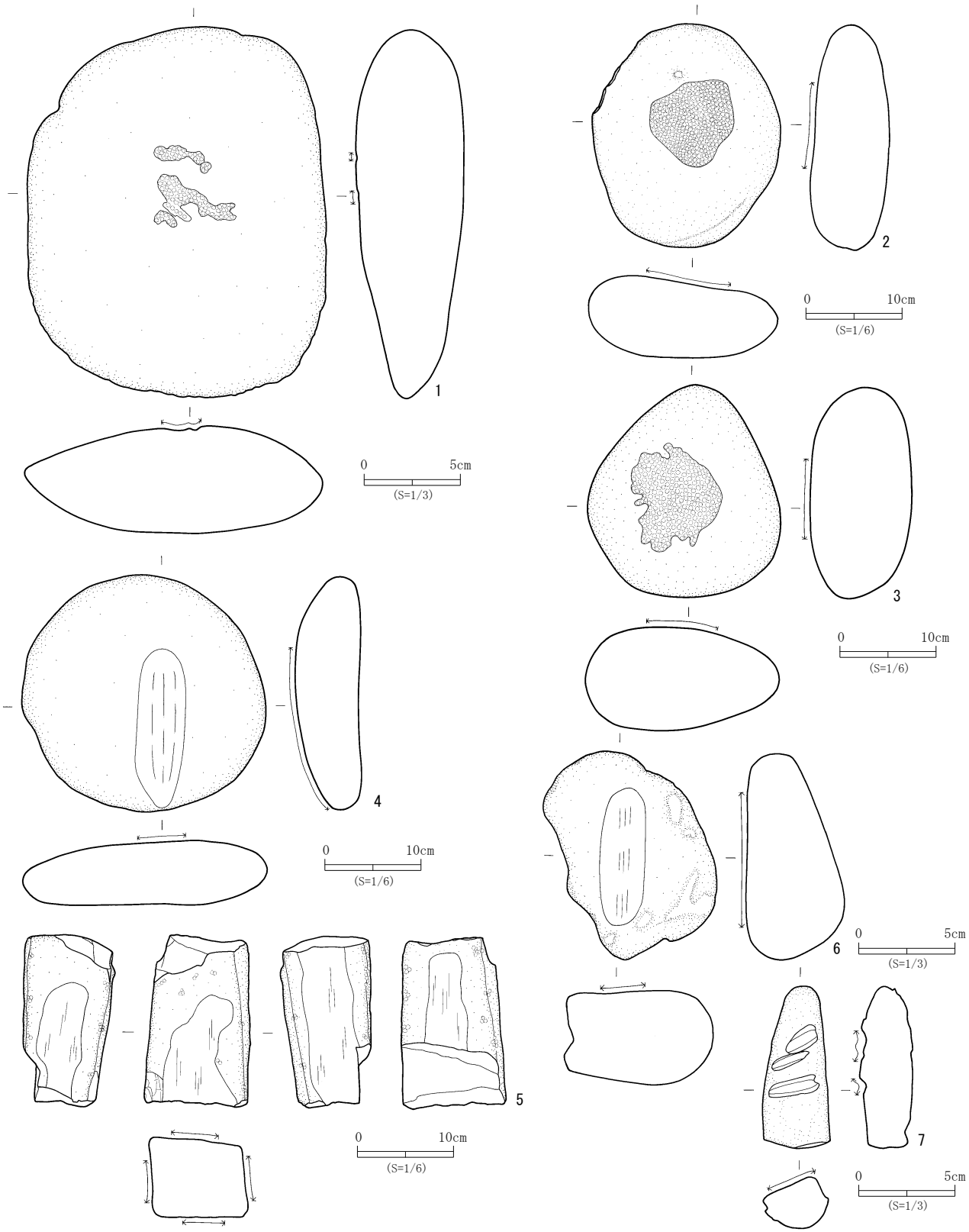
№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-a-6038	表採	石皿	安山岩	295.0	205.0	75.0	5,915.0	磨1、S=1/6。	-
2	Kd-a-7025	G-34Gr.	石皿	安山岩	280.5	206.0	75.0	6660.0	磨1、S=1/6。	-
3	Kd-a-7026	SX717	石皿	安山岩	267.0	170.5	100.0	6960.0	磨1、部分的に被熱痕有り、S=1/6。	-
4	Kd-a-7027	SK7098	石皿	安山岩	256.0	218.0	62.0	(4,584.0)	磨1、S=1/6。	-
5	Kd-a-6039	SK6006	石皿	砂岩	(251.0)	(185.0)	(53.5)	(3,209.0)	磨2、被熱痕有り、S=1/6。	-
6	Kd-a-7028	SD701	石皿	安山岩	275.0	234.0	72.0	6400.0	磨1、S=1/6。	-
7	Kd-a-7034	I-28・29Gr.	石皿	安山岩	410.0	321.0	96.0	19050.0	磨1、S=1/6。	-

第647図　縄文時代遺構外出土遺物(106)

（）残存

№.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-a-7029	F-44Gr.	石皿	安山岩	(97.5)	(77.5)	(35.0)	(180.0)	磨１、凹１＋２。	-
2	Kd-a-7030	G-36Gr.	石皿	安山岩	(259.0)	(213.0)	(78.0)	(4105.0)	磨２、S=1/6。	252-２
3	Kd-a-6040	SX632	石皿	安山岩	(230.0)	(165.0)	(77.0)	(1,802.0)	磨２(横１)、S=1/6。	252-３
4	Kd-a-7031	E-43Gr.	石皿	安山岩	(210.5)	(209.0)	(61.0)	(2550.0)	磨１、凹１、彫刻石皿、S=1/6。	252-４
5	Kd-a-7032	E-44Gr.	石皿	デイサイト	(171.0)	(132.0)	(78.0)	(1192.0)	磨２、凹７、脚付石皿。	252-５
6	Kd-a-7033	E-41Gr.	石皿	安山岩	(90.5)	(103.0)	(98.0)	(520.0)	磨１、脚付石皿。	-

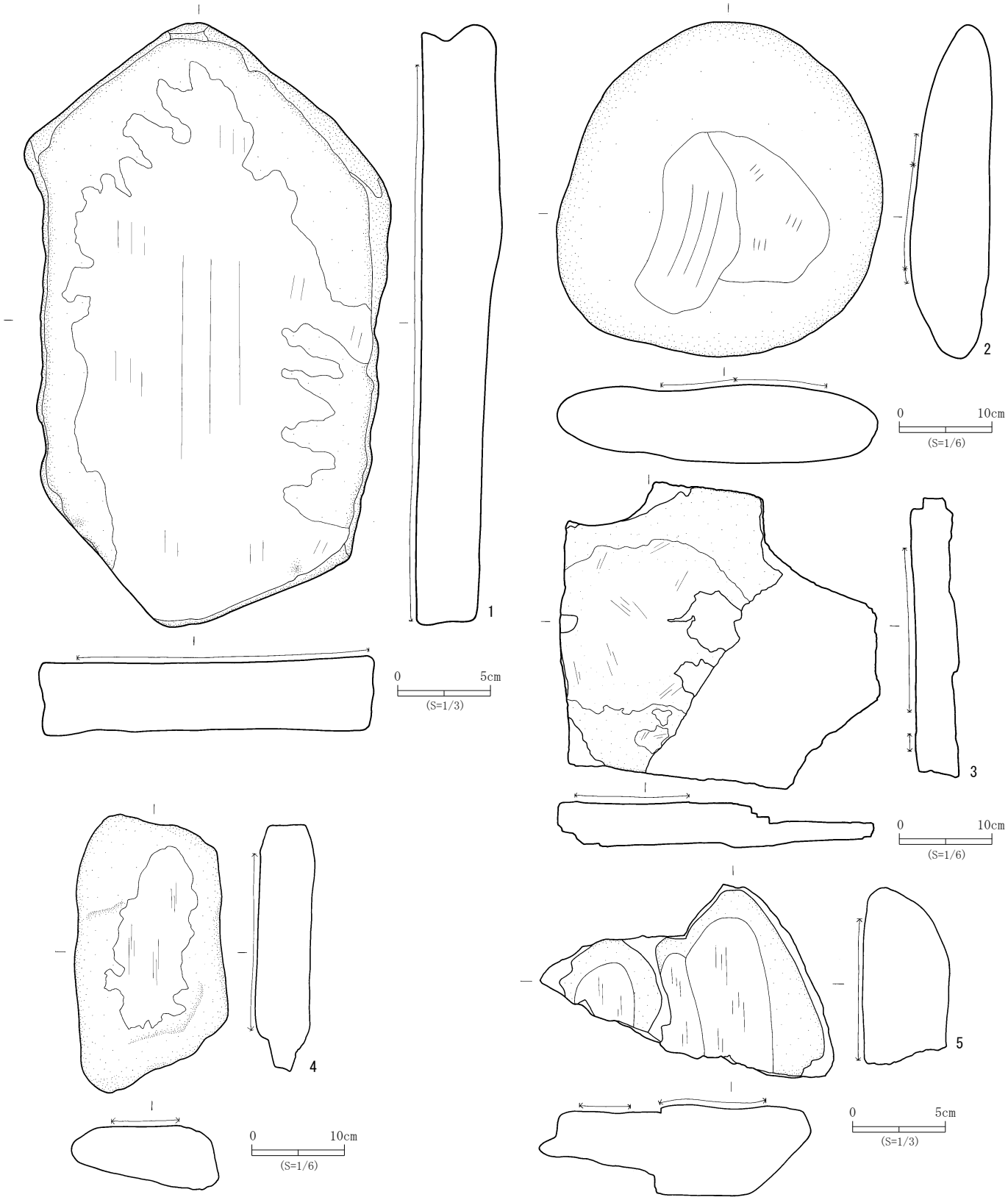
第648図　縄文時代遺構外出土遺物(107)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-b-7004	F-35Gr.	台石	デイサイト	193.0	155.0	55.5	2190.0	敲３。	-
2	Kd-b-7005	SD704	台石	デイサイト	234.0	196.0	85.0	5220.0	敲１、S=1/6。	-
3	Kd-b-7006	G-38Gr.	台石	デイサイト	220.0	202.0	109.0	6400.0	敲１、S=1/6。	252-８
4	Kd-c-7012	H-28Gr.	砥石	安山岩	246.0	254.0	68.0	6190.0	磨１、S=1/6。	-
5	Kd-c-7013	F-40Gr.	砥石	花崗閃緑岩	(180.0)	(111.0)	(95.0)	(2895.0)	磨４、S=1/6。	-
6	Kd-c-7014	F-43Gr.	砥石	デイサイト	217.0	182.0	102.0	4640.0	磨１、部分的に被熱痕有り。	-
7	Kd-c-7015	F-39Gr.	砥石	流紋岩質凝灰岩	(84.0)	(35.0)	28.0	(70.0)	溝３、有溝砥石、全体的に風化。	252-６

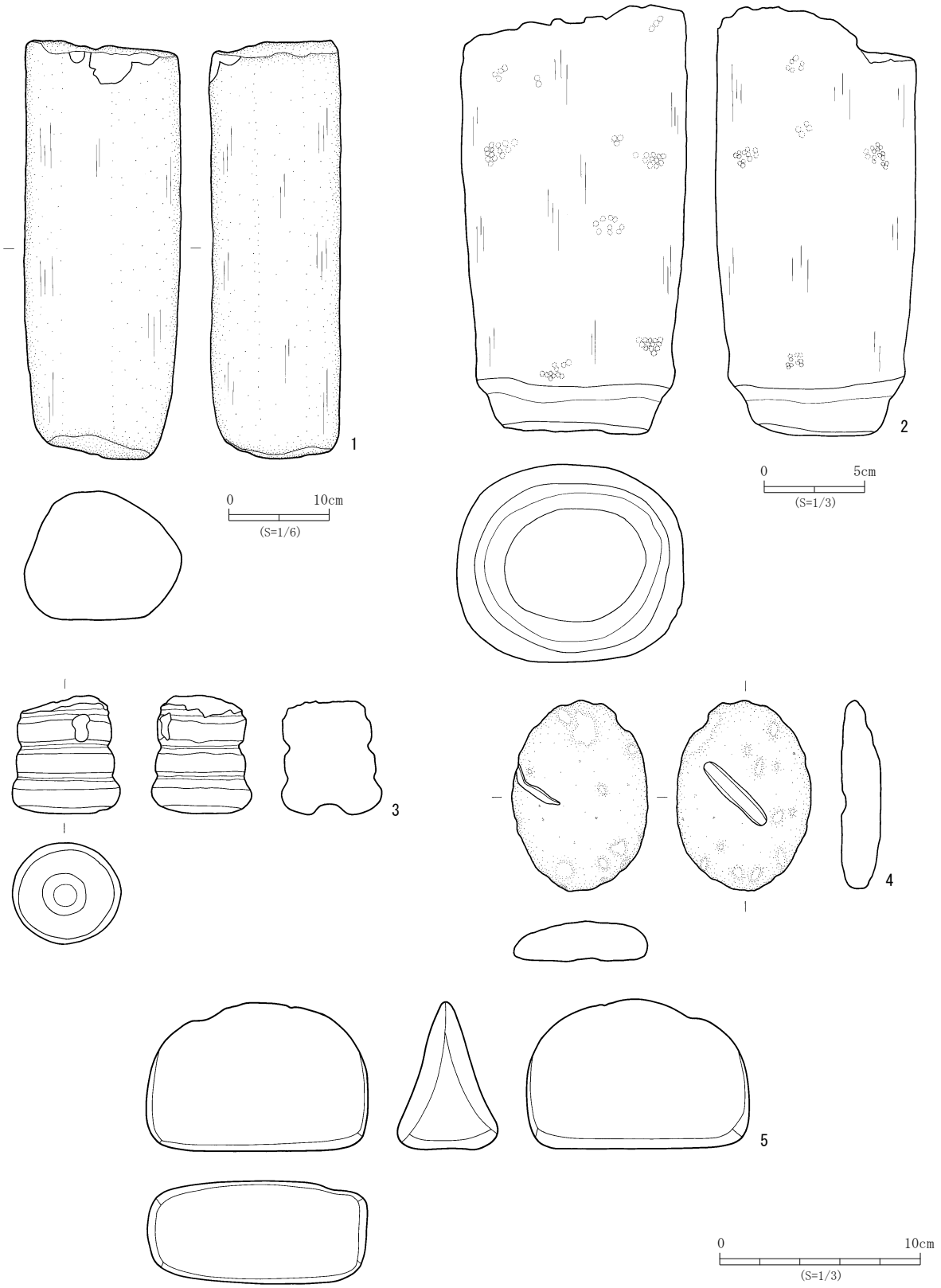
第649図　縄文時代遺構外出土遺物(108)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-c-7016	E-30Gr.	砥石	安山岩	326.0	197.0	46.0	4800.0	磨１、被熱痕有り。	252-7
2	Kd-c-7017	E-30Gr.	砥石	安山岩	363.0	351.0	85.0	13900.0	磨１、S=1/6。	-
3	Kd-c-7018	SX759	砥石	安山岩	(331.5)	(347.0)	(58.0)	(7280.0)	磨１、S=1/6。	-
4	Kd-c-7019	SI722	砥石	デイサイト	301.5	166.5	71.0	4530.0	磨１、S=1/6。	252-9
5	Kd-c-7020	E-43Gr.	砥石	砂岩	(104.0)	(158.5)	(49.0)	(715.0)	磨３、被熱痕有り。	-

第650図　縄文時代遺構外出土遺物(109)



（）残存

No.	登録番号	出土位置	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
1	Kd-d-7001	SI722	石棒	デイサイト	418.0	156.0	130.0	13550.0	S=1/6。	253-1
2	Kd-d-7002	SD704	石棒	安山岩	(214.0)	(113.0)	(99.0)	(3330.0)	頭部欠損。	253-2
3	Kd-g-6004	E-32・33Gr.	石製品	砂岩	(59.0)	53.5	50.0	(232.0)	スタンプ状石製品。	253-5
4	Kd-e-7001	F-42Gr.	軽石製品	軽石	95.0	67.0	19.5	35.0	溝1、磨石状軽石製品。	253-4
5	Kd-g-7003	E-46Gr.	三脚形石製品	流紋岩	76.8	110.1	51.1	232.0	石冠？	253-3

第651図　縄文時代遺構外出土遺物(110)

第２節　古代以降

古代以降の時期に属する遺構は、第６・７次調査全体で竪穴住居跡11軒、土坑75基、溝跡15条、焼土跡２基、性格不明遺構５基、ピット203個が検出された（第８表）。検出された遺構の配置について全体を概観して見ると、第７次調査３区よりも東側に分布が認められ、これ以西は第７次調査２区西端部までほとんど遺構は存在していない。同様に遺物も、これらの地区から検出されたものは少ない状況にある（第652図）。

地形的には西から東側に向かって低くなっており、標高は西端部では31.00m、東端部は26.75m程であり、高低差はおよそ4.25mである。遺構の検出面は、平成15年度確認調査の所見からⅢ層上面と考えられたが、第６次調査１区中央部分から第７次調査１区の西側（19～44グリッドライン）以外ではⅢ層が後世に大きく削平されており、Ⅳ層またはⅤ層上面が遺構の検出面となっている。したがって、本報告の中で遺構が検出されなかった部分においては遺構が削平されてしまった可能性も考えられる。残存状況の悪い竪穴住居跡については、壁はもとより床面まで削平されてしまったものや、掘り方部分のみが確認されたものも存在している。なお、土坑については古代以降の遺物が出土している土坑の他、これらとの平面形態や規模、堆積土の類似性が認められるものについても古代以降と捉えて時期の認定を行った。

まず始めに、各次調査区の概要について触れたい。

第６次調査１区からは竪穴住居跡１軒、土坑26基、溝跡７条、性格不明遺構１基、ピット71個が検出された。１区の土層堆積はグリッドの19～26ライン中央から南側はⅢ層が確認されるが、北側では礫層が露出するなどⅤ層上面から一部はⅥ層まで大きく削平されている。遺構の検出面は西側と東側の高低差が0.25m程でほぼ平坦である。１区西端部では北辺中央にカマドが付設された竪穴住居跡が１軒検出されており、壁高30㎝程の残存状況は良好なものである。ピットの配列から四本柱構造が考えられる。土坑はＦ－18・19グリッドとＨ－18・19グリッド付近にまとまりが見られ、土師器・須恵器が出土していることや、堆積土に類似性が認められることなどから、いずれも古代に属するものと考えられる。これらの遺構の中では特にＳＫ6051・6070土坑から墨書土器が出土し、堆積土に焼土ブロックを多量に含む類似した特徴が見られた。また、溝跡ではＳＤ610溝跡と第８次調査で確認されたＳＤ810溝跡は同一のものであり、ＳＤ603・604・605・611溝跡はこれとほぼ同じ方向である。

第６次追加調査区を含む第６次調査２区から検出された遺構は、竪穴住居跡５軒、土坑45基、溝跡４条、焼土跡２基、性格不明遺構３基、ピット126個である。土層堆積状態はⅢ・Ⅳ層が削平されていたため、Ⅴ層上面が遺構の検出面となっている。緩やかに東側へ向かって傾斜し、南東側では礫層が露出している。西側と東側部分での標高差は1.25mである。竪穴住居跡は調査区の中央から北側で検出されており、ＳＩ606竪穴住居跡以外は残存状況は良好ではない。カマドが検出されたＳＩ606・607・608竪穴住居跡はいずれも北辺にカマドが付設されるもので、ＳＩ607竪穴住居跡のカマドは長煙道のものとなっている。土坑の分布はＧ～Ｉ－14～16グリッドとＧ～Ｉ－７～９グリッド周辺で大きく２つのまとまりが見られ、平面形態や長軸方向に類似性が認められる。陶磁器類が出土していることから、近世を主体とする時期の遺構群と捉えられる。また２区の南西に位置するＳＫ6052土坑は寛永通宝が６枚出土していることから土壙墓と考えられる。

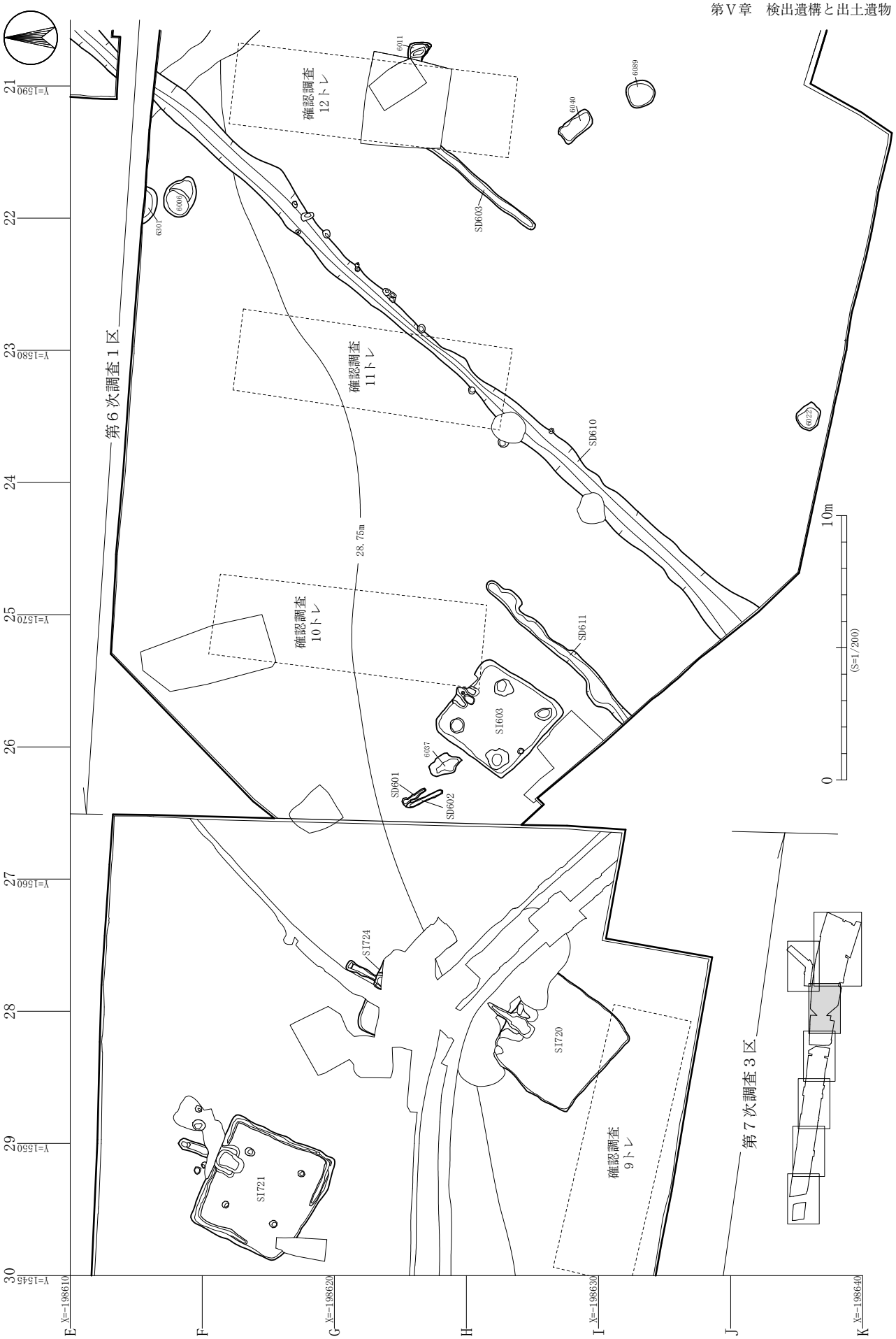
第６次調査３区はⅢ層の堆積が認められるが、遺構は検出されなかった。検出面は緩やかに南側に向かって傾斜している。

第７次調査１区においてもⅢ層の堆積が認められるが、検出された遺構はＳＤ701・702溝跡及びピット３個であり、出土遺物も少量である。西側と東側部分の高低差は1.0m程で、緩やかに東側に傾斜している。

第７次調査２区の検出面はⅤ層上面であるが、２区中央から北側は礫層が露出しており、遺構が削平されてしまっている可能性もある。検出された遺構としては西端部で東カマドとなるＳＩ713竪穴住居跡１軒、土坑４基、溝

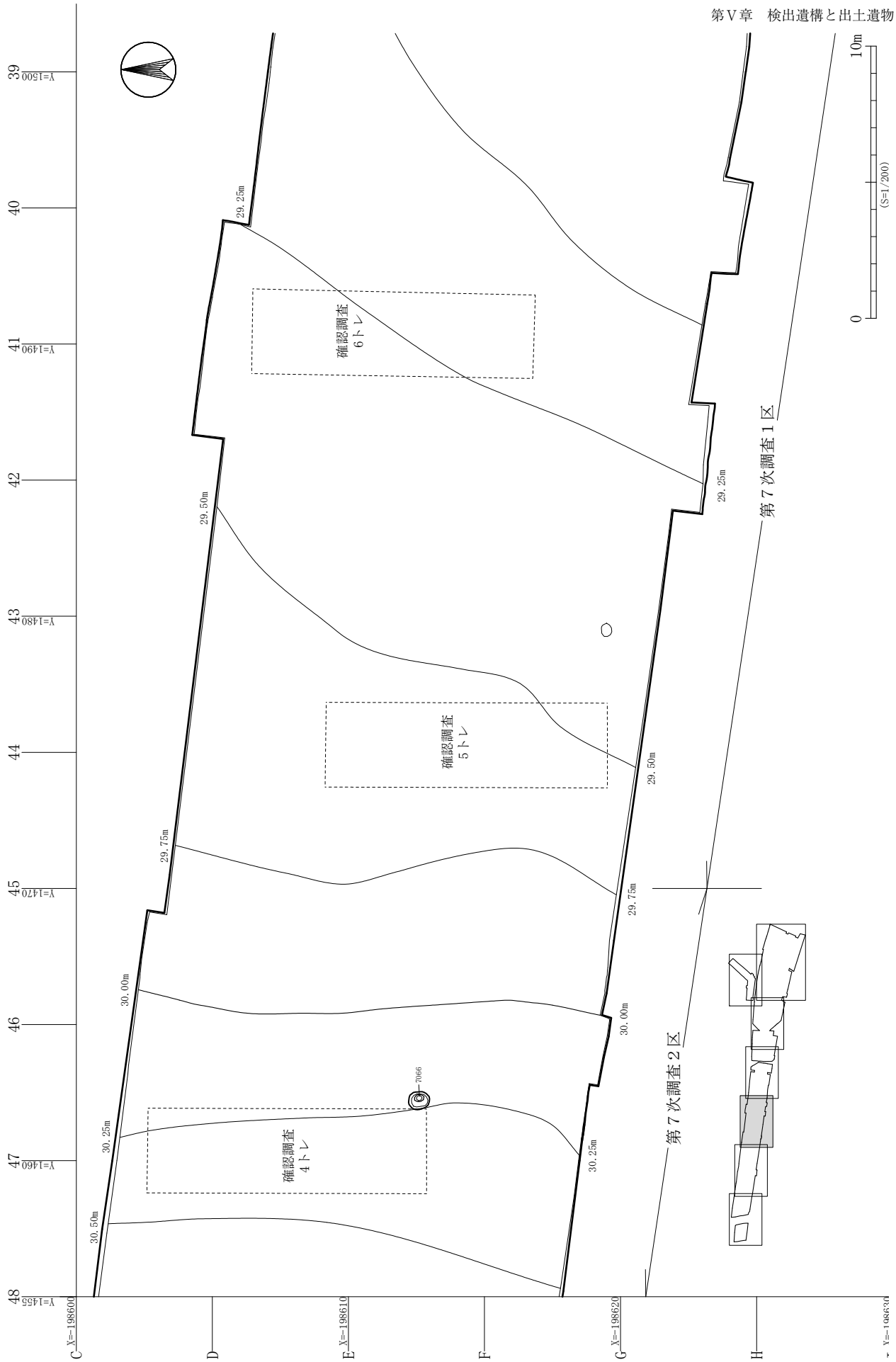
第652図　古代以降遺構全体図

第653図　古代以降遺構配置図（１）

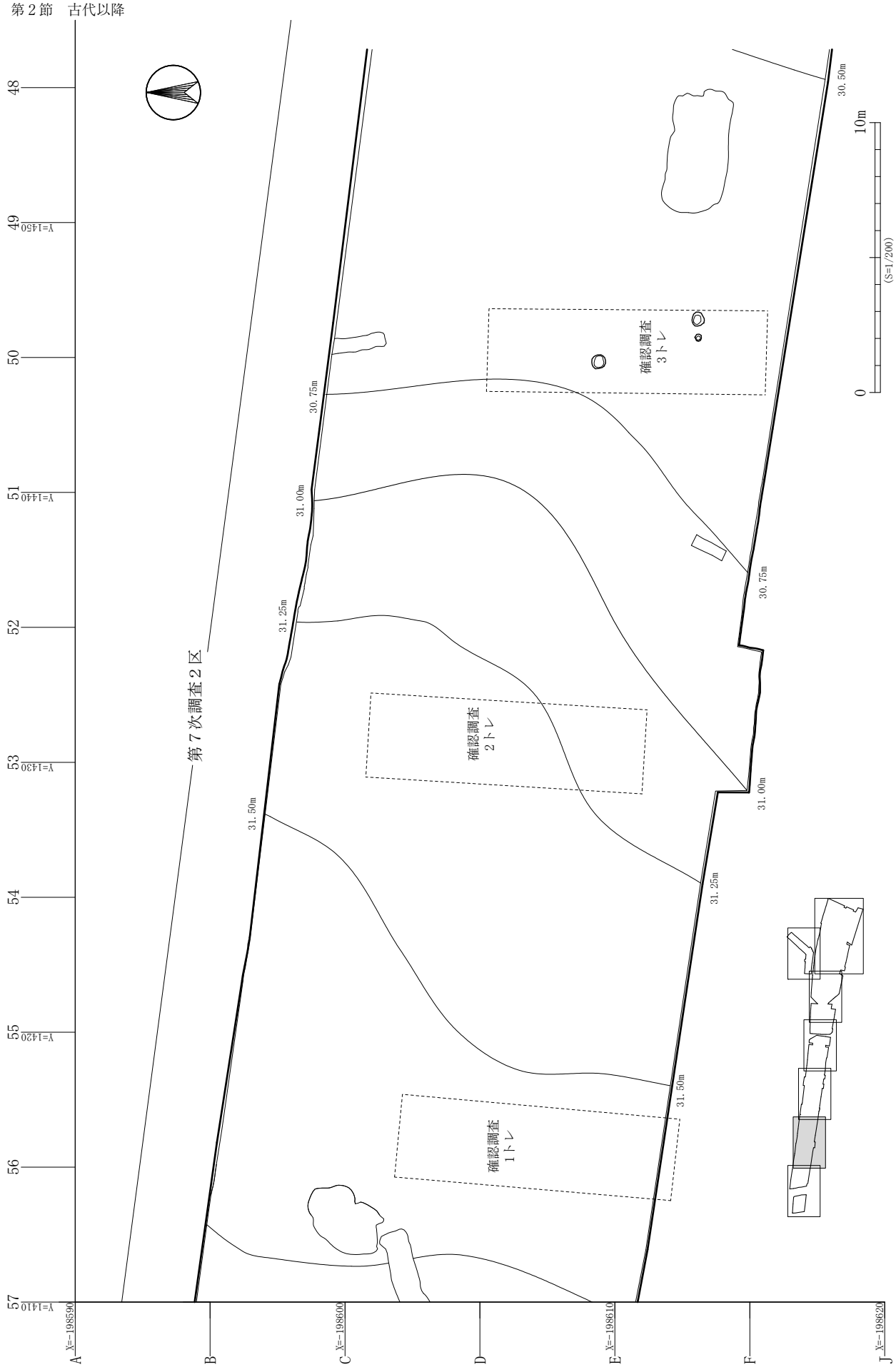


第654図　古代以降遺構配置図（２）

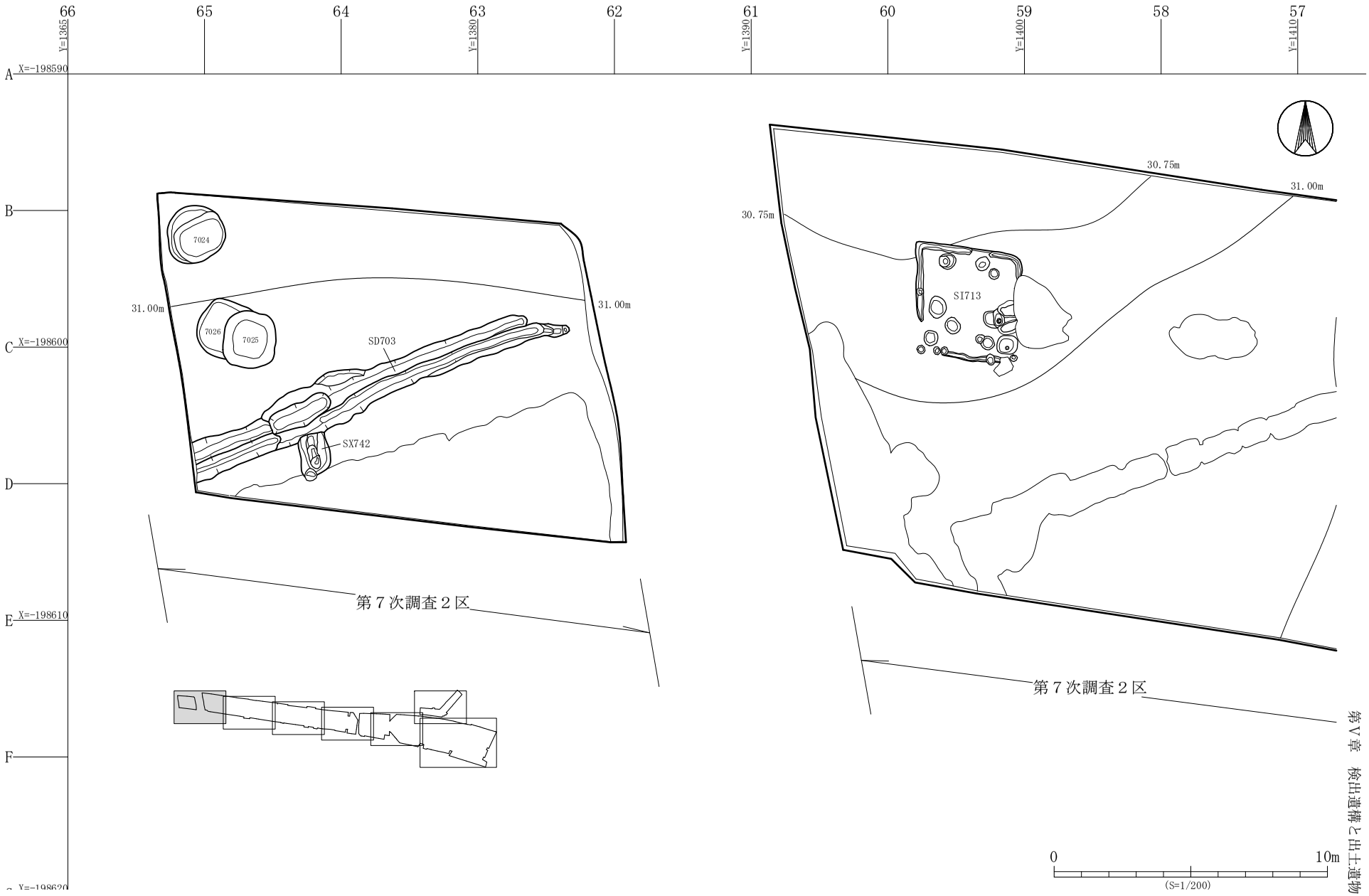
第655図　古代以降遺構配置図（３）



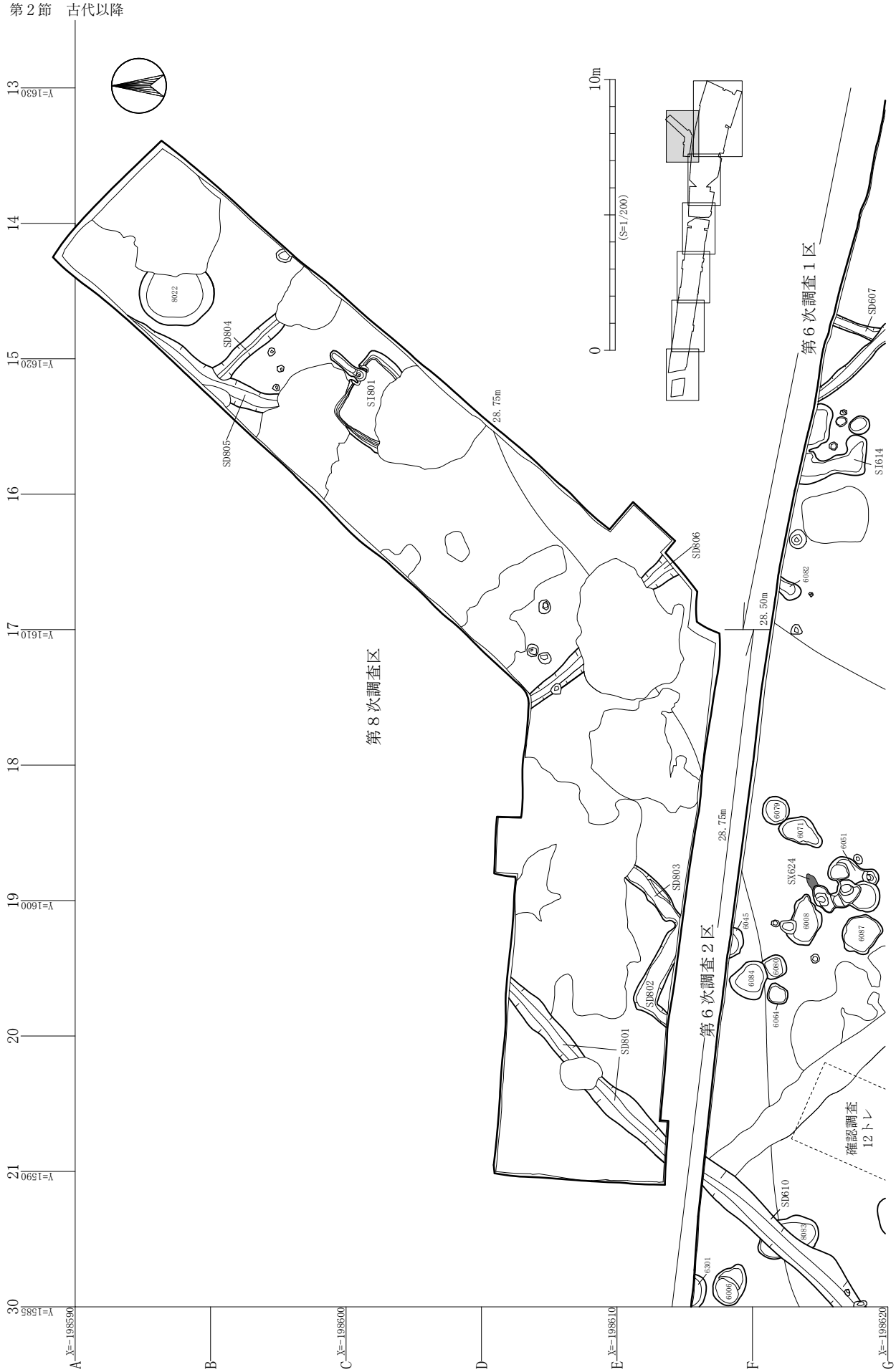
第656図　古代以降遺構配置図（４）



第657図　古代以降遺構配置図（５）



第658図　古代以降遺構配置図（６）



第659図　古代以降遺構配置図（７）

跡１条、ピット３個が検出されているが遺構の分布は稀薄である。西側と東側部分の高低差は約1.0ｍである。

第７次調査３区はⅢ層上面が遺構検出面となり、今回の調査区の中では最も竪穴住居跡がまとまって検出されている。中央部分の道路側溝の撹乱によって北側と南側に分断されているが、竪穴住居跡４軒、溝跡１条、性格不明遺構１基が検出された。これらの遺構の中で、ＳＩ721竪穴住居跡では拡張、ＳＩ722竪穴住居跡では同位置での建て替えが確認された。また、ＳＩ722Ａ竪穴住居跡は今回の調査で検出された竪穴住居跡の中では唯一、西壁にカマドが付設されているものである。

以下、各遺構ごとに説明を加える。なお、遺構番号については各遺構ごとに通し番号を付し、遺構種別毎の最終番号の最大桁数の前に調査次数である第６次調査の「６」または第７次調査の「７」を付した。ＳＩ・ＳＤ・ＳＸは最終遺構番号が２桁のため601～、701～、ＳＫは最終遺構番号が３桁であることから6001～、7001～、同様に４桁となるピットは60001～、70001～である。また、遺構番号は縄文時代と古代以降のものが連番となっているため番号の連続性に欠けているが、これについては遺構種別毎の一覧表を参照されたい（第28～36表）。

遺物については古代と近世遺物を分けて掲載している。なお、本節で取り上げる遺構から出土した縄文土器、石器、土製品類は縄文時代の遺構外出土遺物として別途掲載した。

第８表　古代遺構検出遺構一覧

		調査面積	SI	SK	SD	SX	ピット
第６次調査	１区	1,415.4	1	26	7	1	71
	２区	1,338.7	5	45	4	5	126
	３区	170.2	0	0	0	0	0
小計		2,924.3	6	71	11	6	197
第７次調査	１区	939.3	0	0	2	0	3
	２区	1,491.8	1	4	1	0	3
	３区	592.5	4	0	1	1	0
小計		3,023.5	5	4	4	1	6
合計		5,947.9	11	75	15	7	203

１．竪穴住居跡

竪穴住居跡は第６次調査で６軒、第７次調査で５軒の計11軒が検出された。第６次調査２区北東側と第７次調査３区の２カ所に分布の集中が認められた。以下、各遺構ごとに説明する。

SI603竪穴住居跡（第660・611図、図版112・114）

〔位置・検出面〕第６次調査１区西側中央のＧ・Ｈ－25・26グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北壁のカマドの一部が確認調査10トレンチによって削平されている。

〔新旧関係〕古代以降の遺構との重複は見られない。

〔規模・平面形〕平面形は一辺3.5ｍのやや歪んだ方形を基調としたものと考えられる。西壁を基準とした方向はＮ－38°－Ｅである。

〔堆積土〕暗褐色系の粘土質シルト層で４層に分層される。Ⅴ層ブロックの混入が認められることから、人為堆積層と見られる。

〔壁　面〕壁高は残存状況の良い西壁で30㎝程であり、床面から急角度で立ち上がる。

〔床　面〕掘り方埋土上面を床面としている。やや凹凸が認められるが底面はほぼ平坦なものであり、西側に向かって緩やかに傾斜している。掘り方はほぼ住居全面に認められ、掘り方の深さは５～10㎝程である。

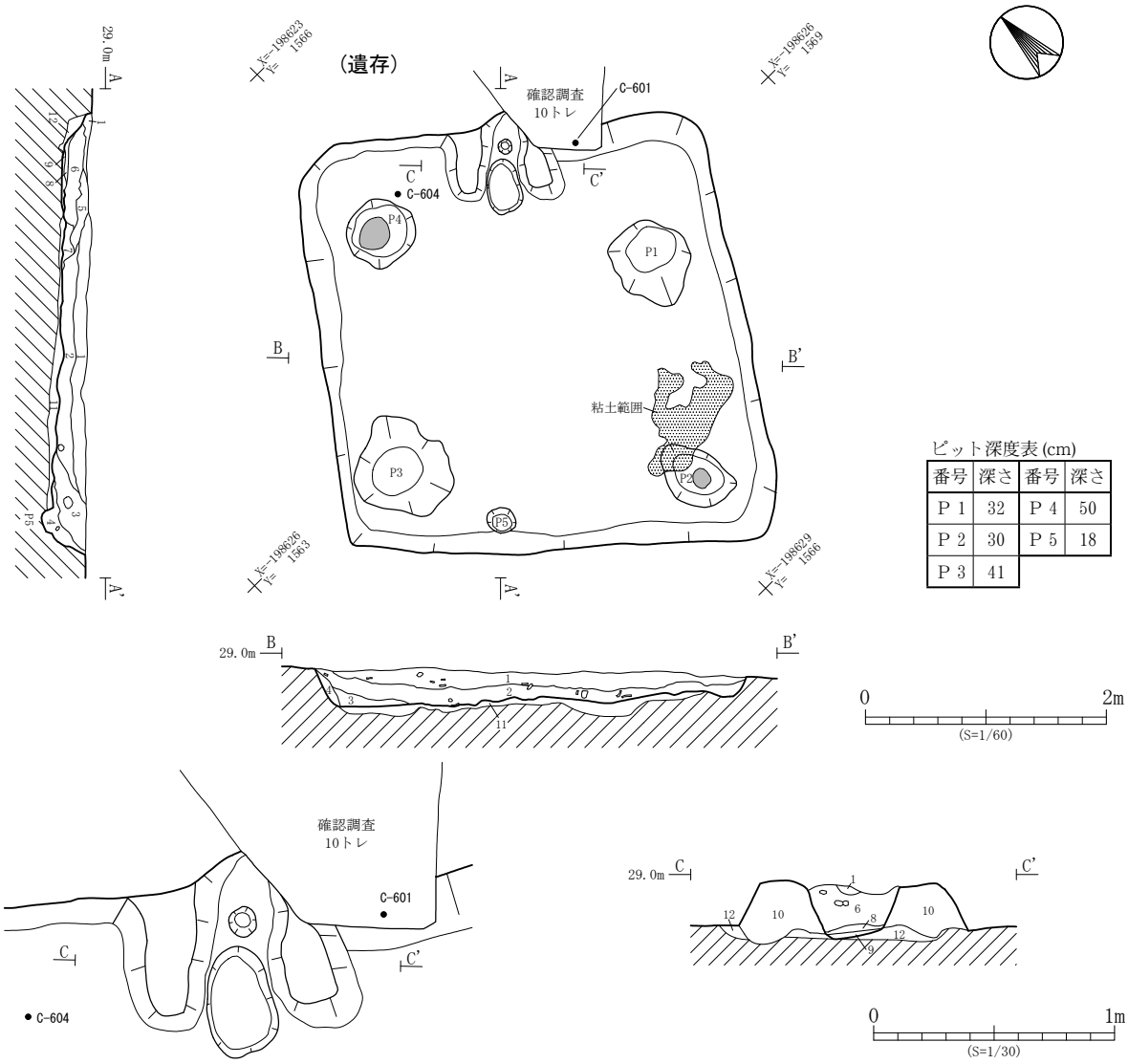
〔柱　穴〕床面で５個のピットが検出された。Ｐ１～Ｐ４はその配置から四本柱構造の柱穴になるものと考えられる。Ｐ６・７は床面下での検出である。

〔周　溝〕検出されなかった。

〔カマド〕北壁の中央部分に付設されており、燃焼部のみが確認された。煙道部分は確認調査10トレンチによって削平されているものと考えられる。燃焼部は幅42㎝、奥行き88㎝で奥壁は住居跡北壁側から外側へ14㎝張り出している。奥壁寄りで検出された小ピットは、その位置から支脚を据えるためのものと考えられる。側壁は左側の袖が壁から56㎝、右側の袖は残存する壁から42㎝である。カマドの掘り方は95㎝×85㎝、深さ８㎝の不整楕円形である。

〔その他の施設〕南側のＰ２付近の100㎝×62㎝の範囲で粘土がまとまって検出された。床面から浮いた状態で検出されており、最も厚い部分では15㎝程である。

〔出土遺物〕堆積土中および床面、カマド、掘り方から土師器が出土した。土師器坏・甕を第662図に示した。１の土師器坏（Ｃ－601）は確認調査10トレンチに重なるカマド脇から、４の土師器甕（Ｃ－604）は胴部上半を欠き潰れた状態でＰ４東側の床面から出土している。



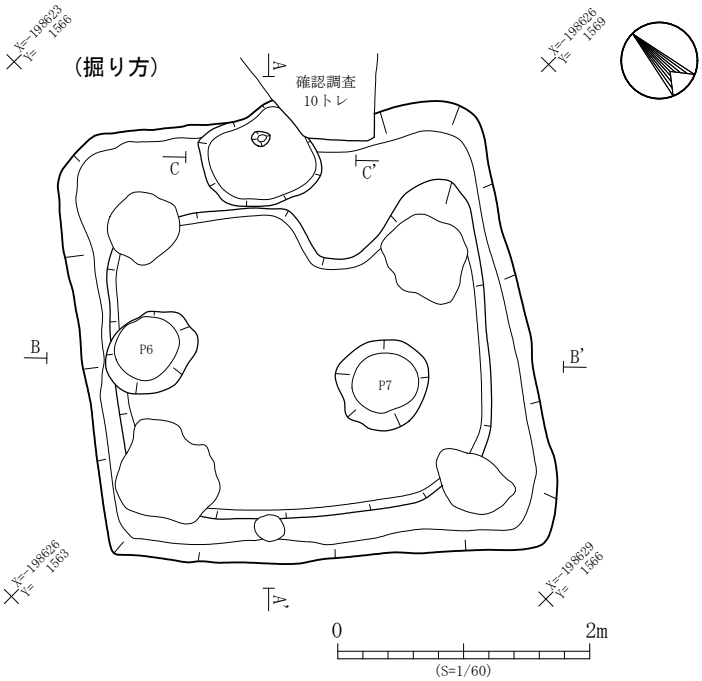
ピット深度表(cm)

番号	深さ	番号	深さ
Ｐ１	32	Ｐ４	50
Ｐ２	30	Ｐ５	18
Ｐ３	41		

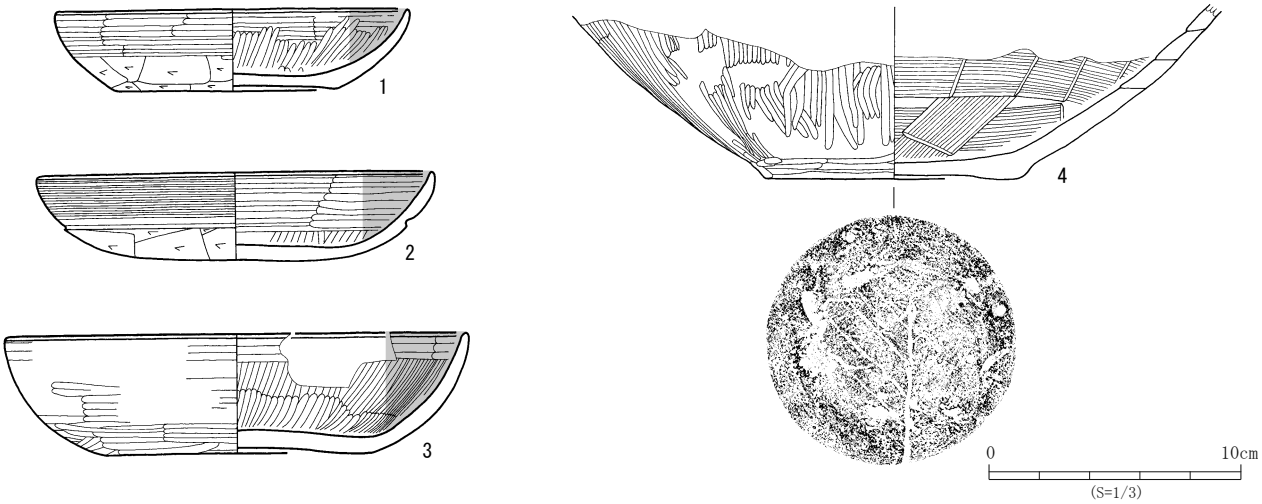
遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒少量、土器片を多量に含む。
	2	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋が下端に集中。炭化粒・焼土粒を少量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	１層に類似。Ⅴ層粒・焼土粒増加。炭化粒を少量含む。
	4	10YR3/5　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋多量、炭化粒・焼土粒を微量含む。
カマド	5	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・焼土粒を多量に含む。
	6	10YR4/3　にぶい黄褐	シルト	Ⅴ層ブロック主体。焼土粒多量で中位に炭化物集中。カマド天井部崩落土。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド	7	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒・焼土粒を少量含む。
	8	10YR4/4　褐	シルト	Ⅴ層主体。焼土粒を少量含む。火床面に連続する。
	9	10YR4/6　褐	シルト	Ⅴ層主体。
カマド袖	10	10YR4/5　褐	シルト	Ⅴ層ブロック主体。焼土粒・炭化粒を少量含む。
カマド掘り方	11	10YR4/4　褐	シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
竪穴掘り方	12	10YR4/4　褐	シルト	Ⅴ層粒・焼土粒・炭化粒を少量含む。

第660図　SI603竪穴住居跡



第661図　SI603竪穴住居跡掘り方



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	C-601	床直	土師器　坏	13.8×3.2×8.7	口縁部:ヨコナデ　体部～底部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	254-1
2	C-602	下層	土師器　坏	15.6×3.4×－	口縁部:ヨコナデ　体部～底部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	254-2
3	C-603	下層	土師器　坏	(18.2)×4.7×10.4	口縁部～底部:ヘラミガキ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	254-3
4	C-604	床直	土師器　甕	－×〈6.8〉×10.0	胴部:ヘラミガキ　底部:木葉痕	胴部:ヘラナデ	－	254-4

第662図　SI603竪穴住居跡出土遺物

SI606竪穴住居跡（第663・664図、図版112・113）

〔位置・検出面〕第６次調査２区西側中央のＧ・Ｈ－10・11グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北辺のおよそ半分が撹乱によって削平されている。

〔新旧関係〕ＳＸ640性格不明遺構、ピットと重複しており、ピットより古くＳＸ640性格不明遺構より新しい。

〔規模・平面形〕平面形は南北5.25ｍ、東西4.7ｍの方形を基調とするものである。西壁を基準とした方向はＮ－11°－Ｅである。

〔堆積土〕暗褐～黄褐色系土を主体とする砂質シルト層で７層に分層される。焼土・炭化物を含んでいる。

〔壁　面〕壁高は西壁～南壁で15～20㎝であり、周溝底面から急角度で立ち上がる。

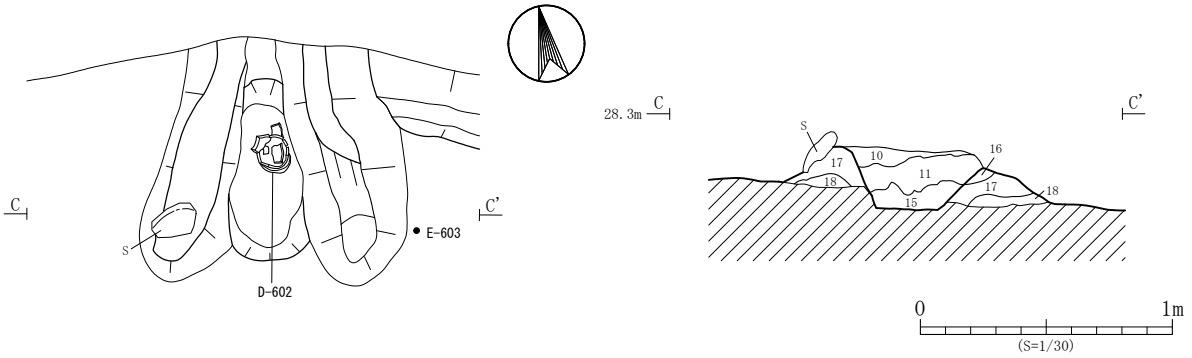
〔床　面〕中央部分は掘り方底面を直接床面としているが、それ以外では掘り方埋土上面を床面としている。床面は凹凸が認められるが、ほぼ平坦である。掘り方の深さは10～20㎝程である。

〔柱　穴〕床面で12個のピットが検出された。柱痕跡が確認されたものはないが、配置や規模からＰ２、Ｐ４またはＰ５、Ｐ10またはＰ11、Ｐ12が柱穴になるものと考えられる。

〔周　溝〕西辺南側の一部と北辺西側を除いて全周する。幅は22～28㎝、床面からの深さは８㎝～20㎝である。

〔カマド〕北壁の中央部分に付設されている。燃焼部と煙道部の一部が確認された。燃焼部は幅54㎝、奥行き72㎝である。燃焼部の手前から焼け面が認められ、側壁および奥壁部付近は火熱を受けて赤変している。奥壁寄りの中央部分からは土師器の小型甕が伏せた状態で出土しており、支脚として用いられたものと考えられる。煙道部分の大半は撹乱によって削平されているものと考えられ、燃焼部と煙道部の境には段を有して緩やかに立ち上がる。側壁は左の袖が壁から100㎝、右の袖が96㎝である。また、カマドの左袖からはやや大型の礫が検出されており構築材とされていたものと考えられる。

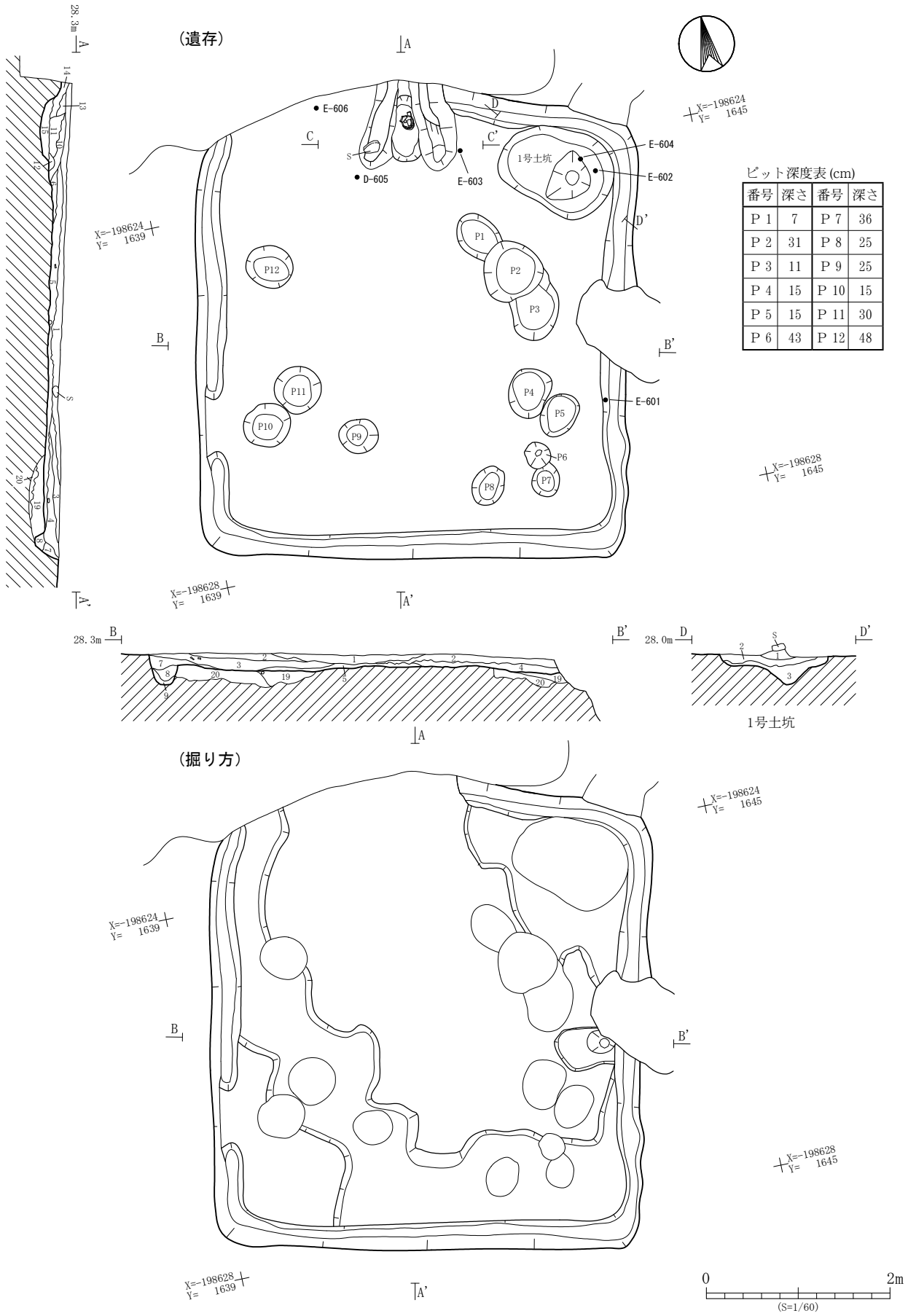
〔その他の施設〕住居北東隅の床面から土坑１基が検出されている。平面形は125㎝×92㎝の楕円形のもので、床面からの深さは11㎝である。底面の中央から東側にはピット状の落ち込みが認められ、底面からは更に18㎝低くなっている。検出された位置および規模から貯蔵穴と考えられる。堆積土は褐色系の砂質シルト層で３層に分層される。上層部分から須恵器坏（Ｄ－602・604）が出土している。



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	炭化粒を少量含む。
	2	10YR5/4　にぶい黄褐	砂質シルト	炭化粒を微量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	2層に類似。Ｖ層粒を少量含む。
	4	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	炭化粒を少量含む。
	5	10YR7/6　明黄褐	砂質シルト	Ｖ層粒を少量含む。
	6	10YR7/6　明黄褐	砂質シルト	焼土を多量に含む。
	7	10YR4/6　褐	砂質シルト	Ｖ層ブロックを少量含む。
周溝	8	10YR4/2　灰黄褐	砂質シルト	Ｖ層斑紋主体。
	9	10YR5/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ｖ層ブロックを多量に含む。
カマド	10	10YR4/4　褐	粘土質シルト	焼土粒を少量含む。
	11	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	焼土粒を多量に含む。
	12	10YR5/6　黄褐	砂質シルト	Ｖ層斑紋を少量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド	13	10YR4/4　褐	砂質シルト	焼土粒を多量に含む。
	14	10YR5/4　にぶい黄褐	砂質シルト	焼土粒・焼土斑紋を多量に含む。
	15	10YR4/6　褐	砂質シルト	上面が焼けたＶ層含む。
カマド袖	16	10YR5/8　黄褐	砂質シルト	焼土粒を多量に含む。
	17	10YR5/6　黄褐	砂質シルト	焼土粒を少量含む。
	18	10YR6/8　黄褐	砂質シルト	Ｖ層主体。
掘り方	19	10YR4/2　灰黄褐	砂質シルト	Ｖ層ブロックを多量に含む。
	20	10YR5/4　にぶい黄褐	砂質シルト	Ｖ層斑紋を多量に含む。
１号土坑	1	10YR4/6　褐	砂質シルト	焼土粒を少量含む。上層から須恵器坏出土。
	2	10YR5/4　にぶい黄褐	砂質シルト	焼土粒・炭化粒を微量含む。
	3	10YR7/6　明黄褐	砂質シルト	Ｖ層主体。

第663図　SI606竪穴住居跡カマド

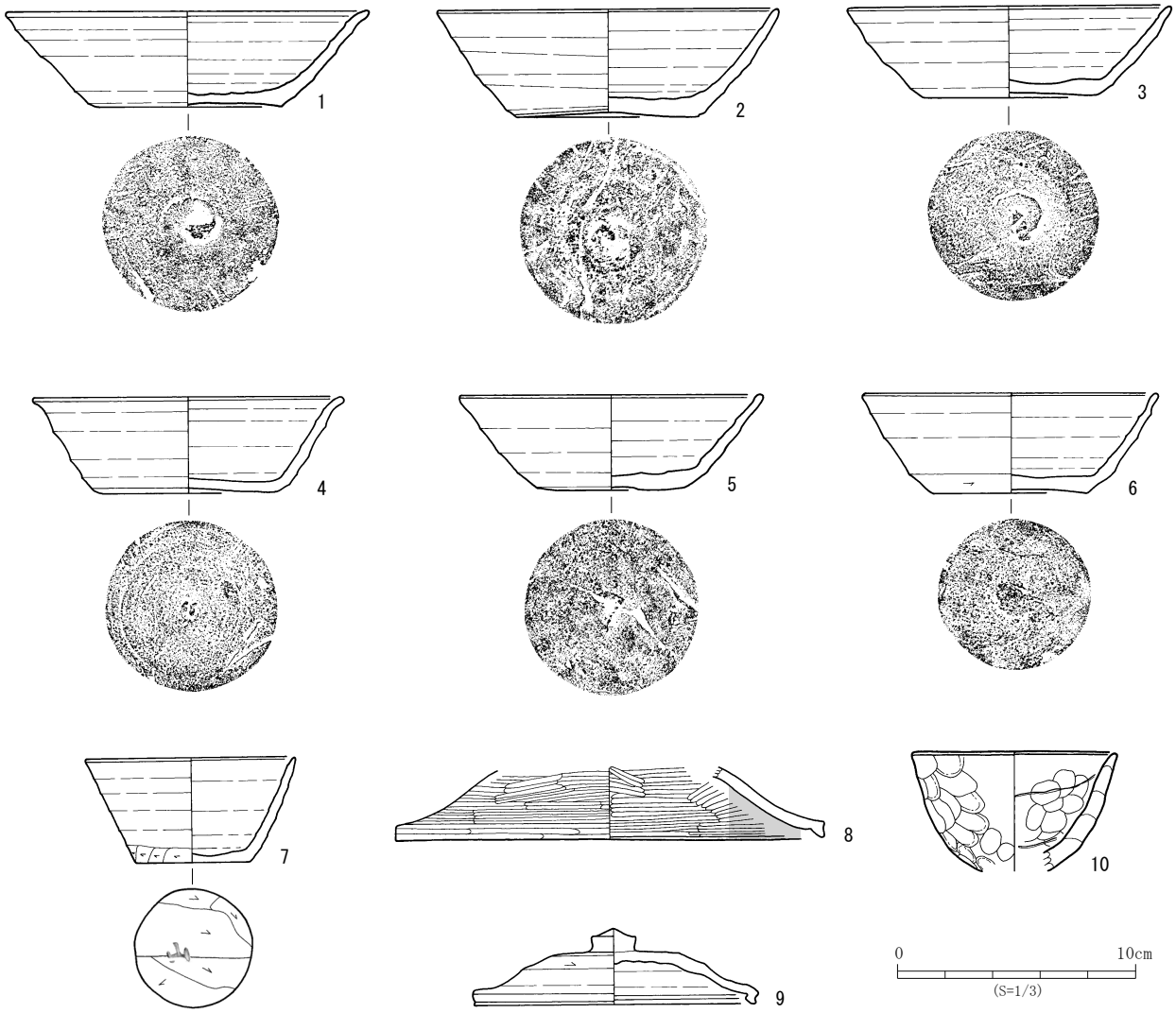


ピット深度表(cm)

番号	深さ	番号	深さ
P 1	7	P 7	36
P 2	31	P 8	25
P 3	11	P 9	25
P 4	15	P 10	15
P 5	15	P 11	30
P 6	43	P 12	48

第664図　SI606竪穴住居跡

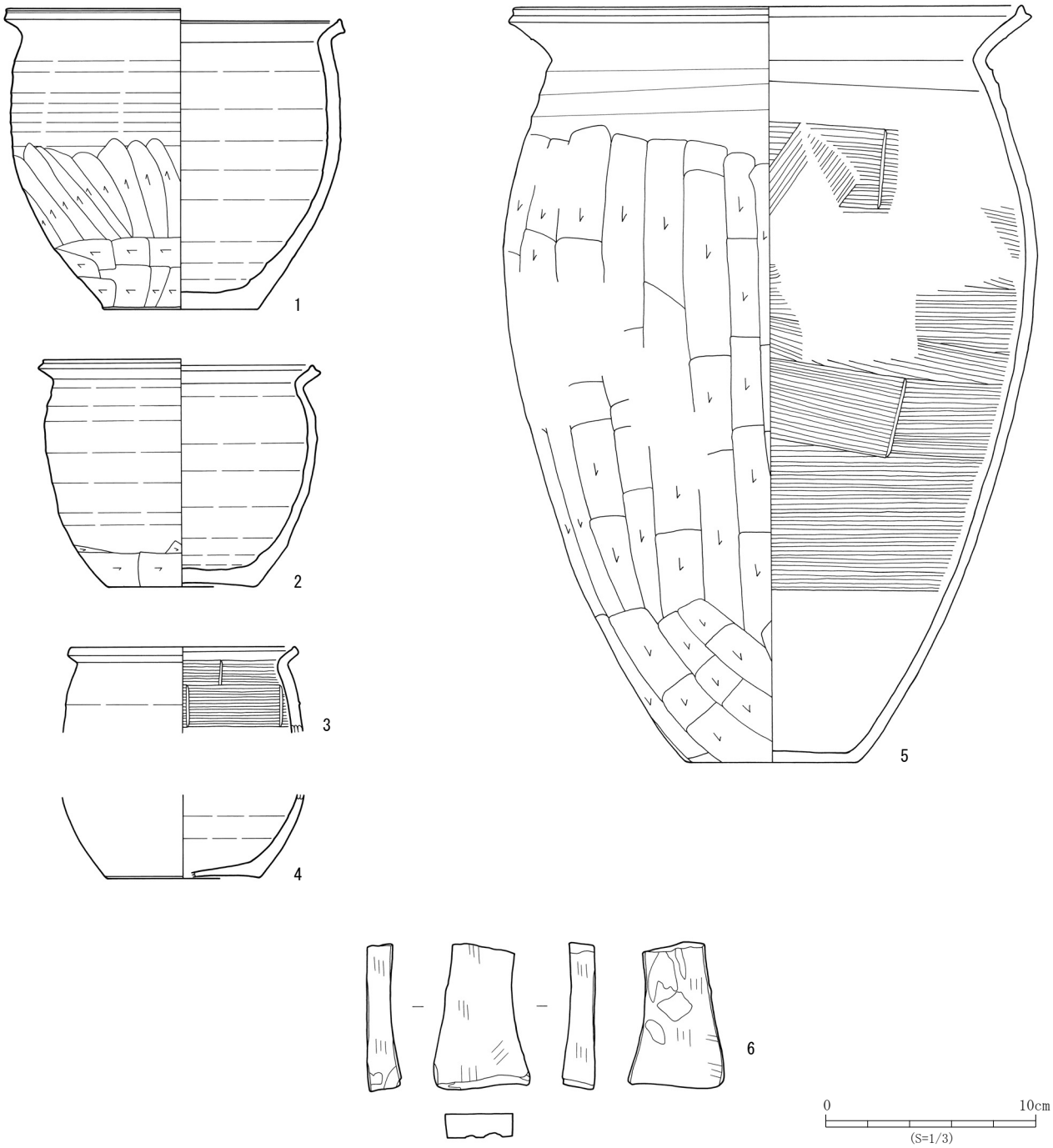
〔出土遺物〕堆積土中および床面、カマド、土坑、掘り方から土師器坏・甕が出土しており、第665・666図に示した。第665図７の須恵器坏（Ｅ－607）の底部外面には「山」の墨書が施されている。



〈 〉残存、( ) 推定

№.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	E-601	周溝堆積土	須恵器　坏	15.2×4.0×7.7	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転ヘラ切り	口縁部～底部ロクロナデ	内外面に黒斑有り。底部に作業台ワラ圧痕有り。	254-5
2	E-602	1号土坑上層	須恵器　坏	14.4×4.5×7.6	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転ヘラ切り	口縁部～底部ロクロナデ	底部にワラ圧痕有り。口縁に歪み（14.1 ～ 14.8 cm)。	254-6
3	E-603	カマド袖	須恵器　坏	13.6×3.8×7.4	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転ヘラ切り	口縁部～底部ロクロナデ	口縁部に重ね焼き痕。内外面に火襷痕有り。	254-7
4	E-604	1号土坑上層	須恵器　坏	12.9×4.0×7.5	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転ヘラ切り	口縁部～底部:ロクロナデ	口縁部に重ね焼き痕。底面に圧痕有り。	254-8
5	E-605	1号土坑 堆積土	須恵器　坏	(12.6)×4.0×6.5	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転ヘラ切り→ヘラケズリ	口縁部～底部:ロクロナデ	－	254-9
6	E-606	床直	須恵器　坏	(12.3)×4.2×6.5	口縁部～体部:ロクロナデ　体部下半:回転ヘラケズリ　底部:ヘラ切り→ヘラケズリ	口縁部～底部:ロクロナデ	火襷痕有り。	254-10
7	E-607	周溝堆積土	須恵器　坏	8.8×4.4×4.9	口縁部～体部:ロクロナデ　体部下半:手持ちヘラケズリ　底部:手持ちヘラケズリ	口縁部～底部:ロクロナデ	底部に墨書「山」内面にも墨書？	254-11
8	C-605	1号土坑 堆積土	土師器　蓋	18.0×〈3.0〉×－	口縁部～体部:ヘラミガキ	口縁部～体部:ヘラミガキ	内外面黒色処理。	254-12
9	E-608	1号土坑上層	須恵器　蓋	11.8×3.2×－	天井部～口縁部:ロクロナデ→回転ヘラケズリ	天井部～口縁部:ロクロナデ	つまみ径 1.8 cm。	254-13
10	C-606	1号土坑 堆積土	土師器 手捏ね土器	(8.6)×〈5.0〉×－	口縁部～体部:指オサエ	口縁部～体部:指オサエ・ナデ	－	254-14

第665図　SI606竪穴住居跡出土遺物（１）



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	D-601	1号土坑 堆積土	土師器　甕	15.9×14.3×7.4	口縁部～胴部:ロクロナデ　胴部下半:ヘラケズリ　底部:ナデ	口縁部～底部:ロクロナデ	－	254-15
2	D-602	カマド内	土師器　甕	12.9×10.8×7.1	口縁部～胴部:ロクロナデ　胴部下半:ヘラケズリ　底部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラケズリ	－	254-16
3	D-603	堆積土	土師器　甕	(10.8)×〈4.1〉×－	口縁部～胴部:ロクロナデ	口縁部～胴部:ヘラナデ	4と同一個体。	-
4	D-604	堆積土	土師器　甕	－×〈4.0〉×(7.3)	胴部:ロクロナデ　底部:ヘラケズリ	胴部～底部:ロクロナデ	3と同一個体。	-
5	D-605	カマド内	土師器　甕	24.2×36.1×8.2	口縁部～胴部:ロクロナデ　胴部下半:ヘラケズリ　底部:ヘラケズリ	口縁部:ロクロナデ　胴部:ヘラナデ	－	255-1

( ) 残存

No.	登録番号	遺構	器　種	石　質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備　考	写真図版
6	Kd-c-6003	SI606	砥石	凝灰岩	(70.0)	(46.0)	(15.0)	(60.0)	磨5	254-17

第666図　SI606竪穴住居跡出土遺物（2）

SI607竪穴住居跡（第667・668図、図版113・114）

〔位置・検出面〕第６次調査２区東側北寄りのＧ・Ｈ－９グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。南および東側が大きく削平されているため残存状況は良くない。

〔新旧関係〕ＳＫ6242・6244・6317土坑、ピットと重複しており、各々より本遺構が古い。

〔規模・平面形〕平面形および規模は不明であるが、北西部分で検出された周溝から平面形は方形を基調とするものと推測される。カマドの煙道部分を基準にした方向はＮ－19°－Ｅである。

〔堆積土〕削平されているためカマド部分以外は残存していない。

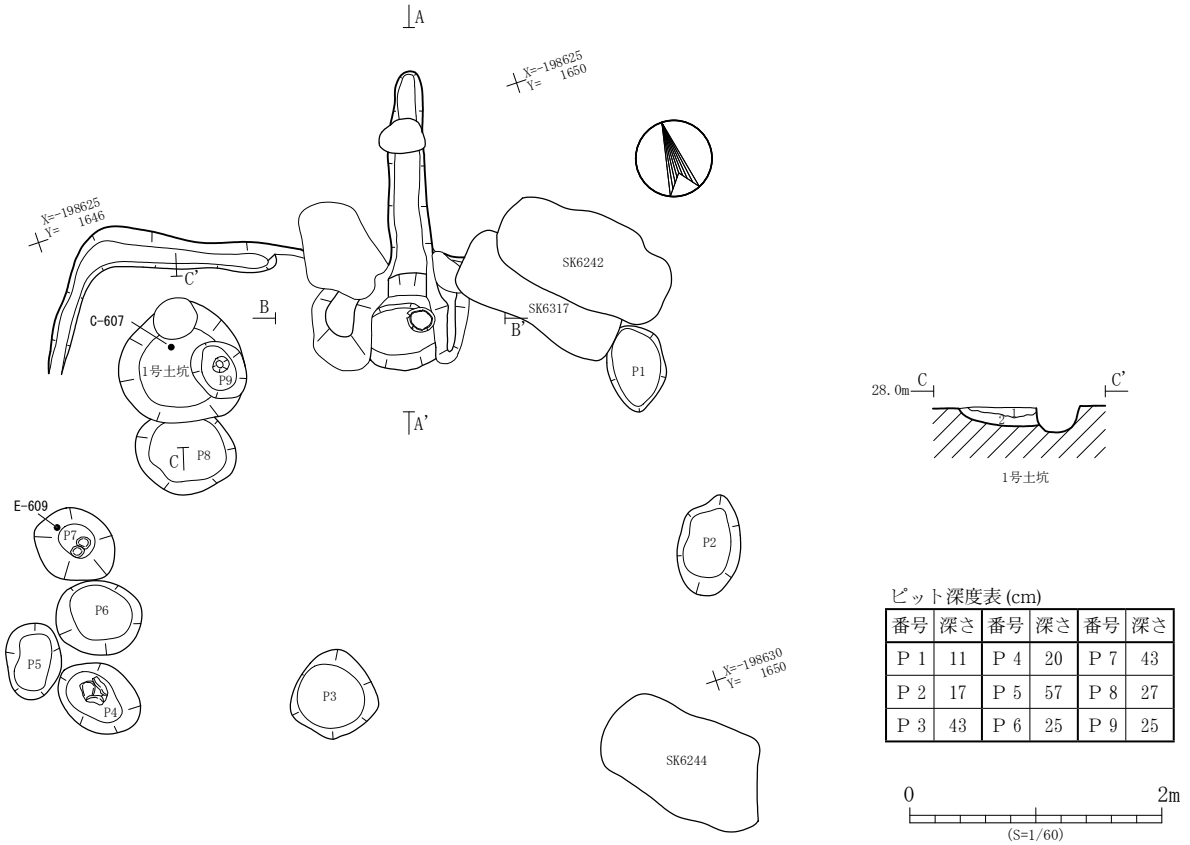
〔壁　面〕削平されているため検出されなかった。

〔床　面〕削平によって残存していないことから不明であるが、カマド付近の状況や貼床の掘り方が確認されていないこと等から、掘り方底面を直接床面としたものと考えられる。

〔柱　穴〕カマド周辺の住居が推定される範囲から検出されたピット９個を図示した。何れも柱痕跡は確認されていない。Ｐ４・７は底面から礫が検出されている。

〔周　溝〕北西隅の一部で検出されており、幅17～25㎝で深さは５～８㎝である。

〔カマド〕位置は不明であるが北壁に付設され、燃焼部、煙道部が検出された。重複する土坑、ピットおよび攪乱により袖や煙道部が削平されている。燃焼部は幅74㎝、奥行き78㎝である。燃焼部と煙道部の境に段を有し、煙道部に向かって緩やかに立ち上がる。煙道部は全長160㎝、幅34㎝であり、先端に向かって幅が狭くなる。底面はほぼ平坦であり断面形はＵ字形である。燃焼部中央の堆積土中からは、土師器甕（Ｃ－608）が口縁部を伏せた状態



ピット深度表(cm)

番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ
Ｐ１	11	Ｐ４	20	Ｐ７	43
Ｐ２	17	Ｐ５	57	Ｐ８	27
Ｐ３	43	Ｐ６	25	Ｐ９	25

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド	1	2.5YR4/4　にぶい黄褐	砂質シルト	焼土粒多量、骨片を微量含む。
	2	2.5YR4/4　暗赤褐	砂質シルト	焼土粒を多量に含む。
	3	2.5YR6/6　明黄褐	砂質シルト	焼土主体。

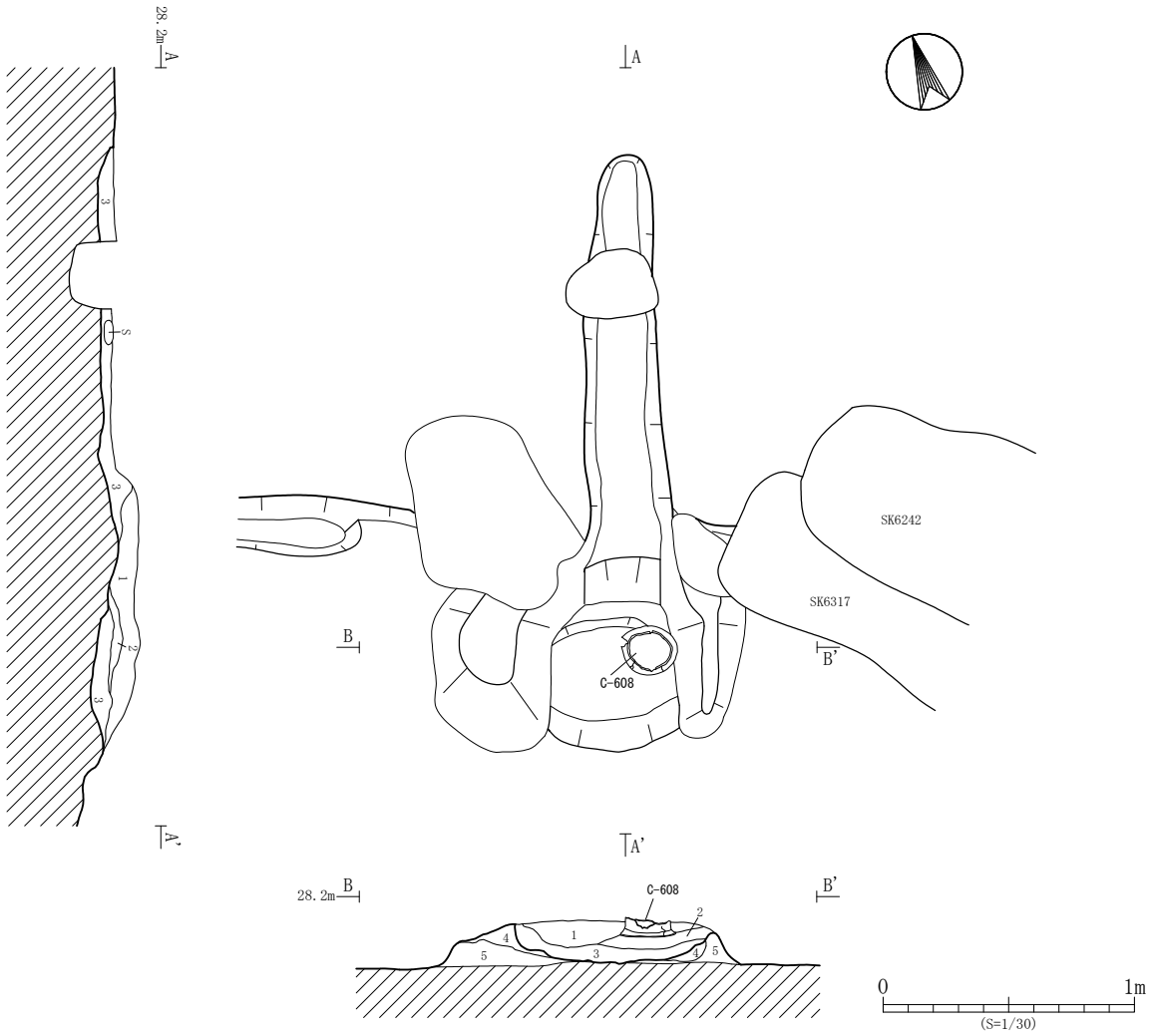
遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド袖	4	10YR4/6　褐	砂質シルト	焼土粒を多量に含む。
	5	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	焼土粒を少量含む。
１号土坑	1	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ｖ層粒多量、Ｖ層ブロックを少量含む。
	2	10YR5/3　にぶい黄褐	砂質シルト	炭化物・焼土粒を微量含む。

第667図　SI607竪穴住居跡

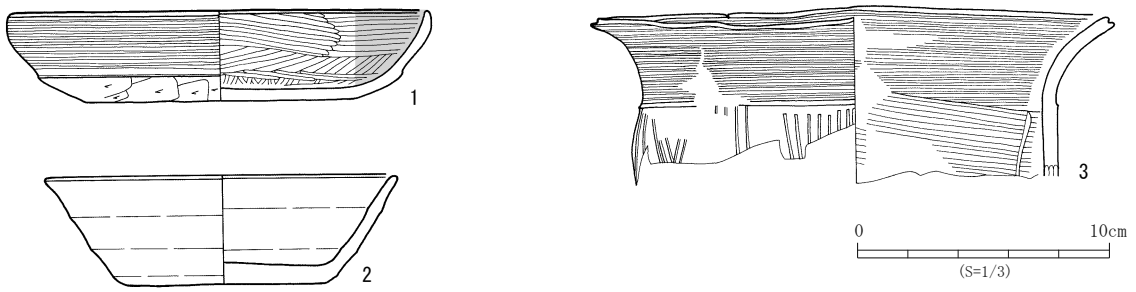
で検出されている。

〔その他の施設〕北西隅の床面で土坑が１基検出されている。東側で検出されたＰ９は、土坑よりも新しい。105㎝×96㎝の円形を基調とするもので、検出された位置や規模から貯蔵穴と考えられる。床面からの深さは14㎝で堆積土は２層に分層される。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がり断面形は皿形となる。堆積土は２層に分層される。平面プラン検出時に土師器坏（Ｃ－607）が１点が出土した。

〔出土遺物〕カマドおよび土坑、ピット等から土師器坏・甕が出土しており、第669図に示した。



第668図　SI607竪穴住居跡カマド



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	C-607	1号土坑堆積土	土師器　坏	(16.4)×3.5×10.4	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラナデ	内面黒色処理。	255-2
2	E-609	ピット７	須恵器　坏	13.7×7.8×4.3	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転ヘラ切り	口縁部～底部：ロクロナデ	摩滅顕著。	255-3
3	C-608	カマド内	土師器　甕	20×〈6.5〉×－	口縁部：ヨコナデ　胴部：ハケメ	口縁部：ヨコナデ　胴部：ヘラナデ	－	255-4

第669図　SI607竪穴住居跡出土遺物

SI608竪穴住居跡（第670図、図版114）

〔位置・検出面〕第６次調査２区中央のＦ－12・13グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。床面まで削平されていたことから残存状況が悪く、掘り方のみが検出されたものである。

〔新旧関係〕北東部分でＳＤ608溝跡と重複しており、本遺構が古い。

〔規模・平面形〕北東隅が削平されているが、検出された部分の状況から平面形は4.15ｍ×3.45ｍの方形を基調としたものと考えられる。西壁を基準とした方向はＮ－19°－Ｗである。

〔堆積土〕削平されているため残存していない。

〔壁　面〕検出されなかった。

〔床　面〕住居全体で掘り方が確認されていることから、掘り方埋土上面を床面としたものと考えられる。検出面が床面であるかは硬化面なども認められなかったことから不明である。

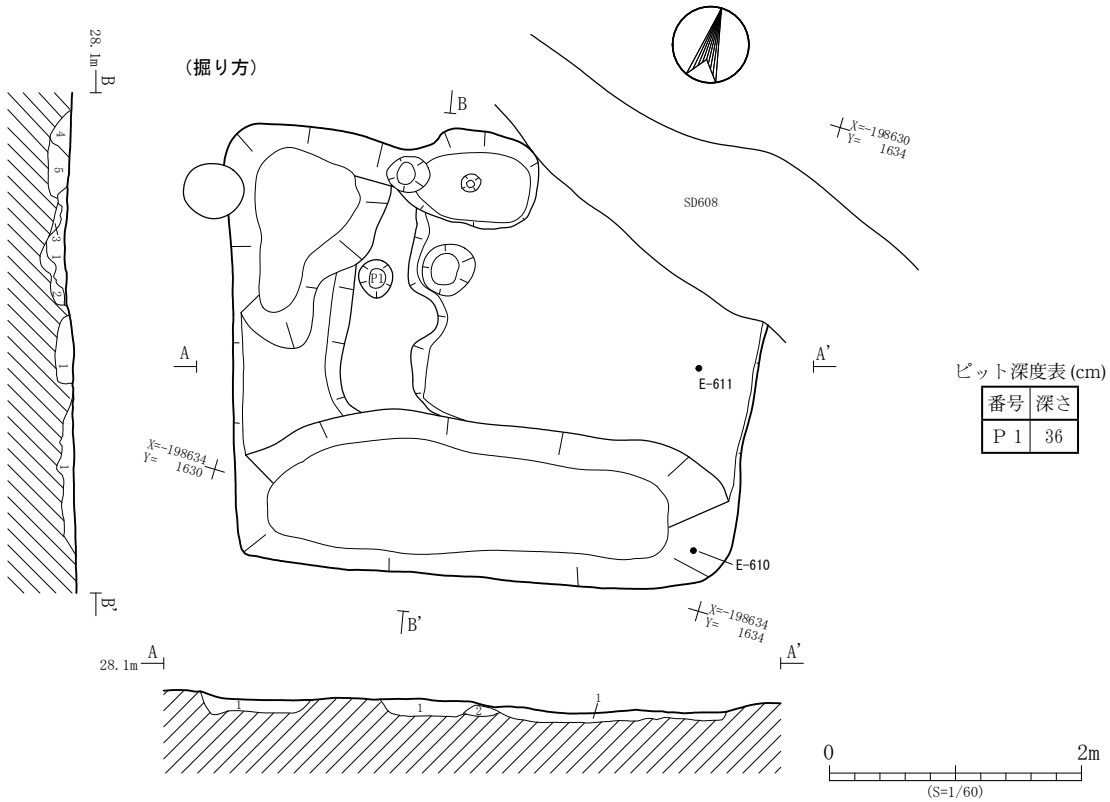
〔柱　穴〕プラン内からピット１個が検出されている。柱痕跡等も検出されておらず性格は不明である。

〔周　溝〕検出されなかった。

〔カマド〕北辺の中央部分で掘り方のみが確認された。113㎝×76㎝、深さ18㎝の長楕円形である。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。中央部分には16㎝×14㎝、深さ４㎝の小ピットが存在しており、検出された位置から支脚を据えるためのものとも考えられる。堆積土中には焼土粒が含まれるが、カマド燃焼部付近での火熱による赤変した状況は確認されなかった。

〔その他の施設〕住居掘り方の北西隅で深さ５㎝の不整形の落ち込みが検出されており、位置関係から貯蔵穴が存在した可能性がある。

〔出土遺物〕掘り方埋め土中から土師器坏・甕が出土し、第671図に示した。



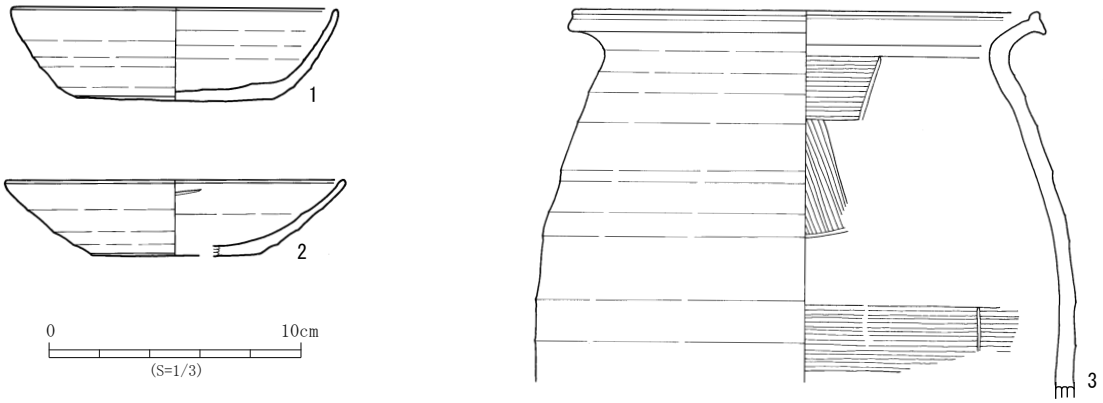
ピット深度表(cm)

番号	深さ
Ｐ１	36

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
掘り方	1	10YR5/4　にぶい黄褐	砂質シルト	Ｖ層ブロック・斑紋を多量に含む。
	2	10YR6/6　明黄褐	砂質シルト	炭化粒を少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	炭化粒を少量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
掘り方	4	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	焼土粒多量含む、炭化粒少量（カマド）。
	5	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ｖ層ブロック・斑紋を少量含む。

第670図　SI608竪穴住居跡



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	E-610	掘り方埋め土	須恵器　坏	(12.85)×3.7×(7.8)	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:ヘラ切り	口縁部～底部:ロクロナデ	－	255-5
2	E-611	掘り方埋め土	須恵器　坏	(13.5)×3.0×(6.8)	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:ヘラ切り→ヘラケズリ	口縁部～底部:ロクロナデ	－	255-6
3	D-606	掘り方埋め土	土師器　甕	(19.8)×〈7.0〉×－	口縁部～胴部:ロクロナデ	口縁部:ロクロナデ　胴部:ヘラナデ	－	255-7

第671図　SI608竪穴住居跡出土遺物

SI611竪穴住居跡（第672図）

〔位置・検出面〕第６次調査２区西側北寄りのＧ－14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。

〔新旧関係〕ＳＤ607溝跡およびＳＸ628性格不明遺構と重複しており、各々より本遺構が古い。

〔規模・平面形〕重複するＳＤ607溝跡、ＳＸ628性格不明遺構によって東側が削平されており全体は不明であるが、残存する部分では南北2.9m、東西1.9m以上で、平面形は方形を基調とするものと考えられる。西壁を基準とした方向はＮ－4°－Ｗである。

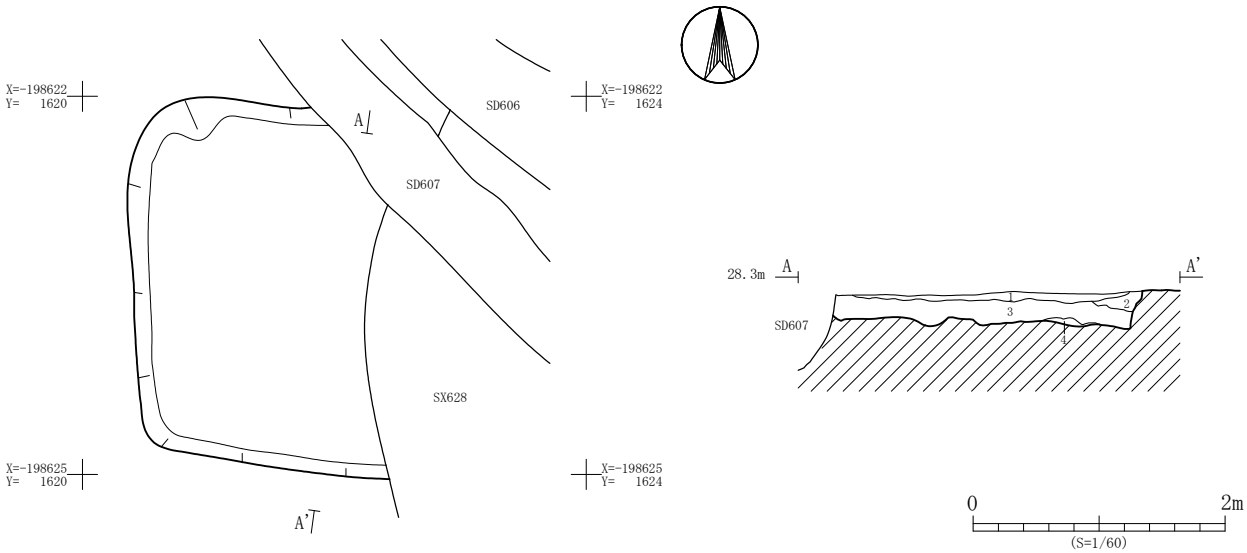
〔堆積土〕褐色系の粘土～砂質シルト層で４層に分かれる。

〔壁　面〕壁高は最も残りの良い南辺で26cmであり、底面から急角度で開いて立ち上がる。

〔床　面〕掘り方底面を直接床面としている。若干の凹凸が見られるがほぼ平坦である。

〔柱　穴〕検出されなかった。

〔周　溝〕検出されなかった。



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋を少量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	3	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック多量、焼土粒を微量含む。
	4	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。

第672図　SI611竪穴住居跡

〔カマド〕検出されなかった。

〔その他の施設〕検出されなかった。

〔出土遺物〕堆積土中から土師器小片が出土しているが図化できるものはない。

SI614竪穴住居跡（第674図、図版114）

〔位置・検出面〕第６次調査２区西側北寄りのＦ－15グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。床面まで削平を受けており残存状況は悪い。

〔新旧関係〕ＳＫ6316土坑と重複しており、ＳＫ6316土坑は近世のものであることから本遺構が古い。

〔規模・平面形〕検出された部分から掘り方のみが検出されたものと考えられる。調査区外となる北側に広がるものと見られ、全体は不明であるが掘り方の形態から平面形は方形を基調とするものと考えられる。掘り方西壁を基準とした方向はＮ－9°－Ｗである。

〔堆積土〕調査区北側壁断面で３層に分かれる。

〔壁　面〕削平されているため検出されなかった。

〔床　面〕掘り方が存在することから、掘り方埋土上面を床面にしたものと考えられるが、硬化面なども確認されておらず不明である。

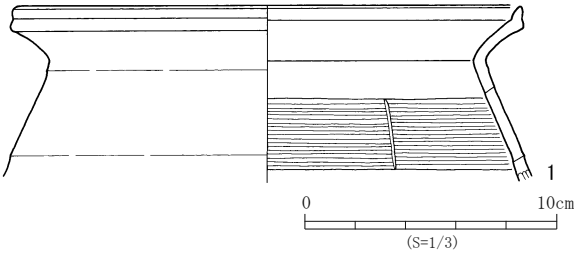
〔柱　穴〕ピットが３個検出されているが、柱痕跡は確認されておらず、柱構造は不明である。

〔周　溝〕検出されなかった。

〔カマド〕調査区内では焼面も検出されなかった。

〔その他の施設〕検出されなかった。

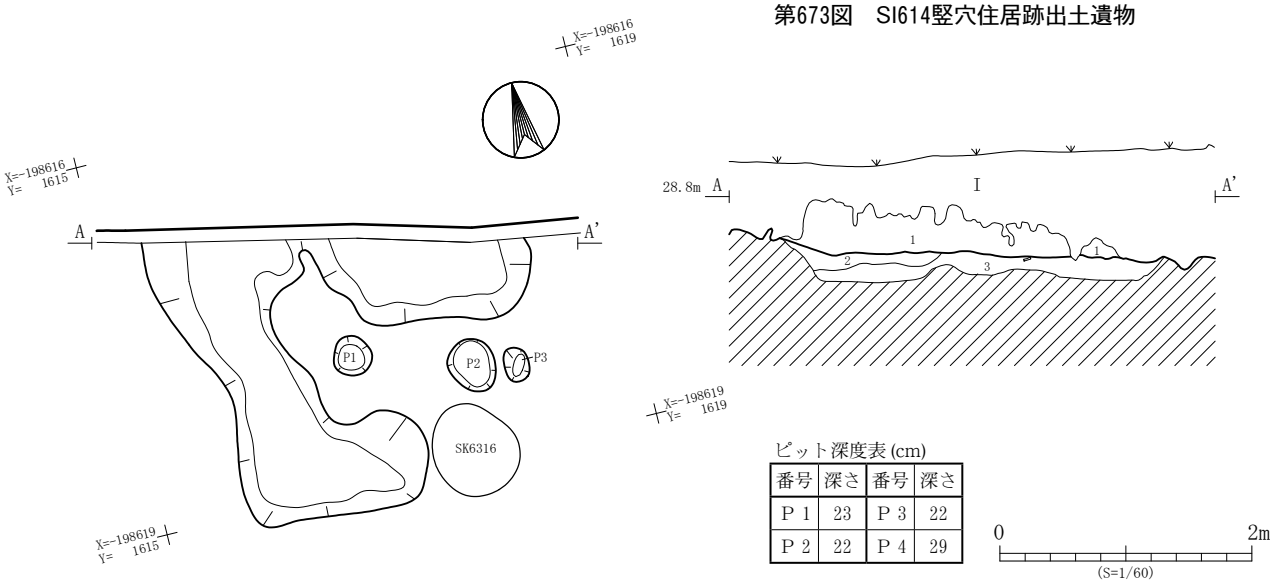
〔出土遺物〕本遺構の堆積土中から土師器甕が出土し、第673図に示した。



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面
1	D-607	堆積土	土師器　甕	(19.8)×〈7.0〉×－	口縁部～胴部：ロクロナデ
内　面				備　考	写真図版
口縁部：ロクロナデ　胴部：ヘラナデ				－	-

第673図　SI614竪穴住居跡出土遺物



ピット深度表 (cm)

番号	深さ	番号	深さ
Ｐ１	23	Ｐ３	22
Ｐ２	22	Ｐ４	29

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒焼土粒を微量含む。
掘り方	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・Ｖ層斑紋を少量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
掘り方	3	10YR5/6　黄褐	粘土質シルト	Ｖ層ブロックを多量に含む。

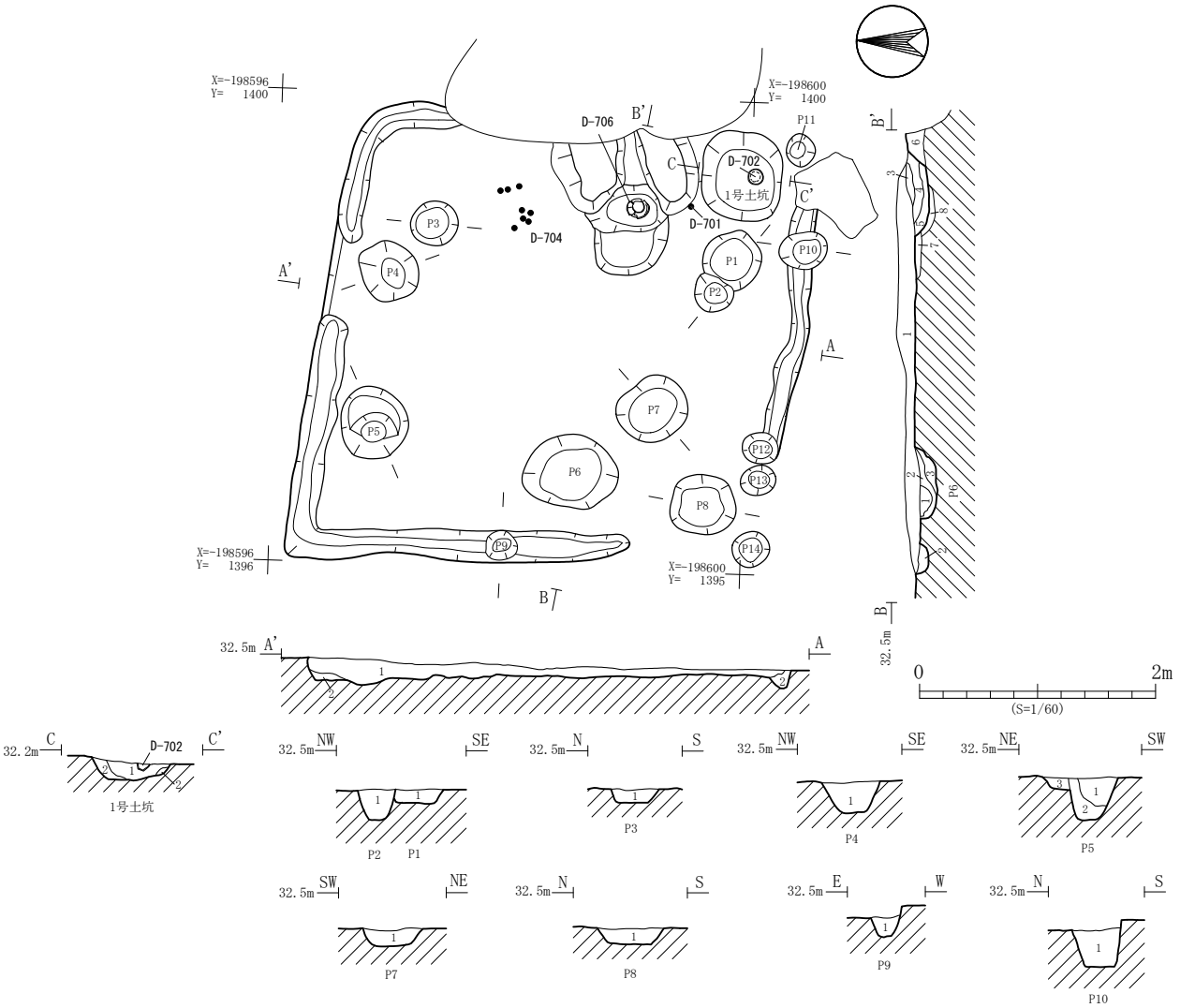
第674図　SI614竪穴住居跡

SI713竪穴住居跡（第675・676図、図版115）

〔位置・検出面〕第７次調査２区西側中央北寄りのＢ・Ｃ－59グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。東側は撹乱によって削平されている。

〔新旧関係〕重複する遺構はない。

〔規模・平面形〕東西4.1m、南北3.8mのやや歪んだ方形を基調とするもので、北壁を基準とした場合はＮ－99°－Ｅである。



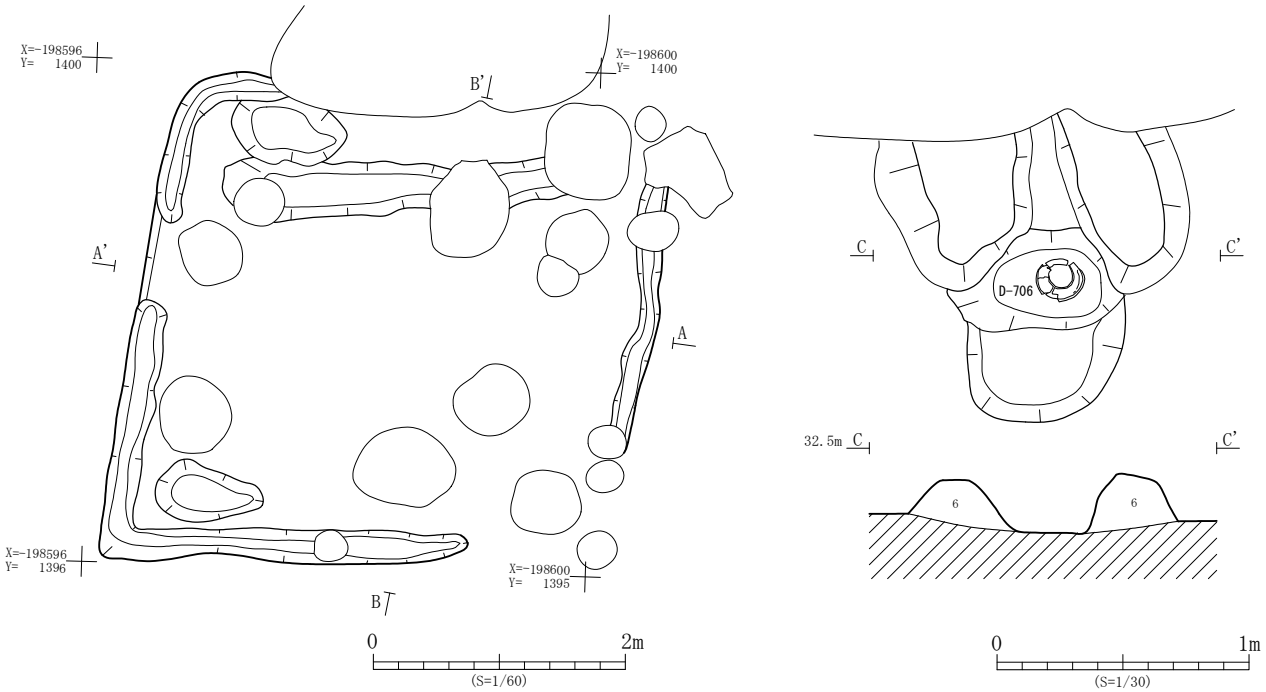
ピット深度表 (cm)

番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ
Ｐ１	14	Ｐ３	13	Ｐ５	29	Ｐ７	14	Ｐ９	8	Ｐ11	40	Ｐ13	22
Ｐ２	28	Ｐ４	23	Ｐ６	10	Ｐ８	11	Ｐ10	33	Ｐ12	22	Ｐ14	9

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒多量、焼土粒を少量含む。
周溝	2	10YR3/3　暗褐	シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。
カマド	3	10YR6/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋を多量に含む。
	4	2.5YR4/6　赤褐	粘土質シルト	焼土ブロックを多量に含む。
	5	10YR5/8　黄褐	粘土質シルト	焼土粒を少量含む。
カマド袖	6	10YR5/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
掘り方	7	10YR6/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	8	10YR4/6　褐	砂質シルト	Ⅴ層主体。
１号土坑	1	10YR2/3　黒褐	シルト	炭化粒・焼土粒を微量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。
P1	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
P2	1	10YR3/4　暗褐	シルト	Ⅴ層を微量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
P3	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
P4	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
P5	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	3	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋を多量に含む。
P6	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
	3	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋を多量に含む。
P7	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
P8	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
P9	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
P10	1	10YR3/4　暗褐	シルト	Ⅴ層粒を少量含む。

第675図　SI713竪穴住居跡



第676図　SI713竪穴住居跡掘り方・カマド

〔堆積土〕暗褐色シルトの単層で炭化物粒を多量に含むものである。

〔壁　面〕削平が進んでいるため残存状況は悪いが、残りの良い北壁部分では壁高20㎝程である。

〔床　面〕掘り方底面を直接床面としている。やや凹凸が認められるがほぼ平坦である。

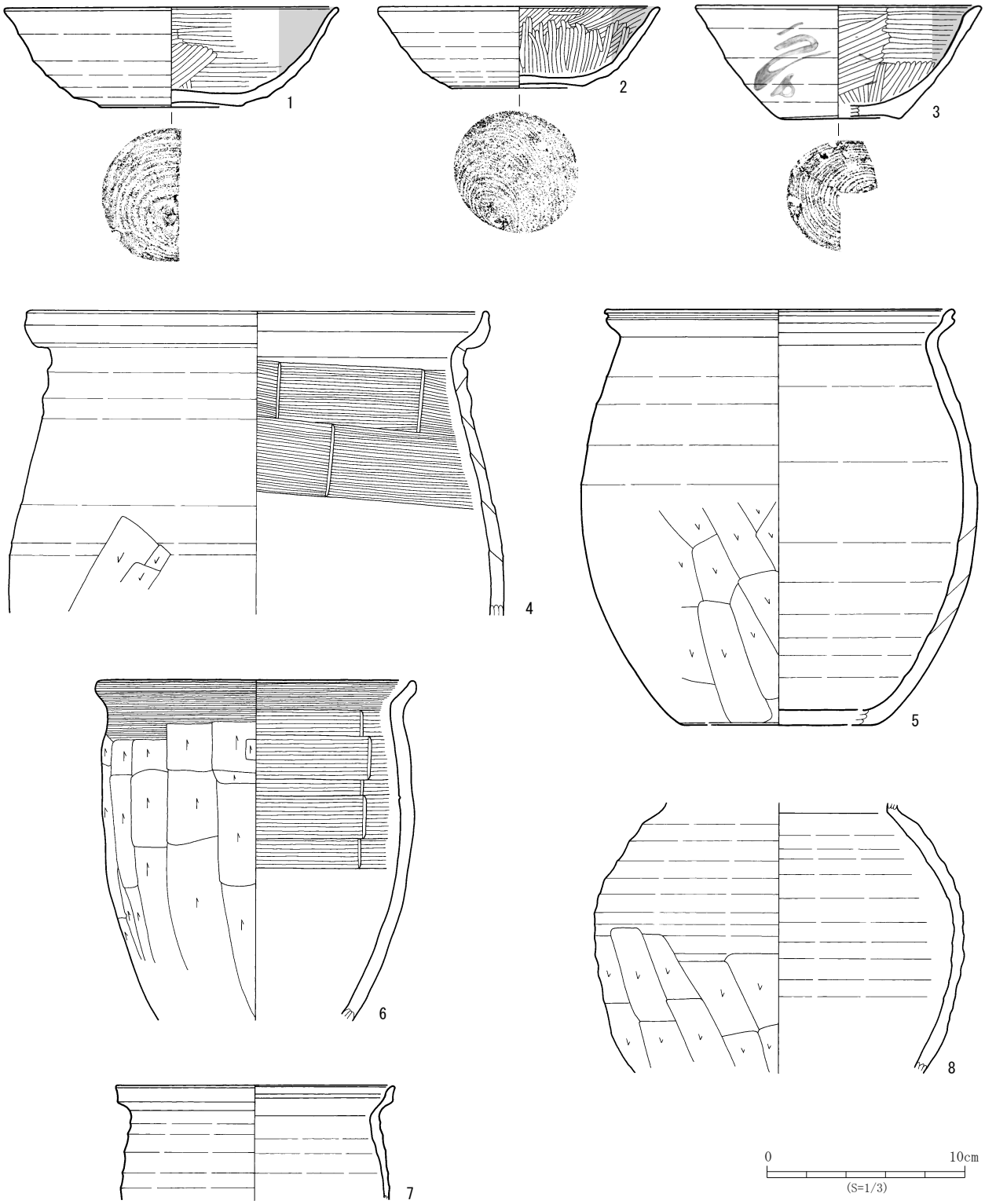
〔柱　穴〕床面からは14個のピットが検出された。何れのピットからも柱痕跡は確認されず、配置も不規則であり柱穴構造は不明である。

〔周　溝〕北辺の中央部分と南東及び南西隅以外で検出された。幅19～31㎝で、床面からの深さは12㎝である。

〔カマド〕東辺中央のやや南寄りに付設されている。奥壁から煙道部分は撹乱によって削平されているため、燃焼部分のみが検出された。燃焼部の手前から焼け面が認められ、側壁および奥壁部付近は火熱を受けて赤変している。燃焼部は幅70㎝、奥行き118㎝である。中央部分からは小型の土師器甕（Ｄ－706）が伏せた状態で検出されており、支脚として用いられていたものと考えられる。側壁残存部は壁から左の袖が60㎝、右の袖が64㎝である。

〔その他の施設〕床面の南東隅で土坑１基が検出され、配置から貯蔵穴と考えられる。平面形は75㎝×68㎝の隅丸方形を基調とするもので、床面からの深さは19㎝である。底面はほぼ平坦であり、壁は底面から緩やかに立ち上がって断面形は皿形となる。堆積土は２層に分層される。上層部分からは土師器坏（Ｄ－702）が検出された。

〔出土遺物〕本遺構の堆積土、床面、カマドから土師器坏・甕、須恵器坏・甕が出土しており、第677図に示した。



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	D-701	カマド内	土師器　坏	(16.9)×5.0×(7.4)	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転糸切り	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	255-8
2	D-702	上層	土師器　坏	14.2×4.1×6.6	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転糸切り	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理、墨書有り。	255-9
3	D-703	堆積土	土師器　坏	(14.4)×5.6×(6.2)	口縁部～体部:ロクロナデ　底部:回転糸切り	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理、墨書有り。	255-10
4	D-704	床直	土師器　甕	(23.0)×〈15.1〉×－	口縁部～胴部:ロクロナデ　胴部下半:ヘラケズリ	口縁部～胴部:ロクロナデ	－	256-1
5	D-705	堆積土	土師器　甕	(17.5)×(21.0)×(10.0)	口縁部～胴部:ロクロナデ　胴部下半:ヘラケズリ	口縁部～胴部:ロクロナデ	－	256-2
6	D-706	カマド内	土師器　甕	15.8×〈17.2〉×－	口縁部:ヨコナデ　胴部:ヘラケズリ	口縁部:ヨコナデ　胴部:ヨコナデ	－	256-3
7	D-707	堆積土	土師器　甕	(14.0)×〈5.8〉×－	口縁部～胴部:ロクロナデ	口縁部～胴部:ロクロナデ	－	-
8	E-701	カマド内	須恵器　長頸壺	－×〈13.5〉×－	胴部:ロクロナデ　胴部下半:ヘラケズリ	胴部:ロクロナデ	胴部最大径 18.7 ㎝。	256-4

第677図　SI713竪穴住居跡出土遺物

SI720竪穴住居跡（第678・679図、図版116）

〔位置・検出面〕第７次調査３区の東側南寄りのＨ・Ｉ－27・28グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。北側は撹乱によって削平されている。

〔新旧関係〕ピットと重複しており、本遺構が古い。。

〔規模・平面形〕規模が南北4.0ｍ、東西4.23ｍの方形を基調とする平面形である。西壁を基準とした方向はＮ－11°－Ｅである。

〔堆積土〕暗褐～褐色系のシルト～粘土質シルト層で３層に分けられる。焼土、炭化粒が含まれる。

〔壁　面〕削平されており残存状況は悪い。最も残りの良い北壁部分で７㎝である。

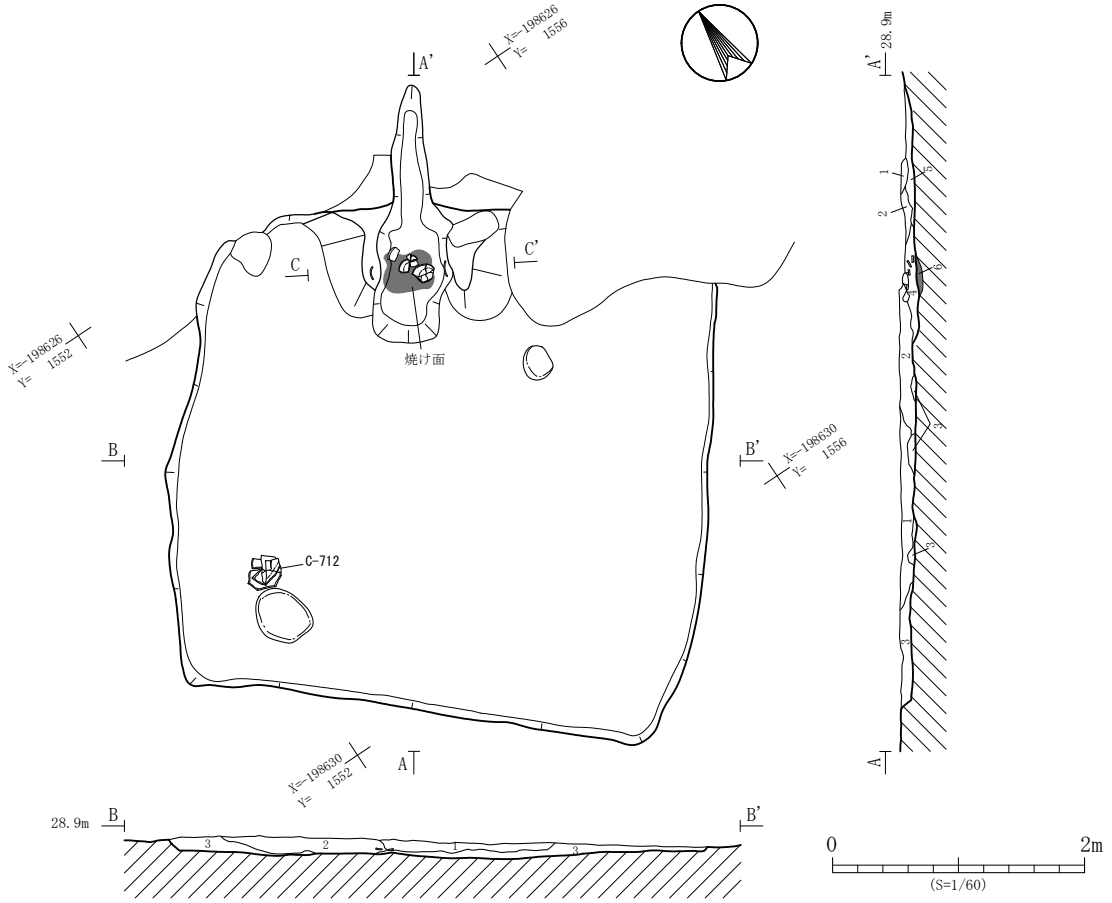
〔床　面〕掘り方底面を直接床面としている。ほぼ平坦であるが、中央部分が緩やかに落ち込んでいる。

〔柱　穴〕床面からピットは検出されなかった。

〔周　溝〕検出されなかった。

〔カマド〕北壁中央のやや西寄りに付設されている。燃焼部・煙道部が検出された。燃焼部は幅58㎝、奥行き94㎝である。燃焼部の手前から焼け面が認められ、側壁および奥壁部付近は火熱を受けて赤変している。燃焼部と煙道部との境には段をもたず平坦である。煙道部は全長150㎝、幅30㎝で先端部分に向かって徐々に幅狭なものとなっている。側壁は左側の袖が壁から84㎝、右側の袖が96㎝残存している。

〔その他の施設〕遺構検出部分では検出されなかった。

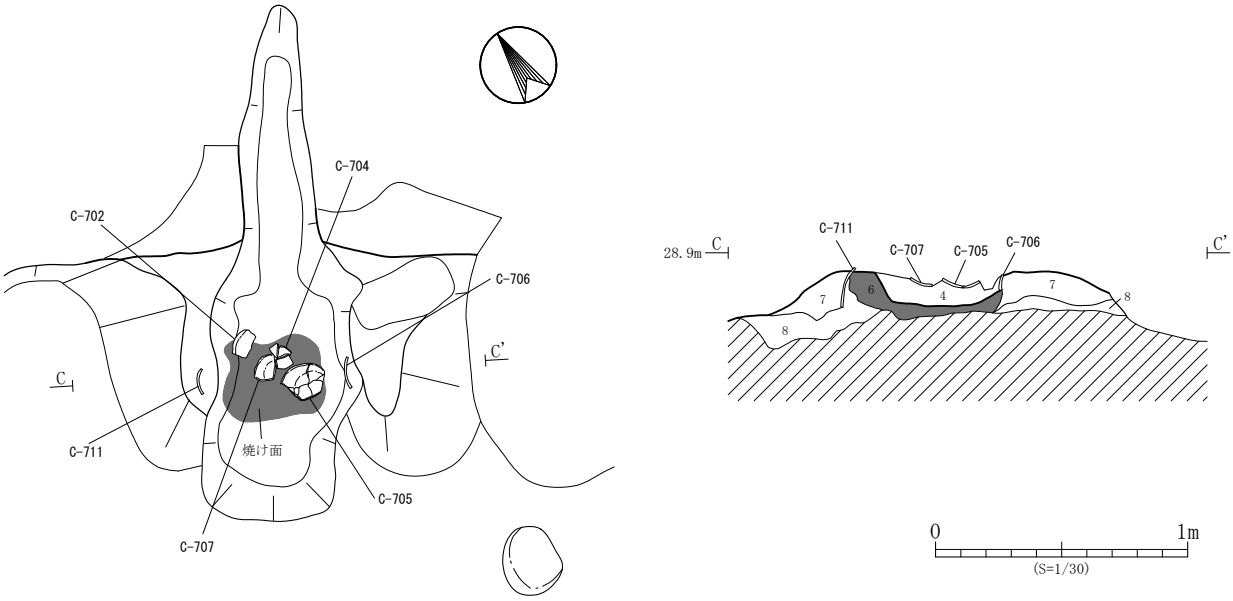


遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/4　暗褐	シルト	Ⅴ層粒多量、炭化粒・焼土粒を微量含む。
	2	10YR4/4　褐	シルト	1層に類似。炭化粒・焼土粒増加。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒微量、Ⅴ層斑紋含む。

第678図　SI720竪穴住居跡

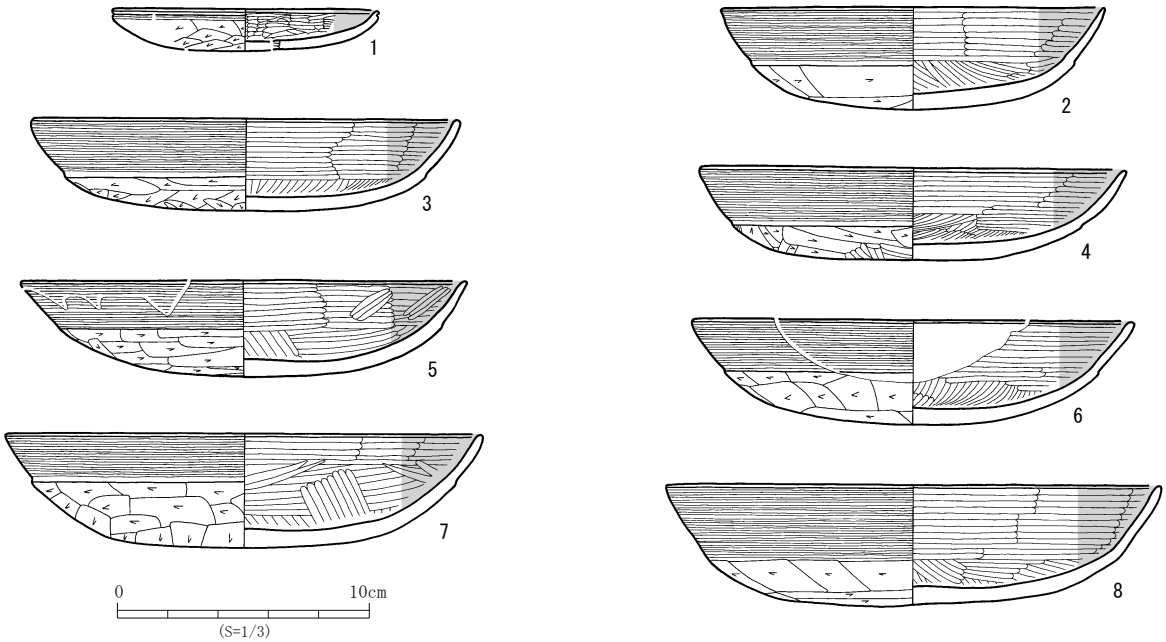
〔出土遺物〕堆積土中および床面、ピットから土師器坏・甕が出土した。床面の南西隅では47㎝のやや大形の礫と、その隣からは土師器甕(C－12)が出土した。カマドの燃焼部及び袖の中からも遺物が出土している。土師器坏10点、甕２点を図示した。



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	焼土粒・炭化粒極を微量含む。
	5	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量、Ⅴ層ブロック含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド袖	6	5YR4/8　赤褐	シルト	焼土主体。
	7	10YR4/3　にぶい黄褐	シルト	Ⅴ層粒・焼土粒を少量含む。
	8	10YR4/4　褐	シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。

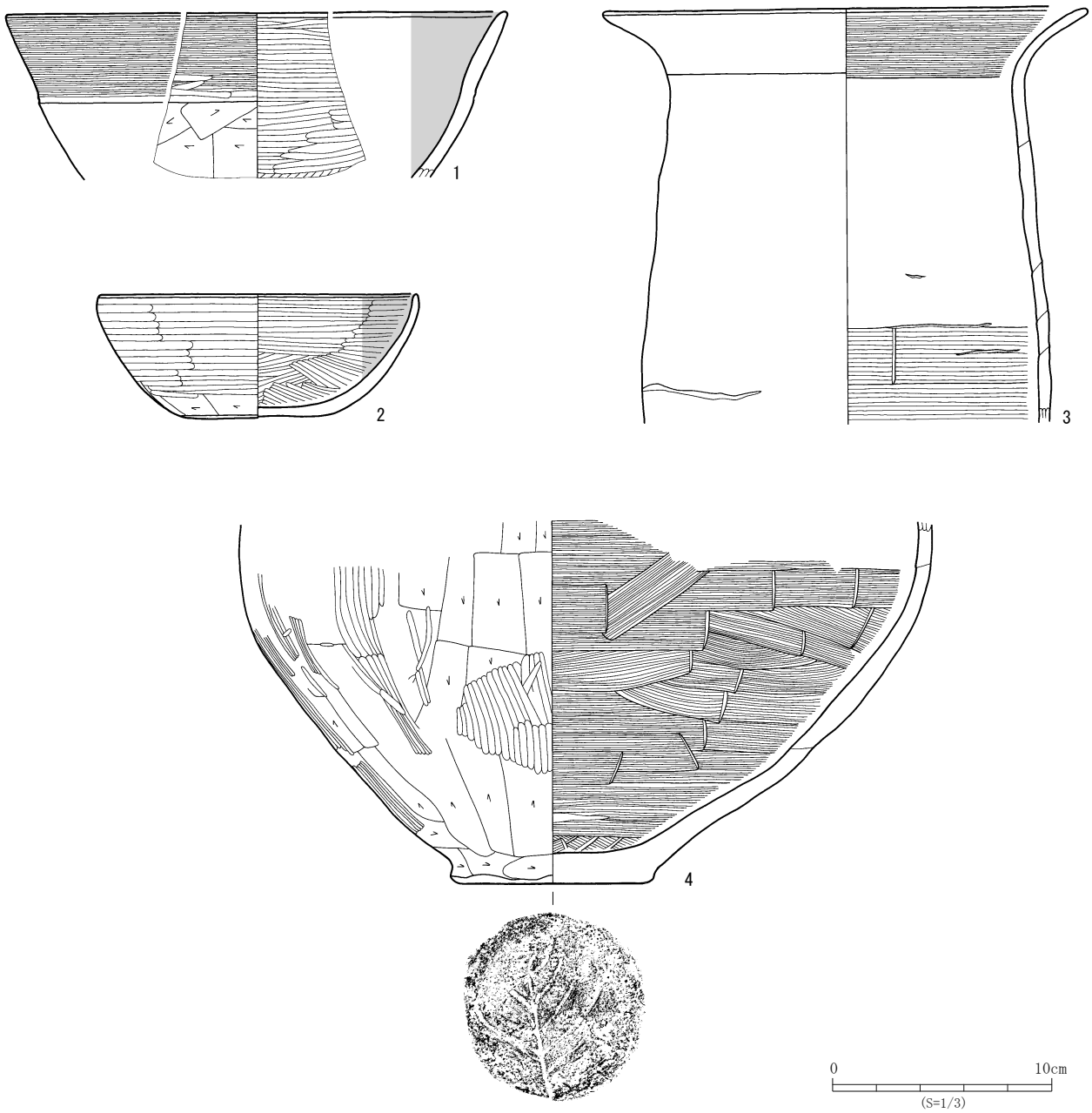
第679図　SI720竪穴住居跡カマド



〈　〉残存、(　) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(㎝)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	C-701	堆積土中	土師器　坏	(10.6)×1.6×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	-
2	C-702	カマド内	土師器　坏	(15.2)×4.0×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-5
3	C-703	カマド内	土師器　坏	(16.8)×3.6×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-6
4	C-704	カマド内	土師器　坏	16.9×3.6×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-7
5	C-705	カマド内	土師器　坏	17.7×3.8×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-8
6	C-706	カマド東側袖	土師器　坏	17.4×4.1×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-9
7	C-707	カマド内	土師器　坏	(18.8)×4.5×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-11
8	C-708	カマド内	土師器　坏	19.6×4.7×－	口縁部:ヨコナデ　体部:ヘラケズリ	口縁部～底部:ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-12

第680図　SI720竪穴住居跡出土遺物（１）



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	C-709	カマド内	土師器　坏	(22.8)×〈7.5〉×－	口縁部：ヨコナデ、一部ヘラミガキ　体部：ヘラケズリ	口縁部～体部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	-
2	C-710	カマド袖	土師器　坏	14.4×6.9×7.0	口縁部～体部：ヘラミガキ　体部下半～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	256-10
3	C-711	カマド袖	土師器　甕	22.0×〈18.9〉×－		口縁部：ヨコナデ　胴部：ヘラナデ	外面摩滅激しい。	257-1
4	C-712	床直	土師器　甕	－×16.5×(9.3)	胴部：ヘラケズリ→ヘラナデ　底部：木葉痕	胴部～底部：ヘラナデ		257-2

第681図　SI720竪穴住居跡出土遺物（２）

SI721竪穴住居跡（第682・683図、図版117・118）

〔位置・検出面〕第７次調査３区中央北寄りのＥ・Ｆ－28・29グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。撹乱によって北壁と南壁の一部が削平されている。

〔新旧関係〕本遺構と重複する遺構はない。

〔規模・平面形〕東西4.5ｍ、南北4.35ｍの方形を基調としたもので、南東隅がやや歪んでいる。東壁を基準にした場合の方向はＮ－23°－Ｅである。床面下には東西3.76ｍ、南北3.5ｍの方形を基調とする掘り方が確認されたことから、カマドの位置する北壁と東壁を残して西側と南側へ拡張を施したものと推測される。

〔堆積土〕９層に分層される。炭化粒・焼土粒を含む。

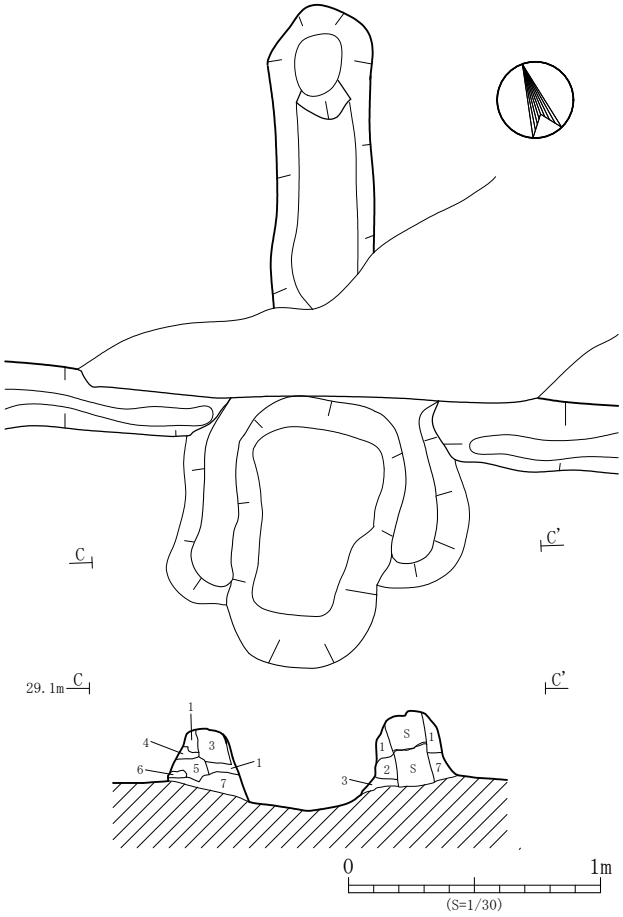
〔壁　面〕壁高は残存状況の良い東壁で32㎝である。周溝底面から急角度で立ち上がる。

〔床　面〕掘り方埋土上面を床面にしている。周辺部分よりも中央部分が若干高くなっている。

〔柱　穴〕床面で４個のピットが検出された。何れのピットからも柱痕跡は確認されなかったが、その配置から４本柱構造になるものと考えられる。

〔周　溝〕西壁南側と南壁西側を除く壁際で検出されている。幅20～25㎝、床面からの深さは10～18㎝で底面はほぼ平坦であるが、一部段を有する部分も認められる。

〔カマド〕北壁中央のやや東寄りに付設されている。燃焼部・煙道部、煙出しピットが検出された。燃焼部は幅69㎝、奥行き110㎝である。側壁は左側の袖が残存する壁から82㎝、右側の袖が76㎝残存している。カマド右袖には芯材として凝灰岩が用いられている。燃焼部の手前側の床面から焼け面が観察され、側壁および奥壁が火熱を受けて赤変している。燃焼部奥壁と煙道部の境は撹乱により削平されている。煙道は住居壁から116㎝の長さで検出され、



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド袖	1	10YR3/3　暗褐	粘土	焼土粒少量、炭化粒・Ⅴ層粒を少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層斑紋含む。炭化粒・焼土粒を微量含む。
	3	10YR4/4　褐	シルト質粘土	焼土ブロック多量、炭化粒を微量含む。
	4	10YR4/6　褐	粘土	Ⅴ層斑紋主体。炭化粒・焼土粒を微量含む。
	5	10YR3/3　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック斑紋少量、炭化粒を微量含む。
	6	10YR4/4　褐	粘土	5層に類似。Ⅴ層斑紋を多量に含む。
	7	10YR5/6　黄褐	粘土	Ⅴ層ブロック主体。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量、炭化粒少量、焼土粒・円礫を微量含む。土器小片多い。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒少量、焼土粒を微量含む。土器小片僅か。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	２層に類似。Ⅴ層粒増加。土器片多い。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック・炭化粒を少量含む。
	5	10YR3/3　暗褐	粘土	炭化粒・焼土粒を多量に含む。
	6	10YR3/4　暗褐	シルト質粘土	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	7	5YR3/2　暗赤褐	粘土	焼土粒多量、Ⅴ層ブロックを少量含む。
	8	10YR3/3　暗褐	粘土	焼土粒・焼土斑紋含む。
	9	10YR4/4　褐	粘土	８層に類似。炭化粒・焼土粒増加。
周溝	10	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・ブロックを多量に含む。
カマド	11	10YR5/4　にぶい黄褐	粘土	赤褐色のブロックを多量に含む。
	12	7.5YR4/4　にぶい赤褐	シルト	焼土粒・ブロック主体。
	13	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック多量、焼土粒・炭化物を微量含む。
	14	10YR4/4　褐	粘土質シルト	粘土・焼土粒のブロック・斑紋を多量に含む。
	15	10YR4/4　褐	粘土	12層に類似。Ⅴ層粒減少。
掘り方	16	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒・焼土粒を微量含む。
	17	10YR3/3　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック少量、炭化粒を微量含む。
	18	10YR3/3　暗褐	粘土	下半にⅤ層斑紋集中。焼土粒を少量含む。
	19	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック多量、炭化物・焼土粒を少量含む。
	20	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック多量、焼土粒を微量含む。層中央に薄い炭化物層。
	21	10YR4/4　褐	シルト質粘土	Ⅴ層ブロック主体。
	22	10YR4/4　褐	シルト質粘土	Ⅴ層主体。炭化粒ごくを微量含む。
	23	10YR4/6　褐	シルト質粘土	Ⅴ層斑紋主体。炭化粒・焼土粒を微量含む。
	24	10YR3/4　暗褐	シルト質粘土	炭化粒・焼土粒を少量含む。
	25	10YR4/4　褐	シルト質粘土	Ⅴ層斑紋主体。

第682図　SI721竪穴住居跡カマド

（遺存）

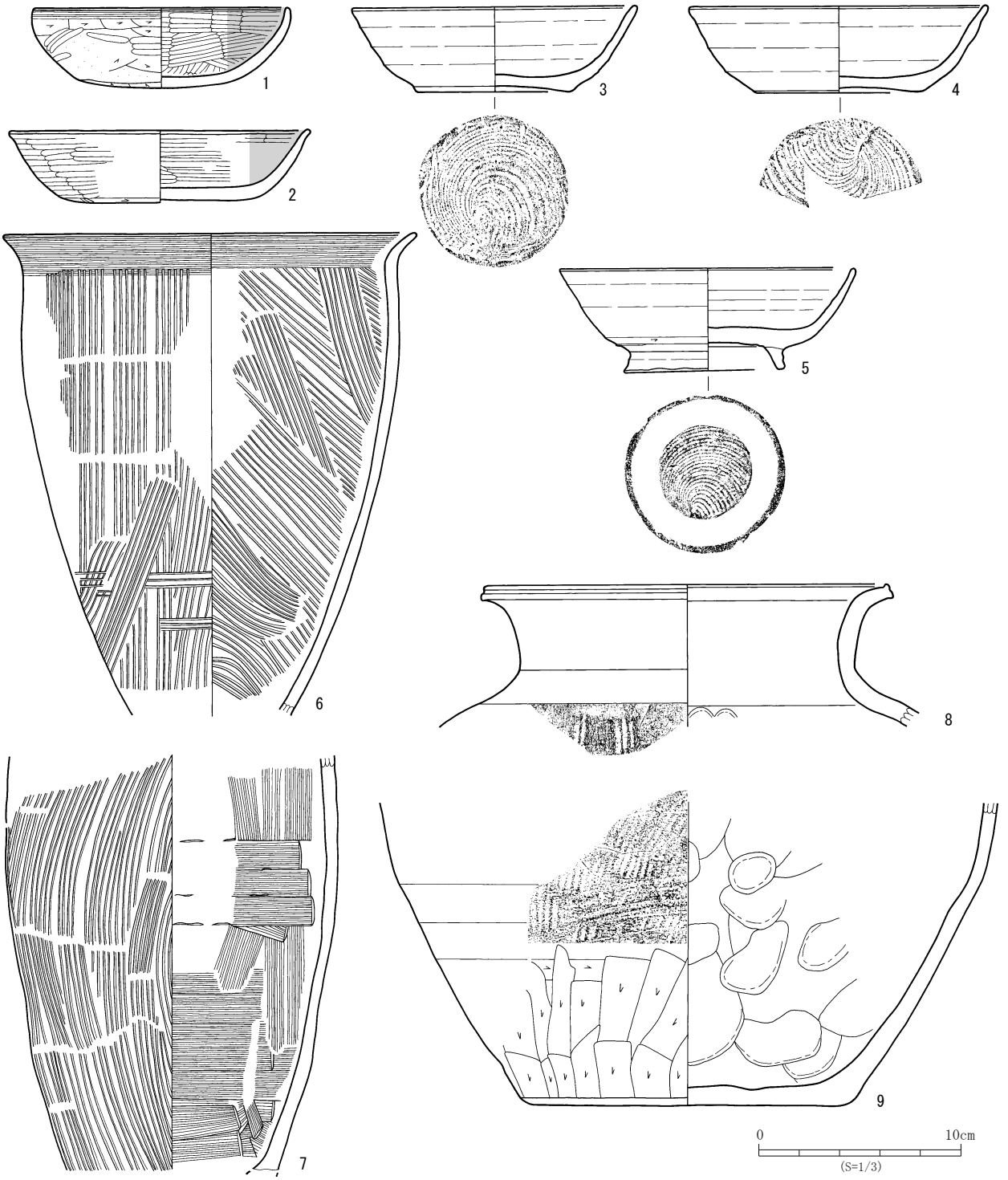
（掘り方）

ピット深度表 (cm)

番号	深さ	番号	深さ
Ｐ１	56	Ｐ３	64
Ｐ２	51	Ｐ４	54

0　2m
(S=1/60)

第683図　SI721竪穴住居跡



〈 〉残存、( ) 推定

№.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	C-713	3 層	土師器　坏	12.6×3.9×8.1	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ→ヘラナデ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	257-3
2	C-714	堆積土	土師器　坏	(14.8)×3.5×9.8	口縁部～底部：ヘラミガキ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内外面赤彩。	257-4
3	E-702	カマド内	須恵器　坏	14.0×4.2×7.6	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ロクロナデ	－	257-5
4	E-703	カマド内	須恵器　坏	(14.7)×4.3×(8.2)	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ロクロナデ	－	257-6
5	E-704	カマド内	須恵器　坏	14.5×5.2×8.4	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り→回転ヘラケズリ→高台貼付→指ナデ	口縁部～底部：ロクロナデ	－	257-7
6	C-715	カマド西袖内	土師器　甕	(20.4)×〈23.8〉×－	口縁部：ヨコナデ　胴部：ハケメ調整	口縁部：ヨコナデ　胴部：ハケメ調整	－	-
7	C-716	カマド内	土師器　甕	－×〈10.4〉×－	胴部：ハケメ調整	胴部：ヘラナデ	－	257-8
8	E-705	堆積土	須恵器　甕	(19.7)×〈7.0〉×－	口縁部～頸部：ロクロナデ　胴部：上半タタキ	口縁部：ロクロナデ、指オサエ	9 と同一個体。	257-9
9	E-706	堆積土	須恵器　甕	－×〈15.0〉×(16.6)	胴部：タタキ→ヘラケズリ	胴部：指オサエ	8 と同一個体。	257-10

第684図　SI721竪穴住居跡出土遺物

幅は28～32㎝で、先端に向かって深くなる。煙出しピットは41㎝×35㎝、深さ27㎝である。

〔その他の施設〕遺構検出部分では検出されていないが、掘り方の北西隅に平面形が楕円形を基調とする110㎝×67㎝、深さ25㎝の落ち込みが確認されており、検出された位置及び規模から本遺構の貯蔵穴の可能性がある。

〔出土遺物〕堆積土中および床面、ピットから土師器坏・甕、須恵器坏・甕が出土した。そのうち土師器坏４点、甕２点、須恵器坏１点、須恵器甕２点を図示した。

SI722Ａ竪穴住居跡（第685図・図版117・118）

〔位置・検出面〕第７次調査３区西側中央のＧ・Ｈ－30・31グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。東壁は撹乱によって削平されている。ＳＩ722Ｂ（古）→ＳＩ722Ａ（新）の建て替えが行われたものと考えられる。

〔新旧関係〕ＳＩ722Ｂ竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。

〔規模・平面形〕平面形は東西3.8ｍ、南北3.0ｍ以上の方形を基調としたものと考えられる。南壁を基準とした方向はＮ－59°－Ｗである。

〔堆積土〕暗褐～褐色の粘土～シルト質粘土で５層に分けられる。

〔壁　面〕床面から急な角度で立ち上がる。壁高は残存状況の良い西壁で15㎝である。

〔床　面〕ＳＩ722Ｂ竪穴住居跡堆積土上部を含む掘り方底面を直接床面としている。ほぼ平坦である。

〔柱　穴〕床面で３個のピットが検出された。何れからも柱痕跡は確認されず、柱穴構造は不明である。

〔周　溝〕検出されなかった。

〔カマド〕西壁中央のやや北寄りに付設されている。燃焼部・煙道部が検出された。燃焼部は幅50㎝、奥行き50㎝である。側壁は左側の袖が壁から48㎝、右側の袖が56㎝残存している。燃焼部の手前側の床面から焼け面が観察され、側壁および奥壁が被熱を受けて赤変している。燃焼部と煙道部の境には５㎝程の段を有しており、煙道部の規模は先端までの長さは126㎝である。幅は最大54㎝であり先端部分に向かって狭くなっている。底面はほぼ平坦であり、燃焼部寄りの東側からは規模22㎝×18㎝、深さ９㎝の小ピットが検出されている。

〔その他の施設〕遺構検出部分では検出されなかった。

〔出土遺物〕堆積土中および床面から土師器坏・甕・甑、須恵器甕が出土しており、第686図に示した。

SI722Ｂ竪穴住居跡（第687図・図版117）

〔位置・検出面〕第７次調査３区西側中央のＧ・Ｈ－30・31グリッドに位置し、ＳＩ722Ａ竪穴住居跡の床下から検出された。東側の一部が撹乱により削平されている。

〔新旧関係〕ＳＩ722Ａ竪穴住居跡と重複し、本遺構が古い。

〔規模・平面形〕平面形は東西3.2ｍ×南北2.8ｍの隅丸方形を基調とするものである。西壁を基準とした方向はＮ－36°－Ｅである。

〔堆積土〕暗褐色シルト質粘土～粘土層で３層に分けられる。

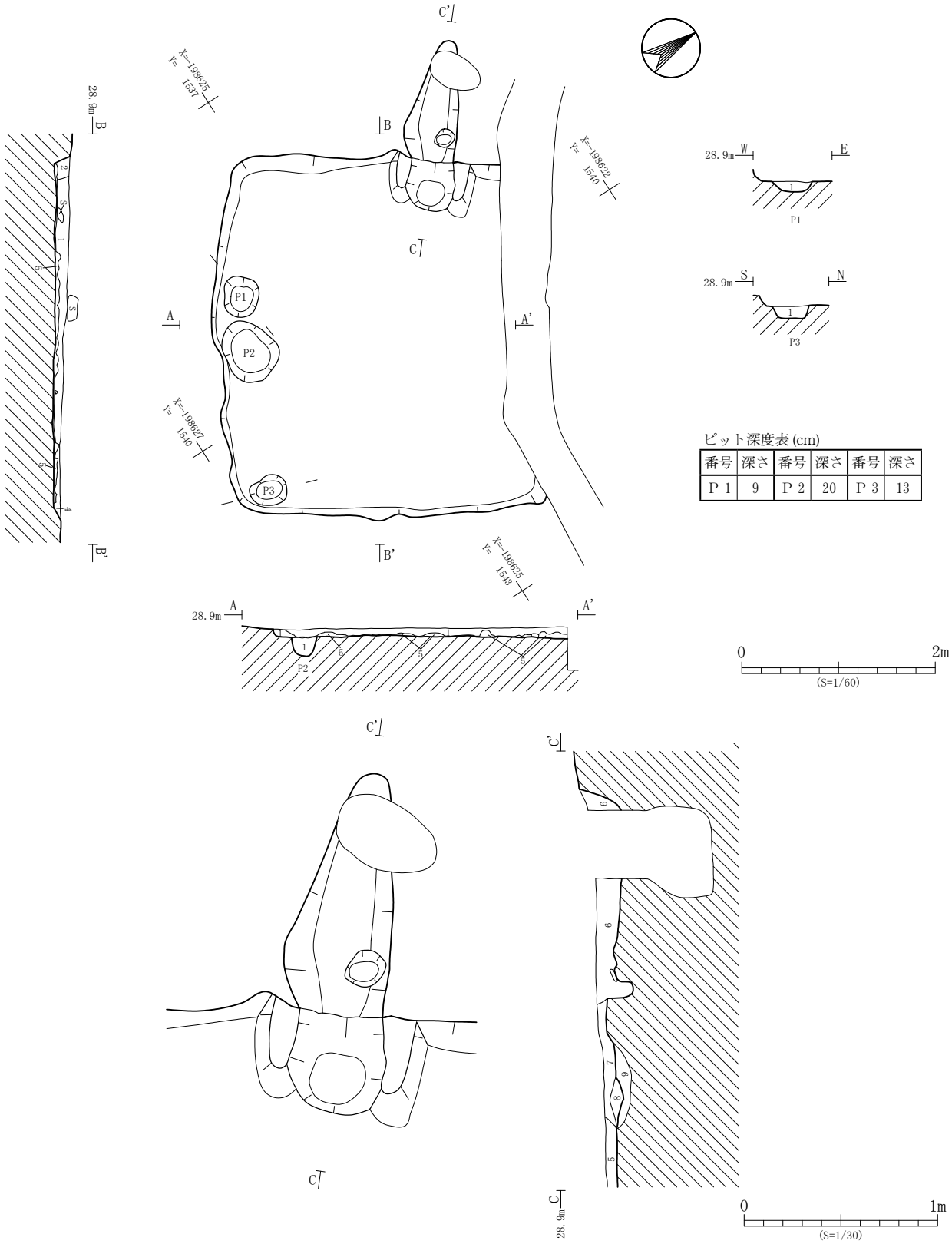
〔壁　面〕東壁の一部以外には残存しておらず、残りの良い部分で15㎝である。

〔床　面〕掘り方埋土上面を床面にしている。ほぼ平坦である。

〔柱　穴〕床面で５個のピットが検出され、Ｐ１～Ｐ４はほぼ直線状に並んでいる。何れも柱痕跡が確認されていることから柱穴と考えられる。また、Ｐ５は検出された位置から、ＳＩ722Ａ竪穴住居跡の貯蔵穴の可能性もある。

〔周　溝〕床面で検出されなかった。

〔カマド〕北壁西寄りで煙道部のみ検出された。煙道部の軸方向はＮ－52°－Ｅであり、住居跡の軸方向よりも東側に傾いて設置されている。燃焼部は撹乱により削平されているが、煙道部は撹乱から先端まで全長160㎝、最大幅



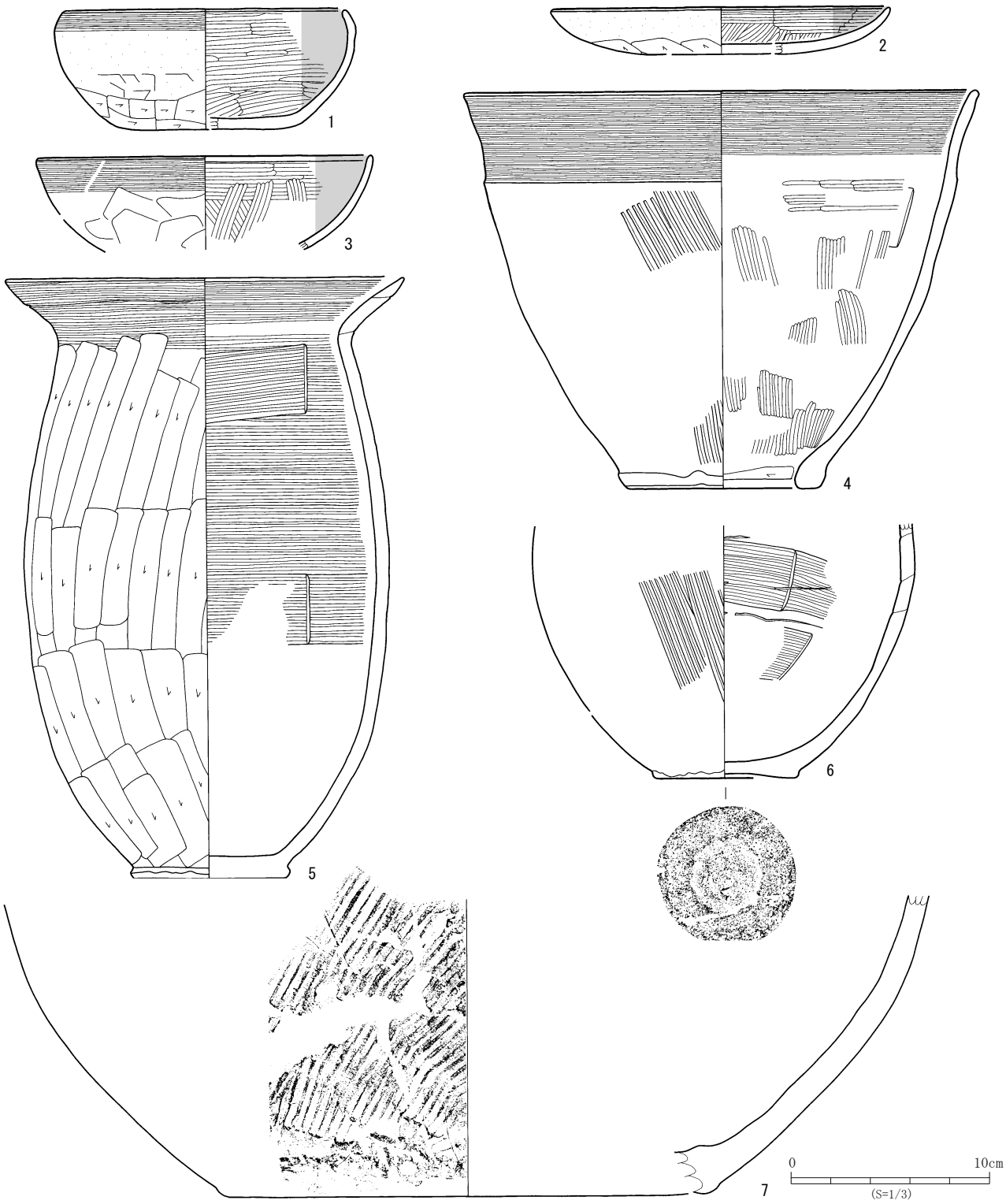
ピット深度表 (cm)

番号	深さ	番号	深さ	番号	深さ
P 1	9	P 2	20	P 3	13

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/3　暗褐	粘土	Ⅴ層粒少量、遺物を多量に含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層斑紋含む。炭化粒・焼土粒を微量含む。
	3	10YR4/4　褐	シルト質粘土	焼土ブロック多量、炭化粒・焼土粒を微量含む。
	4	10YR4/6　褐	粘土	Ⅴ層斑紋主体。炭化粒・焼土粒を微量含む。
	5	10YR3/3　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック・斑紋少量、炭化粒を微量含む。
カマド	6	10YR3/3　暗褐	粘土	下端に淡いⅤ層斑紋集中。焼土粒を少量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド	7	10YR3/4　暗褐	粘土	炭化粒・焼土粒微量、Ⅴ層粒を少量含む。
	8	5YR4/4　にぶい赤褐	粘土	焼土ブロック少量、炭化粒を微量含む。
	9	10YR4/4　褐	シルト質粘土	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
P1	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
P2	1	10YR3/3　暗褐	粘土	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
P3	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。

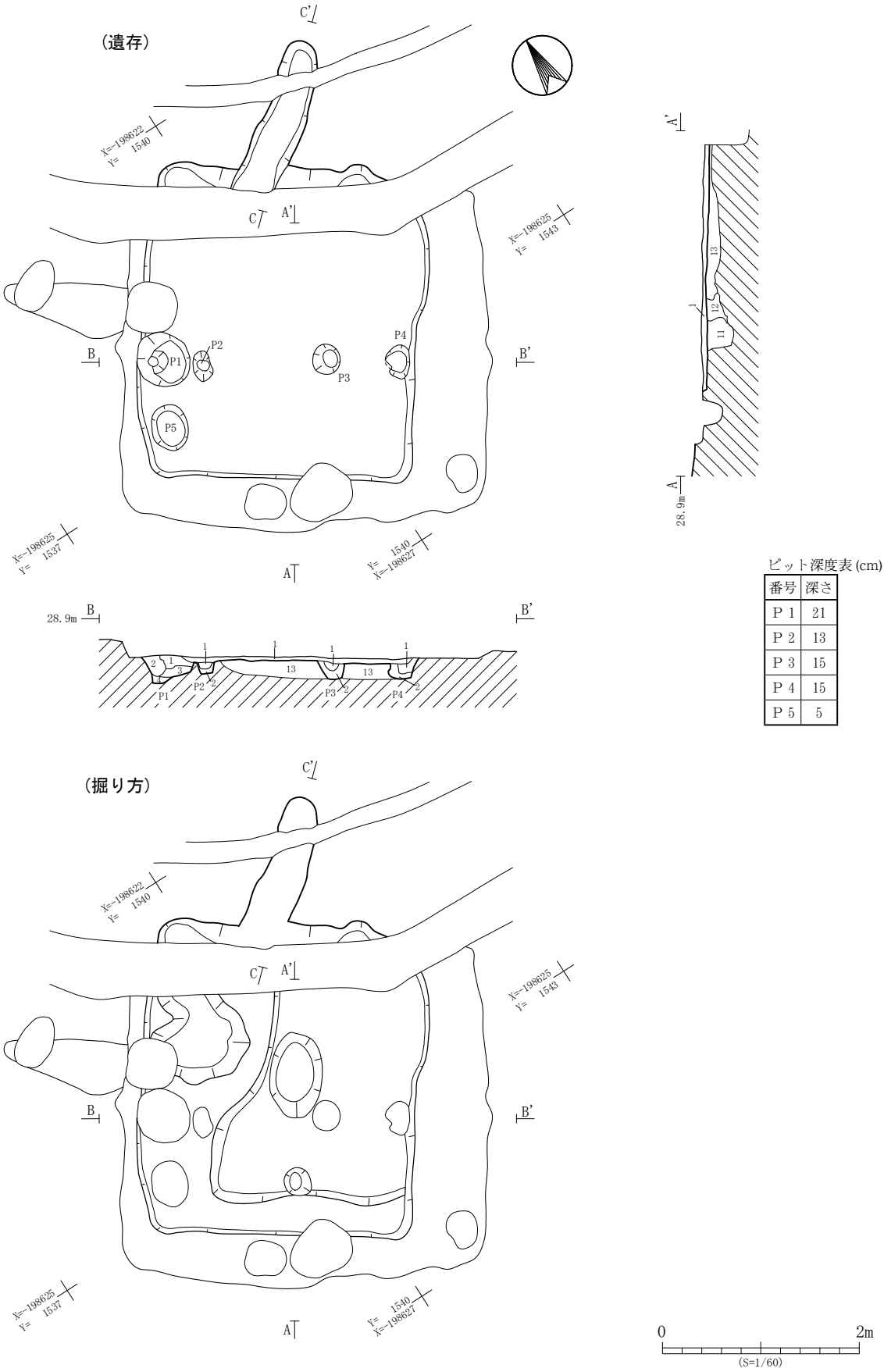
第685図　SI722Ａ竪穴住居跡



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	C-717	堆積土	土師器　坏	(16.8)×〈4.7〉×－	口縁部：ヨコナデ（摩滅）　体部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	-
2	C-718	堆積土	土師器　坏	(17.0)×〈2.3〉×－	口縁部：摩滅　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	258-1
3	C-719	堆積土	土師器　坏	(14.2)×6.0×－	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	258-2
4	C-720	堆積土	土師器　甑	(25.8)×(20.0)×(9.9)	口縁部：ヨコナデ　胴部：ハケメ調整	口縁部：ヨコナデ　胴部：ヘラナデ、端部：ヘラケズリ	－	-
5	C-721	堆積土	土師器　甕	20.1×30.3×(7.7)	口縁部：ヨコナデ　胴部：ヘラケズリ	口縁部：ヨコナデ　胴部：ヘラナデ	－	258-4
6	C-722	堆積土	土師器　甕	－×〈12.7〉×7.1	胴部：ハケメ調整	胴部：ヘラナデ	－	258-3
7	E-707	堆積土	須恵器　甕	－×〈15.0〉×〈24.0〉	胴部：平行タタキ	当て具痕（青海波文）一部残る、指ナデ	－	258-5

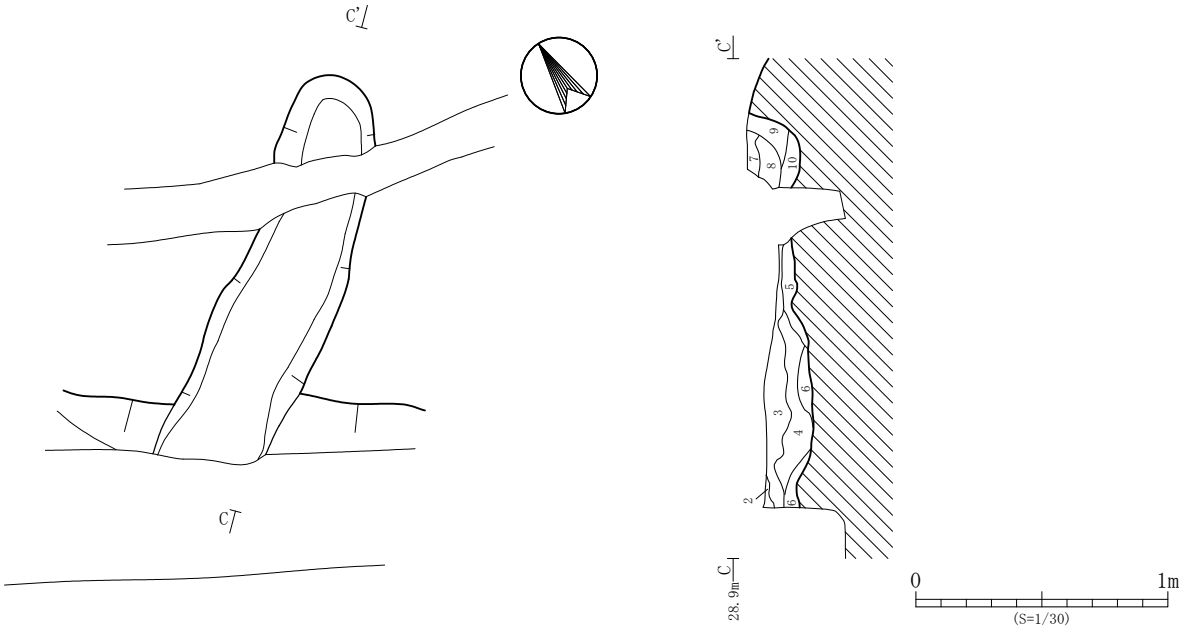
第686図　SI722Ａ竪穴住居跡出土遺物



ピット深度表 (cm)

番号	深さ
P 1	21
P 2	13
P 3	15
P 4	15
P 5	5

第687図　SI722Ｂ竪穴住居跡出土遺物



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
竪穴	1	10YR3/3　暗褐	シルト質粘土	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	2	5YR4/6　赤褐	粘土質シルト	焼土斑紋主体。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土	1層に類似。焼土粒・炭化粒を微量含む。
カマド	4	10YR3/3　暗褐	粘土	炭化粒少量、焼土粒微量、土器片・円礫を含む。
	5	10YR4/4　褐	粘土	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を微量含む。
	6	10YR4/4　褐	粘土	Ⅴ層ブロック・斑紋主体。
	7	10YR4/4　褐	粘土	Ⅴ層ブロック少量、焼土粒・炭化粒を微量含む。
	8	10YR3/3　暗褐	粘土	Ⅴ層粒多量、焼土粒・炭化物を微量含む。
	9	10YR3/4　暗褐	粘土	8層に類似。締まり弱い。
	10	5YR4/4　にぶい赤褐	粘土質シルト	締まり更に弱い。層全体に焼土斑紋を含む。
掘り方	11	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層ブロック・炭化粒多量、焼土粒を少量含む。
	12	10YR3/4　暗褐	シルト質粘土	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒・焼土粒を微量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
掘り方	13	10YR2/3　黒褐	粘土	炭化物少量、焼土粒を微量含む。
P1	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、焼土粒・炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土	Ⅴ層粒を微量含む。
	3	10YR4/4　褐	粘土	Ⅴ層ブロック・斑紋多量、焼土斑紋を少量含む。
	4	10YR4/4　褐	砂	締まり有り、粘性なし。
P2	1	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR5/6　黄褐	粘土	Ⅴ層主体。炭化粒を微量含む。
P3	1	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR5/6　黄褐	粘土	Ⅴ層主体。炭化粒を微量含む。
P4	1	10YR4/4　褐	粘土	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層斑紋主体。炭化粒を微量含む。

第688図　SI722竪穴住居跡カマド

は44㎝であり、先端に向かって若干狭くなっている。

〔その他の施設〕掘り方の中央部分で規模86㎝×52㎝、深さ５㎝の楕円形の落ち込みが認められた。本遺構との関係は不明である。

〔出土遺物〕掘り方内から土師器小片が出土しているが、図化できるものはなかった。

SI724竪穴住居跡（第689図）

〔位置・検出面〕第７次調査３区中央東側のＧ－27・28グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。撹乱によって大半が削平されている。

〔新旧関係〕本遺構と重複する遺構はない。

〔規模・平面形〕撹乱によって削平されていることから規模は不明であるが、北西隅の部分から隅丸方形を基調とするものと考えられる。北壁を基準とした方向はＥ－24°－Ｎである。

〔堆積土〕北西隅の一部で残存しており、暗褐色粘土質シルトの単層である。

〔壁　面〕底面から急な角度で立ち上がる。壁高は北西隅の部分で20㎝である。

〔床　面〕掘り方底面を直接床面にしている。ほぼ平坦である。

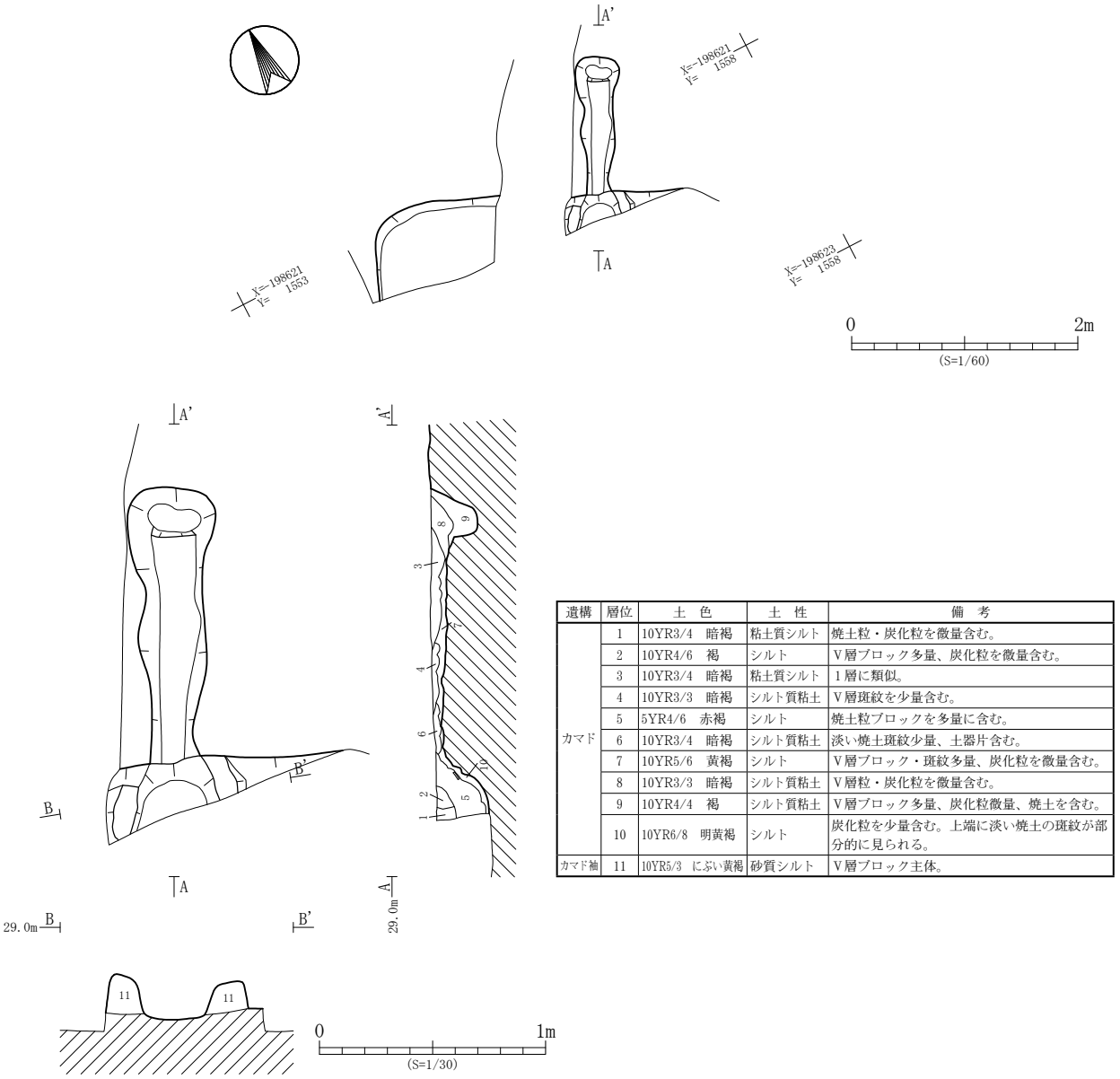
〔柱　穴〕検出されなかった。

〔カマド〕北壁に付設されている。燃焼部、煙道部、煙出しピットが検出された。燃焼部の規模は残存部分で幅72㎝、奥行き62㎝である。燃焼部と煙道部の境には20㎝程の段を有する。煙道部は全長122㎝、最大幅36㎝であり、底面はほぼ平坦である。煙出しピットは36㎝×22㎝の楕円形で深さ20㎝である。

〔周　溝〕検出されなかった。

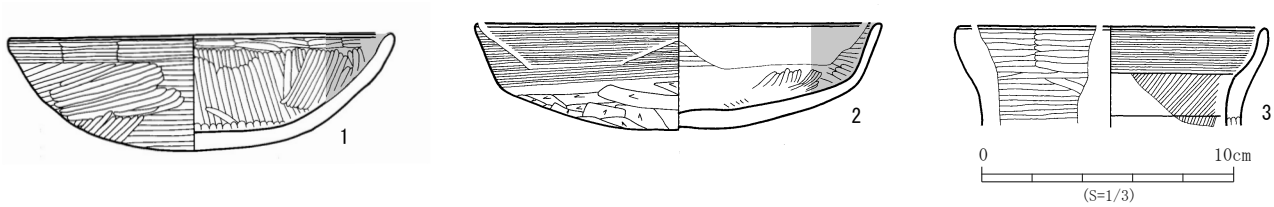
〔その他の施設〕遺構検出部分では検出されなかった。

〔出土遺物〕堆積土中およびカマドから土師器が出土しており、第690図に示した。



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
カマド	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	焼土粒・炭化粒を微量含む。
	2	10YR4/6　褐	シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を微量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	1層に類似。
	4	10YR3/3　暗褐	シルト質粘土	Ⅴ層斑紋を少量含む。
	5	5YR4/6　赤褐	シルト	焼土粒ブロックを多量に含む。
	6	10YR3/4　暗褐	シルト質粘土	淡い焼土斑紋少量、土器片含む。
	7	10YR5/6　黄褐	シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋多量、炭化粒を微量含む。
	8	10YR3/3　暗褐	シルト質粘土	Ⅴ層粒・炭化粒を微量含む。
	9	10YR4/4　褐	シルト質粘土	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒微量、焼土を含む。
	10	10YR6/8　明黄褐	シルト	炭化粒を少量含む。上端に淡い焼土の斑紋が部分的に見られる。
カマド袖	11	10YR5/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック主体。

第689図　SI724竪穴住居跡



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径(cm)	外　面	内　面	備　考	写真図版
1	C-723	堆積土	土師器　坏	15.3×4.5×－	口縁部～底部：ヘラミガキ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	-
2	C-724	堆積土	土師器　坏	(15.9)×4.2×－	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	-
3	C-725	カマド煙道	土師器　坏	(12.0)×〈3.9〉×－	口縁部～体部：ヘラミガキ	口縁部：ヨコナデ　体部：ヘラナデ	－	-

第690図　SI724竪穴住居跡出土遺物

２．土　坑

古代以降の時期に属する土坑は、第６次調査で71基、第７次調査で４基の合計75基が検出された。遺構の検出面は平成15年度確認調査の結果からⅢ層上面と考えられていたが、第６次調査１区中央から東側部分および第７次調査２区以西では後世の削平が大きくおよんでいたことからⅢ・Ⅳ層が確認されず、Ⅴ層で遺構確認作業を行った。なお、本報告では古代以降の遺物が出土した土坑以外に、これらの土坑との平面形態及び堆積土の類似性等を検討した結果、該期のものと判断したものを含んでいる。

以下、各土坑について番号順に説明する。なお、土坑番号については縄文時代のものを含めた各調査次数毎の通し番号であることから、連続性に欠けている。第29～33表のＳＫ一覧表を参照されたい。

SK6006土坑（第691図、図版119）

第６次調査１区中央北寄りのＥ－21グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。北側には隣接してＳＫ6301土坑が存在している。平面形は158㎝×116㎝の楕円形で、長軸方向はＮ－61°－Ｗである。壁は底面からやや急角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。底面が砂礫層であることから凹凸が見られ、東側部分にはテラス状の段を有する。検出面からの深さはテラス面まで26㎝、底面まで36㎝である。堆積土は４層に分層される人為堆積層と見られ、炭化物粒及び焼土粒を含有する３層からは礫とともに土師器がまとまって検出された。出土した土師器坏・甕を第700図に示した。

SK6008土坑（第691図）

第６次調査１区の中央北寄りのＦ－19グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。本遺構周辺にはＳＫ6051土坑の他にも複数の土坑が存在している。北側の一部がピットと重複しており、本遺構が古い。平面形は190㎝×113㎝の不整な楕円形であり、長軸方向は明確ではないがおよそ東西方向と考えられる。底面が砂礫層のため凹凸が認められるがほぼ平坦である。壁はやや急角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。検出面からの深さは26㎝である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は土師器坏・甕が出土しており土師器坏を第700図に示した。

SK6011土坑（第691図、図版119）

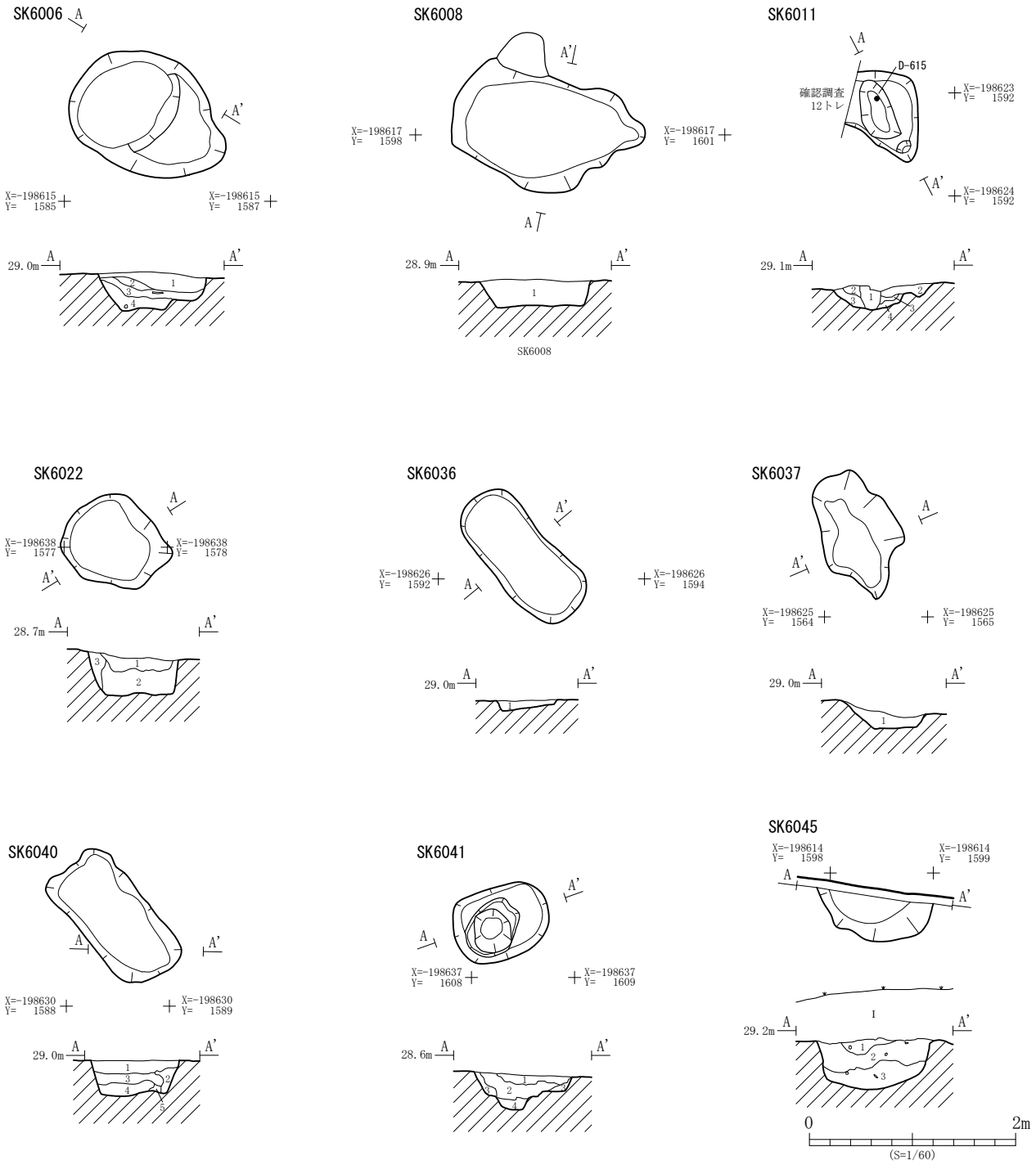
第６次調査１区中央のＧ－20グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。堆積土の１層が柱痕跡状であることから建物跡の存在を考慮して周辺の精査を行ったが、ピットや同規模の遺構も検出されないことから本遺構を土坑と認定するに至った。西側部分は確認調査12トレンチによって削平されている。平面形は南東側が突出しているが残存部の規模で98㎝×76㎝方形を基調とするものと考えられる。底面には楕円形の浅い落ち込みが認められ、検出面から最も深い部分で21㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり断面形はＵ字形である。堆積土は４層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は１層から完形の土師器坏（Ｄ－615）が１点出土しており、第700図に示した。

SK6022土坑（第691図、図版119）

第６次調査１区中央南寄りのＪ－23グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。平面形は97㎝×86㎝の不整形である。底面は若干凹凸が見られるがほぼ平坦で、検出面からの深さは42㎝である。壁は底面からやや急角度で立ち上がり、断面形は箱形である。堆積土は３層に分層され、下層ではⅤ層ブロック・斑紋が主体となる人為堆積層と見られる。遺物は須恵器甕の胴部破片が１点出土している。

SK6036土坑（第691図）

第６次調査１区中央のＨ－20グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。平面形は147㎝×62㎝の隅丸長方形のもので、長軸方向はＮ－42°－Ｗである。底面は南西方向に向かって緩やかに傾斜しており、検出面から最も深い部分までの深さは10㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は出土していない。



SK	層位	土　色	土　性	備　考
6006	1	10YR5/6　黄褐	砂質シルト	焼土ブロック・炭化粒を少量含む。
	2	10YR4/6　褐	砂質シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。
	3	10YR3/2　黒褐	砂質シルト	Ⅴ層粒を微量含む。炭化粒・焼土粒を少量含む。
	4	10YR6/4 にぶい黄橙	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
6008	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
6011	1	10YR3/1　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。上層から土師器坏出土。
	2	10YR3/2　黒褐	シルト	炭化粒を少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	シルト	Ⅴ層斑紋含む。
	4	10YR5/6　明黄褐	シルト	Ⅴ層主体。
6022	1	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	炭化粒を多量に含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	下半にⅤ層斑紋集中。炭化粒多量、焼土粒を微量含む。
	3	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
6036	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
6037	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
6040	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒極を微量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	5	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層主体。
6041	1	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋を層全体に含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋及びブロックを層全体に含む。
	3	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層主体。
	4	10YR4/4　褐	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。
6045	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋が層全体に見られる。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	小礫含む。

第691図　古代以降土坑（1）

SK6037土坑（第691図）

第６次調査１区西側中央のＧ－26グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。南東側にＳＩ603竪穴住居跡が存在する。平面形は127㎝×80㎝の不整形で、長軸方向はＮ－24°－Ｗである。底面は平坦で、検出面からの深さは27㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は出土していない。

SK6040土坑（第691図）

第６次調査１区中央のＨ－21グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。北東に位置するＳＫ6036土坑とは規模及び長軸方向において類似が認められる。平面形は135㎝×66㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－40°－Ｗである。底面はほぼ平坦であり、検出面からの深さは32㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は５層に分層される。遺物は縄文土器が出土した。

SK6041土坑（第691図、図版34・119）

第６次調査１区東側南寄りのＪ－17グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。平面形は95㎝×65㎝の楕円形であり、長軸方向はＮ－70°－Ｅである。検出面からの深さは25㎝である。底面の西側部分には平面形が楕円形状の規模42㎝×35㎝のピットがあり、土坑底面からの深さは14㎝である。壁は底面からやや開き気味に立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は４層に分層され、Ⅴ層ブロックを含む人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6045土坑（第691図）

第６次調査１区中央北寄りのＥ－19グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。南側にはＳＫ6084土坑の他、複数の土坑が存在している。北側が調査区外のために全体は不明であるが、検出された部分から平面形は円形または楕円形を基調とするものと考えられる。規模は壁側で最長113㎝、検出面からの深さは47㎝である。砂礫層を掘り込んで底面としているために凹凸が見られ、中央部分が緩やかに落ち込んでいる。壁は底面からやや開き気味に立ち上り、断面形はＵ字形である。堆積土は暗褐色系の土層で３層に分層される。遺物は出土していない。

SK6051土坑（第692図、図版120）

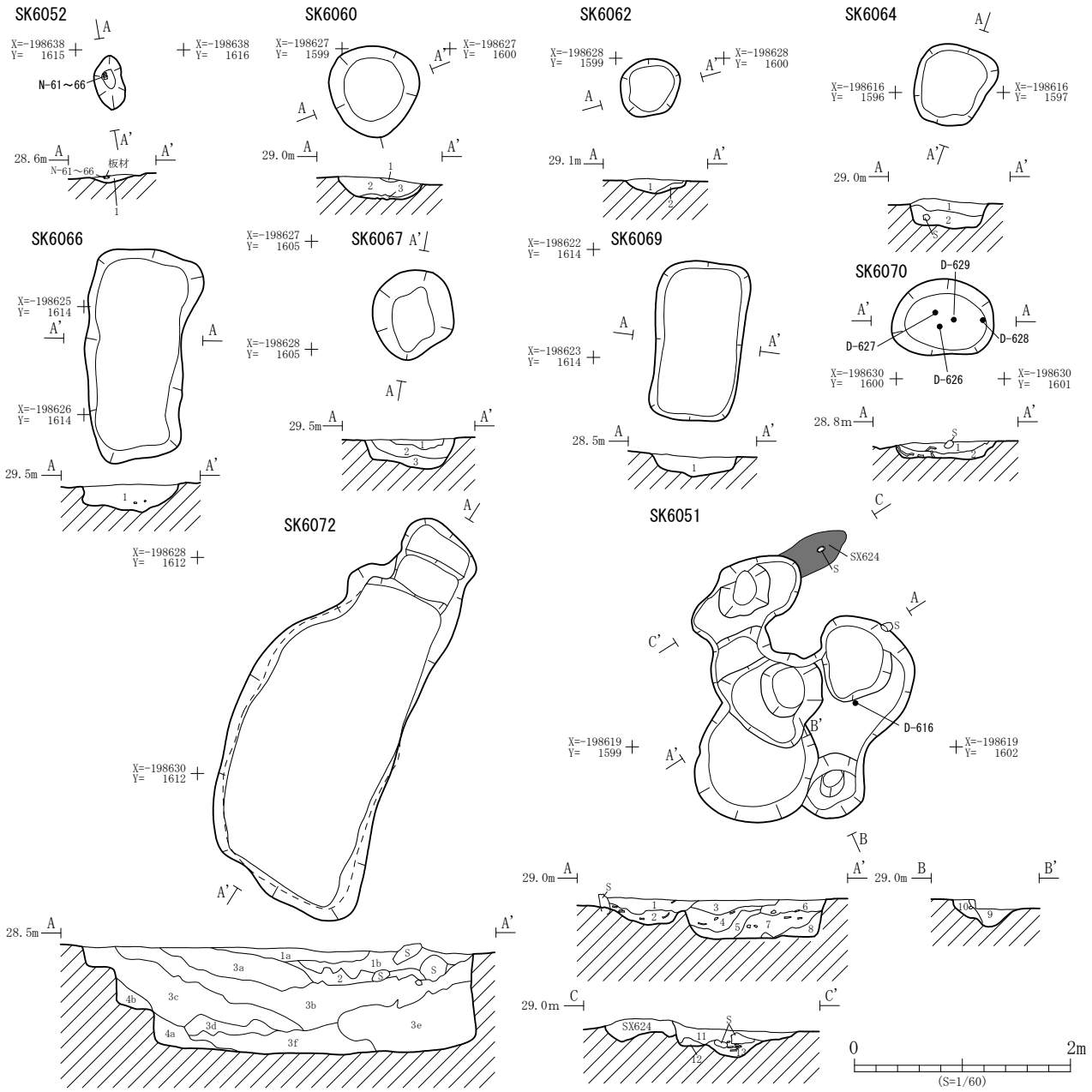
第６次調査１区中央北寄りのＦ－18・19グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＸ624焼土跡と重複し、本遺構が新しい。平面形は複数の土坑が連結したような不整形のものであり、東西200㎝、南北245㎝の範囲に広がる。土層断面の観察から同一位置において複数回の掘り直しがあったものと考えられる。底面には凹凸が認められ、検出面から最も深い部分までの深さは36㎝である。壁は底面から外側に開いて立ち上がり、断面形は逆台形～皿形である。堆積土にはⅤ層ブロックと焼土の混入が認められ、人為堆積層と見られる。遺物は土師器坏・甕が出土しており第701図に示した。その内、土師器坏（Ｄ－616）の体部外面には墨書が施されている。

SK6052土坑（第692図）

第６次調査２区西側中央のＪ－15グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。木片及び癒着した状態の寛永通宝が検出されたことから近世の墓壙と判断した。上部の大部分が削平されているため遺存状態が悪く、底面付近の一部が検出されたものと考えられる。検出時の平面形は44㎝×26㎝の楕円形を基調としたものであり、底面までの深さは７㎝である。底面から壁は緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は黒褐色粘土質シルトの単層である。遺物は寛永通宝が６枚（Ｎ-61～66）出土している。

SK6060土坑（第692図、図版120）

第６次調査１区中央のＨ－19グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。南側にはＳＫ6062・6070土坑が存在する。平面形は径83～85㎝の円形で、検出面からの深さは18㎝である。断面では底面に微細な凹凸が見られるがほぼ平坦である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層され、焼土ブロックを多量に含む人為堆積層と見られる。遺物は土師器坏・甕が出土しており、第701図に示した。



SK	層位	土　色	土　性	備　考
6051	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒及び焼土粒を微量含む。
	2	10YR2/2　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒斑紋が層全体に見られる。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	焼土粒極を微量含む。
	4	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	締まり有し、粘性強い。
	5	10YR4/2　灰黄褐	粘土質シルト	層下位にⅤ層ブロック・斑紋を含む。
	6	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。焼土粒多量。
	7	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	締まり・粘性やや弱い。Ⅴ層粒・ブロック層全体に見られる。
	8	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	9	10YR2/2　黒褐	粘土質シルト	締まり強く、粘性有する。
	10	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	11	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒を微量含む。
	12	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋上位に集中。小砂利含む。
	13	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒少量、土器片・砂利を含む。
6052	1	10YR2/2　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック見られる。
6060	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	焼土粒少量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	焼土ブロックを多量に含む。焼土斑紋多い。
	3	10YR4/4　褐	粘土質シルト	焼土粒少量、炭化粒を微量含む。Ⅴ層斑紋有り。
6062	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	焼土ブロックを多量に含む。
	2	10YR4/4　褐	粘土質シルト	焼土粒少量、炭化粒を微量含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
6064	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒・焼土粒を微量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。小礫含む。
6066	1	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック下位に集中。炭化粒を少量含む。
6067	1	10YR3/3　暗褐	シルト	炭化粒を微量含む。
	2	10YR4/4　褐	シルト	層全体が淡いⅤ層斑紋含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。
6069	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋を少量含む。
6070	1	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒を少量含む。
	2	10YR2/2　黒褐	粘土質シルト	炭化粒多量、焼土ブロック多量含む。
6072	1a	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒微量、Ⅴ層ブロックを含む。
	1b	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	3a	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	炭化粒少量、Ⅴ層ブロックを含む。
	3b	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	3c	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒を多量に含む。
	3d	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	3e	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	3f	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	4a	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒多量、Ⅴ層ブロックを少量含む。
	4b	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。炭化粒を多量に含む。

第692図　古代以降土坑（２）

SK6062土坑（第692図）

第６次調査１区中央のＨ－19グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北側にＳＫ6060土坑、南東側にＳＫ6070土坑が存在する。平面形は53～59㎝の円形で、検出面からの深さは13㎝である。壁は底面から緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層され、焼土ブロックを多量に含む。ＳＫ6060土坑の堆積土と同様に人為堆積層と考えられる。遺物は土師器小片が出土している。

SK6064土坑（第692図）

第６次調査１区中央北寄りのＦ－19グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。本遺構の周辺にはＳＫ6045・6080・6084土坑が存在している。平面形は75～83㎝のやや不整形のもので、検出面からの深さは28㎝である。底面には若干の凹凸が見られるがほぼ平坦で、壁は底面からやや急角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土は焼土粒と炭化物を含み２層に分層される。遺物は出土していない。

SK6066土坑（第692図、図版119）

第６次調査１区東側中央のＨ－16グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北側にＳＫ6069土坑、南側にＳＫ6072土坑が存在する。平面形は北東側の一部が若干膨んでいるが、193㎝×90㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－５°－Ｅである。底面には凹凸が見られ、検出面からの深さは26㎝である。底面からの壁の立ち上がりは東側の一部は急角度であるが、その他は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は黒褐色粘土質シルトの単層で人為堆積層と見られる。遺物は大堀相馬半球碗が１点出土している。

SK6067土坑（第692図、図版119）

第６次調査１区東側中央のＨ－17グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は74㎝×84㎝の不整形で、検出面からの深さは28㎝である。底面には凹凸が認められ、北側に向かって緩やかに落ち込んでいる。壁は底面から緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層される。遺物は出土していない。

SK6069土坑（第692図、図版119）

第６次調査１区東側北寄りのＧ－15・16グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。南側にはＳＫ6066・6072土坑が存在している。平面形は147㎝×81㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－５°－Ｅである。底面は中央部分に向かって緩やかに落ち込み、検出面からの深さは22㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層で人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6070土坑（第692図、図版120）

第６次調査１区東側中央のＨ－18グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北東側にはＳＫ6060・6062土坑が存在する。平面形は94㎝×70㎝の楕円形である。底面には凹凸が認められるがほぼ平坦で、検出面からの深さは17㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土はＳＫ6060土坑・6062土坑同様に焼土ブロックを多量に含む人為堆積層と考えられ、２層に分層される。遺物は底面中央付近から礫とともに土師器坏・甕がまとまって出土しており、第702図に示した。土師器坏（Ｄ－627）の外面体部～底部には墨書が施されている。

SK6071土坑（第693図）

第６次調査１区東側北寄りのＦ－18グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。南西側にはＳＫ6051土坑、東側にはＳＫ6979土坑が存在する。平面形は165㎝×98㎝の楕円形を基調とするやや不整形なものであり、長軸方向はＮ－28°－Ｅである。底面は南側に向かって緩やかに傾斜し、検出面からの深さは33㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は土師器甕が出土しており、第702図に示した。

SK6072土坑（第692図、図版121）

第６次調査１区東側中央のＨ・Ｉ－16グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。北側にＳＫ6066・6069土坑が存在する。平面形は372㎝×157㎝の西側が丸みを持つ隅丸長方形で、北東側の壁には階段が張り出して構築されている。形態や構造からいわゆる「土倉」と考えられる。長軸方向はＮ－25°－Ｅである。階段部の規模は75㎝×68㎝であり、一段分の高さは、検出面まで削平されていることを考慮すると２段目までの30～35㎝ほどと考えられる。底面には凹凸が認められるがほぼ平坦で、堅く締まり硬化していた。検出面からの深さは100㎝である。壁は底面からほぼ垂直または一部オーバーハングしながら立ち上がり、断面形は箱形である。堆積土は４層に大別され、Ⅴ層ブロックを多量に含む人為堆積層である。ブロックの大きさや炭化物粒の含有量により更に細分される。遺物は染付磁器、施釉陶器が出土しており、第705図に示した。

SK6074土坑（第693図）

第６次調査２区西側北寄りのＨ－15グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。東側にはＳＫ6092土坑をはじめとする複数の土坑が存在している。平面形は径78～84㎝の円形を基調とするものである。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは22㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は土師器坏の小片１点が出土している。

SK6079土坑（第693図）

第６次調査１区東側北寄りのＦ－18グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。西側にはＳＫ6071土坑が存在している。平面形は直径約100㎝の円形である。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは19㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は縄文土器の小片が出土している。

SK6080土坑（第693図）

第６次調査１区東側北寄りのＦ－19グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＫ6084土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は現存する部分で84㎝×78㎝の隅丸方形を基調とするものである。底面は平坦で、検出面からの深さは22㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層され、焼土ブロックを含む人為堆積層と考えられる。遺物は土師器坏・甕が出土しており、第702図に坏１点を示した。

SK6082土坑（第693図）

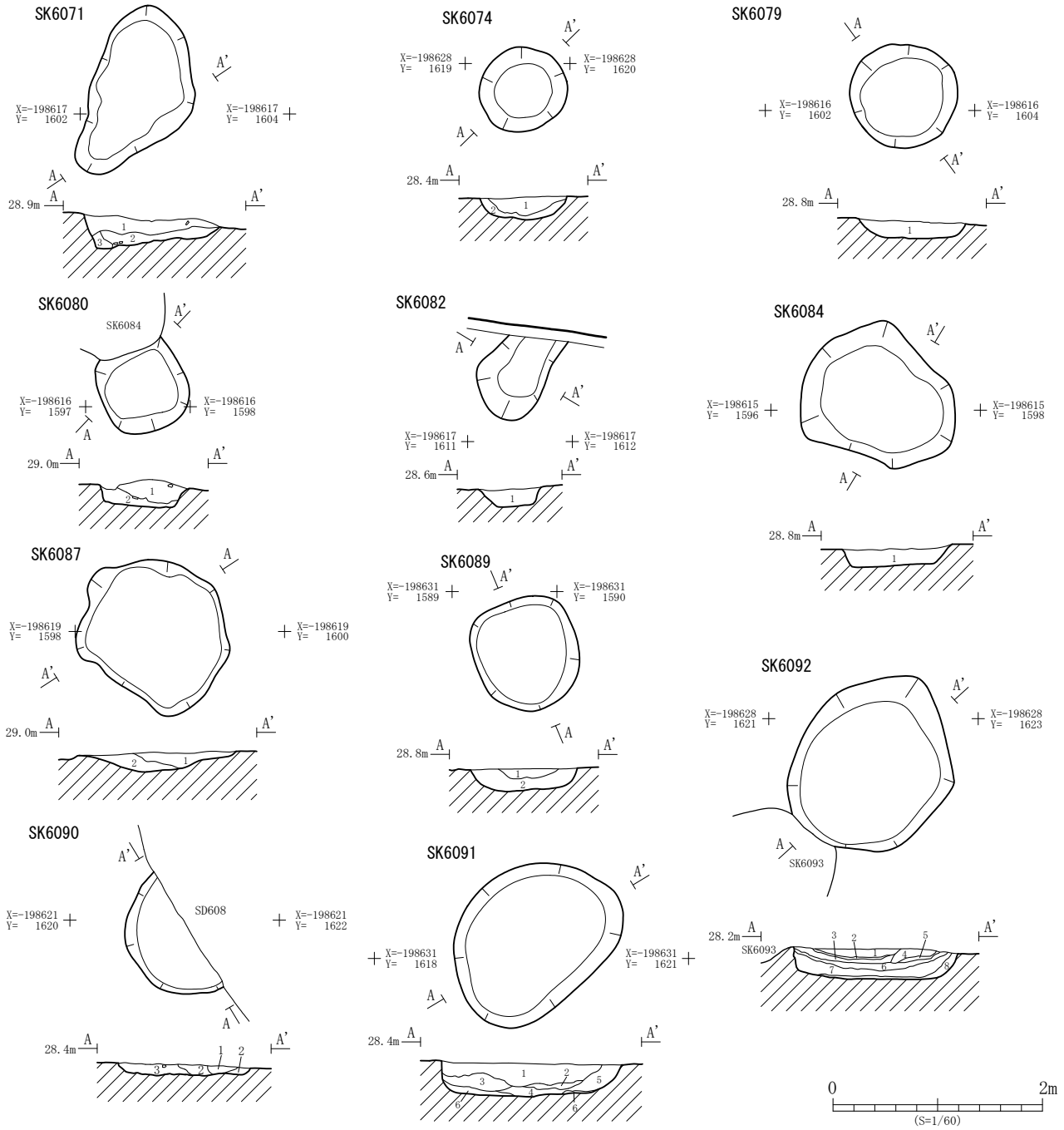
第６次調査１区東側北寄りのＦ－16グリッドに位置する。北側が調査区外のため全体は不明であるが、検出された部分から85㎝以上×60㎝の楕円形を基調とするものと考えられる。長軸方向はＮ－31°－Ｅである。底面はほぼ平坦で検出面からの深さは20㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は出土していない。

SK6084土坑（第693図）

第６次調査１区中央北寄りのＥ－19グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。北側にＳＫ6045土坑、南側にＳＫ6064土坑が存在している。また、ＳＫ6080土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。平面形は155㎝×130㎝の楕円形を基調とするが、西側部分がやや膨らんでいるために不整形である。長軸方向はＮ－55°－Ｗである。底面は平坦であり、検出面からの深さは22㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は出土していない。

SK6087土坑（第693図）

第６次調査１区中央北寄りのＦ－19グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。平面形は151㎝×128㎝の北東壁の一部がやや張り出した形の隅丸方形を基調とするものである。南西側の一辺を長軸とした方向はＮ－50°－Ｗである。底面は中央部分が緩やかに落ち込み、検出面からの深さは最も深い部分で18㎝である。壁は底面から緩やか



SK	層位	土　色	土　性	備　考
6071	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒少量、焼土粒を微量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒を微量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック含む。
6074	1	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。
6079	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量、砂利を少量含む。
6080	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒少量、焼土ブロックを含む。
	2	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	小砂利少量、炭化粒を微量含む。
6082	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
6084	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
6087	1	10YR2/2　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
6089	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
6090	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒微量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
6090	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
6091	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック含む。炭化粒少量、
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	5	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック少量、炭化粒を微量含む。
	6	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を微量含む。
6092	1	10YR3/3　暗褐	粘土	炭化粒・焼土粒極を微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土	1層に類似。色調がやや灰色味がかる。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土	Ⅴ層粒を少量含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	5	10YR4/2　灰黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量、炭化粒を少量含む。
	6	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	粒子きめ細かい。
	7	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋含む。炭化粒微量、
	8	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。

第693図　古代以降土坑（３）

に立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は縄文土器の小片が出土している。

SK6089土坑（第693図、図版122）

第６次調査１区中央南寄りのＩ－20・21グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。東側にはＳＫ6051土坑が存在している。平面形は100～107㎝の円形を基調とするものである。底面は平坦で､検出面からの深さは22㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土はレンズ状の堆積を示し、２層に分層される。遺物は出土していない。

SK6090土坑（第693図）

第６次調査２区西側北寄りのＧ－14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＤ608溝跡と重複関係にあり、本遺構が古く、およそ東側半分が削平されている。残存する部分から平面形は径120㎝の円形を基調とするものと推測され、検出面からの深さは12㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層される。遺物は出土していない。

SK6091土坑（第693図、図版122）

第６次調査２区西側中央のＩ－15グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。隣接して北東側にＳＫ6093土坑、南西側にＳＫ6144土坑が存在する。平面形は173㎝×132㎝の楕円形で、長軸方向はＮ－49°－Ｅである。底面はほぼ平坦で検出面からの深さは34㎝である。壁は底面から開き気味に立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は６層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は土師器坏の小片１点、大堀相馬産の皿１点が出土している。

SK6092土坑（第693図、図版122）

第６次調査２区西側北寄りのＨ－14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。隣接して北東側にＳＫ6141土坑、南西側にＳＫ6093土坑が存在する。ＳＫ6104土坑とは重複関係にあり、本遺構の方が新しい。平面形は180㎝×145㎝の楕円形を基調としたもので、長軸方向はＮ－45°－Ｅである。底面は平坦で、検出面からの深さは30㎝である。壁は緩やかに開いて立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は８層に分層され、レンズ状の堆積を示す。遺物は土師器・須恵器の小片が出土している。

SK6093土坑（第694図、図版122）

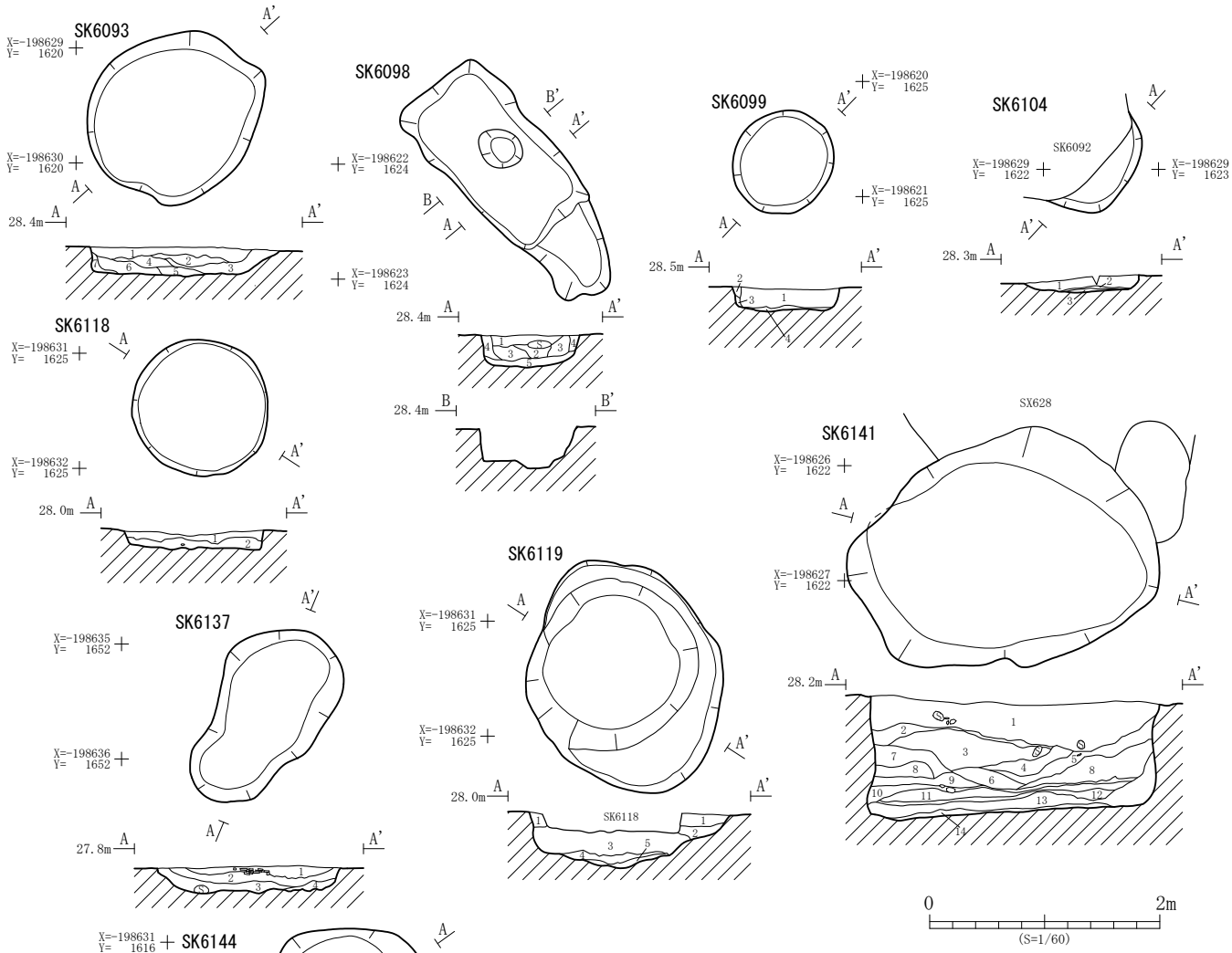
第６次調査２区西側北寄りのＨ－14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。隣接して北東側にＳＫ6092土坑、南西側にＳＫ6091土坑が存在する。平面形は164㎝×141㎝の楕円形を基調とするもので、長軸方向はＮ－56°－Ｅである。底面は平坦で、検出面からの深さは26㎝である。壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は７層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6098土坑（第694図、図版122）

第６次調査２区西側北寄りのＧ－13グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。北西側にはＳＫ6099土坑が存在する。平面形は32㎝×88㎝の長方形を基調とするもので、南東側にテラス状の段を有する。長軸方向はＮ－40°－Ｗである。底面は平坦で、検出面からテラス面までの深さは10㎝、底面まででは29㎝である。また、底面の中央部分には41㎝×34㎝の円形の小ピットが存在し、底面からの深さは７㎝である。壁の立ち上がりは底面からやや急な角度で立ち上がり、断面形は箱形である。堆積土は５層に分層され、人為堆積層と見られる。土坑中央付近からは礫が検出された。遺物は須恵器甕の小片が１点出土している。

SK6099土坑（第694図）

第６次調査２区西側北寄りのＧ－14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。南東側にはＳＫ6098土坑が存在する。平面形は85～93㎝の円形である。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは22㎝である。壁はほぼ垂直に立ち上がって断面形は箱形である。堆積土は４層に分層される。遺物は肥前系磁器が出土している。



SK	層位	土　色	土　性	備　　考
6093	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒多量、焼土粒微量、Ⅴ層ブロックを含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	１層に類似。Ⅴ層粒を少量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	灰色粘土粒多量、炭化粒少量、焼土ブロック含む。
	4	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	焼土ブロック主体。炭化粒を少量含む。
	5	10YR4/2　灰黄褐	粘土質シルト	灰色粘土主体。炭化粒・Ⅴ層粒少量、焼土粒を微量含む。
	6	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒少量、Ⅴ層ブロック含む。
	7	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量、炭化粒を少量含む。
6098	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。
	3	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	5	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
6099	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。上面に灰色砂が３cm 厚で見られる。
6104	1	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	締まり・粘性弱い。粒子きめ細かく均質な層。

SK	層位	土　色	土　性	備　　考
6104	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
6118	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	2	10YR4/1　褐灰	粘土	炭化粒多量、焼土粒を微量含む。
6119	1	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	3	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
6119	4	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒少量、暗褐色ブロックを含む。灰色砂がラミナ状に見られる。
	5	10YR4/4　褐	砂	炭化粒を少量含む。灰色粘土ラミナ状に見られる。
6137	1	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック主体。炭化粒を多量に含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒を少量含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層斑紋主体。炭化粒を少量含む。
6141	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒少量含む。
	4	10YR4/2　灰黄褐	シルト	細砂含む。ラミナ状堆積見られる。
	5	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック少量含む。
	6	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒少量含む。
	7	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋・ブロック主体。
	8	10YR4/3　にぶい黄褐	シルト	Ⅴ層ブロック主体。
	9	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック少量含む。
	10	10YR4/3　にぶい黄褐	シルト	Ⅴ層ブロック多量含む。
	11	10YR4/3　にぶい黄褐	シルト	Ⅴ層主体。
	12	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	黒灰色シルトとⅤ層，ラミナ状に堆積。
	13	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層主体。
	14	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック少量含む。
6144	1	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	礫・貝殻多数含む。
	2	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒少量、焼土粒を微量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を多量に含む。
	5	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック多量含む。
	6	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋主体。

第694図　古代以降土坑（４）

SK6104土坑（第694図、図版122）

第６次調査２区西側北寄りのＨ－14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＫ6092土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は検出された部分から径98㎝以上の円形または楕円形を基調とするものと考えられる。底面は平坦で、検出面からの深さは14㎝である。壁は緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は３層に分層される。遺物は出土していない。

SK6118土坑（第694図、図版123）

第６次調査２区西側中央のＩ－13グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＫ6119土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。平面形は径120㎝の円形である。底面は平坦で、検出面からの深さは17㎝である。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形は箱形である。堆積土は２層に分層される。遺物は肥前系磁器の皿・蓋物が出土している。

SK6119土坑（第694図、図版123）

第６次調査２区西側中央のＩ－13グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＫ6118土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は211㎝×170㎝の楕円形である。底面には凹凸が見られ中央に向かって擂り鉢状に落ち込んでいる。中央部分での検出面からの深さは49㎝である。壁は緩やかな角度で立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は５層に分層される。遺物は出土していない。

SK6137土坑（第694図、図版123）

第６次調査２区東側中央のＪ－８グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。隣接して北側にはＳＫ6318土坑、東側にはＳＫ6308土坑が存在する。平面形は169㎝×103㎝の楕円形を基調とするもので、長軸方向はＮ－32°－Ｅである。底面に凹凸が見られるがほぼ平坦であり、検出面からの深さは22㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層され、Ⅴ層ブロックを含む人為堆積層と見られる。遺物は土師器坏・甕、須恵器壷が出土しているが小片のため図化出来るものはなかった。

SK6141土坑（第694図、図版123）

第６次調査２区西側北寄りのＨ－14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。周辺にはSK6092土坑をはじめ多くの古代以降の土坑が存在している。ＳＸ628性格不明遺構と重複し、本遺構が古い。平面形は257㎝×197㎝の東西方向に伸びる不整楕円形である。底面は平坦で、検出面からの深さは108㎝である。壁は一部オーバーハングしながら立ち上がり、断面形は円筒形である。堆積土は14層に分層され、下層部分ではラミナ状の堆積が認められた。また上層からは多数の礫が検出されている。遺物は陶磁器類が出土しており、近世以降の所産と考えられる。

SK6144土坑（第694図、図版123）

第６次調査２区西側中央のＩ－15グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。東側にはＳＫ6091土坑が存在している。平面形は221㎝×158㎝の楕円形を基調としたものであり、長軸方向はＮ－64°－Ｅである。底面には凹凸があるがほぼ平坦で、検出面からの深さは38㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土は５層に分層され、Ⅴ層ブロックを含む人為堆積層と見られる。遺物は施釉陶器、染付磁器が出土しており、第704図に示した。

SK6151土坑（第695図）

第６次調査２区東側南端のＭ－９グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＫ6238土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。平面形は156㎝×137㎝のやや不整な楕円形で、長軸方向はＮ－54°－Ｅである。底面は中央部分が緩やかに落ち込んでおり、検出面からの深さは25㎝である。壁は底面から外側に向かって緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層される。遺物は大堀相馬産の碗が出土している。

SK6194土坑（第695図、図版128）

第６次調査２区西側北寄りのＧ・Ｈ－14グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。本遺構周辺ではＳＫ6141土坑を始めとする多くの古代以降の土坑が存在している。平面形は166㎝×132㎝の楕円形で、長軸方向はＮ－40°－Ｅである。底面は中央部分に向かって緩やかに落ち込み、検出面からの深さは37㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は５層に分層され、人為堆積層と見られる。４～５層からは礫がまとまって検出された。遺物は完形品の施釉陶器碗が１点出土しており、第704図に示した。

SK6195土坑（第695図、図版123）

第６次調査２区西側北寄りのＧ－14グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。周辺にはＳＫ6194土坑をはじめとする多くの古代以降の土坑が存在している。ＳＤ607溝跡、ＳＫ6228土坑と重複関係にあり、ＳＤ607溝跡よりも本遺構が古く、ＳＫ6228土坑よりも新しい。北側部分が遺構の重複によって削平されているが平面形は残存する部分で139㎝×80㎝の楕円形で、長軸方向はＮ－40°－Ｅである。底面はほぼ平坦であり、検出面からの深さは66㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土は不明である。遺物は須恵器坏・甕・壷が出土しており、第702図に須恵器甕・壷を示した。

SK6197土坑（第695図）

第６次調査中央南寄りのＫ－12グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は132㎝×108㎝の楕円形で、長軸方向はＮ－55°－Ｗである。底面は南側に向かって緩やかに低くなっており、検出面からの深さは27㎝である。壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層される。遺物は出土していない。

SK6199土坑（第695図、図版123）

第６次調査２区西側南寄りのＪ・Ｋ－15グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は160㎝×121㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－43°－Ｗである。底面は平坦で、検出面からの深さは34㎝である。壁は底面からやや急な角度で立ち上がり、断面形は台形である。堆積土は８層に分層される。遺物は大堀相馬産半球碗、肥前系磁器広東碗が出土した。

SK6228土坑（第695図）

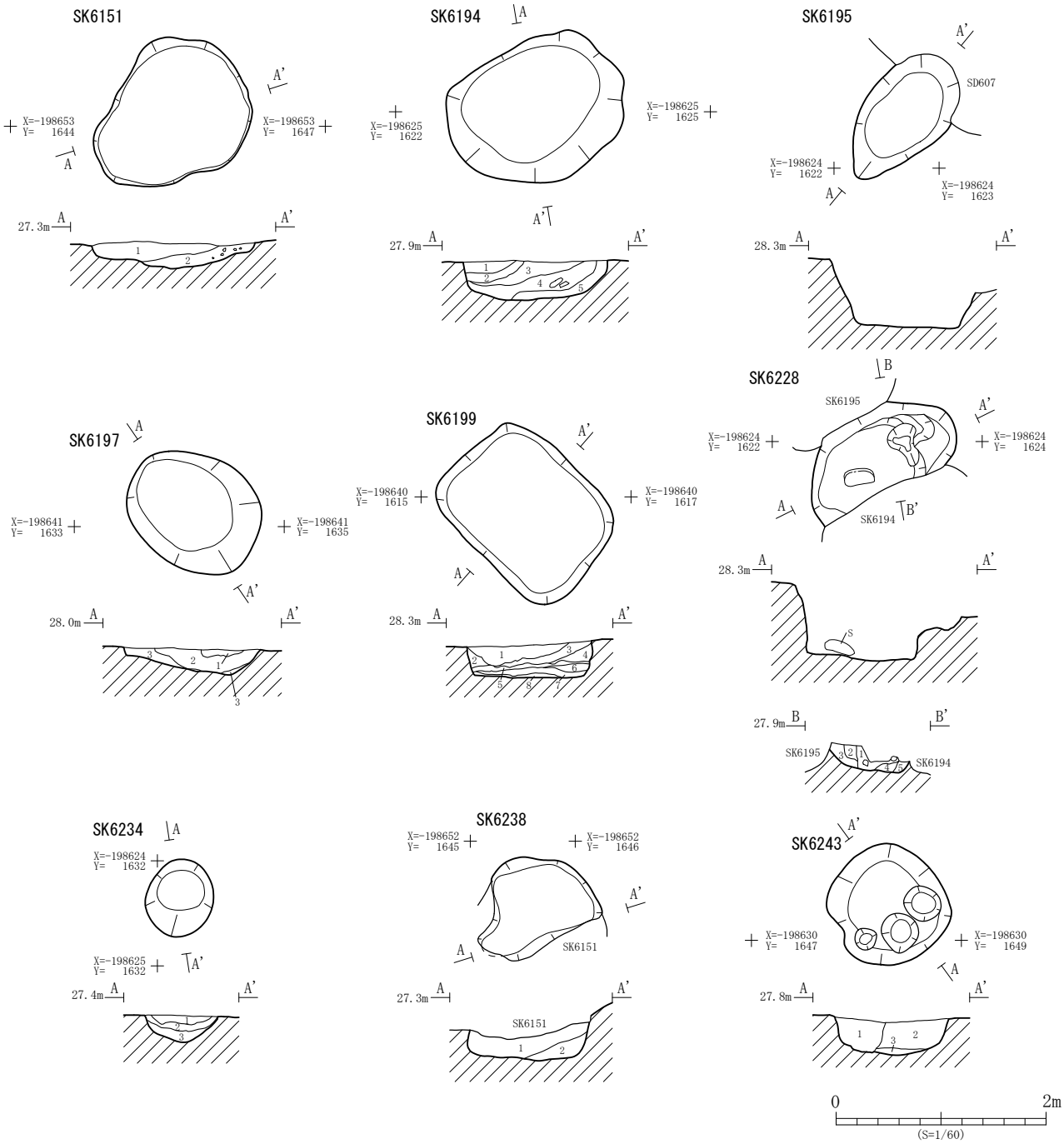
第６次調査２区西側北寄りのＧ－14グリッドに位置し、ＳＸ628性格不明遺構、ＳＫ6194・6195土坑と重複関係にあり、本遺構が最も古い。平面形は157㎝×73㎝の楕円形を基調としたもので、長軸方向はＮ－56°－Ｅである。底面はほぼ平坦であり、検出面からの深さは73㎝である。壁は底面から急な角度で立ち上がり断面形は円筒形であるが、遺構の東側には段を有する。堆積土は４層に分層され、人為堆積層と見られる。底面からは直径30㎝の礫が検出された。遺物は出土していない。

SK6234土坑（第695図）

第６次調査２区中央北寄りのＧ－12グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は74㎝×64㎝の円形である。底面は中央部分に向かって緩やかに落ち込み、検出面からの深さは25㎝である。壁は緩やかに立ち上がり断面形はＵ字形である。堆積土は３層に分層される。遺物は出土していない。

SK6238土坑（第695図）

第６次調査２区東側南寄りのＭ－９グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。ＳＫ6151土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は116㎝×97㎝の南東部分がやや突出した不整な楕円形である。底面は平坦で検出面からの深さは43㎝である。壁はやや開き気味に立ち上がり、断面形は円筒形である。堆積土は２層に分層される。遺物は出土していない。



SK	層位	土　色	土　性	備　考
6151	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層含む。炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層を少量含む。
6194	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	3	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	4	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	5	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
6197	1	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/3　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒少量、焼土粒を微量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層粒多量、炭化粒を少量含む。
6199	1	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層粒少量、焼土粒を微量含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層斑紋主体。Ⅴ層ブロック含む。
	5	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
	6	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒を少量含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
6199	7	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	8	10YR3/3　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
6228	1	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・ブロックを少量含む。
	5	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
6234	1	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層斑紋含む。炭化粒を微量含む。
6238	1	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋少量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR6/6　明黄褐	砂質シルト	Ⅴ層斑紋主体。
6243	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒を少量含む。
	2	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	3	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。

第695図　古代以降土坑（5）

SK6242土坑（第696図）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－８・９グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。本遺構周辺では隣接するＳＫ6260土坑以外にも多くの土坑が存在している。平面形は143㎝×60㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－43°－Ｗである。底面は北西側に段を有して低くなっており、北壁の壁際部分では27㎝×20㎝、深さ５㎝のピット状の落ち込みが見られる。検出面からの深さは中央部分で44㎝、北西側は更にここから25㎝下がっている。壁は底面からやや急な角度で立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は５層に分層され、Ｖ層ブロックを大量に含む人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6243土坑（第695図、図版124）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－９グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。南東側にはＳＫ6244土坑が存在している。平面形は112㎝×105㎝の円形を基調とするものである。底面は中央部分に向かって緩やかに落ち込み、検出面からの深さは38㎝である。底面南側には３個のピットをもち、底面からの深さは西側のものから４㎝、28㎝、９㎝である。壁は底面からやや急角度に立ち上がる。堆積土は３層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は肥前系磁器の丸碗が出土している。

SK6244土坑（第696図、図版124）

第６次調査２区東側北よりのＩ－９グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北西側にはＳＫ6243土坑、南東側にはＳＫ6245土坑が存在している。平面形は132㎝×75㎝の隅丸長方形を基調とするもので、長軸方向はＮ－40°－Ｗである。底面は南側に向かって低くなっており、検出面からの深さは最も深い部分で75㎝である。壁は底面からやや開き気味に立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層で、人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6245土坑（第696図、図版124）

第６次調査２区東側北寄りのＩ－８グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北西側にはＳＫ6244土坑、南東側にはＳＫ6318土坑が存在する。平面形は145㎝×68㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－48°－Ｗである。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは57㎝である。壁は外側に開いて立ち上がり断面形はＵ字形である。堆積土は３層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は土師器坏の小片が出土している。

SK6246土坑（第696図）

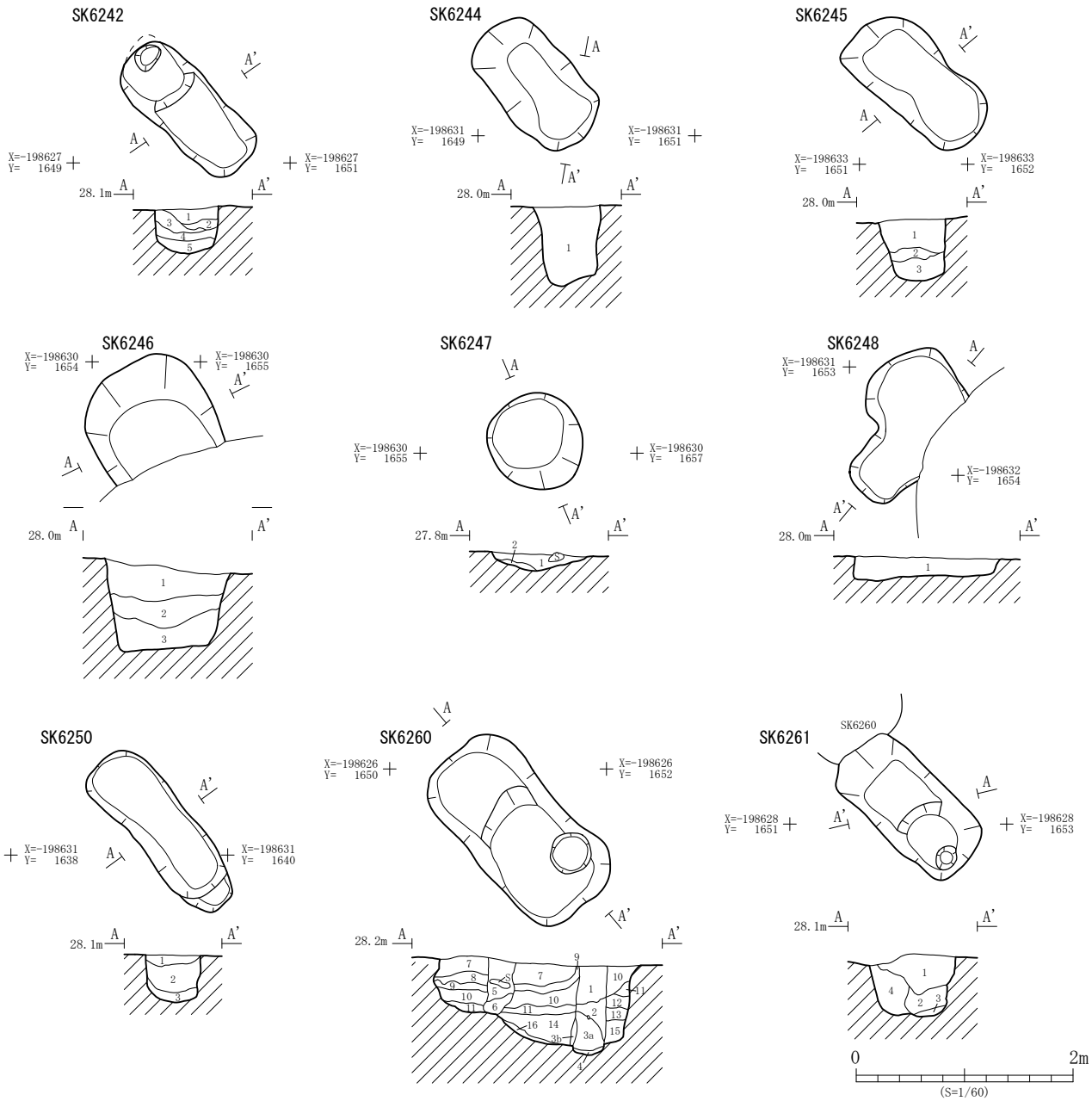
第６次調査２区東側北寄りのＩ－８グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。隣接して南西側にはＳＫ6248土坑が存在している。南側が撹乱により削平されているため全体は不明であるが、残存する部分から平面形は115㎝以上×95㎝の隅丸長方形を基調とするものと考えられ、長軸方向はＮ－30°－Ｗである。底面はほぼ平坦であり、検出面からの深さは85㎝である。壁はやや急角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土は３層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は肥前系磁器の小片が出土している。

SK6247土坑（第696図、図版124）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－７グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。南西側にはＳＫ6246土坑が存在している。平面形は90㎝×85㎝の円形である。底面は中央部分に向かって擂り鉢状に緩やかに落ち込み、検出面からの深さは17㎝である。壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層される。遺物は出土していない。

SK6248土坑（第696図）

第６次調査２区東側北寄りのＩ－８グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。南西側が撹乱によって削平されており全体が不明だが、残存する部分から平面形は135㎝×77㎝以上の長方形土坑が重複したような凸状を呈する。底面には凹凸が見られ、南西側に向かって緩やかに低くなっており、検出面からの深さは23㎝である。壁は底面か



SK	層位	土　色	土　性	備　考
6242	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	焼土粒多量、Ⅴ層ブロック・炭化粒を少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・焼土粒を少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒・焼土粒を少量含む。
	5	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、焼土粒を少量含む。
6244	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
6245	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
6246	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
6247	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。
6248	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
6250	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。
	3	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
6260	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒少量、焼土粒を微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック少量、炭化粒を微量含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
6260	3a	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	3b	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土	灰色粘土含む。
	5	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	6	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋を少量含む。
	7	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	8	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層主体。
	9	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	10	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	11	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	12	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	13	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	14	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
	15	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	16	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
6261	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋・炭化粒を少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	3	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。

第696図　古代以降土坑（6）

らほぼ垂直に立ち上がり、断面形は箱形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は出土していない。

SK6250土坑（第696図）

第６次調査２区中央のＩ－11グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は174㎝×53㎝の隅丸長方形を基調とするもので、南西側にはテラス状の段を有する。長軸方向はＮ－40°－Ｗである。底面はほぼ平坦で検出面からの深さはテラス面までが21㎝、底面までは44㎝である。壁は緩やかに立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は３層に分層される。遺物は土師器坏の小片１点が出土している。

SK6260土坑（第696図、図版124）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－８グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。ＳＫ6261土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。平面形は184㎝×92㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－41°－Ｗである。底面は北東側にテラス状の段を有しており、南東側に向かって緩やかに落ち込んでいる。検出面からテラス面までの深さは75㎝、南東側はテラス面からさらに30㎝程低くなっている。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は16層に分層され、Ｖ層ブロックを大量に含む人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6261土坑（第696図）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－８グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。ＳＫ6260土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は146㎝×72㎝の隅丸長方形を基調とするものであり、長軸方向はＮ－46°－Ｗである。底面は南東側に段を有して緩やかに落ち込み、検出面からの深さは浅い面で51㎝、深い面は更に10㎝低い。また。南東の壁際には24㎝×19㎝、深さ３㎝のピット状の落ち込みが見られる。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形はＵ字状である。堆積土は４層に分層され、人為堆積層と見られ、底面直上から礫が検出された。遺物は土師器坏の小片２点が出土している。

SK6262土坑（第697図）

第６次調査２区東側北隅のＨ－７グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は115㎝×103㎝の不整な楕円形のものである。北東側にテラス状の段を有し、底面は中央部分に向かって緩やかに落ち込む。検出面からテラス面までの深さは12㎝、底面までは43㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は６層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6294土坑（第697図）

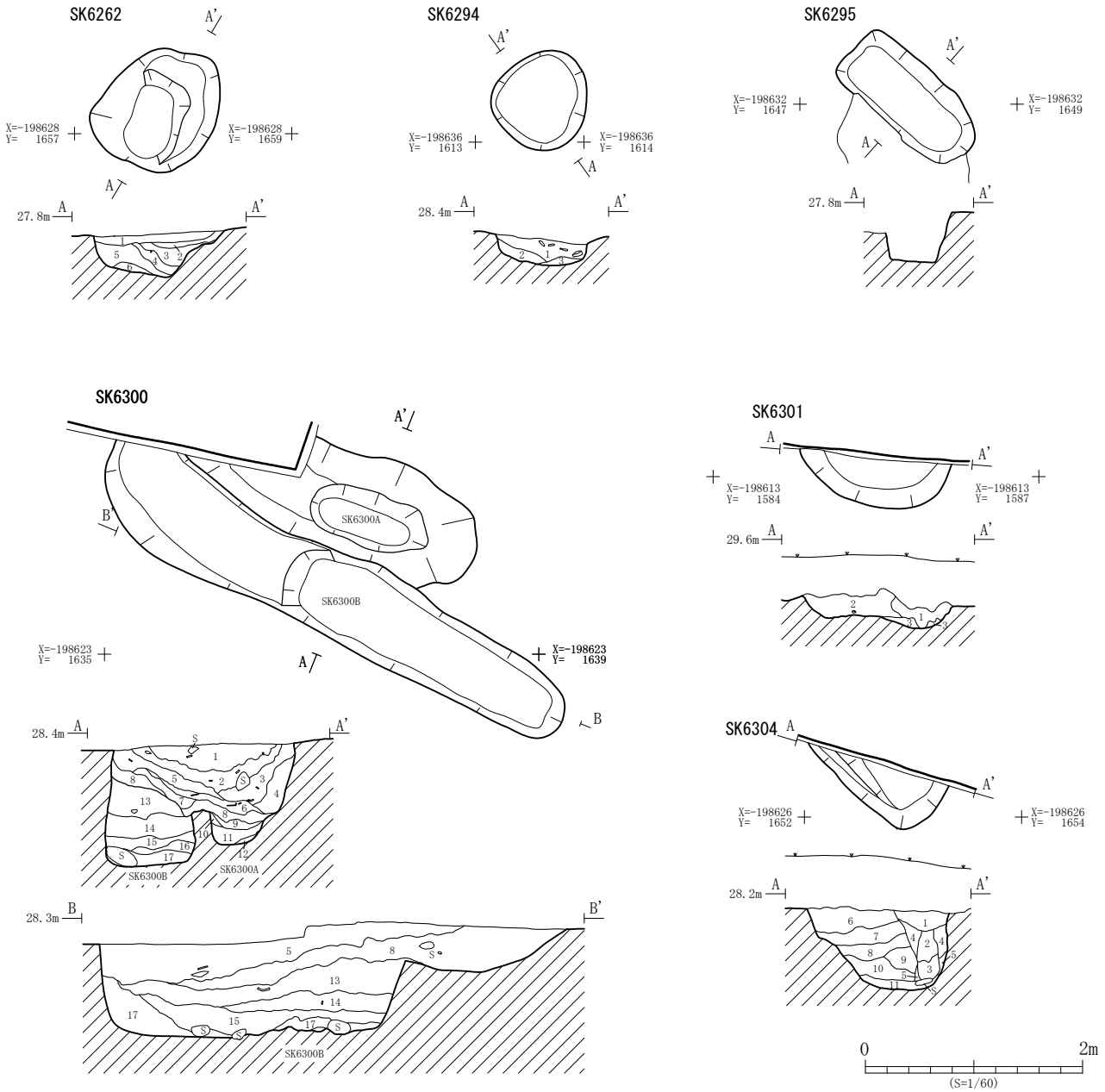
第６次調査１区東側南寄りのＪ－16グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は91㎝×85㎝のやや不整な円形である。底面は中央部分に向かって緩やかに落ち込み、検出面からの深さは30㎝である。壁はやや開き気味に立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は３層に分層され、１層中には礫が多く含まれていた。遺物は出土していない。

SK6295土坑（第697図）

第６次調査２区東側北寄りのＩ－９グリッドに位置し、南側は撹乱に切られるが、Ｖ層上面で検出された。北東側にはＳＫ6244土坑が存在する。平面形は140㎝×61㎝の隅丸長方形を基調としたものであり、長軸方向はＮ－46°－Ｗである。底面はほぼ平坦で、検出面から底面までの深さは47㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土は不明である。遺物は出土していない。

SK6300土坑（第697図、図版124）

第６次調査２区中央北寄りのＧ－11グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。ＳＸ641性格不明遺構と重複関係にあるが、本遺構を検出するまでに削平されている。平面形は隅丸長方形と長楕円形が連結した平面プランであるが、Ａ－Ａ’土層断面の観察によってほぼ同一位置での土坑の掘り直しであることが明かとなり、１～12層を新段階のＳＫ6300Ａ土坑、13～17層を古段階のＳＫ6300Ｂ土坑とした。西側が調査区外のため全体は不明であるが検



SK	層位	土　色	土　性	備　考
6262	1	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	黄色シルトブロック多量、炭化粒少量含む。
	2	10YR4/4　褐	砂質シルト	黄色シルト主体。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	黄色シルトブロックを少量含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	黄色シルト粒微量、炭化粒を少量含む。
	5	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	黄色シルトブロック多量、焼土ブロックを微量含む。
	6	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	黄色シルトブロック主体。
6294	1	10YR3/3　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒を少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量、炭化粒を微量含む。
6300	1	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	炭化粒を多量に含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋・炭化粒を少量含む。
	4	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロック少量、炭化粒を微量含む。
	5	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
	6	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	炭化粒を多量に含む。粘性強い。
	7	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	8	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	9	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒を微量含む。
	10	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層主体。
	11	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
6300	12	10YR4/2　灰黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層主体。
	13	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。粘性強い。
	14	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を多量に含む。粘性強い。
	15	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。粘性強い。
	16	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層斑紋主体。
	17	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	粘性強い。炭化粒を微量含む。
6301	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒を多量に含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・斑紋・炭化粒を少量含む。
	3	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒を少量含む。
6304	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を微量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒子・炭化粒を少量含む。
	3	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	5	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
	6	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	7	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	8	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	9	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。
	10	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
	11	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。

第697図　古代以降土坑（7）

出部分の規模は、Ａが280㎝以上×98㎝、Ｂは490㎝×80㎝である。Ａ・Ｂ両方の底面は南東側への落ち込みが認められ、Ａは検出面からの深さは51㎝、南東側は更に40㎝程低くなっている。Ｂは検出面からの深さ71㎝で南東側は更に40㎝程深い。壁の立ち上がりはＡ－Ａ’断面によればＡ土坑の南壁が開いて緩やかに立ち上がっているが、その他はＡ・Ｂともにほぼ垂直または一部オーバーハングして立ち上がり、断面形は箱形のものとなっている。遺物は土師器・須恵器の坏・甕が出土しており、第703図に示した。

SK6301土坑（第697図）

第６次調査１区中央寄りのＥ－21グリッドに位置し、Ⅳ層上面で検出された。南側には隣接してＳＫ6006土坑が存在している。北側が調査区外のため全体は不明であるが、検出された部分から平面形は135㎝×45㎝の円形を基調とするものと推測される。底面はほぼ平坦であるが東側部分がやや低く落ち込み、北壁土層断面の観察では検出面からの深さは20㎝である。壁は緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層され、１層中には炭化物粒・焼土粒が多量に含まれていた。遺物は出土していない。

SK6304土坑（第697図）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－８グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。南西側には隣接してＳＫ6306土坑が存在している。ＳＫ6305土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。北側が調査区外のため全体は不明であるが、検出された部分から平面形は127㎝×65㎝の長方形を基調とするものと考えられる。なお、この場合の長軸方向はＮ－44°－Ｗである。底面はほぼ平坦であるが中央部分に向かって緩やかに落ち込み、検出面からの深さは72㎝である。壁はほぼ垂直または若干開いて立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土は11層に分層され、人為堆積層と見られる。１～５層は柱痕跡状の堆積状況であり、底面付近から礫が検出された。遺物は出土していない。

SK6305土坑（第698図）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－８グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＫ6034土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。北西側が削平されているために全体は不明であるが、検出された部分から平面形は158㎝以上×88㎝の隅丸長方形と考えられる。この場合、長軸方向はＮ－46°－Ｗである。底面は中央の円形の凹みに向かって緩やかに落ち込んでおり、検出面からの深さは81㎝である。壁は底面からやや開き気味に立ち上がり、断面形はＵ字形である。堆積土はＳＫ6304土坑に類似した黄褐色シルトブロックを含むもので、人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6306土坑（第698図）

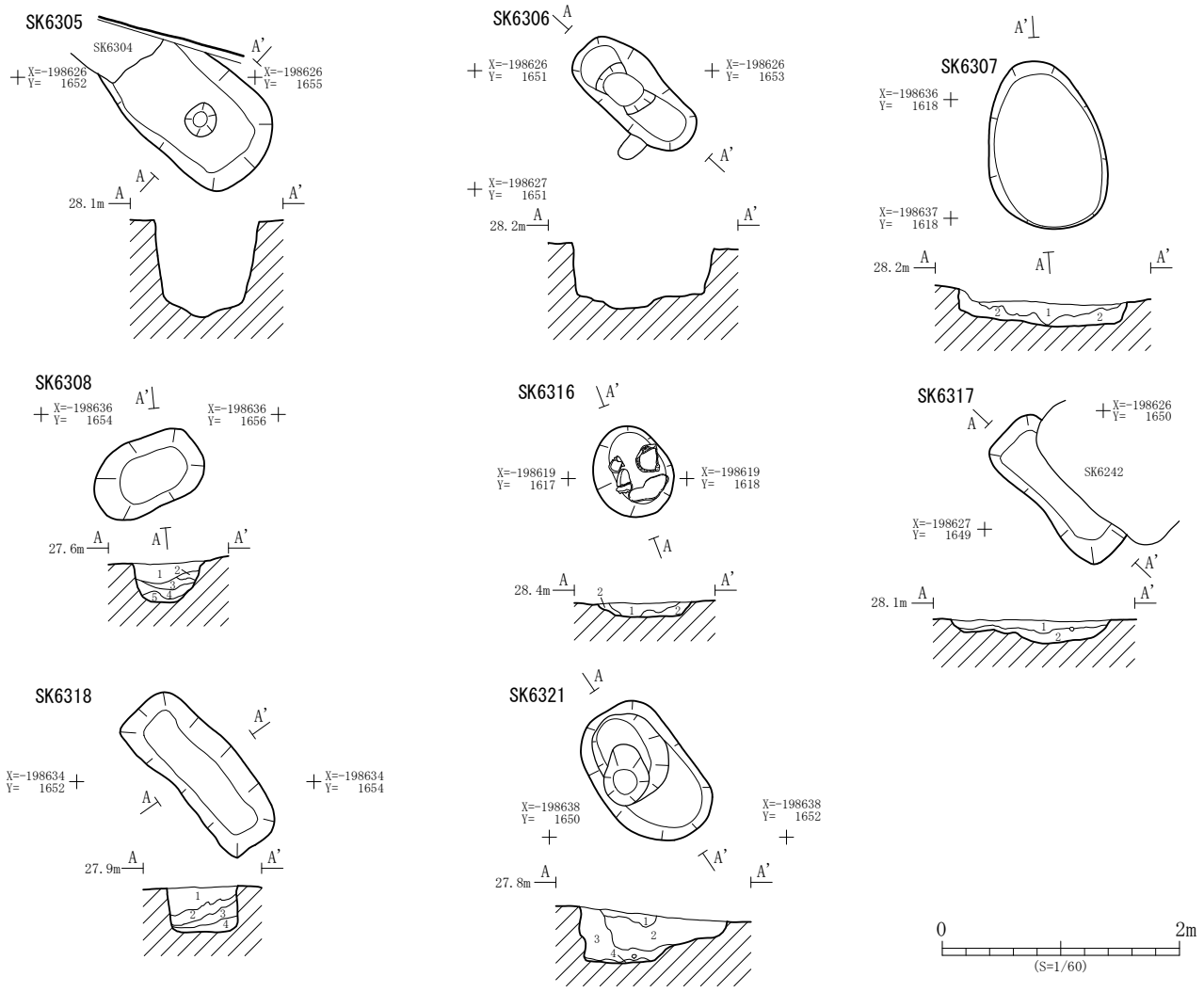
第６次調査２区東側北寄りのＨ－８グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。北東側にはＳＫ6304･6305土坑、南西側にはＳＫ6260・6261土坑が存在する。ピットと重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は154㎝×118㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－43°－Ｗである。底面の中央付近が一段下がって低くなっており、検出面からの深さは53㎝である。壁は底面から垂直またはやや開き気味に立ち上がって断面形はＵ字形である。堆積土はＳＫ6304土坑に類似したもので、人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6307土坑（第698図、図版124）

第６次調査２区西側中央のＪ－15グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。平面形は144㎝×92㎝の南側部分がやや幅広となる卵形で、長軸方向はＮ－13°－Ｗである。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは32㎝である。壁はほぼ垂直またはやや開いて立ち上がり、断面形は箱形である。堆積土は２層に分層される。遺物は出土していない。

SK6308土坑（第698図）

第６次調査２区東側中央のＪ－８グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。平面形は95㎝×49㎝の楕円形で、長軸方向はＮ－63°－Ｅである。底面はほぼ平坦であり、検出面からの深さは33㎝である。壁は緩やかに開いて立



SK	層位	土　色	土　性	備　考
6307	1	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。
	2	10YR4/4　褐	シルト	Ⅴ層斑紋主体。
6308	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量、炭化粒少量、焼土粒を微量含む。
	2	10YR4/4　褐	砂質シルト	Ⅴ層粒少量、焼土粒を微量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層主体。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック・炭化粒・焼土粒を少量含む。
	5	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を微量含む。
6316	1	10YR3/2　黒褐	粘土質シルト	焼土粒多量、炭化物を少量含む。
	2	10YR4/6　褐	粘土質シルト	黄色シルトブロック・斑紋主体。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
6317	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	黄褐色ブロックを多量に含む。
	2	10YR7/3　にぶい黄橙	砂質シルト	Ⅴ層主体。
6318	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を多量に含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、炭化粒を少量含む。
	4	10YR3/4　暗褐	砂質シルト	Ⅴ層ブロックを少量含む。
6321	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・Ⅴ層粒を少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・ブロックを多量に含む。
	3	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量、焼土粒極を微量含む。
	4	10YR5/8　黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロックを多量に含む。

第698図　古代以降土坑（8）

ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は5層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は土師器甕の小片が出土している。

SK6316土坑（第698図）

第6次調査2区西側北寄りのF－15グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。平面形は78㎝×65㎝の楕円形である。底面はほぼ平坦であり、検出面からの深さは12㎝である。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形は皿状である。堆積土は2層に分層され、人為堆積層と見られる。上層から礫がまとまって検出された。遺物は瀬戸・美濃系陶器碗1点が出土している。

SK6317土坑（第698図）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－９グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。東側にはＳＫ6260・6261土坑が存在する。ＳＫ6242土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。平面形は133㎝×72㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－43°－Ｗである。底面には若干の凹凸が認められ南西側に向かって緩やかに落ち込み、検出面からの深さは19㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK6318土坑（第698図）

第６次調査２区東側北寄りのＩ－８グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北西側にはＳＫ6245土坑、南側にはＳＫ6317土坑が存在する。平面形は152㎝×58㎝の隅丸長方形で、長軸方向はＮ－43°－Ｗである。底面は平坦で、検出面からの深さは37㎝である。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形は箱形である。堆積土は４層に分層される。遺物は出土していない。

SK6321土坑（第698図）

第６次調査２区東側中央のＪ－８グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は128㎝×80㎝の楕円形で、長軸方向はＮ－37°－Ｗである。底面は南西側の部分がテラス状に一段高くなっており、北西側に向かって緩やかに傾斜している。検出面からテラス面までの深さは23㎝、底面の最も深い部分までは46㎝である。堆積土は４層に分層され、人為堆積層と見られる。遺物は出土していない。

SK7024土坑（第699図、図版125）

第７次調査２区西端北隅のＢ－64・65グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は217㎝×203㎝の楕円形で、北側及び東側には検出面からの浅いテラス状の落ち込みが認められる。底面は平坦で、検出面からの深さは32㎝である。壁は底面から開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は２層に分層される。遺物は出土していない。

SK7025土坑（第699図、図版125）

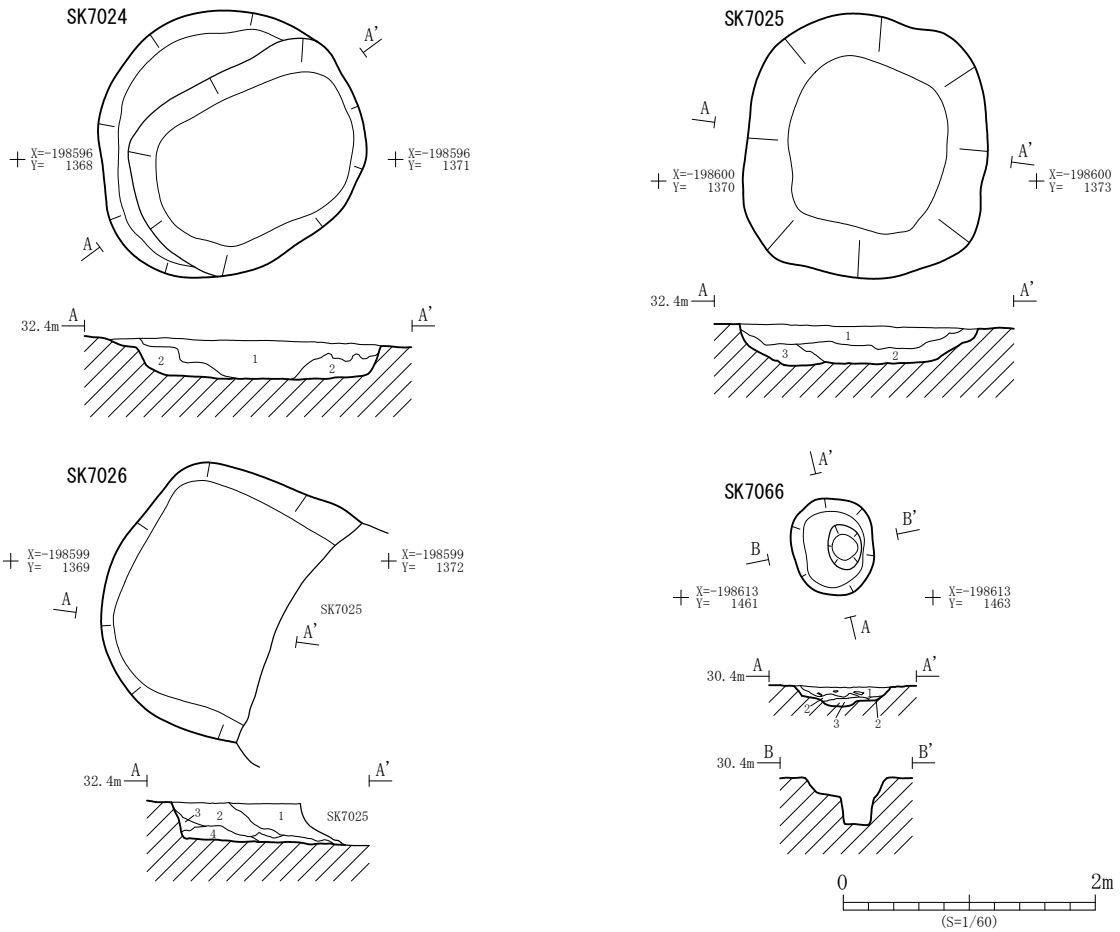
第７次調査２区西端中央のＢ・Ｃ－64グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北側にはＳＫ7024土坑が存在している。ＳＫ7026土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。平面形は200㎝×192㎝の隅丸方形である。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは31㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層される。遺物は出土していない。

SK7026土坑（第699図、図版125）

第７次調査２区西端中央のＢ・Ｃ－64グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。北側にはＳＫ7024土坑が存在する。ＳＫ7025土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。東側部分が削平されており全体は不明であるが、残存する部分からＳＫ7025土坑と同様に平面形は200㎝×141㎝の隅丸方形を基調とするものと考えられる。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは30㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は４層に分層される。遺物は出土していない。

SK7066土坑（第699図）

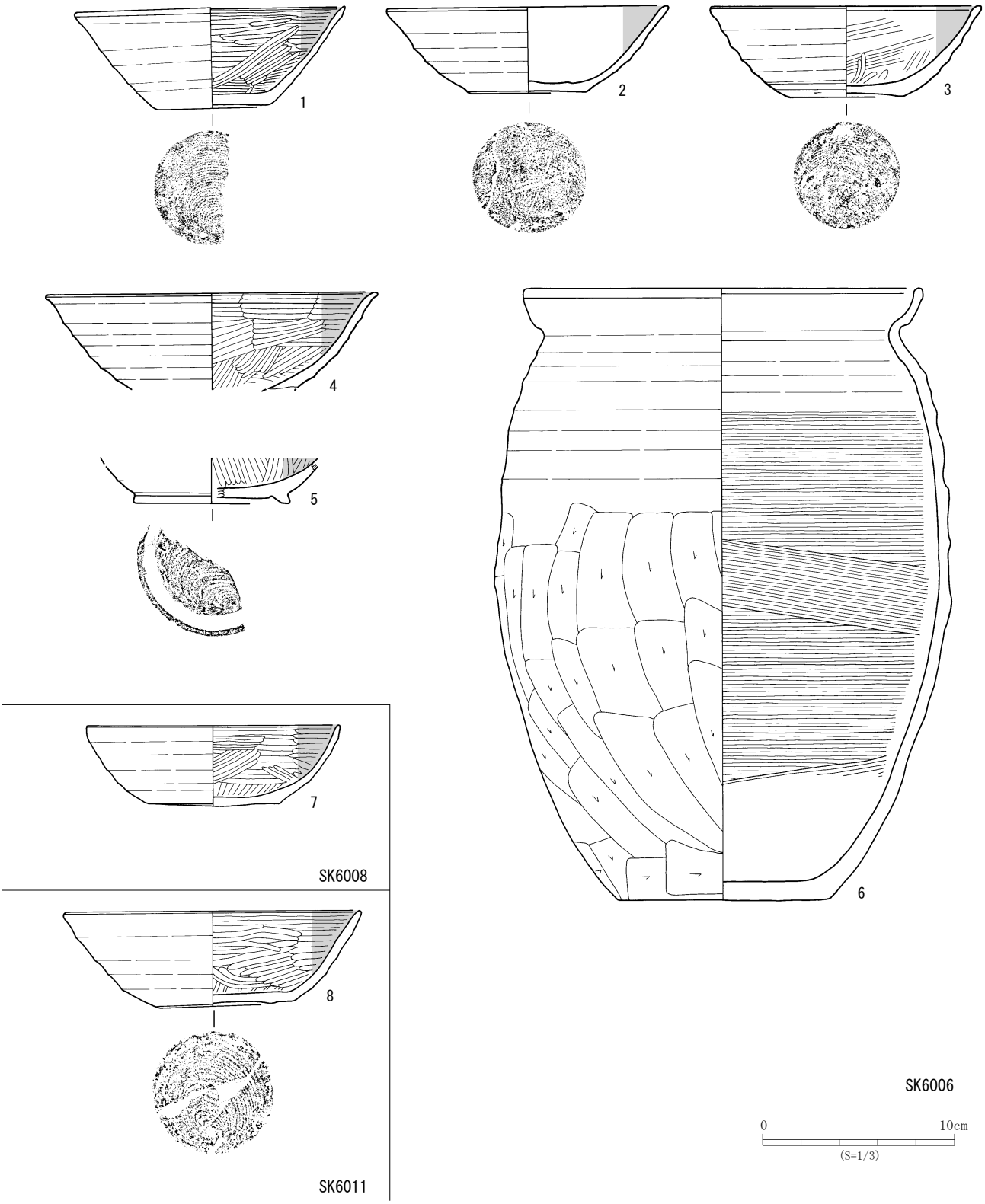
第７次調査２区東側中央南寄りのＥ－46グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。平面形は78㎝×65㎝の楕円形である。底面はほぼ平坦であり、検出面からの深さは14㎝である。底面の東寄りには38㎝×27㎝のピットがあり、底面からの深さは23㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は３層に分層される。遺物は出土していない。



SK	層位	土　色	土　性	備　考
7024	1	暗褐　10YR3/3	砂質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。炭化粒が中央付近に集中。
	2	暗褐　10YR3/4	砂質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
7025	1	暗褐　10YR3/3	粘土質シルト	炭化粒を微量含む。
	2	暗褐　10YR3/3	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。礫やや多く含む。
	3	暗褐　10YR3/3	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。焼礫やや多い。
7026	1	暗褐　10YR3/4	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
	2	暗褐　10YR3/4	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋を層全体に少量含む。

SK	層位	土　色	土　性	備　考
7026	3	暗褐　10YR3/3	粘土質シルト	炭化粒・Ⅴ層斑紋を少量含む。
	4	にぶい黄褐　10YR4/3	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋やや多い。炭化粒を微量含む。
7066	1	暗褐　10YR3/4	粘土質シルト	焼土粒微量、Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。土器片・礫やや多い。
	2	暗褐　10YR3/4	粘土質シルト	Ⅴ層粒やや多い。炭化粒を少量含む。
	3	にぶい黄褐　10YR4/3	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量・炭化粒を微量含む。

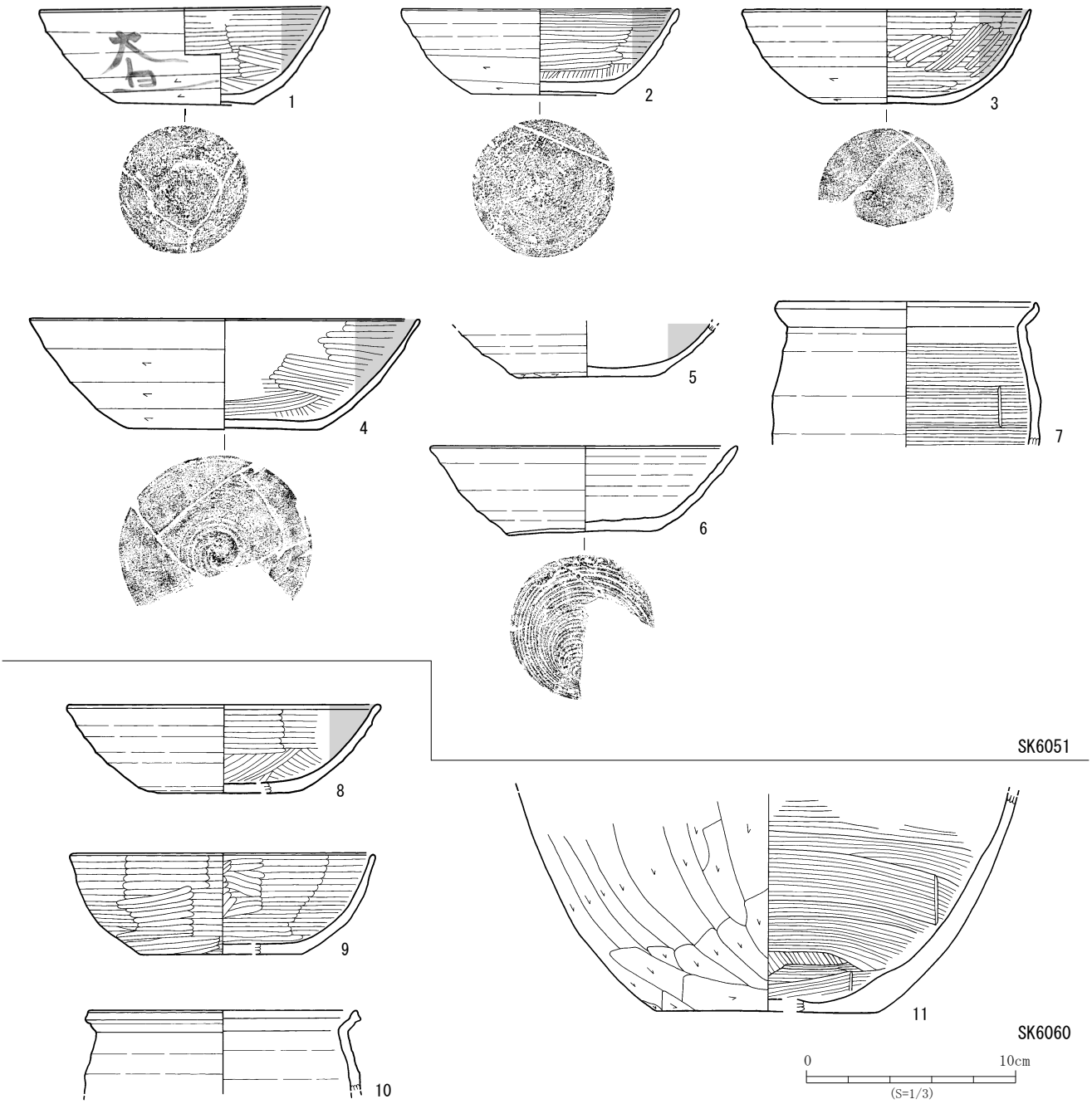
第699図　古代以降土坑（９）



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺構	層位	器種	口径×器高×底径（cm）	外面	内面	備考	写真図版
1	D-608	SK6006	3層	土師器　坏	14.0×5.2×6.0	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-1
2	D-609	SK6006	3層	土師器　坏	(14.6)×4.5×6.3	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ヘラミガキ（摩滅）	内面黒色処理。	259-2
3	D-610	SK6006	3層	土師器　坏	(14.2)×4.5×5.9	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-3
4	D-611	SK6006	3層	土師器　坏	17.3×5.0×－	口縁部～体部：ロクロナデ	口縁部～体部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-4
5	D-612	SK6006	3層	土師器　坏	－×〈2.4〉×8.2	体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り→高台貼付	体部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-5
6	D-613	SK6006	3層	土師器　甕	20.6×31.8×(11.0)	口縁部～胴部：ロクロナデ　胴部下半：ヘラケズリ	口縁部：ロクロナデ　胴部：ヘラナデ	－	259-6
7	D-614	SK6008	1層	土師器　坏	13.1×4.2×6.8	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-7
8	D-615	SK6011	1層	土師器　坏	15.4×4.9×6.0	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-8

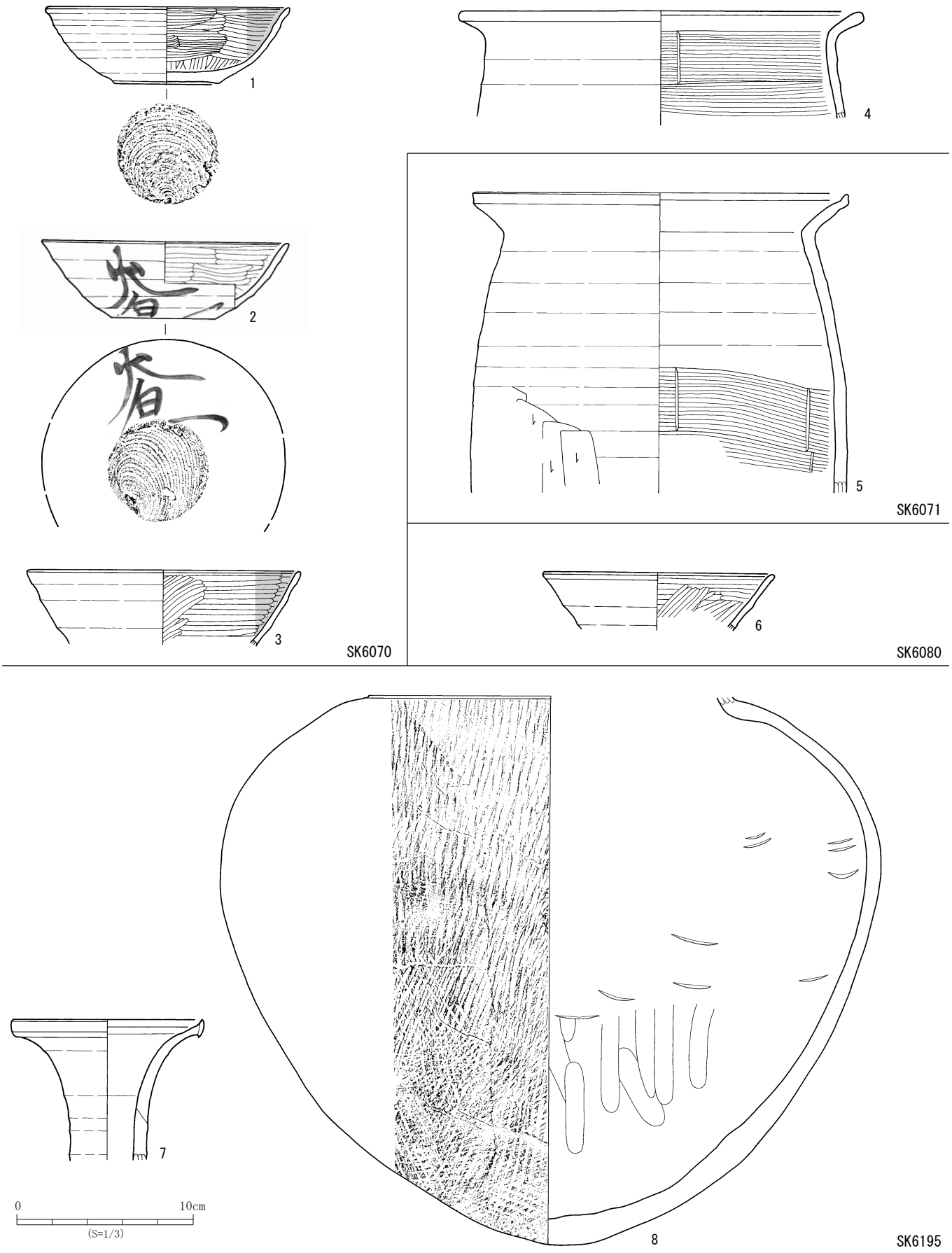
第700図　古代以降土坑出土遺物（１）



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺構	層位	器種	口径×器高×底径（cm）	外面	内面	備考	写真図版
1	D-616	SK6051	下層	土師器　坏	13.6×4.6×6.5	口縁部～体部：ロクロナデ　体部下半：ヘラケズリ　底部：回転ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理、外面に墨書有り。口縁部に油煙付着。	259-10
2	D-617	SK6051	堆積土	土師器　坏	13.2×4.2×6.8	口縁部～体部：ロクロナデ　体部下半：ヘラケズリ　底部：回転ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-11
3	D-618	SK6051	堆積土	土師器　坏	13.8×4.5×6.4	口縁部～体部：ロクロナデ　体部下半：ヘラケズリ　底部：回転ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-12
4	D-619	SK6051	堆積土	土師器　坏	(18.6)×5.3×9.2	口縁部～体部：ロクロナデ　体部：ヘラケズリ　底部：回転ヘラケズリ	口縁部～底部　論ヘラミガキ	内面黒色処理。	259-14
5	D-620	SK6051	堆積土	土師器　坏	－×〈2.7〉×6.4	体部：ロクロナデ　体部下端：ヘラケズリ　底部：手持ちヘラケズリ	体部～胴部：ヘラミガキ（摩滅）	内面黒色処理（摩滅）。	-
6	E-612	SK6051	堆積土	須恵器　坏	14.6×4.3×6.9	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ロクロナデ	火襷痕有り。	259-13
7	D-621	SK6051	堆積土	土師器　甕	(12.3)×〈6.8〉×－	口縁部～胴部：ロクロナデ	口縁部：ロクロナデ　胴部：ヘラナデ	－	-
8	D-622	SK6060	堆積土	土師器　坏	(15.0)×4.2×(6.2)	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	-
9	D-623	SK6060	堆積土	土師器　坏	(14.5)×4.8×(7.8)	口縁部～底部：ヘラミガキ	口縁部～底部：ヘラミガキ	－	259-9
10	D-624	SK6060	堆積土	土師器　甕	(12.8)×(4.0)×－	口縁部～胴部：ロクロナデ	口縁部～胴部：ロクロナデ	－	-
11	D-625	SK6060	堆積土	土師器　甕	－×〈10.4〉×(10.6)	胴部下半～底部：ヘラケズリ	胴部下半～底部：ヘラナデ	－	-

第701図　古代以降土坑出土遺物（２）

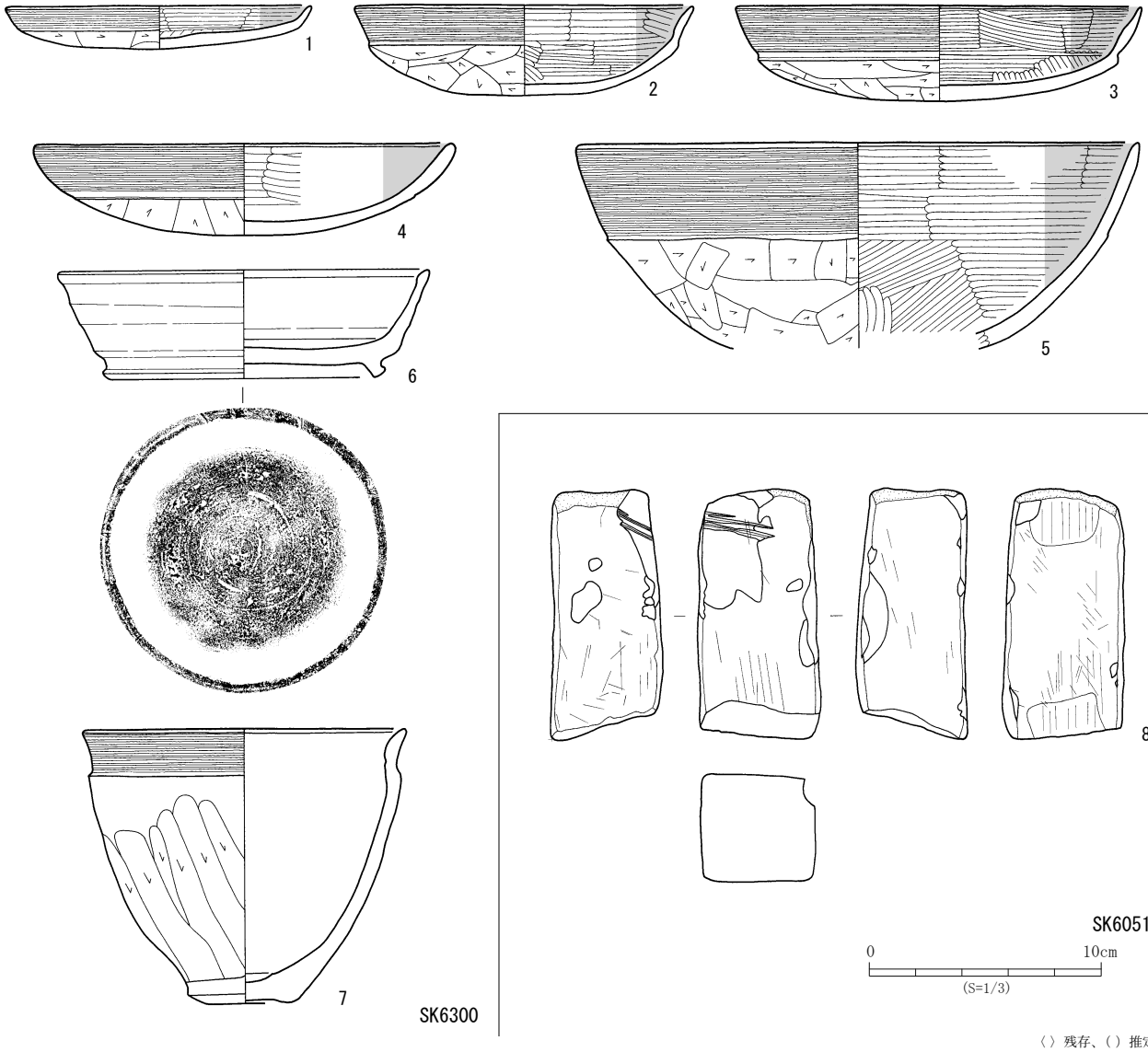


第702図　古代以降土坑出土遺物（３）

〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺構	層位	器種	口径×器高×底径（cm）	外面	内面	備考	写真図版
1	D-626	SK6070	下層	土師器　坏	13.8×4.3×6.0	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	260-2
2	D-627	SK6070	下層	土師器　坏	14.0×4.4×5.8	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理、外面に墨書有り。	260-1
3	D-628	SK6070	下層	土師器　坏	(15.4)×〈4.2〉×－	口縁部～体部：ロクロナデ	口縁部～体部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	260-3
4	D-629	SK6070	下層	土師器　甕	(22.6)×〈6.0〉×－	口縁部～胴部：ロクロナデ	口縁部：ロクロナデ　体部：ヘラナデ	－	260-4
5	D-630	SK6071	堆積土	土師器　甕	21.2×〈17.0〉×－	口縁部～胴部：ロクロナデ　胴部下半：ヘラケズリ	口縁部～胴部：ロクロナデ　胴部下半：ヘラナデ	－	260-5
6	D-631	SK6080	堆積土	土師器　坏	(15.4)×〈4.2〉×－	口縁部～体部：ロクロナデ	口縁部～体部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	-
7	E-613	SK6195	堆積土	須恵器　長頸壺	10.8×〈8.0〉×－	口縁部～頸部：ロクロナデ	口縁部～頸部：ロクロナデ	－	260-6
8	E-614	SK6195	堆積土	須恵器　甕	－×〈31.2〉×－	胴部～底部：平行タタキ	胴部：当て具痕　胴部下半～底部：指ナデ	胴部最大径 37.45 cm。	260-7

古代以降土坑出土遺物（３）観察表



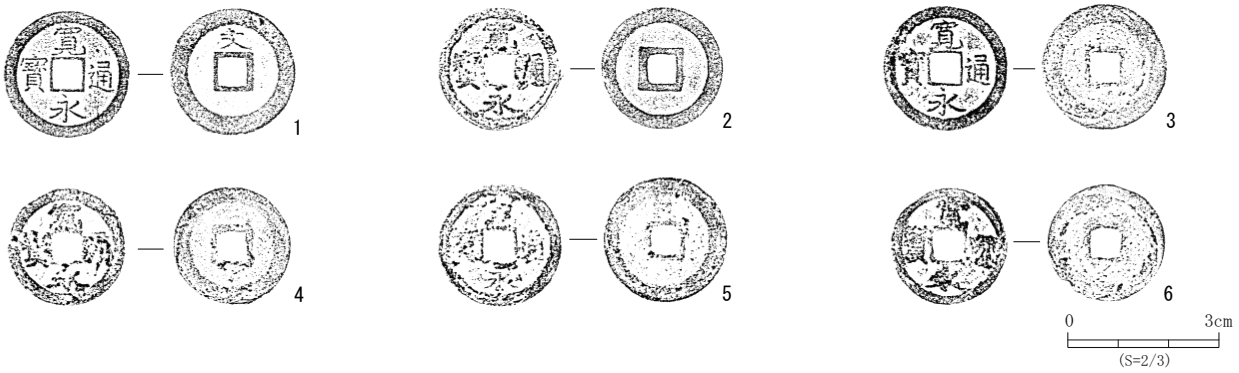
〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺構	層位	器種	口径×器高×底径（cm）	外面	内面	備考	写真図版
1	C-609	SK6300	下層	土師器　坏	13.2×1.8×－	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	261-1
2	C-610	SK6300	6 層	土師器　坏	(14.6)×3.9×－	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	261-2
3	C-611	SK6300	1 層	土師器　坏	17.5×4.0×－	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	261-3
4	C-612	SK6300	堆積土	土師器　坏	(18.0)×3.9×－	口縁部：ヨコナデ　体部～底部：ヘラケズリ	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	261-4
5	C-613	SK6300	堆積土	土師器　坏	(24.2)×〈8.4〉×－	口縁部：ヨコナデ　体部：ヘラケズリ	口縁部～体部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	261-6
6	E-615	SK6300	上層	須恵器　坏	15.9×4.6×12.2	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：ヘラ切り→高台貼付	口縁部～底部：ロクロナデ	－	261-5
7	C-614	SK6300	下層	土師器　鉢	〈13.7〉×11.1×4.8	口縁部：ヨコナデ　胴部：ヘラケズリ　底部：ヘラナデ	口縁部：ヨコナデ　底部：ヘラナデ	摩滅激しい。	261-7

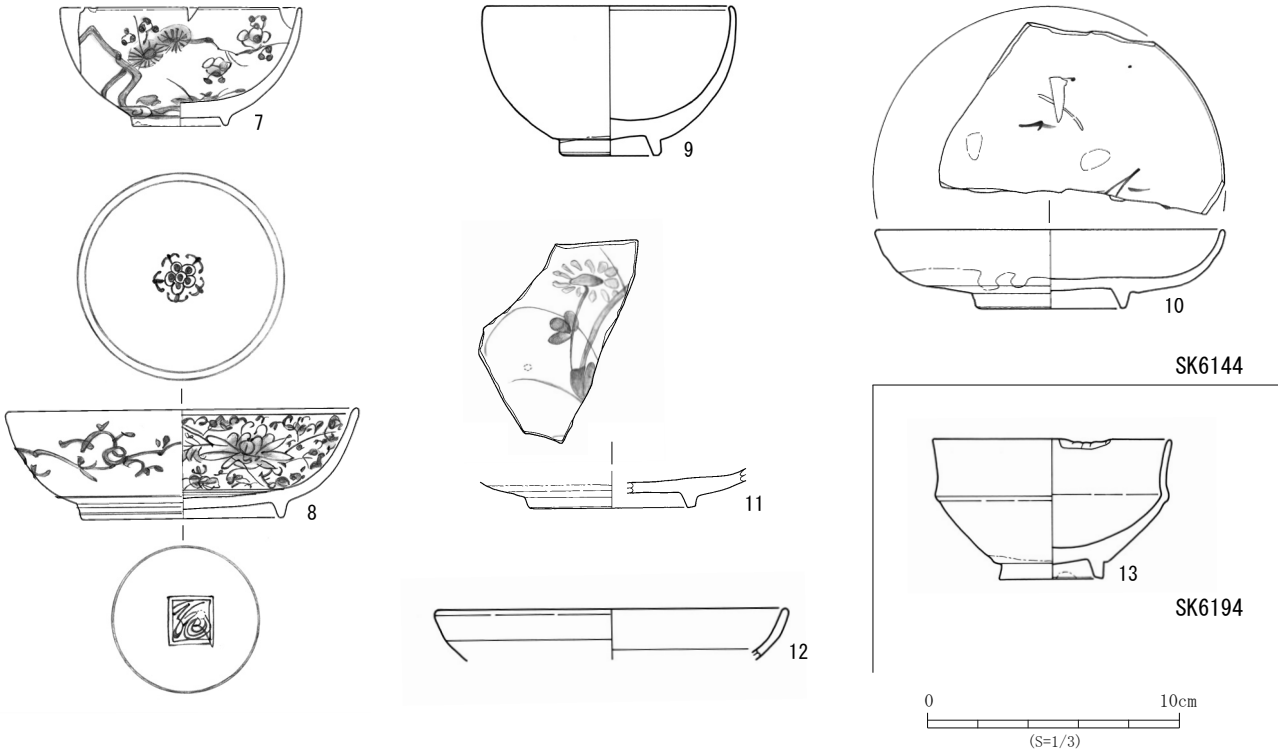
( ) 残存

No.	登録番号	遺構	器種	石質	長さ（mm）	幅（mm）	厚さ（mm）	重さ（g）	備考	写真図版
8	Kd-c-6004	SK6051	砥石	凝灰岩	(108.0)	(53.0)	(48.0)	(393.0)	磨 4。	259-15

第703図　古代以降土坑出土遺物（４）



SK6052



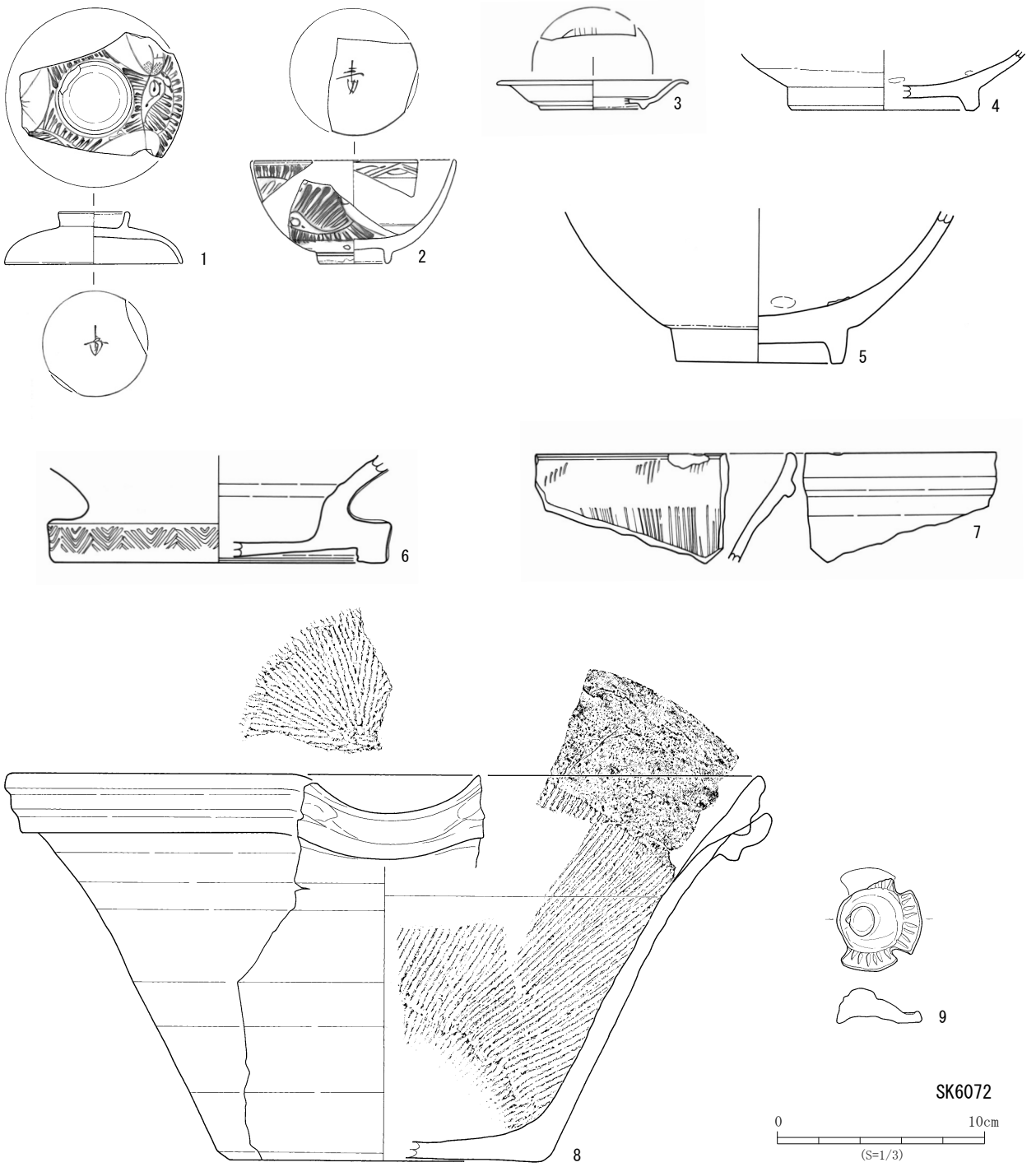
SK6144

SK6194

〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺　構	器　種	外径×厚さ(mm)・重さ(g)	特　　徴	産　地	年　代	備　考	写真図版
1	N-61	SK6052	銭貨	25.3 × 1.1・3.22	銅製、寛永通宝（１期、古寛永）	－	1636 ～ 1659	－	261-8
2	N-62	SK6052	銭貨	24.5 × 1.5・3.19	銅製、寛永通宝（１期、古寛永）	－	1636 ～ 1659	－	261-9
3	N-63	SK6052	銭貨	25.3 × 1.3・3.8	銅製、寛永通宝（１期、古寛永）	－	1636 ～ 1659	－	261-10
4	N-64	SK6052	銭貨	23.8 × 1.7・3.99	銅製、寛永通宝（２期、新寛永－背分）	－	1668 ～ 1683	－	261-11
5	N-65	SK6052	銭貨	25.1 × 1.5・3.5	銅製、寛永通宝（２期、新寛永－背分）	－	1668 ～ 1683	－	261-12
6	N-66	SK6052	銭貨	23.7 × 1.4・3.19	銅製、寛永通宝（３期、新寛永）	－	1697 ～ 1747、1767 ～ 1781	－	261-13
No.	登録番号	遺　構	器　種	口径×器高×底径(cm)	特　　徴	産　地	年　代	備　考	写真図版
7	J-601	SK6144	染付磁器・半球碗	(9.6)×4.7×3.8	ロクロ、外面：松竹梅文	肥前	1750 年代～ 1860 年代	－	261-15
8	J-602	SK6144	染付磁器・薄手Ｕ字高台皿	14.0×4.3×8.0	ロクロ、内面:牡丹唐草文、裏文様:如意頭唐草文、高台：二重圏線、高台内：二重角枠内渦福	肥前	18c 前半代	－	261-20
9	I-601	SK6144	施釉陶器・灰釉丸碗	(9.2)×1.4×(5.0)	ロクロ、内外面：灰釉、高台無釉	大堀相馬	18c 末	－	261-16
10	I-602	SK6144	施釉陶器・鉄絵皿	(13.8)×3.1×5.9	ロクロ、内外面：灰釉、見込み：鉄絵・目痕２ヵ所残存、高台：無釉	大堀相馬	18c 末～ 19c 初	－	261-19
11	I-603	SK6144	施釉陶器・鉄絵皿	－×〈1.7〉×(6.6)	ロクロ、見込み：草花文（鉄絵）＋灰釉、体部下半以下無釉	大堀相馬	19c 前半代	－	261-17
12	I-604	SK6144	施釉陶器・鉄絵皿	(14.0)×〈2.0〉×－	ロクロ、内外面灰釉、見込み：鉄絵	大堀相馬	19c 前半代	－	261-18
13	J-603	SK6194	施釉陶器・灰釉腰折碗	9.4×5.6×4.1	ロクロ、内外面：灰釉、高台無釉	大堀相馬	18 世紀後葉	－	261-14

第704図　古代以降土坑出土遺物（５）



〈 〉残存、( ) 推定

№.	登録番号	遺　構	器　種	口径×器高×底径(cm)	特　徴	産　地	年　代	備　考	写真図版
1	J-604	SK6072	染付磁器・丸碗蓋	(8.6)×2.5×つまみ径3.4	ロクロ、外面:草花文?、内面口唇部:四方襷文、見込み：一重圏線内寿字文	肥前	19c 前半代	2 とセット	262-1
2	J-605	SK6072	染付磁器・丸碗	(9.9)×5.0×3.5	ロクロ、外面:草花文?、内面口唇部:四方襷文、見込み：一重圏線内寿字文	肥前	19c 前半代	1 とセット	262-2・3
3	J-606	SK6072	磁器・型押線刻文小皿	(9.2)×1.4×(5.0)	ロクロ、白磁、見込み：型押線刻文	瀬戸・美濃	1855 年代～ 1860 年代	－	262-4
4	I-605	SK6072	施釉陶器・鉢	－×〈2.9〉×(9.2)	ロクロ、内外面：鉄釉、内面：目痕２ヵ所残存、高台無釉	－	－	－	262-5
5	I-606	SK6072	施釉陶器・鉢	－×〈7.3〉×(8.0)	ロクロ、内外面：灰釉、内面：目痕２ヵ所残存、高台無釉	－	18 世紀代	－	262-6
6	I-607	SK6072	施釉陶器・瓶掛	－×〈5.2〉×(16.0)	ロクロ、スタンプ、外面：緑釉、内面・底部：無釉	瀬戸・美濃	19c 前半代	－	262-7
7	I-608	SK6072	施釉陶器・擂鉢	－×〈5.3〉×－	ロクロ、内外面：鉄釉、擂目８本単位	－	－	－	262-8
8	I-609	SK6072	施釉陶器・擂鉢	(36.3)×15.0×15.0	ロクロ、擂目内面全周・暗褐色の鉄釉	在地	19c 前半代	－	262-10
9	P-6100	SK6072	土器・飯事道具	4.1×1.8×－	型押し・指ナデ	在地	－	雀形?	262-9

第705図　古代以降土坑出土遺物（６）

３．溝　跡

上野遺跡第６・７次調査では、合計15条の溝跡が検出された。これらの溝跡はいずれも幅１ｍ未満、深さ30㎝前後の規模を持つ細長い溝であり、主軸方向も数条ずつがセットとなる規則性を持つものであった（第706図）。

SD601溝跡（第707図）

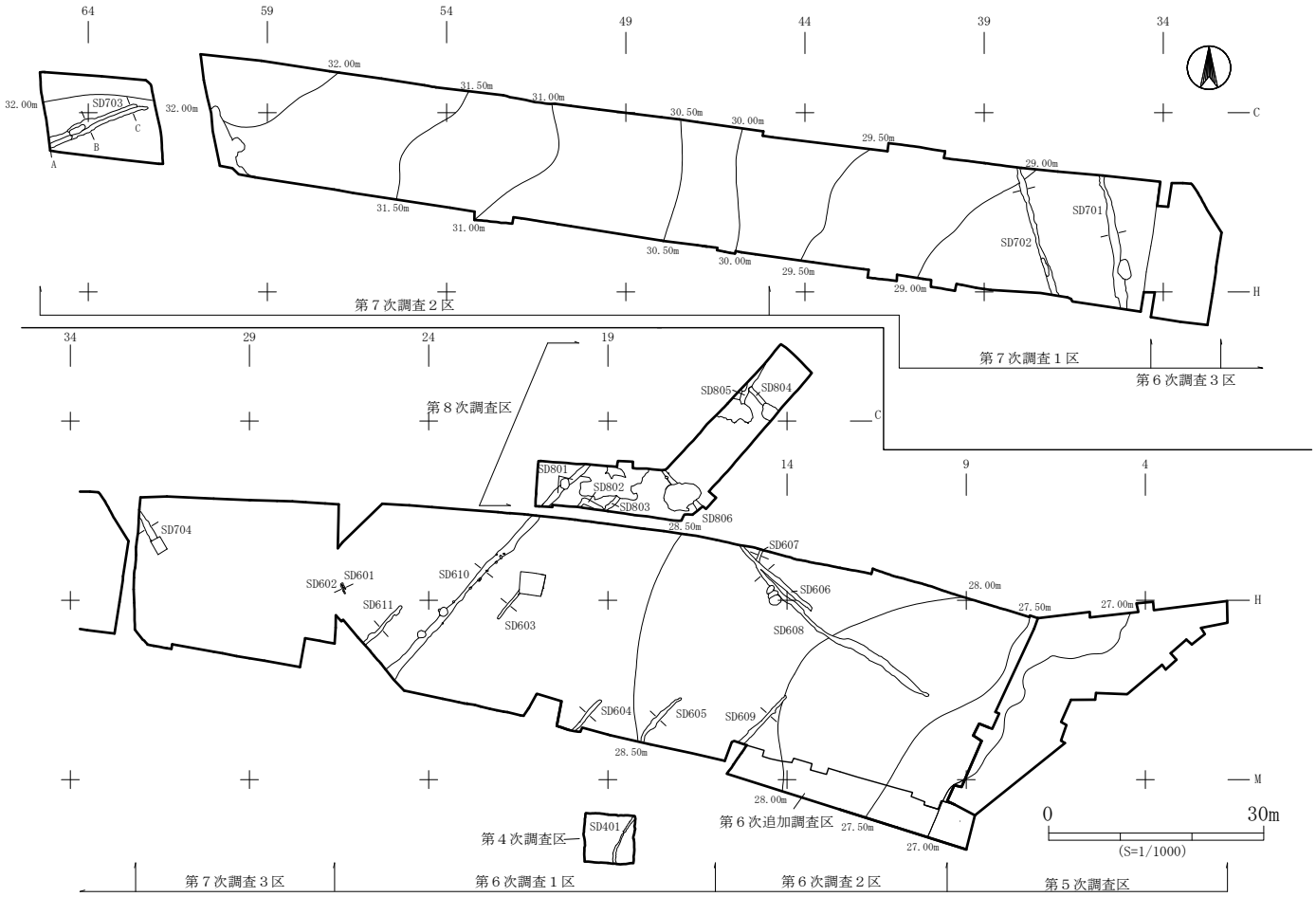
Ｇ－26グリッドに位置し、第６次調査１区の西端に位置する。方向はＮ－31°－Ｗである。規模は長さ1.02ｍ、幅14～22㎝の小規模な溝跡であり、両端ともに調査区内で途切れる。深さは11～15㎝であり、底面はほぼ水平である。堆積土はＶ層を主体とした単層であり、壁は比較的急角度に立ち上がる。遺物は縄文土器が少量出土した。

SD602溝跡（第707図）

Ｇ－26グリッドに位置し、ＳＤ601溝跡に隣接する。方向はＮ－34°－Ｅであり、北西端はＳＤ601溝跡に接する。規模は長さ1.5ｍ、幅10～27㎝の小規模な溝跡であり、両端ともに調査区内で途切れる。深さは12～15㎝であり、北西方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした単層であり、底面は丸みを帯び壁は比較的急角度に立ち上がる。遺物は縄文土器が少量出土した。

SD603溝跡（第707図）

Ｈ－22～Ｇ－21グリッドに位置し、ＳＤ610溝跡の南東5.5ｍにほぼ行して検出された。方向はＮ－39°－Ｅである。南西端は調査区内で途切れ、北東側は撹乱により途切れる。検出部分では長さ3.05ｍ、幅32～39㎝、深さ８～14㎝であり、北東方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした単層であり、底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。遺物は縄文土器と石器が少量出土した。



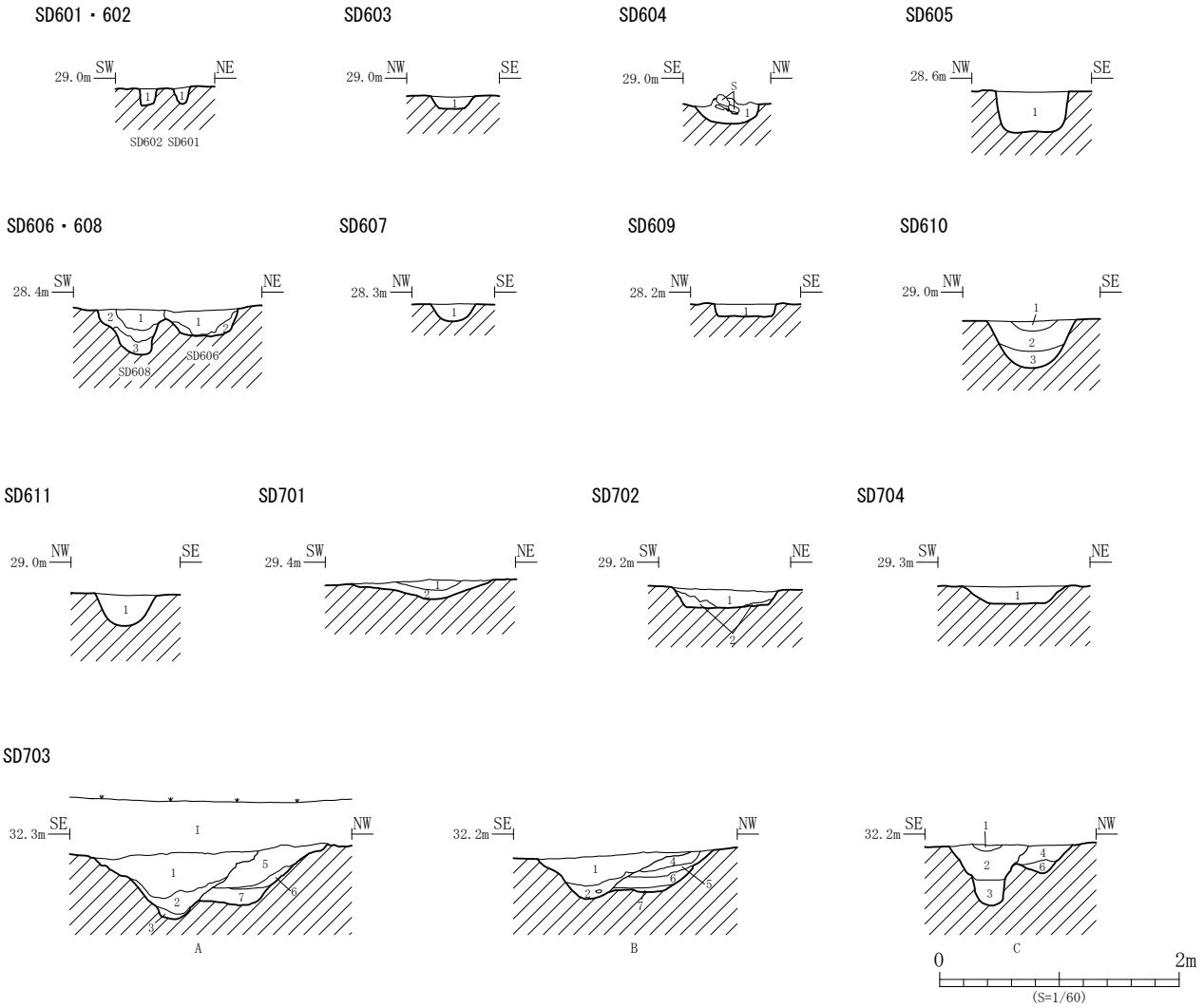
第706図　古代以降溝跡配置図

SD604溝跡（第707図）

Ｋ－19～Ｊ－19グリッドに位置し、ＳＤ603溝跡の南東約18ｍにほぼ平行して検出された。南西側は調査区外に延び、北東端は調査区内で途切れる。方向はＮ－42°－Ｅである。検出部分では長さ5.75ｍ、幅約32～60㎝、深さ７～16㎝であり、北東方向に緩やかに傾斜する。堆積土はⅤ層を主体とした単層であり、底面は丸みを帯びて壁は緩やかに立ち上がる。遺物は縄文土器と石器が少量出土した。

SD605溝跡（第707図）

Ｋ－17～Ｊ－16グリッドに位置し、ＳＤ604溝跡の南東約８ｍにほぼ平行して検出された。南西側は調査区外に



遺構	層位	土色	土性	備考
SD601	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒少量含む。層下半にⅤ層粒集中。
SD602	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒少量含む。
SD603	1	10YR4/4　褐	粘土質シルト	炭化粒少量含む。
SD604	1	10YR2/2　褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒微量含む。層下半にⅤ層粒集中。
SD605	1	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量含む。
SD606	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量、炭化粒多量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量含む。
SD607	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少含む。
SD608	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量含む。
SD609	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
SD610	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量含む。

遺構	層位	土色	土性	備考
SD610	3	10YR4/3にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋含む。
SD611	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量。
SD701	1	10YR2/1　黒	粘土質シルト	炭化粒微量、礫多量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
SD702	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	炭化粒・焼土粒微量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋多量含む。
SD703 A	1	10YR3/3　暗褐	シルト	Ⅴ層粒少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	シルト	Ⅴ層粒・炭化粒少量含む。
	3	10YR3/3　暗褐	シルト	Ⅴ層ブロック少量含む。
SD703 B	4	10YR4/4　褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック主体。
	5	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
	6	10YR4/3にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋多量含む。
	7	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。

第707図　古代以降溝跡土層断面図

延び、北東端は調査区内で途切れる。主軸方向はＮ－45°－Ｅであるが、南西端部でやや南へ屈曲する。検出部分では長さ7.9ｍ、幅35～87㎝、深さ16～31㎝で、北東方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした単層であり、底面は平坦で壁は急角度に立ち上がる。遺物は縄文土器と石器が少量出土した。

SD606溝跡（第707図）

Ｆ－15～Ｈ－13グリッドに位置する。ＳＤ607・608溝跡と重複関係にあり、本遺構が新しい。北西側は調査区外に延びるが、第８次調査のＳＤ806溝跡へと連続して更に北西方向に伸びる。方向はＮ－47°－Ｗであり、ＳＤ603～605溝跡とはほぼ直行する方向へ伸びて南東端は調査区内で途切れる。検出部分では長さ13.5ｍ、幅36～77㎝、深さ16～23㎝で、南東方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした２層に分けられ、底面は平坦で壁は比較的急角度に立ち上がる。遺物は縄文土器と石器が少量出土した。

SD607溝跡（第707図）

Ｆ－14グリッドに位置する。ＳＤ606溝跡と重複関係にあり、本遺構が古い。北側は調査区外に延びる。南側はＳＤ606溝跡と重複するが、重複部分の南側から屈曲してＳＤ608溝跡が延びていることからＳＤ608溝跡と連続する可能性がある。方向はＮ－21°－Ｅである。検出部分では長さ2.2ｍ、幅43～51㎝、深さ13㎝である。堆積土はＶ層を主体とした単層であり、底面は丸みを帯びて壁は比較的急角度に立ち上がる。遺物は縄文土器と陶器片及び石器が少量出土した。

SD608溝跡（第707図）

Ｇ－14～Ｋ－９グリッドに位置する。ＳＤ606溝跡と重複関係にあり、本遺構が古い。北西側はＳＤ607溝跡の項で記述したようにＳＤ607溝跡と連続する可能性があり、南東端は調査区内で途切れる。方向はＮ－52°－Ｗで、南北にやや蛇行しながら、ほぼＳＤ606溝跡に平行する。検出部分では長さ28.5ｍ、幅39～125㎝で、今回の調査で検出された溝跡としてはＳＤ610溝跡に次いで長い。深さは14～34㎝で、南東方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした３層に分けられ、底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がるが、南側には段を持つ部分も認められる。遺物は縄文土器と土師器、須恵器、陶磁器及び石器が少量出土し、陶磁器３点を第708図に示した。

SD609溝跡（第707図）

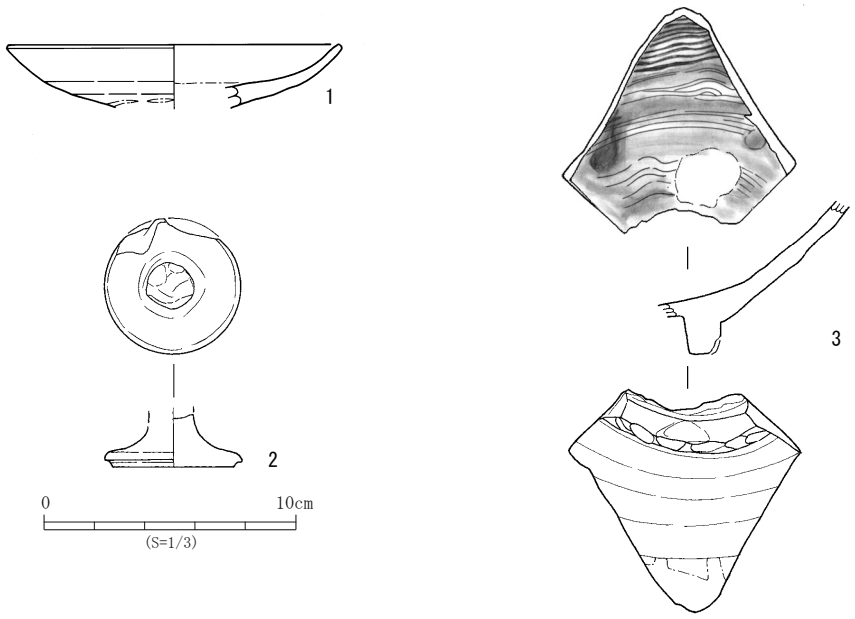
Ｋ－15～Ｊ－13グリッドに位置し、ＳＤ605溝跡の南東約10ｍに平行して検出された。南西側は調査区外に延び、北東端は調査区内で途切れる。方向はＮ－44°－Ｅである。検出部分では長さ9.7ｍ、幅27～77㎝、深さ４～10㎝で、北東方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした単層であり、底面は平坦で壁は急角度に立ち上がる。遺物は出土していない。

SD610溝跡（第707図）

Ｊ－25～Ｅ－20グリッドに位置し、南西及び北東の両側とも調査区外に延びる。更に本溝跡は第８次調査のＳＤ801溝跡に連続して北東方向に伸びる。方向はＮ－42°－Ｅで、ＳＤ603～605・609溝跡にほぼ並行する。検出部分では長さ30.7ｍ、幅38～188㎝で、今回の調査で検出された溝跡としては最も長い。深さは17～60㎝であり、北側半分はほぼ平坦であるが南側は南西方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした３層に分けられ、底面は丸みを帯びて壁はやや急角度に立ち上がる。遺物は出土していない。

SD611溝跡（第707図）

Ｉ－25～Ｈ－24グリッドに位置し、ＳＤ610溝跡の北西約５ｍに平行して検出された。南西側は調査区外に延び、北東端は調査区内で途切れる。方向はＮ－43°－Ｅである。検出部分では長さ13.5ｍ、幅16～80㎝、深さ12～17㎝で、南西方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＶ層を主体とした単層であり、底面は丸みを帯びて壁はやや急角度に立ち上がる。遺物は出土していない。



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺　構	器　種	口径×器高×底径(cm)	特　　徴	産　地	年　代	備　考	写真図版
1	J-607	SD608	磁器・染付輪禿皿	(13.2)×〈2.4〉×－	見込み：輪禿	肥前	1650 ～ 1700 年代	－	262-11
2	I-610	SD608	施釉陶器・仏飯器	－×〈2.1〉×5.4	外面：灰釉、底面無釉	大堀相馬	18 世紀代	－	262-12
3	I-611	SD608	施釉陶器・三島手鉢	－×(6.0)×－	内面・見込み：白泥による象眼＋透明釉・目痕 1 ヵ所残存、外面：透明釉、体部下半以下無釉	肥前（唐津）	17 世紀後半～ 18 世紀中葉	－	262-13

第708図　SD608溝跡出土遺物

SD701溝跡（第707図、図版126）

Ｄ－35～Ｈ－34グリッドに位置し、南北の両側とも調査区外に延びる。方向はＮ－９°－Ｗであり、第６次調査区で検出されたＳＤ601～611溝跡との規則性は見られない。検出部分では長さ19.2ｍ、幅20～87㎝、深さ10～14㎝であり、南方向に緩やかに傾斜する。堆積土は礫を混入するＶ層を主体とした２層に分けられ、壁は皿状に緩やかに立ち上がる。本遺構からは大量の礫が検出され、遺物としては縄文土器と石器が多量に出土した。

SD702溝跡（第707図、図版126）

Ｄ－38～Ｈ－36グリッドに位置し、南北の両側とも調査区外に延びる。方向はＮ－16°－Ｗであり、ＳＤ701溝跡とも若干の角度差を持ち、第６次調査区で検出されたＳＤ601～612溝跡との規則性は見られない。検出部分では長さ18.7ｍ、幅15～98㎝である。底面は平坦で深さ５～18㎝であるが、部分的に更に細い小溝を持つ部分も認められる。底面の浅い部分は南方向に緩やかに傾斜する。堆積土は礫を混入するＶ層を主体とした２層に分けられ、底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。本遺構からも大量の礫が検出され、遺物としては縄文土器と石器が出土した。

SD703溝跡（第707図、図版126）

Ｄ－65～Ｂ－62グリッドに位置し、今回の調査で確認された遺構としては最も西側に位置する。南西側は調査区外へ延び、北東側は調査区内で途切れる。方向はＮ－68°－Ｗであり、ＳＤ701・702溝跡とも直行せず、第６次調査区で検出されたＳＤ601～ＳＤ612溝跡との規則性は見られない。検出部分では長さ14.9ｍ、幅20～197㎝であるが、土層断面の調査から重複する２条の溝跡であることが判明した。新溝（Ａ）は横断面形がＶ字状であり、壁は緩やかに立ち上がる。新溝に切られる旧溝（Ｂ）もＶ字状をなしていたものと思われるが、新溝によって南側が壊され、判然としない。溝の深さはＡ溝が23～46㎝、Ｂ溝は18～50㎝であり、西方向に緩やかに傾斜する。堆積土はＡ溝で２～３層に分けられ、Ｂ溝は２～４層に細分される。遺物は縄文土器と土師器、須恵器及び石器が少量出土した。

SD704溝跡（第707図、図版126）

Ｅ－32～Ｆ－31グリッドに位置する。北西側は調査区外に延び、南東端は調査区内の撹乱で途切れる。方向はＮ－31°－Ｗであり、若干角度はずれるがＳＤ606・608溝跡にほぼ平行するものと思われる。検出部分では長さ4.4m、幅28～100㎝、深さ３～16㎝であり、南東方向に緩やかに傾斜する。堆積土は礫を混入するＶ層を主体とした単層であり、底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。本遺構からも礫が大量に検出されたが、遺物は出土していない。

４．焼土跡

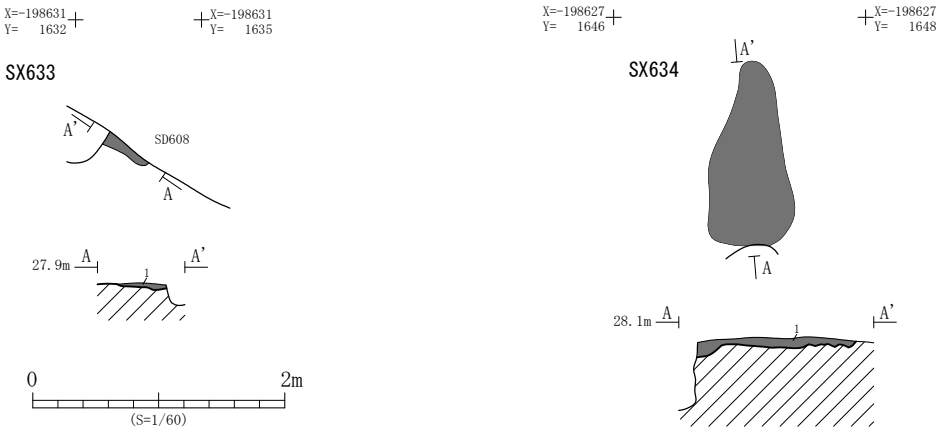
焼土跡は第６次調査２区で２基検出された。時期の特定は出来ないが、隣接して古代の竪穴住居跡が存在していることや、遺構検出時に周辺グリッドから古代の遺物が検出されていること等から古代以降のものとして扱った。

SX633焼土跡（第709図）

第６次調査２区中央のＩ－12グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。ＳＩ608竪穴住居跡、ＳＤ608溝跡、ピットと重複しており本遺構が最も古く、大半が削平されていることから残存状況は悪い。規模は最大40㎝の範囲で赤変した部分が認められ、５㎝程下までその影響が及んでいる。掘り方等は確認されず、周辺で検出されたピットとの関係は不明である。

SX634焼土跡（第709図）

第６次調査２区東側北寄りのＨ－９グリッドに位置し、Ｖ層上面で検出された。ＳＩ607竪穴住居跡と重複関係にあり、本遺構が古い。148㎝×65㎝の範囲で被熱を受けて赤変した部分が認められ、深さ５㎝まで影響が認められた。掘り方等は確認されず、周辺で検出されたピットとの関係も不明である。遺物が出土しておらず時期は不明であるが、周辺グリッドから土師器小片が検出されていること等から古代のものと考えられる。



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SX633	1	2.5YR4/3　赤褐色	砂質シルト	砂質味強い。焼けた砂質シルト。
SX634	1	2.5YR4/3　赤褐色	砂質シルト	炭化粒、焼土粒多量含む。

第709図　古代以降焼土跡

５．性格不明遺構

第６次調査で４基、第７次調査で１基の合計５基検出された。

SX624性格不明遺構（第711図）

第６次調査１区中央部北東側のＦ－18グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。周辺にはＳＫ6051・6071・6087土坑が存在する。ＳＫ6051土坑と重複関係にあり、本遺構が古い。南西側がＳＫ6051土坑により一部削平されているため全体は不明であるが、残存する部分から平面形は65㎝×32㎝の楕円形である。検出面からの深さは最大で12㎝である。断面形は皿形を基調としているが底面中央部分がやや盛り上がっている。堆積土は２層に分層され、１層は焼土ブロックを多量に含む。本遺構の中央部分からは棒状の礫が垂直に刺さった状態で検出されており、ＳＫ6051土坑の北東壁際で検出された礫と同じ出土状態である。焼土ブロックが混入する堆積土の特徴はＳＫ6051土坑と類似しており関連する遺構の可能性も考えられる。

SX628性格不明遺構（第711図）

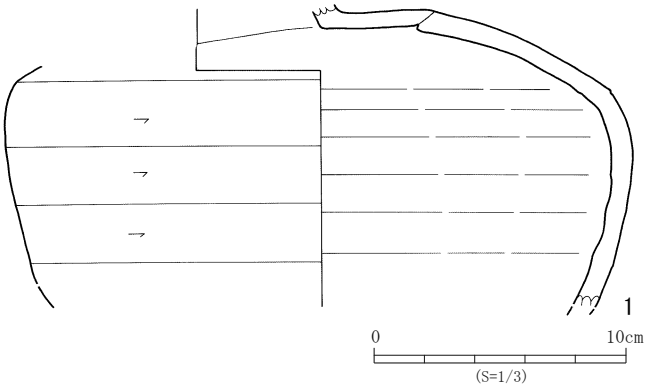
第６次調査２区西側北寄りのＧ・Ｈ－13・14グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。新旧関係ではＳＩ611竪穴住居跡およびＳＫ6194・6195・6228土坑、ＳＤ608溝跡、ピットと重複関係にあり、ＳＤ608溝跡、ピットよりも古く、他の遺構より新しい。北東側がＳＤ608溝跡に削平されているため全体は不明であるが、残存する部分から平面形は東西2.8m、南北は2.4m以上のやや歪んだ方形を基調とするものと考えられる。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは40㎝である。壁は底面から急な角度で立ち上がる。堆積土は２層に分層され、１層中からは礫が多数検出され、その他にウマの下顎臼歯片も検出された。遺物は肥前系磁器染付の碗や皿、大堀相馬産の碗・皿、銭貨などが出土しており、近世以降のものと考えられる。

SX640性格不明遺構（第711図）

第６次調査２区東側北寄りのＨ・Ｉ－10グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＩ606竪穴住居跡、ピットと重複関係にあり、本遺構が古い。検出された遺構の形状及び堆積土の状態から、床面上が削平された住居の掘り方の一部または竪穴遺構の可能性がある。平面形は4.55m×1.4mの隅丸長方形で、西辺を基準とした方向はＮ－16°－Ｅである。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは20㎝である。壁は底面から開いて立ち上がる。堆積土は褐色系の砂質シルト層で２層に分層される。遺物は土師器小片が出土しているが、図化できるものはない。

SX641性格不明遺構（第711図）

第６次調査２区中央北側のＧ－11グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＫ6300土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。検出された遺構の形状及び堆積土の状態から、床面上が削平されて掘り方の一部が残存した住居跡または竪穴遺構の可能性がある。平面形は2.1m×1.3mの楕円形を基調としたもので、長軸方向はＮ－21°－Ｅである。底面は中央部に段を持ち、北側で深くなる。検出面から北側底面までの深さは32㎝である。壁は底面から開いて立ち上がる。堆積土は暗～黒褐色系の粘土質シルト層で３層に分層される。遺物は遺構南側より、15～30㎝の礫とともに、頸部接合部から上半および体部中位から下半を欠いた須恵器平瓶が逆位の状態で出土し、第710図に示した。



〈 〉残存、( ) 推定

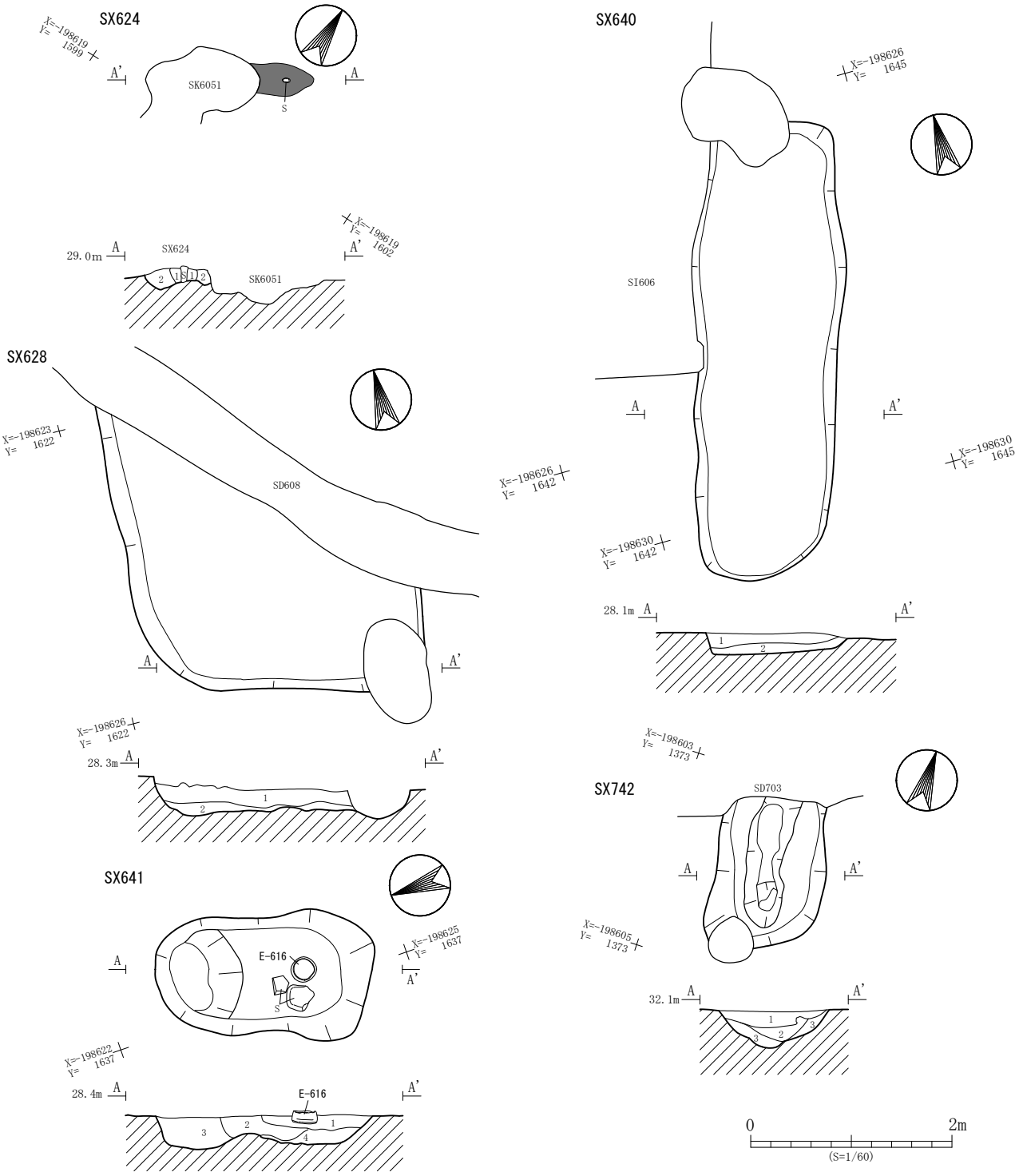
No.	登録番号	層　位	器　種	口径×器高×底径（cm）	外　面
1	E-616	堆積土	須恵器 横瓶	－×（12.0）×－	胴部：回転ヘラケズリ
内　面			備　考		写真図版
胴部：ロクロナデ			胴部最大径 24.5 ㎝。		262-14

第710図　SX641性格不明遺構出土遺物

SX742性格不明遺構（第711図）

第７次調査２区西端のＣ－64グリッドに位置し、Ⅴ層上面で検出された。ＳＤ703溝跡と重複関係にあ

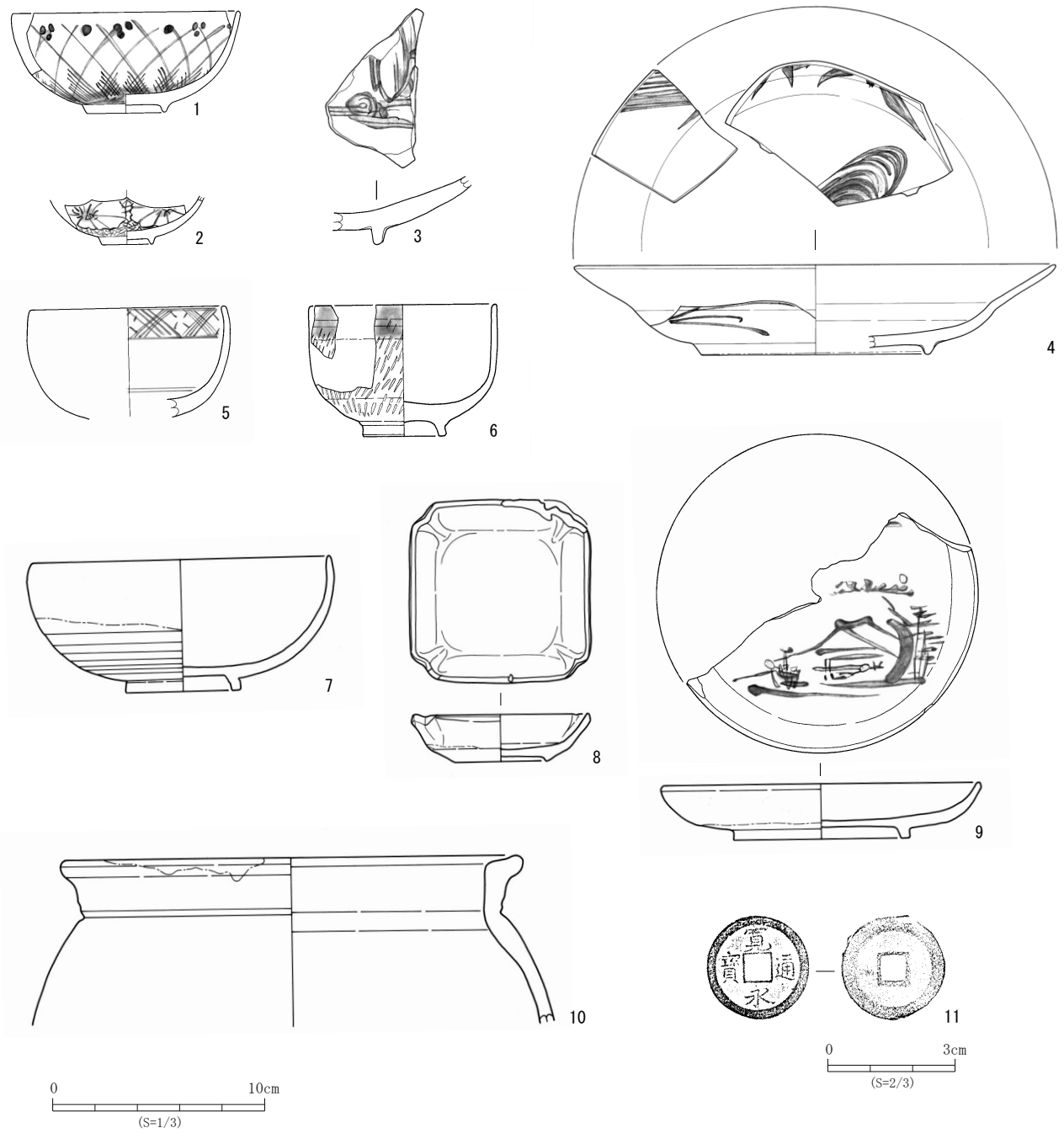
り、本遺構の方が古い。北側部分がＳＤ703溝跡によって削平されているため全体は不明であるが、残存する部分での平面形は150㎝×110㎝の楕円形と推測される。底面には凹凸が認められ、南側が最も低くなっており、検出面からの深さは47㎝である。壁は底面から緩やかに立ち上がる。堆積土は３層に分けられる。遺物は出土していない。



遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SX624	1	7.5YR4/6　褐	粘土質シルト	焼土ブロック多量含む。
	2	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量含む。
SX628	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック少量含む。炭化粒多量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層ブロック多量含む。
SX640	1	10YR3/3　暗褐	砂質シルト	炭化粒を少量含む。
	2	10YR4/3　にぶい黄褐	砂質シルト	Ⅴ層多量、炭化粒を微量含む。

遺構	層位	土　色	土　性	備　考
SX641	1	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒・炭化粒を少量含む。
	2	10YR2/3　黒褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋下位に集中。
	3	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒を少量含む。
	4	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	炭化粒を少量含む。
SX742	1	10YR3/3　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒少量含む。
	2	10YR3/4　暗褐	粘土質シルト	Ⅴ層粒多量含む。
	3	10YR4/3　にぶい黄褐	粘土質シルト	Ⅴ層斑紋多量含む。

第711図　古代以降性格不明遺構



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺　構	器　種	口径×器高×底径(cm)	特　　徴	産　地	年　代	備　考	写真図版
1	J-608	SX628	染付磁器・半球碗	(10.8)×3.8×5.7	外面：交叉草文	肥前	1700年代～1860年代	－	262-15
2	J-609	SX628	染付磁器・半球碗	－×〈2.2〉×2.4	外面：菊花文＋氷裂文	肥前	1700年代～1860年代	－	262-16
3	J-610	SX628	染付磁器・初期伊万里皿	－×〈3.2〉×－	内面・見込み：山水文	肥前	1650年代	－	262-17
4	J-611	SX628	染付磁器・折縁皿	(10.8)×3.8×5.7	内面・見込み：竹葉文・流水文？、裏文様：松葉文	肥前	19c 前半代	－	262-18
5	J-612	SX628	青磁染付磁器・小丸碗	(9.6)×〈5.2〉×－	外面：青磁、内面口縁部：四方襷文、見込み：二重圏線	肥前	1760年代～1810年代	－	262-19
6	I-612	SX628	施釉陶器・灰釉・鉄釉掛け分け碗	(9.8)×6.2×3.9	ロクロ、体部外面上半:鉄釉・トビカンナ、内面・体部下半：灰釉、畳付無釉	大堀相馬	18世紀後葉	鎧手碗写し？	263-1
7	I-613	SX628	施釉陶器・灰釉・鉄釉掛け分け碗	(14.0)×6.2×(5.3)	ロクロ、内面・体部外面上半：灰釉、体部下半：鉄釉、畳付無釉	大堀相馬	18c 末～　19c 初	腰錆小服碗写し	263-2
8	I-614	SX628	施釉陶器・角皿	方9.4×2.3×4.3	ロクロ＋型押し、内外面：灰釉、高台無釉	大堀相馬	18世紀代	－	263-3
9	I-615	SX628	施釉陶器・鉄絵皿	(13.0)×2.6×(8.2)	ロクロ、内外面:灰釉、見込み:鉄絵風景・目痕３ヵ所残存、高台無釉	大堀相馬	18c 末～　19c 初	－	253-4
10	I-616	SX628	施釉陶器・甕	(21.0)×7.9×－	ロクロ、外面：鉄釉、内面：灰釉	－	－	－	253-5
11	N-67	SX628	銭貨	外径×厚さ(mm)・重さ(g) 24.6×1.5・2.93	銅製、寛永通宝（３期、新寛永）	－	1697～1747、1767～1781	－	263-6

第712図　SX628性格不明遺構出土遺物

６．ピット（第713図）

第６次調査で197個、第７次調査で６個の合計203個のピットが検出された。基本土層Ⅳ層まで削平されていたことからⅤ層上面で確認を行っている。第６次調査１区中央から東側に分布が認められ、古代以降の遺構の在り方とは同じ傾向が窺える。これらについては大きく５ヵ所にピットのまとまりが認められることから、ここではそれぞれの状況について見ていくことにする。

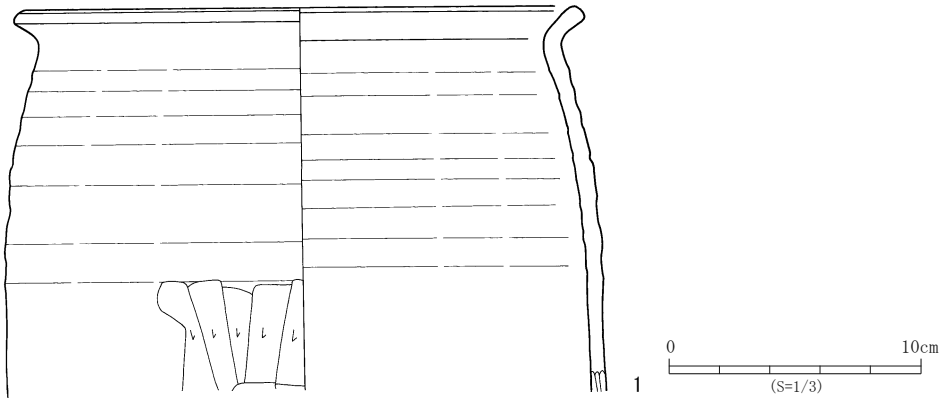
Ｆ～Ｈ－17～19グリッド付近のＳＫ6051・6060土坑周辺および確認調査14トレンチ周辺で小規模なまとまりが認められる。柱痕跡が確認されるものはなく、建物が想定されるようなピットの配置や配列も認められない。ＳＫ6060土坑周辺では堆積土に焼土粒を多量に含むものが存在しており、土坑堆積土との類似から古代に属するものが存在しているものと考えられる。出土遺物はいずれも小片で図化出来ないものが大半であるが、ＳＫ6070土坑の北西に位置するピット60953から出土した土師器甕１点を第714図に示した。

Ｇ・Ｈ－14・15グリッド付近のＳＫ6074土坑周辺にまとまりが認められる。近世の遺物が出土している土坑群（ＳＫ6091～6093、6072土坑他）に囲まれた部分に存在する。ピットには建物が想定されるような配置・配列は認められず、遺物は堆積土中から土師器小片が僅かに出土したのみである。

Ｋ・Ｌ－16・17グリッド付近のＳＤ605溝跡の東側で見られるまとまりである。これらについても配置や配列に規則性は窺えない。遺物は出土していない。

Ｆ～Ｈ－７～10グリッド付近では古代の竪穴住居跡、近世の土坑等多くの遺構が存在しており、最も多くのピットが検出されている。平面形が長方形を基調とする土坑と同じ方向をとる配列を見てとることも可能であるが、建物等は抽出されていない。しかしながら、土坑とは方向を同じとしていることから、両者の関連が推測される。

第713図　古代以降ピット配置図



〈 〉残存、( ) 推定

No.	登録番号	遺構	層位	器種	口径×器高×底径（cm）	外面	内面	備考	写真図版
1	D-632	P60953	堆積土	土師器　甕	(21.8)×〈15.0〉×－	口縁部～胴部上半：ロクロナデ　胴部下半：ヘラケズリ	口縁部～胴部：ロクロナデ	－	-

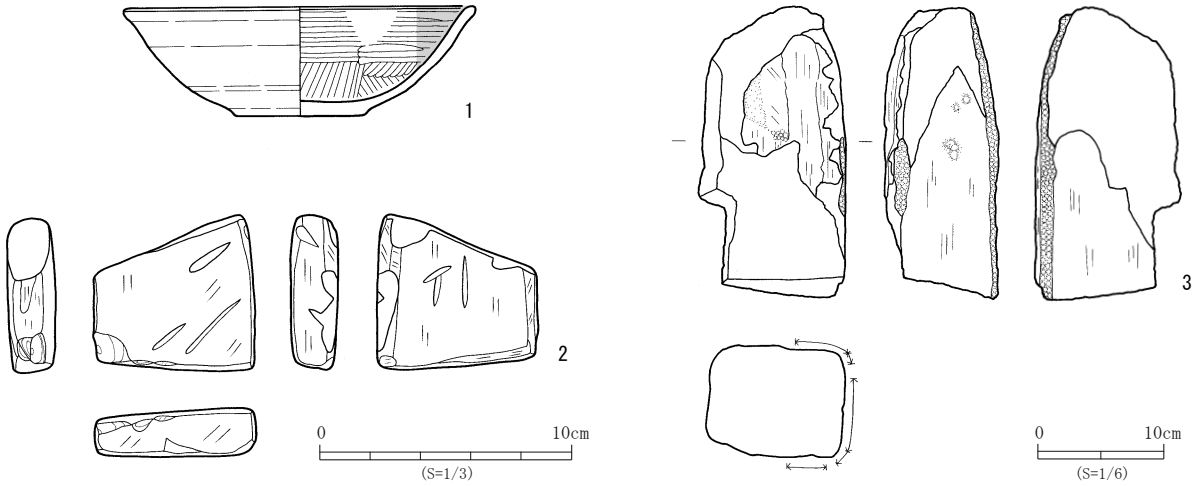
第714図　古代以降ピット出土遺物

Ｌ～Ｍ－９～11グリッド周辺のＳＫ6151土坑の西側にまとまりが見られる。柱痕跡が確認されたものはなく、配置・配列も不規則であり、その性格は不明である。

７．遺構以外の出土遺物（第715・716図、図版263）

遺構以外から出土した古代以降の遺物を図示した。古代の遺物は小片のものが多く、確認調査５トレンチ周辺で検出された土師器坏１点と第６次調査の撹乱及びグリッドより検出された砥石２点を図示した。１はロクロ整形されたもので、内面は黒色処理されて丁寧なミガキが施されている。

近世の遺物を第716図に示した。グリッドでは近世の遺構が検出された第６次調査２区東側から出土したものが多い。肥前の染付磁器や白磁のほか、大堀相馬、瀬戸・美濃産の施釉陶器が見られる。５は破片資料であるが、薄手Ｕ字高台皿で復元による口径推定値は33㎝である。11は直刀で残存長で29.4㎝である。



( ) 推定

No.	登録番号	出土位置	層位	器種	口径×器高×底径（cm）	外面	内面	備考	写真図版
1	D-708	E-43Gr.	－	土師器　坏	(13.8)×4.3×(5.2)	口縁部～体部：ロクロナデ　底部：回転糸切り	口縁部～底部：ヘラミガキ	内面黒色処理。	263-7

( ) 残存

No.	登録番号	出土位置	器種	石質	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	写真図版
2	Kd-c-6005	F-15Gr.	砥石	砂岩	(61.5)	(63.5)	(18.5)	(105.0)	磨５、上半部欠損。	263-19
3	Kd-c-6006	撹乱	砥石	砂岩	(232.0)	(116.0)	(91.0)	(3,534.0)	磨３。部分的に赤褐色化、S=1/6。	263-20

第715図　古代遺構遺構外出土遺物（１）

〈 〉残存、( ) 推定

№.	登録番号	遺　構	器　種	口径×器高×底径(cm)	特　徴	産　地	年　代	備　考	写真図版
1	J-613	H-16Gr.	染付磁器・丸碗蓋	(8.6)×2.5×つまみ径3.4	ロクロ、外面:花文、内面口唇部:雷文、見込み:「成・・・」	肥前	19c 前半代	－	623-9
2	J-614	F-19Gr.	染付磁器・湯呑み碗	(6.3)×6.0×3.4	外面：草花文	肥前	19c 中葉	－	263-8
3	J-615	G-13Gr.	染付磁器・深皿	(14.8)×4.4×(8.0)	内面：松竹梅文、見込み：菊花文、裏文様：如意頭唐草文、高台内：一重圏線	肥前	18c 代	－	263-10
4	J-616	F～N-6～16Gr.	染付磁器・蛇の目凹型高台皿	(14.3)×3.6×(8.2)	内面:矢羽根文・草花文、裏文様:如意頭唐草文、高台脇：一重圏線、高台：二重圏線	肥前	1760年代～ 1820年代	－	263-11
5	J-617	J-8Gr.	染付磁器・薄手U字高台皿	(33.0)×〈4.7〉×－	ロクロ、内面：牡丹唐草文、裏文様：花草文	肥前	18c 前半代	－	263-12
6	J-618	F-15Gr.	白磁・徳利	4.0×最大胴径16×〈16.1〉	白磁	肥前	18c 代	－	263-13
7	I-617	H～J－13・14Gr.	施釉陶器・鉄釉流し掛け灰釉碗	(10.0)×3.1×3.9	ロクロ、内外面：灰釉＋外面に鉄釉流し掛け	大堀相馬	18世紀後葉	－	263-16
8	I-618	L～N-8～15Gr.	施釉陶器・端反碗	(9.0)×5.1×3.4	ロクロ、内面・外面上半灰釉、体部外面下半銹釉、畳付無釉	大堀相馬	19世紀前半代？	－	263-17
9	I-701	A～D-56～60Gr.	施釉陶器・飯事道具	－×〈2.1〉×2.2	ロクロ、内外面：鉄釉、体部下半以下無釉	瀬戸・美濃	－	－	263-14
10	P-6101	J-8Gr.	瓦質製品・玩具（はじき？）	長径4.4×短径3.7×厚1.6	側面研磨により整形	－	－	－	263-15
11	N-68	F・G-21・22Gr.	鉄製品・直刀	長29.4×幅2.7×厚0.8	－	－	－	－	263-18

第716図　古代以降遺構外出土遺物（２）

報 告 書 抄 録

ふりがな	うわのいせき　だい６・７じはっくつちょうさ
書名	上野遺跡　第６・７次発掘調査
副書名	－都市計画道路「富沢山田線」関連遺跡発掘調査報告書－
巻次	
シリーズ名	仙台市文化財調査報告書
シリーズ番号	第365集
編著者名	主濱光朗・佐々木竜郎・麻生順司・パリノ・サーヴェイ株式会社・金子浩昌
編集機関	仙台市教育委員会(文化財課)
所在地	〒980-8761　宮城県仙台市青葉区二日町１番１号　　TEL 022-214-8894
発行年月日	2010年３月26日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
上野遺跡（うわのいせき）	宮城県仙台市（みやぎけんせんだいし） 太白区富田字（たいはくくとみたあざ） 上野中（うわのなか）・上野西（うわのにし）ほか	04100	仙台市 C－054 宮城県 01361	38° 12′ 44″	140° 52′ 40″	第６次 20040614 ～ 20050218 第７次 20050603 ～ 20060131	第６次 2,757.9㎡ 第７次 3,190.0㎡	都市計画道路「富沢山田線」建設工事に伴う埋蔵文化財の事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
上野遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡	27軒	縄文土器、土製品	
			土坑	348基	石器、石製品	
			焼土跡	33基		
			埋設土器	29基		
			配石	５基		
			集石	１基		
			ピット	3,213個		
		古代以降	竪穴住居跡	11軒	土師器、須恵器	
			土坑	75基	陶磁器、鉄器、銭貨	
			溝跡	15条		
			性格不明遺構	７基		
			ピット	203個		

要約

上野遺跡は青葉山丘陵と名取川の間に広がる名取台地の東端部に位置する。今回の調査では縄文時代中期中葉から末葉の集落が展開していることが明らかとなった。多数検出された中期中葉を主体とするフラスコ状土坑群は調査区の東側に密集した状態で分布し、多数の遺物が出土した溝状の落ち込みを境に西側に竪穴住居跡や多数のピットが分布し、遺構の分布の様相が大きく異なり集落内での場の使い分けが想定される。遺物は多量の土器・石器の他に皮袋形土製品や土偶、硬玉製大珠などが出土した。溝状の落ち込みからは焼骨が検出され貝塚以外からの骨の検出事例としても注目される。古代以降では奈良・平安時代の集落の存在が明らかとなり、東端部を中心に江戸後期から幕末期の遺構・遺物も検出されている。

仙台市文化財調査報告書第365集

上　野　遺　跡

第６・７次発掘調査

－都市計画道路「富沢山田線」関連遺跡発掘調査報告書－

第２分冊

2010年３月

発行　仙台市教育委員会
仙台市青葉区二日町１番１号
仙台市教育委員会文化財課
TEL 022-214-8894

印刷　㈲平電子印刷所
福島県いわき市平北白土字西ノ内13番地
TEL 0246-23-9051